SH-03B

ISSUE DATE: '10.1

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書〈詳細版〉

ドコモ　W-CDMA･GSM／GPRS方式

このたびは、「docomo PRO series SH-03B」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

SH-03Bは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.

本書のご使用にあたって

本FOMA端末は、きせかえツール（☞P.107）に対応しております。きせかえツールを利用してカスタムメニュー画像を変更した場合、メニューの操作履歴に従ってカスタムメニューの項目が変わるものがあります。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかたについて

本書では、FOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- ディスプレイに表示されるアイコンや画面は、本体色に合わせて初期設定されています（きせかえツール☞P.107）。本体色ごとのお買い上げ時の設定内容は、P.478「メニュー一覧」を参照してください。本書では、主にきせかえツールの設定が本体色「White」の場合で説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

本書の引きかたについて

次のような方法で、説明ページを探すことができます。

索引から（☞P.550）	機能名・サービス名で探します。
かんたん検索から（☞P.4）	よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。
表紙インデックスから（☞表紙）	表紙のインデックスを使用して、本書をめくりながら探します。

（詳しくは次ページ）

目次から	☞P.6
主な機能から	☞P.8
メニュー一覧から	☞P.478

- この『SH-03B取扱説明書詳細版』の本文中においては、「SH-03B」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要となります。microSDカードについては☞P.363
- 本書ではmicroSDカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書では「ＩＣカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を、「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

ボタン表記と操作手順

- 本書ではボタンの表記を簡略したデザインで表記しております。

実際のボタン	本書での表記
D	D（P.24「各部の名称と機能」を参照してください）

- 操作手順の表記と意味は次のとおりです。

表　記	意　味
カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[ランプ設定]	カスタムメニューで[設定]をタッチする→[表示・ランプ・省電力]をタッチする→[ランプ設定]をタッチしてカーソルを合わせ、もう一度タッチする

- 本書では、タッチパネルでもキーボードのボタンでも操作できる場合は縦表示でのタッチパネル操作を優先して記載しています。

- お買い上げ時の設定については☞P.478

ディスプレイの表示について

- 本書では、お買い上げ時の状態をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更などによっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。
- Flash画像やアニメーション効果を持つアイコンなどが表示されている場合には、ディスプレイの表示が本書の表記とは異なる場合があります。

索引、かんたん検索、表紙インデックスからの引きかたは、アラーム機能を例に説明します。

- 本文中のページとは内容が異なります。

索引から☞P.550

ディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能の名称やサービスの名称がわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から☞P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

P.407
「アラーム」
の説明ページへ

表紙インデックスから☞表紙

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に知りたい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。

● 本文中のページとは内容が異なります。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

ワンセグを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

こんなこともできます

※1　有料サービスです。
※2　お申し込みが必要な有料サービスです。

目次

SH-03Bの主な機能

オートGPS ☞P.332

オートGPS機能により、お客様の居場所付近の天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせする便利なサービスをご利用いただけます。
また、お客様の居場所や移動した距離などを利用するゲームもご利用いただけます。

サポートブック ☞P.45

使いたい機能の操作方法をFOMA端末で確認できる便利な機能です。手元に取扱説明書がなくても、すぐに調べられます。キーワードを入力したり、機能一覧から検索することにより、機能の説明や操作方法を確認することができ、さらにその機能を呼び出すこともできます。

iコンシェル ☞P.210

iコンシェルとは、待受画面上のキャラクタ（マチキャラ）が役立つ情報（インフォメーション）を教えてくれたり、サイトからスケジュール（iスケジュール）をダウンロードすることにより便利にご利用いただけるサービスです。
ダウンロードしたiスケジュールやトルカは自動で最新の情報に更新されたり、電話帳にはお店や会社の住所情報などが自動で追加されます。

iウィジェット ☞P.308

iウィジェットとは電卓・時計やテレビ番組表、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール（ウィジェットアプリ）を簡単にアクセスすることが可能となる便利な機能です。
iウィジェット画面を立ち上げるだけで、欲しい最新の情報を一目で確認することが可能です。

国際ローミング ☞P.462

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3G・GSMエリアに対応）。
また、海外でも3G・GPRSエリアにいるときはGPS機能を利用して現在地を確認したり、対応iアプリを利用することができます。

iモード ☞P.174

操作性が向上し、より便利にホームページから情報をご利用いただけるようになったほか、Flash®VideoやWindows Media®Videoにも対応し、さらに多彩な動画コンテンツをお楽しみいただけます。

電池表示 ☞P.53

電池残量の100段階による詳細な表示ができます。

■ フルキーボード☞P.26

FOMA端末のキーボードを使い、数字の入力や、ローマ字方式での文字入力が利用できます。サイトを利用するときやメールを作成するときに便利です（☞P.439）。また、待受画面表示中にオープンポジションにすると、メール作成画面やBookmark一覧画面を表示することもできます（☞P.103）。

■ 3.7型FWVGA液晶＆タッチパネル☞P.35

タッチパネル（画面）を直接指で触り、操作を行うことができます。
タッチ操作によるメニュー選択や文字入力、スライド操作による音量調節や画面スクロールなどが利用できます。
メールやサイト表示では、すばやくスライドすることにより、画面を大きくスクロールすることができます（☞P.153、P.175、P.179）。また、コントロールボタンが表示される機能では、ボタンをタッチすることで、操作を行うことができます（☞P.36）。

■ 待受タッチランチャ☞P.41

待受画面に機能を呼び出すアイコンを表示し、すばやく起動できます。よく使う機能を登録することもできます。
また、待受タッチランチャを表示させるかどうかを設定することができます（☞P.41）。

■ 絵文字プラス®☞P.138
メール本文を入力して変換すると、文章から予測して自動的に絵文字やデコメ®絵文字が入力され、文字色、文字サイズ、背景色も変更されます。お好みの変換候補から選ぶことができます。

■ メールの参照返信☞P.148
オープンポジションのときに、受信したメールを画面右側に表示しながら、返信メールを作成することができます。

■ 有効画素数約530万画素の多機能カメラ搭載☞P.218
（記録画素数：約500万画素）
ピクチャーライト／オートフォーカス対応のデジタルカメラで、静止画や動画の撮影・再生が可能です。
静止画撮影では、バーコード／名刺を検出すると自動でカメラモードが切り替わる自動切替モード（☞P.227）に対応しています。また、次のような機能を利用し撮影することができます。

ベストセレクトフォト☞P.228
シャッター操作をする直前から連続撮影します。お好みの瞬間の写真を選んで保存できます。

顔登録☞P.236
顔の画像を撮影して顔情報として登録したり、登録した顔情報を静止画撮影画面で表示することができます。

■ プリティアレンジカメラ☞P.237
人物の顔を撮影したあとに、顔を小さくしたり、目を大きくしたりするなどのアレンジができます。また、タッチパネルを使って、撮影した画像に手書きで描画することができます。

■ コラムリーダー☞P.239
カメラを使って、新聞や雑誌などの記事を読み取り、メールやテキストメモを作成できます。

■ ウェルネス☞P.398
歩数計を使って毎日のウォーキングをサポートします。歩いた歩数や消費カロリーなどを待受画面に表示できます（☞P.400）。

■ 手書きメモ☞P.400
タッチパネルで、手書きの絵や文字が入ったメモやGIFアニメーションを作成できます。また、道路や線路のペンを選んで地図を作成することもできます。

■ 着もじ☞P.64
■ テレビ電話☞P.58
■ iモード／デコメール®／デコメ®絵文字☞P.139、P.174、P.439
■ iアプリ／メガiアプリ／直感ゲーム☞P.284、P.289
■ 高速通信対応☞P.472
■ 着うたフル®／うた・ホーダイ／Music&Videoチャネル
☞P.266、P.272、P.279
- 「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
■ ミュージックプレーヤー☞P.272
■ GPS機能☞P.322
■ おサイフケータイ／トルカ☞P.312、P.315
■ きせかえツール☞P.107
■ 各種ネットワークサービス☞P.448
■ あんしん設定☞P.116

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末・電池パック・アダプタ・FOMAカードの取り扱いについて(共通)

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

⚠警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。
また充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください
(ＩＣカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. **電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。**
2. **FOMA端末の電源を切る。**
3. **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ピクチャーライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
注意事項：
当製品に使用されているピクチャーライト光源LEDは、指定されていない調整などの操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部の表面には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

人の多い場所では、使用しないでください。

アンテナが他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

アンテナが破損したまま使用しないでください。

肌に触れるとやけどや、けがなどの事故の原因となります。

モーショントラッキングご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

モーショントラッキングは、FOMA端末を傾けたり振ったりして操作をする機能です。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。

FOMA端末に金属製などのストラップを付けている場合は、モーショントラッキングご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。

けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

ディスプレイの表面には、落下や衝撃等により破損した場合の安全性確保(強化ガラスパネルの飛散防止)を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。

フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素　材	表面処理
FOMA端末の表面（ディスプレイ面の裏側）	マグネシウム	塗装
FOMA端末の表面（ディスプレイ面の裏側のスライドヒンジ部分）	SUS	
ワンセグアンテナの金属部分	黄銅	ニッケルメッキ
外部接続端子	SUS	
microSDカードスロット内部		
充電端子		金メッキ
電池パックとの接続端子	黄銅	

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

視力低下につながる可能性があります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを充電しないでください。

電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。

皮膚に傷害を起こす原因となります。

アダプタの取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタのコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

感電、発熱、火災の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタには触れないでください。

落雷、感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

充電中は、アダプタおよび卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、アダプタおよび卓上ホルダを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタのコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

感電、火災の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災の原因となります。

指示

アダプタをコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタのコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電、火災、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。

感電、発煙、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。

感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

FOMAカード（ＩＣ部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。**
  FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
  アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子(イヤホンマイク端子)に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **FOMA端末、アダプタ、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作しないでください。**
  タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃~35℃、湿度は45%~85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子(イヤホンマイク端子)に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子カバー、microSDカードスロットカバーをはめた状態でご使用ください。
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- FOMA端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールを貼らないでください。
  FOMA端末を開閉する際にラベルやシールが引っかかり、故障、破損の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - ■ 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - ■ 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池マーク表示が2本の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - ■ 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。
- 卓上ホルダのスタンドを収める場合は、指やアダプタのコードなどを挟まないようご注意ください。
  けがなどの事故や破損の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 他のＩＣカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- ＩＣ部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。
- ＩＣを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、キーボード、ダイヤルアップ通信、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。
- 周波数帯について
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。

- Bluetooth機器使用上の注意事項
  本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCaリーダー／ライターについて

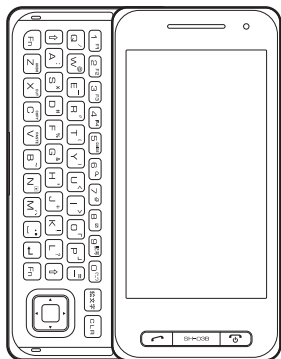
- FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

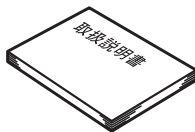
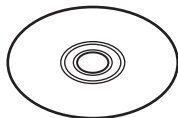
注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
  運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
  FOMA端末のFeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

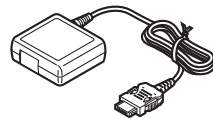
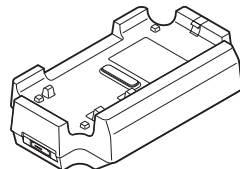
本体付属品および主なオプション品

■ 本体付属品

SH-03B本体
（保証書・リアカバー SH36含む）

電池パック SH21

取扱説明書

SH-03B用CD-ROM

- PDF版「パソコン接続マニュアル」、「区点コード一覧」を収録しています。

■ 主なオプション品

FOMA ACアダプタ01／02
（保証書・取扱説明書付き）

卓上ホルダ SH30
（取扱説明書付き）

その他のオプション品については☞P.509

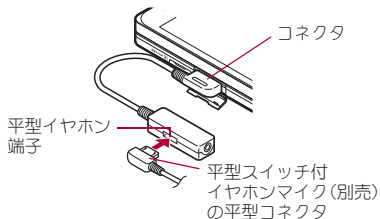
ご使用前の確認

各部の名称と機能

- 本書で記載しているボタンは、実際のデザインとは異なります。

イヤホンのご利用について

別売りの外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売りの変換アダプタを接続してご利用ください。

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続例

1 キーボード（☞P.26、P.439）

2 着信／充電ランプ
- 着信時などに点滅します（☞P.111）。
- 充電中に点灯します（☞P.49）。
- カメラ起動中／撮影時などに点灯／点滅します（☞P.218、P.229）。
- 機能によって点滅する位置は異なります。

3 受話口
- 相手の声がここから聞こえます。
- 伝言メモや音声メモの再生内容がここから聞こえます。

4 明るさセンサー（☞P.106）
- 周りの明るさを検知して、ディスプレイの照明の明るさやボタンのバックライトの照明を自動的に点灯させるかどうかを調整します。
- センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。明るさを検知できないことがあります。

5 ディスプレイ／タッチパネル（☞P.29、P.35）

6 [終話]：電源／終了ボタン
- 電源を入れる／切るときに2秒以上押します（☞P.54）。
- 起動中の機能を終了して待受画面に戻します。

7 [開始]：開始／ハンズフリーボタン
- 音声電話をかける／受けるときに押します。
- ハンズフリーを利用できます（☞P.59）。

8 スピーカ
- 着信音や音楽などがここから聞こえます。
- ハンズフリー通話中は相手の声がここから聞こえます。

9 ワンセグアンテナ（☞P.247）
- ワンセグを受信するときに使用します。

10 カメラ
- 静止画や動画を撮影するときに使用します（☞P.218）。
- テレビ電話時にカメラ映像を相手に送信するときに使用します（☞P.58）。

11 赤外線ポート
- 赤外線通信を利用するときに使用します（☞P.381）。
- 赤外線リモコンを利用するときに使用します（☞P.385）。

12 [FeliCa]マーク
- ＩＣカードが搭載されています（取り外しはできません）。[FeliCa]マークを読み取り機にかざしておサイフケータイとして使用します（☞P.313）。
- ｉＣ通信でデータの送受信時に使用します（☞P.386）。

13 リアカバー（☞P.48）

14 ピクチャーライト
- カメラ撮影時に点灯します（☞P.226、P.229）。

15 [カメラ]：サイド／カメラボタン
- １つ前の画面に戻したり、入力した数字や文字を削除するときに使用します。
- 通話中に押すと、タッチパネルロックを設定／解除できます（☞P.38）。
- 静止画や動画を撮影するときに使用します（☞P.226、P.229）。

16 充電端子（☞P.51）
- 卓上ホルダで充電するための端子です。

17 FOMAアンテナ
- FOMAアンテナが内蔵されています。よりよい条件で通話するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

18 送話口／マイク
- 自分の声をここから伝えます。

19 ストラップ取り付け口

20 外部接続端子
- 充電時およびイヤホン接続時などに使用する端子です。
- ACアダプタ／DCアダプタ、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）など外部機器を接続します（☞P.50、P.374）。

次ページへ続く

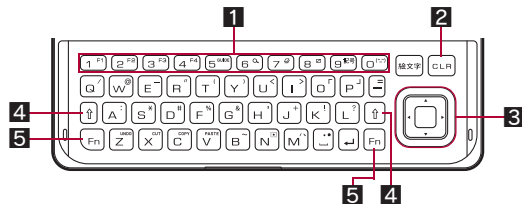
21 microSDカードスロット（☞P.364）

■ 待受画面のボタン操作

ボタン	動　作	1秒以上押したときの動作
[終話]	－	電源を切る※（☞P.54）
[発信]	ダイヤル入力画面を表示（☞P.59）	ピクチャーライトの点灯 ● [発信]を押すと消灯できます。
[ディスプレイ]	ディスプレイの表示／非表示（☞P.38）	タッチパネル／ボタンのロックの設定／解除（☞P.124）

※ 2秒以上押してください。

キーボード

● 文字入力時の操作については☞P.439

1 [1]～[9]、[0]：数字ボタン
● 電話番号や数値を入力します。

2 [CLR]：クリアボタン
● 1つ前の画面に戻します。
● 入力した文字や電話番号を削除します。

3 [マルチガイド][決定]：マルチガイドボタン
● カーソルを移動させて項目を選んで、実行／決定します（☞P.43）。

4 [⇧]：シフトボタン
● [⇧]を押し、画面上部に［⇧］が表示されている状態で他のボタンを押して操作します。
● 本書では、組み合わせ操作は「[⇧]＋ボタン」と記載しています。

5 [Fn]：ファンクションボタン
● [Fn]を押し、画面上部に［Fn］が表示されている状態で他のボタンを押して操作します。
● 本書では、組み合わせ操作は「[Fn]＋ボタン」と記載しています。
● [Fn]＋[1]～[Fn]＋[4]を押すと、操作ガイダンスの機能を実行します（☞P.28）。
● [Fn]＋[5]を押すと、操作ガイダンスを表示します（☞P.28）。
● [Fn]＋[7]を押すと、マルチアシスタントを利用できます（☞P.405）。
● [Fn]＋[CLR]を押すと、起動中の機能を終了して待受画面に戻します。

■ 待受画面のキーボード操作

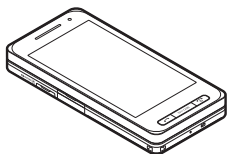
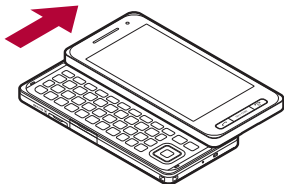
ボタン	動　作	1秒以上押したときの動作
[1]	「1」を入力	割り当てられた機能を実行（☞P.42）
[2]	「2」を入力	
[3]	「3」を入力	
[4]	「4」を入力	クイック壁紙セッティングモードを起動（☞P.101）
[5]	「5」を入力	文字サイズの一括設定（☞P.113）
[6]	「6」を入力	Bluetooth電源のON／OFF切り替え（☞P.428）
[7]	「7」を入力	音声／伝言メモ画面を表示（☞P.76、P.418）
[8]	「8」を入力	2in1の利用開始（☞P.456） 2in1のモード切替（☞P.456）
[9]	「9」を入力	きせかえツール設定のリセット（☞P.109） フォント（書体）設定のリセット（☞P.113）
[0]	「0」を入力	「＋」を入力
[D]	－	マナーモードの設定／解除（☞P.99）
[S]	－	公共モード（ドライブモード）の設定／解除（☞P.73）

ボタン	動　作	1秒以上押したときの動作
	横表示メニューを表示(☞P.43)	ロックセレクション画面を表示(☞P.124)
	iウィジェット画面を表示(☞P.309)	受話音量調節画面を表示(☞P.96)
	－	
	着信履歴一覧画面を表示(☞P.62)	メール受信履歴を表示(☞P.159)
	リダイヤル一覧画面を表示(☞P.62)	メール送信履歴を表示(☞P.159)
Fn＋6	クイック検索を起動(☞P.415)	
Fn＋8	ベールビューの設定／解除(☞P.114)	
Fn＋D	「#」を入力	マナーモードの設定／解除(☞P.99)
Fn＋S	「¥」を入力	公共モード(ドライブモード)の設定／解除(☞P.73)

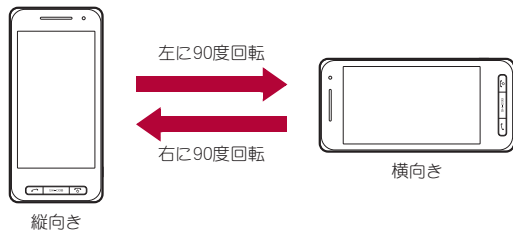
FOMA端末の開きかた

FOMA端末を開くときは、両手で持ってディスプレイ側を矢印の方向に押し出します。

- 待受画面表示中にはじめてオープンポジションにしたときは、自動的に待受スライド連動設定画面が表示されます。クローズポジションで待受画面を表示中にオープンポジションにした場合に起動する機能を設定します(☞P.103)。

クローズポジション

オープンポジション

- オープンポジションでテレビ電話を利用するときは、必ずイヤホンマイク(別売)を利用するか、ハンズフリーを利用してください。

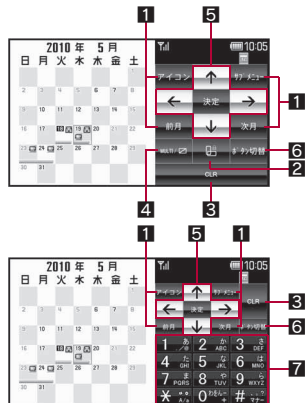
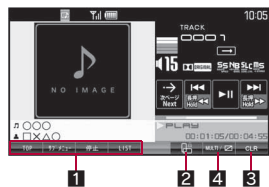
■ 縦／横表示の切替について

図のように、FOMA端末を傾けるだけで縦横の表示が自動的に切り替わります。FOMA端末を閉じたまま縦向きまたは横向きで利用できます。
なお、オープンポジションにしたときは、FOMA端末の向きに関係なく、横表示になります。

- FOMA端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦横の表示は切り替わりません。
- 利用中の機能や画面によっては切り替わらない場合があります。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、縦横が正しく表示されない場合があります。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます(☞P.103)。また、縦横切替HOLDボタンやサブメニューから一時的に切り替わらないようにすることもできます。
- 機能やポジションによって表示できる画面やボタンは異なります。
- 横表示にした場合、機能によっては全画面表示されることがあります。

縦表示

例：クラシック
　　スケジュール

横表示

例：クラシックスケジュール

例：ミュージックプレーヤー

1 操作ガイダンス※（☞P.28）

2 縦横切替HOLDボタン※

FOMA端末を傾けても一時的に縦／横表示が切り替わらないようにするときにタッチします。

- 縦横画面自動切替が[OFF]に設定されているときは、縦横切替ボタンが表示されます。縦／横表示を切り替えるときにタッチします。

3 CLRボタン※

１つ前の画面に戻したり、入力した数字や文字を削除するときにタッチします。起動中の機能を終了して待受画面に戻るときにはロングタッチします。

4 MULTIボタン※

マルチアシスタントを利用するときにタッチします。ロングタッチすると、ベールビューを設定／解除することができます。

5 マルチガイドボタン

カーソルを移動させて項目を選んで、実行／決定するときにタッチします。

6 ボタン切替ボタン

ダイヤル／文字入力ボタンの表示／非表示を切り替えるときにタッチします。

7 ダイヤル／文字入力ボタン

数字や文字を入力するときにタッチします。

※ 機能によってはコントロールボタン（☞P.36）で表示される場合があります。

操作ガイダンスについて

■ クローズポジション

操作ガイダンスのメニューを選択／実行するには、操作ガイダンスのボタンを直接タッチします。

縦表示

アイコン｜サブメニュー｜前月｜次月

横表示

TOP｜サブメニュー｜停止｜LIST

■ オープンポジション

画面下部に操作ガイダンスが表示されます。操作ガイダンスのメニューを選択／実行するには、次のように割り当てられたボタンを押します。

- 操作ガイダンスが表示されていないときは、Fn＋5を押して表示します。もう一度Fn＋5を押すと非表示になります。

- ｉアプリの操作ガイダンスも、割り当てられた操作ガイダンス用ボタンFn＋1～Fn＋4を押して操作できます。操作ガイダンスの有無や配置はソフトによって異なります。

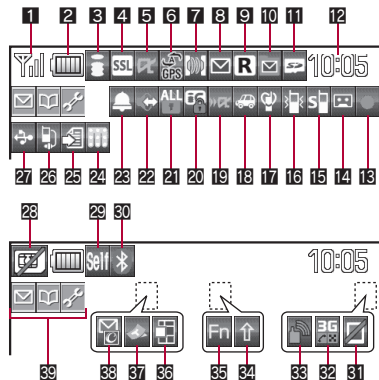
■ 操作ガイダンスメニューについて

操作ガイダンスには、利用している機能や状況に応じてメニューが表示されます。
ここでは、主に表示される操作ガイダンスメニュー例を記載します。

決定	選択した項目を決定
サブメニュー	サブメニューを表示
確認	選択した画像や音楽などを確認
戻る	１つ前の画面に戻る
再生／停止	Flash画像などを再生／停止
全画面	選択した画像などをディスプレイいっぱいに表示
全表示	フォルダ分けしたファイルなどを一覧で表示
拡大／縮小	選択した画像などを拡大／縮小で表示
メール	メール作成画面を表示
送信	メールを送信
中止	メール受信などの動作を中止
全選択／全解除	選択できる項目のすべてを選択／解除 （機能によっては、最大50件の選択／解除）
▲ページ／▼ページ	ページ単位でスクロール表示
▶ページ／◀ページ	ページ切替
閉じる	数字パネルなどを閉じる

ディスプレイの見かた

1 電波状態表示

	電波の強さの目安 強 ⟷ 弱

- ［圏外］が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。電波マークは変更できます（☞P.110）。

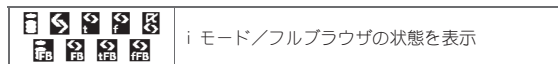
2 電池残量表示（☞P.53）

	電池残量の表示

- 充電中は電池マークが点滅します。
- 電池マークは変更できます（☞P.53、P.110）。

3 ｉモード／フルブラウザ表示（☞P.175、P.178）

	ｉモード／フルブラウザの状態を表示

次ページへ続く

4 SSL／TLS表示（☞P.175、P.178）

SSL	SSL／TLSページ表示中

● マルチアシスタント動作時に表示されているときは、マルチアシスタントを利用してｉモード／フルブラウザ／ｉアプリ／ソフトウェア更新を実行中です。

5 ｉアプリ表示（☞P.285）

	ｉアプリ起動中 ｉアプリ待受画面起動中
	ｉアプリ待受画面設定中※
	ｉアプリDX起動中 ｉアプリDX待受画面起動中
	ｉアプリDX待受画面設定中※

※ ｉアプリが待受画面として表示されますが操作できない状態です。

6 GPS表示（☞P.323、P.326、P.332）

	位置提供設定を［位置提供機能ON］／［電話帳登録外拒否］に設定中で、オートGPS機能動作中
	位置提供設定を［位置提供機能ON］／［電話帳登録外拒否］に設定中で、オートGPS動作設定を［OFF］に設定中
	位置提供設定を［許可期間設定］に設定中で位置提供拒否期間中、かつオートGPS機能動作中
	位置提供設定を［許可期間設定］に設定中で位置提供拒否期間中、かつオートGPS動作設定を［OFF］に設定中
	位置提供設定を［位置提供機能OFF］に設定中で、オートGPS機能動作中
	GPS測位中

7 赤外線通信／Bluetooth通信／外部機器通信中表示

（赤色）	赤外線通信機能で他の機器とデータ通信中（☞P.381） 赤外線リモコン送信中（☞P.385）
（緑色）	Bluetooth機能で他の機器とデータ通信中（☞P.431）
	市販のBluetooth対応キーボードと接続中（☞P.429）
（緑色）	外部機器を接続し、パケット通信中
（赤色）	外部機器を接続し、パケットデータ送受信中
	外部機器を接続し、64Kデータ通信中

8 ｉモードメール／SMS／エリアメール受信表示（☞P.145）

	ｉモードメール／SMS／エリアメールの受信状態を表示 受信メールを保存するメモリの状態を表示

9 メッセージR／F受信表示（☞P.166）

R F	メッセージR／Fの受信状態を表示 メッセージR／Fを保存するメモリの状態を表示

10 ｉモードセンター保管状態表示（☞P.145、P.166）

	メール、メッセージR／Fの保管状態を表示

● ｉモードセンター保管中でも表示されないことがあります。

11 microSDカード表示（☞P.363）

（白色）	microSDカードを挿入中
（赤色）	microSDカードを利用中
	microSDカードを認識できないときに表示

12 時計表示（☞P.55）

● 小時計マークは変更できます（☞P.110）。

13 ワンセグ録画中表示（☞P.257）

	ワンセグ録画中

14 伝言メモ表示（☞P.74）

	伝言メモ設定中

● 伝言メモが録音／録画されているときは、両方の件数を合わせ、［ ］～［ ］と表示されます。音声電話伝言メモ３件とテレビ電話伝言メモ２件が録音／録画されると、［ ］と表示されます。

15 サイレント表示（☞P.95）

	音声電話着信音を［サイレント］に設定中

16 バイブレータ表示（☞P.97）

	着信バイブレータ設定中

17 マナーモード表示（☞P.99）

	マナーモード設定中

18 公共モード（ドライブモード）表示（☞P.73）

	公共モード（ドライブモード）設定中

19 ｉアプリコール表示（☞P.303）

	ｉアプリコールあり

20 ＩＣカードロック表示（☞P.314）

	ＩＣカードロック中

21 制限表示（☞P.119、P.125）

	シークレットモード設定中
	シークレットデータ編集中
	ダイヤル発信制限中
	オールロック中
	機能別ロック中
	ダイヤル発信制限・機能別ロックを設定中
（赤色）	シークレットモード・機能別ロック・ダイヤル発信制限を設定中
（水色）	タッチパネル／キーロック・シークレットモード・機能別ロック・ダイヤル発信制限を設定中
	タッチパネル／キーロック設定中

22 ハンズフリー表示（☞P.59、P.428）

（赤色）	ハンズフリー中
（緑色）	USBハンズフリー中
	ミュート通話中（オープンポジションのときのみ）
	Bluetoothハンズフリー中

23 アラーム表示（☞P.258、P.407、P.411）

	アラーム設定中 スケジュールアラーム設定中※ 視聴予約アラーム設定中※ 録画予約アラーム設定中※ お目覚めTV設定中※

※ 当日にアラームが設定されているときのみ表示されます。

24 Music&Videoチャネル番組予約表示（☞P.267）

	Music&Videoチャネルの番組配信12時間前になると表示

25 ｉモードメール送信予約表示（☞P.145）

	送信予約メールあり
	自動送信に失敗したメールあり

26 イヤホンマイク接続表示（☞P.422）

	オート着信設定を［オート着信あり］に設定中で、イヤホンマイク（別売）接続中

27 USBモード表示（☞P.374）

	通信モードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）接続中

28 FOMAカードエラー表示

	FOMAカードが挿入されていないとき、またはFOMAカードに異常があるときに表示
	FOMAカード以外のカードや使用できないFOMAカードを挿入したときに表示（☞P.45）

29 セルフモード表示(☞P.121)

Self	セルフモード設定中

30 Bluetooth表示(☞P.423)

(青色)	Bluetooth登録待機中 Bluetooth接続待機中 Bluetooth接続中
(グレー)	Bluetooth省電力中(FOMA端末から一定時間データが送信されないときに表示)

- Bluetooth登録待機中は点灯、Bluetooth接続待機中は約1秒間隔で点滅、Bluetooth接続中は約0.5秒間隔で点滅します。
- 4表示中は表示されません。

31 ベールビュー表示(☞P.114)

	ベールビュー設定中

- 13や32、33表示中は表示されません。

32 3G/GSM表示

3G	3Gネットワーク(パケット通信可)
3G	3Gネットワーク(パケット通信可/通話不可)
3G	3Gネットワーク(パケット通信不可)
GPRS	GSM/GPRSネットワーク(パケット通信可)
GPRS	GSM/GPRSネットワーク(パケット通信可/通話不可)
GSM	GSM/GPRSネットワーク(パケット通信不可)

33 フェムトセル表示(☞P.432)

	フェムトセル利用可能

34 シフトボタン表示(☞P.26)

⇧	シフトボタン実行中

35 ファンクションボタン表示(☞P.26)

Fn	ファンクションボタン実行中

36 マンガ表示設定状態表示(☞P.392)

	コマ表示設定中
	ページ表示設定中

- 22や38表示中は表示されません。

37 トルカ表示(☞P.315)

	未読トルカあり

- 22や36、38表示中は表示されません。

38 インフォメーション受信表示(☞P.211)

	新着インフォメーションあり

- 22表示中は表示されません。

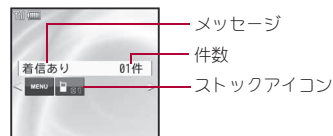
39 マルチタスク表示(☞P.405)
起動中の機能を表示します。

	4つ以上のアプリが起動中		動画撮影
	テレビ電話		バーコードリーダー
	音声電話		名刺リーダー
	電話帳		情報リーダー
	モデム通信中 (データ通信中に表示)		モーションデコ ショットデコ
	ソフトウェア更新		プリティアレンジカメラ
	地図・GPS		コラムリーダー
	Bluetooth機能		ボイスレコーダー
	赤外線受信、iC受信、 USB受信、Bluetooth受信		スケジュール テキストメモ、待受メモ
	iアプリ		電卓

	ｉモード、ｉチャネル、フルブラウザ、インターネットムービープレーヤー
	ｉコンシェル
	インフォメーション受信
	メール、SMS、メッセージR／F、ｉモード問い合わせ
	メール・デコメアニメ®・SMS作成中
	着信履歴表示中
	メール受信履歴表示中
	自局番号表示中
	リダイヤル表示中
	メール送信履歴表示中
	ウェルネス
	静止画撮影
	マンガ・ブックリーダー
	クイック検索
	トルカ
	アラーム
	タイマー
	microSD
	各種設定
	音声／伝言メモ
	ドキュメントビューア
	ワンセグ
	視聴予約・録画予約アラーム鳴動中
	ケータイデータお預かりサービス
	データBOX
	MUSIC

- FOMA端末上では、microSDカードは［microSD］または［SD］と表示されます（☞P.363）。
- 本書で記載しているディスプレイの表示は、一部変形・省略しているものもあります。
- FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

ストックアイコンからお知らせ内容を確認する

かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあるときなどに、待受画面にストックアイコンを表示してお知らせします。待受画面でストックアイコンを選び、お知らせの内容を確認することができます。

ストックアイコンの種類

アイコン	メッセージ	ページ
	着信あり　○件※1	P.74
	伝言メモ　○件／○件	P.76
	留守録音あり　○件※1	P.448
	新着メールあり　○件	P.146、P.171
	新着メッセージRあり　○件	P.166
	新着メッセージFあり　○件	P.166
	新着トルカあり　○件	P.315
	新着レコーダー動画　○件	P.354
	圏内自動送信結果あり	P.145
	ソフトウェア更新完了	P.532
	ソフトウェア更新説明あり	P.532
	ソフトウェア更新必要あり	P.531
	ソフトウェア更新確認必要	P.531
	USBモード設定	P.374
	ダウンロード成功（Music&Videoチャネル）	P.267
	ダウンロード失敗（Music&Videoチャネル）	P.267

次ページへ続く

アイコン	メッセージ	ページ
¥	積算料金　上限超過	P.419
	位置提供　応答なし	P.328
	位置提供　応答あり	P.328
	位置提供　応答失敗	P.328
	ｉアプリコールあり	P.303
MENU	カスタムメニュー／基本メニュー／メニュー※2	P.43

※1　2in1のモードを[デュアルモード]に設定している場合、[Aモード]と[Bモード]の件数がそれぞれ表示されます。

※2　メニュー画面やFOMA端末の向きによって、表示されるメッセージが異なります。

1 待受画面にストックアイコン表示

2 ストックアイコンを選ぶ

- 内容を確認するとストックアイコンとメッセージは消えます。

● 待受画面に設定しているｉモーションの再生中や、ｉアプリ待受画面実行中は、ストックアイコンが表示されません。

ｉウィジェットの表示と操作

ｉウィジェット画面では、複数のウィジェットアプリを同時に起動し、一覧で表示できます。

● ｉウィジェットの操作については☞P.308

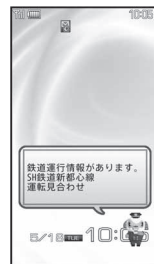
ｉウィジェット画面

1 ウィジェットアプリ貼り付けエリア

2 ウィジェットアプリの設定状態マーク
- 設定状態マークについては☞P.285

3 操作ガイダンス
- 利用可能なメニューが表示されます。

ポップアップメッセージからｉコンシェルを起動する

インフォメーションを受信すると、待受画面にポップアップメッセージを表示してお知らせします。ポップアップメッセージからｉコンシェルを起動して、インフォメーションの内容を確認することができます。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

1 待受画面にポップアップメッセージ表示

2 ポップアップメッセージを選ぶ

- ｉコンシェルを起動するとポップアップメッセージは消えます。

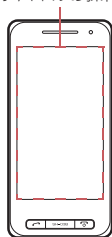
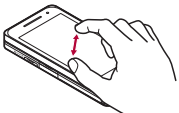
- ポップアップメッセージ表示中は、カレンダーや待受メモ、ウェルネス表示が表示されません。

タッチパネル

タッチパネルの操作

タッチパネル（画面）を直接指で触り、操作を行うことができます。

- 本書では主に縦表示でのタッチパネルによる操作を記載しています。
- タッチパネルで操作できる範囲は次のとおりです（機能によって操作範囲は異なります）。ただし、オープンポジションで操作ガイダンスが表示されているときは、その部分がタッチできなくなります。

タッチパネルの操作範囲

- ディスプレイの表示が消えているときはタッチパネルを操作できません。画面を再表示してタッチパネルを操作する方法については☞P.38
- ディスプレイに触れている間はその他の操作ができませんのでご注意ください。
- タッチパネルを利用できないときは、操作ができない旨のメッセージが表示されます。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ■ 手袋をしたままでの操作
  - ■ 爪の先での操作
  - ■ 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ■ 保護シートやシールなどを貼っての操作

タッチパネルの基本操作

タッチパネルの操作のしかたと主な操作の目的、オープンポジションで同じ役割をするボタン操作例は次のとおりです。

操作のしかた	主な操作の目的	ボタン操作例
タッチ ● タッチパネルに触れて、指を離します。	選択・決定 ● 画面に表示されるボタンをタッチします。	
	カーソルを移動して選択 ● 一覧画面などはタッチしてカーソルを合わせてから、もう一度タッチします。	▶
ロングタッチ ● タッチパネルに触れたままにします。	連続操作 ● 音量調節や早戻し／早送りなど、画面に表示されるボタンをロングタッチすると連続した操作に変わります。	（1秒以上）／（1秒以上）や、（1秒以上）／（1秒以上）など

操作のしかた	主な操作の目的	ボタン操作例
スライド ● タッチパネルに触れたまま、指を動かします。	画面のスクロール ● サイト表示中など、上下左右にスライドします。	
	選択の中止 ● メニューや項目に間違って触れたときは、メニューや項目から離れるようにスライドします。	－
すばやくスライド ● すばやくスライドし、指を離します。	ページ切替 ● 一覧画面などで左右にすばやくスライドします。 前／次のデータを表示 ● 画像やメールなどを表示中に左右にすばやくスライドします。	
2本の指の間隔を広げる／狭める ● 2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げるようにスライド、または狭めるようにスライドします。	拡大／縮小 ● 画像表示中に2本の指の間隔を広げる／狭めます。	3／1
「CLR」をタッチ	中止／終了 ● 「CLR」をタッチします(表示されている場合)。	／CLR

● 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

● タッチパネルに指が触れると音が鳴り、バイブレータが動作します。ただし、カメラ起動中や音楽データ再生中、音声入力中など、音やバイブレータが動作しない場合があります。
- ・音量は変更できます(☞P.96)。音色は変更できません。
- ・バイブレータのON／OFFを設定できます(☞P.97)。

機能利用中の操作

機能利用中にコントロールボタンやタッチ操作で、設定変更などができます。

■ 待受画面での操作

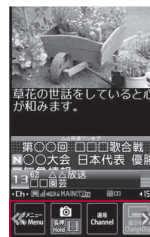
待受画面でのタッチ操作で、待受タッチランチャの起動や時計位置の移動、待受画面の変更など、さまざまな機能を起動できます。

■ コントロールボタンで操作する

機能利用中は、画面下部にコントロールボタンが表示されます。

● 機能やFOMA端末の向きによって、コントロールボタンが常に表示される場合と、表示／非表示を切り替えられる場合があります。コントロールボタンが非表示のときは、機能利用中に画面をタッチ／ロングタッチするとコントロールボタンが表示されます。

例: ミュージックプレーヤー

例: ワンセグ

- コントロールボタンを非表示にする方法は次のとおりです。機能によってはどちらかの方法でしか操作できない場合があります。
  - ■ コントロールボタン以外をタッチ
  - ■ コントロールボタンが表示されている状態で約7秒間何も操作しない
- コントロールボタンに複数のページがある場合は[→次ページ Next]が表示されます。[→次ページ Next]をタッチするとコントロールボタンの表示が切り替わります(フルブラウザ中を除く)。
  - ・ワンセグ視聴中、ビデオ再生中は、コントロールボタンが表示されている部分を左右(横表示中は上下)にスライドします。
- コントロールボタンの形や表示される文字などは、縦／横表示や操作などによって異なる場合があります。
- コントロールボタンが表示される位置は、FOMA端末の向きや操作、機能によって異なります。
- コントロールボタンの有無は機能によって異なります。

■ タッチ操作で操作する

サブメニューやコントロールボタンを表示しなくても、指の操作で簡単に操作できます。

- 機能や画面によって操作できるタッチ操作は異なります。

> - 画面に表示されているボタンなどをタッチしないように操作してください。
> - 電子書籍やWord、Excelファイルなどを表示中は、コントロールボタンを非表示にしてからタッチ操作をしてください。

■ その他の操作

ページの切り替え

一覧画面などに複数のページがある場合は、左右にすばやくスライドしてページを切り替えます。

- 戻るときは右にすばやくスライドします。
- 最後のページで左にすばやくスライドすると最初のページに戻ります。

例：[メール／メッセージ設定]の1/3ページから2/3ページに切り替えるとき

左へすばやくスライド

[メール／メッセージ設定]
1/3ページ　　[メール／メッセージ設定]
2/3ページ

- 画面に[←]／[→]や[▲]／[▼]などのボタンが表示されている場合は、ボタンをタッチしてもページを切り替えることができます。
- [|<<]／[>>|]が表示されているときは、[|<<]をタッチすると最初のページに移動し、[>>|]をタッチすると最後のページに移動します。

音量調節

音量バーが表示された場合、音量バーをタッチしたまま上下にスライドすると、音量を調節できます。

- [音量＋]／[音量－]をタッチしても調節できます。
- ワンセグ視聴画面やミュージックプレーヤー画面などでは、画面をタッチしたり[音量 Volume 長押 Hold ︿]／[音量 Volume 長押 Hold ﹀]をタッチすると音量バーを表示できます。

数字入力

電話番号、端末暗証番号やPINコードなど数字入力が必要なときは数字パネルが表示されます。数字部分をタッチしてください。
なお、日時の設定などの場合、入力欄の数値をタッチすると、タッチした位置に数字を入力できます。

- 横表示のとき、端末暗証番号入力時などは[OK]の代わりに[決定]と表示されます。
- オープンポジションにすると数字パネルが非表示になる場合があります。

文字入力

- 文字を入力する方法については☞P.434

タッチパネルをロックする

ディスプレイの表示を消してタッチパネルをロックし、誤動作を防止することができます。

1 待受画面で▣

- 一定時間FOMA端末を使用しなかったときも、ディスプレイの表示が消えます(☞P.106)。

ディスプレイの表示が消えているとき

- パネルロック解除設定に従い、次の操作でタッチパネルを操作できるようになります。設定にかかわらずオープンポジションにすると、そのままタッチパネルを操作できます。
  - ■ 2ステップ解除:いずれかのボタンを押すとロック画面が表示されます。[鍵アイコン]をタッチするか、▣を押してロックを解除するとタッチパネルを操作できます。
  - ■ シンプル解除:いずれかのボタンを押すと画面が表示され、タッチパネルを操作できます。

- ｉアプリ待受画面設定中は、▣を押すと設定したｉアプリが操作できるようになります。ディスプレイの表示は消えません。

■ タッチパネルロックの解除方法を設定する <パネルロック解除設定>

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[パネルロック解除設定]

2 設定を選ぶ

- パネルロック解除設定を[シンプル解除]に設定している場合、ｉチャネルの情報が自動更新されると画面が表示され、ｉチャネルテロップが表示されます。

■ 音声電話/テレビ電話時のロックについて

誤動作を防ぐため、音声電話・テレビ電話の発信中、呼出中、着信中、通話中(伝言メモの応答中・録音中、通話中音声メモの録音中を含む)などにはタッチパネルが自動的にロックされます。

- ロックの一時解除:▣
  - ・▣を押すと、再びロックされます。
- FOMA端末を開いたときは、タッチパネルロックが一時的に解除され、閉じると再びロックされます。
- タッチパネル/キーロック(☞P.124)とは連動していません。

例:通話中のとき

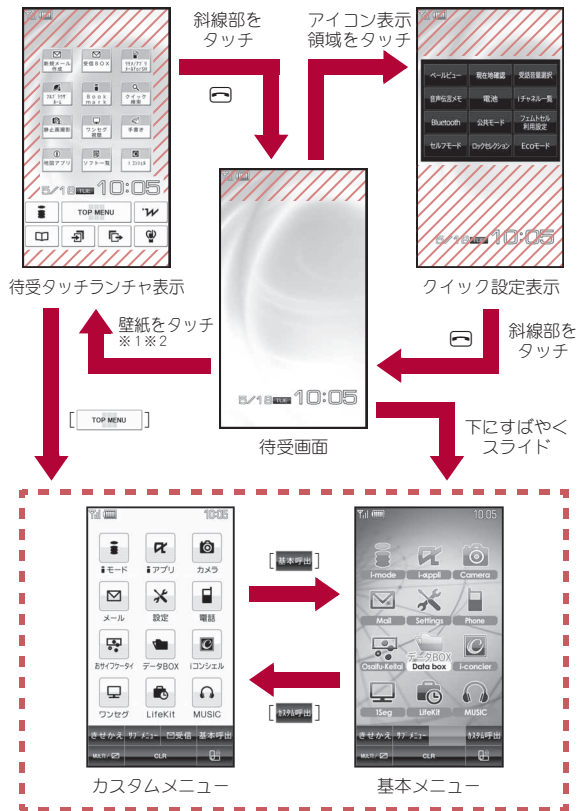
ロック中画面

メニューの選択方法

機能の設定、変更、登録は、メニュー画面から行うことができます。

本書では、カスタムメニューから機能を呼び出す方法を基準に説明しています。なお、待受タッチランチャ、クイック設定から呼び出せる機能については、これらのメニューから呼び出す方法を説明しています。

待受タッチランチャ		電話帳やリダイヤル、着信履歴などの機能を呼び出すアイコンが待受画面に表示され、すばやく起動できます。よく使う機能を登録することもできます。
クイック設定		画面上部に表示されるアイコンに関連した機能の設定メニューが待受画面に表示され、すばやく設定できます。
TOP MENU		すべての機能を呼び出すことができるメニューです。縦表示では表示するメニューをカスタムメニュー／基本メニューから選択できます。 ● 横表示では横表示メニューが表示されます。
	カスタムメニュー	あらかじめ登録されているきせかえツール(☞P.107)を選んで設定することができます。きせかえツールは、それぞれ異なった機能やデザインで構成されています。サイトなどからきせかえツールをダウンロードして利用することもできます。 **登録されているきせかえツール** ■ White ■ Black ■ Magenta ■ 海辺 -BEACH- ■ 拡大メニュー(Large) ■ シンプル(Simple) ■ ダイレクトメニュー ● FOMA端末の本体色によって、お買い上げ時に設定されているきせかえツールが異なります。
	基本メニュー	メニューに表示されるアイコンを選んで、機能を呼び出すことができます。

次ページへ続く

※1 待受タッチランチャ設定を[OFF]に設定しているときは、TOP MENUが表示されます。
※2 次の部分をタッチした場合、待受タッチランチャは表示されません。
- ■ ストックアイコン ■ カレンダー ■ iチャネルテロップ
- ■ 待受メモ ■ ウェルネス表示 ■ 待受時計
- ■ ポップアップメッセージ ■ アイコン表示領域
- ■ ワンセグ録画履歴などのお知らせ

※3 操作ガイダンスを利用して一時的にメニューを切り替えた場合は、待受画面に戻るとメニュー優先設定で設定したTOP MENUに戻ります。

■ 待受タッチランチャ画面のサブメニュー操作

[アイコン登録] ☞P.42

[アイコン移動]▶移動先を選ぶ
- アイコンの位置を入れ替えます。

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[リセット]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]
- 待受タッチランチャをお買い上げ時の状態に戻します。

■ カスタムメニュー画面のサブメニュー操作

[機能割り当て変更] ☞P.108

[機能割り当てリセット] ☞P.108

[メニュー画面リセット] ☞P.109

[メニュー操作履歴のリセット] ☞P.108

[メニュー優先設定] ☞P.41

[操作ガイド]▶項目を選ぶ

■ 基本メニュー画面のサブメニュー操作

[アイコン設定]
- ▶[アイコン画像設定] ☞P.110
- ▶[アイコン名表示] ☞P.110

[背景設定] ☞P.110

[メニュー画面リセット] ☞P.110

[メニュー優先設定] ☞P.41

[操作ガイド]▶項目を選ぶ

■ 横表示メニュー画面のサブメニュー操作

[操作ガイド]▶項目を選ぶ

待受タッチランチャを表示するかどうかを設定する<待受タッチランチャ設定>

電源を入れたときや機能を終了したときに、待受画面に待受タッチランチャを表示するかどうかを設定します。

- 表示方法は次のとおりです。

ON（常時表示）	待受タッチランチャを表示します。待受タッチランチャ以外をタッチすると待受タッチランチャが非表示になります。
ON（一時表示）	待受タッチランチャを表示しません。待受画面の壁紙をタッチすると待受タッチランチャが表示されます。
OFF	待受タッチランチャを表示しません。待受画面の壁紙をタッチしても待受タッチランチャは表示されません（TOP MENUが表示されます）。

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示･ランプ･省電力]▶[待受設定]▶[待受タッチランチャ設定]

2 設定を選ぶ

- [ON（常時表示）]に設定していても、次の場合は待受タッチランチャが非表示になります。
  - ■ ストックアイコン表示中
  - ■ ポップアップメッセージ表示中
  - ■ ワンセグ録画履歴などのお知らせ表示中

TOP MENUを設定する<メニュー優先設定>

縦表示のTOP MENUを設定します。

1 待受タッチランチャで[TOP MENU]▶[設定]▶[表示･ランプ･省電力]▶[メニュー優先設定]

2 メニューを選ぶ▶[はい]

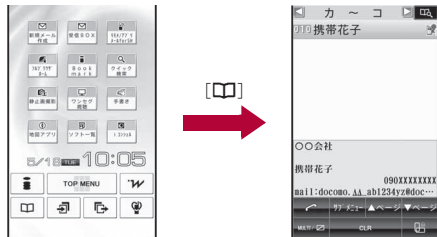
メニューから機能を呼び出す

機能の設定、変更、登録は、メニュー画面から行うことができます。

- メニューはタッチ操作や■で操作することができます。
- TOP MENUや待受タッチランチャなどからメニュー項目を選択するときは、メニューアイコンをタッチして選択します。ワンセグ設定など一覧形式のメニューでは、タッチしてカーソルを合わせてから、もう一度タッチします。メニューに複数のページがある場合は、左右にすばやくスライドしてページを切り替えます。■でスクロールやページ切り替えをすることもできます。

待受タッチランチャから機能を呼び出す

- 起動できる機能については☞P.498
- ■、■、CLRを押すか、または待受タッチランチャ以外をタッチすると待受タッチランチャが非表示になります。

例：電話帳を表示する

待受タッチランチャ　　電話帳を表示

- オープンポジションの場合でも、待受タッチランチャで機能を選ぶときはタッチ操作で行ってください。機能を選んだあとは■で操作することができます。

■ 待受タッチランチャに機能を登録する<アイコン登録>

● 待受タッチランチャの次の部分に12件まで機能を登録できます。

1 待受タッチランチャで変更するアイコンをロングタッチ ▶[アイコン登録]

2 登録する機能にカーソルを合わせる▶[登録]▶[はい]

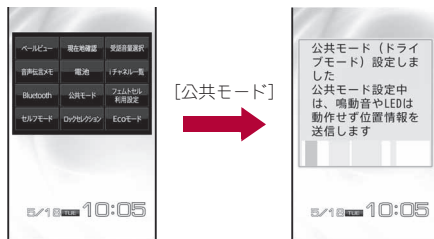
- 発着信履歴／送受信履歴から電話番号／メールアドレスの登録：[発着信履歴]／[送受信履歴]▶電話番号／メールアドレスを選ぶ▶[はい]
  - ・[発着信履歴]／[送受信履歴]を選択したあとに、[着信履歴]／[リダイヤル]、[受信履歴]／[送信履歴]をタッチすると変更できます。

● 待受タッチランチャに登録した電話帳のメモリ番号を変更したり、ｉアプリのソフトを削除すると、待受タッチランチャからも削除されます。
● 待受タッチランチャに登録した電話番号／メールアドレスを変更すると、アイコンが[?]に変わります。
● 新規登録の場合、上書き確認画面は表示されません。
● 2in1利用時は、利用中のモードで表示できない電話帳／電話番号／メールアドレスを登録したアイコンからは起動できません。

● 最上部に登録されている機能は、オープンポジションのときに待受画面のキーボード操作で実行することができます。お買い上げ時の登録は次のとおりです。
[1]（1秒以上）：新規メール作成　[2]（1秒以上）：受信BOX
[3]（1秒以上）：リモメ／アプリメールforSH

クイック設定から機能を呼び出す

● 起動できる機能については☞P.498
● 下にすばやくスライドするとTOP MENUが表示されます。
● [終話]、[■]、[CLR]を押すか、またはクイック設定以外をタッチするとクイック設定が非表示になります。

例：公共モード（ドライブモード）を設定する

クイック設定　　公共モード（ドライブモード）を設定

● オープンポジションの場合でも、クイック設定で機能を選ぶときはタッチ操作で行ってください。機能を選んだあとは[■]で操作することができます。

TOP MENUから機能を呼び出す

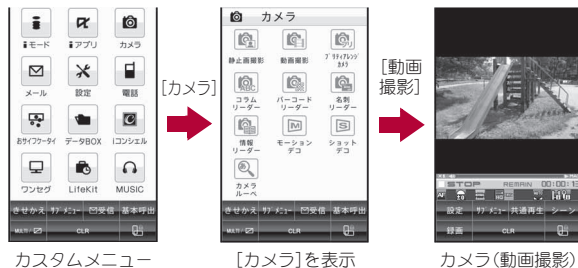
- メニューは機能ごとに分類されています。メニューの内容については☞P.478
- カスタムメニューに設定したきせかえツールによっては、機能の選択方法が異なる場合があります。
- 機能を選び直すときに、📱、CLRを押すか、[CLR]をタッチすると1つ前の画面に戻ります。⌒を押すと待受画面に戻ります。

待受画面にストックアイコン（☞P.33）が表示されているときは、[MENU]を選択するとTOP MENUが表示されます。

ここでは、タッチ操作やマルチガイドボタンでTOP MENUからカメラ（動画撮影）を起動する方法を例に説明しています。

■ カスタムメニューから呼び出す

カスタムメニュー

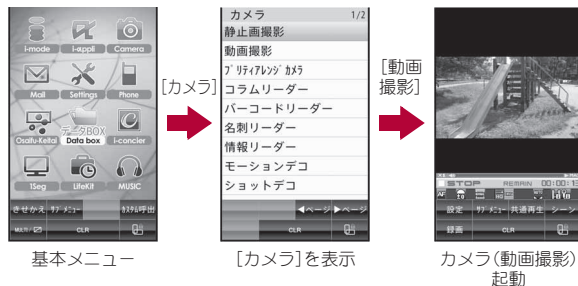
[カメラ]

[カメラ]を表示

[動画撮影]

カメラ（動画撮影）起動

■ 基本メニューから呼び出す

基本メニュー

[カメラ]

[カメラ]を表示

[動画撮影]

カメラ（動画撮影）起動

■ 横表示メニューから呼び出す

横表示メニュー

[カメラ]を表示

[動画撮影]

または

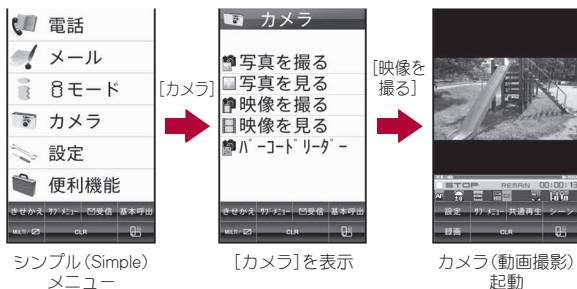
カメラ（動画撮影）起動

- きせかえツールを利用してカスタムメニュー画面を変更したときは、操作方法が本書の説明と異なる場合があります。そのときは、基本メニューに切り替える(☞P.41)か、メニュー画面リセット(☞P.109)を行ってください。
- Bluetooth対応キーボード接続時は、メニューの項目番号に対応するボタンを押しても機能を選択することができます。ただし、カスタムメニュー／横表示メニューでは、メニューの項目番号で選択できないことがあります。

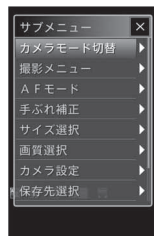
シンプルメニューから機能を呼び出す

- カスタムメニュー[シンプル(Simple)]の内容については、メニュー一覧をご覧ください(☞P.499)。
- 機能を選び直すときに、▣、CLRを押すか、[CLR]をタッチすると1つ前の画面に戻ります。⏎を押すと待受画面に戻ります。

例：カメラ(動画撮影)を起動する

シンプル(Simple)メニュー　[カメラ]を表示　カメラ(動画撮影)起動

サブメニューから機能を選択する

サブメニューから操作や設定変更などを行います(画面によっては、選択できないメニューがある場合や、メニューが異なる場合があります)。

- 機能利用中に、右上から左下(または左上から右下)にすばやくスライドすると、サブメニューが表示されます。

・コントロールボタンの[サブメニュー Sub Menu]／[サブメニュー Sub Menu]、操作ガイダンスの[サブメニュー]、画面上部の[menu]をタッチするか、Fn＋2を押しても表示されます。
・ピクチャテーブル表示中は表示されません。
・待受タッチランチャでは、機能を登録できるアイコンをロングタッチすると表示されます。

- サブメニューをスクロールする場合は、サブメニューが表示されている部分を上下にスライドします。
- 1つ前の画面に戻る場合は、[⮌]をタッチします。
- サブメニューを非表示にする場合は、サブメニュー以外をタッチするか[×]をタッチします。

■ サブメニューから機能を操作したときに対象となるデータについて

- 一覧画面のサブメニューから機能を操作したとき、選択しているデータのみが対象になる場合と、一覧画面のすべてのデータが対象になる場合があります。選択しているデータのみが対象になる機能を操作する場合は、あらかじめ対象にしたいデータを選択してから操作してください。
  - ■ 選択しているデータのみが対象になる機能
    例:タイトル編集、ファイル名編集、1件削除など
  - ■ 一覧画面のすべてのデータが対象になる機能
    例:全件削除、フォルダ内全件コピー、フォルダ内全件移動など

サポートブック

便利に使うためのサポート情報を表示する

FOMA端末の操作方法がわからないときに利用してください。サポートブックが表示され、それぞれの機能の説明や操作方法などを確認することができます。また、サポートブックから機能を直接起動することもできます。

1 待受タッチランチャで[クイック検索]▶[サポートブック]

2 メニューや項目を選ぶ

- 機能を直接起動するとき:起動項目を選ぶ▶[はい]

FOMAカード

FOMAカードを使う

FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているＩＣカードです。FOMAカードには、電話帳のデータやSMSを保存できます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることもできます。

- FOMAカードを取り付けないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、ｉモード、メールの送受信、パケット通信などの通信機能を利用できません。
- 本FOMA端末ではFOMAカード(青色)はご使用になれません。FOMAカード(青色)をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取替えください。

取り付けかた／取り外しかた

- FOMAカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから背面を上向きにし、電池パックを取り外してから行ってください。FOMA端末は、閉じた状態で両手でしっかり持ってください。

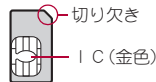
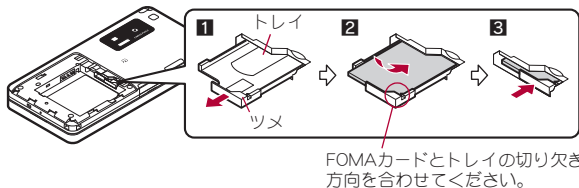
■ 取り付けかた

1 ツメに指などをかけて、トレイを引き出す(1)

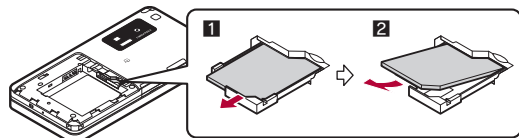
- トレイが止まるところまで、まっすぐ引き出します。

2 FOMAカードのＩＣ(金色)面を下に向けて、トレイにセットする(2)

3 トレイを奥まで差し込む(3)

次ページへ続く

■ 取り外しかた

1 ツメに指などをかけて、トレイを引き出し(1)、FOMAカードを取り外す(2)

- 取り外す際は、FOMAカードを落とさないようにご注意ください。

- 無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとFOMAカードが破損したり、トレイが変形したりするおそれがありますので、ご注意ください。
- FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書を参照してください。
- 取り外したFOMAカードは、なくさないようにご注意ください。
- トレイが外れたときは、トレイをガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。

暗証番号

FOMAカードには「PIN1コード」、「PIN2コード」という２つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも[0000]に設定されていますが、４～８桁の任意の数字に変更できます(☞P.118)。

FOMAカードのセキュリティ機能

<FOMAカードセキュリティ機能>

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するための機能として、FOMAカードセキュリティ機能(FOMAカード動作制限機能)が搭載されています。

- FOMA端末にFOMAカードを挿入した状態で、次のいずれかの方法でデータやファイルを取得したり、ｉアプリを起動したりすると、取得したデータやファイルにはFOMAカードセキュリティ機能が自動的に設定されます。
  - ■ サイトやインターネットホームページから画像やメロディ、PDF、電子書籍／電子辞書／電子コミックなどのファイルをダウンロードしたとき
  - ■ サイトやインターネットホームページを画面メモ登録したとき
  - ■ ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき
  - ■ ｉアプリを起動したとき
- FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイル、ソフトは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、表示／再生／ｉモードメールへの添付／ソフトの起動／赤外線通信機能やｉC通信機能によるデータの送信、microSDカードへのコピーなどを実行できます。別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作が実行できなくなります。
- FOMAカードセキュリティ機能が設定されるデータは次のとおりです。

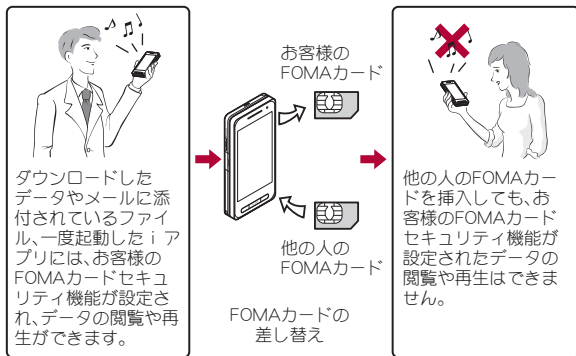
■ メロディ	■ 画像(アニメーション、Flash画像を含む)
■ 画面メモ	■ 着うた®※・着うたフル®
■ キャラ電	■ メッセージR／Fに添付されているファイル
■ ｉモーション	■ トルカ(詳細)の画像
■ PDFデータ	■ デコメール®や署名に挿入されている画像
■ きせかえツール	■ テレビ電話静止画メモ
■ マチキャラ	■ ｉアプリ(ｉアプリ待受画面を含む)
■ ダウンロード辞書	■ ダウンロードフォント
■ コンテンツ移行対応のデータ	
■ メッセージR／F本文中の画像	
■ Music&Videoチャネルの番組	

■ FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータが含まれたデコメール®のテンプレート
■ デコメアニメ®テンプレート
■ 電子書籍／電子辞書／電子コミック
■ 下記以外のｉモードメールに添付されているファイル
・トルカ　・電話帳　・スケジュール
・Bookmark　・ドキュメント

※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

● FOMAカードに保存される設定は次のとおりです。

■ 自局番号表示
■ Bilingual（バイリンガル）
■ SMSセンター設定
■ SMS本文入力設定
■ PIN設定
■ SSL／TLS証明書
■ SMS有効期間設定
■ 優先ネットワーク設定

● 以降、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

● 他の人のFOMAカードに差し替えたときに、FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルを待受画面や着信音などに設定できません。

● FOMAカードを他の人のFOMAカードに差し替えると、FOMAカードセキュリティ機能がはたらき、サイトなどからダウンロードしたデータやファイルを待受画面や着信音などに設定していた場合、お買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、設定した状態に戻ります。

例：FOMAカードセキュリティ機能が設定された［メロディA］を着信音に設定したとき

お客様のFOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えたりすると、着信音はお買い上げ時に設定されていた着信音になります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、［メロディA］の着信音に戻ります。

● 赤外線通信機能やデータの送受信機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影した静止画や動画などには、FOMAカードセキュリティ機能が設定されません。

● 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルを移動したり削除することはできます。

● ｉモードメールのメール詳細画面で反転表示されている文字などを選択して、ｉアプリを起動する場合、FOMAカードセキュリティ機能が設定されていると、起動や取得ができません。

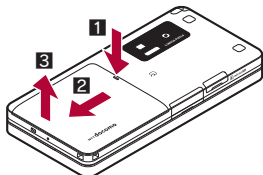
● ｉアプリ待受画面を設定後、他の人のFOMAカードに差し替えると、設定したｉアプリを待受で起動できないため、待受画面設定で設定した画像が表示されます。

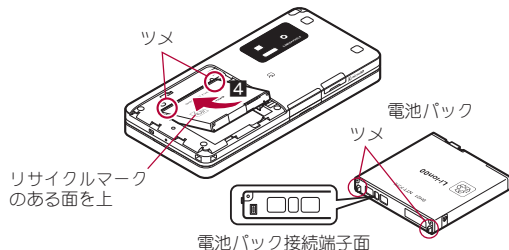
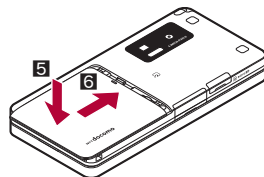
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

電池パックは、FOMA端末専用の電池パック SH21をご利用ください。

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってからFOMA端末を閉じ、両手で持って行ってください。

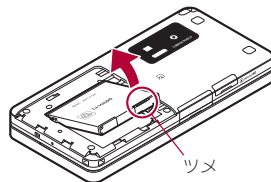
■ 取り付けかた

1 リアカバーの凹部を矢印の方向（1）へ押しながら約3 mmスライドさせて（2）、リアカバーを取り外す（3）

2 電池パックを取り付ける（4）

- 電池パックのリサイクルマークのある面を上に向けて、FOMA端末と電池パックのツメを合わせて取り付けてください。

3 リアカバーを約3 mm開けた状態でFOMA端末のミゾに合わせ、矢印の方向（5）へ押しながらスライドさせて（6）、リアカバーを取り付ける

■ 取り外しかた

1 「取り付けかた」の操作 1 の手順でリアカバーを取り外す

2 電池パックを取り外す

- 電池パックには取り外し用のツメが付いています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指をかけて上方向に取り外してください。

- 無理に取り付けたり、取り外したりすると、FOMA端末の電池パックとの接続端子（充電端子）が破損することがあります。
- リアカバーはしっかりと閉めてください。不十分だとリアカバーが外れ、振動で電池パックが外に飛び出すおそれがあります。

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタ(別売)、DCアダプタ(別売)で充電してからご使用ください。

■ 充電時のご注意

- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、FOMA端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。
  このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタからFOMA端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、電池警告音が鳴る、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされ、警告音が鳴ったあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 電池切れの表示がされ、警告音が鳴ってから60秒以内に充電を始めると、通常の状態に復帰します。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから(電池残量が減ってからなど)充電することをおすすめします。

■ 充電時間の目安とランプ表示について

FOMA端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間の目安は次のとおりです。

FOMA ACアダプタ01／02	約120分
FOMA DCアダプタ01／02	約120分

- 充電中は充電ランプが赤色で点灯し、充電が完了すると消えます。
- 充電ランプが赤色で点滅したときは、電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。また、電池パックが寿命のときも赤色で点滅します。
- FOMA端末の電源を入れておいても充電できます(充電中は電池マークが点滅します)。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。充電停止中は、充電ランプは消灯します(電池マークは停止中でも点滅します)。

■ 十分に充電したときの利用可能時間(目安)

連続通話時間	FOMA／3G		音声電話時:約210分
			テレビ電話時:約130分
	GSM		音声電話時:約220分
連続待受時間	FOMA／3G	3G／GSM切替:3G	移動時:約350時間
		3G／GSM切替:自動	移動時:約330時間
			静止時:約510時間
	GSM	3G／GSM切替:自動	静止時:約290時間
ワンセグ視聴時間			約230分

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態で使用できる時間の目安であり、連続待受時間は、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。iモード通信を行うと、通話(通信)・待受時間は短くなります。iチャネルをご契約の場合は、情報を自動的に受信して更新しますので、通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信を行わなくても、画像の撮影や編集、ワンセグの視聴、iモードメールの作成、ダウンロードしたiアプリやiアプリ待受画面の起動、ミュージックプレーヤー、iモーションプレーヤー、オートGPS、Bluetooth機能の使用、データ通信などによって、通話(通信)・待受時間は、短くなります。iアプリのソフトによって、ダウンロードしたあとも通信を行う場合があります。あらかじめ設定することによって、接続を行わないようにできます。
- 実際のご利用時間は、待受と通話の組み合わせとなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。

次ページへ続く

- ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク 01(別売)を使用して視聴できる時間の目安です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより、通話(通信)・待受時間が半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。

■ 電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion00

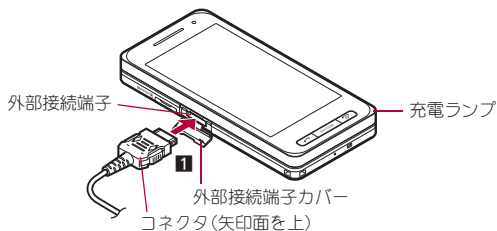
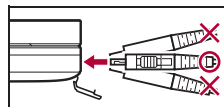
■ 充電について

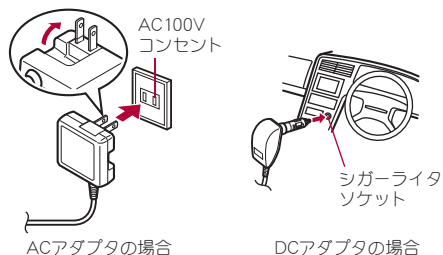
- 詳しくはFOMA ACアダプタ01／02(別売)、FOMA海外兼用ACアダプタ01(別売)、FOMA DCアダプタ01／02(別売)の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ02／FOMA海外兼用ACアダプタ01は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

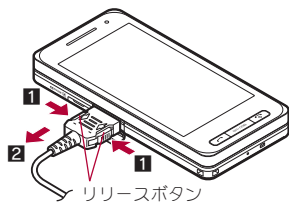
ACアダプタ／DCアダプタを使って充電する

[必ずFOMA ACアダプタ01／02(別売)、FOMA DCアダプタ01／02(別売)の取扱説明書を参照してください]

- オープンポジションでも充電できます。

1 外部接続端子カバーを開き、ACアダプタまたはDCアダプタを外部接続端子に水平に差し込む(1)

- コネクタの向き(裏表)をよく確かめ、FOMA端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む、またはDCアダプタの電源プラグを車のシガーライタソケットに差し込むと、充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯して、充電が開始する**

ACアダプタの場合　DCアダプタの場合

3 **充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯すると、充電が完了する**

- コネクタを取り外すときは、コネクタの両側にあるリリースボタンを押したまま(1)、コネクタを水平に抜いてください(2)。

- 無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子やコネクタが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。
- 長時間使用しないときは、アダプタをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。
- 外部接続端子カバーは無理に引っ張らないでください。破損することがあります。
- 充電時FOMA端末の周りに物などを置かないでください。FOMA端末に傷を付けるおそれがあります。

DCアダプタのとき

- DCアダプタはマイナスアース車専用です(DC12V・24V両用)。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズ(2 A)は消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。
- 詳しくは、FOMA DCアダプタ01／02の取扱説明書をご覧ください。

卓上ホルダを使って充電する

[必ず卓上ホルダ SH30(別売)の取扱説明書を参照してください]

- クローズポジションにしてご利用ください。

1 **ACアダプタのコネクタの矢印面を上に向けて、卓上ホルダの接続端子に差し込む(1)**

- コネクタが卓上ホルダに水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

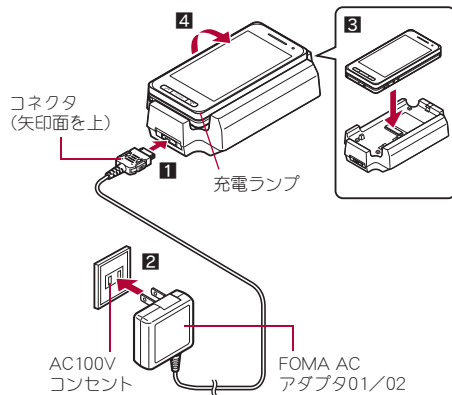
2 **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む(2)**

次ページへ続く

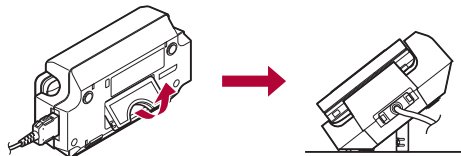
3 **FOMA端末を卓上ホルダに置くと、充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯して、充電が開始する**

- FOMA端末を矢印の方向に「カチッ」と音がするように置いてください(3)。

4 **充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯すると、充電が完了する**

- 卓上ホルダを押さえながら、FOMA端末を矢印の方向に持ち上げます(4)。

卓上ホルダを斜めに立てた状態で充電するときは

卓上ホルダ背面のスタンドを利用すると、斜めにして立てた状態で充電することもできます。

- 背面のスタンドを立てる際は、無理に力を加えると破損する場合がありますのでご注意ください。

- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 充電開始音が鳴らないとき、充電ランプが点灯しないときは、FOMA端末が卓上ホルダに正しく置かれていないことがあります。正しく置きなおしてください(電源を切っているときやマナーモード中、充電開始音がサイレントの場合は除く)。
- FOMA端末を卓上ホルダに置くときは、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。

電池残量

電池残量の確認のしかた

- 電池マークを[電池マーク%表示]に変更するとパーセント表示になります。ただし、100%のときは[FULL]、4%以下のときは[LOW]が表示されます。
- 表示されるマークやパーセント表示は目安です。
- 使用状況によっては、電池残量が大きく変動することがあります。
- 充電完了後でも、FOMA端末を長時間放置している場合や、電源を入れたままにしている場合は、電池残量が減少している場合があります。

	81～100%	電池残量が十分残っています。
	61～80%	電池残量が残っています。
	41～60%	電池残量が少なくなっています。
	21～40%	電池残量が残りわずかになっています。
	1～20%	電池残量がほとんどありません。充電してください。
	0%	電池残量がありません(しばらくすると電源が切れます)。

■ 電池マークのデザインを変更する<電池マーク表示設定>

1 クイック設定で[電池]▶[電池マーク表示設定]▶[画像選択]

2 画像にカーソルを合わせる▶[決定]

■ 電池マークを一時的にパーセント表示にする<電池マーク%一時表示>

電池マークを[電池マーク%表示]以外に設定している場合、ディスプレイの表示が消えた状態から再度表示させると、電池マークが約3秒間パーセント表示されます。

1 クイック設定で[電池]▶[電池マーク%一時表示]▶[ON]

電池残量を音と表示で確認する<電池残量>

1 クイック設定で[電池]▶[電池残量]

- 電池残量をパーセント表示とグラフィックで表示します。また、電池残量に応じて、電池残量確認音の鳴動回数でもお知らせします。

グラフィック	電池残量確認音「ピー」の鳴動回数
	5回
	4回
	3回
	2回
	1回

- 約5秒間経過すると表示は消えます。
- 電池残量確認音は、ボタン/タッチ音で設定した音量で鳴ります(☞P.96)。
- マナーモードを設定している場合、電池残量確認音はマナーモードの設定に従います。

電池が切れたら

電源が切れそうになると、[電池がありません。保存していないデータは失われます。動作中の機能は終了します]と表示されます([確認]を選択すると表示は消えます)。しばらくすると警告音が「ピピピ…」と鳴ります。電池切れの警告画面が表示され、端末の操作ができなくなり、約60秒後に電源が切れます。

- 音声電話やテレビ電話の通話中は、警告音が「ピピピ…」と鳴り、[電池がありません。保存していないデータは失われます。動作中の機能は終了します]と表示されます。約20秒後に通話が切れると同時に上の画面が表示され、約60秒後に電源が切れます。
- マナーモードや公共モード(ドライブモード)を設定しているときは、警告音は鳴りません(通話中を除く)。

電源ON／OFF

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **（2秒以上）**

- ウェイクアップ画面が表示されるまで時間がかかることがあります。
- ウェイクアップ画面が表示され、初期設定画面が表示されます。続けて、初期設定（☞P.54）の操作を行ってください。
- 初期設定が完了しているときは、電源を入れると、右のような画面が表示されます。この画面を「待受画面」といいます（待受タッチランチャ設定に従って、待受タッチランチャが表示されている場合があります）。

待受画面

Welcomeメールについて

- お買い上げ時は、「Welcomeドコモ動画」、「緊急速報「エリアメール」のご案内」が保存されています。
- Welcomeメールの確認：待受画面でストックアイコン[✉]（新着メールあり）を選ぶ
  - 以降の操作については☞P.150

- 初期設定が完了していないときは、電源を入れるたびに設定画面が表示されます。
- FOMAカードが挿入されていないときは、[FOMAカード（UIM）を挿入／再確認してください]と表示され、FOMAカードエラーが表示されます（☞P.31）。
- [PIN1コードを入力してください]と表示されたときは、PIN1コード（☞P.118）を入力します。
- FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。正しく入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。ただし再度電源を入れることは可能です。
- [圏外]が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。表示が消えるところまで移動してください。

電源を切る

1 **（2秒以上）**

- 電源が切れるまで時間がかかることがあります（電源が切れるまでディスプレイに終了画面が表示されます）。

初期設定

初期設定を行う

はじめてFOMA端末の電源を入れると自動的に初期設定画面が表示されます。各設定項目はメニューからも設定できます（初期設定が完了しているときは、待受画面が表示されます）。

- ■ 日時設定
- ■ 端末暗証番号変更
- ■ ボタン／タッチ音
- ■ 位置提供設定
- ■ 文字サイズ一括設定

- 設定されていない項目があるときは、FOMA端末の電源を入れるたびに、設定画面が表示されます。
- カスタムメニューで[設定]▶[初期設定]でも設定画面を表示できます。

1 **日付・時刻を設定（☞P.55）**

2 **端末暗証番号を登録（☞P.117）**

3 **ボタン／タッチ音を設定（☞P.96）**

4 **GPS位置提供可否を設定（☞P.326）**

5 **文字サイズを一括設定（☞P.113）**

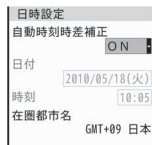
- 初期設定が完了するとソフトウェア更新機能確認画面が表示されます。記載内容をお読みになり[確認]を選択してください（メニューから初期設定を行ったときや、ソフトウェア更新を[自動で更新]以外に設定しているときは表示されません）。

- 初期設定を中止するときは、を押します。

日時設定

日付・時刻を合わせる

FOMA端末の日付と時刻を設定します。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[日時設定]**

2 **[自動時刻時差補正]欄を選ぶ▶設定を選ぶ**

◆ **[ON]▶[完了]**

◆ **[OFF]▶[日付]欄を選ぶ▶日付を入力▶[決定]▶[時刻]欄を選ぶ▶時刻(24時間制)を入力▶[決定]▶[完了]**

- 月日・時刻が１桁(１～９)のときは、01～09と入力します。
- 日時は、2001年１月１日 00:00から2050年12月31日 23:59まで設定できます。

- 料金上限通知設定が[有効]に設定されている場合は、日時設定の際に端末暗証番号を入力する必要があります。
- 設定した日付・時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、約30秒以上電池パックを外した状態が続くとリセットされます。また、電池残量のない状態で放置するとリセットされることがあります。そのときは、充電してから設定し直してください。

- 日付・時刻を正しく設定しないと、次の機能が正しく利用できません。
  - ■ リダイヤル、着信履歴
  - ■ 自動電源ON／OFF
  - ■ アラーム
  - ■ スケジュール
  - ■ SSL／TLS通信(認証)
  - ■ ｉアプリ自動起動
  - ■ ｉアプリDX起動
  - ■ 視聴予約、録画予約
  - ■ マチキャラ
  - ■ ソフトウェア更新
  - ■ パターンデータ更新
  - ■ 音声電話伝言メモ、テレビ電話伝言メモ
  - ■ カメラ画像のタイトル・撮影日時記録
  - ■ 再生期限／再生期間が設定されているｉモーションや音楽データの再生
  - ■ 閲覧期限／閲覧期間が設定されている電子書籍／電子辞書／電子コミックの表示

[自動時刻時差補正]を[ON]にしたとき

- 電源を入れたときにネットワークの時刻情報をもとに、時刻の補正を行います。
- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。
- 海外などで時差補正が行われると、リダイヤル、着信履歴やメール受信／送信履歴一覧(SMSのみ)、受信／送信メール一覧、位置履歴一覧には現地での日時と[ ]が表示されます。受信／送信メールは表示されている日時の順ではなく、メールを受信／送信した順に表示されます。
- メールの未送信BOXには、[ ]は表示されません。また、未送信BOXを日付順表示にしていると、未送信メールは表示されている日時の順に表示されます。
- 海外通信事業者のネットワークによっては時差補正が行われないときがあります。タイムゾーンを手動で変更してください。
- 海外でご利用時、次の場合を除いて日本時間と現地時間(または都市設定で設定した時間)がデュアル表示されます。
  - ■ 自動時刻時差補正が[ON]で、海外通信事業者のネットワークから時刻補正情報を受信していないとき
  - ■ 自動時刻時差補正が[OFF]で、都市設定を日本時間と同じ都市に設定しているとき

■ タイムゾーンを手動で変更する<都市設定>

1 日時設定画面で[自動時刻時差補正]欄を選ぶ▶[OFF]▶[都市設定]

2 タイムゾーンを選ぶ

3 都市を選ぶ▶[完了]

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

音声電話やテレビ電話をかけるときに、相手の電話機(ディスプレイ)に自分の電話番号(発信者番号)を表示させることができます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知するかしないかの設定については、十分にご注意ください。
- 発信者番号通知機能は、相手の電話機が発信者番号を表示可能な場合に利用できます。
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にするか「186」を付けてからおかけ直しください。

あらかじめ通知/非通知を設定する <発信者番号通知設定>

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[発信者番号通知]

2 [発信者番号通知設定]
- 設定の確認:[発信者番号通知確認]

3 設定を選ぶ
- 通知する:[はい]
- 通知しない:[いいえ]

- 圏外のときは、発信者番号通知設定できません。

自局番号表示

自分の電話番号を確認する

- 通話中に自分の電話番号を確認するときは☞P.60

1 カスタムメニューで[電話]▶[自局番号表示]
- 横表示メニューで0を押しても操作できます。
- Aナンバー/Bナンバーの切替(2in1[デュアルモード]時):[Aナンバー]/[Bナンバー]

- 2in1のBナンバーを変更したときは、次のいずれかの方法で正しいBナンバーを取得してください。
  - ■ 2in1機能をOFFにしてから、再度2in1設定を行い2in1機能をONにする
  - ■ 2in1契約問い合わせを行う
- FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1未契約者)を行ったときは、2in1機能をOFFにしてください。
- FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1契約者)を行ったときは、2in1契約問い合わせを行ってください。
- 所有者情報登録については☞P.416

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話の設定

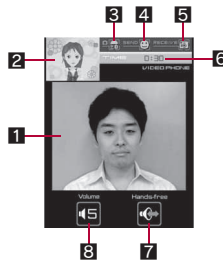
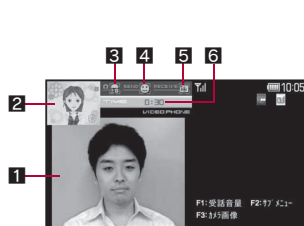
テレビ電話

本FOMA端末は、内側にカメラを搭載しておりませんので、相手に送る画像はキャラ電、静止画または背面のカメラで撮影中の映像となります。

- テレビ電話を利用する場合、お買い上げ時はキャラ電の［キャラ（女性）］が相手に送信されます。
- 送信する代替画像を変更するとき☞P.78
- テレビ電話は64K（kbps）で通信できます。
- 相手がテレビ電話に出ると、［テレビ電話接続　を押すとハンズフリーへの切替・解除ができます］と表示されます。この時点からデジタル通信料がかかりますので、ご注意ください。
- 緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけることはできません。
- テレビ電話通信機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。
- テレビ電話中は、お互いの映像を見ながら通話できるように、別売りのイヤホンマイク（☞P.421）を利用するか、ハンズフリーを利用してください。
- ドコモのテレビ電話は、「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1　3GPP（3rd Generation Partnership Project）：第３世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2　3G-324M：第３世代携帯テレビ電話の国際規格です。

テレビ電話中の画面の見かた

- 画面はイメージで、実際に同じ画面は表示されません。

1 親画面：相手側の映像（お買い上げ時）

2 子画面：自分側の映像（お買い上げ時）

3 自分側のカメラ映像の明るさ

±0	-2 暗い	-1 ←	±0 標準	+1 →	+2 明るい

4 送信画像マーク

	カメラ映像を送信中
	カメラ映像の一時停止中
	キャラ電（全体アクションモード）を送信中
	キャラ電（パーツアクションモード）を送信中
	代替画像として静止画を送信中
	データBOXのマイピクチャの静止画を送信中

5 受信画像マーク

	相手側の画像を撮影、保存するときに表示

6 通話時間

- 表示される通話時間は目安です。通話時間は９時間59分59秒まで表示され、これを超えると０分00秒に戻ります。

7 ハンズフリーマーク

(赤色)	ハンズフリー通話中
(緑色)	USBハンズフリー通話中

8 受話音量マーク

5	1(音量１)〜10(音量10)

- テレビ電話中のディスプレイの明るさは、照明・省電力設定のオリジナルEcoモードの設定に従います。

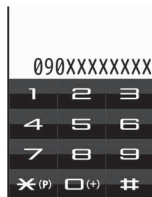
電話／テレビ電話をかける

- 電波が強く[ ]が表示されていて移動せずに通話をしているときでも、通話が切れることがあります。
- マルチナンバーを選んでかけるとき☞P.455
- 2in1利用時に発信番号を選んでかけるとき☞P.456

1 待受画面で[ ]▶電話番号を入力

- [ ]を押すと、数字パネルが表示されます。電話番号をタッチしてください。
- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 80桁まで入力できます。
- 電話番号を消去：[CLR]／[ ]

電話番号入力のボタン操作

0〜9	0〜9
Fn＋S	＊
Fn＋D	#
0(１秒以上)	＋
[ ]	P

2 [ ](音声電話)／[テレビ電話]

- [ ]を押しても音声電話をかけることができます。
- 携帯電話は一般の電話と違い、「ルルル……」という呼出音の前に「プッププッ」という発信音が入ります。
- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。電話を切り、しばらくたってからかけ直してください。
- 発信するとタッチパネルがロックされます。ロックの解除方法については☞P.38

音声電話中の操作

- ハンズフリーの設定／解除：[ ](１秒以上)

テレビ電話中の操作

- ハンズフリーの設定／解除：[ ]
- カメラ画像／代替映像の切替：[カメラ画像]／[代替画像]

3 通話が終わったら[ ]

- 次の場合、オープンポジションでは発信できません。クローズポジションに戻してください。
  - ■ 音声電話をかけるとき
  - ■ テレビ電話ハンズフリー設定が[OFF]で、テレビ電話をかけるとき

  ただし、イヤホンマイク(別売)などを接続しているときは、オープンポジションでも発信できます。
- オープンポジションでハンズフリーが解除の場合、送話口と受話口からの音はミュートされます。通話中は別売りのイヤホンマイク(☞P.421)を利用するか、ハンズフリーを利用してください。
- 2in1のモードが[デュアルモード]のときは、操作２のあとに発信番号選択画面が表示されます。発信番号を選択してください。
- 通話直後に着信やアラームの動作があった場合、着信音やアラーム音は設定にかかわらず[音量１]で鳴ります。

テレビ電話のとき

- テレビ電話に対応していない端末にテレビ電話をかけたときは接続できません。また、ネットワーク状況によって64Kが利用できない機器と接続するときも接続できません。
- キャッチホンをご契約いただいている場合、テレビ電話中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、着信履歴に記憶され、ストックアイコン[ ](着信あり)が表示されます。

次ページへ続く▶▶

- 音声や映像の送受信に失敗したとき、自動的に復旧はしません。もう一度テレビ電話をかけ直してください。

テレビ電話がつながらなかったとき

- テレビ電話がつながらなかったときは、接続できなかった理由をメッセージで表示します。なお、相手のFOMA端末の種類やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とは異なる場合があります。
  - [番号をご確認の上、おかけ直しください]：使われていない電話番号にかけたときに表示されます。
  - [お話中です]：相手が通話中に表示されます（相手の端末によっては、パケット通信中のときにも表示されることがあります）。
  - [転送致しますのでお待ちください]：相手が転送設定しているときに表示されます。
  - [電波の届かない所にいるか、電源が切れています]：相手が圏外にいるか、または電源を入れていません。
  - [発信者番号通知をONにしてください]：発信者番号非通知で接続したときに表示されます（ビジュアルネットなどの発信時）。
  - [音声電話でおかけ直しください]：転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末のときに表示されます。
  - [パケット通信中です]：相手がパケット通信中に表示されます。
  - [上限額を超過しているため接続出来ません]：リミット機能付プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超過しているときに表示されます。
  - [接続できませんでした]：いずれの理由にも該当しないときに表示されます。

ハンズフリーについて

- ハンズフリー利用時の注意事項については☞P.79
- 発信中、呼出中も操作できます。着信中は操作できません。
- 通話を終了するとハンズフリーは解除されます。

フェムトセル利用時の表示について

- フェムトセル利用中は、その旨が表示されます。
  - 音声電話／テレビ電話の発信中：[フェムトセル発信中]
  - 音声電話／テレビ電話の呼出中：[フェムトセル呼出中]
  - 音声電話の通話中：[フェムトセル通話中]

■ ダイヤル入力画面のサブメニュー操作

[電話帳登録] ▶ 電話帳に登録	
[番号通知設定]	☞P.66
[番号付加設定]	
▶ [プレフィックス選択]	☞P.69
▶ [国際電話発信]	☞P.67
[マルチナンバー選択]	☞P.455
[2in1選択]	☞P.456
[テレビ電話画像設定]	☞P.78
[着もじ]	☞P.65

■ 音声電話中画面のサブメニュー操作

[通話保留]	☞P.61
[切替]（キャッチホンでの通話中のみ） ● 通話相手を切り替えます。	
[保留呼切断]（キャッチホンでの通話中のみ） ● 保留中の電話を切ります。	
[通話中音声メモ]	☞P.417
[電話帳登録] ▶ 電話帳に登録	
[自局番号表示]	
[テレビ電話切替]	☞P.61
[Bluetooth－本体切替] ● Bluetooth機器を利用した通話の詳細については☞P.428	

■ テレビ電話中画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、音声電話中画面のサブメニュー操作（☞P.60）を参照してください。
  - ■ 通話保留　■ 自局番号表示　■ Bluetooth－本体切替

[受話音量] ▶ 音量バーをタッチしたまま上下にスライド ● 受話音量調節の詳細については☞P.71		
[送信画像切替]		
	▶ [カメラ画像]	☞P.77
	▶ [代替画像]	☞P.77
	▶ [キャラ電]	☞P.77
	▶ [ファイル再生]	☞P.77
	▶ [カメラ画像一時停止]	☞P.78
[静止画メモ] ▶ [📷] ● 相手側の画像を静止画撮影します。		
[テレビ電話設定]		
	▶ [テレビ電話画面設定]	☞P.79
	▶ [子画面表示設定]	☞P.79
	▶ [送信画質設定]	☞P.79
	▶ [テレビ電話中照明]	☞P.80
	▶ [明るさ調整]	☞P.78
[音声電話切替]		☞P.61
[キャラ電設定]		
	▶ [キャラ電切替]	☞P.77
	▶ [アクション切替]	☞P.77
	▶ [アクション一覧]	☞P.77

[静止画メモ]について

- テレビ電話画面設定を[自分のみ]に設定しているときは、操作できません。
- 撮影サイズは「QCIF：176×144」です。
- 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに保存されます。
- 撮影した静止画はFOMA端末外へ出力できません。
- シャッター音は鳴りません。
- 静止画撮影中、相手には自分側の映像に[撮影中]という文字が重なって表示されます。

[送信画質設定]について

- テレビ電話中に設定したときは、その通話に限り有効です。

通話中に保留する<通話保留>

1 通話中に[サブメニュー] ▶ [通話保留]

2 通話を再開するときは[📞]／[📞]

- テレビ電話中は[カメラ画像]をタッチするとカメラ映像で再開できます。

- 相手には保留音が流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。テレビ電話のとき、相手には保留画像設定で設定した画像が送信され、[保留]という文字が重なって表示されます。

テレビ電話切替／音声電話切替

電話／テレビ電話を切り替える

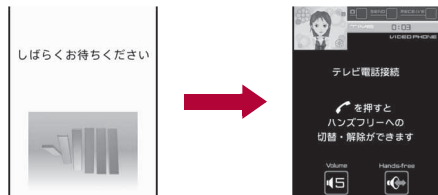
自分から電話をかけたときに、音声電話⇔テレビ電話を切り替えることができます。

- 相手のFOMA端末のテレビ電話切替機能通知（☞P.80）が「開始」に設定されている必要があります。
- 電話を受けたときは切り替えることができません。相手から切り替えてもらってください。

1 通話中に[サブメニュー] ▶ [テレビ電話切替]／[音声電話切替] ▶ [はい]

- 音声電話中は、[テレビ電話]をタッチしても切り替えることができます。

次ページへ続く ▶▶

- 切り替えには、約5秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかるときがあります。切り替え中は、[しばらくお待ちください]と表示され、音声ガイダンスが流れます。

音声電話からテレビ電話へ切り替えるとき

- ワンセグ起動中は切り替えることができません。
- 音声電話⇔テレビ電話を切り替えると、通話時間表示は0秒から開始されます。
- 電波状況によっては、音声電話からテレビ電話またはテレビ電話から音声電話に切り替わらず、接続が切れるときがあります。
- 切り替え中は、通話時間に含まれず、料金は加算されません。

音声電話からテレビ電話へ切り替えるとき

- 相手が映像を表示しないように選択したとき、相手側のカメラ映像は表示されません。
- パケット通信中のときは、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 切り替え前の通話状態にかかわらず、テレビ電話に切り替えるとハンズフリー通話になります。
- キャッチホンでの通話中に、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。

テレビ電話から音声電話へ切り替えるとき

- ハンズフリーは解除されます。

リダイヤル／着信履歴

リダイヤル／着信履歴を利用する

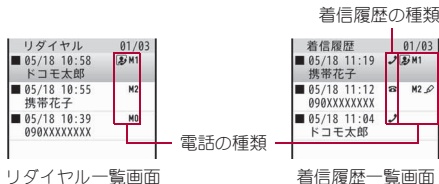
最新の履歴からそれぞれ30件までFOMA端末に記憶されます。

- 同じ電話番号に複数回かけたときは最新の1件だけがリダイヤルに記憶されます。ただし、「186」や「184」を付けて電話をかけたときは、別のリダイヤルとして記憶されます。
- 2in1利用時は、AナンバーとBナンバーのリダイヤル／着信履歴がそれぞれ30件まで記憶されます。
- 電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。

1 待受画面で右（リダイヤル）／左（着信履歴）にすばやくスライド

- 待受タッチランチャでは：[ ]（リダイヤル）／[ ]（着信履歴）
- 詳細画面の表示：電話番号を選ぶ
- リダイヤル／着信履歴一覧画面の切替：[リダイヤル]／[着信履歴]
- 次ページ／前ページの切替：左右にすばやくスライド

リダイヤル一覧画面　　着信履歴一覧画面

電話の種類

表示なし	音声電話
(テレビ電話アイコン)	テレビ電話
(64Kデータ通信アイコン)	64Kデータ通信（着信履歴のみ）
(国際電話アイコン)※	国際電話
M0～M2	マルチナンバー発着信（マルチナンバー設定時のみ）
B	Bナンバー発着信（2in1［デュアルモード］時のみ）
(着もじアイコン)	着もじ（着信履歴のみ）

📶	フェムトセル発信

※ 電話番号または名前の左側に表示されます。

着信履歴の種類

☎	電話に出たものや、応答保留したもの
📼	伝言メモで用件を録音／録画したもの
☎	電話に応答しなかったもの、転送先や留守番電話サービスセンターに転送したもの、電話帳指定着信許可（☞P.126）、電話帳指定着信拒否（☞P.126）、電話帳登録外着信拒否（☞P.128）、非通知理由別着信拒否（☞P.127）、公共モード（ドライブモード）（☞P.73）の設定により着信が拒否されたもの

2 電話番号を選ぶ▶電話をかける

- 音声電話：[📞]／[📞]
- テレビ電話：[テレビ電話]

- 通話中に音声電話⇔テレビ電話を切り替えても、電話の種類には発信時／応答時の種類が表示されます。
- ダイヤルインをご利用の相手からの着信のとき、相手のダイヤルイン番号とは異なる番号が表示されるときがあります。
- 着もじを受信した着信履歴から発信しても、受信した着もじは送信されません。
- 電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、メモリ番号の小さい方の名前が表示されます。
- 電話帳にピクチャーコールを設定しているときは、リダイヤル／着信履歴詳細画面にも画像が表示されます。ただし、文字サイズ設定の一括設定を[小さい]以外に設定している場合は、表示されません。
- 文字サイズ設定の一括設定を[小さい]以外に設定している場合、リダイヤル／着信履歴詳細画面で電話番号や電話帳に登録されている名前がすべて表示されていないときがあります。この場合左にすばやくスライドして表示を切り替えてください。文字サイズ設定の一括設定を[最大]に設定している場合、左にすばやくスライドして表示を切り替えても、名前がすべて表示されないときがあります。

■ リダイヤル一覧画面のサブメニュー操作

[電話帳登録]▶電話帳に登録

[削除]

▶[1件削除]▶[はい]

▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[メール作成]▶メールを作成・送信

[スケジュール作成]▶スケジュールを登録

[居場所を確認]▶[はい]

[削除]について

- リダイヤルを全件削除すると、着もじの送信メッセージ履歴も削除されます。
- リダイヤルを全件削除すると、AナンバーとBナンバーのすべてのリダイヤルが削除されます。

[スケジュール作成]について

- 表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されます。
  - ■ 日時：発信／着信日時　■ 連絡先：電話番号

[居場所を確認]について

- イマドコかんたんサーチのｉモードサイトに接続します。
- ご利用には別途検索料（検索成功時のみ）とパケット通信料がかかります。

■ 着信履歴一覧画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、リダイヤル一覧画面のサブメニュー操作（☞P.63）を参照してください。
  - ■ 電話帳登録　■ 削除　■ メール作成
  - ■ スケジュール作成　■ 居場所を確認

[全表示]／[限定表示]

- 着信履歴の全表示／限定表示を切り替えます。

[削除]について

- 着信履歴を全件削除すると、AナンバーとBナンバーのすべての着信履歴が削除されます。

次ページへ続く▶▶

[全表示]、[限定表示]について

- 呼出動作開始時間設定が[ON]で、不在着信履歴表示が[OFF]に設定されている場合に、電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたとき、次の着信は、着信履歴には表示されません。
  - ■ 呼出動作開始時間内に電話が切断された着信
  - ■ 電波の状況が悪いために切断された着信

  ただし、[全表示]を選択すると表示させることができます。

■ リダイヤル詳細画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、リダイヤル一覧画面のサブメニュー操作(☞P.63)を参照してください。
  - ■ 電話帳登録 ■ メール作成 ■ スケジュール作成
  - ■ 居場所を確認

[1件削除]▶[はい]	
[番号通知設定]	☞P.66
[番号付加設定]	
▶[プレフィックス選択]	☞P.69
▶[国際電話発信]	☞P.67
[マルチナンバー選択]	☞P.455
[2in1選択]	☞P.456
[テレビ電話画像設定]	☞P.78
[着もじ]	☞P.65

■ 着信履歴詳細画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、リダイヤル一覧画面のサブメニュー操作(☞P.63)を参照してください。
  - ■ 電話帳登録 ■ メール作成 ■ スケジュール作成
  - ■ 居場所を確認
- 次の機能については、リダイヤル詳細画面のサブメニュー操作(☞P.64)を参照してください。
  - ■ 1件削除 ■ 番号通知設定 ■ 番号付加設定
  - ■ マルチナンバー選択 ■ 2in1選択 ■ テレビ電話画像設定
  - ■ 着もじ

[呼出時間表示]	
[全表示]／[限定表示] ● [全表示]、[限定表示]について☞P.64	

[呼出時間表示]について

- 着信履歴の種類のマークが[✆]のものは呼出時間を確認できません。
- 電話帳指定着信許可、電話帳指定着信拒否、電話帳登録外着信拒否、非通知理由別着信拒否、公共モード(ドライブモード)の設定により着信が拒否された場合は[0:00]と表示されます。

着もじ

着もじを使う

音声電話やテレビ電話をかけるときに同時にメッセージ(着もじ)を送信して、呼び出し中の相手のFOMA端末に表示し、あらかじめ用件を伝えることができます。

- 全角・半角・絵文字・記号問わず10文字まで送信できます。
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金がかかりません。
- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。
- オールロック中や着もじの機能別ロック中は、着もじを受信しても表示されません。ロックを解除すると、着信履歴詳細画面でメッセージを確認することができます。
- 着もじが表示されるのは着信中(発信中)のみです。通話を開始したら着もじは消えます。

例：音声電話で着もじを受信したとき

メッセージの編集や設定をする

■ メッセージを登録する<メッセージ作成>

● メッセージは10件まで登録できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[その他のNWサービス]▶[着もじ]▶[メッセージ作成]

2 登録先にカーソルを合わせる▶[編集]

- 登録しているメッセージの確認:メッセージを選ぶ

3 メッセージを入力▶[決定]

■ メッセージを表示するかどうかを設定する<メッセージ表示設定>

1 カスタムメニューで[設定]▶[その他のNWサービス]▶[着もじ]▶[メッセージ表示設定]

2 表示方法を選ぶ

メッセージを付けて電話をかける<着もじ>

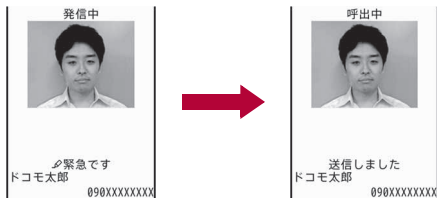
1 待受画面で[ビデオ]▶電話番号を入力▶[サブメニュー]▶[着もじ]

- 電話帳やリダイヤル、着信履歴の詳細画面では:[着もじ]

2 メッセージを選ぶ

◆ [メッセージ作成]▶メッセージを入力▶[決定]
◆ [メッセージ選択]▶メッセージを選ぶ
◆ [送信メッセージ履歴]▶メッセージを選ぶ

3 [発信](音声電話)/[テレビ電話]

- [ビデオ]を押しても音声電話をかけることができます。

- 着もじが相手に届くと[送信しました]と表示され、送信料金がかかります。

● 送信メッセージ履歴は、最後に送信したものから10件まで記憶されます。2in1利用時は、AナンバーとBナンバーの送信メッセージ履歴がそれぞれ10件まで記憶されます。
● 音声自動再発信時には、テレビ電話発信時の着もじが自動で送信されます。
● 次の状態のときも、送信料金はかかります。
  ■ 電波状態によって、相手側の端末に着もじが届いていても送信側に送信結果が表示されないとき
  ■ 呼出動作開始時間設定で設定した時間より呼出時間が短いとき
● 着信側が次の状態の場合、着もじを付けて発信しても着もじは表示されず、送信料金はかかりません。
  ■ 相手が対応端末でないとき
  ■ メッセージ表示設定で許容している着信以外の着信のとき
  さらに、着信側が次の設定・状態の場合、送信側の画面には送信結果も表示されません(着信側の着信履歴に、着もじは保存されません)。
  ■ 圏外のときや電源が入っていないとき
  ■ 公共モード(ドライブモード)を設定しているとき
  ■ 伝言メモの応答時間を「0秒」に設定しているとき
● 海外での利用時には着もじを送受信することはできません。

■ 送信メッセージ履歴画面のサブメニュー操作

[1件削除]▶[はい]

[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

番号通知／非通知

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

● あらかじめ設定する方法（☞P.56）より、電話発信するときの指定が優先されます。

電話をかけるときに通知／非通知を指定する ＜番号通知設定＞

1 待受画面で[発信] ▶ 電話番号を入力 ▶ [サブメニュー] ▶ [番号通知設定]

2 設定を選ぶ

- 通知する：[番号通知]
- 通知しない：[番号非通知]
- ネットワークサービスの発信者番号通知設定（☞P.56）に従う：[NW設定に従う]

3 [✆]（音声電話）／[テレビ電話]

- [発信]を押しても音声電話をかけることができます。

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けてダイヤルする

■「186」を付けてダイヤルする（番号通知）

1 待受画面で[発信] ▶「186」を入力 ▶ 相手先電話番号を入力

2 [✆]（音声電話）／[テレビ電話]

- [発信]を押しても音声電話をかけることができます。

■「184」を付けてダイヤルする（番号非通知）

1 待受画面で[発信] ▶「184」を入力 ▶ 相手先電話番号を入力

2 [✆]（音声電話）／[テレビ電話]

- [発信]を押しても音声電話をかけることができます。

ポーズダイヤル

プッシュホン信号を送る

チケットの予約や銀行の残高照会サービスの電話番号と送信するメッセージ（番号）などの組み合わせを電話帳に登録しておくと、簡単な操作で送信できます。

通話中にプッシュホン信号を送る

1 通話中に[数字パネル] ▶ 番号を入力する

- [数字パネル]をタッチすると、数字パネルが表示されます。入力した番号がプッシュホン信号として1つずつ送信されます。

2 [閉じる]

- 数字パネルが消えます。

電話帳にプッシュホン信号を登録する

1 電話帳に電話番号を入力 ▶ [P]

- [P]をタッチするとポーズ「P」が入力されます。

2 送信する番号を入力 ▶ [決定]

- 番号を入力したあと、[P]をタッチすると続けて番号を入力できます。

3 電話帳を登録

プッシュホン信号を利用してメッセージを送る

● ポーズダイヤルは音声電話のみに対応しています。

1 プッシュホン信号を登録した電話帳から音声電話をかける

- 登録した「P」以降の番号が表示されます。

2 タイミングを合わせて[PB送信]

- 「P」以降の番号がプッシュホン信号で送信されます。
- 「P」で区切った複数の番号を登録しているときは、[PB送信]をタッチするたびに送信されます。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できないときがあります。

WORLD CALL

国際電話を利用する

WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせてWORLD CALLもご契約いただいています(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。

[通話方法] ▶010▶国番号▶地域番号(市外局番)▶相手先電話番号▶[]/

- ▶009130▶010▶国番号▶地域番号(市外局番)▶相手先電話番号▶[]/でもかけられます。
- 上記の操作方法を、FOMA端末の電話帳に登録できます。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります)。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- WORLD CALLの料金は毎月の携帯電話の通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- WORLD CALLをご利用されたときは、直前の通話時間の概算がFOMA端末の画面で確認できます(☞P.418)。
- WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接、お問い合わせください。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

海外の特定3G通信事業者をご利用のお客様、またはFOMA端末をご利用のお客様と国際テレビ電話がご利用いただけます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できないときがございます。

■「+」を入力して国際電話をかける

日本から国際電話をかけるときに、電話番号の先頭に「+」を入力すると、自動的に国際電話アクセス番号に変換して発信できます。

- [0(+)]をロングタッチすると「+」を入力できます。

1 待受画面で▶[0(+)]をロングタッチ▶国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号を入力▶[](音声電話)/[テレビ電話]

- を押しても音声電話をかけることができます。
- 「+」を国際電話アクセス番号に変換して付加した番号が表示されます。

2 [発信]

- [元の番号で発信]を選択した場合は、国際電話アクセス番号に変換せず、入力した番号のままで国際電話をかけることができます。

■ 国際電話アクセス番号の名称を選んで国際電話をかける <国際電話発信>

国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号のみを入力し、国際プレフィックス設定で設定した国際電話アクセス番号の名称を選んで国際電話をかけることができます。

1 待受画面で▶国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号を入力▶[サブメニュー]

2 [番号付加設定]▶[国際電話発信]

3 国際電話アクセス番号の名称を選ぶ▶[](音声電話)/[テレビ電話]

- を押しても音声電話をかけることができます。

- 通信事業者によっては、発信者番号通知設定(☞P.56)を「通知」に設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴から電話をかけることはできません。

国際ダイヤルアシスト設定

国際電話の設定をする

国際電話アクセス番号／国番号の自動付加を設定する<自動変換機能設定>

「＋」を入力して、自動的に国際電話アクセス番号に変換するかを設定します。また、海外で電話をかけるときに、電話番号の先頭の「０」を自動的に国番号に変換して発信するかを設定します。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ダイヤルアシスト設定]▶[自動変換機能設定]

2 [自動国際プレフィックス変換]欄を選ぶ▶[ON]

- 自動付加する国際電話アクセス番号は、国際プレフィックス設定で設定できます。

3 [自動国番号変換設定]欄を選ぶ▶[ON]▶自動付加する国名を選ぶ

- 国番号設定に登録されている国名から選択できます。

4 [完了]

WORLD CALL以外の番号を設定する<国際プレフィックス設定>

- 日本から国際電話をかけるときに利用する国際電話アクセス番号は、10件まで登録できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ダイヤルアシスト設定]▶[国際プレフィックス設定]

2 新規の登録先を選ぶ

- 登録済みの項目を変更：項目を選ぶ▶[変更]
- 登録済みの項目を削除：項目を選ぶ▶[削除]▶[はい]
- 登録した項目を自動付加対象に設定／解除：項目を選ぶ▶[自動付加／解除]
  - ・自動付加対象に設定した場合、名称の右に[✪]が表示されます。

3 名称を入力▶[決定]

- 全角７文字（半角14文字）まで入力できます。

4 付加番号を入力▶[決定]

- [０＋]をロングタッチすると「＋」を入力できます。
- 16桁まで入力できます。

国番号を設定する<国番号設定>

- 海外から国際電話をかけるときに利用する国番号は30件まで登録できます。
- 国番号設定に登録している国に電話をかける方法については☞P.466

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ダイヤルアシスト設定]▶[国番号設定]

2 新規の登録先を選ぶ

- 登録済みの国番号を変更：項目を選ぶ▶[編集]
- 登録済みの国番号を削除：項目を選ぶ▶[削除]▶[はい]

3 [国名]欄を選ぶ▶国名を入力▶[決定]

- 全角７文字（半角14文字）まで入力できます。

4 [国番号]欄を選ぶ▶国番号を入力▶[決定]

- 「＋」を除いて５桁まで入力できます。

5 [完了]

プレフィックス設定

電話番号の先頭に付加する番号を設定する

● 国際電話アクセス番号や「186」/「184」など、電話番号の先頭に付けるプレフィックス番号は、5件まで登録できます。電話帳、リダイヤル、着信履歴からの発信時にも付加できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[プレフィックス設定]

2 新規の登録先を選ぶ

- 登録済みの項目を変更:項目を選ぶ▶[変更]
- 登録済みの項目を削除:項目を選ぶ▶[削除]▶[はい]

3 プレフィックス番号を入力▶[決定]

- [0 +]をロングタッチすると「+」を入力できます。
- 16桁まで入力できます。

プレフィックス番号を付けて電話をかける <プレフィックス選択>

1 待受画面で[発信キー]▶電話番号を入力▶[サブメニュー]

2 [番号付加設定]▶[プレフィックス選択]

3 プレフィックス番号を選ぶ▶[発信](音声電話)/[テレビ電話]

- [発信キー]を押しても音声電話をかけることができます。

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

サブアドレスを使用すると、ISDN端末に電話をかけるときに、特定の端末を呼び出すことができます。

● サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[サブアドレス設定]▶[ON]

■ サブアドレスを指定して電話をかける

● 電話番号とサブアドレスは相手にお問い合わせください。

1 待受画面で[発信キー]▶電話番号、「*」、サブアドレスの順に入力▶[発信](音声電話)/[テレビ電話]

- [発信キー]を押しても音声電話をかけることができます。

● 電話番号の先頭に「*」を入力したり、「186」、「184」、プレフィックス設定で付加された番号のあとに「*」を入力すると、「*」以降は電話番号とみなされます。

再接続機能

再接続するときのアラーム音を設定する

電波の状態などで通信が途切れた通話を自動的に再接続するときのアラーム音を設定します。

● 電波の状態により再接続可能な時間は異なります。目安は約10秒間です。

● 再接続されるまでの間(最長約10秒間)、相手は無音状態になります。また、この間も通話料金がかかります。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[通話中設定]▶[再接続機能]

2 アラーム音を選ぶ

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

- 通常は、[ON]でのご使用をおすすめします。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[通話中設定]▶[ノイズキャンセラ]▶[ON]

- ノイズキャンセラでは、通話を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や、話しかたにより、音声の聞こえかたが変わることがあります。

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット 01(別売)やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

- Bluetooth接続(ワイヤレス)でも利用できます(☞P.428)。
- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- 車載ハンズフリーキット 01は、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01(別売)で接続するか、Bluetooth接続(ワイヤレス)で接続してご利用ください。
- 着信時の画面表示や着信音などの動作、公共モード(ドライブモード)設定中の着信動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らすように設定している場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を[サイレント]に設定していても、電話の着信時にハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 伝言メモ設定中は、ハンズフリー対応機器と接続中でも伝言メモの設定に従います。
- ハンズフリー対応機器の特性や仕様によっては、FOMA端末の一部の通話操作ができないことがあります。

電話／テレビ電話を受ける

着信は、着信音、着信ランプ、バイブレータなどで確認できます。

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 着信中は[着信中]／[テレビ電話着信中]と表示されます。
- 発信者番号が通知されたときは、電話番号を表示します。電話帳に登録されている電話番号からの着信のときは、名前もあわせて表示します。電話帳にピクチャーコールを設定しているときは、設定された画像も表示されます。
- 発信者番号が通知されないときは、非通知理由が表示されます。
  - [非通知設定]:発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信したとき
  - [公衆電話]:公衆電話などから発信したとき
  - [通知不可能]:海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信したとき(ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されることもあります)

着信中の操作

- 着信中、通話中はタッチパネルがロックされます。ロックの解除方法については☞P.38
- 応答保留(☞P.72)
- クイック伝言メモ(☞P.76)
- クイックサイレント(☞P.100)
- マナーモードの設定／解除(☞P.99)

2 [通話キー]

- カメラ映像で応答(テレビ電話):[カメラ画像]

3 通話が終わったら[終話キー]

- 次の場合、オープンポジションでは応答できません。クローズポジションに戻してください。
  - ■ 音声電話がかかってきたとき
  - ■ テレビ電話ハンズフリー設定が[OFF]で、テレビ電話がかかってきたとき

  ただし、イヤホンマイク(別売)などを接続しているときは、オープンポジションでも応答できます。
- オープンポジションでハンズフリーが解除の場合、送話口と受話口からの音はミュートされます。通話中は別売りのイヤホンマイク(☞P.421)を利用するか、ハンズフリーを利用してください。
- テレビ電話の場合、相手側から映像が送信されてこないときには黒い画面が表示されます。
- マルチナンバー利用中、登録しているマルチナンバーに着信があると、[着信中]/[テレビ電話着信中]の右にマルチナンバーの名称が表示されます。
- 着信音量の変更は、その着信に限り有効です。
- 通話直後に着信やアラームの動作があった場合、着信音やアラーム音は設定にかかわらず[音量 1]で鳴ります。

通話中に「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえたとき

- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただいているとき、通話中着信設定を「開始」に設定し、通話中着信動作選択を[通常着信]に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次のサービスを利用できます(音声電話中に別のテレビ電話を着信したとき、またはテレビ電話中に別の電話を着信したときは、お知らせ画面が表示され、利用するサービスを選択できます。キャッチホンは利用できません)。
  - ■ 留守番電話サービス(☞P.448)
  - ■ キャッチホン(☞P.449)
  - ■ 転送でんわサービス(☞P.450)

■ 音声電話着信中画面のサブメニュー操作

[伝言メモ録音]	☞P.76
[着信転送]	
[留守転送]	
[着信拒否]	

■ テレビ電話着信中画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、音声電話着信中画面のサブメニュー操作(☞P.71)を参照してください。
  - ■ 着信拒否　■ 着信転送　■ 留守転送

[テレビ電話伝言メモ]	☞P.76

電話/テレビ電話を切り替える

相手(発信側)の操作で音声電話⇔テレビ電話を切り替えます。

- 自分(着信側)から切り替えることはできません(音声電話⇔テレビ電話切り替え対応機種でご利用いただけます)。
- 自分のFOMA端末のテレビ電話切替機能通知(☞P.80)を「開始」に設定しておく必要があります。

1 通話中に、相手がテレビ電話/音声電話に切り替える

- 切り替えには、約5秒かかります。電波状況によっては、切り替えに時間がかかるときがあります。切り替え中は、[しばらくお待ちください]と表示され、音声ガイダンスが流れます。

音声電話からテレビ電話に切り替えたとき

- 音声ガイダンスが流れたあと、代替画像設定で設定したキャラ電や静止画が送信されます。

テレビ電話から音声電話に切り替えたとき

- 音声ガイダンスが流れたあと、音声電話に切り替わります。そのまま音声電話を始めてください。

- マルチアシスタントから他の画面を表示したとき、保留中、パケット通信中などは、切り替えることができません。また、サブメニューから機能を実行しているときは切り替えることができない場合があります。

受話音量調節

相手の声の音量を調節する

- [音量 1]~[音量10]に調節できます。
- 通話中や待受中に調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。

● 待受中の受話音量調節については☞P.96

1 通話中に[受話音量]

- 発信中、呼出中も操作できます。

2 音量バーをタッチしたまま上下にスライド

- 音量調節後、約4秒経過すると通話画面に戻ります。

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

● 応答保留中も、相手に通話料金がかかります。

● 留守番電話サービスや転送でんわサービスをご契約されているときは、留守番電話サービスセンターへの接続や転送先への転送ができます(☞P.71)。

1 着信中に[終話キー]

- 相手には、応答保留音が流れます。
- テレビ電話をかけてきた相手には、応答保留画像設定で設定した画像に[応答保留]という文字が重なって表示されます。
- 応答保留中に[終話キー]を押す、または相手が電話を切ると通話が終了します(着信履歴に記憶されます)。

2 電話に出られるようになったら[[通話]]／[テレビ電話キー]

- カメラ映像で応答(テレビ電話):[カメラ画像]

応答保留音／保留音

応答保留音／通話保留音を設定する

応答保留中に相手へ流れるガイダンスと、通話保留中に相手へ流れる保留音を設定します。

● 応答保留音は、あらかじめ次のガイダンスが登録されています。

[応答保留音1]
ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。

[応答保留音2]
I can't take your call now. Please hold the line for a moment or call me back later, thank you.

1 カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[保留・応答保留音]

2 項目を選ぶ

3 応答保留音／保留音を選ぶ

- 登録されている応答保留音を選ぶ:[応答保留音1]／[応答保留音2]
- 登録されている保留音を選ぶ:[保留メロディ1]／[保留メロディ2]
- 応答保留音／保留音の確認:応答保留音／保留音にカーソルを合わせる▶[再生]
- 音声メモを録音して設定:[オリジナル]▶[録音]▶録音する▶[再生]▶メモにカーソルを合わせる▶[決定]
  - 録音停止:録音中に[停止]
- 録音した音声メモを設定:[オリジナル]▶[再生]▶メモにカーソルを合わせる▶[決定]

公共モードを利用する

● 留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2は、公共モードに優先して動作します。

※1 呼出時間が0秒以外での音声電話に対しては、公共モードのガイダンスのあとにサービスが動作します。

※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。

● 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モードは動作しません。

公共モード(ドライブモード)を利用する
<公共モード(ドライブモード)>

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所(電車、バス、映画館など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モードの設定/解除は、待受中のみできます(画面に[圏外]が表示されているときでも可能です)。
- 公共モード設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 本機能は、データ通信時はご利用できません。

1 クイック設定で[公共モード]

- 公共モードが設定され、[🚗]が表示されます。
- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

公共モード(ドライブモード)を解除する

- クイック設定で[公共モード]
  - ・公共モードが解除され、[🚗]が消えます。

■ 公共モード(ドライブモード)を設定すると

お客様のFOMA端末に音声電話やテレビ電話がかかってきても、着信音は鳴りません。ディスプレイにストックアイコン[▮](着信あり)が表示され、着信履歴に記憶されます(☞P.62)。

- 音声電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。テレビ電話をかけてきた相手には、公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。ただし、電源が入っていないときや電波が届かないところにいるときは、公共モードのガイダンスは流れず、圏外時と同じガイダンスが流れます。
- ｉモードメール、SMSやメッセージR/Fは、着信バイブレータを設定しても振動しません。また、着信音も鳴りませんが自動的に受信し着信のマークが表示されます。エリアメールの専用警報音(ブザー音)・バイブレータ・着信ランプについては、マナー/公共モード時設定(☞P.170)で設定できます。
- データ通信を着信したときも着信バイブレータ・着信音・着信ランプは動作しません。
- 地図・GPS機能の位置情報の提供を要求されたとき、サービスごとの利用設定で、位置提供を[許可]に設定している場合、位置提供の確認画面のあと、GPS測位画面が表示されてGPS測位後位置提供されますが、位置提供/許可音、位置提供/毎回確認音、バイブレータ、着信ランプは動作しません。また、サービスごとの利用設定で、位置提供を[毎回確認]に設定している場合、位置情報は提供されません。

- 公共モード設定中にアラーム時刻になっても、アラーム音は鳴らず、着信ランプやバイブレータも動作しません。
- 公共モード設定中に、緊急通報番号(110番、119番、118番)へダイヤルすると、発信後に公共モードの設定は解除されます。

公共モード(電源OFF)を利用する
<公共モード(電源OFF)>

公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面で[📞]▶「＊25251」を入力▶[📞]/[📞]

- 公共モード(電源OFF)が設定されます(待受画面上の変化はありません)。
- 公共モード(電源OFF)設定後、電源を切った際の着信時に、携帯電話の電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れます。

公共モード(電源OFF)を解除する

- 待受画面で[📞]▶「＊25250」を入力▶[📞]/[📞]
  - ・公共モード(電源OFF)が解除されます。

公共モード(電源OFF)の設定を確認する

- 待受画面で[📞]▶「＊25259」を入力▶[📞]/[📞]
  - ・現在の設定状況を確認できます。

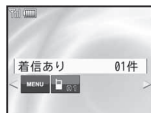
■ 公共モード(電源OFF)を設定すると

公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。サービスエリア外または電波が届かないところにいるときも、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

不在着信

不在着信を確認する

かかってきた電話に出られなかったときは、ストックアイコン[ ](着信あり)と着信件数が表示されます(不在着信表示)。

● 不在着信を確認するか、ストックアイコンにカーソルを合わせてCLRを1秒以上押すと、ストックアイコンの表示が消えます。

1 待受画面でストックアイコン[ ](着信あり)を選ぶ

- 着信履歴一覧画面が表示されます。不在着信には[☎]が表示されます。
- 着信履歴と同様の操作で、詳細を確認したりできます。

伝言メモ/テレビ電話伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音/録画する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときにFOMA端末が応答して伝言を預かることができます。音声電話がかかってきたときは、音声ガイダンスを流して相手の用件を録音します。テレビ電話がかかってきたときは、応答画像で応対して相手の画像と音声を録画します。

● 伝言メモはFOMA端末の電源が切れていたり、電波の届かない場所にいるときには利用できません。ネットワークサービスの留守番電話サービスをあわせてご利用になると便利です。

● 音声電話伝言メモは3件(1件あたり約15秒)まで録音できます。通話中音声メモや待受中音声メモを録音したときは、それらの件数も含めて3件です。

● テレビ電話伝言メモは2件(1件あたり約15秒)まで録画できます。

● 待受画面に表示される伝言メモのマークの件数は、音声電話伝言メモとテレビ電話伝言メモ、音声メモの合計です。

● マナーモード設定中は、伝言メモの設定/解除はできません。

伝言メモ/テレビ電話伝言メモを設定する <伝言メモ設定>

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[伝言メモ設定]▶[伝言メモ設定]▶[ON]

- 伝言メモが設定され、ディスプレイに[ ]が表示されます。
- 伝言があるときは、[ ](1件のとき)[ ](2件のとき)…のように件数を表すマークが表示されます。

- 音声電話伝言メモ3件とテレビ電話伝言メモ2件が録音/録画されると、[ ]が表示され、それ以降、音声電話やテレビ電話がかかってきても伝言メモで応答しません。不要な用件を削除すると、伝言メモが再び有効になります。

伝言メモを解除する

- 伝言メモ設定を[OFF]にします。

● 留守番電話サービスを利用すると、1件あたり最長約3分間、それぞれ20件まで録音/録画できます。設定しているときは、音声電話伝言メモ3件、またはテレビ電話伝言メモ2件が録音/録画されていても留守番電話サービスセンターで用件をお預かりします。

■ 応答メッセージが始まるまでの時間を設定する <伝言応答時間>

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[伝言メモ設定]▶[伝言応答時間]

2 応答時間を入力▶[決定]

- 着信音を鳴らさずに、伝言メモが応答するようにするとき:「0秒」に設定

- オート着信設定と同じ時間には設定できません。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるためには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモの応答時間を短く設定してください。

■ 応答メッセージを設定する<応答メッセージ>

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[伝言メモ設定]▶[応答メッセージ]

2 メッセージの種類を選ぶ

- 登録されている応答メッセージを選ぶ:[応答メッセージ1]/[応答メッセージ2(英文)]
  - 応答メッセージの確認:応答メッセージにカーソルを合わせる▶[再生]
- 音声メモを録音して設定:[オリジナル]▶[録音]▶録音する▶[再生]▶メモにカーソルを合わせる▶[決定]
  - 録音停止:録音中に[停止]
- 録音した音声メモを設定:[オリジナル]▶[再生]▶メモにカーソルを合わせる▶[決定]

- 応答メッセージは、あらかじめ次のガイダンスが登録されています。
  ■ [応答メッセージ1]
  ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください。
  ■ [応答メッセージ2(英文)]
  I can't take your call now. Please leave your message, thank you.
- オリジナルの応答メッセージを削除(☞P.77)すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

■ テレビ電話伝言メモの応答画像を設定する<テレビ電話時応答画像>

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[伝言メモ設定]▶[テレビ電話時応答画像]

2 静止画にカーソルを合わせる▶[決定]

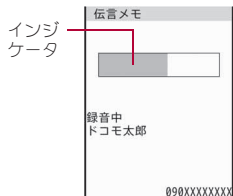
- 静止画の確認:静止画を選ぶ
- 送信できる画像については☞P.77

伝言メモ/テレビ電話伝言メモを設定したときは

1 電話がかかってくると、伝言応答時間のあとに伝言メモが応答する

- 応答中の画面が表示されます。音声電話のとき、相手には音声ガイダンスが流れます。テレビ電話のとき、相手には応答メッセージが流れ、テレビ電話時応答画像で設定した画像が送信されます。
- 伝言メモ応答中、録音/録画中に[📞]/[📞]で電話に出ることができます。また、テレビ電話のときは、[カメラ画像]をタッチするとカメラ映像で応答できます。

2 相手の用件を録音/録画する

- 録音/録画を開始するときに、相手に「ピー」と発信音が流れます。
- インジケータ、時間は目安です。
- 音声電話伝言メモのときは、録音中は相手の声が受話口から聞こえます。マナーモード設定時は、受話口から相手の声は聞こえません。

音声電話伝言メモ録音中

テレビ電話伝言メモ録画中

次ページへ続く

- 伝言メモが約３秒以下のとき、録音／録画されないことがあります。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって録音／録画内容が消失するときがあります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、音声電話伝言メモ、テレビ電話伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
- テレビ電話伝言メモの応答中または録画中、相手にはテレビ電話時応答画像で設定した画像に［伝言メモ応答中］または［伝言メモ録画中］という文字が重なって表示されます。
- 伝言メモ録音／録画中は別の電話がかかってきても受けることができません。相手には話中音が流れます。
- 公共モード（ドライブモード）を設定しているときは、伝言メモは動作しません。

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、伝言メモを設定していないときも、その着信に限り用件を録音／録画できます。

1 着信中に［サブメニュー］▶［伝言メモ録音］／［テレビ電話伝言メモ］

- 着信中に［伝言メモ］をタッチしても録音／録画できます。
- 伝言メモについては☞P.74

伝言メモ・音声メモ再生／削除

伝言メモ・音声メモを再生／削除する

- 着信履歴表示を［OFF］に設定しているときは、メモリスト画面は表示されず、伝言メモ・音声メモは再生／削除できません。

伝言メモ・音声メモを再生する<再生>

1 クイック設定で［音声伝言メモ］▶［再生］

メモ再生
05/18 10:10
携帯花子

メモリスト画面

ストックアイコン［ ］（伝言メモ）が表示されているとき

- 待受画面でストックアイコン［ ］（伝言メモ）を選ぶ▶［再生］
- 未再生のメモには、［ ］が表示されます。

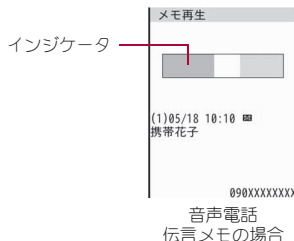
メモの種類

	伝言メモ
	通話中音声メモ
	待受中音声メモ

電話の種類

表示なし	音声電話
	テレビ電話

2 メモを選ぶ

- 再生を途中で止める：［停止］
- 音量調節：［受話音量］▶音量バーをタッチしたまま上下にスライド
  - 音量調節後、約４秒経過するとメモ再生画面に戻ります。
- 伝言メモ・音声メモの再生中に着信やアラームが動作すると、再生は自動的に止まります。

音声電話
伝言メモの場合

- 伝言メモ・音声メモの再生中に着信やアラームの動作があった場合、着信音やアラーム音は設定にかかわらず［音量１］で鳴ります。

伝言メモ・音声メモを削除する

1 **メモリスト画面でメモにカーソルを合わせる ▶ [サブメニュー] ▶ 削除方法を選ぶ ▶ [はい]**

キャラ電を利用する

- キャラ電については☞P.359

テレビ電話中にキャラ電を切り替える＜キャラ電切替＞

テレビ電話中にキャラ電を送信しているとき、別のキャラ電に切り替えることができます。

1 **代替画像でキャラ電を送信中に[サブメニュー] ▶ [キャラ電設定] ▶ [キャラ電切替] ▶ キャラ電にカーソルを合わせる ▶ [決定]**

全体アクションとパーツアクションを切り替える＜アクション切替＞

1 **代替画像でキャラ電を送信中に[サブメニュー] ▶ [キャラ電設定] ▶ [アクション切替]**

- 全体アクションモードとパーツアクションモードが交互に切り替わります。

キャラ電にアクションをさせる＜アクション一覧＞

- パーツアクションの中には、別のアクションと組み合わせて実行できるものがあります。
- キャラ電によっては、アクションしないものや操作しなくてもアクションを行うものもあります。

1 **代替画像でキャラ電を送信中に[サブメニュー] ▶ [キャラ電設定] ▶ [アクション一覧]**

2 **アクションを選ぶ**

- 詳細の表示：アクションにカーソルを合わせる ▶ [詳細]

アクション一覧
1 喜ぶ
2 怒る
3 哀しむ
4 投げキッス
5 驚く
6 ゴメン
7 恥ずかしー

送信する映像について設定する

テレビ電話で送信できる画像は次のとおりです。

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「QCIF：176×144」サイズの静止画を利用できます。ただし、GIFアニメーションは利用できません。
- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画は利用できません。ただし、FOMA端末で撮影した静止画はファイル制限に関係なく利用できます(静止画メモは利用できません)。

送信する画像を通話中に切り替える＜送信画像切替＞

テレビ電話中に、相手に送信する画像を変更できます。

- 送信画像切替で設定した画像は、テレビ電話を終了すると解除されます。

1 **テレビ電話中に[サブメニュー] ▶ [送信画像切替]**

- テレビ電話中に[カメラ画像]／[代替画像]をタッチすると、カメラ映像と代替画像を切り替えることができます。

次ページへ続く ▶▶

2 送信する画像を選ぶ

◆［カメラ画像］
◆［代替画像］▶静止画にカーソルを合わせる▶［決定］
◆［キャラ電］▶キャラ電にカーソルを合わせる▶［決定］
◆［ファイル再生］▶静止画にカーソルを合わせる▶［決定］

- microSDカード内の静止画は直接利用できません。あらかじめFOMA端末にコピーしてご利用ください。
- 電池残量が少ないときやカメラ周辺の温度が高いときはカメラを利用できません。カメラ使用中は、代替画像に切り替わります。代替画像送信中は、カメラに切り替えることができません。

自分側のカメラ映像を一時停止させて送信する <カメラ画像一時停止>

1 カメラ映像を送信中に［サブメニュー］▶［送信画像切替］▶［カメラ画像一時停止］

- 一時停止の解除：［終了］

- カメラ映像が停止した状態の静止画を送信できます。
- 一時停止中、相手には自分側の映像に［停止中］という文字が重なって表示されます。
- 一時停止中にFOMA端末を開閉すると、一時停止は解除されます。
- テレビ電話を終了すると、設定は元に戻ります。

カメラ映像のズームアップ／ズームダウンを行う

1 カメラ映像を送信中に左右にすばやくスライド

- ズームバーが表示されます。

2 左右にすばやくスライドしてズーム調整

- 最大ズーム／最小ズーム：［MAX ZOOM］／［MIN ZOOM］

- 24段階のズームが設定できます。

明るさを調整する<明るさ調整>

自分側のカメラ映像の明るさを5段階で調整できます。

1 カメラ映像を送信中に［サブメニュー］▶［テレビ電話設定］▶［明るさ調整］

2 明るさを選ぶ

相手に送信する画像を発信時に変更する <テレビ電話画像設定>

- テレビ電話画像設定は、その発信に限り有効です。

1 待受画面で［発信キー］▶電話番号を入力▶［サブメニュー］

2 ［テレビ電話画像設定］

3 送信する画像を選ぶ

◆［カメラ画像］
◆［キャラ電］▶キャラ電にカーソルを合わせる▶［決定］

代替画像や応答保留画像、通話保留画像を設定する <代替画像設定／応答保留画像設定／保留画像設定>

1 カスタムメニューで［設定］▶［通話・通信機能設定］▶［テレビ電話設定］▶［送信画像設定］

2 項目を選ぶ

3 画像にカーソルを合わせる▶［決定］

- 代替画像として静止画を送信中、静止画に［カメラオフ］という文字が重なって表示されます。
- 代替画像は次の優先順位で送信されます。

	優先順位（高→低）
画像	電話帳の代替画像設定→テレビ電話設定の代替画像設定

送信画質を設定する<送信画質設定>

画質を優先して送信するか、動きを優先して送信するかを設定できます。

画質優先	撮影対象の形や色などを中心に伝えたいとき
標準	画質の美しさと動きのバランスをとるとき
動き優先	撮影対象の動きを中心に伝えたいとき

1 **カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[送信画質設定]**

2 **画質を選ぶ**

● テレビ電話中の送信側と受信側の画質設定は異なります。

テレビ電話ハンズフリー設定

テレビ電話のハンズフリーについて設定する

テレビ電話開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定できます。

● 通話中にハンズフリーに切り替えるときは☞P.59

1 **カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[テレビ電話ハンズフリー設定]**

2 **設定を選ぶ**

● 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
● 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所でハンズフリー通話を行うときは、別売りのイヤホンマイクをご利用ください。
● ハンズフリー通話中、音が割れて聞きとりにくいときは、受話音量を下げてください。

テレビ電話中の映像を設定する

■ テレビ電話の画面を設定する <テレビ電話画面設定／子画面表示設定>

● テレビ電話画面設定／子画面表示設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。

テレビ電話画面設定

相手大／自分小

相手のみ

自分大／相手小

自分のみ

子画面表示設定

左上

右下

1 **テレビ電話中に[サブメニュー]▶[テレビ電話設定]▶[テレビ電話画面設定]／[子画面表示設定]**

● カスタムメニューでは：[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[テレビ電話画面設定]／[子画面表示位置]

2 **表示方法を選ぶ**

■ テレビ電話中の照明を設定する<テレビ電話中照明>

1 テレビ電話中に[サブメニュー]▶[テレビ電話設定]▶[テレビ電話中照明]

2 設定を選ぶ

テレビ電話の設定を変更する

音声電話で自動的にかけ直す<音声自動再発信>

テレビ電話をかけたときに接続できなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

- テレビ電話通信が開始された場合、音声自動再発信は行いません。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[音声自動再発信]▶[ON]

- 音声電話で再発信したときは、音声電話通話料になります。
- ISDNの同期64Kのアクセスポイント、3G-324M(☞P.58)に対応していないISDNのテレビ電話など(2010年1月現在)や間違い電話をかけたときなどは、音声自動再発信を行わないことがあります。また、通信料金が発生することもありますので、ご注意ください。

テレビ電話切替機能通知

電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

相手に自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能かどうかを通知する設定です。

- テレビ電話切替機能通知を「停止」に設定すると、相手から切り替えることはできません。
- 音声電話中、テレビ電話中、および圏外時にテレビ電話切替機能通知を変更することはできません。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[テレビ電話切替機能通知]

2 設定を選ぶ▶[はい]

- 設定の確認:[切替機能通知設定確認]

パケット通信中着信設定

iモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する

- 設定できる応答方法は次のとおりです。

テレビ電話優先	かかってきたテレビ電話に出ることができます。
パケット通信優先	テレビ電話着信を拒否します。
留守番電話	自動的に留守番電話サービスに接続します。
転送でんわ	自動的に転送でんわサービスに接続します。

- ソフトウェア更新中、パターンデータ更新中、パケット通信を利用したデータ通信中にテレビ電話がかかってきたときは、着信拒否されます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[テレビ電話設定]▶[パケット通信中着信設定]▶応答方法を選ぶ

- [テレビ電話優先]に設定していても、テレビ電話に出ないとパケット通信は継続されます(テレビ電話に出ると、パケット通信は切断されます)。
- [留守番電話]や[転送でんわ]に設定するには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのお申し込みが必要です。なお、未契約のときは、[留守番電話]や[転送でんわ]に設定しても[パケット通信優先]となります。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の両方を使用できます。
FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳のそれぞれに、名前、電話番号、メールアドレスなどを登録できます。

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳について

お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットしても、FOMAカード電話帳のデータを利用できます。複数のFOMA端末で電話帳を共用したい場合は、FOMAカード電話帳に登録しておくと便利です。

■ 電話帳登録件数

電話帳	登録件数
FOMA端末電話帳	1000件
FOMAカード電話帳	50件

■ 1件の電話帳に登録できる内容

アイコン	項目	内容	登録状況	
			FOMA端末	FOMAカード
	名前	名前を入力します。	1件	1件
ｶﾅ	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。	1件	1件
	グループ	グループに分けて登録できます。	20グループ	11グループ
／※	電話番号	電話番号を登録できます。FOMA端末電話帳では、電話番号を9つのアイコンで分類できます。	3件	1件
／※	メールアドレス	メールアドレスを登録できます。FOMA端末電話帳では、メールアドレスを6つのアイコンで分類できます。	3件	1件
	会社・学校	会社や学校を登録できます。	1件	－
	会社・学校のフリガナ	フリガナが自動的に入力されます。	1件	－
	所属	所属を登録できます。	1件	－
	役職	役職を登録できます。	1件	－
〒	郵便番号	郵便番号を登録できます。	1件	－
	住所	住所を登録できます。	1件	－
	位置情報	位置情報（測位日時、緯度、経度、測地系、測位レベル）を登録できます。	○	－
	誕生日	誕生日を登録できます。	1件	－
	メモ	メモを登録できます。	1件	－
	シークレット登録	電話帳を表示しないようにできます。電話帳を他人に見られたくない場合に設定します。	○	－
	シークレットコード	相手から指定されたシークレットコードを入力します。メールを送信するときに使います。	○	－
♪／	指定着信音選択／指定メール着信音選択	電話がかかってきたときやメールを受信したときに、専用の着信音や着モーションで相手を識別できます。	○	－

アイコン	項　目	内　容	登録状況	
			FOMA端末	FOMAカード
／	指定着信ランプ色／指定メール着信ランプ色	電話がかかってきたときやメールを受信したときに、専用のランプ色で相手を識別できます。	○	－
／	指定着信ランプパターン／指定メール着信ランプパターン	指定着信ランプ／指定メール着信ランプの点滅パターンを設定できます。	○	－
	ピクチャーコール設定	電話をかけたり、電話がかかってきたときに、画像を表示します。また、電話帳リストにも画像が表示されます。	○	－
	代替画像設定	テレビ電話中に代替画像を送信する場合の静止画やキャラ電を設定できます。	○	－

※ FOMAカード電話帳で表示されるアイコン

電話帳／FOMAカード電話帳登録

電話帳に登録する

FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳に登録します。

1 待受タッチランチャで[ ] ▶ [サブメニュー] ▶ [新規作成] ▶ [本体新規]／[FOMAカード(UIM)新規]

2 項目の入力／選択 ▶ [完了]

- 入力／選択方法については☞P.83
- FOMAカード電話帳に登録した場合、操作は終了します。

3 電話帳に登録

- 指定したメモリ番号に登録：メモリ番号（3桁：000～999）を入力
- 空いているメモリ番号に登録：[OK]
  - 010～999→000～009の順で未登録番号に登録されます。
- メモリ番号の000～099に登録するとツータッチダイヤルが利用できます。

● 2in1利用中は、利用中のモードによって電話帳2in1設定が[A]／[B]に設定されます。2in1のモードが[デュアルモード]のときは、操作3のあとに電話帳2in1設定画面が表示されます。電話帳2in1設定を設定してください。

■ 項目の入力／選択方法

名前だけでも登録できます。名前だけ入力すると、登録する項目は自由に選ぶことができます。登録したあとで、修正することもできます。

名前を入力する

[ ] ▶ 名前を入力 ▶ [決定]

- 全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
- FOMAカード電話帳では、全角・半角問わず10文字（半角英数字のみは21文字）まで入力できます。

フリガナを入力／修正する

[ｶﾅ] ▶ フリガナを入力／修正 ▶ [決定]

- 半角32文字まで入力できます。
- FOMAカード電話帳では、全角・半角問わず12文字（半角英数字のみは25文字）まで入力できます。
- 名前を入力すると自動的に入力されます。条件によりフリガナに反映されないことがあります。

グループを設定する

[ ] ▶ グループを選ぶ

- グループ設定していない電話帳は[グループなし]にグループ分けされます。

電話番号と電話種別を登録する

[☎]▶電話番号を入力▶[決定]▶電話種別アイコンを選ぶ

- FOMAカード電話帳のとき:[▦]▶電話番号を入力▶[決定]
- 26桁まで入力できます。
- 電話番号は市外局番から入力します。
- 電話番号には「*」や「#」も入力できますが、正しく発信できないときがあります。
- ポーズ「P」を入力するときは、[P]をタッチします。

メールアドレスとメールアドレス種別を登録する

[▦]▶メールアドレスを入力▶[決定]▶メールアドレス種別アイコンを選ぶ

- FOMAカード電話帳のとき:[▦]▶メールアドレスを入力▶[決定]
- 半角英数字、一部の記号を半角50文字まで入力できます。

会社・学校を登録する

[▦]▶会社・学校を入力▶[決定]

- 全角20文字(半角40文字)まで入力できます。

会社・学校のフリガナを入力／修正する

[▦]▶フリガナを入力／修正▶[決定]

- 半角40文字まで入力できます。
- 会社・学校を入力すると自動的に入力されます。条件によりフリガナに反映されないことがあります。

所属を登録する

[▦]▶所属を入力▶[決定]

- 全角30文字(半角60文字)まで入力できます。

役職を登録する

[▦]▶役職を入力▶[決定]

- 全角20文字(半角40文字)まで入力できます。

郵便番号を登録する

[〒]▶郵便番号を入力▶[OK]

住所を登録する

[▦]▶住所を入力▶[決定]

- 全角50文字(半角100文字)まで入力できます。

位置情報を登録する

[▶]

- 以降の操作については☞P.334

誕生日を登録する

[▦]▶誕生日を入力▶[OK]

- 1900年1月1日～2099年12月31日まで入力できます。
- 登録した誕生日データは、スケジュールに表示されます(☞P.213)。

メモを登録する

[▦]▶メモを入力▶[決定]

- 全角100文字(半角200文字)まで入力できます。

シークレット登録する

[▦]▶[ON]

メールアドレスにシークレットコードを設定する

1. [▦]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[コード設定]
   - シークレットコードの確認:[コード参照]
   - シークレットコードの解除:[設定解除]
2. メールアドレスを選ぶ▶シークレットコード(4桁)を入力▶[はい]

指定着信音／指定メール着信音を設定する

[♪](設定欄)▶項目を選ぶ▶着信音にカーソルを合わせる▶[決定]

- 指定メール着信音は:[▦]

指定着信ランプ色／指定メール着信ランプ色を設定する

[▦](設定欄)▶着信ランプ色を選ぶ

- 指定メール着信ランプ色は:[▦]

指定着信ランプパターン／指定メール着信ランプパターンを設定する

[▦](設定欄)▶着信ランプパターンを選ぶ

- 指定メール着信ランプパターンは:[▦]

ピクチャーコールを設定する

[▦](設定欄)▶項目を選ぶ

◆ [マイピクチャ]▶画像にカーソルを合わせる▶[決定]
◆ [iモーション]▶iモーションにカーソルを合わせる▶[決定]
◆ [静止画撮影]▶[📷]▶[保存]
◆ [動画撮影]▶[録画]▶[停止]▶[保存]
◆ [設定なし]

代替画像を設定する

[(icon)]（設定欄）▶項目を選ぶ▶代替画像にカーソルを合わせる▶［決定］

グループの設定について

- グループ設定については☞P.86

シークレット登録について

- シークレット登録した電話帳は、シークレットモードを［ON］に設定すると表示されます。シークレットデータを選ぶと、電話帳リスト画面や電話帳内容表示画面で［(icon)］が点滅します。
- シークレット登録すると、リダイヤルや着信履歴、メールの送受信履歴、スケジュールなどは、名前で表示されず、電話番号やメールアドレスで表示されます。
- シークレット登録した相手から電話やメールを受けると、通常の着信音と着信ランプでお知らせします。

シークレットコードについて

- シークレットコードや、自分のシークレットコードの登録については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- シークレットコードは、電話帳データ１件につき、１つのメールアドレスにのみ設定できます。

着信音／着信ランプについて

- 着信音の選択方法については☞P.94
- 着信ランプについては☞P.111
- 指定メール着信音／指定メール着信ランプを設定するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで登録してください。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみ登録してください。
- 次の場合は、通常の着信音が鳴り、通常の着信ランプが点滅します。
  - ■ シークレット登録した相手からの電話やメール
  - ■ 電話帳の機能別ロック中の電話やメール

ピクチャーコールについて

- ピクチャーコール表示については☞P.104
- GIF、JPG、MP4、Mobile MP4形式の画像を登録できます。
- ｉモーションを設定した場合は、発信時に発着信画面設定の画像が表示されます。
- ピクチャーコールに設定した画像のデータサイズによっては、画像展開に時間がかかることがあります。
- ｉモーション、GIFアニメーションを設定したとき、電話帳の画像は、最初の１コマ目が表示されます。
- ｉモーションを設定した相手からキャッチホンで着信したときは、［電話着信］が表示されます。
- 名刺画像や情報リーダーの画像を設定している場合、発着信時に画像は表示されません。
- 次の場合は、通常の電話着信画面が表示されます。
  - ■ シークレット登録した相手からの着信
  - ■ 電話帳の機能別ロック中の着信

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の間でコピーする

- 一部利用できない文字がスペースに変換されることがあります。
- 同じグループ名があるときは、そのまま登録されます。同じグループ名がないときは、［グループなし］となります。全角半角は別の文字として扱われます。

FOMA端末→FOMAカードへコピーしたとき

- 名前は全角10文字（半角21文字）を超えた文字は破棄されます。
- フリガナを半角カタカナで登録している場合は、全角カタカナでコピーされ、半角カタカナ以外の文字は、そのままコピーされます。全角12文字（半角25文字）を超えた文字は破棄されます。

FOMAカード→FOMA端末へコピーしたとき

- フリガナは半角で登録されます。
- 電話番号、メールアドレスは、それぞれ１件目に保存されます。
- メモリ番号は、010～999→000～009の順で未登録番号に登録されます。

■ 電話帳リスト画面でコピーする＜FOMAカードへコピー／本体へコピー＞

1 待受タッチランチャで[📖]▶名前にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[コピー]▶[FOMAカードへコピー]／[本体へコピー]

2 コピー方法を選ぶ

◆ [1件コピー]
◆ [選択コピー]▶名前を選ぶ▶[完了]

3 [はい]

■ 電話帳内容表示画面でコピーする＜FOMAカードへコピー／本体へコピー＞

1 待受タッチランチャで[📖]▶名前を選ぶ▶[サブメニュー]▶[コピー]▶[FOMAカードへコピー]／[本体へコピー]

2 [はい]

グループ設定

グループを設定する

電話帳にグループを設定して、グループごとの名前、着信音、着信ランプや電話がかかってきたときの画像を設定することができます。

● FOMAカード電話帳は、グループ名編集のみできます。

1 待受タッチランチャで[📖]▶[サブメニュー]▶[グループ設定]

- 検索方法選択を[グループ検索]に設定しているとき：待受タッチランチャで[📖]▶グループにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[グループ設定]▶操作３へ
- 検索方法選択を[会社名検索]に設定しているとき：待受タッチランチャで[📖]▶会社／学校名を選ぶ▶[サブメニュー]▶[グループ設定]

2 グループを選ぶ

3 グループを編集▶[完了]

グループ名を変更する＜グループ名編集＞

1 待受タッチランチャで[📖]▶[サブメニュー]▶[グループ設定]

2 グループを選ぶ

3 [グループ名編集]▶グループ名を編集▶[決定]▶[完了]

- 全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
- FOMAカード電話帳では、全角・半角問わず10文字(半角英数字のみは21文字)まで入力できます。
- お買い上げ時のグループ名に戻す：編集画面でグループ名を消去▶[決定]▶[完了]

その他のグループ設定

FOMA端末電話帳は各機能をグループごとに設定することができます。設定方法については☞P.83

● 指定着信音選択／指定メール着信音選択
● 指定着信ランプ色／指定メール着信ランプ色
● 指定着信ランプパターン／指定メール着信ランプパターン
● ピクチャーコール設定

電話帳から電話をかける

登録した電話帳を呼び出して電話をかけたり、メールを送信できます。

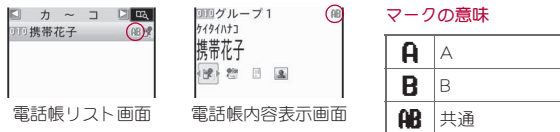
■ 2in1利用時の電話帳について

- 2in1のモードによって表示される電話帳については☞P.458
- ［デュアルモード］のときは、どのモードの電話帳に登録されているかを次のマークで確認できます。

電話帳リスト画面

電話帳内容表示画面

マークの意味

マーク	意味
A	A
B	B
AB	共通

■ お預かりセンターでの追加項目について

お預かりセンターでは、電話帳にｉコンシェル住所、ｉコンシェルメモ、ｉコンシェルURLの３つの項目を追加登録できます。

- 項目が追加された電話帳には、電話帳リスト画面に［✐］が表示され、電話帳内容表示画面には次のマークが表示されます。マークを選択して、地図を表示したりサイトに接続したりできます。
  - ・ｉコンシェルをご契約されていない場合は表示されません。

マークの意味

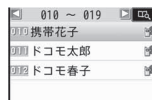
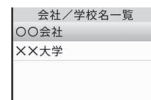
マーク	意味	マーク	意味
（住所マーク）	ｉコンシェル住所	URL	ｉコンシェルURL
（メモマーク）	ｉコンシェルメモ		

電話帳の検索方法を選択する<検索方法選択>

電話帳の検索には、次の方法があります。

検索方法	説明
フリガナ検索	FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の両方がフリガナ順に表示されます。
グループ検索	FOMA端末電話帳がグループ順に表示されたあと、FOMAカード電話帳がグループ順に表示されます。
メモリ番号検索	FOMA端末電話帳がメモリ番号順に表示されます。
会社名検索	FOMA端末電話帳が会社・学校名のフリガナ順に表示されます。

フリガナ検索

グループ検索

メモリ番号検索

会社名検索

1 待受タッチランチャで［📖］▶［サブメニュー］▶［検索方法選択］▶検索方法を選ぶ

検索して電話をかける

1 待受タッチランチャで[ ]

● 前回選択した検索方法で表示されます。

2 名前にカーソルを合わせる

フリガナ検索

● 名前がカタカナ(50音→濁点・半濁点)→英字→数字→スペース※→記号→フリガナなしの順で表示されます。
※ フリガナの1文字目にスペースが入力されているとき
● [ ]をタッチするとフリガナ入力欄が表示されます。フリガナを1文字ずつ入力して、最も近い電話帳を順次表示できます(スピーディーサーチ)。
・ オープンポジションのときは、キーボードでフリガナを1文字ずつ入力して、最も近い電話帳を順次表示できます。
● フリガナの切替:左右にすばやくスライド
● ページ切替:上下にすばやくスライドまたは[▲ページ]/[▼ページ]

グループ検索

● 電話帳登録時に指定したグループに振り分けられています。
● グループを選択すると、電話帳リスト画面が表示されます。
・ グループの切替:左右にすばやくスライド
・ ページ切替:上下にすばやくスライドまたは[▲ページ]/[▼ページ]
・ 名前の検索方法は、フリガナ検索と同じ操作になります。

メモリ番号検索

● [ ]をタッチするとメモリ番号入力欄が表示されます。メモリ番号を1桁ずつ入力して、最も近い電話帳を順次表示できます(スピーディーサーチ)。
・ オープンポジションのときは、キーボードでメモリ番号を1桁ずつ入力して、最も近い電話帳を順次表示できます。
● メモリ番号の切替:左右にすばやくスライド
● ページ切替:上下にすばやくスライドまたは[▲ページ]/[▼ページ]

会社名検索

● 電話帳登録時に登録した会社・学校に振り分けられています。
● 会社・学校を選択すると、電話帳リスト画面が表示されます。
・ 会社・学校の切替:左右にすばやくスライド
・ ページ切替:上下にすばやくスライドまたは[▲ページ]/[▼ページ]
・ 名前の検索方法は、フリガナ検索と同じ操作になります。

3 電話をかける

● 音声電話:[ ]/[ ]
● テレビ電話:[サブメニュー]▶[テレビ電話]

■ 電話帳リスト画面のサブメニュー操作

操作	参照
[検索方法選択]	☞P.87
[電話番号検索]▶電話番号の一部を入力▶[決定]	
[新規作成]	☞P.83
[データ編集]	
▶[修正]	☞P.91
▶[着信リスト登録]	☞P.126
▶[項目入替]▶入替項目を選ぶ▶移動元を選ぶ▶移動先を選ぶ	
[削除]	☞P.91
[コピー]	
▶[FOMAカードへコピー]	☞P.86
▶[microSDへコピー]	☞P.368
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.384
▶[iC送信]	☞P.386
▶[Bluetooth送信]	☞P.431
[表示切替]	☞P.90
[テレビ電話]	
[着もじ]	☞P.65
[グループ設定]	☞P.86

[メール添付]▶メールを作成・送信

[画像転送設定]
● ピクチャーコールに設定した画像を転送するかどうかを設定します。
▶[する]▶[はい]
▶[しない]

[microSDデータ参照] ☞P.373

[電話帳2in1設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]
● 以降の操作については☞P.456「電話帳に登録するモードを設定する」の操作3へ

[お預かりセンターに接続]
● 以降の操作については☞P.131「データを選んでお預かりセンターに保存する」の操作3へ

[居場所を確認](FOMA端末電話帳のみ)▶[はい]

[画像転送設定]について
● 画像転送設定が有効になるのは、電話帳を次の操作で送信・コピーするときです。
■ 赤外線送信 ■ iC送信 ■ Bluetooth送信
■ microSDカードにコピー ■ microSDカードにバックアップ
● 画像転送設定を[する]に設定しても、次の画像は転送できません。
■ お買い上げ時に登録されている画像
■ 取得元がテレビ電話の画像
■ 取得元がiモードでファイル制限ありの画像

[居場所を確認]について
● イマドコかんたんサーチのiモードサイトに接続します。
● ご利用には別途検索料(検索成功時のみ)とパケット通信料がかかります。

■ グループ一覧画面のサブメニュー操作
● 次の機能については、電話帳リスト画面のサブメニュー操作(☞P.88)を参照してください。
■ 検索方法選択 ■ 新規作成 ■ グループ設定
■ microSDデータ参照

■ 会社・学校一覧画面のサブメニュー操作
● 次の機能については、電話帳リスト画面のサブメニュー操作(☞P.88)を参照してください。
■ 検索方法選択 ■ 新規作成 ■ microSDデータ参照

電話帳内容表示画面から操作する

1 **待受タッチランチャで[📖]**

2 **名前を選ぶ**
• 電話帳に登録した項目がアイコンで表示されます。アイコンを選ぶと操作ガイダンスに利用可能な機能が表示されます。割り当てられたボタンをタッチして、操作することができます。

011グループ1
ドコモタロウ
ドコモ太郎
090XXXXXXXX

電話帳内容表示画面

■ 電話帳内容表示画面のサブメニュー操作
● 次の機能については、電話帳リスト画面のサブメニュー操作(☞P.88)を参照してください。
■ データ編集(修正、項目入替) ■ データ送信 ■ 着もじ
■ メール添付 ■ 画像転送設定 ■ 居場所を確認

[1件削除] ☞P.91

[コピー]
▶[項目コピー]
● 登録内容をコピーします。
▶[FOMAカードへコピー] ☞P.86
▶[microSDへ1件コピー] ☞P.369

次ページへ続く▶▶

▶[自局番号へコピー](microSDカード保存データのみ)▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[番号設定]

▶[番号通知設定] ☞P.66

▶[番号付加設定]

▶[プレフィックス選択] ☞P.69

▶[国際電話発信] ☞P.67

[マルチナンバー選択] ☞P.455

[2in1選択] ☞P.456

[テレビ電話画像設定] ☞P.78

[画像表示切替]

- ピクチャーコールに設定した画像の表示/非表示を切り替えます。

[電話帳2in1設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶登録する設定を選ぶ

[お預かりセンターに接続]

- 以降の操作については☞P.131「データを選んでお預かりセンターに保存する」の操作3へ

[自局番号へコピー]について

- 1件目に登録している電話番号は所有者情報にコピーされません。
- 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときは、Bナンバーの所有者情報にコピーされます。それ以外のときは、Aナンバーの所有者情報にコピーされます。

電話帳リスト画面の表示方法を変更する<表示切替>

電話帳リスト画面にピクチャーコールに登録した画像やメールアドレスなどを表示できます。

1 電話帳リスト画面で[サブメニュー]▶[表示切替]▶表示方法を選ぶ

名刺表示

リスト表示

ピクチャー一覧

- 表示される電話番号/メールアドレスは、表示方法により次のように異なります。
  - ■ リスト表示:すべての電話番号、すべてのメールアドレス
  - ■ 名刺表示、ピクチャー一覧:1件目の電話番号、1件目のメールアドレス

  横表示でリスト表示のときのみ、表示されたメールアドレス宛に[✉]をタッチしてメールを作成できます。
- 個人の電話帳とグループ設定の両方にピクチャーコールを設定したときは、個人ごとのピクチャーコールが優先されます。

電話帳編集

電話帳を修正する

電話帳に登録／設定した内容を、項目ごとに編集できます。

1 **待受タッチランチャで[📖] ▶ 名前にカーソルを合わせる ▶ [サブメニュー] ▶ [データ編集] ▶ [修正]**

2 **電話帳を修正 ▶ [完了]**

3 **電話帳に登録**

- 上書き登録：[OK] ▶ [はい]
- 指定したメモリ番号に新規で登録：メモリ番号を入力
- 空いているメモリ番号に新規で登録：メモリ番号を消去 ▶ [OK]
- FOMAカード電話帳のとき：[はい]

- オールロック、ダイヤル発信制限を設定しているときは、編集できません。
- 電話帳指定着信許可／電話帳指定着信拒否に設定されている電話帳は編集できません。

電話帳削除

電話帳を削除する

1 **待受タッチランチャで[📖] ▶ 名前にカーソルを合わせる ▶ [サブメニュー] ▶ [削除]**

2 **削除方法を選ぶ**

- ◆ **[1件削除]**
- ◆ **[選択削除] ▶ 名前を選ぶ ▶ [完了]**
- ◆ **[グループ内全件削除] ▶ グループを選ぶ ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ [OK]**
- ◆ **[全件削除] ▶ [本体電話帳]／[FOMAカード電話帳] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ [OK]**

3 **[はい]**

ツータッチダイヤル／ツータッチメール

少ないボタン操作で電話発信やメール送信をする

FOMA端末電話帳のメモリ番号[000]～[099]に登録した相手には、簡単な操作で電話をかけたり、i モードメールを作成して送信することができます。

1 **待受画面で[✆] ▶ メモリ番号の下1桁または下2桁の数字を入力**

2 **機能を選ぶ**

- 音声電話：[📞]／[✆]
- テレビ電話：[テレビ電話]
- メールの作成：FOMA端末を開く

- 電話帳に複数の電話番号／メールアドレスが登録されているときは、1件目に登録されている電話番号／メールアドレスが利用できます。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

着信音選択／メール着信音選択

着信音を変える

- お買い上げ時に登録されているメロディや、ｉモードで取得したメロディ、着うた®、ｉモーション、着うたフル®、FOMA端末で撮影した動画などを設定できます。
- ｉモーションを設定すると、着信時に映像や音声が再生されます（着モーション）。
- 2in1着信音選択については☞P.457

1 カスタムメニューで[設定]▶[音･バイブ･マナー]▶[音選択]

2 項目を選ぶ

3 着信音にカーソルを合わせる▶[決定]

- 着信音の確認：着信音を選ぶ
- 着うたフル®を設定するときは、1曲全部を設定（まるごと設定）したり、曲の一部分を設定（オススメ設定）することができます。

- microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のｉモーションや[ｉモード（microSD）]フォルダ内の着うたフル®は直接設定できますが、設定されたｉモーション、着うたフル®はFOMA端末に移動されます。移動先は次のとおりです。
  - ■ ｉモーション：データBOXのｉモーション／ムービーの[ｉモード]フォルダ
  - ■ 着うたフル®：データBOXのミュージックの[ｉモード（本体）]フォルダ
- 着信音を変更すると、着信画面も変更されるときがあります。
- 複数の着信音が設定されているときは、次の優先順位で鳴ります。

	優先順位（高→低）
着信音	電話帳指定着信音→グループ指定着信音→テレビ電話着信音／音声電話着信音
メール着信音	電話帳指定メール着信音→グループ指定メール着信音→通常のメール着信音

  - ・マルチナンバー利用時、付加番号に着信した場合は、電話帳指定着信音→グループ指定着信音→マルチナンバー着信音の順に鳴ります。
  - ・2in1利用時、Bナンバーに着信した場合は、電話帳指定着信音→グループ指定着信音→Bナンバー着信音の順に鳴ります。
  - ・2in1利用時、Bアドレス宛のメールを受信した場合は、電話帳指定メール着信音→グループ指定メール着信音→Bアドレス宛のメール着信音の順に鳴ります。
  - ・公衆電話／非通知／通知不可能の電話を着信したときは、それぞれ着信音選択で設定した着信音が優先されます。ただし、非通知のテレビ電話を着信したときは、テレビ電話着信音が優先されます。
- データ通信時の着信音と着信画面は、音声電話の設定と同じです。
- 2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定しているときは、音声電話着信音、テレビ電話着信音、メール着信音、SMS着信音は設定できません。
- 次の場合は、着信音に設定できません。
  - ■ microSDカードからFOMA端末にコピーしたｉモーション
  - ■ 映像のみのｉモーション
  - ■ テロップの付いたｉモーション
  - ■ 再生制限のある着うた®やｉモーション、着うたフル®、うた･ホーダイ
  - ■ 再生期限および更新有効期間が終了したうた･ホーダイ
  - ■ 着信音設定が[不可]の着うた®やｉモーション、着うたフル®、うた･ホーダイ
  - ■ 対応するミュージック（会員制）サービスのライセンスがないうた･ホーダイ
  - ■ ダウンロードの途中で保存した着うたフル®

■ お買い上げ時に登録されているメロディ

曲　名	3D情報	曲　名	3D情報
着信音 1	―	Skyscraper	有
着信音 2	―	夏※1	有
着信音 3	―	ガヴォット※2	―
着信音 4	―	王家の末裔	―
着信音 5	―	Siesta	有
着信音 6	―	ワルキューレの騎行※3	有
黒電話	―	月の光※4	有
メールが届きました	―	サイレント	―
Coffee Break	―	TI(標準音)	―
クリスタル	―	TI(時間です)	―
Smily Tap	有	TI(It's time)	―

作曲者名
※1　Vivaldi Antonio Lucio
※2　Gossec Francois Joseph
※3　Richard Wagner
※4　Debussy

GPS音選択
GPS機能利用時の音を変える

1 **カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音選択]▶[GPS音選択]**

2 **項目を選ぶ**

3 **音を選ぶ**

◆ **[メロディ]▶メロディにカーソルを合わせる▶[決定]**
・メロディの確認:メロディを選ぶ

◆ **[OFF]**

各種設定音を変える

カメラのシャッター音を変更する<シャッター音>

1 **カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音選択]▶[シャッター音]**

2 **音を選ぶ**

● 音の確認:音にカーソルを合わせる▶[再生]

タイマー音を変更する<タイマー音>

1 **カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音選択]▶[タイマー音]**

2 **音を選ぶ**

◆ **[標準音]▶鳴動時間を入力▶[決定]**
・標準音の確認:[再生]

◆ **[メロディ]▶メロディにカーソルを合わせる▶[決定]▶鳴動時間を入力▶[決定]**
・メロディの確認:メロディを選ぶ

◆ **[OFF]**

着信音量選択／メール着信音量選択
着信音の音量を変える

● 調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。

● [音量 1]～[音量10]、[サイレント]、[ステップトーン](だんだん大きな音になる)に調節できます。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音量選択]**

2 **項目を選ぶ**

次ページへ続く▶▶

3 音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]
- ステップトーン：[ステップトーン]
  - ・[音量10]で上にスライドしても設定できます。
- サイレント：[音量１]で下にスライド

● データ通信時の着信音量は、音声電話着信音の設定に従います。

GPS音量選択

GPS機能利用時の音の音量を変える

● 調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。

● [音量１]～[音量10]、[サイレント]、[ステップトーン](だんだん大きな音になる)に調節できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音量選択]▶[GPS音量選択]

2 項目を選ぶ

3 音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]
- ステップトーン：[ステップトーン]
  - ・[音量10]で上にスライドしても設定できます。
- サイレント：[音量１]で下にスライド

受話音量選択

受話音量を変える

● 調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。

● [音量１]～[音量10]に調節できます。

● 通話中の受話音量調節については☞P.71

1 クイック設定で[受話音量選択]

2 音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]

ボタン/タッチ音／待受ｉモーション音／充電開始音／充電完了音／タイマー音

各種設定音の音量を変える

● 調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。

● [音量１]～[音量10]、[サイレント]に調節できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音量選択]

2 項目を選ぶ

3 音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]
- サイレント：[音量１]で下にスライド

● マナーモード設定中は、この機能の設定にかかわらず、音は鳴りません。

音再生設定

3Dサウンドや音質を設定する

メロディなどを再生するときのステレオ効果やイコライザを設定できます。

● 音再生設定のメロディステレオ効果設定／メロディイコライザ設定と、メロディ再生中(☞P.361)のステレオ効果設定／イコライザ設定は連動しています。

3Dサウンド／サラウンドを設定する
<メロディステレオ効果設定>

● 設定できる効果は次のとおりです。

ステレオ／3Dサウンド ON	3Dサウンドを3次元の立体音響でステレオスピーカから再生できます。3D情報が含まれていない着信音はステレオサウンドで鳴ります。 3Dサウンド対応のｉアプリのゲームや着信音を臨場感あふれるサウンドでお楽しみいただけます。
サラウンド	音に臨場感や立体感を出す方式です。3D情報に関係なくサラウンドで鳴ります。

1 カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音再生設定]▶[メロディステレオ効果設定]

2 効果を選ぶ

- 3Dサウンドを最も効果的にお楽しみいただくには、FOMA端末を約40cm離し、正面に向けてお持ちください。
- 着信音などのｉモーションを設定したとき、サラウンド効果は無効となります。

イコライザを設定する<メロディイコライザ設定>

音楽のジャンルに合わせてイコライザを設定できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音再生設定]▶[メロディイコライザ設定]

2 種類を選ぶ

優先する再生音を設定する<再生音優先設定>

- ミュージックプレーヤーで音楽再生中にｉアプリを起動したとき、[ミュージックプレーヤー]に設定しているとバックグラウンド再生できます。ただし、ｉアプリからの音は設定に関係なく優先して鳴ります。

1 カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音再生設定]▶[再生音優先設定]

2 設定を選ぶ

バイブレータ設定

着信やアラームを振動で知らせる

電話着信、メール受信、アラーム動作時、GPS機能利用時、タッチパネルをタッチしたときに振動でお知らせできます。

- アラーム動作時のバイブレータは、着信バイブレータの設定に従います。

パターン1	約0.8秒振動→約0.8秒停止の繰り返し
パターン2	約0.3秒振動→約0.3秒停止→約0.3秒振動→約1秒停止の繰り返し
パターン3	連続振動
メロディ連動	バイブレータが動作するように作成されたメロディのとき、メロディと連動してバイブレータが振動します。連動していないメロディのときは、パターン1で振動します。

1 カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[バイブレータ設定]

2 項目を選ぶ

3 バイブレータを選ぶ

- タッチバイブレータは、[ON]／[OFF]のみ設定できます。
- [パターン1]～[パターン3]にカーソルを合わせると、バイブレータの振動を確認できます。

- バイブレータを設定したとき、机の上などにFOMA端末を置いておくと、振動によって落下するおそれがありますので、ご注意ください。

メロディコール設定

呼出音を変える

音声電話をかけてきた相手に、「プルル・・」という呼出音の代わりに季節感のあるメロディを流します。お好みのメロディに変更することもできます。

- テレビ電話から発信された場合、メロディコールは流れません。
- メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです(お申し込みにはｉモード契約が必要です)。
- メロディコールの利用方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[着信時設定]▶[メロディコール設定]▶[はい]

- メロディコールのｉモードサイトに接続します。ｉモードサイトに接続するとパケット通信料がかかります(設定サイトはパケット通信料がかかりません)。

2 設定する

通話品質アラーム

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

- 通話品質アラームは、音声電話のみに対応しています。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[通話中設定]▶[通話品質アラーム]

2 アラーム音を選ぶ

- 急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

着信鳴動時間設定

メールの着信音やGPS機能利用時の音を鳴らす時間を設定する

1 カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[着信鳴動時間設定]

2 項目を選ぶ

◆ [メール鳴動時間設定]▶[ON]
◆ [GPS鳴動時間設定]▶項目を選ぶ▶[ON]

3 鳴動時間を入力▶[決定]

- 次の場合は、メールを受信してもメール着信音は鳴りません。
  - 通話中
  - ｉアプリ起動中
  - カメラ起動中(コラムリーダー、バーコードリーダーを除く)
  - GPS測位中
  - パターンデータ更新中
  - ワンセグ視聴中・録画中(マルチウインドウ時を除く)
  - ムービー再生中
  - エリアメール自動表示中
  - microSDカード参照中
  - ｉモーション取得中(ストリーミングタイプ)
  - ｉウィジェット起動中

イヤホン切替設定

イヤホンだけから着信音を鳴らす

イヤホンマイク(別売)などを接続したとき、着信音やアラーム音などをイヤホンだけから聞こえるように設定できます。

- [イヤホンのみ]に設定しても、イヤホンマイクなどが接続されていないときは、スピーカから鳴ります。
- Bluetooth機器をヘッドセットサービスで接続しているときもイヤホン切替設定に従います。

1 カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[イヤホン切替設定]

2 設定を選ぶ

- イヤホンマイクからの音量は、各機能の音量設定で設定された音量で聞こえます。
- イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。内蔵アンテナが正しくはたらかないことがあります。
- イヤホンマイクのプラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全で止まっていると、音が切れたり、雑音や大きな音がすることがあります。
- 電源を入れたときや操作したときに「パチッ」と音がすることがありますが、故障ではありません。

マナーモード

電話から鳴る音を消す

公共の場所などで電話の音を周囲に出したくないときは、マナーモードを利用しましょう。FOMA端末から音を出さないように、切り替えることができます。

- マナーモード設定中も、カメラのシャッター音、撮影開始音／停止音は鳴ります。
- マナーモード設定中に緊急地震速報を受信すると、マナーモードの設定にかかわらずバイブレータは動作します。また、オリジナルマナーモードで、次のいずれかの音を鳴らす設定になっているときは専用警報音（ブザー音）も鳴ります。
  - ■ 着信音 ■ メール着信音 ■ アラーム音
  - ■ ボタン／タッチ音 ■ 電池残量警告音
- マナーモードの種類によって、各機能の設定内容が異なります。

機　能	通　常	サイレント	オリジナル※1
伝言メモ、バイブレータ	ON	OFF※2	ON
着信音、メール着信音	サイレント	サイレント	サイレント
アラーム音、ボタン／タッチ音、電池残量警告音	OFF	OFF	OFF
マイク感度アップ※3	ON	ON	ON
着信ランプ、メール着信ランプ	ON	ON	ON

※1　オリジナルマナーモードの設定は変更できます。

※2　マナーモード設定前に伝言メモ設定を[ON]にした場合は、伝言メモは有効になります。

※3　マイク感度アップを設定すると、通話中のマイクの感度が高くなり、小さな声でも通話できます。ただし、ハンズフリーでの通話中は、マイク感度は変わりません。

マナーモードを設定／解除する

1 待受タッチランチャで[]

- マナーモードを設定すると、[]が表示されます。
- オリジナルマナーモードの設定については☞P.100
- マナーモード設定画面が表示され、マナーモードの種類を選択できます。約2秒間何も操作しないと、選択中のマナーモードが設定されます。

■ 指定した時刻にマナーモードを自動的に解除する <マナー解除>

1 待受画面で ▶ 解除時刻（4桁：24時間制）を入力 ▶ [クイック] ▶ [マナー解除]

- 一度マナーモードが解除されると、マナー解除の設定は無効になります。繰り返し利用する場合は毎回マナー解除を設定してください。

着信中にマナーモードを設定／解除する

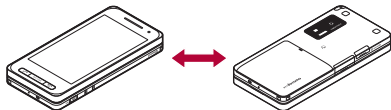
1 着信中にFn＋D（1秒以上）

- 前回設定したマナーモード（初回は通常マナーモード）が設定されます。

クイックサイレントで着信音やアラーム音を止める

マナーモードを設定していないときでも、FOMA端末を裏返して一時的に着信音やアラーム音、タイマー音、バイブレータを止めることができます。

- あらかじめクイックサイレントを[ON]に設定してください。

1 着信中やアラーム鳴動中などにFOMA端末を裏返す

- クイックサイレントを[OFF]に設定している場合でも、着信中は[サイレント]をタッチして着信音やバイブレータを止めることができます。

- 位置提供時の音も同様の操作で止めることができます。

■ FOMA端末を裏返して音を止めるように設定する <クイックサイレント>

1 カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[クイックサイレント]▶[ON]

オリジナルマナーモード

オリジナルマナーモードを変更する

1 カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[マナーモード設定]▶[ON]▶[オリジナルマナーモード]

2 項目を選ぶ

3 設定を選ぶ

- 音量の調節方法については☞P.96「着信音の音量を変える」の操作3へ

待受設定

待受画面の表示を変える

画像を表示する<待受画面設定>

あらかじめ登録されている画像やFOMA端末で撮影した静止画、動画、サイトから取得した画像などを待受画面(待受画面(横)を含む)に設定できます。

- 待受画面(横)には、iモーションやiアプリを設定できません。
- 2in1待受画面設定については☞P.456

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[待受設定]▶[待受画面設定]

2 設定する画面を選ぶ

3 画像にカーソルを合わせる▶[決定]▶[はい]

- 画像の確認:画像を選ぶ
- 画像のサイズによっては、表示サイズ選択画面が表示されます。表示サイズを選んでください。
- [iアプリ]の設定については☞P.304

- 音声のみ/再生制限あり/ASF形式のiモーションは待受画面に設定できません。
- 動画/iモーションは、画像サイズが「QVGA:320×240」、「hQVGA:240×176」、「QCIF:176×144」、「sQCIF:128×96」の場合のみ待受画面に設定できます。
- microSDカード内の画像は設定できません。FOMA端末にコピー/移動してから設定してください。
- microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のiモーションは直接設定できますが、設定されたiモーションはFOMA端末のデータBOXのiモーション/ムービーの[iモード]フォルダに移動されます。
- 待受画面に設定した画像を削除すると、データBOXのマイピクチャの[プリインストール]フォルダ内の画像が設定されます。

● サイトなどから取得した画像によっては、正しく表示されないときがあります。
● 2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定しているときは、待受画面設定からの設定はできません。

■ 待受画面から画像を変更する<クイック壁紙セッティング>

待受画面の壁紙をロングタッチすると、クイック壁紙セッティングモードになり、待受画面を簡単に変更することができます。

● 設定されているきせかえツールによっては、変更できない場合があります。

1 待受画面の壁紙をロングタッチ▶[確認]

- 画像が全画面表示になります。

2 左右にすばやくスライドして画像を選ぶ▶画面をタッチしてボタンを表示▶[決定]／[OK]

- 待受画面に設定している画像と同じフォルダに保存されている画像から選択できます。
  - ・フォルダ内の画像が1枚のみの場合は変更できません。
- ｉモーションやｉアプリを設定している場合は変更できません。
- Flash画像を一時停止／再生する場合は[停止]／[再生]または[▶II]をタッチします。
- 縦表示のときは待受画面(縦)を、横表示のときは待受画面(横)を設定できます。

■ 待受画面設定した画像の操作

● 待受画面に設定したFlash画像やGIFアニメーション、ｉモーションは、次の操作を行うと再生されます。
■ FOMA端末を開く
■ FOMA端末を閉じる
■ 待受画面で画像の停止中に[CLR]を押す
■ 他の画面から待受画面に戻る

Flash画像、GIFアニメーション

● 最初の1コマ目から最長約20秒再生され、再生終了後は停止したコマが待受画面として表示されます。再生中に[CLR]を押すと一時停止／再生を切り替えることができます。

ｉモーション

● 最初の1コマ目から最長約20秒再生され、再生終了後は1コマ目が待受画面として表示されます。再生中に[CLR]を押すと1コマ目に戻り停止し、再度[CLR]を押すと再生されます。
● 再生中に音声の有無を切替：[マナー](1秒以上)

● 待受画面を表示すると、時計などのFlash画像やGIFアニメーションは、一定時間再生されたあとに停止します。
● Flash画像の時計が止まった場合は、Flash画像の再生を行うと再開されます。時計の時刻がずれている場合は、Flash画像再生時に更新され、正しい時刻が表示されます。
● Flash画像の効果音は再生されません。
● 省電力モードになっているときは、いずれかのボタンを押すと画面が表示されます。音声電話中以外は、押したボタンの機能は実行されません。

カレンダーを表示する<カレンダー表示設定>

待受画面にカレンダーを表示させることができます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[待受設定]▶[カレンダー表示設定]

2 表示方法を選ぶ

- [2ヶ月]のとき：[2ヶ月]▶表示指定を選ぶ

● カレンダー表示中はｉチャネルテロップが表示されません。
● 横表示のとき、表示指定は反映されません。

■ 待受画面でのカレンダー操作

● 前後のカレンダーを表示：上下にすばやくスライド
● 待受画面、待受メモ表示、カレンダー表示、ウェルネス表示の切替：[CLR]

● カレンダー表示中は、下にすばやくスライドしてTOP MENUを表示することができません。[CLR]を押してカレンダーを非表示にしてから操作してください。

■ 待受画面でのカレンダー位置移動

1 待受画面でカレンダーをロングタッチ

2 カレンダーをタッチしたまま上下左右にスライド

- カレンダー位置調節後、約2秒経過すると位置が決定されます。

時計を表示する<待受時計表示設定>

待受画面に時計を表示させることができます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示･ランプ･省電力]▶[待受設定]▶[待受時計表示設定]

2 [時計表示]欄を選ぶ▶種類を選ぶ

◆ [ON(大)]

◆ [ON(小)]／[OFF]▶操作4へ

3 [時計グラフィック設定]欄を選ぶ▶画像にカーソルを合わせる▶[決定]

- 画像の確認:画像を選ぶ

4 [完了]

■ 待受画面での時計位置移動

- 待受時計表示設定を[ON(大)]に設定しているときのみ操作できます。

1 待受画面で待受時計をロングタッチ

2 待受時計をタッチしたまま上下左右にスライド

- 時計位置調節後、約2秒経過すると位置が決定されます。

待受メモを表示する<待受メモ表示設定>

待受画面に待受メモを表示させることができます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示･ランプ･省電力]▶[待受設定]▶[待受メモ表示設定]▶[ON]

■ 待受メモを保存する

保存できる待受メモは1件です。

1 待受メモを選ぶ

- 待受メモをタッチしてカーソルを合わせ、もう一度タッチします。
- 待受画面、待受メモ表示、カレンダー表示、ウェルネス表示の切替:[終話キー]

2 メモの種類を選ぶ

◆ **[手書きメモ]▶[新規]／[追記]▶手書きメモを入力**

・以降の操作については☞P.400「手書きメモを作成する」の操作2へ

◆ **[テキストメモ]▶メモを入力▶[決定]**

・全角57文字(半角115文字)まで入力できます。

- 手書きメモで作成した待受メモは、データBOXのマイピクチャの[手書きメモ]フォルダに保存されます。

■ 手書きメモの拡大表示

1 待受画面で手書きの待受メモをロングタッチ

- 画面をタッチすると拡大表示を終了します。

卓上設定

充電中に卓上時計／スライドショーを表示する

クローズポジションで待受画面表示中に充電を開始すると、卓上時計やスライドショーを表示することができます。

- 表示を開始してから2時間経過すると待受画面に戻ります。
- ディスプレイの明るさは[明るさ3]になります。
- 次の動作で待受画面に戻ります。

■ いずれかのボタンを押す　■ タッチ操作
■ メールの受信　■ 電話の着信
■ アラームの動作　■ オープンポジションにする
■ 縦／横表示を切替(スライドショーのみ)

卓上時計を表示する<卓上時計>

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[待受設定]▶[卓上設定]▶[卓上時計]
- 卓上時計を表示しない:[OFF]

2 パターンを選ぶ
- パターンの確認:パターンにカーソルを合わせる▶[プレビュー]

スライドショーを表示する<スライドショー>

指定したフォルダ内の画像を連続して表示します。

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[待受設定]▶[卓上設定]▶[スライドショー]
- スライドショーを表示しない:[OFF]

2 [再生フォルダ設定]▶再生フォルダを選ぶ

3 [再生間隔]▶速度を選ぶ

4 [効果設定]▶効果を選ぶ

5 [完了]

- スライドショーの再生間隔、効果設定は、データBOXのスライドショーの設定と連動しています。

縦横画面自動切替

縦／横表示を自動的に切り替えるかどうかを設定する

クローズポジションのときにFOMA端末の向きに応じて縦／横表示を自動で切り替えるかどうかを設定します。

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[待受設定]▶[縦横画面自動切替]

2 設定を選ぶ

待受スライド連動設定

FOMA端末を開いてメール作成画面／Bookmark一覧画面を表示する

待受画面表示中にオープンポジションにするだけで、メール作成画面、Bookmark一覧画面を表示することができます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[待受設定]▶[待受スライド連動設定]

2 設定を選ぶ
- メール作成画面、Bookmark一覧画面を表示させないときは[待受]を選択します。

発着信画面設定／メール送受信画面設定

発着信時／メール送受信時の画面を変更する

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[カラー・グラフィック設定]▶[発着信画面設定]／[メール送受信画面設定]

2 項目を選ぶ▶[画像選択]

3 画像にカーソルを合わせる▶[決定]
- 画像の確認:画像を選ぶ

- 着信画面と受信完了画面には、ｉモーション(音声のみのｉモーションは除く)も設定できます。
- 設定した画像を削除すると、データBOXのマイピクチャの[プリインストール]フォルダ内の画像が設定されます。
- 非通知のテレビ電話着信は、テレビ電話着信画面が優先されます。
- microSDカード内の画像は設定できません。FOMA端末にコピー／移動してから設定してください。

次ページへ続く▶▶

- microSDカードからFOMA端末にコピーしたｉモーションは着信画面や受信完了画面に設定できません。撮影した動画は、FOMA端末に直接保存して、設定してください。
- microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のｉモーションは直接設定できますが、設定されたｉモーションはFOMA端末のデータBOXのｉモーション／ムービーの[ｉモード]フォルダに移動されます。

発着信時に電話帳に登録した画像を表示する<ピクチャーコール設定>

電話帳に登録したピクチャーコール(☞P.84)を表示させるかどうかを設定します。

- 相手の発信者番号が通知されない場合や、電話帳にピクチャーコール(画像)を設定していないときは、ピクチャーコール設定を[ON]に設定してもピクチャーコールの画像は表示されません。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[表示･ランプ･省電力]▶[カラー･グラフィック設定]▶[発着信画面設定]▶[ピクチャーコール設定]**

2 **設定を選ぶ**

- 画像は次の優先順位で表示されます。

	優先順位(高→低)
画像	電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定→発着信画面設定 ● ｉモーションを設定している場合は、設定しているｉモーションが優先されるときがあります。

背景設定

画面の背景をまとめて設定する

電話帳、メール、データBOXなど各種画面の背景画像を統一して変更します。

- カラーテーマ設定の設定によっては画面が見えにくくなる場合があります。背景設定を変更するか、カラーテーマ設定を変更してください。

背景画像の表示を設定する<画像表示>

1 **カスタムメニューで[設定]▶[表示･ランプ･省電力]▶[カラー･グラフィック設定]▶[背景設定]▶[画像表示]**

2 **設定を選ぶ**

背景画像を変更する<背景画像(縦)／背景画像(横)>

1 **カスタムメニューで[設定]▶[表示･ランプ･省電力]▶[カラー･グラフィック設定]▶[背景設定]▶[背景画像(縦)]／[背景画像(横)]**

2 **画像を選ぶ▶[決定]**

- 画像の確認：画像を選ぶ

- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像、GIF画像を設定できます。サイトからダウンロードした画像も利用できます。

背景画像の濃度を変更する<濃度設定>

1 **カスタムメニューで[設定]▶[表示･ランプ･省電力]▶[カラー･グラフィック設定]▶[背景設定]▶[濃度設定]**

2 **濃度を選ぶ**

照明・省電力設定

電池の消費を節約する

ディスプレイの表示時間などを調整して電池の消耗を抑えることができます。

● 照明・省電力設定の種類によって、表示時間などが次の表のように異なります。

	通常モード(明るさ自動)	通常モード(明るさ固定)	Ecoモード(省電力)	オリジナルEcoモード※1
照明時間設定	約10秒	約10秒	約5秒	約10秒
画面表示時間設定	約30秒	約30秒	約15秒	約30秒
明るさ調整※2	自動	6	1	自動
ボタン照明設定	点灯	点灯	消灯	点灯
クローズ後点灯時間	約5秒	約5秒	約3秒	約5秒

※1 オリジナルEcoモードの変更については☞P.105

※2 [自動]に設定すると、明るさセンサー(☞P.25)が周囲の明るさによって自動的にディスプレイの照明の明るさやボタンのバックライトの照明を点灯させるかを調整します。状況によっては、調整に時間がかかるときがあります。

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[照明・省電力設定]

2 種類を選ぶ

Ecoモード(省電力)に設定する

1 クイック設定で[Ecoモード]▶[はい]

- もう一度[Ecoモード]を選ぶと照明・省電力設定画面が表示され、設定を変更できます。

オリジナルEcoモード

オリジナルの省電力モードを設定する

ディスプレイとボタンの照明時間を設定する <照明時間設定>

一定時間FOMA端末を使用しなかったときに、バックライトが点灯している時間を各機能ごとに設定できます。

通常時	電源を入れたとき、ボタンを押したとき、FOMA端末を開閉したとき、電話がかかってきたときなどに照明が点灯する時間を、1～99秒の間で設定できます。
充電時	ACアダプタ(別売)、DCアダプタ(別売)を接続しているときに照明が点灯する時間を[通常時と同じ]または[常にON]に設定できます。
テレビ電話時	テレビ電話中に照明が点灯する時間を[通常時と同じ]または[常にON]に設定できます。[常にON]に設定したときは[明るさ2]になります。
インターネット時	iモード/フルブラウザ中に照明が点灯する時間を[通常時と同じ]または[常にON]に設定できます。
iアプリ時	iアプリ中に照明が点灯する時間を[通常時と同じ]または[ソフトに従う]に設定できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[照明・省電力設定]▶[オリジナルEcoモード]▶[照明時間設定]

2 項目を選ぶ

3 設定を選ぶ

- [通常時]の設定を変更するとき:点灯時間を入力▶[決定]

● 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

● 複数の照明時間が設定されているときは、次の優先順位で点灯します。

	優先順位(高→低)
照明時間	iアプリ時→充電時→テレビ電話時／インターネット時→通常時

・iアプリ起動中にテレビ電話を利用する場合は、テレビ電話時の設定が優先されます。

● オリジナルEcoモードの照明時間設定と、テレビ電話中のテレビ電話中照明は連動しています。

画面表示時間を設定する<画面表示時間設定>

一定時間FOMA端末を使用しなかったときに、ディスプレイの表示を消します。

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[照明・省電力設定]▶[オリジナルEcoモード]▶[画面表示時間設定]

2 時間を選ぶ

● 音声電話中の点灯時間は、画面表示時間設定にかかわらず、約10秒間となります。

● ディスプレイの表示が消えているときに、いずれかのボタンを押すと画面が表示されます(☞P.38)。

● iチャネルテロップ表示中でも、画面表示時間設定に従ってディスプレイの表示が消えます。ただし、[30秒]に設定した場合、約60秒間はディスプレイの表示が消えません。

● 次の場合は、画面表示時間設定の時間が経過してもディスプレイの表示は消えません。

■ テレビ電話中
■ メール送受信中
■ iモーション再生中※1
■ GPS測位中
■ ワンセグ視聴中・録画中※2
■ 卓上時計／スライドショー表示中
■ ワンセグの自動チャンネル設定中
■ iモード通信中
■ カメラ起動中
■ スライドショー再生中
■ 外部機器とのデータ転送中
■ ビデオ再生中※2
■ ムービー再生中

※1 待受iモーションを除く。
※2 マルチウインドウ時は除く。

ディスプレイの明るさを調整する<明るさ調整>

● 調整方法は次のとおりです。

自動	周囲の明るさによって、自動的にディスプレイの明るさを調整します。ボタン照明設定を[点灯]に設定しているときは、ボタン照明の点灯／消灯も自動的に調整します。
手動	16段階で調整できます。調整しながら明るさを確認できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[照明・省電力設定]▶[オリジナルEcoモード]▶[明るさ調整]

2 調整方法を選ぶ

・[手動]のとき：[手動]▶[明▲]／[暗▼]で明るさを調整▶[決定]

● 明るくすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

ボタンのバックライトを設定する<ボタン照明設定>

ボタンのバックライトの点灯／消灯を設定します。

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[照明・省電力設定]▶[オリジナルEcoモード]▶[ボタン照明設定]

2 設定を選ぶ

- [点灯]に設定したときの点灯時間は、照明時間設定に従います。
- [点灯]に設定すると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

FOMA端末を閉じたときのディスプレイの照明時間を設定する<クローズ後点灯時間>

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[照明・省電力設定]▶[オリジナルEcoモード]▶[クローズ後点灯時間]

2 設定を選ぶ

- [画面表示時間に従う]に設定しても、次の場合は点灯時間が短くなります。
  - ■ タッチパネル/キーロック中:約3秒間
  - ■ 音声電話中:約10秒間

きせかえツール

カスタムメニューのデザインを変更する

きせかえツールを利用してカスタムメニュー画面や待受画面、メニューアイコン、着信音などをまとめて変更できます。

- きせかえツールのダウンロードについては☞P.193
- 変更される項目の一覧は次のとおりです。ただし、変更される項目は、きせかえツールにより異なります。

画面	待受画面(縦)、待受画面(横)、音声電話発信画面、テレビ電話発信画面、音声電話着信画面、テレビ電話着信画面、メール送信画面、メール受信画面、メール受信完了画面、メッセージR受信完了画面、メッセージF受信完了画面、SMS受信完了画面、電波マーク、電池マーク、お知らせウィンドウアニメ、カスタムメニュー画像、マチキャラ、ベールビューのパターン画像、背景画像(縦)、背景画像(横)
着信音	音声電話着信音、テレビ電話着信音、メール着信音、メッセージR着信音、メッセージF着信音、SMS着信音、iコンシェル着信音
その他	カラーテーマ、文字サイズ、フォント、iチャネルテロップ設定、テロップ文字サイズ設定、テロップ色設定、背景設定、アラーム音(すべてのアラーム音)

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[きせかえツール]

- カスタムメニュー、基本メニューで[きせかえ]をタッチしても操作できます。
- [設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[カラー・グラフィック設定]▶[きせかえツール]でも操作できます。

2 きせかえツールにカーソルを合わせる▶[きせかえ]▶[はい]

- データの確認:きせかえツールを選ぶ(きせかえツール内データ一覧画面を表示)▶データを選ぶ
- 文字サイズの一括設定確認画面が表示された場合、きせかえツールに指定されている文字サイズに変更するときは[はい]を選びます。

- きせかえツールを利用してカスタムメニュー画像を変更した場合、メニューの操作履歴に従ってカスタムメニューの項目が変わるものがあります。
- microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のきせかえツールは、データ確認はできますが、直接設定することはできません。FOMA端末に移動してから設定してください。
- 2in1利用時、きせかえツールを設定しても次の項目には反映されません。
  - ■ [デュアルモード]と[Bモード]の待受画面(☞P.456)
  - ■ Bナンバーの音声電話着信音、テレビ電話着信音、SMS着信音、Bアドレスのメール着信音(☞P.457)

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]	
▶[フォルダ新規作成]	☞P.376
▶[フォルダ名編集]	☞P.377
▶[フォルダセキュリティ]	☞P.377
[削除]	☞P.377
[表示切替]	☞P.341
[microSDへ移動]	☞P.369
[本体⇔microSD切替]	

■ きせかえツール一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]	
▶[タイトル編集]	☞P.377
▶[情報表示]	☞P.379
[削除]	☞P.379
[分類登録]	☞P.378
[きせかえ]▶[はい]	
[移動]	
▶[フォルダ間移動]	☞P.378
▶[microSDへ移動]	☞P.370
[きせかえツール設定]	
▶[表示切替]	☞P.341
▶[ソート]	☞P.378
[本体⇔microSD切替]	

■ きせかえツール内データ一覧画面のサブメニュー操作

[音量設定]▶音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]

[待受ｉモーション設定]▶サイズを選ぶ
- 待受画面設定時の表示サイズを設定します。

メニュー項目を変更する

きせかえツールによっては、カスタムメニューの項目を他の機能に変更できます(手動カスタマイズ)。
- お買い上げ時に登録されているきせかえツールは、手動カスタマイズに対応していません。

■ メニュー項目を変更する<機能割り当て変更>

1 **カスタムメニューで項目にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[機能割り当て変更]**

2 **割り当てる機能を選ぶ▶[はい]**

■ 手動カスタマイズしたメニューをリセットする<機能割り当てリセット>

1 **カスタムメニューで[サブメニュー]▶[機能割り当てリセット]▶[はい]**

メニュー項目を操作履歴により自動的に並べ替える

きせかえツールによっては、メニューの操作履歴に従ってカスタムメニューの項目を自動的に並べ替えるものがあります(自動カスタマイズ)。
- お買い上げ時に登録されている[ダイレクトメニュー]は自動カスタマイズに対応しています。
- きせかえツールによって、並べ替えかたなどは異なります。

■ 自動カスタマイズされたメニューをリセットする<メニュー操作履歴のリセット>

1 **カスタムメニューで[サブメニュー]▶[メニュー操作履歴のリセット]▶[はい]**

きせかえツール設定を初期状態に戻す
＜きせかえツールのリセット＞

■ 画面／着信音のすべての設定項目を初期状態に戻す ＜画面／音設定の初期化＞

1 **待受画面で⑨（1秒以上）▶［きせかえツールのリセット］**

2 **［画面／音設定の初期化］▶端末暗証番号を入力▶◉▶［確認］**

■ メニュー画面だけをリセットする＜メニュー画面リセット＞

● リセットすると、きせかえツール［White］のメニュー画面が設定されます。

1 **待受画面で⑨（1秒以上）▶［きせかえツールのリセット］**

2 **［メニュー画面リセット］▶端末暗証番号を入力▶◉▶［確認］**

■ 最後にきせかえられた項目をまとめて元に戻す＜一括解除＞

1 **待受画面で⑨（1秒以上）▶［きせかえツールのリセット］**

2 **［一括解除］▶端末暗証番号を入力▶◉▶［確認］**

マチキャラ
マチキャラを設定する

マチキャラを設定すると待受画面にキャラクタが表示されます。不在着信／新着メール／ポップアップメッセージがあるときや、時間帯、誕生日などによってマチキャラの表示が異なります。

● マチキャラのダウンロードについては☞P.193
● 待受画面にｉアプリを設定している場合、マチキャラは表示されません。
● マチキャラのアクションによっては、マチキャラの一部が表示されない場合があります。

1 **カスタムメニューで［設定］▶［表示・ランプ・省電力］▶［カラー・グラフィック設定］▶［マチキャラ］**

2 **設定を選ぶ**

◆ **［ON］▶マチキャラにカーソルを合わせる▶［決定］**
・現在設定しているマチキャラは表示されません。

◆ **［OFF］**

カラー・グラフィック設定
ディスプレイをアレンジする

ダイヤル入力画面の数字のデザインを設定する
＜ダイヤル画像設定＞

1 **カスタムメニューで［設定］▶［表示・ランプ・省電力］▶［カラー・グラフィック設定］▶［ダイヤル画像設定］**

2 **画像を選ぶ**

お知らせウィンドウのアニメーションを変更する
＜お知らせウィンドウアニメ＞

確認メッセージやエラーメッセージを表示するウィンドウの画像を変更できます。

1 **カスタムメニューで［設定］▶［表示・ランプ・省電力］▶［カラー・グラフィック設定］▶［お知らせウィンドウアニメ］▶［画像選択］**

2 **画像にカーソルを合わせる▶［決定］**

● 画像の確認：画像を選ぶ

マークのデザインを変更する <電波／電池／小時計マーク>

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[カラー・グラフィック設定]▶[電波／電池／小時計マーク]
2 種類を選ぶ▶[画像選択]
3 画像にカーソルを合わせる▶[決定]
- 画像の確認：画像を選ぶ

画面の配色を変更する<カラーテーマ設定>

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[カラー・グラフィック設定]▶[カラーテーマ設定]
2 カラーテーマを選ぶ▶[はい]

基本メニューのデザインを変更する

基本メニューのアイコンや背景画像、アイコン名の有無を変更できます。
- データBOXのマイピクチャの画像を設定したとき、元の画像を削除してもアイコン画像の設定や背景画像の設定を変更するまでは画面が保持されます。

基本メニューのアイコンを設定する <アイコン画像設定>

- 1つのアイコンに対して非選択時用、選択時用の2枚の画像を設定できます。

1 基本メニューでいずれかのアイコンをタッチしたまま変更するアイコンまでスライド▶[サブメニュー]▶[アイコン設定]▶[アイコン画像設定]
2 非選択時用の画像にカーソルを合わせる▶[決定]
- 画像の確認：画像を選ぶ

3 [はい]▶選択時用の画像にカーソルを合わせる▶[決定]
- 画像の確認：画像を選ぶ

- 横152×縦152ドット、横76×縦76ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを利用できます。サイトでダウンロードした画像も利用できます。
- 非選択時用画像にGIFアニメーションを設定したとき、選択時用画像は設定できません。

アイコン名を表示する<アイコン名表示>

1 基本メニューで[サブメニュー]▶[アイコン設定]▶[アイコン名表示]
2 設定を選ぶ

- アイコン画像の中に文字が含まれているとき、アイコン名表示を[ON]に設定すると、文字が二重に表示されます。

基本メニューの背景を設定する<背景設定>

1 基本メニューで[サブメニュー]▶[背景設定]
2 背景画像にカーソルを合わせる▶[決定]
- 画像の確認：画像を選ぶ

- JPEG画像、GIF画像を利用できます。サイトからダウンロードした画像も利用できます。

基本メニューをお買い上げ時の状態に戻す <メニュー画面リセット>

1 基本メニューで[サブメニュー]▶[メニュー画面リセット]
2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

ランプ色設定／ランプパターン設定

ランプを設定する

着信時や通話中、GPS機能利用時などに点滅するランプの色やパターン、点滅の有無を設定できます。

● 項目によって、設定できる内容が異なります。

項目		点滅の有無	ランプ色	ランプパターン
着信ランプ	音声電話	×	○	○
	テレビ電話	×	○	○
メール受信ランプ		×	○	○
お知らせランプ	不在着信お知らせ	○	×	×
	新未読メールお知らせ	○	×	×
通話中ランプ		○	○	○
アラーム／タイマーランプ		○	○	○
ＩＣカードランプ		○	×	×
スライド連動ランプ		○	○	○
GPSランプ	現在地確認	○	○	×
	現在地通知	○	○	×
	位置提供／許可	×	○	×
	位置提供／毎回確認	×	○	×

○:設定を変更できます。
×:設定を変更できません。

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示･ランプ･省電力]▶[ランプ設定]

2 項目を選ぶ▶[ON]

3 [ランプ色設定]▶ランプ色を選ぶ

- 色にカーソルを合わせると、ランプの色を確認できます。

4 [ランプパターン設定]▶ランプのパターンを選ぶ

- パターンにカーソルを合わせると、ランプの点滅パターンを確認できます。

● データ通信時の着信ランプは、音声電話着信ランプで設定したランプ色と同じです。

● 複数の着信ランプが設定されているときは、次の優先順位で点滅します。

	優先順位(高→低)
着信ランプ	電話帳指定着信ランプ→グループ指定着信ランプ→通常の着信ランプ
メール着信ランプ	電話帳指定メール着信ランプ→グループ指定メール着信ランプ→通常のメール着信ランプ

お知らせランプについて

● 不在着信や新着メールがあったときにランプを約４秒間隔で点滅してお知らせします。不在着信と新着メールの両方があるときは、不在着信のランプ色で点滅します。

● 不在着信のランプ色は、音声電話着信ランプで設定したランプ色に従います。ただし、音声電話着信ランプが[レインボー]のときはランプ色[プラズマ]で点滅します。

● 新着メールのランプ色は、メール受信ランプで設定したランプ色に従います。ただし、メール受信ランプが[レインボー]のときはランプ色[リーフ]で点滅します。

● お知らせランプが点滅し始めてから約24時間何も操作しなかったときは、お知らせランプが消灯します。

表示画質設定

画質を変更する

画質モードを設定する<鮮やか画質モード設定>

画像や映像を表示する機能ごとに、ディスプレイの画質を設定できます。

ノーマル	通常の画質
ダイナミック	彩度をアップし、エッジを強調
ビビッド※1	彩度をアップ
シャープネス※1	エッジを強調
ゲーム※2	ゲームに適した画質
ジャンル連動※3	番組のジャンルに連動して画質調整
映画※4	映画に適した画質
スポーツ※4	スポーツ番組に適した画質

※1 [ワンセグ/データBOX(ワンセグ)]、[データBOX(レコーダー連携)]では設定不可
※2 [ｉアプリ]のみ設定可
※3 [ワンセグ/データBOX(ワンセグ)]のみ設定可
※4 [ワンセグ/データBOX(ワンセグ)]、[データBOX(レコーダー連携)]のみ設定可

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[表示画質設定]▶[鮮やか画質モード設定]
2 機能を選ぶ
3 画質モードを選ぶ▶[決定]

動画再生中に画質やバックライトの明るさを自動制御する<シーン別制御>

映像や周囲の明るさに応じて、画質やバックライトの明るさを自動制御します。

● 自動制御の方法は次のとおりです。

ON(明るく)	見た目の明るさが変わらないように、明るさを重視して自動制御します。
ON	電池の消費を抑えるように、省電力を重視して自動制御します。
OFF	自動制御しません。

● 次の画面で有効になります。
■ ｉモーション再生中 ■ Music&Videoチャネル再生中
■ ムービー再生中 ■ ワンセグ視聴中 ■ ビデオ再生中

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[表示画質設定]▶[シーン別制御]
2 設定を選ぶ

フォント(書体)設定

文字の設定(フォント)を変える

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[文字表示設定]▶[フォント(書体)設定]

• 3番目には、サイトからダウンロードしたフォントを登録できます(☞P.193)。お買い上げ時は[SHクリスタルタッチ]が登録されています。

2 フォントを選ぶ
• フォントにカーソルを合わせると、見本のフォントを確認できます。

AXISフォント　LC太明朝　SHクリスタルタッチ

音/画面/照明設定

● お買い上げ時に登録されているダウンロードフォントを削除後にもう一度ご利用になるときは、i Menu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます(☞P.133)。

■ フォント(書体)設定画面のサブメニュー操作

[削除]▶[はい]

[情報表示]

[情報表示]について

● 情報表示で表示される書体名はフォント名と異なる場合があります。

フォント(書体)設定をお買い上げ時の状態に戻す <フォント(書体)のリセット>

1 待受画面で9(1秒以上)▶[フォント(書体)のリセット]▶[はい]

文字サイズ設定

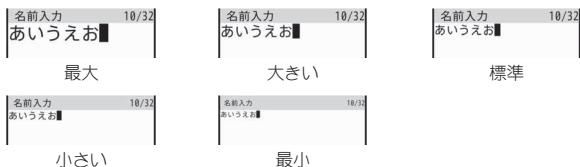
文字のサイズを変える

ディスプレイに表示される文字のサイズを変更できます。

● 一括設定で変更される項目と、個別に変更できる項目は次のとおりです。

一括設定	i モード、フルブラウザ、メール/メッセージ、文字入力、マンガ・ブックリーダー、サブメニュー、リスト表示、確認/エラーメッセージ
個別設定	i モード、フルブラウザ、メール/メッセージ、文字入力

例:文字入力を個別設定したとき

最大　大きい　標準　小さい　最小

1 カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[文字表示設定]▶[文字サイズ設定]

2 設定方法を選ぶ

◆ **[一括設定]▶文字サイズを選ぶ**
- メニューの変更確認画面が表示された場合、[はい]を選択すると文字サイズとメニューが変更されます。[いいえ]を選択すると文字サイズのみ変更されます。

◆ **[個別設定]▶設定する項目欄を選ぶ▶文字サイズを選ぶ▶[はい]**
- 複数の項目を変更するとき:操作2を繰り返す

● メール作成画面では、個別設定の文字入力を[最大]にしても、To、Sub、添付ファイル欄は[大きい]の文字サイズで表示されます。

ワンタッチで文字サイズを一括設定する

1 待受画面で5(1秒以上)

● 文字サイズが[標準]→[最大]→[小さい]の順に切り替わります。

Bilingual

画面を英語表示に切り替える

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[Bilingual]▶[English]

● 英語表示から日本語表示に切替:カスタムメニューで[Settings]▶[General settings]▶[Select language]▶[日本語]

● FOMAカードを挿入しているとき、設定はFOMAカードにも保存されます。FOMA端末とFOMAカードの設定が異なるときは、FOMAカードの設定が優先されます。

ベールビュー

周りの人からディスプレイを見えにくくする

ディスプレイにパターン(図柄やアニメーション)を表示させて、周りの人から見えにくくします。

1 カスタムメニューで[MULTI/]をロングタッチ

- 機能利用中は、[MULTI/]/[]をロングタッチするか、Fn+8を押します。
- ベールビューを設定すると、[]が表示されます。
- 表示パターン設定や濃度設定を行ってもベールビューが設定されます。

ベールビューを解除する

- カスタムメニューで[MULTI/]をロングタッチ
  - 機能利用中は、[MULTI/]/[]をロングタッチするか、Fn+8を押します。

- 電源を切るとベールビューは解除されます。ただし、マナーモード連動が[ON]でマナーモード設定中は、解除されません。
- 表示中の画面によっては、画面の色が異なって見える場合があります。

マナーモードに連動してベールビューを設定する<マナーモード連動>

マナーモードを設定したときに、自動的にベールビューも設定します。

1 クイック設定で[ベールビュー]▶[マナーモード連動]

2 設定を選ぶ

- マナーモード設定中でも、ベールビューを設定/解除することができます。

ベールビューのパターンを設定する<表示パターン設定>

1 クイック設定で[ベールビュー]▶[表示パターン設定]

2 パターンにカーソルを合わせる▶[決定]

3 表示パターンを選ぶ

◆ [タイル表示]▶設定を選ぶ
◆ [センター表示]▶表示サイズを選ぶ

- 周りの人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

ベールビューの濃度と見栄えを変更する<濃度設定>

1 クイック設定で[ベールビュー]▶[濃度設定]

2 濃度/見栄えを設定する

- 濃度の変更:上下にスライド
  - [濃い▲]/[薄い▼]をタッチしても変更できます。
- 正面からの見栄えを調整:左右にスライド
  - [狭い(−)]/[広い(+)]をタッチしても調整できます。

- 濃度は[濃い]、[標準]、[薄い]の順で周りの人から見えにくくする効果があります。
- 濃度を[薄い]に設定している場合は、見栄えの調整はできません。

あんしん設定

暗証番号

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

ケータイデータお預かりサービスを利用する

お買い上げ時の状態に戻す

遠隔初期化を利用する

その他の「あんしん設定」

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 端末暗証番号(各種機能用の暗証番号)、ネットワーク暗証番号、iモードパスワード、PIN1コード・PIN2コード入力時は、[✱]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書(お客様控え)に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)とFOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号(各種機能用の暗証番号)

端末暗証番号は、お買い上げ時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます(☞P.117)。

- 間違った端末暗証番号を入力したときは、[端末暗証番号が違います]と表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。
- 端末暗証番号の入力を、5回連続して間違えると電源が切れます。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID/パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、iモードからは、[iMenu]▶[お客様サポート]▶[各種設定(確認・変更・利用)]▶[ネットワーク暗証番号変更]からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My docomo」、「お客様サポート」については、取扱説明書の裏表紙の裏面をご覧ください。

iモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります(その他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります)。

- iモードパスワードは、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
- iモードから変更される場合は、[iMenu]▶[お客様サポート]▶[各種設定(確認・変更・利用)]▶[iモードパスワード変更]から変更ができます。

PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます(☞P.118)。

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する４～８桁の暗証番号(コード)です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。PIN2コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する４～８桁の暗証番号(コード)です。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための８桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとFOMAカードが完全にロックされます。

電源を入れたときの
セキュリティ

・ユーザ証明書操作
・FirstPass対応サイトに接続

PIN1コード入力

PIN2コード入力

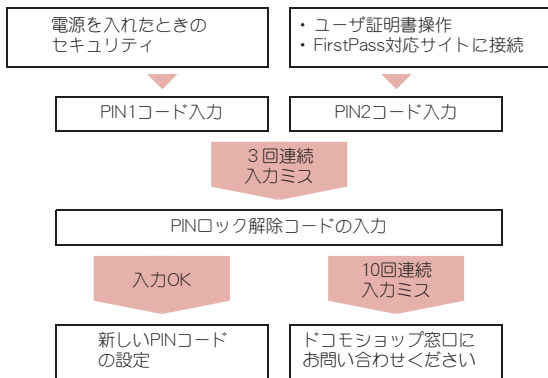
３回連続
入力ミス

PINロック解除コードの入力

入力OK

10回連続
入力ミス

新しいPINコード
の設定

ドコモショップ窓口に
お問い合わせください

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

端末暗証番号(４～８桁の数字)を変更できます。

1. **カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[端末暗証番号変更]▶現在の端末暗証番号を入力▶[OK]**
2. **新しい端末暗証番号を入力▶[OK]▶もう一度、新しい端末暗証番号を入力▶[OK]**

手書き認証設定

手書き認証について

タッチパネル上で文字や記号を手書きし、認証を行います。セキュリティ機能として端末暗証番号入力の代わりに利用できます。端末暗証番号入力に比べて登録内容の自由度が高くなります。ただし、厳密な筆跡による認証は行っておりませんので、登録内容は他人に知られないように十分ご注意ください。

- 手書き認証技術は完全に本人認証を保証するものではありません。当社では本製品を第三者に使用されたこと、また手書き認証の誤認証により使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

手書き認証を設定する<手書き認証設定>

手書き認証に必要な文字や記号を登録します。

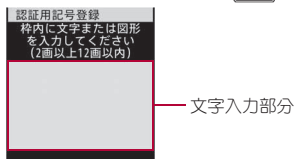
- 手書き認証に失敗したとき、エラー発生日時がエラー履歴に記憶され確認することができます。最新のものから９件まで記憶されます。

1. **カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[手書き認証設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[ON]**
   - [OFF]に設定したときは、操作完了となります。

次ページへ続く▶▶

2 [確認]▶[認証用記号登録]▶[確認]

- 登録した認証用記号の変更:[認証用記号登録]▶[上書登録]▶[確認]
- 登録した認証用記号の確認:[認証用記号登録]▶[登録データ確認]
  - ・認証用記号の削除:[削除]▶[はい]
- エラー履歴の確認:[エラー履歴]

3 文字入力部分に文字・記号を手書き入力▶[登録 Register]

- 文字入力部分に、認証に使用する文字や記号を手書き入力します。
- 2画以上12画以内および1画3秒以内で入力します。複数の記号に分けても登録できます。
- 入力した文字・記号の消去:[⮌]
- 認証用記号登録の終了:[終了 End]

4 [完了]▶[確認]

- 1画ごとの入力の長さが短いと正確な認証ができないことがあります。

手書き認証を実行する

1 手書き認証画面で、登録した認証用記号を手書き入力▶[認証 Auth]

- 登録時と同じ筆順で入力してください。
- 端末暗証番号入力に切替:[暗証番号 Sec Code]
- 入力した文字・記号の消去:[⮌]
- 手書き認証の終了:[終了 End]
- 認証に失敗すると、[登録された認証用データと一致しません]と表示されます。
  - ・手書き認証に2回続けて失敗すると、端末暗証番号入力画面が表示されます。

FOMAカード設定

PINコードを設定する

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定する<PIN1コード入力設定>

1 カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[FOMAカード(UIM)設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]

2 [PIN1コード入力設定]▶[ON]

3 PIN1コードを入力▶[OK]

- 設定はFOMAカードに保存されます。

■ 電源を入れたときにPIN1コードを入力する

PIN1コード入力設定を[ON]に設定すると、電源を入れたときに、PIN1コードの入力画面が表示されます。

1 PIN1コードの入力画面でPIN1コードを入力▶[OK]

PIN1コード／PIN2コードを変更する <PIN1コード変更／PIN2コード変更>

- PIN1コード入力設定が[OFF]に設定されているとき、PIN1コードは変更できません。

1 カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[FOMAカード(UIM)設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]

2 変更するPINコードを選ぶ

3 現在のPINコードを入力▶[OK]

- 間違ったPIN1コード／PIN2コードを入力すると、操作４のあと[PIN1／PIN2コードが認識できませんでした]と表示され、操作３に戻ります。

4 新しいPINコードを入力▶[OK]▶もう一度、新しいPINコードを入力▶[OK]

- 設定はFOMAカードに保存されます。

PINロックを解除する

- PIN2コードのロックを解除するときも、同様の操作で解除します。

1 PINロック中にPINロック解除コード入力画面でPINロック解除コード（８桁の数字）を入力▶[OK]

2 新しいPIN1コードを入力▶[OK]▶もう一度、新しいPIN1コードを入力▶[OK]

各種ロック機能

電話帳の呼び出し、登録、削除やダイヤル発信などの機能を制限できます。

ロック機能		動作・制限内容	ページ
オールロック		電源のON／OFFと音声電話／テレビ電話に応答する以外の操作ができないようにします。	P.119
おまかせロック		FOMA端末内のすべてのデータにアクセスできないように、遠隔操作でロックします。	P.120
セルフモード		電話やｉモードメール、SMS、ｉモードなどで、通信ができないように設定します。	P.121
機能別ロック		マルチメディア、メール、電話帳やスケジュールなどの表示や編集・操作ができないようにします。機能ごとに設定が可能です。	P.122
ダイヤル発信制限		ダイヤル入力による発信や電話帳の編集ができないようにします。	P.123
ロックセレクション	まとめてロック	ダイヤル発信制限・ＩＣカードロック・機能別ロックを一度に設定します。また、まとめて自動ロックを設定しておくと、ディスプレイの表示がOFFになったときなどに自動的にまとめてロックを設定することができます。	P.124
	ＩＣカードロック	ＩＣカード機能を利用できないようにロックします。	P.314
	タッチパネル／キーロック	クローズポジションのとき、タッチパネルやフロントボタン、サイドボタンを操作できないようにして、誤動作を防ぎます。	P.124

オールロック

他の人が使用できないようにする

FOMA端末の無断使用を防ぐため、電源ON／OFFと音声電話／テレビ電話に応答する以外の操作ができないようにします。

オールロックを設定する<オールロック>

1 カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[ロック設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[オールロック]▶[はい]

- オールロックを設定すると、待受画面に[オールロック]と表示され、[㊙]が表示されます。

オールロックを解除する

- 待受画面で[オールロック]▶端末暗証番号を入力▶[OK]

- オールロック中は待受画面には[待受画面1]が表示され、カレンダーやマチキャラは表示されません。オールロックを解除すると元の設定に戻ります。
- オールロックを設定しても、ICカード機能はロックされません。
- オールロック中に不在着信があっても画面には表示されません。オールロックを解除するとストックアイコン[▮](着信あり)が表示されます。
- オールロック中は音声電話やテレビ電話をかけることはできません。ただし、緊急通報番号(110番、119番、118番)には発信できます。発信するときは、端末暗証番号入力画面で電話番号を入力して⌸を押します。電話番号は[＊＊＊]で表示されます。
- オールロック中は着もじを受信しても表示されません。
- オールロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- オールロック中も、iモードメール、SMSやメッセージR/Fの自動受信ができますが、画面には表示されません。オールロックを解除すると、iモードメールやSMS、メッセージR/Fのアイコンが表示されます。
- オールロック中も、エリアメールは自動受信され、画面に表示されます。
- オールロック中も、地図・GPS機能の位置提供の要求には対応します。
- オールロック中にiアプリコールを受信しても、着信音は鳴らず、着信ランプやバイブレータも動作しません。また、[▣]やストックアイコン[▣](iアプリコールあり)も表示されません。オールロックを解除すると表示されます。
- オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。再び電源を入れて、正しい端末暗証番号を入力してください。

おまかせロック

おまかせロックを利用する

おまかせロック

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時におまかせロックがかからない場合で、1年以内に通信が可能になった場合、自動的にロックがかかります。ただし、解約・利用休止・電話番号変更・紛失時などで新しいFOMAカードの発行(番号を指定してロックした場合のみ)を行った場合は1年以内であっても自動的にロックはかかりません。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

- ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります(ただしご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります)。また、ケータイあんしんパックご契約の場合、ケータイあんしんパック定額料金内でご利用いただけます。
- おまかせロック中も位置提供可否設定を[位置提供機能ON]または[電話帳登録外拒否]に設定している場合は、GPS機能の位置提供要求に対応します。

おまかせロックの設定/解除
0120-524-360　受付時間　24時間
- パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定/解除ができます。

- おまかせロックの詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- おまかせロックを設定すると[おまかせロック中です]と表示されます。
- おまかせロック中は、音声/テレビ電話の着信に対する応答と電源ON/OFFの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能(ICカード機能を含む)を使用することができなくなります。
- 音声/テレビ電話の着信は可能ですが、電話帳に登録されている氏名、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。

- おまかせロック中に受信したメールは、ｉモードセンターに保存されます。
- 電源ON／OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
- FOMAカードやmicroSDカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

- 他の機能が起動中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用することができます。
- FOMA端末の圏外・電源OFF時・海外での使用時はロックおよびロック解除はできません。その他お客様の利用方法などにより、ロックおよび解除ができない場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）を設定した状態でおまかせロックをかけると、公共モード（ドライブモード）のガイダンスが流れ、通話を終了します。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード

発信や着信ができないようにする

- 次の機能で通信ができないように設定できます。
  - 音声電話
  - テレビ電話
  - ｉモードメール
  - SMS
  - メッセージR／F
  - ｉモード
  - ｉコンシェル
  - ｉC通信
  - 赤外線通信
  - 赤外線リモコン操作
  - Bluetooth機能
  - ソフトウェア更新
  - ネットワークサービス
  - データ通信（パケット通信／64Kデータ通信）

1 クイック設定で[セルフモード]

2 設定を選ぶ▶[はい]

- セルフモードを設定すると、[圏]が消え[Self]が表示されます。

- ｉモード待機中（[i]点滅）は、セルフモードを設定できません。

セルフモード中は

- 緊急通報番号（110番、119番、118番）へはダイヤルできます。発信後にセルフモードの設定は解除されます。
- 電話がかかってきても、セルフモード解除後にストックアイコン[着]（着信あり）や[留]（留守録音あり）などは表示されません。
- 電話がかかってきたとき、相手には電波が届かないか電源が入っていないことを通知するガイダンスが流れます。ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用のとき、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスをご利用になれます。
- 送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターで、SMSはSMSセンターで、お預かりします。受信するときはセルフモードを解除して、ｉモード問い合わせ、SMS問い合わせを行ってください。
- 地図・GPS機能の現在地確認、現在地通知、位置提供、地図、位置履歴の利用や、現在地通知先の登録、修正、削除、位置提供設定のサービス利用設定、オートGPSサービスの利用を行うことができません。

機能別ロック

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

個人情報を他の人が見たり、無断で書換えられたりするのを防ぐため、メール、電話帳などへのアクセスを機能ごとに制限します。

● 次の項目ごとにロックできます。

■ ｉモード／ｉチャネル
■ ｉコンシェル
■ ｉアプリ／ｉウィジェット
■ カメラ･マルチメディア
■ マンガ･ブックリーダー
■ メール
■ 電話帳
■ 伝言メモ／音声メモ
■ メモ／スケジュール／アラーム
■ トルカ
■ GPS
■ 着もじ
■ ウェルネス

1 カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[ロック設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[機能別ロック]

2 ロック／解除する項目を選ぶ▶[完了]

- ☑はロック、☐は解除の状態です。
- 機能別ロックを設定すると、[🔒]が表示されます。

● 機能別ロック中の項目の赤外線受信、ｉC受信、Bluetooth受信はできません。

● 機能別ロック中のデータのmicroSDカードへの個別バックアップはできません。

● 機能によっては、機能別ロック中に利用しようとすると、端末暗証番号の入力画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると一時的にロックが解除されます。

・デコメ®絵文字の場合は、[解除]をタッチすると端末暗証番号の入力画面が表示されます。

● 電話帳登録外着信拒否を設定しているときは、電話帳を機能別ロックできません。

ｉモード／ｉチャネルを機能別ロックすると

● ｉモードの各メニューが利用できません。

● ｉチャネルテロップが表示されません。

● クイック検索の[ｉモードで探す(文字入力)]、[ｉMenuから探す]、[ｉモードで探す(音声入力)]、[フルブラウザで探す]、[ｉアプリ辞書]ではネットワークに接続できません。また、[フルブラウザ検索先変更]を行うことができません。

ｉコンシェルを機能別ロックすると

● ｉコンシェル画面の表示やｉコンシェル設定の利用ができません。

● インフォメーションを受信しても、ポップアップメッセージが表示されません。

ｉアプリ／ｉウィジェットを機能別ロックすると

● ｉアプリの各メニューやｉウィジェットが利用できません。

● ｉアプリ／ウィジェットアプリを起動できません。

● ｉアプリ／ウィジェットアプリをダウンロードできません。

● ｉアプリ待受画面設定中は、待受画面設定で設定した待受画面が表示されます。

● クイック検索の[ｉアプリ辞書]、[地図検索(文字入力)]、[地図検索(音声入力)]が利用できません。

● ｉアプリコールを受信しても、着信音は鳴らず、着信ランプやバイブレータも動作しません。また、[▣]やストックアイコン[▣]（ｉアプリコールあり）も表示されません。

カメラ･マルチメディアを機能別ロックすると

● 次のメニューが利用できません。

■ データBOX
■ MUSIC
■ カメラ(静止画撮影、動画撮影、プリティアレンジカメラ、名刺リーダー、情報リーダー、モーションデコ、ショットデコ、カメラルーペ)
■ ワンセグ(ワンセグ視聴、予約録画履歴、テレビリンク、チャンネル設定、ワンセグ設定)
■ LifeKit(名刺リーダー、情報リーダー、ドキュメントビューア、PDF対応ビューア、ボイスレコーダー)

● 視聴予約、録画予約の時間になっても動作しません。

● テレビ電話時に代替画像を送信するときは[テレビ電話代替]が送信されます。

● 電話帳の指定着信音、指定メール着信音、ピクチャーコール設定は無効になります。

● デコメ®絵文字が利用できません。

- アラームやスケジュールアラームは、通常のアラーム画像が表示され、[着信音 1]が鳴ります。
- マチキャラの設定は無効になります。
- クイック検索の[データBOX検索]が利用できません。
- 待受画面から画像を変更(☞P.101)することができません。

マンガ・ブックリーダーを機能別ロックすると
- マンガ・ブックリーダーが利用できません。
- クイック検索の[内蔵辞書]が利用できません。

メールを機能別ロックすると
- メールの各メニュー(ｉモード問い合わせ、SMS問い合わせを除く)が利用できません。
- メッセージ自動表示設定は無効になります。
- メール連動型ｉアプリのダウンロードはできません。

電話帳を機能別ロックすると
- 電話帳が利用できません。
- 発着信時やリダイヤル／着信履歴などに、電話帳に登録した内容(名前など)が表示されません。また、電話帳に対して設定した内容(電話帳指定着信許可など)が無効になります。
- 自分の電話番号を確認できません。
- イヤホンマイクのスイッチで電話発信する場合、イヤホンスイッチ発信設定で指定したメモリ番号に発信することはできません。
- ツータッチダイヤル、ツータッチメールの利用ができません。
- スケジュールの連絡先別表示ができません。

伝言メモ／音声メモを機能別ロックすると
- 伝言メモ／音声メモが利用できません。

メモ／スケジュール／アラームを機能別ロックすると
- テキストメモ、待受メモ、スケジュール、アラーム、お目覚めTVが利用できません。
- 各種アラームは動作しません。
- ワンセグの予約リストが利用できません。

トルカを機能別ロックすると
- トルカが利用できません(ＩＣカードからの取得、データ放送／データ放送サイトからの自動取得、自動読取機能を除く)。

GPSを機能別ロックすると
- 地図・GPSメニューの操作や、GPS対応ｉアプリのGPS機能を使った操作ができなくなります。ただし、位置提供の要求には対応します。

着もじを機能別ロックすると
- 着もじを表示できません。

ウェルネスを機能別ロックすると
- ウェルネスの各メニューが利用できません。
- ウェルネス表示設定は無効になります。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

電話帳(microSDカード内の電話帳を除く)に登録していない相手への電話を発信できないようにします。

- ダイヤル発信制限を設定していても、緊急通報番号(110番、119番、118番)へはダイヤルできます。また、電話帳に登録している電話番号へは、リダイヤル／着信履歴からも発信できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[ロック設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[ダイヤル発信制限]

2 設定を選ぶ
- ダイヤル発信制限を設定すると、[Dial]が表示されます。

- ダイヤル発信制限を設定すると、次の機能も禁止されます。
  - 直接アドレス入力によるSMSおよびｉモードメールの送信(電話帳からのアドレス入力の場合は可能)
  - 電話帳の登録／修正／削除
  - アラームからの発信(電話帳に登録されている場合は可能)
  - 赤外線通信やｉＣ通信、Bluetooth通信による電話帳データ、現在地通知先の送受信
  - プレフィックス設定
  - 国際プレフィックス設定
  - Phone To(AV Phone To)機能
  - Mail To機能

次ページへ続く▶▶

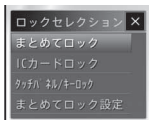
■ FOMA端末とFOMAカード、microSDカード間の電話帳のデータ転送（もしくは、コピー）
■ コラムリーダー、バーコードリーダーでの発信やメール作成
■ 現在地通知先の登録／修正／削除
■ 直接入力による現在地通知

ロックセレクション

ロックセレクションを利用する

ワンタッチ操作でまとめてロック・ＩＣカードロック・タッチパネル／キーロック・まとめてロック設定の選択画面を表示できます。

● ＩＣカードロックについては☞P.314

1 クイック設定で[ロックセレクション]

ロックセレクション画面

各種ロックをまとめて設定する<まとめてロック>

ダイヤル発信制限・ＩＣカードロック・機能別ロックを一度に設定できます。ロックする項目はあらかじめ設定できます。

● 各ロック機能の詳細については、それぞれダイヤル発信制限、ＩＣカードロック、機能別ロックを参照してください。

1 ロックセレクション画面で[まとめてロック]▶[はい]

- 設定した機能のロックが設定され、該当するアイコンが表示されます。

まとめてロックを解除する

- ロックセレクション画面で[まとめてロック]▶端末暗証番号を入力▶[OK]

■ ロックする機能を設定する<まとめてロック設定>

まとめてロックによってロックする項目を選びます。

1 ロックセレクション画面で[まとめてロック設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]

2 ロック／解除する項目を選ぶ▶[完了]

- ☑はロック、☐は解除の状態です。

■ 自動的にまとめてロックする<まとめて自動ロック>

待受中に省電力モードになったときやFOMA端末を閉じたときに、まとめてロックが自動的に設定されるようにします。

● 解除するときは、まとめてロックと同様の操作で解除します。

1 カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[ロック設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[まとめて自動ロック]

2 設定を選ぶ▶[OK]

タッチパネルとフロントボタン／サイドボタンの誤動作を防止する<タッチパネル／キーロック>

クローズポジションのときに、タッチパネルとフロントボタン（、）やサイドボタン（）を操作できないようにして、誤動作を防ぎます。

1 ロックセレクション画面で[タッチパネル／キーロック]

- タッチパネル／キーロックを設定すると、[タッチパネル／キーロックを設定しました]と表示され、[]が表示されます。

タッチパネル／キーロックを解除する

- （１秒以上）
  - ・[タッチパネル／キーロックを解除しました]と表示され、[]が消えます。

● タッチパネル／キーロック中は、ディスプレイ表示中にタッチパネルやフロントボタンを操作すると、[ロック中です]と表示されます。サイドボタンを操作すると、ディスプレイの表示が消えます。

- タッチパネル／キーロックを設定していても、着信があると着信画面が表示され、電話に出ることができます。
- タッチパネル／キーロック設定中は、照明時間設定や画面表示時間設定にかかわらず、クローズポジションでは、約３秒でディスプレイの表示が消えます。

発着信履歴表示／メール履歴表示

リダイヤルや着信履歴、メール履歴の表示を設定する

- [OFF]に設定している間も履歴は記憶されます。[ON]に設定すると確認できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]

2 項目を選ぶ

- ◆ [発着信履歴表示]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[着信履歴表示]
- ◆ [発着信履歴表示]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[リダイヤル表示]
- ◆ [メール履歴表示]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[メール送信履歴表示]
- ◆ [メール履歴表示]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[メール受信履歴表示]

3 設定を選ぶ

- 着信履歴表示を[OFF]に設定しているときは、伝言メモを再生できません。
- リダイヤル表示を[OFF]に設定しているときは、着もじの送信メッセージ履歴(☞P.65)も表示されません。

シークレットモード

シークレット登録されている情報を表示する

シークレットモードを設定すると、電話帳、スケジュールを表示したときに、通常のデータとシークレットデータとして登録したデータの両方が表示されます。また、データBOXのマイピクチャやｉモーション／ムービーで、フォルダセキュリティを[ON(シークレット)]に設定したフォルダも表示されます。

- シークレットモードを解除すると、通常のデータ、フォルダだけが表示されます。
- 待受中に、省電力モードになったときに、シークレットモードが自動的に解除されるように設定できます。
- 電源を切ると、シークレットモードは解除されます。
- 電話帳のシークレット登録については☞P.84
- スケジュールのシークレット登録については☞P.410
- データBOXのマイピクチャ、ｉモーション／ムービーのフォルダセキュリティについては☞P.377

1 カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[シークレットモード]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[ON]

- [OFF]に設定したときは、操作完了となります。

2 自動解除の設定を選ぶ

- ◆ [自動解除しない]
- ◆ [自動解除する]▶[確認]
- シークレットモードを設定すると、[🔑]が表示されます。

電話帳指定着信許可／電話帳指定着信拒否

指定した電話番号からの電話だけを受ける／受けない

指定した相手からの着信だけ受ける／受けないように設定できます。電話帳指定着信許可／拒否を設定するには、登録されている電話帳から着信許可／拒否する相手の電話番号をリストに登録し、設定を有効にします。

- つながらなかった相手へは、話中音が流れます。このとき、ストックアイコン[▮]（着信あり）が表示され、着信履歴に記憶されます。
- 相手が電話番号を通知してきたときのみ有効です。電話帳指定着信許可の場合は番号通知お願いサービスを、電話帳指定着信拒否の場合は番号通知お願いサービスや非通知理由別着信拒否をあわせて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信拒否、電話帳登録外着信拒否、非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否を設定しているときは、電話帳指定着信許可は設定できません。また、電話帳指定着信許可を設定しているとき、電話帳指定着信拒否は設定できません。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。

着信を許可／拒否する電話番号を登録する <リスト登録>

電話帳指定着信許可／拒否のリストには、それぞれ20件まで登録できます。

- 電話帳指定着信許可／拒否のリストに登録した電話帳を修正・削除すると、登録した内容も修正・削除されます。ただし、設定を有効にしているときは、電話帳を修正・削除（グループ内全件削除・全件削除は可）できません。
- FOMAカード電話帳の電話番号は登録できません。
- 2in1利用中は、利用中のモードによって表示される電話帳のみリスト登録やリストの編集ができます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[着信拒否／許可設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]

2 項目を選ぶ▶[リスト登録]

3 登録先を選ぶ

4 名前を選ぶ

- 続けて登録：操作３～４を繰り返す
- 相手先に２つ以上の電話番号があるときは、それぞれ登録してください。

■ 電話帳から登録する <着信許可リスト登録／着信拒否リスト登録>

1 待受タッチランチャで[📖]▶名前にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[データ編集]▶[着信リスト登録]

2 登録リストを選ぶ▶端末暗証番号を入力▶[OK]

3 登録先を選ぶ

■ リストの電話番号を削除する<削除>

1 リスト登録画面で名前を選ぶ▶[削除]▶[はい]

- 電話帳指定着信許可／拒否の設定を有効にしたあと、リスト登録した電話帳をすべて削除すると設定は無効になります。

■ リストの電話番号を変更する<変更>

1 リスト登録画面で名前を選ぶ▶[変更]

2 名前を選ぶ

■ 登録した相手の電話番号を確認する

1 リスト登録画面で名前にカーソルを合わせる▶[番号確認]

あんしん設定

着信の許可／拒否を有効にする

1 **カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[着信拒否／許可設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]**

2 **項目を選ぶ▶[ON]**

非通知理由別着信拒否

発信者番号のわからない電話を受けない

発信者番号が通知されない着信があったとき、非通知理由によって、電話を受けないように設定できます。

- 非通知理由には次の種類があります。内容については☞P.70
  - ■ 非通知設定　■ 公衆電話　■ 通知不可能
- 着信拒否として指定した非通知理由に該当する相手から電話がかかってきたとき、電話はつながらなくなります。それ以外の非通知理由のときはつながります。着信拒否の相手へは、話中音が流れます。このとき、ストックアイコン[▮]（着信あり）が表示され、着信履歴に非通知理由が記憶されます。
- 電話帳指定着信許可を設定しているときは、非通知理由別着信拒否は設定できません。
- 電話帳登録外着信拒否を設定しているときも、発信者番号のわからない電話は非通知理由別着信拒否が優先されます。
- 非通知理由別着信拒否と公共モード（ドライブモード）を同時に設定したときは、非通知理由別着信拒否が優先されます。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[着信拒否／許可設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]**

2 **非通知理由の種類を選ぶ**

3 **設定を選ぶ**

呼出動作開始時間設定

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたとき、設定した秒数後に着信音が鳴るように設定できます。

- ワン切りなどの迷惑電話を防ぐ対策の１つです。
- 呼出動作開始時間設定と電話帳登録外着信拒否を同時に設定することはできません。
- 呼出動作開始時間設定と公共モード（ドライブモード）を同時に設定したときは、公共モード（ドライブモード）が優先されます。
- 呼出動作開始時間を設定したとき、呼出開始前に切れた電話を着信履歴に表示するかどうかも設定できます。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[音･バイブ･マナー]▶[呼出動作開始時間設定]▶[ON]**

- [OFF]に設定したときは、操作完了となります。

2 **呼出動作開始時間を入力▶[決定]**

3 **設定を選ぶ**

- 伝言メモや留守番電話サービスを設定しているとき、呼出動作開始時間設定を優先させるためには、伝言メモや留守番電話サービスの呼出時間より短く設定してください。
- オールロック中、おまかせロック中、電話帳の機能別ロック中は、電話帳登録している相手からの電話でも呼出動作開始時間設定に従って動作します。
- 呼出動作開始時間設定とマナーモードを同時に設定したときは、設定した時間が経過したあとにマナーモードの設定に従って動作します。ただし、伝言メモの応答時間には着信音が鳴るまでの時間も含まれます。

電話帳登録外着信拒否

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

電話帳に登録されていない相手から電話がつながらないように設定できます。

- 相手には、話中音が流れます。このとき、ストックアイコン[▮](着信あり)が表示され、着信履歴に記憶されます。
- 相手が発信者番号を通知しているときのみ有効です。番号通知お願いサービスもあわせて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信許可を設定しているときは、電話帳登録外着信拒否は設定できません。
- 電話帳登録外着信拒否と公共モード(ドライブモード)を同時に設定したときは、電話帳登録外着信拒否が優先されます。
- 電話帳登録外着信拒否を設定しているときも、発信者番号のわからない電話は非通知理由別着信拒否が優先されます。
- 電話帳登録外着信拒否と呼出動作開始時間設定を同時に設定することはできません。呼出動作開始時間を解除してからやり直してください。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[着信拒否／許可設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[電話帳登録外]

2 設定を選ぶ

ケータイデータお預かり

ケータイデータお預かりサービスを利用する

ケータイデータお預かりサービス

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・動画・メール・Bookmark・テキストメモ・スケジュール・トルカ・現在地通知先・メロディ・メールの振分け条件設定などの設定情報(以下「保存データ」といいます)を、ドコモのお預かりセンターに預けることができ、万が一の紛失時や機種変更時などに保存データを復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知できます。一斉通知メール送信時パケット通信料はかかりません。パソコン(My docomo)があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- 電話帳、画像、Bookmark、スケジュール、トルカ、メールの振分け条件設定などの設定情報は、自動更新機能※により、定期的に自動で預けることができます。
  ※ 保存データにより、自動更新の初期設定状態(自動更新する／しない)が異なります。設定状態の確認・変更については☞P.131
- 自動更新機能をご利用になる場合、パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- 海外でケータイデータお預かりサービスをご利用の際は、ｉモードパケット定額サービスの対象外となりますのでご注意ください。
- 著作権保護されているデータは、お預かりセンターに預けることができません。
- ケータイデータお預かりサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです(お申し込みにはｉモード契約が必要です)。

FOMA端末電話帳･Bookmark･スケジュール･トルカをお預かりセンターに保存する
＜電話帳等預かり／更新＞

- すでにお預かりセンターにデータを保存しているときは、最新の内容にデータが更新されます。

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[ケータイデータお預かり]▶[電話帳等預かり／更新]**

2 **項目を選ぶ▶[確定]▶[OK]▶[はい]**

3 **端末暗証番号を入力▶[OK]**

- ｉモードサービスエリア圏外･電源OFF時などでは利用できません。
- FOMAカード電話帳やmicroSDカード内の電話帳は保存できません。
- FOMA端末のデータを削除し、お預かりセンターに接続すると、お預かりセンターに保存したデータも削除されます。お預かりセンターに保存しているデータをFOMA端末に復元する場合は、次の操作を行ってください。

  ■ ケータイデータお預かりサービス契約のみの場合
  - ｉモードサイト：[ｉMenu]▶[マイページ]▶[マイメニュー／マイボックス]▶[ケータイデータお預かり]※1▶[お預かりデータ確認]▶ｉモードパスワードを入力▶[決定]▶[決定]※2▶[ケータイへダウンロード]内の復元するデータを選ぶ▶[OK]▶待受画面を表示(約15秒後にダウンロードを開始)

    ※1　ｉコンシェルをご契約の場合は、[ケータイデータお預かり／ｉコンシェル]と表示されます。
    ※2　[ｉモードパスワード]欄の下の[決定]を選択します。

お預かりセンターに保存できる電話帳のピクチャーコール設定画像の制限について

- JPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを保存できます。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像はお預かりセンターに保存されません。

■ ｉコンシェル画面からお預かりセンターに保存する
＜お預かりデータ更新＞

1 **待受タッチランチャで[ｉコンシェル]▶[MENU]▶[設定]▶[お預かりデータ確認／設定／更新]▶[電話帳やスケジュールなどの更新]**

2 **項目を選ぶ▶[確定]▶[OK]▶[はい]**

3 **端末暗証番号を入力▶[OK]**

自動お預かりフォルダ内の画像をお預かりセンターに保存する

データBOXのマイピクチャの[自動お預かり]フォルダに保存されている画像を、お預かりセンターに保存することができます。

- 画像の形式や設定などによっては、[自動お預かり]フォルダに保存できない画像があります。
- お預かりセンターに保存された画像には、[自動お預かり]フォルダのデータ一覧画面でお預かり済みアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	ファイル制限なしの画像
	FOMA端末でファイル制限ありに設定した画像

  - [自動お預かり]フォルダから別のフォルダへ移動すると、[ ]／[ ]は消えます。

- お預かりセンターに保存したあと[自動お預かり]フォルダ内の画像を変更／追加した場合、次回更新時にお預かりセンターに新規に保存されます。また、[自動お預かり]フォルダの画像を削除／移動しても、お預かりセンターに保存した画像はそのまま残ります。

画像の自動更新について

[自動お預かり]フォルダ内の画像を定期的に自動でお預かりセンターに保存するには、自動更新するように設定されていることをご確認ください。

- 自動更新の確認／設定については☞P.131

■ 手動で画像をお預かりセンターに保存する＜画像のお預かり＞

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [ケータイデータお預かり] ▶ [画像のお預かり] ▶ [追加]

2 端末暗証番号を入力 ▶ [OK]

■ お預かり済みアイコンを消す＜お預かり済アイコンクリア＞

● [ ]／[ ]を消去すると、次回更新時に、再度お預かりセンターに保存されます。

1 カスタムメニューで[データBOX] ▶ [マイピクチャ] ▶ [自動お預かり]

2 データにカーソルを合わせる ▶ [サブメニュー] ▶ [移動／コピー] ▶ [お預かり済アイコンクリア] ▶ [OK]

設定情報をお預かりセンターに保存する ＜設定のお預かり／更新＞

機種変更時など、FOMA端末に保存されている次の設定情報をお預かりセンターに保存（復元・更新）することができます。

● 次の設定がお預かりセンターに保存（復元・更新）されます。

- ■ メールの振分け条件設定
- ■ 署名登録
- ■ 受信・自動送信表示
- ■ 添付ファイル受信設定
- ■ エリアメール設定
- ■ メール送受信履歴
- ■ 電話帳指定着信許可
- ■ 非通知理由別着信拒否
- ■ 伝言応答時間
- ■ ユーザ辞書
- ■ アラーム
- ■ メール表示画面の文字サイズ設定
- ■ メール選択受信設定
- ■ メッセージ自動表示設定
- ■ メロディ自動再生
- ■ ｉモード問い合わせ設定
- ■ 電話帳登録外着信拒否
- ■ 電話帳指定着信拒否
- ■ 伝言メモ設定
- ■ リダイヤル／着信履歴
- ■ 学習された文字変換候補

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [ケータイデータお預かり] ▶ [設定のお預かり／更新]

2 [設定情報のお預かり]／[設定情報のダウンロード] ▶ [確定] ▶ [実行]

3 端末暗証番号を入力 ▶ [OK]

- 更新完了画面表示中に[詳細]をタッチすると、保存（更新）された設定の詳細情報を確認できます。

通信履歴を表示する＜通信履歴表示＞

お預かりセンターとの通信履歴を、最新のものから30件まで確認できます。通信履歴が30件を超えたときは、古い履歴から順に上書きされます。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [ケータイデータお預かり] ▶ [通信履歴表示] ▶ 履歴を選ぶ

- 設定情報の履歴のときは、[詳細]をタッチすると、詳細情報を確認できます。

電話帳の画像を送信するかどうかを設定する ＜電話帳内画像送信＞

電話帳をお預かりセンターに保存するときに、ピクチャーコールに設定した画像も送信するかどうかを設定できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [ケータイデータお預かり] ▶ [電話帳内画像送信]

2 設定を選ぶ

◆ [ON] ▶ [はい]
◆ [OFF]

データを選んでお預かりセンターに保存する ＜お預かりセンターに保存＞

各種データ一覧画面のサブメニュー操作で、データを選んでお預かりセンターに保存（復元・更新）することができます。

- お預かりセンターに保存（更新）できるのは次のデータです。
  - ■ 電話帳☞P.87
  - ■ メール☞P.150
  - ■ Bookmark☞P.185
  - ■ スケジュール☞P.214
  - ■ トルカ☞P.316
  - ■ 現在地通知先☞P.330
  - ■ 画像☞P.341
  - ■ 動画☞P.349
  - ■ メロディ☞P.361
  - ■ クラシックスケジュール☞P.410
  - ■ テキストメモ☞P.420

例：メール一覧画面のとき

1 メールにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[お預かりセンターに保存]

2 保存方法を選ぶ

◆ **[1件保存]**

◆ **[選択保存]▶メールを選ぶ▶[確定]**

・30件まで選択できます。

3 [はい]▶端末暗証番号を入力▶[OK]

- 一度の操作で合計10240Kバイトまで保存できます。

メールについて

- FOMA端末に保存されているｉモードメールやSMSを保存できます。
- 本文サイズが10000バイトまたは挿入画像の合計が90Kバイトを超えるメールは保存／更新できません。
- SMS送達通知は保存できません。

トルカについて

- 利用済みトルカは保存できません。

スケジュールについて

- スケジュールのうち、誕生日データ、週間天気予報、休日設定／祝日設定、視聴予約／録画予約は保存できません。
- 通常スケジュールは保存できますが、自動更新はされません。

お預かりセンターのデータの確認や自動更新の設定を行う＜データ確認／更新方法等＞

お預かりセンターに接続し、各種お預かりデータの確認や自動更新の設定をすることができます。

- 自動更新の設定は、ｉモードの「ケータイデータお預かりサイト」（ｉモードサイト：[ｉMenu]▶[マイページ]▶[マイメニュー／マイボックス]▶[ケータイデータお預かり]※）からもご利用いただけます。
  ※ ｉコンシェルをご契約の場合は、[ケータイデータお預かり／ｉコンシェル]と表示されます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[ケータイデータお預かり]▶[データ確認／更新方法等]▶[はい]

トルカについて

- お預かりセンターで自動更新されたトルカを表示すると、次回も自動更新するか、トルカを削除するかを選択する画面が表示されます。ひとつのトルカについて一度だけ設定できます。

自動更新について

- データの自動更新時に他の機能を起動していたときは自動更新されません。データの自動更新が起動されなかったときは、待受画面に[お預かりセンター　更新通知あり]を表示してお知らせします。

設定リセット

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

お客様が設定できる内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時の状態については☞P.478
- きせかえツールが設定されている項目は、お買い上げ時の状態に戻りません。再度きせかえツールを設定してください。
  きせかえツールについては☞P.107

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[設定リセット]

2 端末暗証番号を入力▶［OK］

- 2in1利用中は、2in1機能をOFFにする旨のメッセージが表示されます。［確認］を選択します。

3 ［はい］▶［確認］

- 次のものはリセット（削除・変更）されません。リセットするときは、それぞれのページを参照してください。
  - ■ 伝言メモなどの録音内容（☞P.77）
  - ■ 電話帳の登録内容（☞P.91）
  - ■ Bilingual（☞P.113）
  - ■ 端末暗証番号（☞P.117）
  - ■ 電話帳指定着信許可リスト（☞P.126）
  - ■ 電話帳指定着信拒否リスト（☞P.126）
  - ■ メール（☞P.159）
  - ■ 署名の登録内容（☞P.162）
  - ■ 画面メモ（☞P.189）
  - ■ microSDカード内のデータ（☞P.379）
  - ■ データBOXのデータ（☞P.379）
  - ■ プロフィールの登録内容（☞P.398）
  - ■ 歩数の履歴（☞P.400）
  - ■ アラーム（☞P.409）
  - ■ スケジュール（☞P.409）
  - ■ 所有者情報（☞P.416）
  - ■ テキストメモ（☞P.420）
  - ■ ユーザ辞書（☞P.444）
  - ■ ダウンロード辞書（☞P.445）
  - ■ ネットワークサービスの設定（☞P.448〜P.460）
- メールの設定リセットについては☞P.165
- ｉモード／フルブラウザの設定リセットについては☞P.200
- ワンセグの設定リセットについては☞P.264
- 設定リセットを行うと、ｉチャネルテロップは表示されなくなります。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、ｉチャネルテロップが自動的に表示されます。
- 設定リセットを行うと、2in1機能はOFFになります。また、次の設定はリセットされます。
  - ■ モード切替
  - ■ 着信音選択
  - ■ 発着信番号表示設定
  - ■ モード切替連動設定
  - ■ モード別待受画面設定
- Bluetooth電源がONのときは設定リセットできません。

ユーザデータ削除

登録データを一括して削除する

お客様が登録されたデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- FOMA端末の保護されているデータも削除されます。
- お買い上げ時の状態については☞P.478

削除されるデータ	電話帳（電話帳2in1設定含む）、データBOX内の静止画・着うたフル®・Music&Videoチャネル・動画・ワンセグデータ・メロディ・PDFデータ・きせかえツール・マチキャラ・キャラ電、ｉアプリ、メール（受信BOXの「Welcomeドコモ動画」、「緊急速報「エリアメール」のご案内」を含む）、メッセージR／F、Bookmark、画面メモ、ダウンロード辞書、音声メモ、テキストメモ、アラーム設定、リダイヤル、着信履歴、送信メッセージ履歴、メール送信履歴、メール受信履歴、URL入力履歴、署名、ユーザ辞書、電子書籍／電子辞書／電子コミック、マンガ・ブックリーダーのしおり、ユーザフォルダ、SMS、ｉアプリメールのデータ、デコメ®テンプレート、デコメアニメ®テンプレート、伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）、バーコードリーダーで読み取ったデータ、スケジュール（登録・変更した祝日を含む）、ｉスケジュール、ｉスケジュール内予定、トルカ、ラストURL、ケータイデータお預かりサービスの通信履歴、メッセージ（着もじ）、位置履歴、オートGPS履歴、現在地通知先、ソフトウェア更新関連情報（予約情報、更新お知らせセストックアイコン、書換え予告ストックアイコン、ダウンロード済みの更新ファイル）、予約録画履歴、手書き認証登録データ、うた・ホーダイの再生期限情報、RSS、インフォメーション、ｉアプリコール履歴、プロフィール登録、歩数の履歴

お買い上げ時の状態に戻る設定	各種設定リセット(☞P.131)の対象となる設定、待受設定、音選択、伝言メモ応答メッセージ、定型文、学習機能、各種設定、端末暗証番号、日時設定、カスタムメニュー、基本メニュー、待受タッチランチャ、通話時間、カラー・グラフィック設定、応答メッセージ登録、USSD登録、所有者情報(ご契約の電話番号以外)、メールメンバー、URL入力、プレフィックス設定、データBOXのマイピクチャ・iモーション/ムービー・ワンセグ・メロディ・マイドキュメント・きせかえツール・マチキャラ・キャラ電の各種動作設定、メール設定(SMSセンター設定、SMS有効期間設定、SMS本文入力設定を除く)、iモード設定、iアプリ設定、GPS設定、国際プレフィックス設定、国番号設定、オペレータ名表示設定、ネットワークサーチ設定、放送用保存領域のデータ、テレビリンク、チャンネルリスト
お買い上げ時に登録されているデータで削除されないもの	メロディ、マイピクチャ、iモーション、きせかえツール、マチキャラ、PDFデータ、キャラ電、iアプリ、電子書籍/電子辞書、フォルダ、デコメ®テンプレート、デコメアニメ®テンプレート、ダウンロード辞書

1 **カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[データ一括削除]▶[ユーザデータ削除]**

2 **[確認]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]**

- 2in1利用中は、2in1機能をOFFにする旨のメッセージが表示されます。[確認]を選択します。
- 端末の再起動後にユーザデータ削除が実行されます。
- ユーザデータ削除には、20分程度かかることがあります。

- ユーザデータ削除中は、他の機能を使用できません。また、音声電話/テレビ電話の着信やメールの受信、アラーム、ワンセグ予約録画などは動作しません。
- ユーザデータ削除は、電池残量が[■]以上の状態で行ってください。電池残量が不十分のときは、ユーザデータ削除できないことがあります。
- ユーザデータ削除を行っているときは、電源を切らないでください。
- FOMAカードやmicroSDカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
- 他の機能が動作中は、ユーザデータ削除できません。
- ユーザデータ削除中は、表示が乱れることがありますのでFOMA端末を開閉しないでください。
- ユーザデータ削除を行うと、iチャネルテロップは表示されなくなります。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、iチャネルテロップが自動的に表示されます。

SH-MODEの利用方法

お買い上げ時に登録されているデータなどを、i Menu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。

[i Menu]▶[メニューリスト]▶[ケータイ電話メーカー]▶[SH-MODE]

- ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

サイト接続用QRコード

シークレットデータをまとめて削除する

<シークレットデータ削除>

電話帳、スケジュールにシークレット登録したデータを、一括して削除できます。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[セキュリティ]▶[データ一括削除]▶[シークレットデータ削除]**

2 **端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]**

遠隔初期化

遠隔初期化を利用する

本機能の利用契約(ビジネスmoperaあんしんマネージャー)をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ(本体/microSDカード/FOMAカード内のメモリ)を初期化することができます。
詳細はドコモの法人向けサイトをご確認ください。
docomo Business Online
パソコンから　http://www.docomo.biz/
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。
● 遠隔初期化はご契約が必要なサービスです。

その他の「あんしん設定」

FOMA端末を安心してお使いいただくため、次の設定や機能を利用できます。

機能/サービス名称	目　的	参照先
ＩＣカードロック	ＩＣカード機能の不正使用を防止したい。	P.314
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない。	P.451
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない。	P.452
FirstPass	電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい。 ※ FirstPass対応サイトに限ります。	P.200
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい。	P.529
スキャン機能	障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい。	P.534
メール選択受信	大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい。	P.147
「ｉモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。	
メールアドレス変更		
迷惑メール対策 (URL付きメール拒否設定) (受信/拒否設定) (かんたん設定) (ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限) (SMS拒否設定) (未承諾広告※メール拒否) (メール設定確認)		
メール機能停止/再開		
メールサイズ制限		
ケータイお探しサービス		
イマドコかんたんサーチ		

メール

ｉモードメール／デコメール®を作成する

ｉモードメールを受信する･操作する

メールBOXを操作する

メールの履歴を利用する

メールの設定を行う

メッセージサービスを利用する

緊急速報「エリアメール」を利用する

SMSを使う

ｉモードメール

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計２Mバイト以内のファイル（写真や動画ファイルなど）を10個まで添付することができます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えられるほか、デコメ®絵文字も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。
さらにメッセージや画像を挿入したFlash画像のデコメアニメ®にも対応しております。

- ｉモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

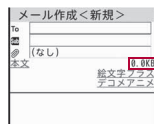
メール

ｉモードメール作成・送信

ｉモードメールを作成して送信する

- 2in1のモードが［デュアルモード］の場合に、送信元アドレスを切り替えて作成・送信するとき☞P.456
- 宛先に［電話帳検索］、［メールメンバー］を利用する場合は、あらかじめ電話帳（☞P.83）、メールメンバー（☞P.163）を登録してください。

1 待受タッチランチャで［新規メール作成］

- はじめてメールを作成するときは、デコメール®の表示についての説明が表示されます。記載内容をお読みになり［確認］を選択してください。
- 待受画面表示中にオープンポジションにするだけでメール作成画面を表示することができます（☞P.103）。

メール作成画面

2 ［To］欄を選ぶ▶入力方法を選ぶ

- ◆［電話帳検索］▶相手を選ぶ
- ◆［メール送信履歴］▶相手を選ぶ
- ◆［メール受信履歴］▶相手を選ぶ
- ◆［メールメンバー］▶メールメンバーを選ぶ
- ◆［ブログ／SNS投稿先］▶投稿先にカーソルを合わせる▶［決定］
  - ・ブログ／SNS投稿先の設定については☞P.163
- ◆［直接入力］▶宛先を入力▶［決定］
  - ・半角50文字まで入力できます。
- 宛先の追加：１件目を入力すると入力欄が追加▶入力欄を選ぶ▶入力方法を選ぶ
  - ・宛先は４件まで追加できます。
  - ・送信種別の変更：２件目以降の宛先を選ぶ▶［送信種別変更］▶送信種別を選ぶ
- 宛先の変更：宛先を選ぶ▶入力方法を選ぶ
  - ・上書き確認画面が表示されたときは［はい］を選択します。
- 宛先の確認：宛先を選ぶ▶［宛先確認］
- 宛先の削除：宛先を選ぶ▶［宛先削除］▶［はい］
- ｉモード端末に送信するときは、「@docomo.ne.jp」を省略できます。
- 電話帳に登録されている相手のときは、To欄に名前が表示されます。

3 ［Sub］欄を選ぶ▶題名を入力▶［決定］

- 全角100文字（半角200文字）まで入力できます。
- 題名に［↲］（改行）は入力できません。

4 ［本文］▶本文を入力▶［決定］

- 本文のプレビュー表示をタッチしても選択できます。
- 全角5000文字／半角10000文字（10000バイト）まで入力できます。
- ［↲］（改行）は全角１文字としてカウントします。全角、半角のスペース（空白）もそれぞれ全角１文字、半角１文字としてカウントします。
- 位置情報URLも文字数にカウントされます。
  - ・位置情報URLの前には［♪］が付加されます。

5 ［送信］

- 送信の中止：［中止］／[終話]▶［確認］
  - ・タイミングにより送信されることがあります。
- 圏外で送信できないときは☞P.145

宛先の追加

同じ内容のｉモードメールを同時に最大５人の相手に送信（同報送信）できます。

To ：送信相手の宛先です。[To]で指定したアドレスは他の送信相手に表示されます。

Cc ：[To]宛に送信したメールを第三者に知らせるときに使います。

Bcc：[Cc]と同じように第三者に知らせるときに使いますが、[Bcc]で指定したアドレスは、[To]や[Cc]の相手には表示されません。

- 複数の宛先に送信しても、１件の送信メールとして保存されます。送信メール詳細画面では、送信に成功した宛先がすべて表示されます。
- 送信に失敗した宛先があったときは、送信メール１件と未送信メール１件が保存されます。未送信メールには、送信されていない宛先がすべて表示されます。

- 2in1のモードが[Aモード]／[Bモード]のときは、それぞれのモードの送信元アドレスになります。[デュアルモード]のときは、最後に入力した宛先の電話帳2in1設定によって、次のように送信元アドレスが設定されます。

宛　先	送信元アドレス
電話帳2in1設定[A]・[共通]	Aアドレス
電話帳2in1設定[B]	Bアドレス

  - ・宛先が入力されていない場合や、電話帳未登録のアドレスを入力した場合は、送信元アドレスが設定されません。
  - ・宛先が複数あるときに宛先を削除すると、残りの宛先に従って送信元アドレスが設定されます。
- 2in1のモードが[デュアルモード]の場合、送信元アドレスなしのときはメール作成画面左上に[AB]、送信元アドレスがBアドレスのときはメール作成画面左上に[B]が表示されます。
- 受信側の機種によっては題名をすべて受信できないことがあります。
- 何らかの原因で送信できなかったｉモードメールは、未送信メールとして保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されないときがあります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に削除されます。
  サイズの大きい添付ファイルを送信すると、複数の送信メールが削除されます。
- 宛先が「携帯電話番号」または「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳にシークレットコードが設定されているかどうかを自動的に調べ、シークレットコードが設定されているときは、シークレットコードを付けて送信します。
- シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメール送信を行ったときは、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 他社の携帯電話に絵文字入りのｉモードメールを送ると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。ただし、送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。

■ メール作成画面のサブメニュー操作

[送信]	
[送信予約]	☞P.145
[保存]	☞P.145
[テンプレート呼出]▶テンプレートにカーソルを合わせる▶[決定]	
[テンプレート保存]▶[はい] ● デコメール®をテンプレートとして保存します。	
[署名貼付]	
[送信者アドレス切替（A・B）]	☞P.456

[テンプレート保存]について

- メールメニューのテンプレートの[デコメテンプレート]に保存されます。
- デコメール®のテンプレートを呼び出して作成したときは、保存方法を選択できます。
- 保存したテンプレートには、自動的に保存日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
  例：2010年５月18日午後１時５分７秒に保存→[100518_130507]

メール

- 作成または送受信したデコメール®に添付ファイルがあっても、添付ファイルなしで保存されます。
- ファイル制限されているときは、画像は削除されて保存されます。
- デコメアニメ®は、テンプレート保存できません。

■ 本文入力画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、文字入力画面のサブメニュー操作（☞P.436）を参照してください。
  - ■ コピー　■ 切り取り　■ 貼り付け　■ 顔文字（F3長押）
  - ■ 定型文（F4長押）　■ 引用　■ 文字入力／辞書設定
  - ■ 操作ガイド一覧　■ 縦横切替　■ 縦横切替HOLD

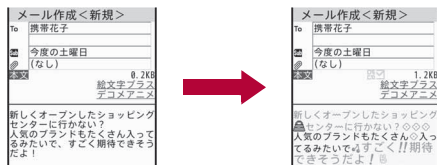
[デコレーション]	☞P.139
[音声で文字入力]	☞P.445
[ショットデコ]	☞P.244
[モーションデコ]	☞P.243
[手書きデコメ]	☞P.141
[テンプレート呼出]▶テンプレートにカーソルを合わせる▶[決定]	
[範囲選択]	☞P.139
[画像挿入]▶画像にカーソルを合わせる▶[決定] ● [画像挿入]について☞P.141	
[元に戻す]	
[署名貼付]	
[位置情報貼り付け]	☞P.334
[情報表示] ● 挿入した画像の情報を表示します。	
[パレット設定]▶設定を選ぶ ● パレットを表示するかどうかを設定します。	
[プレビュー]	

■ 送信種別を変更する<送信種別変更>

1 **2件目以降の宛先を選ぶ▶[送信種別変更]**

2 **送信種別を選ぶ**

絵文字プラス®を使用して絵文字／デコメ®絵文字を入力する<絵文字プラス®>

メール本文を入力して変換すると、文章から予測して自動的に絵文字やデコメ®絵文字が入力され、文字色、文字サイズ、背景色も変更されます。お好みの変換候補から選ぶことができます。

1 **本文入力後、メール作成画面で[絵文字プラス]**

- 絵文字の入力箇所を変える：[設定]▶[絵文字挿入]▶[文中＋文末]／[文末]
- 自動的に文字色／文字サイズ／背景色を変える：[設定]▶変換項目を選ぶ▶[ON]
  - ・[OFF]に設定した場合は、変更されなくなります。
- [次候補]をタッチするたびに設定した変換項目に従って変更されます。

2 **[決定]**

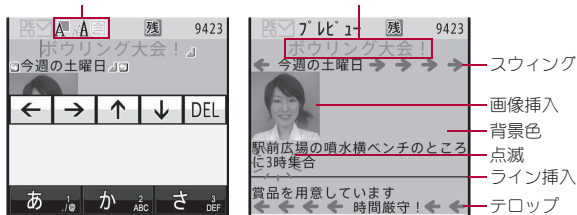
- 引き続き、本文入力画面で入力や編集をすることができます。

- デコメ®絵文字が入力された場合や文字色、文字サイズ、背景色が変更された場合は、デコメール®になります。
- デコメアニメ®で絵文字プラス®は利用できません。

デコメール®を作成して送信する

ｉモードメール作成時、本文の色や文字サイズを変更したり、Flash画像などの画像を挿入する、背景に色を付けるなどの装飾を行うことができます。

- 作成できるデコメール®の本文は10000バイトまでです。挿入画像またはデコメ®絵文字は、最大20種類、合計90Kバイトまで挿入できます。ただし、Flash画像は２個までとなります。
- メール作成中にデコメ®絵文字を入力すると、デコメール®になります。

現在有効な装飾の種類　　文字色・文字サイズ・文字位置

本文入力画面　　プレビュー画面

■ 装飾を指定してから文字を入力する<デコレーション>

1 本文入力画面で[サブメニュー]▶[デコレーション]

2 装飾する

- 装飾の内容と操作方法については☞P.139
- デコメ®ピクチャを挿入：[デコメP]▶画像にカーソルを合わせる▶[決定]
  - ・パレット設定が[ON]のときに操作できます。

3 [決定]▶[送信]

■ 入力済みの文字を装飾する<範囲選択>

1 本文入力画面で装飾開始位置をタッチ▶[サブメニュー]▶[範囲選択]

2 装飾終了位置をタッチ▶[終点]

- [←]、[→]、[↑]、[↓]で終了位置にカーソルを移動しても操作できます。
- すべての文章を選択：[全選択]
  - ・選択を取り消す：[取消]
- 文頭／文末にカーソルを移動：[▲ページ]／[▼ページ]
  - ・ページが複数ある場合は、１ページずつスクロールします。

3 装飾する

- 装飾の内容と操作方法については☞P.139
- 同じ範囲を繰り返し装飾できます。
  - ・パレット設定が[OFF]の場合、繰り返し装飾するときは[範囲メニュー]をタッチします。

4 装飾が終わったら[閉じる]

- パレット設定が[OFF]のときは、装飾が終わったら[CLR]をタッチします。

5 [決定]▶[送信]

■ 装飾の内容と操作方法

パレットやサブメニューから装飾方法を選んで装飾することができます。

- デコレーションと範囲選択では項目が異なります。

メニュー		装飾の内容と操作方法
デコレーション	範囲選択	
[文字色]		文字に色を付けます。絵文字も設定した色で表示されます。通常の絵文字色にしたいときは、[指定なし]に設定してください。 色を選ぶ▶[閉じる]▶文字を入力

メール

次ページへ続く▶▶

メニュー		装飾の内容と操作方法
デコレーション	範囲選択	
[文字サイズ]		文字の大きさを変更します。 **文字サイズを選ぶ▶[閉じる]▶文字を入力** ● デコメ®絵文字のサイズは変更できません。
[画像挿入]	−	本文中に画像を表示します。GIFアニメーションなど動きがある画像は、一定時間が経過すると止まります。 **画像にカーソルを合わせる▶[決定]** ● 本文入力画面で[サブメニュー]▶[画像挿入]でも操作できます。
[点滅]		文字を点滅させます。一定時間が経過すると止まります。 **[設定]▶[閉じる]▶文字を入力**
[テロップ]		テロップ表示します。一定時間が経過すると止まります。 **[設定]▶[閉じる]▶文字を入力**
[スウィング]		文字を左右に揺らして表示します。一定時間が経過すると止まります。 **[設定]▶[閉じる]▶文字を入力**
[文字位置]		文字の配置を変更します。 **位置を選ぶ▶[閉じる]▶文字を入力**
[ライン挿入]	−	本文中にライン(罫線)を挿入します。[文字色]で設定した色で、1行分のラインが挿入されます。
[背景色]	−	メール本文の背景に色を付けます。 **色を選ぶ**

メニュー		装飾の内容と操作方法
デコレーション	範囲選択	
[デコレーション変更]	−	範囲を指定して装飾を行います。 **終了位置をタッチ▶[終点]▶装飾を指定** ● 画像挿入、ライン挿入、背景色は選択できません。
[元に戻す]	[元に戻す]	直前に行った編集を取り消します。 ● 10回前の操作まで戻すことができます。
[デコレーションなし]		デコレーションのときは、装飾されていない通常の文字を入力します。範囲選択のときは、選択範囲の装飾を解除します(背景色を除く)。
−	[コピー]	範囲指定した文字をコピーします。
−	[切り取り]	範囲指定した文字を切り取ります。
−	[範囲選択解除]	範囲指定を解除します。
[全解除]	−	すべての装飾を解除します。
[文字入力]	−	文字を入力します。
[プレビュー]	−	装飾を確認します。 ● 本文入力画面でFn＋1(1秒以上)でも操作できます。 ● 100Kバイト以下のメロディを添付しているときは自動再生されます。

● 受信側のｉモード端末によっては、メール本文に閲覧用のURLが記載されます。ただし、端末によっては、閲覧用のURLがないメールを受信することがあります。

- 受信側のｉモード端末がFlash画像の挿入されたデコメール®に非対応の場合は、メール本文に閲覧用のURLが記載されます。ただし、端末によっては、装飾が解除されたメールを受信することがあります。
- 装飾を決定すると、状態アイコン[]が表示されます。

[画像挿入]について

- Flash画像に含まれているFlash®Videoは再生できません。Flash画像だけが見えている状態になります。
- 同一画像を複数挿入したときは１種類の画像として扱われます。ただし、同一画像を含む署名を挿入したときは同一画像とはみなされません。
- 受信したデコメール®を引用返信または転送したときは、装飾や挿入した画像も引用されます（ファイル制限ありの画像を除く）。
- 挿入するJPEG画像の画像サイズが「QVGA：240×320」を超える場合は、画像サイズやファイルサイズを変更する画面が表示されます。[VGAサイズ]、[QVGAサイズ]を選択すると、選択した画像サイズに変更して挿入します。[そのまま挿入]を選択すると、画像サイズを変更せずに挿入しますが、ファイルサイズが90Kバイト以上の場合は、ファイルサイズを90Kバイト未満に変更して挿入します。ただし、画像サイズやファイルサイズが大きい場合は、ファイルサイズが変更されず挿入できないことがあります。[VGAサイズ]は画像サイズが「VGA：480×640」を超えている場合に選択できます。
- 挿入するJPEG画像の画像サイズが「QVGA：240×320」以下でファイルサイズが90Kバイト以上の場合、ファイルサイズを変更する確認画面が表示されます。[はい]を選択するとファイルサイズを変更して挿入されます。

手書きのイラストを挿入する<手書きデコメ®>

デコメール®に手書きのイラストを挿入できます。

1 本文入力画面で[サブメニュー]▶[手書きデコメ]

2 イラストを作成する

- 手書きイラストの作成方法については☞P.400「手書きメモを作成する」の操作２へ

3 [サブメニュー]▶[保存]▶[OK]▶[終了]

4 画像サイズを選ぶ

5 [決定]▶[送信]

新規デコメアニメ®作成

デコメアニメ®を作成して送信する

デコメアニメ®とは

デコメアニメ®テンプレートを利用し、メッセージや画像を挿入したFlash画像を使った表現力豊かなメールサービスです。お買い上げ時に登録されているテンプレートのほかに、サイトなどからダウンロードしたテンプレートを利用して作成できます。

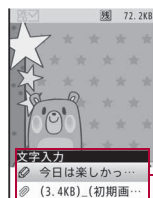
デコメアニメ®を作成・送信する <新規デコメアニメ®作成>

- 作成できるデコメアニメ®のテンプレートと画像の合計は90Kバイトまでです。また、メッセージは10000バイトまでです。これらのバイトを超えるときは、メッセージや画像を挿入できません。

1 カスタムメニューで[メール]▶[新規デコメアニメ作成]▶[編集]

- 本文のプレビュー表示をタッチしても選択できます。

2 テンプレートにカーソルを合わせる▶[決定]

- テンプレートの確認：テンプレートを選ぶ

編集項目リスト
- 編集できる項目がリスト表示されます。

マークの意味

✎	文字を編集できます。
📎	画像を編集できます。

メール

3 編集項目を選ぶ▶編集する

◆ ［文字入力］▶文字を入力▶［決定］
◆ ［文字色］▶文字色を選ぶ
◆ ［画像選択］▶画像にカーソルを合わせる▶［決定］
◆ ［削除］▶［はい］
◆ ［初期画像に戻す］▶［はい］

- 文字の編集と画像の編集では、表示される項目が異なります。
- プレビュー表示：［プレビュー］（または［サブメニュー］▶［プレビュー］）
  - ・デコメアニメ®編集画面に戻る：［確認］
  - ・再生をやり直す：［リトライ］
  - ・再生を停止：［中断］
- ページ切替：［次ページ］

4 ［編集終了］

5 宛先、題名を入力・送信

- 受信側のｉモード端末がデコメアニメ®非対応の場合は、メール本文に閲覧用のURLが記載されます。ただし、端末によっては、挿入したメッセージのみが記載されたメールを受信することがあります。
- 編集できる項目はテンプレートによって異なります。
- 送信／保存したデコメアニメ®は再編集できません。また、編集中に破棄したり、送信に失敗したデコメアニメ®も再編集できません。
- デコメアニメ®作成では、次の操作はできません。
  - ■ 文字入力画面でのデコメ®絵文字の挿入
  - ■ 文字サイズの変更
  - ■ 文字や画像の挿入位置の変更
  - ■ フォントの変更
  - ■ 署名の貼り付け
- 文字入力画面には、入力可能な文字数の残バイト数が表示されます。
- ［↲］（改行）は文字数にカウントされません。
- 入力した文字の合計が10000バイトを超えた場合、文字入力画面の残バイト数が０でなくても、文字を入力できないことがあります。
- デコメアニメ®合成時に画像ファイルのサイズが増加するため、メールの残バイト数以下の画像でも挿入できないことがあります。
- GIFアニメーションやFlash画像を挿入した場合、デコメアニメ®送信時にサイズオーバーになることがあります。
- Flash画像に含まれているFlash®Videoは再生できません。Flash画像だけが見えている状態になります。

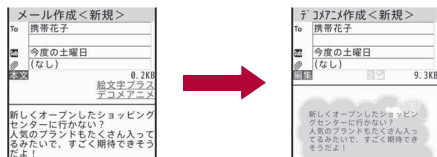
■ デコメアニメ®作成画面のサブメニュー操作

［送信］	
［送信予約］	☞P.145
［保存］▶［はい］	
［テンプレート呼出］▶テンプレートにカーソルを合わせる▶［決定］	
［プレビュー］	
［送信者アドレス切替（A•B）］	☞P.456

■ デコメアニメ®編集画面のサブメニュー操作

［テンプレート呼出］▶［はい］▶テンプレートにカーソルを合わせる▶［決定］
［プレビュー］
［リセット］▶［はい］

メール本文を入力してデコメアニメ®を作成する <デコメアニメ®>

メール本文を入力して変換すると、デコメアニメ®テンプレートに文章が反映され、デコメアニメ®を作成することができます。

1 本文入力後、メール作成画面で［デコメアニメ］

2 テンプレートにカーソルを合わせる▶［決定］

- テンプレートの確認：テンプレートを選ぶ
- 引き続き、デコメアニメ®作成画面で入力や編集をすることができます。

メール

● 入力したメール本文がデコメアニメ®テンプレートの入力可能文字数を超えている場合、超えた文字は破棄されます。

テンプレートを利用して送信する

テンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール®／デコメアニメ®用のひな形です。お買い上げ時に登録されているテンプレートのほかに、サイトなどからダウンロードしたり、作成または送受信したデコメール®をテンプレートとして保存できます。

● 保存できる件数は次のとおりです。
  ■ デコメール®のテンプレート：最大100件
  ■ デコメアニメ®のテンプレート：最大100件

テンプレートを利用してデコメール®／デコメアニメ®を作成する<テンプレート>

1 **カスタムメニューで[メール]▶[テンプレート]▶[デコメテンプレート]／[デコメアニメテンプレート]**

2 **テンプレートにカーソルを合わせる▶[メール]**
  • テンプレートの確認：テンプレートを選ぶ

■ デコメ®テンプレート一覧画面のサブメニュー操作

[編集]▶デコメール®を編集▶[決定]▶保存方法を選ぶ
[タイトル編集]▶タイトルを編集▶[決定]
[削除]
  ▶[１件削除]▶[はい]
  ▶[選択削除]▶テンプレートを選ぶ▶[確定]▶[はい]
  ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]
[情報表示]

[タイトル編集]について
● 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

■ デコメアニメ®テンプレート一覧画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、デコメ®テンプレート一覧画面のサブメニュー操作（☞P.143）を参照してください。
  ■ タイトル編集　■ 削除　■ 情報表示

[microSDへコピー] ☞P.368
[データ送信]
  ▶[赤外線送信] ☞P.384
  ▶[ｉＣ送信] ☞P.386
[microSDデータ参照] ☞P.373

添付ファイル

ファイルを添付する

ｉモードメールに静止画や動画／ｉモーションなどを添付して送信できます。

● データは合計で最大２Mバイト、10個まで添付できます。
● ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送信できません。

添付できるファイルの種類

イメージ	JPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像
メロディ	SMF、MFi
ｉモーション	MP4
トルカ、トルカ（詳細）	トルカ：１Kバイトまで トルカ（詳細）：100Kバイトまで
PDF	ダウンロード中およびページ単位で部分的にダウンロードしたPDFは添付不可
電話帳	vCard
スケジュール	vCalendar
Bookmark	vBookmark
ドキュメント	BMP、PNG、JPG、GIF、Word、Excel、PowerPoint、Text
その他	microSDカード内のその他のファイル

カメラ起動(静止画)	カメラが起動し、撮影した静止画を添付
カメラ起動(動画)	カメラが起動し、撮影した動画を添付

1 メール作成画面で添付欄(なし)を選ぶ

- 添付ファイルを追加するとき:添付欄を選ぶ▶[添付ファイル追加]

2 添付ファイルを選ぶ

- **[イメージ]▶画像にカーソルを合わせる▶[決定]**
- **[メロディ]▶メロディにカーソルを合わせる▶[決定]**
- **[iモーション]▶iモーションにカーソルを合わせる▶[決定]**
- **[トルカ]▶トルカにカーソルを合わせる▶[決定]**
- **[PDF]▶PDFにカーソルを合わせる▶[決定]**
- **[電話帳]▶登録場所を選ぶ▶名前を選ぶ**
- **[スケジュール]▶登録場所を選ぶ(▶日付にカーソルを合わせる▶[確認])※▶スケジュールを選ぶ**
  ※ 登録場所が[microSD]のときは操作なし
- **[Bookmark]▶登録場所を選ぶ▶Bookmarkを選ぶ**
- **[ドキュメント]▶ファイルにカーソルを合わせる▶[OK]**
- **[その他]▶ファイルを選ぶ**
- **[カメラ起動(静止画)]▶[📷]/📷▶[保存]/📷**
- **[カメラ起動(動画)]▶[録画]/📷▶[停止]/📷▶[保存]**
- 添付欄には、現在添付されているファイル件数と添付ファイルの合計ファイルサイズが表示されます。

- 受信側の端末によっては、受信できなかったり、正しく表示・再生できないことがあります。また、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されることがあります。
- 添付ファイルの合計ファイルサイズが300Kバイトを超える場合は、送信時に確認画面が表示されます。[はい]/[はい(以後非表示)]を選択すると送信します。[はい(以後非表示)]を選択すると、次回から確認画面は表示されません。
- 500Kバイトを超える動画/iモーションを2Mバイト対応機種以外の機種に送るときは、映像カッターで[メール用(短)]に切り出してください。
- 添付するJPEG画像の画像サイズが「QVGA:240×320」を超える場合は、画像サイズやファイルサイズを変更する画面が表示されます。[VGAサイズ]、[QVGAサイズ]を選択すると、選択した画像サイズに変更して添付します。[そのまま添付]を選択すると、画像サイズを変更せずに添付しますが、ファイルサイズが2Mバイトを超える場合は、ファイルサイズを2Mバイト以下に変更して添付します。[VGAサイズ]は画像サイズが「VGA:480×640」を超えている場合に選択できます。
- 添付する動画/iモーションのファイルサイズが2Mバイトを超えているときは、ファイルから切り出して添付する確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、2Mバイト以下になるように先頭から切り出して添付されます。
- 位置情報が付加されている画像を添付する場合、位置情報URLの貼り付け確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、メール本文に位置情報URLが貼り付けられます。
- Flash画像に含まれているFlash®Videoは再生できません。Flash画像だけが見えている状態になります。
- 効果音を含むデコメアニメ®にメロディを添付した場合、添付したメロディが再生されます。

[カメラ起動(静止画)]について

- 撮影サイズは「待受:480×854」に設定されています。
- 撮影サイズを「5M:1944×2592」に設定することはできません。
- 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに保存されます。

[カメラ起動(動画)]について

- 撮影サイズは「QCIF:176×144」に設定されています。
- 撮影サイズを「FWVGA:864×480」、「VGA:640×480」、「QVGA:320×240」に設定することはできません。
- 撮影した動画はデータBOXのiモーション/ムービーの[カメラ]フォルダに保存されます。
- 撮影した動画を2Mバイト対応機種以外の機種に送る場合は、ファイルサイズ制限を[メール用(短)]または共通再生モードを[ON]に設定して撮影してください。

■ 添付ファイルを解除する

1 添付欄を選ぶ▶ファイルにカーソルを合わせる▶[添付解除]

2 解除方法を選ぶ
◆ [1件解除]
◆ [選択解除]▶ファイルを選ぶ▶[確定]
◆ [全件解除]

3 [はい]

iモードメール保存

iモードメールを保存しておき、あとで送信する

iモードメールを保存する<保存>

1 メール作成画面で[サブメニュー]▶[保存]
• 未送信BOXに保存されます。

電波の届くところになったらメールを自動送信する<送信予約>

圏外のためにメールが送信できなかった場合、圏内になったときにメールを自動送信することができます。
● 30件まで送信予約できます。送信予約したメールは[未送信トレイ]に保存されます。
● 自動送信されると、ストックアイコン[ ](圏内自動送信結果あり)が表示され、送信結果を確認できます。
● 自動送信に失敗したメールは未送信BOXに保存され、ディスプレイ上部に[ ]が表示されます。
● 2in1利用時は、モードにかかわらず送信予約したメールは自動送信されます。ただし、送信結果は次のとおり表示されます。
■ [Aモード]のとき:Aアドレスのメールの結果
■ [Bモード]のとき:Bアドレスのメールの結果
■ [デュアルモード]のとき:すべてのメールの結果

1 メール作成画面で[サブメニュー]▶[送信予約]

● 添付ファイルの合計ファイルサイズが300Kバイトを超える場合は、送信予約時に確認画面が表示されます。[はい]/[はい(以後非表示)]を選択すると送信予約できます。[はい(以後非表示)]を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

保存したiモードメールを編集・送信する

1 未送信メール一覧画面でメールを選ぶ▶メールを編集▶[送信]

メール自動受信

iモードメールを受信したときは

● メールを受信すると次のマークが表示されます。

マークの意味

(黒色)	未読iモードメールあり
	未読iモードメールとSMSあり
(赤色)	FOMA端末内の受信iモードメールやSMSがいっぱい
(茶色)	FOMA端末内の受信iモードメールやSMSおよびFOMAカード内のSMSがいっぱい
(青色)	未読iモードメールやSMS、メッセージR/Fあり(iモード/フルブラウザ中)
SMS(白色)	未読SMSあり
SMS(赤色)	FOMAカード内のSMSがいっぱい
	未読エリアメールあり

メール

次ページへ続く

(青色)	ｉモードセンターにメールあり
(赤色)	ｉモードセンターのメールがいっぱい
(青色)	ｉモードセンターにメール、メッセージR、メッセージFのうち２種類以上あり
(赤色)	ｉモードセンターにメール、メッセージR、メッセージFのうち２種類以上あり、ｉモードセンターがいっぱいになっているものがある

・ｉモードセンターにメールが保管されていても、[(青色)]、[(赤色)]、[(青色)]、[(赤色)]が表示されないときがあります。
・メール選択受信設定を[ON]に設定しているときは、[(青色)]、[(赤色)]、[(青色)]、[(赤色)]は表示されません。

- ｉモードメール１件につき、添付ファイルも含めて100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます(☞P.149)。
- FOMA端末に保存した受信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、受信メールのうち古いメールから順に削除されます。サイズの大きい添付ファイルを取得すると、複数の受信メールが削除されます。
- FOMA端末が次のようなときに送られてきたｉモードメールやメッセージR／Fは、ｉモードセンターに保管されます。
  - ■電源が入っていないとき ■セルフモード中 ■圏外
  - ■テレビ電話中 ■おまかせロック中 ■赤外線通信中
  - ■FirstPassセンター接続中
  - ■保護や未読のｉモードメールがいっぱいで空き容量がないとき
  - ■ｉC通信中 ■Bluetooth通信中

新着ｉモードメールを表示する

1 ｉモードメールを自動的に受信([]点滅)

- 受信の中止：[CLR]
  - ・タイミングにより受信されることがあります。

2 受信終了後、受信完了画面が表示され、ｉモードメール着信音が鳴る([]表示)

- 受信完了画面で、何も操作しないでそのままにしておくと、約15秒後、自動的に受信前の画面に戻ります。メール鳴動時間設定が15秒より長く設定されている場合は、その時間だけ表示されます。
- 待受画面に戻るとストックアイコン[](新着メールあり)が表示されます。

着信音を止める

- 受信BOX一覧画面を表示：[メール]
- 受信前の画面を表示：、
- 受信完了画面を表示：
- クイックサイレント(☞P.100)

3 [メール]▶メールを選ぶ

- To、Cc、Bccを設定できるFOMA端末やパソコンなどから送信されたｉモードメールは、自分がTo、Cc、Bccのどれに当てはまるかを、FOMA端末で確認できます。
- 次の場合は、メールを受信してもメール受信画面と受信完了画面は表示されません。また、メール着信音は鳴らず、メール受信ランプやメール着信バイブレータも動作しません。
  - ■通話中 ■ｉアプリ起動中
  - ■カメラ起動中(コラムリーダー、バーコードリーダーを除く)
  - ■GPS測位中 ■パターンデータ更新中
  - ■ワンセグ視聴中・録画中(マルチウインドウ時を除く)
  - ■ムービー再生中 ■エリアメール自動表示中
  - ■microSDカード参照中
  - ■ｉモーション取得中(ストリーミングタイプ)
  - ■ｉウィジェット起動中

メール受信時にFOMA端末を開いたときの動作を設定する<スライド動作設定>

メール受信完了画面表示中にオープンポジションにするだけで受信BOX一覧画面を表示することができます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[スライド動作設定]

2 設定を選ぶ

メールテロップを表示する<メールテロップ設定>

メールテロップ設定を[差出人＋題名]または[お知らせのみ]に設定した場合、他の機能を起動中にメールを受信すると画面にメールテロップが表示されます。

- 次の場合はメールテロップが表示されません。
  - ■ カメラ起動中　■ 卓上時計／スライドショー表示中
  - ■ ドキュメントビューア起動中　■ ｉウィジェット起動中
  - ■ カスタムメニュー／基本メニュー／横表示メニュー表示中
  - ■ テレビ電話中　■ ｉアプリ起動中　■ メール送受信中
  - ■ 赤外線通信／ｉC通信／Bluetooth通信によるデータの送受信中
  - ■ 静止画、ｉモーション、ムービー、Music&Videoチャネルの全画面表示中
  - ■ 縦表示でｉコンシェル画面表示中

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[メールテロップ設定]

2 項目を選ぶ

3 設定を選ぶ

例：ワンセグ視聴中にメールを受信したとき

- 受信BOX一覧画面を表示：メールテロップをタッチ
- テロップ表示を消す：メールテロップが表示されていない部分をタッチ

- [差出人＋題名]に設定したとき、差出人が電話帳に未登録または電話帳の機能別ロック中は、メールアドレスが表示されます。
- [差出人＋題名]に設定していても、次の場合はお知らせのみが表示されます。
  - ■ メールの機能別ロック中
  - ■ 受信メールの保存先フォルダにフォルダシークレットが設定されていて、シークレットメール設定のシークレット送受信設定が[OFF]に設定されているとき

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめメール選択受信設定を[ON]に設定します。なお、[ON]に設定したときは、自動的にｉモードメールを受信できません。

- ｉモードセンターにｉモードメールが届くと、[センターに✉あり]が表示されます。
- メール選択受信設定については☞P.163

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール選択受信]▶[メール選択受信]

2 メールごとに項目を選ぶ

添付ファイルのマーク

	画像		トルカ
	メロディ		その他のファイル
	ｉモーション		

- メールをすべて削除：ページの最下部の[削除]▶[決定]

3 [受信／削除]▶[決定]

- メールを選び直す：[キャンセル]

- メモリが不足しているときに、残容量より大きい添付ファイルを取得すると、保護されていない既読の受信メールが削除されることがあります。

■ ｉモードから選択受信する<メール選択受信>

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉ Menu・検索]▶[メニューリスト]▶[メール選択受信]

ｉモード問い合わせ

ｉモードメールがあるかを問い合わせる

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたｉモードメールやメッセージR／Fはｉモードセンターに保管されています。ｉモードセンターに問い合わせて受信できます。

1 カスタムメニューで[メール]▶[ｉモード問い合わせ]

- カスタムメニューで[✉受信]でも問い合わせできます。
- 問い合わせは[✉](黒色)、[R](白色)、[F](白色)の順に点滅して受信します。

ｉモードメール返信

ｉモードメールに返信する

ｉモードメールの返信方法には、受信メールの本文を引用して返信する方法と、本文を引用しないで返信する方法があります。

1 受信メール詳細画面で[サブメニュー]▶[返信／転送]

- 受信メール一覧画面では：受信メールにカーソルを合わせる▶[返信]▶操作3へ

2 返信方法を選ぶ

◆ **[返信]▶[ｉモードメール作成]／[デコメアニメ作成]**

・SMSのとき：[返信]

◆ **[引用返信]**

3 メールを作成・送信

- 受信メールの題名の先頭に[Re:]が付いた題名が入力されています。
- 引用返信には、本文の先頭に[>]が挿入され、受信メールの内容が引用されます。
- デコメアニメ®は、引用返信できません。
- 送信元のメールアドレスが50文字を超えているときは返信できません。返信できないｉモードメールには受信メール詳細画面で[⊠]が表示されます。

■ 受信メールを参照しながら返信する<参照返信>

オープンポジションのときに、受信メールの内容を画面右側に表示させたままｉモードメールを作成できます。

1 受信メール詳細画面でFn＋2▶[参照返信]

2 返信方法を選ぶ

◆ **[返信]▶[ｉモードメール作成]／[デコメアニメ作成]**

◆ **[引用返信]**

3 メールを作成・送信

- 受信メールをスクロールするときは、受信メール部分で上下にスライドしてください。上下にすばやくスライドすると大きくスクロールできます。

- 受信メールの添付ファイルは表示されません。
- マルチウインドウのときは、画面右側に受信メールを表示できません。
- メモリが不足しているときなどに、受信メールの読み込みに失敗する場合があります。その場合は、画面右側に受信メールを表示できません。
- SMSは、参照返信できません。
- クローズポジションでは、サブメニューから[参照返信]を選択しても受信メールを表示できません。オープンポジションにすると表示されます。

ｉモードメール転送

ｉモードメールを他の宛先に転送する

1 受信メール詳細画面で[サブメニュー]▶[返信／転送]▶[転送]

2 宛先を入力・送信

- 受信メールの題名の先頭に[Fw:]が付いた題名が入力されています。
- 取得が完了した添付ファイルのみ転送されます。取得していない選択受信添付ファイルは転送されません。
- 識別できなかったファイルも転送できます。
- デコメアニメ®を転送するときは編集できません。また、本文を転送できない旨の確認画面が表示されることがあります。

電話帳登録

メールアドレスや電話番号を電話帳に登録する

受信メールや送信メールの送信元や宛先、またはメール本文に書かれたメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

1 メール詳細画面で電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせる ▶ [サブメニュー] ▶ [登録／保存] ▶ [電話帳登録]

2 電話帳に登録

- SMSから電話帳登録を行うと、送信元／宛先の電話番号が電話帳の電話番号欄に登録されます。

選択受信添付ファイルを取得する

受信したｉモードメールのサイズが添付ファイルを含めて100Kバイトを超えるときは、一部またはすべての添付ファイルは自動的に取得されず、選択受信添付ファイルとして受信します。この場合は、ｉモードセンターからファイルを取得する必要があります。

1 受信メール詳細画面で添付ファイル名を選ぶ

- 未取得の選択受信添付ファイルがあるときは、最下部に保存期限が表示されます。すべてのファイルを取得すると、保存期限の表示が消えます。

添付ファイルを確認・保存・削除する

- 添付ファイルの種類
  - ■ 静止画 ■ PDFデータ ■ ｉモーション
  - ■ メロディ ■ 電話帳 ■ スケジュール
  - ■ Bookmark ■ トルカ ■ ドキュメントファイル
  - ■ 電子書籍／電子辞書／電子コミック
- 添付ファイルはそれぞれのカテゴリの選択した保存先に保存されます。
- 識別できないファイルは、microSDカードの[その他]フォルダに保存されます。
- 添付ファイルによっては、正しく再生・表示できないことがあります。

添付ファイルを確認する

1 添付ファイルを選ぶ

- 100Kバイトを超えるメロディや500Kバイトを超えるFlash画像は再生できません。
- Flash画像に含まれているFlash®Videoは再生できません。Flash画像だけが見えている状態になります。
- 電子書籍／電子辞書／電子コミックは直接表示できません。

添付ファイルを保存する<保存>

1 添付ファイルにカーソルを合わせる ▶ [サブメニュー] ▶ [添付ファイル] ▶ [保存] ▶ [はい]

- ファイルによってフォルダを選んだり、[本体]／[microSD]の選択画面が表示されます。

- ｉモーションをパソコンなどで再生するときは、対応のソフトが必要です。詳しくは、ドコモのホームページを参照してください。
- その他のファイルをmicroSDカードに保存したとき、ファイル名は「OTHER001」～「OTHER999」に変更されます。

添付ファイルを削除する<メールから削除>

1 添付ファイルにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[添付ファイル]▶[メールから削除]▶[はい]

受信BOX／送信BOX／未送信BOX

受信／送信／未送信BOXのメールを表示する

- それぞれのBOXにはｉモードメールとSMSを合わせて、次の件数まで保存できます。ただし、メールサイズによっては、件数は異なります。

受信メール	最大2500件
送信メール	最大500件
未送信メール（自動保存されたメールも含む）	最大500件

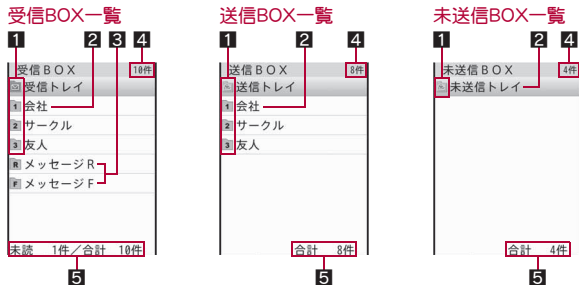
・2in1利用時は、AアドレスとBアドレスの合計の件数となります。

- お買い上げ時は、Welcomeメール「Welcome▮ドコモ動画▮」、「緊急速報「エリアメール」のご案内」が受信BOXに保存されています。通信料はかかっていません。また、Welcomeメールには返信できません。

1 カスタムメニューで[メール]
- 受信BOXのときは、待受タッチランチャで[受信BOX]を選んでも操作できます。操作3に進みます。

2 BOXを選ぶ
- BOX内のメールをすべて表示する：[全表示]

3 メールを選ぶ
- 受信／送信メールの場合、デコメアニメ®のときは再生画面が表示されFlash画像が再生されます。

■ BOX一覧画面の見かた

1 フォルダマーク
未読メールがあるとき、または未送信BOXにメール編集中断時に自動保存されたメールがあるときは、ピンク色で表示されます。

アイコン	説明
1	ユーザフォルダ ● 0～9のフォルダの場合、0～9を押すと、対応するフォルダのメール一覧画面が表示されます。
1🔒	フォルダシークレットが設定されているフォルダ
iα	メール連動型ｉアプリのフォルダ

2 フォルダ名

3 メッセージR／F用フォルダ
未読メッセージがあるときは、ピンク色で表示されます。

アイコン	説明
R	メッセージRが保存されます。
F	メッセージFが保存されます。

4 総保存件数※
BOX内のメールの総件数が表示されます。

5 フォルダ内保存件数※
選んだフォルダ内の保存件数が表示されます。受信BOXでは、未読メールの件数も表示されます。

※ 2in1の各モードごとの件数になります。

■ メール一覧画面の見かた

受信メール一覧

送信メール一覧

未送信メール一覧

● プレビュー表示が［OFF］の画面です。

1 受信メールの種類

［受信トレイ］の場合は、FOMA端末とFOMAカードのｉモードメールとSMSが混在表示されます。

	未読ｉモードメール		未読ｉモードメール（保護有）
	既読ｉモードメール		既読ｉモードメール（保護有）
	未読SMS		未読SMS（保護有）
	既読SMS		既読SMS（保護有）
	メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール		メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール（保護有）
	メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール		メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール（保護有）
	返信済みｉモードメール		返信済みｉモードメール（保護有）
	転送済みｉモードメール		転送済みｉモードメール（保護有）
	FOMAカード未読SMS		メール連動型ｉアプリでの未読エリアメール
	FOMAカード既読SMS		メール連動型ｉアプリでの既読エリアメール
	未読エリアメール		転送済みエリアメール
	既読エリアメール		転送済みメール連動型ｉアプリでのエリアメール

2 送信メールの種類

［送信トレイ］の場合は、FOMA端末とFOMAカードのｉモードメールとSMSが混在表示されます。

	送信済みｉモードメール		送信済みｉモードメール（保護有）
	送信済みSMS		送信済みSMS（保護有）
	メール連動型ｉアプリでの送信済みｉモードメール		メール連動型ｉアプリでの送信済みｉモードメール（保護有）
	FOMAカード送信済みSMS		

3 未送信メールの種類

	未送信ｉモードメール		未送信ｉモードメール（保護有）
	未送信SMS		未送信SMS（保護有）

次ページへ続く

	送信予約されているｉモードメール		送信予約されているｉモードメール(保護有)
	自動送信に失敗したｉモードメール		自動送信に失敗したｉモードメール(保護有)

4 フォルダ名

5 題名

先頭から全角10文字(半角21文字)まで表示されます。全角10文字(半角21文字)を超えると、全角９文字(半角19文字)まで表示され、以降は「…」の表示となります。題名のないメールは[無題]と表示されます。

6 添付種別マーク

	JPEG画像／GIF画像／GIFアニメーション／Flash画像		未取得のスケジュール
			Bookmark
	メロディ		Wordファイル／Excelファイル／PowerPointファイル／Textファイル／BMPファイル／PNGファイル
	ｉアプリToの情報		
	動画／ｉモーション		
	トルカ･トルカ(詳細)		表示できないデータ
	PDFデータ		電子書籍／電子辞書／電子コミック
	電話帳		
	スケジュール		添付ファイル複数あり

7 2in1のモード種別

[デュアルモード]のときに表示されます。

B	Bアドレスで送受信したメール／Bアドレスで作成した未送信メール／Bナンバーで受信したSMS

8 時差補正

	海外などで日時が時差補正されているメール

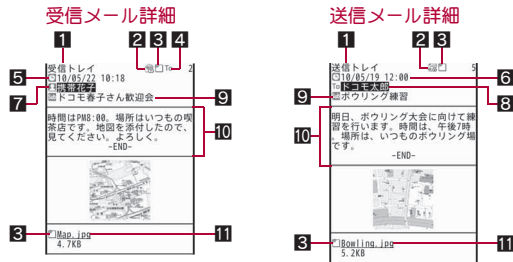
9 受信日時(受信メール)／送信日時(送信メール)／保存日時(未送信メール)

当日は時間、当日以外は日付が表示されます。

10 送信元／宛先(送信先)

■ 詳細画面の見かた

受信メール詳細

送信メール詳細

1 フォルダ名

2 保護マーク

保護されているときに表示されます。

3 添付種別マーク

	JPEG画像／GIF画像／GIFアニメーション／Flash画像
	メロディ
※1	ｉアプリToの情報
	動画／ｉモーション
	トルカ･トルカ(詳細)
	PDFデータ
	電話帳
	スケジュール
※1	未取得のスケジュール
	Bookmark
	Wordファイル／Excelファイル／PowerPointファイル／Textファイル／BMPファイル／PNGファイル
※1	表示できないデータ

アイコン	説明
(eBook)	電子書籍／電子辞書／電子コミック
※1	添付ファイル複数あり
※2	未取得の選択受信添付ファイル
※2	取得途中の選択受信添付ファイル
※2	取得不可の選択受信添付ファイル
※2	貼り付けデータ不正／削除済みの添付ファイル
※2	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているファイル

※1 画面上部にのみ表示されます。
※2 添付ファイル名の左側にのみ表示されます。

4 受信種別※
受信種別(To／Cc／Bcc)が表示されます。

5 受信日時※
i モードセンターまたはSMSセンターで受信した日時が表示されます。

6 送信日時※

7 送信元※
送信種別(To／Cc)は同報が設定されていると表示されます。

アイコン	説明
To ×←	Toに指定されていたアドレスが返信不可の場合(50文字を超える場合など)
Cc ×←	Ccに指定されていたアドレスが返信不可の場合(50文字を超える場合など)

8 宛先(送信先)※
メールの宛先(送信先)と送信種別(To／Cc／Bcc)が表示されます。

9 題名※

10 本文
文末には[- END -]が表示されます。受信可能文字数を超えたときは、[/]または[//]が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。

11 添付ファイル名

※ 2in1のBアドレスで送受信したメール／Bナンバーで受信したSMSのときは、受信種別やアイコンの色が緑色で表示されます。

■ 各メール画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- デコメアニメ®再生画面表示中はタッチパネルで操作できません。

メール一覧画面

- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機 能
[返信]	－	返信※1
[編集]	－	編集※2

※1 受信メールのみ表示されます。
※2 送信メールのみ表示されます。

- プレビュー表示部分で次のタッチ操作ができます。

操作	タッチ操作
画面を上下にスクロール	上下にスライド
画面を上下に大きくスクロール	上下にすばやくスライド

メール詳細画面

- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機 能
[返信]	(返信ボタン)	返信※1
[編集]	(編集ボタン)	編集※2
－	>	次のメールを表示
－	<	前のメールを表示
[▲ページ]	▲	ページ単位で上にスクロール
[▼ページ]	▼	ページ単位で下にスクロール

※1 受信メールのみ表示されます。
※2 送信メールのみ表示されます。

・横表示のとき画面をタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

● 次のタッチ操作ができます。

画面を上下にスクロール	上下にスライド
画面を上下に大きくスクロール	上下にすばやくスライド
次／前のメールを表示	左右にすばやくスライド

● 反転表示された情報(☞P.189)や添付ファイルをタッチして選択できます。

■ 各メール画面のボタン操作

メール一覧画面

文字を小さくする※1	1	送信予約解除※4	Fn＋4
文字を大きくする※1	3	画面を上下にスクロール※1	Fn＋S／Fn＋D
返信※2	Fn＋1		
編集※3	Fn＋1		

※1 プレビュー表示が[ON]のときに操作できます。
※2 受信メールのみ操作できます。
※3 送信メールのみ操作できます。
※4 送信予約メールのみ操作できます。

メール詳細画面

文字を小さくする	1	前のメールを表示	◧
文字を大きくする	3	次のメールを表示	◨
デコメアニメ®を再生	◙	返信※1	Fn＋1
画面を上下にスクロール	⊠	編集※2	Fn＋1

※1 受信メールのみ操作できます。
※2 送信メールのみ操作できます。
● 送信元／宛先を選んで◙を押すと、アドレスが表示されます。

デコメアニメ®再生画面

デコメアニメ®を再生	Fn＋4	メール詳細画面を表示	Fn＋2
デコメアニメ®を停止	Fn＋3		

● 効果音を含むデコメアニメ®は、再生画面では効果音が再生されますが、メール詳細画面では再生されません。
● デコメアニメ®では、iアプリTo、Media To機能や位置情報の利用はできません。
● iモードの端末情報利用設定を[利用しない]に設定しているときは、デコメアニメ®再生画面とデコメアニメ®作成画面、メール詳細画面で表示が異なる場合があります。
● Flash画像に含まれているFlash®Videoは再生できません。Flash画像だけが見えている状態になります。

■ BOX一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]

▶[フォルダ新規作成] ☞P.157

▶[フォルダ名編集]▶フォルダ名を編集▶[決定]
● ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。

▶[フォルダ移動(↑)]
● フォルダの表示順を上に移動します。

▶[フォルダ移動(↓)]
● フォルダの表示順を下に移動します。

▶[フォルダシークレット] ☞P.158

[削除] ☞P.158

[振分け条件設定] ☞P.161

[メール再振分け] ☞P.159

[iモードメール閲覧]
● メール連動型iアプリを起動せずにフォルダ内のiモードメールを表示します。

[データ送信]

▶[赤外線送信] ☞P.384

▶[iC送信] ☞P.386

▶[Bluetooth送信] ☞P.431

[microSDへ全件コピー] ☞P.368

[microSDデータ参照]	☞P.373

[フォルダ移動(↑)]、[フォルダ移動(↓)]について
- [受信トレイ]や[送信トレイ]、[未送信トレイ]は移動できません。
- フォルダシークレットを設定している場合、非表示のフォルダがあるときは移動できません。

■ 受信メール一覧画面のサブメニュー操作

[返信] ☞P.148

[参照返信]▶[ｉモードメール作成]／[デコメアニメ作成]▶メールを作成・送信
- 参照返信の詳細については☞P.148

[保護] ☞P.159

[削除] ☞P.159

[移動／コピー]
- ▶[移動] ☞P.158
- ▶[microSDへコピー] ☞P.368
- ▶[FOMAカードへコピー] ☞P.172

[データ送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.384
- ▶[ｉC送信] ☞P.386
- ▶[Bluetooth送信] ☞P.431

[お預かりセンターに保存] ☞P.131

[メール検索]
- ▶[題名検索]▶文字列を入力▶[決定]
- ▶[本文検索]▶文字列を入力▶[決定]
- ▶[題名＋本文検索]▶文字列を入力▶[決定]
- ▶[差出人検索]▶入力方法を選ぶ▶メールアドレスを選択／入力
  - [電話帳検索]以外で入力する場合は、メールアドレスを選択／入力後、[決定]をタッチ

[チャット表示]
- 特定の相手と送受信したメールを、受信BOXと送信BOXから検索してチャットのように一覧で表示します。

[表示設定]
- ▶[プレビュー表示]▶設定を選ぶ
  - メール一覧画面に本文を表示します。
- ▶[一覧表示]▶表示方法を選ぶ
  - 一覧画面の表示方法を選ぶことができます。
- ▶[ソート]▶ソート方法を選ぶ
- ▶[アドレス確認]
  - 受信メールの差出人のアドレスを表示します。

[microSDデータ参照] ☞P.373

[メール検索]について
- 文字列は、全角100文字(半角200文字)まで入力できます。

[プレビュー表示]について
- マルチウインドウのときは、プレビュー表示できません。

■ 送信メール一覧画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、受信メール一覧画面のサブメニュー操作(☞P.155)を参照してください。

■ 保護　■ 削除　■ 移動／コピー　■ データ送信
■ お預かりセンターに保存
■ メール検索(題名検索、本文検索、題名＋本文検索)
■ チャット表示　■ 表示設定(プレビュー表示、一覧表示、ソート)
■ microSDデータ参照

[編集]▶メールを編集▶[送信]

[メール検索]
- ▶[送信先検索]▶入力方法を選ぶ▶メールアドレスを選択／入力
  - [電話帳検索]以外で入力する場合は、メールアドレスを選択／入力後、[決定]をタッチ

■ 未送信メール一覧画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、受信メール一覧画面のサブメニュー操作（☞P.155）を参照してください。
■ 保護　■ 削除　■ 移動／コピー（移動、microSDへコピー）
■ データ送信　■ お預かりセンターに保存
■ メール検索（題名検索、本文検索、題名＋本文検索）
■ 表示設定（プレビュー表示、一覧表示、ソート）
■ microSDデータ参照

[メール検索]
▶ [送信先検索] ▶ 入力方法を選ぶ ▶ メールアドレスを選択／入力
● [電話帳検索]以外で入力する場合は、メールアドレスを選択／入力後、[決定]をタッチ

[圏内自動送信]
▶ [自動送信エラー表示]
● 自動送信のエラー情報を確認します。
▶ [送信予約解除] ▶ 解除方法を選ぶ

[送信予約解除]について
● 次の操作を行ったときも解除されます。
■ 未送信BOXから送信予約メールを選んで編集したとき
■ ｉモード設定の共通設定の接続先設定を変更したとき
■ FOMAカードを差し替えたとき

■ 受信メール詳細画面のサブメニュー操作

[返信／転送]
▶ [返信] ☞P.148
▶ [クイック返信] ▶ 本文を選ぶ ▶ [送信]
▶ [引用返信] ☞P.148
▶ [転送] ☞P.148

[参照返信] ☞P.148

[クイック検索] ☞P.416

[保護] ▶ 設定を選ぶ
● 保護の詳細については☞P.159

[１件削除] ☞P.159

[添付ファイル]
▶ [保存] ☞P.149
▶ [メールから削除] ☞P.150

[本文中画像確認] ▶ データを選ぶ
● デコメール®に挿入されている画像を確認／保存します。
● 画像の保存：データにカーソルを合わせる ▶ [保存] ▶ [はい] ▶ フォルダにカーソルを合わせる ▶ [確定]
● デコメ®絵文字の保存：データにカーソルを合わせる ▶ [保存] ▶ [はい]

[移動／コピー]
▶ [１件移動] ☞P.158
▶ [コピー] ☞P.158
▶ [microSDへ１件コピー] ☞P.369
▶ [FOMAカードへコピー] ☞P.172

[登録／保存]
▶ [電話帳登録] ☞P.149
▶ [テンプレート保存] ▶ [はい]
● デコメール®をテンプレートとして保存します。
● [テンプレート保存]について☞P.137
▶ [デコメ絵文字一括保存] ▶ [はい]
▶ [スケジュール作成] ▶ スケジュールを登録

[電話発信] ▶ 電話をかける

[データ送信]
▶ [赤外線送信] ☞P.384
▶ [ｉC送信] ☞P.386
▶ [Bluetooth送信] ☞P.431

[お預かりセンターに保存]
● 以降の操作については☞P.131「データを選んでお預かりセンターに保存する」の操作３へ

[文字サイズ設定] ▶ 文字サイズを選ぶ

[横画面モード切替]

[チャット表示]
- 特定の相手と送受信したメールを、受信BOXと送信BOXから検索してチャットのように一覧で表示します。

[受信／拒否設定] ▶ [はい]

[クイック返信]について
- あらかじめクイック返信メール設定(☞P.164)で本文を登録しておきます。

[デコメ絵文字一括保存]について
- デコメ®絵文字は、データBOXのマイピクチャの[デコメ絵文字]フォルダに保存されます。
- 同一画像を一括保存したときは1種類の画像として保存されます。

[スケジュール作成]について
- 表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されます。
  - ■ 日時：受信／送信日時
  - ■ 詳細：メールの題名と本文(全角300文字(半角600文字)まで)
  - ■ 連絡先：差出人／宛先が登録されている電話帳の1つ目の電話番号

[電話発信]について
- 送信元／宛先が、電話帳に電話番号を登録している相手のときに、電話をかけることができます。

[横画面モード切替]について
- 横表示中に切り替えることができます。

[受信／拒否設定]について
- 迷惑メール対策として、次のメールアドレス／電話番号を指定し、メールの受信／拒否を登録できます。
  - ■ 送信元
  - ■ 同報送信されたメールアドレス
  - ■ メール本文中のメールアドレス／電話番号
- 迷惑メール対策の詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

■ 送信メール詳細画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、受信メール詳細画面のサブメニュー操作(☞P.156)を参照してください。

■ 保護	■ 1件削除	■ 添付ファイル
■ 本文中画像確認	■ 移動／コピー	■ 登録／保存
■ 電話発信	■ データ送信	■ お預かりセンターに保存
■ 文字サイズ設定	■ 横画面モード切替	■ チャット表示

[編集] ▶ メールを編集 ▶ [送信]

メールを管理する

フォルダを管理する

■ ユーザフォルダを作成する<フォルダ新規作成>

受信／送信／未送信BOX一覧画面にユーザフォルダを新規作成することができます。ユーザフォルダは、それぞれ最大20個作成することができます。
- 受信／送信BOXにフォルダを新規作成するときは、振分け条件を設定できます。

1 **BOX一覧画面で[サブメニュー] ▶ [フォルダ管理] ▶ [フォルダ新規作成]**

2 **フォルダ名を入力 ▶ [決定]**
- 全角9文字(半角18文字)まで入力できます。
- 未送信BOXのときは、操作完了となります。

3 **[はい] ▶ 振分け条件を設定**
- 振分け条件の設定については☞P.161
- 振分け条件を設定しないとき：[いいえ]

■ ユーザフォルダを非表示にする＜フォルダシークレット＞

- フォルダシークレットを設定すると、フォルダは表示されなくなります。BOX一覧画面でFn＋Sを1秒以上押し、端末暗証番号を入力すると、フォルダシークレットを一時解除できます。

1 ユーザフォルダにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[フォルダ管理]▶[フォルダシークレット]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]

3 設定を選ぶ

- フォルダシークレットを一時解除しているときにBOX一覧画面でFn＋Sを1秒以上押すと、フォルダシークレットを設定したフォルダ(シークレットフォルダ)は表示されなくなります。

■ ユーザフォルダを削除する＜削除＞

1 ユーザフォルダにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[削除]

2 削除方法を選ぶ

- ◆ **[フォルダ1件削除]**
- ◆ **[フォルダ選択削除]▶フォルダを選ぶ▶[確定]**
- ◆ **[全フォルダ内既読削除]**※
- ◆ **[全フォルダ内未読削除]**※
- ◆ **[全フォルダ内全件削除]**
- ◆ **[全フォルダ削除]**

※ 受信BOXのみ表示されます。

3 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

- FOMAカード内のSMSは削除されません。
- 保護されているメールや保護されているメールがあるフォルダは削除できません。
- メール連動型ｉアプリを残したままで、対応するメール連動型ｉアプリ用フォルダは削除できません。メール連動型ｉアプリがないときはフォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOXに作成されたフォルダがまとめて削除されます。
- 全フォルダ内既読削除、全フォルダ内未読削除、全フォルダ内全件削除、全フォルダ削除を行った場合、表示されていないフォルダシークレットを設定したフォルダも削除されます。
- 全フォルダ内既読削除、全フォルダ内未読削除、全フォルダ内全件削除、全フォルダ削除を行っても、メッセージR／Fは削除されません。

メールを管理する

■ メールを別のフォルダに移動する＜移動＞

1 メールにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[移動／コピー]▶[移動]

2 移動方法を選ぶ

- ◆ **[1件移動]**
- ◆ **[選択移動]▶メールを選ぶ▶[確定]**
- ◆ **[フォルダ内全件移動]**

3 フォルダを選ぶ

- 選択移動のとき、選択できるのは50件までです。
- フォルダ内全件移動を行った場合、2in1のモードにかかわらず、AアドレスとBアドレスのすべてのメールが移動されます。

■ メールの本文などをコピーして利用する＜コピー＞

文字をコピーしたり、コピーした文字をもとにGPS対応ｉアプリを起動したりできます。

1 メール詳細画面で[サブメニュー]▶[移動／コピー]▶[コピー]

2 利用方法を選ぶ

- アドレスをコピーすると、操作が終了します。

3 開始位置をタッチ

4 終了位置をタッチ

■ メールを再振分けする<メール再振分け>

FOMA端末に保存されているｉモードメールやSMSを、振分け条件設定に従って再振分けします。

- 振分け条件に一致しないメールは、[受信トレイ]／[送信トレイ]に保存されます。

1 **受信／送信BOX一覧画面で[サブメニュー]▶[メール再振分け]**

2 **端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]**

■ メールを保護する<保護>

1 **メールにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[保護]**

2 **[保護]▶保護方法を選ぶ**

◆ **[1件保護]**
◆ **[選択保護]▶メールを選ぶ▶[確定]**
◆ **[フォルダ内全件保護]**

- 保護の解除：[解除]▶解除方法を選ぶ

- エリアメールは保護できません。
- 選択保護／解除するとき、選択できるのは50件までです。
- FOMAカード内のSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードにコピーすると、保護は解除されます。
- フォルダ内全件保護／解除を行った場合、2in1のモードにかかわらず、AアドレスとBアドレスのすべてのメールが保護／解除されます。

■ メールを削除する<削除>

1 **メールにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[削除]**

2 **削除方法を選ぶ**

◆ **[1件削除]**
◆ **[選択削除]▶メールを選ぶ▶[確定]**
◆ **[フォルダ内既読削除]※▶端末暗証番号を入力▶[OK]**
◆ **[フォルダ内未読削除]※▶端末暗証番号を入力▶[OK]**
◆ **[フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]**

※ 受信メールのみ表示されます。

3 **[はい]**

- 保護されているメールは削除できません。
- 選択削除のとき、選択できるのは50件までです。
- フォルダ内既読削除／フォルダ内未読削除／フォルダ内全件削除を行っても、FOMAカード内のSMSは削除されません。
- フォルダ内既読削除／フォルダ内未読削除／フォルダ内全件削除を行った場合、2in1のモードにかかわらず、AアドレスとBアドレスのすべての該当メールが削除されます。

メール受信履歴／メール送信履歴

メールの履歴を利用する

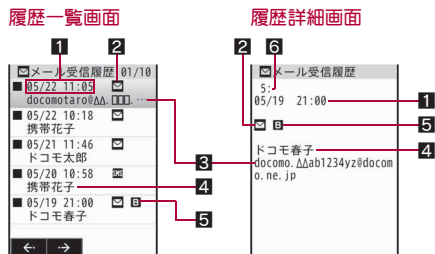
送受信したメールの履歴を利用して、メールを送信したり、相手のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

- 最新のものから受信／送信それぞれ30件まで記憶されます。それを超えると、古い履歴の順に削除されます。
- 2in1利用時は、AアドレスとBアドレスの受信／送信履歴がそれぞれ30件まで記憶されます。
- 同報メールの場合、アドレス1件が1つの送信履歴として表示されます。

1 **待受画面で左（または右）にすばやくスライド▶[受信履歴]／[送信履歴]**

- ページ切替：左右にすばやくスライド

■ 履歴一覧画面／履歴詳細画面の見かた

履歴一覧画面　　履歴詳細画面

1 受信日時（メール受信履歴）／送信日時（メール送信履歴）

	海外などで日時が時差補正されたときに表示（ｉモードメール受信時は表示されません）

2 履歴の種類

	ｉモードメール
SMS	SMS
	返信できないメールまたは発信者番号非通知のSMS（メール受信履歴）／送信を失敗したメール（メール送信履歴）

3 相手のメールアドレスまたは電話番号

4 相手の名前
電話帳に登録されているときに表示されます。

5 2in1のモード種別
［デュアルモード］のときに表示されます。

B	Bアドレスで送受信したメール／Bナンバーで受信したSMS

6 履歴番号
新しい順に番号が表示されます。

■ 履歴一覧画面のサブメニュー操作

［電話帳登録］▶電話帳に登録

［削除］

▶［1件削除］▶［はい］

▶［全件削除］▶端末暗証番号を入力▶［OK］▶［はい］

［電話発信］▶電話をかける
- 電話帳に電話番号を登録している相手に発信できます。

［削除］について
- 送受信履歴を全件削除すると、AアドレスとBアドレスのすべての送受信履歴が削除されます。

■ 履歴詳細画面のサブメニュー操作

［電話帳登録］▶電話帳に登録

［削除］▶［はい］

［メール作成］

▶［ｉモードメール作成］▶メールを作成・送信

▶［デコメアニメ作成］▶デコメアニメ®を作成・送信

［電話発信］▶電話をかける
- 電話帳に電話番号を登録している相手に発信できます。

履歴を利用してメールを送信する

1 **履歴を選ぶ▶［メール］**

2 **メールを作成・送信**
- SMS履歴のとき：SMSを作成・送信

FOMA端末のメール機能を設定する

受信完了画面からメールやメッセージR／Fの詳細画面を表示する＜詳細直接表示設定＞

受信完了画面で[メール]や[メッセージR]、[メッセージF]を選んで詳細画面を表示させることができます。

- 複数のメールやメッセージR／Fを受信した場合は、最後に受信したメールが表示されます。前のメールを表示することはできません。このとき、前のメールを表示するには受信BOXから操作してください。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[詳細直接表示設定]▶[ON]

メールの文字サイズを切り替える＜文字サイズ設定＞

- ワンタッチで文字サイズを切り替えることもできます（☞P.154）。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[文字サイズ設定]

2 項目を選ぶ

3 文字サイズを選ぶ

メールを自動的にフォルダに振り分ける＜振分け条件設定＞

ユーザフォルダに振分け条件を設定すると、条件に合ったｉモードメールやSMSを自動的に振り分けることができます。

- 受信／送信BOXで、それぞれ25のフォルダ（ｉアプリフォルダを含む）まで振り分けができ、1つのフォルダに30件まで振分け条件を設定できます。
- 設定できる振分け条件は次のとおりです。

アドレス（差出人）	差出人のメールアドレス（受信メールのみ）
アドレス（差出人／同報）／アドレス（送信先／同報）	受信メールはFrom、To、Cc／送信メールはTo、Cc、Bcc（[1]から優先）
ドメイン（差出人）	差出人のメールアドレスのドメイン（受信メールのみ）
グループ	FOMA端末電話帳に設定されているグループ
題名	題名に含まれている文字列（全角15文字／半角30文字まで入力可）
電話帳登録なし	FOMA端末電話帳に登録されていない相手からのメール（送信メールは、電話帳未登録のアドレスが送信先／同報に1件でも存在するとき）
全ての受信（送信）メール	すべてのメール

- 複数のフォルダの振分け条件に合致したときは、[1]が最も優先順位が高く、一番下に表示されているフォルダが最も優先順位が低くなります。
- シークレット登録した電話帳データは、登録されていないのと同じ扱いになります。
- 送信元がｉモード端末（mova含む）のアドレスのときは、「@docomo.ne.jp」は省略できます。また、電話番号を指定するとSMSも振り分けられます。
- 通常のメールをメール連動型ｉアプリフォルダに振り分けることもできます。このとき、メール連動型ｉアプリの振分け条件が優先されます。
- ｉアプリメールは振分け条件に関係なく、対応するメール連動型ｉアプリフォルダに振り分けられます。
- 振分け条件が[ドメイン（差出人）]の場合、ドメインの末尾に振分け条件で設定した文字列が含まれているときに指定フォルダへ振り分けられます。なお、英文字の大小文字は区別しません。

1 フォルダにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[振分け条件設定]

2 登録先を選ぶ

3 振分け条件を設定

◆ **[アドレス（差出人）]▶入力方法を選ぶ▶メールアドレスを選択／入力**

・[電話帳検索]以外で入力する場合は、メールアドレスを選択／入力後、[決定]をタッチ

次ページへ続く▶▶

◆ [アドレス(差出人/同報)]/[アドレス(送信先/同報)] ▶ 入力方法を選ぶ ▶ メールアドレスを選択/入力
・[電話帳検索]以外で入力する場合は、メールアドレスを選択/入力後、[決定]をタッチ

◆ [ドメイン(差出人)] ▶ ドメインを入力 ▶ [決定]

◆ [グループ] ▶ グループを選ぶ

◆ [題名] ▶ 文字列を入力 ▶ [決定]

◆ [電話帳登録なし]

◆ [全ての受信(送信)メール] ▶ [はい]
・振分け条件の先頭に設定されます。

4 複数の振分け条件を設定するときは、操作2～3を繰り返す

5 [完了]

● 2in1利用時、2in1のモードが[デュアルモード]のときは操作2のあとに、振分け条件を適用するアドレスを設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

Aアドレス設定	Aアドレスのメールに振分け条件を適用します。
Bアドレス設定	Bアドレスのメールに振分け条件を適用します。
設定なし	Aアドレス/Bアドレスのメールに振分け条件を適用します。

・設定した振分け条件は、モードにかかわらず有効になります。
・2in1利用時、Aアドレス設定で設定した振分け条件は、[Bモード]のときは表示されません。同様に、Bアドレス設定で設定した振分け条件は、[Aモード]のときは表示されません。
・振分け条件を適用するアドレスを変更する場合は、登録済みの振分け条件を選択し、[2in1アドレス設定]を選択してください。
・[Aモード]/[Bモード]のときに設定した振分け条件は[設定なし]で登録されます。

■ 振分け条件設定画面のサブメニュー操作

[1件削除] ▶ [はい] ▶ [完了]

[全件削除] ▶ [はい] ▶ [完了]

iモードメールに署名を付ける<署名登録>

署名の内容を登録したり、iモードメールを作成するときに自動で署名を貼り付けるように設定します。

● 署名は1件のみ登録できます。
● 本文は全角5000文字(半角10000文字)まで、挿入画像は90Kバイトまで入力できます。[↲](改行)も入力できます。

1 カスタムメニューで[メール] ▶ [メール設定] ▶ [署名登録]

2 署名を入力 ▶ [決定]
● 署名の削除:署名表示画面で文字を消去 ▶ [決定] ▶ [OFF]

3 [ON]
● [OFF]に設定した場合は、手動で署名を貼り付けます(☞P.137)。

● 2in1利用時は、登録時の2in1のモードによって、Aアドレス/Bアドレスの署名が登録されます。[デュアルモード]のときは、操作1のあとにアドレス選択画面が表示されます。登録するアドレスを選択してください。
● 2in1利用時に署名を貼り付ける場合は、送信元アドレスに従って貼り付ける署名が自動に切り替わります。[デュアルモード]で署名登録を[OFF]に設定している場合は、署名貼付時に選択画面が表示され、貼り付ける署名を選択できます。

iモード問い合わせの内容を設定する <iモード問い合わせ設定>

iモード問い合わせをするかどうかを種類別(メール、メッセージR/F)に設定できます。

1 カスタムメニューで[メール] ▶ [メール設定] ▶ [iモード問い合わせ設定]

2 種類を選ぶ

3 設定を選ぶ ▶ [完了]

i モードメールを選択して受信できるようにする <メール選択受信設定>

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール選択受信]▶[メール選択受信設定]▶[ON]▶[はい]

● メール選択受信設定を[ON]に設定しても、i モード問い合わせを行うとすべてのメールを受信します。受信したくないときは、i モード問い合わせ設定でメールを[OFF]に設定してください。

メールメンバーを登録する<メールメンバー設定>

メールメンバーに登録しておくと、宛先を 1 件ずつ指定する同報送信の操作とは異なり、一度に複数の宛先を指定できます。

- メールメンバーは、10件まで登録できます。1 つのメールメンバーには、5 件のメールアドレスが登録できます。
- 通信料は、1 通のみの送信時と同じです。ただし、追加した宛先の情報量が通信料として増えます。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[メールメンバー設定]

2 登録先のメールメンバーを選ぶ

3 登録先を選ぶ

4 入力方法を選ぶ

5 メールアドレスを選択／入力

- [電話帳検索]以外で入力する場合は、メールアドレスを選択／入力後、[決定]をタッチ
- 複数のメールアドレスを登録するときは、操作 3 ～ 5 を繰り返します。

6 [完了]

■ メールメンバー一覧画面のサブメニュー操作

[メンバー名編集]▶メンバー名を編集▶[決定]

[メンバー名 1 件リセット]▶[はい]

[メンバー名編集]について

● 全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

■ メールメンバー詳細画面のサブメニュー操作

[1 件削除]▶[はい]▶[完了]

[メンバー内全件削除]▶[はい]▶[完了]

ブログ／SNS 投稿先を登録する <ブログ／SNS投稿先設定>

ブログ／SNSの投稿先として投稿先アドレスと投稿タイトルを登録できます。メールの宛先に投稿先を指定すると、投稿先アドレスがメールアドレスに入力され、投稿タイトルがメールの題名に入力されます。

- 投稿先は 5 件まで登録できます。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[ブログ／SNS投稿先設定]

2 登録先にカーソルを合わせる▶[編集]

- 投稿先登録内容の確認：投稿先を選ぶ
- 投稿先登録内容の削除：投稿先にカーソルを合わせる▶[削除]▶[はい]

3 [投稿先名]欄を選ぶ▶投稿先名を入力▶[決定]

- 全角16文字（半角32文字）まで入力できます。

4 [投稿先アドレス]欄を選ぶ▶入力方法を選ぶ

◆ **[電話帳検索]▶名前を選ぶ**
◆ **[直接入力]▶宛先を入力▶[決定]**
◆ **[メール送信履歴]▶相手を選ぶ**

5 [投稿タイトル]欄を選ぶ▶タイトルを入力▶[決定]

- 全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

6 [完了]

メロディを自動再生するかどうかを設定する ＜メロディ自動再生＞

メールに添付されているメロディを、開封時に自動再生するかどうかを設定できます。

- 100Kバイトを超えるメロディは自動再生されません。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[メロディ自動再生]

2 設定を選ぶ

クイック返信メールの本文を変更する ＜クイック返信メール設定＞

クイック返信時の本文があらかじめ10件登録されています。本文を変更して登録できます。

- 1件につき全角250文字(半角500文字)まで入力できます。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[クイック返信メール設定]

2 変更する本文を選ぶ

3 本文を編集▶[決定]

添付ファイルを受信するかどうかを設定する ＜添付ファイル受信設定＞

受信する添付ファイルの種類を設定できます。

- 受信しないように設定した添付ファイルは選択受信添付ファイルになります。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[添付ファイル受信設定]

2 添付ファイルを選ぶ▶[確定]

- メッセージR/Fは、設定にかかわらず、すべての添付ファイルを受信します。
- メール本文中に貼り付けられたMFi形式のメロディは、設定にかかわらず受信します。

操作中のメール受信・自動送信の通知方法を設定する＜受信・自動送信表示＞

- 設定できる通知方法は次のとおりです。

通知優先	通常のメール受信/送信時の表示や動作を行います。
操作優先	受信したｉモードメール、メッセージR/F、SMSのマークのみ表示されます。

- インフォメーションを受信したときも、受信・自動送信表示の設定に従います。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[受信・自動送信表示]

2 通知方法を選ぶ

編集中のメールを自動保存するかどうかを設定する ＜編集時自動保存設定＞

誤操作で編集中のメールが消えるのを防ぐことができます。

- メール作成の終了確認画面でを押した場合、未送信BOXに編集中のメールが自動保存されます。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[編集時自動保存設定]

2 設定を選ぶ

受信したメールを開かずに既読にする <プレビュー後既読設定>

受信メール一覧画面の表示設定がプレビュー表示のとき、メール一覧画面に本文を表示するだけで受信したメールを既読にすることができます。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[プレビュー後既読設定]▶設定を選ぶ

● プレビュー表示でメールを最後までスクロールすると、既読になります。

メールの設定状況を確認する<メール設定確認>

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[メール設定確認]

メール機能の設定をリセットする <メール設定リセット>

メールの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[メール設定リセット]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

● 内容がリセットされない設定は次のとおりです。
- ■ 署名の登録内容
- ■ クイック返信メール設定
- ■ メールメンバー設定
- ■ エリアメール設定の受信登録
- ■ SMSセンター設定
- ■ SMS有効期間設定
- ■ SMS本文入力設定
- ■ ブログ／SNS投稿先設定

特定のメールの受信／送信をお知らせしないように設定する<シークレットメール設定>

シークレットフォルダに振り分けられるメールを受信／送信した場合、その情報を表示しないようにすることができます。また、電波マークを変更してお知らせすることもできます。

● あらかじめ、フォルダシークレット(☞P.158)と振分け条件設定(☞P.161)を行ってください。

● シークレット送受信設定を[ON]に設定した場合、シークレットフォルダに振り分けられるメールを受信／送信したとき、次の動作になります。
- ■ メール受信件数としてはカウントされません。
- ■ シークレットフォルダに振り分けられるメールのみを受信した場合、メール着信音は鳴りません。
- ■ 待受画面にストックアイコン[✉](新着メールあり)は表示されません。
- ■ メールテロップは表示されません。
- ■ 受信状態を表すマーク(☞P.145)は表示されません。
- ■ メール受信／送信履歴に記憶されません。
- ■ シークレット新着通知設定を有効にした場合、電波マークが設定した電波マークに変更されます。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[シークレットメール設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]

2 [シークレット送受信設定]▶[ON]

3 [シークレット新着通知設定]▶電波マークを選ぶ

• シークレット新着通知設定を設定しない場合は[OFF]を選択します。

メール

メールアドレス変更や迷惑メール対策の設定などを行う<アドレス・迷惑メール設定>

メールアドレスの変更や迷惑メール対策などを行うｉモードサイトに接続します。詳しい設定方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

- 受信メール詳細画面のサブメニュー操作からメールアドレス／電話番号を指定して、受信／拒否設定することもできます。

1 **カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[アドレス・迷惑メール設定]**

2 **[はい]**

メッセージR／F受信

メッセージR／Fを受信したときは

メッセージサービスを提供するサイトにお申し込みいただくことにより、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。メッセージにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

- メッセージR／Fは、それぞれ50件まで受信BOXに保存できます。メッセージのサイズによっては、保存できる件数が変わります。
- メッセージR／Fを受信すると次のマークが表示されます。

マークの意味

マーク	意味
R／F（白色）※	未読メッセージR／Fあり
R／F（赤色）※	FOMA端末内の受信メッセージR／Fがいっぱい
R／F	ｉモードセンターにメッセージR／Fあり
R／F	ｉモードセンターのメッセージR／Fがいっぱい
RF（青色）	ｉモードセンターにメール、メッセージR、メッセージFのうち２種類以上あり
RF（赤色）	ｉモードセンターにメール、メッセージR、メッセージFのうち２種類以上あり、ｉモードセンターがいっぱいになっているものがある

※ ２つの状態が重複すると、[R]で表示されます。

- ｉモードセンターのメッセージR／Fがいっぱいのときは、新しいメッセージが上書きされることがあります。
- メッセージR／Fのｉモードセンター問い合わせ方法については☞P.148

- FOMA端末に保存したメッセージR／Fが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、メッセージR／Fのうち古いメッセージから順に削除されます。

新着メッセージR／Fを表示する

メッセージR／Fが届くと、最新の１件が自動的に表示されます。ただし、メッセージ自動表示設定を[自動表示なし]に設定している場合、受信したメッセージR／Fは表示されません。

1 **メッセージR／Fを自動的に受信（[R]／[F]点滅）**

2 **受信終了後、受信完了画面が表示され、メッセージ着信音が鳴る（[R]／[F]表示）**

- メッセージを約15秒間表示し、自動的に待受画面に戻ります。
- 待受画面に戻ると、ストックアイコン[R✉]（新着メッセージRあり）／[F✉]（新着メッセージFあり）が表示されます。

自動で表示されないとき

- 受信完了画面で[メッセージR]／[メッセージF]▶メッセージを選ぶ

メッセージR／Fを自動的に表示する <メッセージ自動表示設定>

自動表示を行うメッセージの種類と、優先順位を設定できます。

メッセージR優先	メッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージRを自動表示

メッセージF優先	メッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージFを自動表示
メッセージRのみ	メッセージRのみ自動表示
メッセージFのみ	メッセージFのみ自動表示
自動表示なし	自動表示しない

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[メッセージ自動表示設定]

2 表示方法を選ぶ

- 次の場合は、メッセージ自動表示の設定にかかわらず自動表示されません。
  ■ オールロック中 ■ メールの機能別ロック中 ■ おまかせロック中

メッセージR/F表示

メッセージBOXのメッセージR/Fを表示する

1 待受タッチランチャで[受信BOX]

2 メッセージを選ぶ

- メッセージ一覧画面、メッセージ詳細画面での操作方法は、メールと同様です(☞P.153)。

■ メッセージ一覧画面の見かた

1 未読/既読/保護マーク

マーク	説明
未読アイコン R/F	未読メッセージR/F
既読アイコン R/F	既読メッセージR/F
保護アイコン R/F	既読メッセージR/F(保護有)

2 メッセージR/F一覧画面のページ番号/総ページ数

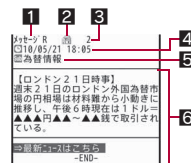
3 添付種別マーク

マーク	説明	マーク	説明
(画像アイコン)	JPEG画像/GIF画像/GIFアニメーション/Flash画像	(トルカアイコン)	トルカ
		(複数アイコン)	添付ファイル複数あり
(メロディアイコン)	メロディ		

4 題名

5 受信日時
当日は時間、当日以外は日付が表示されます。

■ メッセージ詳細画面の見かた

1 メッセージの種別

2 保護マーク

マーク	説明	マーク	説明
(保護アイコン R)	メッセージR(保護有)	(保護アイコン F)	メッセージF(保護有)

3 メッセージ番号

4 受信日時

5 題名

6 本文

メール

■ メッセージ一覧画面のサブメニュー操作

[保護]▶設定を選ぶ

[削除]

▶[1件削除]▶[はい]

▶[選択削除]▶メッセージを選ぶ▶[確定]▶[はい]

▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[ソート]▶ソート方法を選ぶ

[保護]について

- メッセージR/Fはそれぞれ25件まで保護できます。ただし、メッセージのサイズによって、保護できる件数が少なくなります。
- 未読のメッセージR/Fは保護できません。

[全件削除]について

- 未読または保護されているメッセージR/Fは削除されません。

■ メッセージ詳細画面のサブメニュー操作

[保護]▶設定を選ぶ

- [保護]について☞P.168

[添付ファイル確認]▶添付ファイルを確認/保存

- 添付ファイルの確認:[確認]
- 画像の保存:[保存]▶[はい]▶フォルダにカーソルを合わせる▶[確定]
- メロディ/トルカの保存:[保存]▶[はい]▶保存先を選ぶ

[本文中画像確認]▶画像を確認/保存

- 挿入された画像を確認/保存します。
- 画像の確認:[確認]
- 画像の保存:[保存]▶[はい]▶フォルダにカーソルを合わせる▶[確定]

[1件削除]▶[はい]

[電話帳登録]▶電話帳に登録

[文字サイズ設定]▶文字サイズを選ぶ

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- 次の場合は、受信できません。
  - ■ 音声電話中　■ テレビ電話中　■ おまかせロック中
  - ■ 赤外線通信中　■ iC通信中　■ 電源OFF時
  - ■ 圏外時　■ 国際ローミング中　■ セルフモード設定中
- 次の場合は、受信しない場合があります。
  - ■ パケット通信中(iモード通信中、データ通信中)
  - ■ ソフトウェア更新中　■ パターンデータ更新中
- 次の場合は、受信しても自動表示しないことがあります。
  - ■ パケット通信中(ストリーミング再生中、iモード通信中、データ通信中)
  - ■ 公共モード(ドライブモード)中　■ ソフトウェア更新中
  - ■ パターンデータ更新中　■ 電池残量が少ない場合
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。
- iモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。

エリアメール受信

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールが送られてきたときは自動的に受信します。

- エリアメールは30件まで受信BOXに保存できます。

1 エリアメールを自動的に受信

2 受信すると、専用警報音(ブザー音)またはエリアメール専用着信音が鳴り、着信ランプが赤色で点滅([✉]表示)

- エリアメールには、受信完了後に本文が自動表示されるものと、[エリアメールを受信しました]と表示されるものがあります。
- 本文が自動表示された場合は、●、⏎を押すと受信前の画面に戻ります。

- [エリアメールを受信しました]と表示されたときは、約30秒経過すると自動的に受信前の画面に戻ります。
- 受信完了後にエリアメールの本文を自動表示するかどうかは、配信側で設定されます。

- 緊急地震速報の場合、専用警報音(ブザー音)とバイブレータが動作し、本文を自動表示してお知らせします。音量は[音量10]、バイブレータは[メロディ連動]に設定されています。専用警報音(ブザー音)の音色や音量、バイブレータの種類は変更できません。
- エリアメール専用着信音の音色は変更できません。鳴動時間はメール鳴動時間設定に、音量はメール着信音量に、バイブレータはメール着信バイブレータの設定に従います。ただし、バイブレータの種類は[メロディ連動]で動作します。
- エリアメールの着信ランプは、ランプ色[サンセット]、ランプパターン[メロディ連動]に設定されていて変更できません。
- FOMA端末に保存したエリアメールが最大保存件数を超えた場合は、エリアメールのうち古い既読のメールから順に削除されます。エリアメールがすべて未読のときは、古い未読のメールから順に削除されます。

エリアメール設定

緊急速報「エリアメール」の設定を行う

エリアメールを受信するかどうかを設定します。

1 **カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[エリアメール設定]▶[受信設定]**

2 **設定を選ぶ**

- メール設定リセットや設定リセットを行うと、お買い上げ時の設定[利用する]に戻ります。

エリアメールの受信登録を設定する<受信登録>

緊急情報(緊急地震速報、災害・避難情報)のほかに受信したい情報のエリアメール名とMessageID(サービス提供者から付与されるID)を登録します。緊急情報(緊急地震速報、災害・避難情報)を受信する場合には受信登録の必要はありません。

- お買い上げ時に登録されている緊急情報は編集・削除できません。
- エリアメール名は、任意の名前を付けられます。
- 20件まで設定できます(緊急情報を含まず)。

1 **カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[エリアメール設定]▶[その他]▶[受信登録]**

2 **端末暗証番号を入力▶[OK]▶[新規]**
- 設定した内容を修正するときは、設定済みの受信登録を選択します。
- 受信登録の削除:受信登録にカーソルを合わせる▶[削除]▶[はい]

3 **エリアメール名を入力▶[決定]**
- 全角15文字(半角30文字)まで入力できます。

4 **MessageIDを入力▶[決定]**

ブザー音を鳴らす時間を設定する<ブザー鳴動時間>

1 **カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[エリアメール設定]▶[ブザー鳴動時間]**

2 **ブザー音を鳴らす時間を入力▶[決定]**

公共モード／マナーモード設定中に着信音を鳴らすかどうかを設定する<マナー／公共モード時設定>

専用警報音（ブザー音）またはエリアメール専用着信音やバイブレータを公共モード／マナーモードの設定に従うかどうか設定します。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[エリアメール設定]▶[マナー／公共モード時設定]

2 設定を選ぶ

- [各モードに従う]に設定していても、マナーモード設定中に緊急地震速報を受信すると、マナーモードの設定にかかわらずバイブレータは動作します。また、オリジナルマナーモードで、次のいずれかの音を鳴らす設定になっているときは専用警報音（ブザー音）も[音量10]で鳴ります。
  - ■ 着信音 ■ メール着信音 ■ アラーム音
  - ■ ボタン／タッチ音 ■ 電池残量警告音
- [各モードに従う]に設定している場合、マナーモードと公共モードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

着信音を確認する<着信音確認>

専用警報音（ブザー音）またはエリアメール専用着信音、着信ランプやバイブレータを確認します。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[エリアメール設定]▶[着信音確認]

2 項目を選ぶ

SMS作成・送信

作成して送信する

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 カスタムメニューで[メール]▶[新規SMS作成]

2 [To]欄を選ぶ▶入力方法を選ぶ

- ◆ **[電話帳検索]▶相手を選ぶ**
- ◆ **[メール送信履歴]▶相手を選ぶ**
- ◆ **[メール受信履歴]▶相手を選ぶ**
- ◆ **[直接入力]▶宛先を入力▶[決定]**
- 宛先の確認：宛先を選ぶ▶[宛先確認]
- 宛先の電話番号は20桁まで入力できます。
- 電話帳に登録されている相手のときは、To欄に名前が表示されます。

3 [本文]▶本文を入力▶[決定]

- 本文のプレビュー表示をタッチしても選択できます。

4 [送信]

- 宛先入力では、「＋」は先頭でのみ有効となります。「＋」を入力したときは、21桁まで入力できます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者のときは、「＋」（[０（＋）]をロングタッチ）、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「０」で始まるときは「０」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。受信した海外からのSMSに返信するときは、「010」を入力してください。
- SMSの本文に半角カタカナや絵文字、特殊記号を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に削除されます。
- 何らかの原因で送信できなかったSMSは、未送信SMSとして保存されます。

- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されないことがあります。
- 2in1のモードを［Bモード］に設定しているとき、SMSの作成・送信はできません。
- 「186」／「184」を付けても送信できます。ただし、「184」を付けても発信者番号を通知して送信されます。

■ **SMS作成画面のサブメニュー操作**

［送信］	
［保存］	
［SMS送達通知設定］	☞P.171
［SMS有効期間設定］	☞P.172

保存したSMSを編集・送信する

保存したSMSはメールと同じ方法で編集・送信できます（☞P.145）。

SMS受信

受信したときは

- SMSを受信したときに表示されるマークについては☞P.145

1 SMSを自動的に受信（［✉］点滅）

2 受信終了後、受信完了画面が表示され、SMS着信音が鳴る（［SMS］表示）

- 受信完了画面で、何も操作しないでそのままにしておくと、約15秒後、自動的に受信前の画面に戻ります。メール鳴動時間設定が15秒より長く設定されている場合は、その時間だけ表示されます。
- 待受画面に戻るとストックアイコン［✉］（新着メールあり）が表示されます。

3 ［メール］▶SMSを選ぶ

- FOMA端末に保存した受信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、受信メールのうち古いメールから順に削除されます。

SMSがあるかを問い合わせる<SMS問い合わせ>

圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどに送られてきたSMSはSMSセンターに保管されています。SMSセンターに問い合わせて受信できます。

1 カスタムメニューで［メール］▶［SMS問い合わせ］

- 問い合わせを行っても、自動受信がすぐに始まらない場合があります。
- FOMA端末およびFOMAカード内のSMSが最大保存件数を超えたとき、またはFOMA端末およびFOMAカード内の保存するメモリの空き容量がないときは、SMS問い合わせをできません。

SMS設定

設定を行う

SMSセンターの設定をする<SMSセンター設定>

通常は設定を変更する必要はありません。

1 カスタムメニューで［メール］▶［メール設定］▶［SMS設定］▶［SMSセンター設定］▶［ユーザ設定］

2 SMSセンターのアドレスを入力▶［決定］

- 20桁まで入力できます。

3 設定を選ぶ

- 設定はFOMAカードに保存されます。

相手に届いたら通知を受け取る<SMS送達通知設定>

送信するSMSの送達通知を受け取るかどうかを設定できます。

1 カスタムメニューで［メール］▶［メール設定］▶［SMS設定］▶［SMS送達通知設定］

2 設定を選ぶ

SMSに有効期間を設定する<SMS有効期間設定>

送信したSMSが圏外などで届かなかったときに、SMSセンターに保管する期間を設定します。

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[SMS設定]▶[SMS有効期間設定]

2 有効期間を選ぶ

● 設定はFOMAカードに保存されます。

本文に入力できる文字を設定する<SMS本文入力設定>

1 カスタムメニューで[メール]▶[メール設定]▶[SMS設定]▶[SMS本文入力設定]

2 文字の種類を選ぶ

● 設定はFOMAカードに保存されます。

FOMAカードに保存する

FOMA端末に保存されているSMSを、FOMAカードにコピーできます。

- FOMAカードには、受信SMS、送信SMSを合わせて20件まで保存できます。
- 受信SMSは[受信トレイ]に、送信SMSは[送信トレイ]にコピーされます。
- FOMA端末とFOMAカード間での移動はできません。
- 未送信SMSはFOMAカードにコピーできません。
- SMS送達通知のある送信SMSをコピーした場合、SMS送達通知もコピーされます。SMS送達通知だけのコピーはできません。
- 送信SMSの送信日時は、コピーされません。

FOMA端末⇔FOMAカード間でコピーする

■ メール一覧画面でコピーする<FOMAカードへコピー／本体へコピー>

1 カスタムメニューで[メール]▶[受信BOX]／[送信BOX]

- 受信BOXのときは、待受タッチランチャで[受信BOX]を選んでも操作できます。

2 SMSにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[移動／コピー]▶[FOMAカードへコピー]／[本体へコピー]

3 コピー方法を選ぶ

◆ [1件コピー]
◆ [選択コピー]▶SMSを選ぶ▶[確定]

4 [はい]

■ メール詳細画面でコピーする<FOMAカードへコピー／本体へ1件コピー>

1 カスタムメニューで[メール]▶[受信BOX]／[送信BOX]

- 受信BOXのときは、待受タッチランチャで[受信BOX]を選んでも操作できます。

2 SMSを選ぶ▶[サブメニュー]▶[移動／コピー]▶[FOMAカードへコピー]／[本体へ1件コピー]

3 [はい]

SMSを管理する

SMSはメールと同じ方法で保護や削除、移動など、管理することができます(☞P.157)。

ｉモード／フルブラウザ

ｉモード

フルブラウザ

サイトの見かたと操作

ｉモード／フルブラウザの便利な機能

サイトから画像やメロディなどをダウンロードする

サイトに画像や動画／ｉモーションをアップロードする

ｉモード／フルブラウザの設定を行う

証明書を利用する

ｉモード

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末(以下ｉモード端末)のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

■ ｉモードのご利用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページ(インターネットホームページ)の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル(静止画・動画・メロディなど)、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定着信音などに設定している場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

サイトを表示する

IP(情報サービス提供者)が提供する各種サービスをご利用いただけます。FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。サイトによりサービス内容は異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。

1 待受タッチランチャで[ｉ]

- カスタムメニューでは:[ｉモード]▶[ｉMenu・検索]
- 接続の中止:[S]点滅中に[CLR]

2 項目を選ぶ

- ｉモードの終了:[終話]▶[はい]

- ｉモードボタン設定(☞P.196)を[ｉモードメニュー表示]に設定すると、待受タッチランチャで[ｉ]をタッチしたときにｉモードメニューを表示させることができます。
- ポインタ表示設定を[表示する]に設定すると、ポインタを動かして項目を選択することができます。
- サイトによっては、FOMA端末の持っている最大表示色数で表示できないことがあります。
- データBOXのフォルダ一覧やデコメ®テンプレート一覧、デコメアニメ®テンプレート一覧、ｉアプリのソフト一覧、おサイフケータイメニューなどで[ｉモードで探す]を選択すると、サイトに接続することができます。

ミュージックプレーヤー利用履歴の送信について

- ｉモードサイトやメッセージR／F、トルカから、ミュージックプレーヤーで再生した音楽データの履歴を送信できます。送信用のボタンを選択すると、サイトからお客様の携帯電話で再生した楽曲情報が要求され、楽曲情報送信の確認画面が表示されます。
  ［はい］を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報（タイトル名、アーティスト名、再生日時）が送信されます。
  送信される楽曲情報は、IP（情報サービス提供者）がお客様に、カスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

■ サイト表示画面の見かた

サイト表示画面

ｉモード中に表示されるマーク

	ｉモード待機中（点滅）
	裏タブウィンドウアクセス中（データ受信中は点滅）
	別フレームアクセス中（データ受信中は点滅）
	ｉモード接続中（点滅）
	アプリダウンロード中（点滅）
	SSL／TLSページ表示中
	タブウィンドウ／全タブウィンドウ数

■ サイト表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示／横表示	機　能
［↑］／［↓］	上下のリンクにカーソルを移動
［←］／［→］	左右のリンクにカーソルを移動

- 次のタッチ操作ができます。

画面を上下にスクロール	上下にスライド
画面を上下に大きくスクロール	上下にすばやくスライド
次／前のページに移動	左右にすばやくスライド
リンクを選択	リンクをタッチ▶反転表示したリンクをタッチ
タブウィンドウの切替※	画面上部のタブをタッチ

※ 複数のサイトを表示中に操作できます。

- サイトによってはタッチパネルで操作できない場合があります。

■ サイト表示画面のボタン操作

画面を上下にスクロール	
タブウィンドウの切替※	Fn＋1
新しいタブで開く	Fn＋1（1秒以上）
戻る／進む	Fn＋3／Fn＋4
ページ単位で上下にスクロール	Fn＋3（1秒以上）／Fn＋4（1秒以上）

※ 複数のサイトを表示中に操作できます。

■ サイト表示画面のサブメニュー操作

［文字サイズ変更］▶文字サイズを選ぶ

［戻る］

［進む］

［Bookmark］

▶［Bookmark一覧］
- Bookmarkの詳細については☞P.186

▶［Bookmark登録］ ☞P.185

［画面メモ］

▶［画面メモ一覧］
- 画面メモの詳細については☞P.188

▶［画面メモ登録］ ☞P.187

[ラストURL]	☞P.185
[ｉMenu🔍検索]	☞P.174
[フルブラウザ]	
▶[フルブラウザホーム]	☞P.178
▶[フルブラウザ切替]	☞P.183
[タブ]	
▶[新しいタブで開く]	☞P.182
▶[タブを閉じる]▶閉じるタブウィンドウを選ぶ▶[はい]	
▶[タブ切替]▶表示するタブウィンドウを選ぶ	
[再読み込み]	
[URL入力・情報]	
▶[URL入力]	☞P.184
▶[URL入力履歴]	☞P.185
▶[URL表示] ● URLをコピー：URL表示画面で[コピー]	
[ビジュアル履歴] ● 縮小されたサイト表示画面を履歴の順に並べて表示します。	
[画像保存]	☞P.192
[ログイン情報登録]	☞P.184
[ログイン情報貼付]	☞P.184
[表示／設定]	
▶[証明書参照]▶証明書を選ぶ ● サイトのサーバ証明書を表示します。	
▶[リンク先URL表示]	
▶[文字コード変換] ● サイトの文字が正しく表示されないときは、正しい文字に変換して再表示します。	
▶[リトライ] ● Flash画像やGIFアニメーションの再生をやり直します。	
▶[サウンド設定]	☞P.197
▶[画像表示設定]	☞P.197
▶[Script動作設定]	☞P.197
▶[ポインタ表示設定]	☞P.199
▶[ポインタ加速度設定]	☞P.197
▶[自動レイアウト表示設定]	☞P.197
▶[照明時間設定]▶設定を選ぶ	
[メール作成]▶メールを作成・送信 ● サイトのURLを記載したメールを作成します。	
[電話帳登録]▶電話帳に登録	
[ｉモードメニュー]	
[ページ内検索]▶キーワードを入力▶[決定] ● ページ内の文字列を検索します。	
[ページの先頭に移動]	
[ページの末尾に移動]	
[フレーム表示へ戻る]	
[レイアウト表示] ● ページ全体を表示し、現在の位置を青枠で表示します。	
[テキスト範囲選択]	☞P.183
[ドラッグ]	

[URL表示]について

- URLとは「http://www.xxx.△△.jp」などで表示されるアドレスです。URLは半角2033文字（「http://」などを含む）まで表示できます。

[証明書参照]について

- 最大10枚まで参照できます。

[文字コード変換]について

- 文字コード変換を繰り返しても、正しく表示できないときがあります。
- 4回繰り返すと、元の表示に戻ります。

携帯電話／FOMAカードの製造番号送信について

サイトなどを表示する場合、携帯電話情報の送信確認画面が表示されるときがあります。携帯電話情報を送信するときは[はい]を選びます。

- 携帯電話／FOMAカードの製造番号が送信される前に必ず、送信確認画面が表示されます。自動的に送信されることはありません。
- 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカードの製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。

SSL／TLS対応のページを表示するとき

SSL／TLSとは、認証／暗号技術を使用してより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL／TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

- SSL／TLS対応ページを表示しようとしているときは、[SSL／TLS通信を開始します(認証中)]が表示され、次のいずれかの証明書が使用されます。
  - ■ CA証明書　■ ドコモ証明書　■ ユーザ証明書
- SSL／TLS通信の中止：[CLR]

■ 通常のサイトに戻る

SSL／TLS対応ページから通常のサイトに戻るときには、SSL／TLSページを終了するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選びます。

マイメニュー

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録すると、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

- マイメニューは45件まで登録できます。登録できないサイトもあります。

マイメニューに登録する

1. **サイト表示中にマイメニュー登録用メニューを選ぶ**
2. **[iモードパスワード入力]欄を選ぶ**
3. **iモードパスワードを入力▶[決定]**
4. **[決定]**
   - [iモードパスワード入力]欄の下の[決定]を選択します。

- 各サイトによってページ構成が異なります。
- 有料サイトに申し込むと、自動的にマイメニューに登録されます。

登録したサイトを表示する

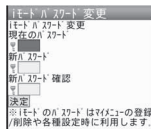
1. **カスタムメニューで[iモード]▶[iMenu･検索]▶[マイページ]▶[マイメニュー／マイボックス]**
2. **サイトを選ぶ**

- デュアルネットワークサービスをご利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末でご利用になれない場合があります。

iモードパスワード変更

iモードパスワードを変更する

マイメニューの登録/削除、メッセージサービス、iモード有料サイトの申し込み/解約、メール設定を行うときには、4桁のiモードパスワードが必要です。なお、iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。

1 カスタムメニューで[iモード]▶[i Menu・検索]▶[お客様サポート]▶[各種設定(確認・変更・利用)]▶[iモードパスワード変更]

2 [現在のパスワード]欄を選ぶ▶現在のiモードパスワードを入力▶[決定]

3 [新パスワード]欄を選ぶ▶新しいiモードパスワードを入力▶[決定]

4 [新パスワード確認]欄を選ぶ▶もう一度新しいiモードパスワードを入力▶[決定]

5 [決定]

- [新パスワード確認]欄の下の[決定]を選択します。

- iモードパスワードをお忘れのときは、ご契約いただいたご本人であるかどうかを確認できるもの(運転免許証など)をドコモショップ窓口にご持参いただき、iモードパスワードを[0000]にリセットさせていただきます。

フルブラウザホーム

パソコン向けのホームページを表示する

フルブラウザを利用すると、iモードに対応していないサイトをパソコンと同じようにFOMA端末で表示することができます。

- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと通信料金が高額になりますのでご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- フルブラウザでの表示中の操作は、iモードのサイト表示中の操作と基本的な部分は同様です。ここでは、異なる部分を中心に説明します。

1 待受タッチランチャで[フルブラウザホーム]

- 情報量の多いサイトは、正しく表示されない場合があります。
- フルブラウザでは、1ページあたり最大3Mバイトまで表示できます。
- メロディ、iアプリ、iモーションのダウンロードや保存はできません。

■ サイト表示画面の見かた

サイト表示画面

フルブラウザ中に表示されるマーク

	フルブラウザ起動中(通信中は[ ]が点滅)
	フルブラウザアクセス中(データ受信中は[ ]が点滅)
	裏タブウィンドウアクセス中(データ受信中は[ ]が点滅)
	別フレームアクセス中(データ受信中は[ ]が点滅)
	SSL/TLSページ表示中
	PCモード中

[枠アイコン]	フレーム拡大表示中
[1/1アイコン]	タブウィンドウ／全タブウィンドウ数

■ サイト表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
［タブ切替］	[タブ切替ボタン]	タブウィンドウを順番に切り替える※1
［戻る］	[前ページ Back]	戻る
［進む］	[次ページ Next]	進む
[再読み込み Reload]		再読み込み
[Bookmark]		Bookmark一覧の表示※2、Bookmark登録※2
[タブ Tab]		新しいタブで開く※2、タブを閉じる※1※2、タブウィンドウを選択して切り替える※1※2
[ビジュアル履歴 Visual history]		閲覧したサイト画面の履歴を表示

※1　複数のサイトを表示中に操作できます。
※2　機能を選択する画面が表示されます。利用する機能を選んでください。

・画面をロングタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

画面を上下左右にスクロール	上下左右にスライド
画面を上下に大きくスクロール	上下にすばやくスライド
次／前のページに移動（ケータイモード時のみ）	左右にすばやくスライド
リンクを選択	リンクをタッチ▶反転表示したリンクをタッチ
ズームバーを表示※1※2	ロングタッチ
画面の一部を拡大／縮小	2本の指の間隔を広げる／狭める
タブウィンドウの切替※3	画面上部のタブをタッチ

※1　ズームバーのスライダを左右にスライドするか、ズームバーをタッチして拡大／縮小します。
※2　コントロールボタンも同時に表示されます。
※3　複数のサイトを表示中に操作できます。

■ サイト表示画面のボタン操作

画面を上下にスクロール	2／8
文字サイズを大きくする／小さくする（ケータイモード時）	3／1
表示倍率を拡大／縮小（PCモード時）	3／1
画面を左右にスクロール（PCモード時）	4／6
ページ全体表示	5
新しいタブで開く	7／Fn＋1（1秒以上）
タブウィンドウを閉じる※	9
ログイン情報貼付	0
タブウィンドウの切替※	Fn＋1
戻る／進む	Fn＋3／Fn＋4
ページ単位で上下にスクロール	Fn＋3（1秒以上）／Fn＋4（1秒以上）
Bookmarkフォルダ一覧の表示	Fn＋D
ビジュアル履歴の表示	Fn＋S

※ 複数のサイトを表示中に操作できます。

■ サイト表示画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、ｉモードのサイト表示画面のサブメニュー操作（☞P.175）を参照してください。

■ 戻る	■ 進む	■ Bookmark
■ 画面メモ	■ ラストURL	■ タブ
■ 再読み込み	■ URL入力・情報	■ ビジュアル履歴
■ 画像保存	■ ログイン情報登録	■ ログイン情報貼付

■ 表示／設定（証明書参照、リンク先URL表示、文字コード変換、リトライ、サウンド設定、画像表示設定、Script動作設定、ポインタ表示設定、ポインタ加速度設定、自動レイアウト表示設定、照明時間設定）

■ メール作成	■ 電話帳登録	■ ページ内検索
■ ページの先頭に移動	■ ページの末尾に移動	■ フレーム表示へ戻る
■ レイアウト表示	■ テキスト範囲選択	■ ドラッグ

[ズームバー表示]

[フルブラウザホーム]

▶[ホーム表示]

▶[ホーム登録]▶[はい]

● 表示中のサイトをフルブラウザホームに設定します。

[ｉモードブラウザ]

▶[ｉMenu🔍検索] ☞P.174

▶[ｉモード切替]

● 表示中のサイトをｉモードで表示します。

[RSSリーダー] ☞P.191

[RSS登録] ☞P.190

[表示／設定]

▶[表示モード切替]

● 以降の操作については☞P.199「表示モードを切り替える」の操作２へ

▶[文字サイズ変更]▶文字サイズを選ぶ

▶[ズーム]▶表示倍率を選ぶ

[操作ガイド]

[ｉモード切替]について

● フルブラウザからｉモードに切り替えると、裏タブウィンドウは閉じます。

フルブラウザの利用確認画面について

● フルブラウザ利用設定が[利用しない]に設定されている場合、フルブラウザ起動時に、フルブラウザを利用するかどうかを確認するフルブラウザ利用設定画面が表示されます。[利用する]を選択すると、フルブラウザ利用設定が[利用する]に設定変更され、フルブラウザでインターネットホームページが表示されます。フルブラウザを終了しても、この設定は有効です。
- ・フルブラウザ機能を利用するときは、フルブラウザ利用設定画面内の[注意事項の詳細]を必ずお読みください。

● フルブラウザ確認表示を[毎回表示]に設定している場合、Bookmark一覧やURL入力履歴一覧などからフルブラウザに接続するときに、フルブラウザで接続するかどうかを確認するフルブラウザ接続確認画面が表示されます。[はい]を選択するとフルブラウザで接続します。[はい（以後非表示）]を選択すると、フルブラウザ確認表示が[表示しない]に設定され、フルブラウザで接続します。フルブラウザを終了しても、この設定は有効です。

表示するサイトを変更する<フルブラウザホーム設定>

1 **カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[フルブラウザ設定]▶[フルブラウザホーム設定]**

2 **URLを入力▶[決定]**

● 半角2033文字まで入力できます（「http://」などを含む）。

サイトの見かたと操作

サイトなどでの画面表示

サイトやｉモードメール、メッセージR／Fで画像が表示されるときがあります。

- 表示できる画像の種類は、JPEG画像、GIF画像、BMP画像、PNG画像、Flash画像です。
- 画像を受信中は[ ]が表示されます。
- 画像を取得できなかった場合は[?]、表示できなかった場合は[☒]が表示されます。
- Flash画像については☞P.194

- 保存した画像は、サイトなどでの見えかたと異なるときがあります。

リンク先や項目を選択する

リンクが設定されている文字列は、通常、青色で表示されます。選択されているリンクは、反転表示されます。

- 画像にリンクが設定されていることもあります。選択すると画像が実線で囲まれます。

■ リンクを選んで画面を移動する

1 サイト表示中にリンクを選ぶ

- リンクをタッチしてカーソルを合わせ、もう一度タッチすると画面を移動できます。
- 項目の先頭に番号が付いているときは、番号と同じ数字ボタンを押して移動することもできます。一部利用できない場合もあります。

- リンクによっては、ｉモードからフルブラウザに切り替えたり、フルブラウザからｉモードに切り替えたりします。切替確認画面で[はい]を選択してください。

■ サイトなどの項目選択や文字入力

サイトなどで、次の方法で項目を選択したり、文字入力を行うことができます。

名　称	表示例	内　容
ラジオボタン	○:非選択状態 ◉:選択状態	1つの項目のみ選択できます。
チェックボックス	□:非選択状態 ☑:選択状態	複数の項目を選択できます。
プルダウンメニュー	東　京 足立区 北　区	プルダウンメニューを選ぶと、選択できる項目の一覧が表示されます。
テキストボックス	ID パスワード	文字を入力できます。また、文字入力画面でバーコードリーダーを利用し、JANコードやQRコードの文字情報を読み取って入力することもできます(☞P.436)。

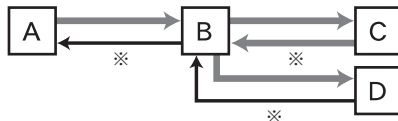
前のページに戻る／次のページに進む（キャッシュについて）

サイトなどを表示してきた経路を15Mバイトまで記憶しています。通信を行わず左右のスライド操作で表示することができます(フルブラウザでは[戻る]／[進む]をタッチします)。これを「キャッシュ」といいます。

例：ｉモードの場合

- キャッシュに記憶されたページを表示するときは、以前入力した文字や設定などの情報は表示されません。
- 前または次のページを表示するときに、キャッシュ内にそのページが残っていない場合や、FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしている場合、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたサイトのページを表示する場合は、通信を行います。
- Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。
- キャッシュの情報は、ｉモード／フルブラウザを終了するとリセットされます。

- 右にすばやくスライドを繰り返すと、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、途中で右にすばやくスライドして前のページを表示させ（「C」から「B」に戻る）、そのページから他のページ（「D」）を表示させたときは、「D」から右にすばやくスライドを2回繰り返しても「C」は表示されません。「B」→「A」の順で前のページを表示します。

例：画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき

…ページの表示順
…前のページを表示させたときの順番
※ 右にすばやくスライド

- ｉモードからフルブラウザに切り替えたときは、[戻る]をタッチしてｉモードで表示していたページに戻ることができます。同様に、フルブラウザからｉモードに切り替えたときでも、左にすばやくスライドしてフルブラウザで表示していたページに戻ることができます。

複数のホームページを表示する<新しいタブで開く>

サイトを表示中に、新しいタブウィンドウで別のサイトを表示することができます。

- タブウィンドウは最大5枚開くことができます。ただし、5枚開いている状態でｉチャネルを表示する場合のみ6枚目のタブウィンドウが開きます。

1 サイト表示中に[サブメニュー]▶[タブ]▶[新しいタブで開く]

2 他のサイトを指定

◆ **[リンク]**
・あらかじめ、リンクのある項目にカーソルを合わせて操作してください。

◆ **[Bookmark]▶Bookmarkを選ぶ**

◆ [ラストURL] ▶ ラストURLを選ぶ
◆ [ｉMenu 検索]
・ フルブラウザでサイト表示中：[フルブラウザホーム]
◆ [URL入力] ▶ URL入力欄を選ぶ ▶ URLを入力 ▶ [決定] ▶ [ｉモード]／[フルブラウザ]
◆ [URL入力履歴] ▶ URL入力履歴を選ぶ ▶ [ｉモード]／[フルブラウザ]
◆ [ｉチャネル] ▶ チャネルを選ぶ

ポインタを表示して操作する

サイト表示中はポインタを操作して、項目の選択やリンク先へ移動することができます。

- サイト表示中は、ポインタ（[ ]など）を動かして項目を選択することができます。
- リンクがあるときは[ ]が表示されます。リンク先へ移動する場合はリンクを選びます。
- ポインタの表示／非表示を設定できます（☞P.199）。

- サイトによってはポインタで操作できない場合があります。操作できない場合は、ポインタ表示設定を[表示しない]に設定すると、カーソルを移動して項目を選択できることがあります。

テキスト範囲選択モードに切り替えて操作する ＜テキスト範囲選択＞

テキスト範囲選択モードに切り替えると、範囲を選択してサイトに表示された文字をコピーしたり、選択した文字をもとに検索やGPS対応ｉアプリを起動したりできます。

- クイック検索する場合は、[内蔵辞書]、[ｉモードで探す（文字入力）]（フルブラウザの場合は[フルブラウザで探す]）のみ選択できます。ただし、マルチアシスタントを利用時は[内蔵辞書]を選択できません。

1 サイト表示中に[サブメニュー] ▶ [テキスト範囲選択]

2 始点を選ぶ

3 終点を選ぶ

4 利用方法を選ぶ

◆ [コピー]
・ 全角2048文字（半角4096文字）までコピーできます。
◆ [クイック検索] ▶ 検索方法を選ぶ
◆ [地図を見る]

- サイトによってはコピーできない場合や、操作が異なる場合があります。
- ポインタ表示設定を[表示しない]に設定している場合はテキスト範囲選択モードに切り替えられません。

フレーム対応のホームページを表示する

複数のフレームで構成されたサイトを表示すると、フレーム選択画面になります。フレームを選択するとフレームごとにページを表示できます。

- 9分割のフレームまで表示できます。

1 フレーム対応のホームページを表示

2 フレームを選ぶ

ｉモードからフルブラウザに切り替える ＜フルブラウザ切替＞

ｉモードで表示したサイトが正しく表示されないとき、フルブラウザでの表示に切り替えることができます。

1 ｉモードでサイト表示中に[サブメニュー] ▶ [フルブラウザ] ▶ [フルブラウザ切替]

- ｉモードとフルブラウザでは通信料金が異なりますので、切り替えるときはご注意ください。
- ｉモードからフルブラウザに切り替えると、裏タブウィンドウは閉じます。

ログイン情報登録

IDとパスワードを登録する

サイトによっては、IDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。あらかじめログイン情報(IDとパスワード)を登録しておくと、テキストボックスに簡単に入力することができます。

● 20件まで登録できます。

1 カスタムメニューで[iモード]▶[iモード設定]▶[共通設定]▶[ログイン情報登録]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]

3 登録先を選ぶ

4 [タイトル]▶タイトルを入力▶[決定]

- 全角12文字(半角24文字)まで入力できます。

5 [項目1]▶IDを入力▶[決定]

- 全角64文字(半角128文字)まで入力できます。

6 [項目2]▶パスワードを入力▶[決定]▶[完了]

- 全角64文字(半角128文字)まで入力できます。

● 各サービスのIDやパスワードは、他人にわかりやすい番号、文字や記号はお避けください。また、IDやパスワードの使用および管理については、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、IDやパスワードが他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 登録したログイン情報は、iモードとフルブラウザの両方で利用できます。

登録したログイン情報を利用する<ログイン情報貼付>

テキストボックスにログイン情報を一括して貼り付けます。サイトによっては、貼り付けられないこともあります。

1 サイト表示中にテキストボックスにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[ログイン情報貼付]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]

3 ログイン情報を選ぶ

ログイン情報を削除する

1 ログイン情報登録一覧画面で情報にカーソルを合わせる▶[削除]

2 削除方法を選ぶ▶[はい]

インターネット接続

インターネットホームページを表示する

インターネットホームページのアドレス(URL:「http://」などで始まるアドレス)を入力して、接続できます。

1 カスタムメニューで[iモード]▶[URL入力]▶[URL入力]

2 URL入力欄を選ぶ▶URLを入力▶[決定]

- 半角2033文字まで入力できます(「http://」などを含む)。

3 接続方法を選ぶ

● iモードで接続した場合、iモードに対応していないサイトや、情報量の多いサイトは正しく表示されないことがあります。

● 受信したデータが1ページの最大サイズを超えたときは、受信を中断します。取得したところまでのデータが表示されることがあります。

URL入力履歴を使ってページを表示する ＜URL入力履歴＞

ｉモードメニューの[URL入力]から接続したインターネットホームページの履歴を50件まで記憶しています。50件を超えたときは、古い履歴から順に上書きされます。

1 **カスタムメニューで[ｉモード]▶[URL入力]▶[URL入力履歴]**

2 **URL入力履歴を選ぶ**

3 **接続方法を選ぶ**

■ URL入力履歴一覧画面のサブメニュー操作

[URL表示]
- URLをコピー：URL表示画面で[コピー]

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶URL入力履歴を選ぶ▶[確定]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

- ｉモードのURL入力履歴とフルブラウザのURL入力履歴が混在して表示されます。ｉモードのURL入力履歴には[ ]が、フルブラウザのURL入力履歴には[ ]が表示されます。

ラストURL

以前表示したページに再接続する

ｉモード／フルブラウザを終了すると、表示したページのURLがラストURLとして、最新のものから50件まで記憶されます。
- ラストURL一覧画面にはタイトルが表示されます。タイトルがないときはURLが表示されます。

1 **カスタムメニューで[ｉモード]▶[ラストURL]**

2 **ラストURLを選ぶ**

- URLが半角2048文字を超えるページは表示できないときがあります。
- ダウンロード画面など、ページによってはラストURLに記憶されないときがあります。
- ｉモードのラストURLとフルブラウザのラストURLが混在して表示されます。ｉモードのラストURLには[ ]が、フルブラウザのラストURLには[ ]が表示されます。
- ｉモードのラストURLはｉモード接続し、フルブラウザのラストURLはフルブラウザ接続します。

■ ラストURL一覧画面のサブメニュー操作

[URL表示]
- URLをコピー：URL表示画面で[コピー]

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶ラストURLを選ぶ▶[確定]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[URL表示]について
- 半角2048文字まで表示されます。

Bookmark

サイトやホームページを登録してすばやく表示する

よく見るサイトやインターネットホームページのURLをBookmarkに登録しておくと、すぐに見たいページを表示できます。

Bookmarkに登録する＜Bookmark登録＞

Bookmarkは最大20個のフォルダに合計200件まで登録できます。
- 1件あたりのURLの文字数は、ｉモードが半角256文字まで、フルブラウザが半角512文字までです。URLの文字数が上限を超えるときは登録できません。

次ページへ続く▶▶

1 サイト表示中に[サブメニュー]▶[Bookmark]▶[Bookmark登録]

2 [OK]

- タイトルを編集して登録：[タイトル]欄を選ぶ▶タイトルを編集▶[決定]▶[OK]
  - 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

3 フォルダを選ぶ

- タイトルの先頭から全角12文字分（半角24文字分）までが登録されます。タイトルの文字数が全角12文字（半角24文字）を超えるときは、超えた部分が削除されて登録されます。タイトルがないとき、Bookmark一覧にはURLが表示されます。
- サイトなどで選択した項目や入力した文字は、Bookmarkには登録されません。
- サイトなどによっては、Bookmarkに登録できないときがあります。

Bookmarkからサイトやインターネットホームページを表示する<Bookmark>

1 待受タッチランチャで[Bookmark]

- 待受画面表示中にオープンポジションにするだけでBookmark一覧画面を表示することができます（☞P.103）。

2 Bookmarkを選ぶ

- Bookmark一覧は利用した順に表示されます。
- ｉモードのBookmarkとフルブラウザのBookmarkが混在して表示されます。ｉモードのBookmarkには[i]／[i]が、フルブラウザのBookmarkには[FB]／[FB]が表示されます。
- ｉモードのBookmarkはｉモード接続し、フルブラウザのBookmarkはフルブラウザ接続します。

■ Bookmarkフォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]

▶[フォルダ新規作成]▶フォルダ名を入力▶[決定]
- ユーザフォルダを作成します。

▶[フォルダ名編集]▶フォルダ名を編集▶[決定]

▶[フォルダ並べ替え]▶移動先を選ぶ
- ユーザフォルダを並べ替えます。

▶[フォルダセキュリティ]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶設定を選ぶ

[削除]▶削除方法を選ぶ▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]
- ユーザフォルダを削除します。

[データ送信]

▶[赤外線送信] ☞P.384

▶[ｉＣ送信] ☞P.386

▶[Bluetooth送信] ☞P.431

[microSDへ全件コピー] ☞P.368

[お預かりセンターに接続]
- 以降の操作については☞P.131「データを選んでお預かりセンターに保存する」の操作３へ

[表示切替]
- 表示方法をサムネイル表示／リスト表示に変更します。

[フォルダ新規作成]について
- 全角９文字（半角18文字）まで入力できます。

[フォルダセキュリティ]について
- フォルダセキュリティを設定すると、フォルダに[🔒]のマークが付きます。Bookmark一覧を表示するときは、端末暗証番号を入力します。

■ Bookmark一覧画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、Bookmarkフォルダ一覧画面のサブメニュー操作（☞P.186）を参照してください。
　■ データ送信　　■ 表示切替

[編集]▶[タイトル]欄を選ぶ▶タイトルを編集▶[決定]▶[OK]	
[URL表示] ● URLをコピー：URL表示画面で[コピー]	
[移動]	☞P.187
[削除]	☞P.187
[メール添付]▶メールを作成・送信	
[microSDへコピー]	☞P.368

[編集]について
● 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

Bookmarkを管理する

■ Bookmarkを別のフォルダに移動する<移動>

1 **Bookmarkにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[移動]**

2 **移動方法を選ぶ**
◆ **[1件移動]**
◆ **[選択移動]▶Bookmarkを選ぶ▶[完了]**
　・すべてを選択する：[サブメニュー]▶[全件選択]
　・すべての選択を解除する：[サブメニュー]▶[全件選択解除]
◆ **[フォルダ内全件移動]**

3 **移動先フォルダを選ぶ**

■ Bookmarkを削除する<削除>

1 **Bookmarkにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[削除]**

2 **削除方法を選ぶ**
◆ **[1件削除]**
◆ **[選択削除]▶Bookmarkを選ぶ▶[完了]**
　・すべてを選択する：[サブメニュー]▶[全件選択]
　・すべての選択を解除する：[サブメニュー]▶[全件選択解除]
◆ **[フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]**

3 **[はい]**

画面メモ

サイトの内容を保存する

お好きなサイトなどの画面を、FOMA端末やmicroSDカードに画面メモとして登録（保存）しておくことができます。

● FOMA端末には画面メモを最大400件まで登録できます。登録できる件数はデータ量によって変わります。登録した画面メモのデータ量が大きいときは、登録できる件数は少なくなります。
● 1件の登録サイズは、iモードで最大500Kバイト、フルブラウザで最大3Mバイトです。

1 **サイト表示中に[サブメニュー]▶[画面メモ]▶[画面メモ登録]**

2 **保存先を選ぶ▶[はい]**
● 画面メモが登録されます。
● スクリーンキャプチャのみ登録：保存先を選ぶ▶[表示のみ保存]

● 画面メモには、スクリーンキャプチャが含まれています。
● スクリーンキャプチャとは、表示されているサイトのイメージを画像として登録したデータです。
● サイトや画面メモのページ上で選択した項目や入力した文字、ゲームスコア、お客様が更新された記録などの内容は保存されません。

次ページへ続く▶▶

- 画面メモ登録時、FOMA端末に登録件数分または１件あたりのサイズ分の空き容量がないときは、他の画面メモを上書きするメッセージが表示されます。microSDカードの空き容量がないときは、保存できません。
- ページサイズが０バイトのサイトや画面メモ保存不可の指定をしているサイトなど、サイトによっては画面メモに登録できない場合があります。
- FOMA端末に保存した画面メモをmicroSDカードへ移動すると、ページサイズが大きくなるため、メモリの空き容量が少ない場合は画面メモをFOMA端末へ戻せないことがあります。

画面メモを表示する<画面メモ>

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[画面メモ]

2 画面メモを選ぶ

- 次／前の画面メモを表示（ｉモードの場合）：画面メモ表示画面で左右にすばやくスライド
- 次／前の画面メモを表示（フルブラウザの場合）：画面メモ表示画面で[進む]／[戻る]
- microSDカードの画面メモを表示：[microSD]

- 画面メモに表示される情報は登録した時点の情報です。最新の情報と異なる場合があります。
- ｉモードの画面メモとフルブラウザの画面メモが混在して表示されます。ｉモードの画面メモには[i]が、フルブラウザの画面メモには[FB]が表示されます。
- 画面メモ内のリンクを選んだ場合、ｉモードの画面メモではｉモード接続し、フルブラウザの画面メモではフルブラウザ接続します。
- microSDカードに保存した画面メモの件数が多い場合、表示されるまでに時間がかかります。

■ 画面メモ一覧画面のサブメニュー操作

[タイトル編集]▶タイトルを編集▶[決定]

[URL表示]
- URLをコピー：URL表示画面で[コピー]

[削除] ☞P.189

[保護／保護解除] ☞P.189

[microSDへ移動]
- ▶[１件移動]
- ▶[選択移動]▶画面メモを選ぶ▶[完了]
- ▶[全件移動]

[microSD参照]

[タイトル編集]について
- 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

■ 画面メモ表示画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、ｉモード／フルブラウザのサイト表示画面のサブメニュー操作（☞P.175、P.180）を参照してください。

■ 文字サイズ変更　■ 画像保存　■ ログイン情報貼付
■ ログイン情報登録　■ メール作成　■ 電話帳登録
■ 表示／設定（証明書参照、リンク先URL表示、文字コード変換、リトライ、サウンド設定、表示モード切替、画像表示設定、Script動作設定、ポインタ表示設定、ポインタ加速度設定、自動レイアウト表示設定、照明時間設定）
■ ページの先頭に移動　■ ページの末尾に移動
■ フレーム表示へ戻る　■ レイアウト表示

[ズーム]▶表示倍率を選ぶ

[戻る]
- 前の画面メモを表示します。

[進む]
- 次の画面メモを表示します。

[１件削除] ☞P.189

[タイトル編集]▶タイトルを編集▶[決定]
- [タイトル編集]について☞P.188

[保護／保護解除]▶[はい]
- 保護／保護解除の詳細については☞P.189

[キャプチャ表示]
- 画面メモからスクリーンキャプチャを表示します。

[表示／設定]

▶[URL表示]
- URLをコピー：URL表示画面で[コピー]

■ スクリーンキャプチャ表示画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、画面メモ表示画面のサブメニュー操作（☞P.188）を参照してください。
  ■ タイトル編集　■ 1件削除　■ 保護／保護解除

[URL表示]
- URLをコピー：URL表示画面で[コピー]

[画面メモ表示]
- スクリーンキャプチャから画面メモを表示します。

[取得元URL接続]
- スクリーンキャプチャを登録したサイトに接続します。

画面メモを管理する

■ 画面メモを削除する＜削除＞

1 画面メモにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[削除]

2 削除方法を選ぶ

◆ **[1件削除]**

◆ **[選択削除]▶画面メモを選ぶ▶[完了]**
- すべてを選択する：[サブメニュー]▶[全件選択]
- すべての選択を解除する：[サブメニュー]▶[全件選択解除]

◆ **[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]**
- [全件削除]では、保護されている画面メモは削除されません。

3 [はい]

■ 画面メモを保護する＜保護／保護解除＞

1 画面メモにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[保護／保護解除]

2 設定を選ぶ

◆ **[1件保護／保護解除]**

◆ **[選択保護／保護解除]▶画面メモを選ぶ▶[完了]**
- すべてを選択する：[サブメニュー]▶[全件選択]
- すべての選択を解除する：[サブメニュー]▶[全件選択解除]

◆ **[全件保護]**

◆ **[全件保護解除]**

3 [はい]

- microSDカードに保存された画面メモは保護することができません。

反転表示された情報を利用する

サイトやメール、トルカなどで反転表示された情報（電話番号、メールアドレス、URLなど）を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示したりできます。また、ワンセグの起動、視聴予約／録画予約、ｉアプリの起動なども行うことができます。

- パソコンなどから送信されたメールやサイトによっては、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To、Media To機能が使用できないときがあります。
- 住所リンク機能の利用については☞P.334
- 反転表示された情報でも利用できないことがあります。

Phone To（AV Phone To）機能を使う

電話番号の情報を使って、音声電話やテレビ電話の発信、SMS送信ができます。

1 電話番号の情報を選ぶ

2 電話をかける

- ダイヤル発信制限中は、Phone To（AV Phone To）機能を利用できません。

Mail To機能を使う

メールアドレスの情報を使って、メールを送ることができます。

1 メールアドレスの情報を選ぶ

2 メールを作成・送信

- メールアドレスが２つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できないときがあります。
- メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。51文字以上のアドレスを選択したときは、50文字で削除されます。
- ダイヤル発信制限中は、Mail To機能を使ってｉモードメールを送ることはできません。

ｉアプリTo機能を使う

ｉアプリのアドレス（URL）の情報を使って、ｉアプリを起動することができます。

1 ｉアプリのアドレス（URL）の情報を選ぶ▶［はい］

- ｉアプリTo設定が［許可する］に設定されているときに、ｉアプリを起動できます。
- URLが半角512文字を超えるときは、ｉアプリを起動できません。
- ソフトによっては、ダウンロードが必要なものがあります。確認画面で［はい］を選択すると、ダウンロードできます。

Web To機能を使う

アドレス（URL）の情報を使って、サイトなどを表示することができます。

1 アドレス（URL）の情報を選ぶ

- URLが半角2033文字を超えるときは、サイトなどを表示できません。

■ ｉモードメール表示中にWeb To機能を使う

1 ｉモードメール本文のアドレス（URL）情報を選ぶ

2 接続方法を選ぶ

- ｉモード接続：［はい］
- フルブラウザ接続：［フルブラウザ］

Media To機能を使う

番組情報のリンクからワンセグを起動したり、視聴予約や録画予約ができます。

1 番組情報のリンクを選ぶ

- チャンネル設定をしていない状態でMedia To機能からワンセグを起動しようとすると、チャンネル設定が起動します。

RSSリーダー

RSSリーダーを利用する

フルブラウザでニュースサイトやブログなどが提供するRSSをRSSリーダーに登録しておくと、RSSを更新することで、登録したサイトの最新記事の見出しや概要などを取得できます。

- 最大20件のRSSを登録できます。RSS１件につき最大100件、全体で最大1000件（２Mバイト）の記事を保存できます。

RSSリーダーに登録する<RSS登録>

1 フルブラウザでサイト表示中に［サブメニュー］▶［RSS登録］

2 登録するRSSを選ぶ▶［はい］▶［はい］

- １件あたりのURLの文字数は、半角2048文字までです。URLの文字数が上限を超えるときは登録できません。
- RSSに対応したサイトでもページ内の記述内容により登録できない場合があります。

RSSリーダーを利用する<RSSリーダー>

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[RSSリーダー]

- 全件更新：[全件更新]▶[はい]

マークの意味

	未読記事あり		既読記事のみ、または記事なし
	新着記事あり		

2 RSSを選ぶ

マークの意味

	未読記事		未読記事（保護有）
	既読記事		既読記事（保護有）

3 記事を選ぶ

- 記事中のアドレスへメール送信する：メールアドレスを選ぶ▶メールを作成・送信
- 記事中のリンクへサイト接続する：リンクを選ぶ▶[はい]

● 記事概要画面では、画像は表示されません。

■ RSSリーダー一覧画面のサブメニュー操作

[更新]
- ▶[１件更新]▶[はい]
- ▶[選択更新]▶RSSを選ぶ▶[確定]▶[はい]
- ▶[全件更新]▶[はい]

[タイトル編集]▶タイトル入力欄を選ぶ▶タイトルを編集▶[決定]▶[OK]

[削除]
- ▶[１件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶RSSを選ぶ▶[確定]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[情報表示]

[タイトル編集]について

● 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

[削除]について

● 保護されている記事があるRSSは削除できません。

■ 記事一覧画面のサブメニュー操作

[削除]
- ▶[１件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶記事を選ぶ▶[確定]▶[はい]
- ▶[既読全削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[保護設定]▶設定を選ぶ

[全て既読]▶[はい]

■ 記事概要画面のサブメニュー操作

[文字サイズ設定]▶文字サイズを選ぶ

サイトから各種データ（ファイル）をダウンロードする

サイトから各種データをダウンロードすることができます。

- ｉモードサイトからダウンロード可能なデータ（ファイル）と、ダウンロード可能な最大サイズは次のとおりです。
  - ■ 画像（GIF、JPEG、SWF、BMP、PNG）：500Kバイト
  - ■ メロディ（SMF、MFi）：100Kバイト
  - ■ デコメ®テンプレート：200Kバイト
  - ■ デコメアニメ®テンプレート：100Kバイト
  - ■ PDFデータ：２Mバイト
  - ■ きせかえツール：２Mバイト
  - ■ マチキャラ：２Mバイト
  - ■ キャラ電：100Kバイト
  - ■ ダウンロード辞書：21Kバイト

次ページへ続く

■ トルカ：1Kバイト
■ トルカ（詳細）：100Kバイト
■ テキストメモ（vNote）：15Mバイト
■ 電子書籍／電子辞書／電子コミック：10Mバイト
■ フォント（TTF）：6Mバイト
■ 通常スケジュール／iスケジュール（vCalendar）：1Mバイト
■ フルブラウザ検索設定ファイル：10Kバイト

● PDFデータには次のタイプがあり、ダウンロードの操作方法が異なります。
  ■ 保存後に表示するタイプ：ダウンロード保存確認画面が表示され、PDFデータを表示する前にファイル全体をダウンロードし、指定したフォルダに保存します。
  ■ 表示後に保存するタイプ：1ページ目がダウンロードされるとPDF対応ビューアが起動し、PDFデータが表示されます。残りのページのダウンロードも継続されます。また、リンクを選んで他のページに移動するときは、そのページもダウンロードできます。
● 保存可能件数については☞P.542
● 保存先のフォルダを選択できないデータ（ファイル）は、それぞれ所定の保存先に保存されます。
● FOMA端末外への出力が禁止されているデータ（ファイル）はmicroSDカードに直接保存することができます（コンテンツ移行対応）。
● メモリの空き容量がないときは保存できません。不要なデータ（ファイル）を削除し、メモリの空き容量を増やしてから保存してください。
● microSDカードのフォルダ構成については☞P.365
● お買い上げ時に登録されているデータ（ファイル）やFOMA端末で使用できるダウンロード辞書は、[SH-MODE]からダウンロードできます（☞P.133）。
● フルブラウザサイトからのダウンロードについては☞P.194

画像をダウンロードする<画像保存>

サイトなどから画像やフレーム、スタンプをダウンロードして保存できます。保存した画像は待受画面などに設定できます。

1 サイト表示中に[サブメニュー]▶[画像保存]

2 保存方法を選ぶ

◆ **[画像1件保存]▶画像を選ぶ▶[はい]**
◆ **[画像複数保存]▶画像を選ぶ▶[完了]▶[はい]**
  ・すべてを選択する：[サブメニュー]▶[全件選択]
  ・すべての選択を解除する：[サブメニュー]▶[全件選択解除]
◆ **[画像一括保存]▶[はい]**
◆ **[背景画像1件保存]▶画像を選ぶ▶[はい]**
◆ **[背景画像複数保存]▶画像を選ぶ▶[完了]▶[はい]**
  ・すべてを選択する：[サブメニュー]▶[全件選択]
  ・すべての選択を解除する：[サブメニュー]▶[全件選択解除]
◆ **[背景画像一括保存]▶[はい]**

3 フォルダにカーソルを合わせる▶[確定]

● 表示画面に設定するとき：[はい]▶画面設定の種類を選ぶ
  ・待受画面に設定するとき：設定先を選ぶ▶[はい]
  ・複数の画像を保存したときは、表示画面に設定するかどうかの確認画面は表示されません。

● 画像サイズが20×20ドットでファイル制限なしのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションは、デコメ®絵文字として[デコメ絵文字]フォルダに保存されます。
● ダウンロードした画像のサイズによっては、待受画面に設定する場合、表示サイズ選択画面が表示されます。表示サイズを選んでください。
● ダウンロードした画像のサイズによっては、待受画面などに設定した場合、すべて表示できないときがあります。
● 画像複数保存または画像一括保存を行う場合、ファイル制限のある画像やデコメ®絵文字が含まれるときは、保存先にmicroSDカードを選択できません。

- GIF画像とJPEG画像はデータBOXのマイピクチャに、BMP画像とPNG画像は、microSDカード内のドキュメントビューアの[ドキュメント]フォルダに保存されます。BMP画像、PNG画像のみを保存するときは、操作3は必要ありません。BMP画像、PNG画像以外の画像と同時に保存したときは、操作3のあとで[はい]を選択してください。
- サイトによっては画像保存できない場合があります。

iモードで各種データ(ファイル)をダウンロードする

例:サイトからメロディをダウンロードするとき

1 サイト表示中にメロディを選ぶ

- PDFデータ(保存後に表示するタイプ)のとき:サイト表示中にデータを選ぶ ▶ [はい]

2 [保存] ▶ 保存先にカーソルを合わせる ▶ [確定]

- メロディを再生:[再生]
- デコメ®テンプレートのとき:[保存]
  - デコメール®を送信:[メール作成] ▶ デコメール®を作成・送信
- デコメアニメ®テンプレートのとき:[保存] ▶ 保存先を選ぶ
  - デコメアニメ®を送信:[メール作成] ▶ デコメアニメ®を作成・送信
- PDFデータ(保存後に表示するタイプ)のとき:フォルダにカーソルを合わせる ▶ [確定]
- PDFデータ(表示後に保存するタイプ)のとき:PDFデータの表示画面で[サブメニュー] ▶ [保存] ▶ [はい] ▶ フォルダにカーソルを合わせる ▶ [確定]
- きせかえツール、マチキャラのとき:[保存] ▶ 保存先を選ぶ
  - データを確認:[プレビュー]
- キャラ電のとき:[保存]
  - キャラ電を確認:[表示]
- ダウンロード辞書のとき:[保存] ▶ 保存先を選ぶ ▶ 辞書の使用を選ぶ
  - ダウンロード辞書を確認:[表示]
- トルカのとき:[はい]
  - トルカを確認:[プレビュー]
- テキストメモのとき:[はい]
- 電子書籍/電子辞書/電子コミックのとき:[保存] ▶ 保存先を選ぶ
  - 電子書籍/電子辞書/電子コミックを確認:[再生]
- フォントのとき:[保存] ▶ フォント設定するかどうかを選ぶ
  - フォントの詳細情報を確認:[情報表示]
- 通常スケジュール/iスケジュールのとき:[はい] ▶ [OK]/[確認]
- フルブラウザ検索設定ファイルのとき:[はい]
- ダウンロード辞書、フォント、通常スケジュール/iスケジュールの場合、上書き確認画面が表示されたときは[はい]を選択すると保存されます。

メロディについて

- [再生]を選ぶと音声電話着信音の音量で再生されます。音声電話着信音が[サイレント]、[ステップトーン]のときは、[音量1]で再生されます。

デコメ®テンプレート、デコメアニメ®テンプレートについて

- テンプレートを保存しないと、メールは作成できません。

PDFデータについて

- 500Kバイト以上のPDFデータをダウンロードするときは、確認画面が表示されます。
- ファイルサイズが不明のPDFデータは、ダウンロードできません。
- ページ単位でダウンロードしたPDFデータは、microSDカードに保存できません。
- ダウンロードに失敗したPDFデータでも再度ダウンロードすると表示できます。ただし、再度ダウンロードしても表示できないこともあります。
- しおりやマークが10件を超えると保存や終了ができません。10件以内になるように、しおりやマークを削除してください。

きせかえツール、マチキャラについて

- 保存先がFOMA端末のときは、保存完了後、きせかえやマチキャラ設定を行うかどうかの確認画面が表示されます。

ダウンロード辞書について

- すでに使用辞書に5件登録されているときは、使用辞書登録の確認画面は表示されません。現在使用されている辞書を解除してから、やり直してください(☞P.445)。

次ページへ続く ▶▶

電子書籍／電子辞書／電子コミックについて

- ダウンロードできる電子書籍などの種類(拡張子)は、XMDF形式(.zbf)とテキスト形式(.zbk)です。
- 表示できる電子書籍などの種類(拡張子)については☞P.392

フォントについて

- ダウンロードフォントは、フォント(書体)設定の３番目に保存されます(☞P.112)。

フルブラウザ検索設定ファイルについて

- ダウンロードして上書き保存すると、クイック検索の[フルブラウザで探す]で利用する検索サイトが変更されます。

フルブラウザで各種データ(ファイル)をダウンロードする

- フルブラウザからダウンロード可能なデータ(拡張子)と、ダウンロード可能な最大サイズは次のとおりです。
  - ■ 画像(.gif)：２M/バイト
  - ■ 画像(.jpg、.bmp、.png)：３M/バイト
  - ■ Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint(.doc、.xls、.ppt)：２M/バイト
  - ■ PDF(.pdf)：２M/バイト
  - ■ XMDF形式／テキスト形式の電子書籍(.zbf、.zbk)：10M/バイト
- 画像やPDF、電子書籍をダウンロードする操作方法はｉモードと同様です(☞P.192、P.193)。

例：サイトからMicrosoft Wordファイルをダウンロードするとき

1 **サイト表示中にMicrosoft Wordファイルを選ぶ**

2 **[外部メモリに保存]**

Flash機能について

Flashとは絵や音を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。Flash画像をダウンロードして再生したり、待受画面に設定することもできます。

- 画像表示設定を[表示しない]に設定しているときは、Flash画像は表示されません。
- 待受画面や発着信画面に設定されたFlash画像の効果音は再生されません。
- Flash画像によっては、再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。バイブレータを[OFF]に設定していても振動しますので、ご注意ください。
- Flash画像によっては、サイト内で操作ガイダンスをタッチしたり、マルチガイドボタンや数字ボタンを押して操作ができるものがあります。
- Flash画像が表示されている場合は、動作が通常のサイトと異なるときがあります。
- Flash画像をデータBOX、画面メモ、microSDカードなどに保存／登録して再生した場合、保存箇所によって、サイトなどでの見えかたと異なるときがあります。
- フルブラウザではFlash画像を保存できません。

Flash®Videoとは

Flash®Video(FLV)とは、Adobe Flash Playerで再生できる映像です。

- 再生できるFLVファイルの種類やファイル形式は次のとおりです。

種　類	説　明
プログレッシブ型再生	Flash画像とは別に作成されたビデオデータを配信サーバからダウンロードしながら再生するタイプの方法です。
埋め込み型再生	Flash画像の中に、要素の１つとして、ビデオデータを埋め込むタイプの方法です。

コーデック	ビデオ	Sorenson Spark／On2VP6
	オーディオ	MP3
ビットレート	ビデオ	400Kbps
	オーディオ	96Kbps
ビデオサイズ		QVGA：320×240
フレームレート		15fps

- ｉモード／フルブラウザ中、画面メモ表示中に再生できます。また、データBOXに保存した場合や待受画面などに設定した場合も再生できます（ただし、データBOXに保存した場合や待受画面などに設定した場合に再生できるファイルの種類は、埋め込み型再生のみです）。
- サイトによってはFLVファイルを再生できない場合があります。
- ファイル形式が対応していても、ファイルによってはデータ取得や再生ができない場合があります。
- プログレッシブ型のFLVファイルの保存や画面メモ登録はできません。
- プログレッシブ型のFLVファイルは、最大10Mバイトまで再生できるため、大容量データを受信する可能性があります。データ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。

アップロード

サイトに画像や動画／ｉモーションをアップロードする

FOMA端末またはmicroSDカードに保存されている静止画（JPEG画像、GIF画像）や動画／ｉモーションを、２Mバイトまでアップロードすることができます。

- サイトによって、アップロードできるファイルの種類が異なる場合があります。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像はアップロードできません。
- アップロードの方法はサイトによって異なります。画面表示に従って操作してください。

ｉモード／フルブラウザの設定を行う

ｉモード接続とフルブラウザ接続に関する各種の機能を設定します。

- 共通で設定する項目は次のとおりです（共通設定）。
  - ■ 証明書設定（☞P.200）
  - ■ セキュア通信サービス設定（☞P.200）
  - ■ 接続先設定
  - ■ ｉモードボタン設定
  - ■ ログイン情報登録（☞P.184）
  - ■ 自動レイアウト表示設定
  - ■ ポインタ加速度設定
  - ■ Bookmark表示設定
  - ■ スクロール設定
- ｉモード接続に関して設定する項目は次のとおりです（ｉモードブラウザ設定）。
  - ■ 画像表示設定
  - ■ サウンド設定
  - ■ 動画自動再生設定（☞P.208）
  - ■ ページ内動画取得設定（☞P.208）
  - ■ Script動作設定
  - ■ 端末情報利用設定
  - ■ 文字サイズ設定
  - ■ Cookie設定
  - ■ Cookie削除
  - ■ Referer設定
  - ■ ウィンドウ自動起動設定
  - ■ ポインタ表示設定
- フルブラウザ接続に関して設定する項目は次のとおりです（フルブラウザ設定）。
  - ■ 画像表示設定
  - ■ サウンド設定
  - ■ ページ内動画取得設定（☞P.208）
  - ■ Script動作設定
  - ■ 端末情報利用設定
  - ■ 文字サイズ設定
  - ■ ズーム
  - ■ Cookie設定
  - ■ Cookie削除
  - ■ Referer設定
  - ■ ウィンドウ自動起動設定
  - ■ ポインタ表示設定
  - ■ フルブラウザホーム設定（☞P.180）
  - ■ 表示モード設定
  - ■ 自動通信サイズ設定
  - ■ フルブラウザ確認表示
  - ■ フルブラウザ利用設定
- ｉモードブラウザ設定とフルブラウザ設定のどちらにもある項目を設定する場合、ｉモードの設定をするときはｉモードブラウザ設定、フルブラウザの設定をするときはフルブラウザ設定で設定してください。

ｉモードから接続先を変更する(ISP接続通信)＜接続先設定＞

ドコモのｉモードサービスをご利用のときは、設定を変更する必要はありません。

■ ISP接続通信とは

ドコモのFOMA端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ(ISP)への接続が可能になります。ISP接続通信のご利用に際しては、パケット通信サービスのお申し込みが必要です。なお、ISP接続通信にはパケット通信料がかかります。

- ｉモードをご契約しているお客様はお申し込み不要です。

■ プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容(サイト接続、インターネット接続、メール機能など)、お申し込み方法については、各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかるときがあります。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダにお客様の電話番号や位置情報が通知されるときがあります。
- 登録できる接続先は10件までです([ｉモード]を含まず)。
- [ｉモード]以外の接続先にすると、ｉモードをご利用できなくなります。

■ 接続先を登録する＜編集＞

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[共通設定]▶[接続先設定]

2 登録先を選ぶ▶[編集]

3 端末暗証番号を入力▶[OK]

4 接続先名称を入力▶[決定]

- 新規登録のときは[接続先○]と表示されます。○には操作2で選択した接続先の番号が表示されます。
- 全角8文字(半角16文字)まで入力できます。

5 接続先番号を入力▶[決定]

- 半角99文字(半角英数字と記号)まで入力できます。

6 接続先アドレスを入力▶[決定]

- 半角30文字(半角英数字と記号)まで入力できます。

7 ｉチャネルの接続先アドレスを入力▶[決定]

- 半角30文字(半角英数字と記号)まで入力できます。

■ 接続先を変更する＜設定＞

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[共通設定]▶[接続先設定]

2 接続先を選ぶ▶[設定]

■ 登録内容をリセットする＜リセット＞

- 設定中の接続先をリセットすると接続先は[ｉモード]になります。

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[共通設定]▶[接続先設定]▶接続先を選ぶ▶[リセット]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]

待受タッチランチャからｉMenuを表示するかどうかを設定する＜ｉモードボタン設定＞

待受タッチランチャで[ ]をタッチしたときにｉMenuを表示するかどうかを設定します。

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[共通設定]▶[ｉモードボタン設定]

2 設定を選ぶ

- 国際ローミング中は設定にかかわらずｉモードメニューが表示されます。

サイト表示中に自動でレイアウト(ページ全体)を表示するかどうかを設定する<自動レイアウト表示設定>

1 **カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[共通設定]▶[自動レイアウト表示設定]**

2 **設定を選ぶ**

- ポインタ表示設定を[表示しない]に設定すると、レイアウトは表示されません。

ポインタの加速度を設定する<ポインタ加速度設定>

サイト表示中のポインタ移動に加速度を設定できます。

1 **カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[共通設定]▶[ポインタ加速度設定]**

2 **設定を選ぶ**

Bookmarkの表示方法を設定する<Bookmark表示設定>

Bookmark一覧をサムネイル画像で表示するか、リストで表示するかを設定します。

1 **カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[共通設定]▶[Bookmark表示設定]**

2 **設定を選ぶ**

スクロール幅を設定する<スクロール設定>

サイト表示中に上下にスライドしてスクロールするときの幅を設定します。

1 **カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[共通設定]▶[スクロール設定]**

2 **設定を選ぶ**

- ポインタ表示設定が[表示しない]のときのみ有効です。

画像を表示するかどうかを設定する<画像表示設定>

1 **カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[ｉモードブラウザ設定]／[フルブラウザ設定]▶[画像表示設定]**

2 **設定を選ぶ**

- 画像表示設定を[表示しない]に設定すると、Flash画像も表示されません。

効果音の音量を調節する<サウンド設定>

サイトやFlash画像、画面メモの効果音の音量を調節できます。

1 **カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[ｉモードブラウザ設定]／[フルブラウザ設定]▶[サウンド設定]**

2 **音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]**

JavaScriptの有効／無効を設定する<Script動作設定>

サイトにJavaScriptが記載されているとき、プログラムを実行させるかどうかを設定できます。

1 **カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[ｉモードブラウザ設定]／[フルブラウザ設定]▶[Script動作設定]**

2 **設定を選ぶ**

Flash再生時に端末情報を利用するかどうかを設定する<端末情報利用設定>

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[ｉモードブラウザ設定]／[フルブラウザ設定]▶[端末情報利用設定]

2 設定を選ぶ

- 設定を[無効]から切り替えるときは、端末暗証番号の入力が必要になるときがあります。

文字サイズを変更する<文字サイズ設定>

サイトや画面メモを表示するときの文字サイズを設定できます。

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[ｉモードブラウザ設定]／[フルブラウザ設定]▶[文字サイズ設定]

2 文字サイズを選ぶ

Cookieについて設定する

Cookieとは、サイトに接続したときに、FOMA端末にユーザ名やアクセス日時、アクセス回数などのデータを一時的に記憶するしくみです。次回、同じサイトに接続したときにその情報が参照されます。

- Cookieを有効にすることで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ Cookieの有効／無効を設定する<Cookie設定>

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[ｉモードブラウザ設定]／[フルブラウザ設定]▶[Cookie設定]

2 設定を選ぶ

- ◆ [有効]
- ◆ [毎回確認]▶確認時を選ぶ
- ◆ [無効]

- Cookie設定を[有効]／[毎回確認]に設定しているときに挿入していたFOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、Cookie設定が[無効]になります。
- 設定を変更するときに、以前のCookie情報が残っていると、Cookie情報を削除する確認画面が表示されることがあります。Cookie情報を削除してください。

■ Cookieを削除する<Cookie削除>

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[ｉモードブラウザ設定]／[フルブラウザ設定]▶[Cookie削除]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

Refererについて設定する<Referer設定>

リンクをたどりながらサイトを表示するときに、Referer（リンク元のURL情報）をリンク先のサーバに送信するかどうかを設定します。

- Refererを使用することで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[ｉモードブラウザ設定]／[フルブラウザ設定]▶[Referer設定]

2 設定を選ぶ

- サイトによっては、Refererを送信しないと正しく表示されないことがあります。

新しいタブウィンドウを自動で開くかどうかを設定する<ウィンドウ自動起動設定>

1 カスタムメニューで[i モード]▶[i モード設定]▶[i モードブラウザ設定]/[フルブラウザ設定]▶[ウィンドウ自動起動設定]

2 設定を選ぶ

ポインタを表示するかどうかを設定する<ポインタ表示設定>

サイトを表示中に、ポインタを表示するかどうかを設定できます。

1 カスタムメニューで[i モード]▶[i モード設定]▶[i モードブラウザ設定]/[フルブラウザ設定]▶[ポインタ表示設定]

2 設定を選ぶ

表示倍率を変更する<ズーム>

フルブラウザでサイトを表示するときのズーム倍率を設定します。

1 カスタムメニューで[i モード]▶[i モード設定]▶[フルブラウザ設定]▶[ズーム]

2 設定を選ぶ

表示モードを切り替える<表示モード設定>

フルブラウザの表示モードを設定します。

- 設定できる表示モードは次のとおりです。

ケータイモード	ディスプレイの横幅に合わせて表示します。
PCモード	パソコン用の画面サイズで表示します。

1 カスタムメニューで[i モード]▶[i モード設定]▶[フルブラウザ設定]▶[表示モード設定]

2 表示モードを選ぶ

情報量の多いサイトを表示するときに確認するかどうかを設定する<自動通信サイズ設定>

フルブラウザでサイトから自動通信要求があった場合、サイトを表示できるサイズの上限を超えるときに確認画面を表示します。

1 カスタムメニューで[i モード]▶[i モード設定]▶[フルブラウザ設定]▶[自動通信サイズ設定]

2 設定を選ぶ

- [制限なし]のとき:[制限なし]▶[OK]

フルブラウザ接続時に確認画面を表示するかどうかを設定する<フルブラウザ確認表示>

Bookmark一覧やURL入力履歴一覧などからフルブラウザに接続するときに、確認画面を表示するかどうかを設定します。

1 カスタムメニューで[i モード]▶[i モード設定]▶[フルブラウザ設定]▶[フルブラウザ確認表示]

2 設定を選ぶ

フルブラウザ機能を利用するかどうかを設定する<フルブラウザ利用設定>

1 カスタムメニューで[i モード]▶[i モード設定]▶[フルブラウザ設定]▶[フルブラウザ利用設定]

2 設定を選ぶ

ｉモード設定確認

ｉモード／フルブラウザ機能の設定状況を確認する

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[ｉモード設定確認]

ｉモード設定リセット

ｉモード／フルブラウザ機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

- 次の項目がリセットされます。
  - 画像表示設定
  - ページ内動画取得設定
  - 文字サイズ設定
  - Referer設定
  - ポインタ表示設定
  - 表示モード設定
  - フルブラウザ確認表示
  - 証明書設定
  - セキュア通信サービス設定（センター接続先設定）
  - 接続先設定
  - ログイン情報登録
  - ポインタ加速度設定
  - スクロール設定
  - サウンド設定
  - Script動作設定
  - ズーム
  - ウィンドウ自動起動設定
  - フルブラウザホーム設定
  - 自動通信サイズ設定
  - フルブラウザ利用設定
  - ｉモードボタン設定
  - 自動レイアウト表示設定
  - Bookmark表示設定
  - ｉチャネルテロップ設定
  - 動画自動再生設定
  - 端末情報利用設定
  - Cookie設定

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[ｉモード設定リセット]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

SSL／TLS証明書を操作する

CA証明書の有効／無効を設定する<証明書設定>

SSL／TLSページを表示する際は次の証明書が必要です。

- CA証明書…認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時にFOMA端末内に保存されています。
- ドコモ証明書…FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード内に保存されています。
- ユーザ証明書…FOMA端末内のFirstPassセンターのメニューを選択してFirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード内に保存されます。

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[共通設定]▶[証明書設定]

2 証明書にカーソルを合わせる▶[有効]／[無効]

- ☑は有効、☐は無効の状態です。
- 証明書の内容の表示：証明書にカーソルを合わせる▶[表示]

- CA証明書を無効にすると、そのCA証明書を使用するSSL／TLSページは表示できません。

FirstPassの設定を行う<ユーザ証明書操作>

FirstPass対応のサイトなどに接続する際は、ユーザ証明書が必要です。ユーザ証明書は、お客様がFOMAと契約されていることを証明するもので、FirstPassセンターからユーザ証明書の発行を申請したり、ダウンロードしたりできます。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、クライアント認証に対応しているサイトなどで利用できます。

- FOMAデータプランではｉモードブラウザからのSSL／TLSクライアント認証の機能はご利用になれません（ISP接続通信でご利用のときは、料金プランにかかわらずご利用いただけます）。
- FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻を正しく設定してください。

- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassは、海外ではご利用できません。

FirstPassのご使用にあたって

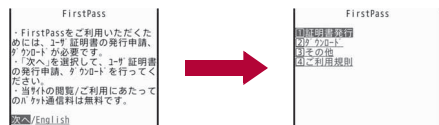
- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示された「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意のうえ、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分にご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあったときなどは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。
- ｉモード通信によるFirstPass対応サイトへのアクセスに発生するパケット通信料は、ｉモードパケット定額サービスに含まれます。

クライアント認証について

- FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバ認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証を受けることで、より安全に通信サービスを受けられます。

■ FirstPassセンターに接続する<ユーザ証明書操作>

ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターから行います。

1 **カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[共通設定]▶[セキュア通信サービス設定]▶[ユーザ証明書操作]▶[次へ]**

- FirstPassを利用する前には、[ご利用規則]を選択し、記載内容をよくお読みください。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- FirstPassセンターへ接続中は、次の機能を利用できません。
  - ■ ｉモードメールの送受信（SMSの受信／返信は利用可）
  - ■ ｉモード問い合わせ（SMS問い合わせ）
  - ■ メッセージR／Fの受信
  - ■ ｉモーションの取得
  - ■ Web To機能

■ ユーザ証明書の発行を申請して、ダウンロードする

1 **FirstPassセンターに接続▶[証明書発行]**

・当社は、本ｻｰﾋﾞｽの利用により発生したお客様の損害及び本ｻｰﾋﾞｽを利用できなかったことにより発生した損害に対し、当社に故意または重大な過失がある場合を除き、責任を負わないものとします。なお、当社がお客様に損害賠償義務を負う場合といえども、当社が負担すべき損害賠償額は、当社の責に帰すべき事由に基づきお客様に発生した現在かつ通常の損害に限り、かつ一つのﾕｰｻﾞ証明書に起因する損害賠償額の総額は、FOMAｻｰﾋﾞｽ基本使用料の1か月分を上限とします。

「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。

実行/ﾒﾆｭｰ

2 **[実行]▶PIN2コードを入力▶[OK]**

FirstPass

証明書の発行申請が完了しました。

ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ操作を行ってください。

ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ/ﾒﾆｭｰ

3 **[ダウンロード]▶[実行]**

FirstPass

証明書のﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが完了しました。

ﾒﾆｭｰ

- ユーザ証明書を新規および更新でダウンロードするときは、どちらも必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。

■ ユーザ証明書を使ってサイトに接続する

1 **FirstPass対応のサイトを表示▶[はい]**

2 **PIN2コードを入力▶[OK]**

- ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応のサイトなどに接続したときは、接続するかどうかの確認画面が表示されます。[いいえ]を選択するとSSL／TLS通信が切断されます。FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードしてから再び接続してください。
- ユーザ証明書の有効期限が切れているときは、継続するかどうかの確認画面が表示されます。[いいえ]を選択すると元のページに戻ります。FirstPassセンターでユーザ証明書を更新してから再び接続してください。

■ ユーザ証明書の失効を申請する

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

1 **FirstPassセンターに接続▶[その他]▶[証明書失効]▶[はい]**

2 **PIN2コードを入力▶[OK]▶[実行]▶[次へ]▶[実行]**

- 失効申請が完了すると、FirstPass対応サイトは表示できなくなります。
- 失効が完了したユーザ証明書を有効にするときは、再びユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。

■ 証明書発行接続先を変更する<センター接続先設定>

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

- 通常は設定を変更する必要はありません。

1 **カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉモード設定]▶[共通設定]▶[セキュア通信サービス設定]▶[センター接続先設定]▶[接続先]**

2 **[認証局URL]欄を選ぶ▶認証局URLを入力▶[決定]**

- 半角99文字（半角英数字と記号）まで入力できます。

3 **[ユーザ設定初期画面URL]欄を選ぶ▶ユーザ設定初期画面URLを入力▶[決定]**

- 半角100文字（半角英数字と記号）まで入力できます。

4 **[完了]**

ｉモーション・ムービー／ｉチャネル／ｉコンシェル

ｉモーション・ムービー

ｉモーション

ｉモーションとは、映像や音声、音楽のデータです。ｉモーション対応サイトなどから、FOMA端末に取得し、再生することができます。ｉモーション対応サイトは、ｉMenuの［メニューリスト］から探すこともできます。

- ｉモーションには、標準タイプとストリーミングタイプがあります。

タイプ	再生方法	説　明
標準タイプ※1※2	取得後に再生	データを取得してから再生します。
	取得中に再生	データを取得しながら再生します。
ストリーミングタイプ	取得中に再生（最大10Mバイト）	データを取得しながら同時に再生する方式で、再生し終わったデータは破棄され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※1　ｉモーションによっては、標準タイプでも保存できないもの（再生できないデータなど）があります。
※2　標準タイプには、1回の操作で取得する500Kバイト以下のものと、何らかの原因で取得が中断されても分割して取得可能な10Mバイト以下のものがあります。

■ ｉモーションを着信音や着信画面に設定したとき

- 音声のみのｉモーション（映像なし）は、着信画面に設定できません。
- 映像のみのｉモーション（音声なし）は、着信音に設定できません。
- 映像と音声を含むｉモーションを着信音・着信画面のどちらかに設定すると、両方に反映されます。
- 音声電話着信音に映像と音声を含むｉモーションを設定している場合、テレビ電話着信音、公衆電話着信音、非通知設定着信音、通知不可能着信音を［音声電話着信音に従う］に設定したときの動作は次のとおりです。
  - ■ 着信音にメロディや音声のみのｉモーション、着うたフル®を設定すると着信画面は［電話着信］が設定されます。
  - ■ 着信画面にJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像、映像のみのｉモーションを設定すると着信音は［着信音1］が設定されます。
  - ■ 着信画面も音声電話着信画面に従って表示されます。
- 着信画面に映像のみのｉモーション、効果音のあるFlash画像を設定している場合、着信音に音声のみのｉモーション、着うたフル®を設定すると着信画面は［電話着信］が設定されます。
- 着信音に音声のみのｉモーション、着うたフル®を設定している場合、着信画面に映像のみのｉモーション、効果音のあるFlash画像を設定すると着信音は［着信音1］が設定されます。
- ｉモーションによっては設定できないものがあります。

ムービー

インターネット上のポータル系サイトや動画専門サイトなどで提供されている動画（ムービー）は、FOMA端末のインターネットムービープレーヤーで再生できます。

- インターネットムービープレーヤーはWindows Media Video、Windows Media Audioの再生に対応しています。
- フルブラウザでの容量制限のないストリーミングタイプのムービーなど、送受信データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 再生できるムービーの配信方式やファイル形式は次のとおりです。

タイプ	配信方式	説　明
ストリーミングタイプ	ライブ配信	ムービーがリアルタイムで配信されます。一時停止、早送り、早戻し、再生開始位置のジャンプはできません。
	オンデマンド配信	あらかじめサーバ上に用意されたムービーが配信されます。

ファイル形式		Windows Mediaファイル メタファイル:WVX、WAX、ASX メディアデータ:WMV、WMA、ASF
ビデオコーデック		WMV9　MP@LL
	最大ビットレート	2 Mbps
	最大フレームレート	30fps(VGA)
	映像サイズ	48×48～640×480
オーディオコーデック		WMA Standard L3 Profile(ver.2～9)
	ビットレート	5 ～320kbps

- ムービーは保存できません。
- サイトによっては動作環境(ブラウザ種別、OS種別など)を確認する場合があり、FOMA端末で再生できないことがあります。
- メタファイル内に複数のムービーが含まれる場合、i モードでは最初のムービーのみ再生されます。
- パソコンなどを利用してmicroSDカードのインポートフォルダに保存したムービーも再生できます。

i モーション･ムービー取得

サイトから i モーション･ムービーを取得する

サイトから i モーションを取得して再生する

- 市販のBluetooth機器を接続すると、i モーションの音声をBluetooth機器から再生できます(☞P.428)。

1 サイト表示中に i モーションを選ぶ

標準タイプのとき

- 動画自動再生設定[自動再生する]:取得中または取得後に再生
- 動画自動再生設定[自動再生しない]:取得後に、[再生]／[保存]などを選択

ストリーミングタイプのとき

- [はい]▶ i モーション再生

- サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されている i モーションを、microSDカードに移動できます。ただし、取得元のサイトによっては移動できないこともあります。
- データを取得しながら再生できる i モーションの場合、電波状況などにより再生できなくなったときでも、i モーションの取得完了後に再生できます。
- i モーションのデータ取得中に、電波状況により再生が停止したり、画像が乱れたりすることもあります。
- FOMA端末の日付･時刻情報がリセットされた場合(☞P.55)、再生期限／再生期間が決められている i モーションは、再生できません。
- 再生期間、再生期限、再生回数が設定された i モーションには、再生可能な条件が表示されます。それらの期限を過ぎたり、回数を超えると再生できません。
- i モーションによっては、データを取得しても正しく再生できないことがあります。

■ i モーション取得再生画面のサブメニュー操作

[保存]　☞P.206

[Dolby Mobile 設定]▶設定を選ぶ
- [オリジナル]を選択したときは、項目設定して[完了]をタッチ

[Bluetooth出力]　☞P.429

[表示サイズ切替]▶設定を選ぶ

[チャプター一覧]▶チャプターを選ぶ
- チャプターを選択して再生します。

[情報表示]

[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
- 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

[ライトアップ]

[送り速度指定]▶設定を選ぶ
- 早送り／早戻しの速度を設定します。

[コマ送り幅指定]▶送り幅を選ぶ

[全画面モード切替]

[Dolby Mobile 設定]について
- バーチャル5.1chサラウンドの音声で聞くときは[Virtual5.1ch(イヤホン)]に設定し、ステレオイヤホンを利用してください。

[表示サイズ切替]について
- 表示されるサイズが「480未満×392未満」のときに、表示サイズを[拡大]に切り替えることができます。

[情報表示]について
- ｉモーションによって、表示される項目は異なります。

[コマ送り幅指定]について
- 音声のみのｉモーションなど、[細かい]に設定しても無効となり、[大まか(高速)]でコマ送りされるｉモーションがあります。

[全画面モード切替]について
- サイズによっては、全画面モードでも画面全体に表示されません。

■ ｉモーションを保存する<保存>

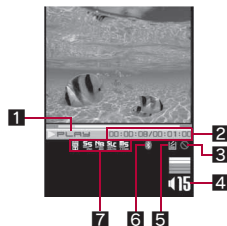
- FOMA端末には100件まで保存できます。ｉモーションのサイズによっては、保存できる件数が変わります。
- ｉモーションはデータBOXのｉモーション／ムービーの[ｉモード]フォルダに保存されます。microSDカードに保存できるｉモーションは、[移行可能コンテンツ]フォルダ内の[ｉモーション]フォルダに保存できます(コンテンツ移行対応)。
- 保存したｉモーションは、ｉモーションプレーヤーで再生できます。

1 取得したｉモーションの再生／停止(一時停止)中に[サブメニュー Sub Menu] ▶ [保存]
- ｉモーションの再生が終了したとき：[保存]

2 保存先を選ぶ ▶ [確定]

サイトからムービーを取得して再生する <インターネットムービープレーヤー>

- microSDカードのインポートフォルダのムービーを再生するときは、市販のBluetooth機器を接続すると、ムービーの音声をBluetooth機器から再生できます(☞P.428)。

1 サイト表示中にムービーを選ぶ ▶ [はい] ▶ [確認]
- ムービーによっては、操作が異なる場合があります。
- microSDカードのインポートフォルダのムービーを再生：カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [microSD] ▶ [インポート] ▶ [ｉモーション／ムービー] ▶ ムービーを選ぶ ▶ [確認]
- ムービー再生画面が表示されます。再生が終了すると、元の画面に戻ります。

ムービー再生画面

1 再生状態

▶PLAY	再生中	▶▶FF	早送り中
❚❚PAUSE	一時停止中	◀◀FR	早戻し中
■STOP	停止中		

2 再生時間／総再生時間
- ライブ配信の場合、総再生時間は表示されません。

3 再生位置指定操作不可

⃠	早送り、早戻し、再生開始位置にジャンプの操作は不可

4 音量

🔈15	🔈0(音量0)～🔈25(音量25)

- ミュート中は、数字の上に[⃠]が重なって表示されます。

ｉモーション・ムービー／ｉチャネル／ｉコンシェル

5 バッファリング中

(アイコン)	バッファリング中

6 Bluetooth出力

(アイコン)	Bluetooth出力中

7 Dolby Mobile 設定

(アイコン)	Virtual5.1ch（イヤホン）	(アイコン)	ドラマ
		(アイコン)	バラエティ
(アイコン)	ノーマル	(アイコン)	ミュージック
(アイコン)	ニュース	(アイコン)	映画
(アイコン)	スポーツ	(アイコン)	オリジナル

オリジナルの設定項目を選んだ場合

(アイコン)	サウンドスペース
(アイコン)	ナチュラルベース
(アイコン)	サウンドレベルコントローラ
(アイコン)	モノラル→ステレオ

■ ムービー再生画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
(ボタン)	(ボタン)	早送り※1※2
(ボタン)	(ボタン)	一時停止／再生※1
(ボタン)	(ボタン)	早戻し※1※2
(ボタン)	(ボタン)	音量アップ※3
(ボタン)	(ボタン)	音量ダウン※3
(ボタン)	(ボタン)	終了※4
(ボタン)	(ボタン)	表示切替（全画面モード⇔通常モード）

※1　ライブ配信などの操作が制限されたムービーでは表示されない場合があります。
※2　ロングタッチします。
※3　ロングタッチすると、連続して音量を調節できます。
※4　microSDカードのインポートフォルダのムービーのときは停止します。

・全画面モードで画面をタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

音量調節	上下にすばやくスライド
ミュート／解除	音量アイコンをタッチ

■ ムービー再生画面のボタン操作

一時停止／再生	(キー)
音量調節（音量０～25）※1	(キー)
ミュート／解除	(キー)
早戻し	(キー)（１秒以上）
早送り	(キー)（１秒以上）
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ	1：先頭 2～9：総再生時間の約1/9ずつ先の位置
表示切替（全画面モード⇔通常モード）	Fn＋1
終了※2	Fn＋4、(キー)▶［はい］

※1　ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。
※2　microSDカードのインポートフォルダのムービーのときは、Fn＋4を押すか［(停止/Stop)］をタッチすると停止します。

● ライブ配信のムービーなど、ムービーによっては操作が制限されたり、操作後の再生開始位置がずれるものがあります。

次ページへ続く▶▶

- 回線速度･回線状況･電波環境により、再生が途中で止まったり、画像が乱れたりするときがあります。
- 電池残量が少ない場合は、再生開始時や再生中に、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、ご使用状態によっては充電中に確認画面が表示されることがあります。
- 電波状況によって接続が中断されたときは、再生確認画面が表示され、再生方法を選ぶことができます。
- 再生中に着信やアラームが動作したり、他の機能の操作を行ったりすると、再生が停止することがあります。通話や操作を終了すると、サイト接続中は、再生確認画面が表示され、再生方法を選ぶことができます。microSDカードのインポートフォルダのムービーを再生中は、停止中画面に戻ります。

ライセンス｢WMDRM(Windows Media digital rights management)｣について

- ライセンスにより保護されたムービーを再生できます。ただし、ライセンス設定によっては、FOMA端末で再生できないときがあります。

■ ムービー再生画面のサブメニュー操作

[Dolby Mobile 設定] ▶ 設定を選ぶ ● [オリジナル]を選択したときは、項目設定して[完了]をタッチ
[Bluetooth出力] ☞P.429
[情報表示]
[バックライト点灯時間] ▶ 設定を選ぶ ● 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。
[全画面モード切替]

[Dolby Mobile 設定]について

- バーチャル5.1chサラウンドの音声で聞くときは[Virtual5.1ch(イヤホン)]に設定し、ステレオイヤホンを利用してください。

[Bluetooth出力]について

- microSDカードのインポートフォルダのムービーを再生するときに操作できます。

[情報表示]について

- ムービーによって、表示される項目は異なります。

ｉモーション･ムービーを自動的に取得するかどうかを設定する<ページ内動画取得設定>

1 **カスタムメニューで[ｉモード] ▶ [ｉモード設定] ▶ [ｉモードブラウザ設定]／[フルブラウザ設定] ▶ [ページ内動画取得設定]**

2 **設定を選ぶ**

- [取得する]のとき：[取得する] ▶ [はい]

動画自動再生設定

ｉモーション･ムービーを自動再生するかどうかを設定する

ｉモードでｉモーション･ムービーを自動再生するかどうかを設定できます。

1 **カスタムメニューで[ｉモード] ▶ [ｉモード設定] ▶ [ｉモードブラウザ設定] ▶ [動画自動再生設定]**

2 **設定を選ぶ**

- ストリーミングタイプのｉモーション、ムービーは自動再生の設定にかかわらず、常に自動再生されます。
- 動画自動再生設定を[自動再生する]に設定しても、ｉモーション、ムービーによっては自動再生されないことがあります。

ｉチャネル

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。また、ｉチャネルテロップをタッチすることで最新情報がチャネル一覧に表示されます（チャネル一覧の表示方法は☞P.209）。
ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の２種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」、「おこのみチャネル」共に、詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。
ｉチャネルの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

ｉチャネルを表示する

ｉチャネルを契約し、ｉチャネル情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。詳しい情報を見たいときは、チャネル一覧からサイトに接続して詳細情報を入手できます。

1 **クイック設定で［ｉチャネル一覧］**

- 待受画面でｉチャネルテロップを選んでも表示できます。

2 **チャネルを選ぶ**

- パネルロック解除設定を［シンプル解除］に設定している場合、ｉチャネルの情報が自動更新されると画面が表示され、ｉチャネルテロップが表示されます。

最新情報の受信について

- 電源が入っていないときや圏外など電波状況が良くない場合は、情報を受信できないときがあります。チャネル一覧を表示したときに情報を受信すると、待受画面でテロップが流れます。
- 情報を受信しても、着信音・バイブレータは鳴動しません。ただし、情報を受信中は、メール受信ランプが点滅します。
- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したときに情報を受信することがあります。

ｉチャネルの接続先変更について

- ｉモード設定の共通設定の接続先設定で、ｉチャネルの接続先を設定できます。通常は設定を変更する必要はありません。
- ｉチャネルの接続先を変更すると、ｉチャネルテロップは表示されなくなります。ただし、チャネル一覧を表示すると最新の情報を受信し、ｉチャネルテロップが表示されます。
- ｉチャネルの接続先変更後、情報が自動更新されないときがあります。最新の情報を受信したいときは、チャネル一覧を表示してください。

■ ｉチャネル一覧画面のサブメニュー操作

［戻る］

［進む］

［リトライ］
- Flash画像やGIFアニメーションの再生をやり直します。

［サウンド設定］▶音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶［決定］

［タブ］
- ▶［新しいタブで開く］ ☞P.182
- ▶［タブを閉じる］▶閉じるタブウィンドウを選ぶ▶［はい］
- ▶［タブ切替］▶表示するタブウィンドウを選ぶ

［ポインタ表示設定］ ☞P.199

［サウンド設定］について

- ｉチャネルの音量は、ｉモード設定のｉモードブラウザ設定のサウンド設定と連動しています。

ｉチャネルテロップ設定

ｉチャネルの設定を行う

待受画面にｉチャネルテロップを表示するかどうかを設定します。

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉチャネル]▶[ｉチャネルテロップ設定]▶[ON]

- [OFF]に設定したときは、操作完了となります。

2 [テロップ文字サイズ設定]欄を選ぶ▶サイズを選ぶ

- 画面下部にテロップの見本が表示されます。

3 [テロップ色設定]欄を選ぶ▶色を選ぶ

4 [テロップ速度設定]欄を選ぶ▶速度を選ぶ▶[完了]

- ｉチャネルテロップ設定と、カレンダー表示設定や待受メモ表示設定を同時に設定している場合、カレンダー表示中はｉチャネルテロップが表示されません。待受画面で[クリアキー]を押すと待受画面（ｉチャネルテロップ表示）→待受メモ表示（ｉチャネルテロップ表示）→カレンダー表示→ウェルネス表示（ｉチャネルテロップ表示）の順で切り替わります。
- 2in1利用時は、2in1のモードごとにｉチャネルテロップを表示するかどうかを設定できます。
- 次の場合は、ｉチャネルテロップが表示されません。
  - ■ 待受画面に設定しているｉモーションの再生中
  - ■ ｉアプリ待受画面起動中
  - ■ オールロック中
  - ■ ｉモード／ｉチャネルの機能別ロック中
  - ■ 公共モード（ドライブモード）中
- テロップ色設定を[きせかえに従う]に設定すると、きせかえツールで設定した色に変更されます。きせかえツールで色を設定していない場合、[パターン1]に設定されます。
- ディスプレイの表示が消えているときにディスプレイを再表示させた場合は、ロック画面が表示されｉチャネルテロップを確認できません。パネルロック解除設定を[シンプル解除]に設定すると、ロック画面が表示されずｉチャネルテロップを確認できます。

ｉチャネル初期化

ｉチャネルの設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 カスタムメニューで[ｉモード]▶[ｉチャネル]▶[ｉチャネル初期化]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

- ｉチャネルテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、チャネル一覧を起動して最新の情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。

ｉコンシェル

「ｉコンシェル」とは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、生活エリアやお客様の居場所、趣味趣向にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。また、FOMA端末に保存されているスケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加します。ｉコンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ（待受画面上のキャラクタ）がお知らせします。

■ ｉコンシェルのご利用にあたって

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
- ケータイデータお預かりサービス（☞P.128）のご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- コンテンツ（インフォメーション、ｉスケジュールなど）によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。

- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- ｉコンシェルを海外でご利用になる場合は海外利用設定が必要となります。
  待受タッチランチャで[ｉコンシェル]▶[MENU]▶[設定]▶[基本設定]▶[プロフィール設定／海外利用設定]▶[海外利用設定]
- ｉスケジュール・トルカ・電話帳の自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

■ インフォメーションを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときには、自動的にインフォメーションが送られてきます。

- インフォメーションは、50件まで保存できます。50件を超えたときは、古いインフォメーションから順に上書きされます。
- 一度に複数のインフォメーションを受信しても、ポップアップメッセージには最新の１件のみが表示されます。

1 インフォメーションを自動的に受信

2 受信終了後、待受画面にポップアップメッセージ表示

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

3 ポップアップメッセージを選ぶ

- 受信したインフォメーションがｉコンシェル画面のトップに表示されます。

4 インフォメーションを選ぶ

- インフォメーションの詳細が表示されます。
- ｉコンシェル画面を表示するとポップアップメッセージは消えます。

- 待受画面に設定しているｉモーションの再生中や、ｉアプリ待受画面実行中は、ポップアップメッセージが表示されません。
- オールロック中やｉコンシェルの機能別ロック中は、ポップアップメッセージが表示されません。ロックを解除すると表示されます。
- ポップアップメッセージを選択したとき、サイトに接続する場合があります。
- おまかせロック中は、インフォメーションを受信できません。
- 他の機能を起動中にインフォメーションを受信したときの動作は次のとおりです。
  - ■ インフォメーション受信中画面が表示され、受信終了後にインフォメーション受信完了画面が表示されます（[ ]表示）。
  - ■ インフォメーション受信完了画面で[確認]を選択すると、ｉコンシェル画面が表示されます。
  - ■ インフォメーション受信完了画面で またはCLRを押すと、受信前の画面に戻ります。待受画面に戻ったときにポップアップメッセージが表示されます。
  - ■ メール設定の受信・自動送信表示の設定に従い動作します。ただし次の場合は、[通知優先]に設定してもインフォメーション受信中画面とインフォメーション受信完了画面は表示されません。
    - ・通話中
    - ・ｉアプリ起動中
    - ・カメラ起動中（コラムリーダー、バーコードリーダーを除く）
    - ・GPS測位中
    - ・パターンデータ更新中
    - ・ワンセグ視聴中・録画中（マルチウインドウ時を除く）
    - ・ムービー再生中
    - ・エリアメール自動表示中
    - ・microSDカード参照中
    - ・ｉモーション取得中（ストリーミングタイプ）
    - ・ｉウィジェット起動中

■ ｉコンシェル画面でインフォメーションを受信した場合、インフォメーション受信完了画面で[確認]を選択すると、ｉコンシェル画面が最新の状態に更新されます。

ｉコンシェル

ｉコンシェル画面を表示する

ｉコンシェル画面ではインフォメーションの詳細を確認できます。添付されているスケジュールデータやトルカを確認したり、リンクを選択してサイトへ接続したりすることもできます。

ｉコンシェル画面

1 待受タッチランチャで[ｉコンシェル]

- 未読インフォメーションには、[◖]が表示されます。
- ドコモ提供サービス設定が[利用しない]に設定されている場合、エリア連携サービスを利用するかどうかを確認する画面が表示されます。[利用する]を選択すると、設定確認画面が表示されます。

2 インフォメーションを選ぶ

3 詳細な情報を入手するときはボタンを選ぶ

- トルカの場合：添付されたトルカやトルカ(詳細)を表示できます。トルカをまだダウンロードしていない場合は、すぐにダウンロードできます。トルカ情報が更新されたときは、全トルカ一覧画面が表示されます。
- スケジュールの場合：添付されたスケジュールを表示できます。スケジュールをまだダウンロードしていない場合は、すぐにダウンロードできます。
- 電話帳の場合：電話帳が更新されたときは、電話帳が表示されます。
- その他：リンクがあるときは、サイトに接続して詳細情報を表示することができます。

■ インフォメーションを削除する

1 インフォメーションにカーソルを合わせる ▶ Fn＋2

2 [はい]

- インフォメーションによっては削除できないものがあります。

スケジュール／トルカ一覧を表示する <スケジューラへ／トルカへ>

- ｉコンシェルから、簡単にスケジュールやトルカを呼び出すことができます。

1 ｉコンシェル画面で[MENU] ▶ [スケジューラへ]／[トルカへ]

カレンダー画面

トルカフォルダ一覧画面

2 スケジュール／トルカを選ぶ

- スケジュールの確認については☞P.214
- トルカの表示については☞P.316

ｉコンシェル設定

ｉコンシェルの設定を行う

インフォメーション受信時の動作を設定する
＜ｉコンシェル着信設定＞

1 カスタムメニューで［設定］▶［ｉコンシェル設定］▶［ｉコンシェル着信設定］

2 受信時の動作を設定

◆ **［音量選択］▶音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶［決定］**
◆ **［音選択］▶［ON］▶音にカーソルを合わせる▶［決定］**
・設定できるｉモーションは、音声のみのｉモーションです。
◆ **［バイブレータ設定］▶設定を選ぶ**
◆ **［鳴動時間設定］▶［ON］▶鳴動時間を入力▶［決定］**
◆ **［ランプ設定］▶［ON］▶［ランプ色設定］▶ランプ色を選ぶ▶［ランプパターン設定］▶ランプのパターンを選ぶ**

待受画面へのインフォメーション表示設定を行う
＜インフォメーション表示設定＞

インフォメーションを受信したときに、待受画面にポップアップメッセージを表示してお知らせします。

1 カスタムメニューで［設定］▶［ｉコンシェル設定］▶［インフォメーション表示設定］

2 設定を選ぶ

お預かりセンター

トルカ･スケジュールなどをお預かりセンターに保存（復元･更新）する

FOMA端末に保存されている電話帳･トルカ･スケジュール･Bookmarkをお預かりセンターに保存します。保存した電話帳･トルカ･スケジュール･Bookmarkはお預かりセンターに接続することによって、FOMA端末に復元･更新できます。また、画像のお預かりや設定情報の更新もできます。

● ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
● ｉコンシェルの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
● ケータイデータお預かりサービスについては☞P.128

スケジュール

スケジュールを利用する

お預かりセンターと連携してスケジュールを管理できます。予定を新規作成して通常スケジュールとして登録するだけではなく、ｉスケジュール、週間天気予報などの配信されたデータや誕生日などを登録･表示できます。

● 利用できるスケジュールの種類は次のとおりです。

スケジュールの種類	登録方法
通常スケジュール	新規作成、クラシックスケジュールでの新規作成、サイトからのダウンロード、インフォメーション受信、メール受信、赤外線通信／ｉＣ通信／Bluetooth通信による受信、microSDカードからのコピー、視聴予約、録画予約
誕生日データ	スケジュール起動時に最新の電話帳データから誕生日情報を取得
週間天気予報	IP（情報サービス提供者）から配信されるインフォメーションを受信

スケジュールの種類	登録方法
ｉスケジュール	お預かりセンターからの自動更新、サイトからのダウンロード

● 通常スケジュールとｉスケジュール内の予定は合計2500件まで、誕生日データは1000件まで登録できます。

スケジュールを確認する<スケジュール>

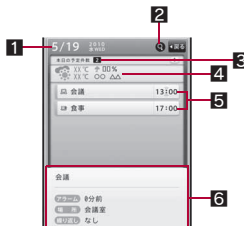
1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[スケジュール]

- ｉコンシェル画面では：[MENU]▶[スケジューラへ]
- 待受画面で次の操作をしても起動できます。
  - ■ 待受時計表示設定が[ON(大)]のとき：待受時計の日付を選ぶ
  - ■ 待受画面にカレンダーを表示しているとき：カレンダーを選ぶ
- 前月／次月を表示：[前月]／[次月]

カレンダー画面

1 選択している日付、祝日名
2 本日（灰色で表示）
3 週間天気予報
4 登録されている予定※
5 選択している日の予定※
　カテゴリアイコン、件名、開始時刻、アラームの有無が３件まで表示されます。
6 カテゴリ表示アイコン
　カテゴリ・フィルタリングを設定しているときに表示されます。
7 選択している日（黄色で表示）
8 休日設定／祝日設定されている日（オレンジ色で表示）
9 選択している日に登録されている件数（100件以上は「－」）

※ 通常スケジュール、誕生日データは青色、ｉスケジュール内の予定はオレンジ色で表示されます。

2 日付を選ぶ

予定リスト画面

1 日付、祝日名
2 カテゴリ表示アイコン
　カテゴリ・フィルタリングを設定しているときに表示されます。
3 当日に登録されている件数（100件以上は「－」）
4 週間天気予報（天気アイコン、最高気温、最低気温、降水確率、エリア名）
　週間天気予報データがある場合にのみ表示されます。
5 予定（カテゴリアイコン、件名、開始時刻、アラームの有無）
　通常スケジュール、誕生日データは青色、ｉスケジュール内の予定はオレンジ色で表示されます。
6 プレビュー
　選択した予定のプレビューが表示されます。

3 予定を選ぶ

- スケジュール詳細画面にリンクボタン（電話番号、メールアドレス、URL）があるときは、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。
- スケジュールの編集：[編集]
- スケジュールをｉモードメールに添付する：[メール]

● 誕生日データは編集、削除したり、メールに添付できません。
● 所有者情報の誕生日データは登録されません。
● 週間天気予報データは、メール添付やmicroSDカードへコピー、赤外線送信、ｉＣ送信、Bluetooth送信はできません。
● ｉスケジュール内の予定を編集する場合、コピー確認画面が表示され、通常スケジュールとして新規登録されます。編集前の予定はそのまま残ります。

■ カレンダー画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、クラシックスケジュールのカレンダー画面のサブメニュー操作（☞P.410）を参照してください。
  - ■ 新規作成　■ 削除　■ 表示（日付指定表示）
  - ■ 設定　■ データ送信　■ microSDへ全件コピー
  - ■ microSDデータ参照　■ お預かりセンターに接続

[表示]	
	▶[カテゴリ・フィルタリング]▶カテゴリアイコンを選ぶ▶[完了]
	▶[カテゴリ・フィルタリング解除]

■ 予定リスト画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、クラシックスケジュールのカレンダー画面のサブメニュー操作（☞P.410）を参照してください。
  - ■ 新規作成　■ 表示（日付指定表示）　■ データ送信
  - ■ microSDデータ参照　■ お預かりセンターに接続
- 次の機能については、クラシックスケジュールの予定リスト画面のサブメニュー操作（☞P.413）を参照してください。
  - ■ 編集　■ 削除　■ メール添付　■ microSDへコピー

[表示]	
	▶[カテゴリ・フィルタリング]▶カテゴリアイコンを選ぶ▶[完了]
	▶[カテゴリ・フィルタリング解除]

■ スケジュール詳細画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、クラシックスケジュールのスケジュール詳細画面のサブメニュー操作（☞P.414）を参照してください。
  - ■ 編集　■ 1件削除　■ メール添付
  - ■ コピー　■ データ送信　■ お預かりセンターに接続

ｉスケジュールを表示する

1 カレンダー画面または予定リスト画面で[ｉスケジュール]

- ｉスケジュールサイトへ接続：[ｉスケジュールリストへ]▶[はい]

2 ｉスケジュールを選ぶ

- リンクボタン（電話番号、メールアドレス、URL）があるときは、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。

ｉスケジュール一覧画面

- ｉスケジュールはメール添付やmicroSDカードへコピー、赤外線送信、ｉＣ送信、Bluetooth送信はできません。ｉスケジュール内の予定は、microSDカードへコピー、赤外線送信、ｉＣ送信、Bluetooth送信を行うと、通常スケジュールとして登録されます。

■ ｉスケジュール一覧画面のサブメニュー操作

[1件削除]▶[はい]
[選択削除]▶ｉスケジュールを選ぶ▶[完了]▶[はい]
[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

カメラ

著作権・肖像権について

お客様がFOMA端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネット ホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

お客様が本FOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

カメラをお使いになるときのご注意

- レンズ部に指紋や油脂などが付くとピントが合わなくなります。また、画像がぼやけたり、強い光源からすじを引くことなどがあります。撮影前に、柔らかい布で拭いてください。
- 電池残量が少ないときは撮影できません。充電中でも、電池残量が少ないと画像が暗くなったり、画像が乱れることがあります。充電中は撮影しないでください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラのレンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 静止画を連続撮影したり、動画を長時間撮影したり、長時間カメラを起動するとFOMA端末が温かくなり、カメラを終了することがありますが、異常ではありません。しばらくたってからカメラをご利用ください。
- AFモードを切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- カメラのレンズ前面にメカシャッター／NDフィルタを搭載しています。
  - ■ カメラ使用時に動作音が聞こえる場合がありますが異常ではありません。
  - ■ カメラを使用していない状態でレンズ前面が閉じている場合がありますが、異常ではありません。
- 撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく動かないようにしっかりと固定して撮影してください。静止画撮影、動画撮影時は手ぶれ補正撮影機能を使ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なるときがあります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、FOMA端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生するときがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整することにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるときがあります。
- 電池残量が少ないときは、撮影時にピクチャーライトが発光しません。
- 撮影した静止画は、DCF 1.0準拠（ExifVer.2.2、JPEG準拠）の形式で保存されます。
  - ・「DCF」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラなどの画像ファイルなどを、関連機器間で便宜に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
  - ・「Exif」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画用のファイルフォーマットです。

カメラを使用中の動作について

- 撮影した静止画はデータBOXのマイピクチャの［カメラ］フォルダに、動画はデータBOXのｉモーション／ムービーの［カメラ］フォルダに保存されます。また、microSDカード（☞P.363）に保存することもできます。
- 静止画撮影、プリティアレンジカメラ、コラムリーダー、名刺リーダー、情報リーダー、カメラルーペ、モーションデコ、ショットデコを起動すると、着信ランプが点灯します。動画撮影を起動すると着信ランプが点滅します。
- 終了するときは各カメラモードの撮影前のファインダーが表示されている状態で［終話］または［CLR］を押します。

- 各カメラモードで、撮影前のファインダーが表示されている状態で約2分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了し待受画面に戻ります。未保存のデータがあるとき、サブメニューや一括設定変更画面、読み取り結果画面を表示しているとき、カメラモードは終了しません。

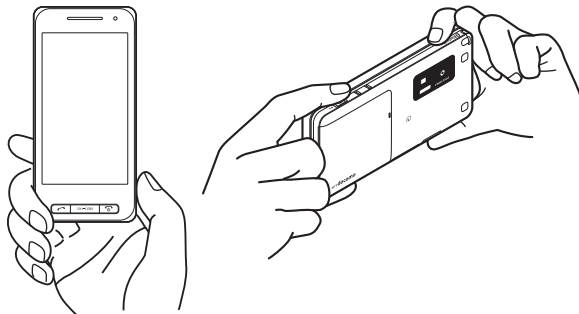
シャッター音、撮影開始音／停止音、完了音、フォーカスロック音、セルフタイマー音について

- 静止画撮影、動画撮影、プリティアレンジカメラ、コラムリーダー（1行読み取りを除く）、名刺リーダー、情報リーダー、カメラルーペ、モーションデコ、ショットデコのときは、FOMA端末の設定にかかわらず、それぞれの機能に応じて鳴ります。
- バーコードリーダー、コラムリーダーの1行読み取りのときに鳴る音の音量は、音声電話着信音量の設定に従います。また、次の場合は音は鳴りません。
  - ■ マナーモード設定中
  - ■ 公共モード（ドライブモード）設定中
  - ■ 音声電話着信音量を［サイレント］に設定中
- シャッター音は変更できます（☞P.95）。シャッター音の音量は変更できません。

撮影中の着信やアラームの動作について

- 静止画撮影のプレビュー画面や動画の撮影中画面でアラームが動作すると、撮影は中止されます。アラームを終了するとカメラの画面に戻り、撮影したデータを保存できます。
- 静止画撮影のプレビュー画面表示中や静止画保存中に着信があると、着信画面が表示され電話に出ることができます。通話を終了するとカメラの画面に戻り、撮影した静止画を保存できます。
- 動画撮影中や動画撮影確認メニュー画面表示中に着信があると、着信画面が表示され電話に出ることができます。通話を終了すると動画撮影確認メニュー画面が表示されます。表示に従って操作してください。

撮影ポジションについて

縦向き　　横向き

タイトルについて

- 撮影（保存）した静止画、動画、名刺画像、情報リーダーの画像、モーションデコ、ショットデコのデコメ®ピクチャには、自動的に撮影日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
  例：2010年5月18日午後1時5分7秒に撮影→［100518_130507］
- 連続撮影を行ったとき、末尾に連番（[_01]、[_02]…）が付きます。
- 名刺画像には、末尾に［_meishi］が付きます。
- 情報リーダーの画像には、末尾に［_info］が付きます。
- タイトルの編集については☞P.377

撮影画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35

カメラ

静止画／カメラルーペ

● 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[設定]	設定 Settings	一括設定変更
[📷]	長押 Hold	撮影※1
[笑顔]	笑顔 Egao	笑顔フォーカスシャッターモード切替※2
[振り向き]	振り向き Furimuki	振り向きシャッターモード切替※2
[通常]	通常 Normal	通常撮影モードに戻る※2
[顔登録]	－	顔登録

※1　横表示のときは、ロングタッチするとセルフタイマーを[ON(2秒)]に設定して撮影します(撮影後、セルフタイマーは解除されます)。
※2　AFモードを[顔優先AF]に設定しているときに表示されます。

● 次のタッチ操作ができます。

明るさ調整	上下にすばやくスライド
ズーム調整	左右にすばやくスライド※

※ 左右にスライドする長さに応じてズーム幅が変わります。

● 撮影後のプレビュー画面では表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[✉／投稿]	✉	メール／ブログ機能
[保存]	保存 Save	保存
[IrSS]	IrSS	高速赤外線通信(IrSS™機能)で送信

● 連続撮影プレビュー画面では表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[✉／投稿]	✉	メール／ブログ機能
[決定]	OK	1枚プレビュー画面を表示※
[全件保存]	全件保存 Save All	全件保存

※ 連続撮影プレビュー画面で画像を選択しても、選んだ画像の1枚プレビュー画面が表示されます。

● 連続撮影1枚プレビュー画面では表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[✉／投稿]／✉※	✉	メール／ブログ機能
[削除]／削除 Delete※	削除 Delete	削除
[保存]／保存 Save※	保存 Save	保存
[全画面]／フルスクリーン Full Screen※	－	全画面表示

※ 全画面表示中に表示されます。

動画

● 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[設定]	設定 Settings	一括設定変更
[録画]	録画 Rec 長押 Hold	撮影開始※1※2
[停止]	停止 Stop	撮影停止※3
[シーン]	シーン Scene	シーン別撮影
[共通再生]	－	共通再生モード切替
[通常撮影]	－	通常撮影モード切替

※1　動画撮影画面で表示されます。
※2　横表示のときは、ロングタッチするとセルフタイマーを[ON(2秒)]に設定して撮影します(撮影後、セルフタイマーは解除されます)。
※3　動画撮影中に表示されます。

● 静止画／カメラルーペと同様に明るさ調整／ズーム調整のタッチ操作ができます。

プリティアレンジカメラ

● 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[設定]	設定 Settings	一括設定変更
[📷]	📷	撮影

● 静止画／カメラルーペと同様に明るさ調整／ズーム調整のタッチ操作ができます。

● 撮影後のプレビュー画面では表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[プリティ]	プリティ Pretty	顔画像のアレンジ
[メール]	✉	メール作成
[アレンジ]	アレンジ Arrange	手書き入力
[保存]	保存 Save	保存
[IrSS]	－	高速赤外線通信（IrSS™機能）で送信

● 顔アレンジ画面では表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[小顔美人]	小顔美人 Small Face	顔の大きさの変更
[色白美人]	色白美人 Fair Skin	肌の色の変更
[瞳美人]	瞳美人 Cute Eyes	目の大きさの変更
[決定]	OK	決定
[１つ戻る]	－	１つ前の状態に戻す

バーコードリーダー

● 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[ライト]	ピクチャーライト Light ON/OFF	ピクチャーライト切替
[読取]	読取 Scan	読み取り
[静止画]	📷	静止画撮影切替

● 静止画／カメラルーペと同様に明るさ調整のタッチ操作ができます。

● 読み取り中の画面では表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[中断]	■ 停止 Stop	読み取りの中断

コラムリーダー

● コラムリーダーでは表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[領域選択]	領域選択 Select Area	領域選択
[読取]	読取 Scan	読み取り
[１行読取]	１行読取 One line	１行読み取り切替

● １行読み取りでは表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[ライト]	ピクチャーライト Light ON/OFF	ピクチャーライト切替
[📷]	📷	撮影
[コラムリーダー]	コラムリーダー Column Reader	コラムリーダー切替

● 静止画／カメラルーペと同様に明るさ調整／ズーム調整（コラムリーダーのみ）のタッチ操作ができます。

次ページへ続く

● コラムリーダーの読み取り画面では表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機 能
[選択]	選択 Select	選択
[決定]	OK	決定
[解除]	解除 Clear	解除

● コラムリーダーの読み取り結果画面では表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機 能
[辞書検索]	辞書検索 Search Dictionary	辞書検索
[テキストメモ]	テキストメモ Text Memo	テキストメモ作成
[メール]	メール編集 Edit Mail	メール作成

● 1行読み取りの読み取り行選択画面では表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機 能
[▲]	︿	選択行を上へ移動
[▼]	﹀	選択行を下へ移動
[読取]	読取 Scan	読み取り

● 1行読み取り結果画面では表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機 能
[完了]	完了 Complete	完了
[編集]	編集 Edit	編集
[再読取]	再読取 Re Scan	再読み取り

● 1行読み取り結果画面では次のタッチ操作ができます。

カテゴリ変更	左右にスライド

名刺リーダー／情報リーダー

● 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機 能
[読取]	読取 Scan	読み取り
[静止画]		静止画撮影切替※1
[登録]	保存 Save	登録※2

※1 名刺リーダーで表示されます。
※2 読み取り後に表示されます。

● 静止画／カメラルーペと同様に明るさ調整／ズーム調整（情報リーダーのみ）のタッチ操作ができます。

モーションデコ／ショットデコ

● 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機 能
[アニメ]		アニメモード切替※1
[静止画]		静止画モード切替※1※2
[📷]		撮影※1
[録画]	録画 Rec	撮影開始※3
[停止]	停止 Stop	撮影停止※2※4

※1 ショットデコで表示されます。
※2 ショットデコのアニメモード撮影中に表示されます。
※3 モーションデコで表示されます。
※4 モーションデコの撮影中に表示されます。

● 静止画／カメラルーペと同様に明るさ調整／ズーム調整のタッチ操作ができます。

● 撮影後のプレビュー画面では表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[保存]	保存 Save	保存
[メール]	✉	メール作成
[プレビュー]	プレビュー Preview	プレビュー※

※ ショットデコのアニメモード撮影後に表示されます。

撮影画面のボタン操作

ボタン	静止画／プリティアレンジカメラ／カメラルーペ	動　画	バーコードリーダー
[／]	フォーカスロック		
[1]	カメラモード切替		
[2]	マイピクチャのフォルダ一覧画面表示	ｉモーション／ムービーのフォルダ一覧画面表示	保存データ
[3]	AFモード		AFモード切替
[4]	セルフタイマー	映像・音声切替	―
[5]	明るさ調整	サイズ選択	―
[6]	画質選択		―
[7]	シーン別撮影※1		―
[8]	サイズ選択	手ぶれ補正	―
[9]	ホワイトバランス※1		―
[0]	操作ガイド起動		―
[●]	静止画撮影	録画開始※2	読み取り開始
[上]	明るさアップ※3		
[下]	明るさダウン※3		
[左]	ズームダウン※3		―
[右]	ズームアップ※3		―

ボタン	静止画／プリティアレンジカメラ／カメラルーペ	動　画	バーコードリーダー
[Fn]＋[1]	一括設定変更		ピクチャーライトON／OFF切替
[Fn]＋[3]	顔登録／静止画撮影切替※1	共通再生モード／通常撮影モード	―
[Fn]＋[4]	撮影モード切替※4	シーン別撮影	静止画撮影切替
[Fn]＋[D]	ピクチャーライト		―
[Fn]＋[S]	保存先選択		―

ボタン	コラムリーダー	名刺リーダー	情報リーダー	モーションデコ／ショットデコ
[／]	フォーカスロック			
[1]	カメラモード切替※5			
[2]	読み取り対象選択※6	―	―	サイズ変更
[3]	AFモード※7			―
[4]	反転モード切替※6	―	―	―
[●]	静止画撮影※8	読み取り開始		録画開始※2／静止画撮影
[上]	明るさアップ※3			
[下]	明るさダウン※3			
[左]	ズームダウン※3※5	―	ズームダウン※3	
[右]	ズームアップ※3※5	―	ズームアップ※3	
[Fn]＋[1]	領域選択※9	―	―	静止画・アニメモード切替※10

次ページへ続く

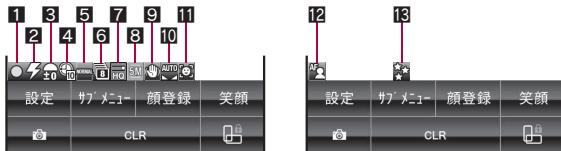
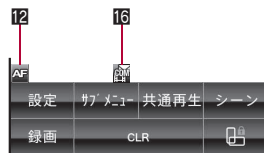
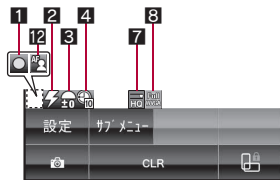
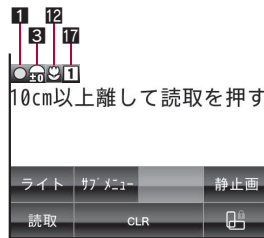
ボタン	コラムリーダー	名刺リーダー	情報リーダー	モーションデコ／ショットデコ
Fn＋3	1行読み取り／コラムリーダー	－	－	－
Fn＋4	－	静止画撮影切替	－	－

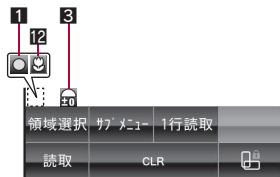
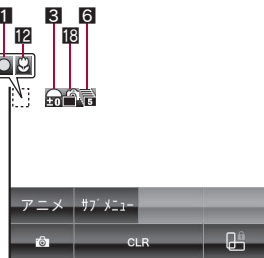
※1　プリティアレンジカメラでは操作できません。
※2　録画中画面では録画を停止します。
※3　ボタンを押し続けると、連続して調整できます。
※4　静止画撮影でAFモードを[顔優先AF]に設定している場合のみ操作できます。
※5　コラムリーダーの1行読み取りでは操作できません。
※6　コラムリーダーの1行読み取りでのみ操作できます。
※7　コラムリーダーの1行読み取りでは、AFモード切替になります。
※8　コラムリーダーの1行読み取りでは、読み取り開始になります。
※9　コラムリーダーの1行読み取りでは、ピクチャーライトON／OFF切替になります。
※10 ショットデコでのみ操作できます。

撮影画面の見かた

カメラモードでは、ディスプレイに次のマークが表示されます。

● 全画面モード(☞P.227)にするとマークは表示されません。

静止画撮影画面

動画撮影画面

プリティアレンジカメラ画面

バーコードリーダー画面

コラムリーダー画面／名刺リーダー画面／情報リーダー画面／モーションデコ画面

● 画面はコラムリーダーの画面です。

ショットデコ画面

1 フォーカスロック表示

（緑色）	フォーカスロックされたとき
（赤色）	フォーカスを合わせているとき

2 ピクチャーライト表示

	ON

3 画像の明るさ表示

	暗い ← 標準 → 明るい

4 セルフタイマー表示

	2秒		5秒		10秒

5 シーン別撮影表示

静止画撮影

	標準		夜景＋人物		料理
	人物		風景		文字
	夜景		スポーツ		逆光

動画撮影

	標準		風景（ソフト）
	人物		風景（シャープ）

6 連続撮影表示

	ON、マニュアル（40枚用）
	ON、マニュアル（10枚用）
	ON、マニュアル（8枚用）
	ショットデコ（5枚用）
～	連続撮影枚数共通（2～40枚）
	ベストセレクトフォト
	ストロボフォト

7 画質表示

	ハイクオリティ		ノーマル
	ファイン		エコノミー（動画撮影のみ）

8 撮影サイズ表示

静止画撮影

	5M：1944×2592		待受：480×854
	3M：1536×2048		VGA：480×640
	フルHD：1080×1920		QVGA：240×320
	UXGA：1200×1600		QCIF：176×144
	1.2M：960×1280		

動画撮影

	FWVGA：864×480		QCIF：176×144
	VGA：640×480		sQCIF：128×96
	QVGA：320×240		

9 手ぶれ補正撮影表示

	オート（静止画撮影）／ON（動画撮影）

10 ホワイトバランス表示

	オート		蛍光灯		曇り／日陰
	電球		太陽光		

11 撮影モード表示

	笑顔フォーカスシャッターモード
	振り向きシャッターモード

次ページへ続く

⑫ AFモード表示

[AF]	センターAF／標準	[接写アイコン]	接写
[顔優先AFアイコン]	顔優先AF（静止画撮影・プリティアレンジカメラのみ）	[MF]	マニュアルフォーカス（静止画撮影・動画撮影・プリティアレンジカメラのみ）

⑬ エフェクト撮影表示

[アイコン]	モノクロ	[アイコン]	残像（動画撮影のみ）
[アイコン]	セピア	[アイコン]	波紋
[アイコン]	きらきら	[アイコン]	万華鏡（大）
[アイコン]	色えんぴつ	[アイコン]	万華鏡（小）
[アイコン]	円ソフトフレーム（静止画撮影のみ）	[アイコン]	魚眼

⑭ ファイルサイズ制限表示

[アイコン]	メール用（短）（500Kバイト）
[アイコン]	メール用（長）（2Mバイト）

⑮ 映像・音声切替表示

[アイコン][アイコン]	映像＋音声
[アイコン]	映像のみ
[アイコン]	音声のみ

⑯ 共通再生モード表示

[アイコン]	ON

⑰ QRコード連結番号表示

1～16	分割されたデータを読み取るときに、何枚目を読み取っているかを表示

⑱ 静止画・アニメモード切替表示

[アイコン]	静止画モード	[アイコン]	アニメモード

静止画撮影

静止画を撮影する

- 撮影をするときは、シャッター音が鳴り、静止画を確認するためのプレビュー画面が表示されます。
- AFモードを［顔優先AF］に設定している場合、通常撮影のほかに次の撮影モードを利用できます。
  - ■ 笑顔フォーカスシャッターモード：人物の笑顔を検出すると自動的に撮影します。
  - ■ 振り向きシャッターモード：新たに人物の顔を検出する（顔がカメラを向く）と自動的に撮影します。
- ピントが合わない場合は、フォーカスロックをご使用ください（☞P.234）。

1 待受タッチランチャで［静止画撮影］

- バーコード／名刺を検出すると、自動でバーコードリーダー／名刺リーダーが起動します（☞P.227）。
- ズーム（☞P.230）を利用したり、一括設定変更画面（☞P.234）を表示できます。

2 ［📷］／[ボタン]

- 静止画を撮影します。
- シャッターモードを切り替えることができます。
  - ・［笑顔］をタッチすると笑顔フォーカスシャッターモードになります。
  - ・［振り向き］をタッチすると振り向きシャッターモードになります。
  - ・タッチするたびに［笑顔］→［振り向き］→［通常］の順にボタンが切り替わります。
  - ・笑顔フォーカスシャッターモード／振り向きシャッターモード中でも、［📷］をタッチすると静止画撮影できます。
  - ・［通常］をタッチするか、一度撮影すると通常撮影に戻ります。

3 [保存]／◙

- 静止画を保存します。
- 静止画を削除して撮影し直す：[CLR]
- メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿(☞P.237)：[✉／投稿]▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信
  - オープンポジションにしても、静止画が添付されたメール作成画面が表示されます。
- 高速赤外線通信で送信(IrSS™機能)(☞P.345)：[IrSS]▶送信方法を選ぶ

■ 静止画撮影画面のサブメニュー操作

項目	参照
[カメラモード切替]▶カメラモードを選ぶ	
[撮影メニュー]	
▶[ホワイトバランス]	☞P.234
▶[ピクチャーライト]▶設定を選ぶ	
▶[シーン別撮影]	☞P.234
▶[セルフタイマー]	☞P.232
▶[連続撮影]	☞P.228
▶[明るさ調整]▶設定を選ぶ	
▶[フレーム撮影]	☞P.233
▶[エフェクト撮影]	☞P.233
[AFモード]	☞P.232
[手ぶれ補正]	☞P.233
[サイズ選択]	☞P.231
[画質選択]	☞P.231
[カメラ設定]	
▶[顔登録]	☞P.236
▶[笑顔レベル]	☞P.235
▶[自動切替モード]▶設定を選ぶ ● バーコード／名刺を検出したときに、自動でバーコードリーダー／名刺リーダーを起動するかどうかを設定します。	
▶[自動保存モード]▶設定を選ぶ ● 撮影した静止画を自動的に保存するかどうかを設定します。	
▶[全画面モード切替]	
▶[カメラ設定保持]	☞P.236
[保存先選択]	☞P.235
[データBOX表示]	
[操作ガイド]	

[ピクチャーライト]について

- ピクチャーライトは、暗い場所での撮影を補助するものであり、通常のカメラのストロボのような光量はありませんので、ご注意ください。
- ピクチャーライトを[ON]に設定すると、撮影時のみピクチャーライトが点灯します。ただし、次の場合はピクチャーライトが点灯しません。
  - ■ AFモードを[接写]に設定しているとき
  - ■ 連続撮影時、[マニュアル]以外に設定しているとき
  - ■ シーン別撮影を[夜景]に設定しているとき、または自動認識で[夜景]に設定されているとき
  - ■ 手ぶれ補正を[オート]に設定しているとき
- 蛍光灯の下などで白い部分が多い印刷物などを撮影する場合、撮影角度とピクチャーライトの点灯／消灯により、FOMA端末の色や影が映りこむ場合がありますが異常ではありません。

[自動切替モード]について

- 撮影サイズが「QCIF：176×144」のときは利用できません。
- カメラモードは約10cmの距離で自動切り替えを行います。ただし、バーコードや名刺が小さく表示されている場合やディスプレイの中央に表示されていない場合は、カメラモードが自動で切り替わらないときがあります。

[自動保存モード]について

- 自動保存モードを[ON]に設定すると、撮影直後の画像編集や画面設定などの操作はできなくなります。
- 撮影した静止画は保存先選択で設定した保存先に自動的に保存されます。

■ 静止画プレビュー画面のサブメニュー操作

項目	参照
[保存先選択]	☞P.235
[画像編集]	☞P.346

次ページへ続く▶▶

[プチエステ] ☞P.348

[画面設定]

▶[待受画面]▶設定先を選ぶ▶[はい]

▶[電話帳]▶電話帳に登録

▶[スケジュール]▶スケジュールを登録

[位置情報貼付]▶[確認]▶[はい]

● 現在地確認の詳細については☞P.323

[全画面モード切替]

[画面設定]について

● 保存先をmicroSDカードに設定して撮影しているときは利用できません。

[待受画面]について

● 撮影サイズによっては、表示サイズ選択画面が表示されます。表示サイズを選んでください。

[電話帳]について

● 撮影サイズが「5M:1944×2592」のときは利用できません。

[スケジュール]について

● 表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されます。

■ 日時:静止画の撮影日時　■ 画像:静止画

いろいろな連続撮影をする<連続撮影>

● [ON]に設定したときは、約0.06秒間隔で静止画を連続して自動的に撮影します。[マニュアル]に設定したときは、自分のシャッター操作で静止画を連続して撮影します。
● 連続撮影できる撮影サイズと最大撮影枚数は次のとおりです。

待受:480×854	8枚	QVGA:240×320	40枚
VGA:480×640	10枚	QCIF:176×144	40枚

● [ベストセレクトフォト]に設定したときは、シャッター操作をする直前から連続撮影した画像を表示します。撮影枚数は、[ON]に設定したときと同様です。
● [ストロボフォト]に設定したときは、約0.13秒間隔で連続して撮影し、それらを合成した1枚の画像を作成します。撮影サイズに応じて7～20枚撮影しますが、撮影したすべての画像が合成に使われるとは限りません。
● フレーム撮影を組み合わせて撮影できます。

1 静止画撮影画面で[サブメニュー]▶[撮影メニュー]▶[連続撮影]▶設定を選ぶ

● [ベストセレクトフォト]を選択すると撮影開始音が鳴ります。

2 [📷]/▣

● 1枚目が撮影され、以降自動的に撮影されます。
● マニュアル撮影のときは、連続撮影最大枚数まで[📷]をタッチするか、▣を押します。
● 全枚数を撮影または[中止]をタッチして連続撮影を中止すると、連続撮影プレビュー画面が表示されます。
● ストロボフォトのときは合成した画像が表示されます。
  ・[保存]をタッチすると、撮影した画像を保存して連続撮影プレビュー画面を表示します。
  ・[削除]をタッチすると、撮影した画像を保存せず連続撮影プレビュー画面を表示します。

3 静止画にカーソルを合わせる▶[決定]▶[保存]

● 画像を保存します。
● すべての画像を保存:[全件保存]
● メールで送信したり、ブログ/SNSに投稿(☞P.237):[✉/投稿]▶送信方法を選んでメール/デコメール®を作成・送信
  ・オープンポジションにしても、静止画が添付されたメール作成画面が表示されます。

● 自動保存モード(☞P.227)が[ON]のときは、自動的に全件保存されます。
● 連続撮影中に着信やアラームが動作すると、撮影中の静止画は保持され、連続撮影は中止されます。ただし、着信やアラーム動作のタイミングによっては、撮影中の静止画が破棄され、静止画撮影画面に戻ることもあります。
● 連続撮影中に⏎を押すと、撮影を中止してカメラモードを終了します。また、FOMA端末の向きを変えたり、開閉すると撮影を中止して静止画撮影画面に戻ります。

● ストロボフォト撮影時にFOMA端末を動かすと、[撮影に失敗しました]と表示され、撮影ができない場合がありますのでご注意ください。

■ 連続撮影プレビュー画面のサブメニュー操作

[全件保存]
[全件削除]
[1件保存]
[1件削除]
[位置情報貼付]▶[確認]▶[はい] ● 現在地確認の詳細については☞P.323

動画撮影

動画を撮影する

● 撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。ただし、撮影されるまでに時間がかかることがあります。撮影中は着信ランプが点灯します(映像・音声切替が[音声のみ]のときは点滅します)。
● ピクチャーライトの設定が[ON]の場合、撮影を開始するとピクチャーライトが点灯し、停止すると消灯します(映像・音声切替が[音声のみ]のときは点灯しません)。なお、撮影中に約3分経過すると自動的に消灯します。
● 撮影中に撮影残時間表示が00:00:00になったとき(撮影中にファイルサイズが制限に達したときや、microSDカードの空き容量がなくなったとき)は、自動的に撮影が停止します。撮影した動画は保存／メール作成／再生／取消ができます。
● ピントが合わない場合は、フォーカスロックをご使用ください(☞P.234)。

1 カスタムメニューで[カメラ]▶[動画撮影]
• ズーム(☞P.230)を利用したり、一括設定変更画面(☞P.234)を表示できます。

2 [録画]／◙
• 中央の被写体に自動的にピントを合わせて撮影します。

3 撮影を止めるときは[停止]／◙
• 撮影停止音が鳴り、動画撮影確認メニュー画面が表示されます。

4 [保存]
• 動画を保存します。
• メールで送信(☞P.237):[メール作成]▶メールを作成・送信
  ・オープンポジションにしても、動画が添付されたメール作成画面が表示されます。
• 動画の再生:[再生]
• 動画を取り消す:[取消]▶[はい]

● 撮影残時間表示は目安であり、撮影対象により、撮影開始前の残時間表示よりも長く撮影できるときや、00:00:00より前に撮影が自動的に停止するときがあります。
● 動画撮影中にFOMA端末の向きを変えても、動画撮影は継続されます。
● 縦表示で動画撮影中にオープンポジションにすると、次のようになります。
  ■ 撮影開始から約1秒以上のとき:撮影停止し、動画撮影確認メニュー画面が表示される
  ■ 撮影開始から約1秒未満のとき:撮影停止し、動画撮影画面に戻る
  ただし、映像・音声切替が[音声のみ]のときは、録音を継続します。
● 動画撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音されるときがありますので、ご注意ください。

■ 動画撮影画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、静止画撮影画面のサブメニュー操作(☞P.227)を参照してください。
  ■ カメラモード切替
  ■ 撮影メニュー(ホワイトバランス、ピクチャーライト、シーン別撮影、セルフタイマー、明るさ調整、エフェクト撮影)
  ■ 手ぶれ補正 ■ サイズ選択 ■ 画質選択
  ■ カメラ設定(カメラ設定保持) ■ 保存先選択
  ■ データBOX表示 ■ 操作ガイド

[撮影メニュー]

カメラ

次ページへ続く▶▶

▶［AFモード］ ☞P.232

［映像・音声切替］▶設定を選ぶ
- 映像と音声の組み合わせを設定します。

［ファイルサイズ制限］▶ファイルサイズを選ぶ

［共通再生モード］▶設定を選ぶ
- 他のFOMA端末でも再生できるようにするかどうかを設定します。

［カメラ設定］

▶［ノイズキャンセラ］▶設定を選ぶ
- 音声のノイズを少なくするかどうかを設定します。

▶［バックライト点灯時間］▶設定を選ぶ
- 撮影時のバックライトの点灯時間を設定します。

［ファイルサイズ制限］について
- ｉモーションメールで送信するときは、［メール用（短）］、［メール用（長）］に設定してください。メール添付可能なサイズで撮影できます。［メール用（短）］を選ぶとファイルサイズを約500Kバイトに制限します。［メール用（長）］を選ぶとファイルサイズを約２Mバイトに制限します。
- ［制限なし］に設定した場合、保存先がFOMA端末のときは約５Mバイトまで、保存先がmicroSDカードのときは制限なしで撮影します。撮影時間は最長約１時間になります（映像・音声切替が［音声のみ］のときを除く）。また、保存前の画面でメール送信を実行すると、先頭から約２Mバイト以内のデータを切り出して送信します。
- 撮影サイズによって、設定できるファイルサイズは変わります。
- 共通再生モードを設定しているときは、［メール用（短）］に設定され、変更できません。

［ノイズキャンセラ］について
- ノイズキャンセラでは、音声を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や話し方により、音声の聞こえ方が変わることがあります。

［バックライト点灯時間］について
- ［常にON］に設定したときでも、ファインダー以外の画面ではバックライトの点灯時間は照明時間設定に従います。

［共通再生モード］について
- 撮影サイズは「QCIF：176×144」、画質は［ファイン］、ファイルサイズ制限は［メール用（短）］（500Kバイト）、手ぶれ補正は［OFF］、映像・音声切替は［映像＋音声］、エフェクト撮影は［OFF］になり、変更できません。

撮影時の設定を変える

- 撮影サイズによっては設定できないものもあります。
- 設定の組み合わせによっては、自動的に設定が解除されたり変更される場合があります。

明るさを調整する<明るさ調整>

明るさを５段階で調整できます。

1 撮影画面で上下にすばやくスライド

デジタルズームを利用する<ズーム調整>

1 撮影画面で左右にすばやくスライド

- バーコードリーダー、コラムリーダー（１行読み取り）、名刺リーダーでは利用できません。
- 左右にスライドする長さに応じてズーム幅が変わります。

静止画モード

動画モード

- ズームできる範囲(倍率)は撮影サイズによって異なります。

	撮影サイズ	最大倍率(ズームの段階)	
		縦表示	横表示
静止画撮影	5M:1944×2592	等倍(－)	
	3M:1536×2048	約1.2倍(3段階)	
	フルHD:1080×1920	約1.3倍(4段階)	
	UXGA:1200×1600	約3.2倍(7段階)	
	1.2M:960×1280	約4.0倍(9段階)	
	待受:480×854	約6.0倍(13段階)	
	VGA:480×640	約8.1倍(16段階)	
	QVGA:240×320	約16.2倍(22段階)	
	QCIF:176×144	約22.0倍(25段階)	
動画撮影	FWVGA:864×480	約1.1倍(2段階)	約3.0倍(12段階)
	VGA:640×480	約1.4倍(5段階)	約4.0倍(15段階)
	QVGA:320×240(手ぶれ補正:[ON])	約5.0倍(16段階)	約6.3倍(19段階)
	QVGA:320×240(手ぶれ補正:[OFF])	約6.0倍(18段階)	約8.1倍(21段階)
	QCIF:176×144(手ぶれ補正:[ON])	約8.1倍(21段階)	約10.7倍(24段階)
	QCIF:176×144(手ぶれ補正:[OFF])	約11.0倍(24段階)	約13.4倍(26段階)
	sQCIF:128×96(手ぶれ補正:[ON])	約11.0倍(24段階)	約13.4倍(26段階)
	sQCIF:128×96(手ぶれ補正:[OFF])	約15.0倍(27段階)	約19.8倍(29段階)

撮影サイズを設定する<サイズ選択>

撮影サイズが大きいほど、解像度が高いきれいな画像が撮影できますが、データ量が多くなり撮影できる枚数／撮影できる時間は少なくなります(☞P.538)。

- 静止画の各撮影サイズは主に次の用途でご利用いただけます。

サイズ	用途
5M:1944×2592 3M:1536×2048 フルHD:1080×1920 UXGA:1200×1600 1.2M:960×1280	パソコンでの表示や出力するのに適したサイズです。 ● L判サイズのプリントには「3M:1536×2048」以上のサイズが適しています。
待受:480×854	FOMA端末のディスプレイと同じサイズです。待受画面に設定する静止画などを撮影するときに便利です。
VGA:480×640 QVGA:240×320 QCIF:176×144	iモードメールに添付してiモード端末やパソコンなどに送信するのに適したサイズです。

- カメラモードによって設定できるサイズは異なります。

1 **静止画／動画／プリティアレンジカメラ撮影画面で[サブメニュー]▶[サイズ選択]**

2 **サイズを選ぶ**

画質を設定する<画質選択>

画質が高いほど、きれいな画像が撮影できますが、データ量が多くなり撮影できる枚数／撮影できる時間は少なくなります(☞P.538)。

画質	説明
ハイクオリティ	最高画質で撮影します。
ファイン	高画質で撮影します。
ノーマル	標準の画質で撮影します。
エコノミー(動画撮影のみ)	撮影できる時間を増やして撮影します。

1 静止画／動画／プリティアレンジカメラ撮影画面で［サブメニュー］▶［画質選択］

2 画質を選ぶ

セルフタイマーを使って撮影する<セルフタイマー>

1 静止画／動画／プリティアレンジカメラ撮影画面で［サブメニュー］▶［撮影メニュー］▶［セルフタイマー］

2 セルフタイマー時間を選ぶ

3 ［ ］／

- 動画撮影画面のとき：［録画］／
- セルフタイマー音が鳴り、セルフタイマーが動作します。設定した時間が経過すると、シャッター音／撮影開始音が鳴り、自動的に撮影されます。

● セルフタイマー動作中に着信やアラームが動作すると、セルフタイマーは中止され、撮影画面に戻ります。

AFモードを設定する<AFモード>

被写体に合わせて、AF（オートフォーカス）モードの切り替えができます。

- 静止画撮影、プリティアレンジカメラのときは、撮影サイズを変更すると［顔優先AF］になります。
- 設定できるAFモードは次のとおりです。

センターAF※1	フォーカスが動作し、中央の被写体にピントを合わせます。
標準※2	
顔優先AF※1	人物の顔を検出して、顔にピントを合わせます。人物の顔を検出すると、被写体が動いても顔検出枠が顔を追跡してピントを合わせます。複数の顔を検出した場合は、どの顔にピントを合わせるかを指定することができます。
接写	近距離（約10cm）の撮影に適したモードです。
マニュアルフォーカス※3	手動でピントを合わせることができます。

※1　静止画撮影、プリティアレンジカメラのみ設定できます。
※2　静止画撮影、プリティアレンジカメラでは設定できません。
※3　静止画撮影、動画撮影、プリティアレンジカメラのみ設定できます。

例：静止画撮影のとき

1 静止画撮影画面で［サブメニュー］▶［AFモード］

2 AFモードを選ぶ

◆ **［センターAF］**

◆ **［顔優先AF］**

- 最大5人までの顔を検出できます。複数の顔検出枠が表示されているときは、赤色の顔検出枠にピントが合います。
- ピントを合わせる顔を指定するには、ピントを合わせる顔検出枠をタッチします。
- 顔検出枠表示中に登録した顔情報を表示することができます（☞P.236）。

◆ **［接写］**

◆ **［マニュアルフォーカス］▶左右にすばやくスライドしてピントを合わせる▶［決定］**

- フォーカス調整バーが表示されます。中央のラインが最も青色になるように調整してください。

現在のフォーカス位置

FOCUS

フォーカス調整バー

● ［顔優先AF］に設定しているとき、顔の向きや被写体との距離、撮影環境によっては、正しく顔を検出できないことがあります。また、顔以外の被写体や背景を、顔として誤検出することがあります。

● 笑顔フォーカスシャッターモード／振り向きシャッターモード中にAFモードを変更すると、通常撮影になります。

フレームを重ねて撮影する<フレーム撮影>

撮影する静止画にフレームを設定し、フレーム付きで撮影できます。

- 撮影サイズが「待受：480×854」、「VGA：480×640」、「QVGA：240×320」、「QCIF：176×144」のときにフレーム撮影できます。
- 撮影サイズとフレームの縦横が異なるときは、フレームが90度回転します。
- サイトなどからダウンロードしたフレームを利用してフレーム撮影できます。

1 静止画／プリティアレンジカメラ撮影画面で[サブメニュー]▶[撮影メニュー]▶[フレーム撮影]▶[ON]

2 フレームにカーソルを合わせる▶[決定]

- フレームの確認：フレームにカーソルを合わせる▶[確認]

3 [📷]／◙

いろいろな効果を付けて撮影する<エフェクト撮影>

撮影する静止画や動画にエフェクトを設定し、色合いやタッチを変えて撮影できます。

- 静止画撮影サイズが「QVGA：240×320」、「QCIF：176×144」、または動画撮影サイズが「QVGA：320×240」、「QCIF：176×144」、「sQCIF：128×96」のときにエフェクト撮影できます。

エフェクトの種類

OFF	エフェクトを解除する
モノクロ	モノトーンで濃淡を表現
セピア	セピア色で濃淡を表現
きらきら	光輝部をさらに輝かせる効果を表現
色えんぴつ	色つきの線画で表現
円ソフトフレーム※1	画面の周りにぼかしの効果を付ける
残像※2	動きの残像を表現
波紋	波紋効果を付ける
万華鏡(大)	万華鏡の効果を表現(模様が大きい)
万華鏡(小)	万華鏡の効果を表現(模様が小さい)
魚眼	魚眼レンズでの効果を表現

※1 静止画撮影のみに設定できます。
※2 動画撮影のみに設定できます。

1 静止画／動画撮影画面で[サブメニュー]▶[撮影メニュー]▶[エフェクト撮影]▶エフェクトの種類を選ぶ

2 [📷]／◙

- 動画撮影画面のとき：[録画]／◙

- 動画撮影時は、エフェクト撮影を設定すると、撮影サイズによって画質が次のように設定され、変更することはできません。
  - 「QVGA：320×240」、「QCIF：176×144」：[ハイクオリティ]
  - 「sQCIF：128×96」：[ファイン]
- 動画撮影時は、エフェクト撮影を設定すると、手ぶれ補正が自動的に[OFF]になります。このあと、エフェクト撮影を解除すると、エフェクト撮影設定前の手ぶれ補正の設定になります。

手ぶれを補正して撮影する<手ぶれ補正>

- 静止画撮影サイズが「QVGA：240×320」、「QCIF：176×144」、または動画撮影サイズが「FWVGA：864×480」、「VGA：640×480」のときは、手ぶれ補正撮影できません。

1 静止画／動画撮影画面で[サブメニュー]▶[手ぶれ補正]

2 設定を選ぶ

3 [📷]／◙

- 動画撮影画面のとき：[録画]／◙

- 動きの速い被写体や暗い場所などの手ぶれが発生しやすい場合でも、安定した撮影ができます。
- 手ぶれを補正して撮影すると、被写体や周囲の明るさによっては撮影画像にノイズがのったり、暗くなったりすることがありますが故障ではありません。そのときは、手ぶれ補正を[OFF]にして撮影してください。

撮影環境や被写体に応じた設定を行う <シーン別撮影>

自然な色合いやピントで撮影できるよう、撮影環境や被写体に応じた撮影モードを設定できます。

1 静止画／動画撮影画面で[サブメニュー]▶[撮影メニュー]▶[シーン別撮影]

2 モードを選ぶ

● 静止画撮影時、シーン別撮影を[自動認識]に設定すると、被写体に合わせて自動的に[標準]／[人物]／[夜景]／[夜景＋人物]／[風景]／[料理]／[文字]のいずれかのモードに切り替えます。撮影環境や被写体によっては正しいモードにならない場合があります。

色合いを調節する<ホワイトバランス>

撮影時の光の状況に応じて、色合いを調節して撮影できます。

オート	自動的に色合いを調節します。
電球	白熱灯の下での撮影に適しています。
蛍光灯	蛍光灯の下での撮影に適しています。
太陽光	晴れた日の屋外での撮影に適しています。
曇り／日陰	曇りの日の屋外や、日陰での撮影に適しています。

1 静止画／動画撮影画面で[サブメニュー]▶[撮影メニュー]▶[ホワイトバランス]

2 ホワイトバランスの種類を選ぶ

フォーカスロックで撮影する<フォーカスロック>

ピントを合わせた状態でフォーカスをロックして、構図を変えて撮影できます。

● ピントが合わない場合は、フォーカスロックをご使用ください。
● フォーカスがロックされると音が鳴ります(動画撮影を除く)。
● 笑顔フォーカスシャッターモード／振り向きシャッターモード中は利用できません。

1 撮影画面で被写体にピントを合わせて[✓]

- 静止画撮影、動画撮影、プリティアレンジカメラ、コラムリーダー(1行読み取りを除く)、名刺リーダー、情報リーダー、モーションデコ、ショットデコでは、[▣](半押し)でもフォーカスロックできます。
- 状態に応じてフォーカスロック表示マークの色が変わります(☞P.225)。

フォーカスロックを解除するとき

- [✓]でフォーカスロックしたとき:[✓]
- [▣]でフォーカスロックしたとき:[▣]から指を離す

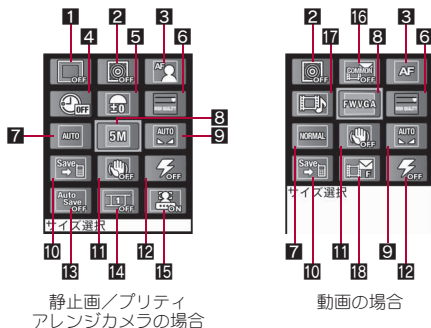
2 構図を変えて撮影する

- [✓]でフォーカスロックしたとき:[📷]
- [▣]でフォーカスロックしたとき:[▣](深く押す)
- 被写体との距離は変えないでください。

● 動画撮影時は、撮影中もフォーカスロックをかけることができます。撮影中に被写体との距離が変化してピントが合わなくなったときにご使用ください。ただし、フォーカスロックするときに雑音が入ることがありますのでご注意ください。

撮影時の設定を一括変更する<一括設定変更>

撮影時によく使う機能の設定内容を一覧表示したり、一括して変更することができます。

1 静止画／動画／プリティアレンジカメラ撮影画面で[設定]

静止画／プリティ
アレンジカメラの場合

動画の場合

1 フレーム撮影	10 保存先選択
2 エフェクト撮影	11 手ぶれ補正
3 AFモード	12 ピクチャーライト
4 セルフタイマー	13 自動保存モード
5 明るさ調整	14 連続撮影
6 画質選択	15 顔登録情報表示
7 シーン別撮影	16 共通再生モード
8 サイズ選択	17 映像･音声切替
9 ホワイトバランス	18 ファイルサイズ制限

- 設定の変更：変更する項目にカーソルを合わせる▶[変更]
- 撮影画面に戻る：[戻る]

カメラの設定を変える

● シャッター音の変更については☞P.95

microSDカード／自動お預かりフォルダに保存する<保存先選択>

撮影した画像をmicroSDカードやデータBOXのマイピクチャの[自動お預かり]フォルダに保存できます。

1 静止画／動画／プリティアレンジカメラ撮影画面で[サブメニュー]▶[保存先選択]

2 保存先を選ぶ

- microSDカードに保存できる動画の撮影時間はmicroSDカードのメモリにより異なります。映像が含まれる動画のとき、最長約１時間です。
- microSDカードに保存した静止画／動画の確認については☞P.373
- 保存先がmicroSDカードに設定されているとき、静止画は[カメラフォルダxxx]（フォルダが複数あるときは「xxx」の数字が最も大きなフォルダ）に、動画は[カメラフォルダ]に保存されます。
- フォルダ内の保存件数が1000件を超えると、新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに静止画／動画が保存されます。パソコンなどで利用したmicroSDカードは、管理情報の更新を行わないと保存できません（☞P.375）。

笑顔を検出するレベルを設定する<笑顔レベル>

● 次のような笑顔を検出できます。

レベル１（微笑）	微笑
レベル２	笑って歯が見える
レベル３	口を開けて大きく笑う

1 静止画撮影画面で[サブメニュー]▶[カメラ設定]▶[笑顔レベル]

2 設定を選ぶ

顔情報を登録する<顔登録>

顔の画像を撮影して顔情報として登録したり、登録した顔情報名とフォーカスマークを静止画撮影画面で表示し撮影できます(撮影した静止画には、表示された顔情報名が付加されます)。

- 顔情報は10件まで登録できます。
- データBOXに保存されている静止画からも、顔情報を登録できます(☞P.345)。

1 静止画撮影画面で[サブメニュー]▶[カメラ設定]▶[顔登録]

2 [新規登録]

- 登録済みの顔情報を編集:[編集]▶編集する顔情報を選ぶ▶操作4へ
  - 個人検出一覧画面が表示されます。

3 顔を検出する▶[顔登録]/◙

- ディスプレイのガイド枠内に顔の位置を合わせてください。顔が検出されるとガイド枠が赤色になります。
- 顔情報がすでに10件登録されているときは、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選択し、上書きする顔情報を選択すると登録できます。

4 [名前]欄を選ぶ▶顔情報名を入力▶[決定]

- 全角6文字(半角12文字)まで入力できます。

5 [フォーカスマーク]欄を選ぶ▶フォーカスマークを選ぶ

6 [完了]▶[はい]

- 登録した顔情報名は分類登録[アルバム]内で表示される項目になります。
- 顔検出中のカメラ設定は、通常撮影時の設定とは異なります。
- 眉毛、目、口、鼻、耳を隠さず、目を開いた状態で正面を向いて撮影してください。次の画像は、検出性能が低下します。
  - ■ ぼやけている画像
  - ■ 強い光が当たっている画像
  - ■ 周囲が暗い画像
  - ■ 集合写真などのように顔が小さい画像

■ 顔情報を削除する

1 個人検出一覧画面で削除する顔情報にカーソルを合わせる▶[削除]

2 削除方法を選ぶ

- ◆ [1件削除]▶[はい]
- ◆ [選択削除]▶顔情報を選ぶ▶[完了]▶[はい]
  - すべてを選択/解除:[全選択]/[全解除]
- ◆ [全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

■ 登録した顔情報を表示する<顔登録情報表示>

AFモードを[顔優先AF]に設定しているときに、登録した顔情報名とフォーカスマークを表示します。

1 静止画撮影画面で[サブメニュー]▶[カメラ設定]▶[顔登録]

2 [顔登録情報表示]▶[ON]

撮影時の設定をお買い上げ時の状態に戻すようにする<カメラ設定保持>

カメラモード終了時に次の設定を記憶し、次回静止画モードや動画モード、プリティアレンジカメラを同じ状態にして起動します。カメラモード終了時にお買い上げ時の状態に戻すには、設定を記憶させないようにします。

静止画撮影	サイズ選択、画質選択、保存先選択、手ぶれ補正、シーン別撮影、自動保存モード、笑顔レベル、顔登録情報表示、自動切替モード、ピクチャーライト
動画撮影	サイズ選択、画質選択、ファイルサイズ制限、バックライト点灯時間、保存先選択、手ぶれ補正、ノイズキャンセラ、ピクチャーライト
プリティアレンジカメラ	サイズ選択、画質選択、保存先選択、ピクチャーライト

1 静止画/動画/プリティアレンジカメラ撮影画面で[サブメニュー]▶[カメラ設定]▶[カメラ設定保持]▶[OFF]

メール／ブログ機能

撮影後すぐに静止画または動画を送る

静止画／動画撮影後、保存前の画面から、撮影した静止画や動画をメールに添付して送信できます。また、静止画の場合はデコメール®として送信したり、ブログ／SNSに投稿することもできます。

- 撮影した動画はｉモーションメールとして送信します。
- ブログ／SNSに投稿する場合は、あらかじめ投稿先を登録しておいてください（☞P.163）。

1 静止画プレビュー画面／連続撮影プレビュー画面で[✉／投稿]

- 動画撮影確認メニュー画面のとき：[メール作成]▶操作３へ
- 撮影後にオープンポジションにしても、静止画／動画が添付されたメール作成画面が表示されます。

2 送信方法を選ぶ

◆ **[メール添付]**
- ・撮影した静止画が添付されます。

◆ **[メール挿入]**
- ・撮影した静止画が本文に挿入され、デコメール®になります。

◆ **[投稿]▶投稿先にカーソルを合わせる▶[決定]**
- ・撮影した静止画が添付されます。

- 撮影した静止画は自動的に保存されます。

3 メール／デコメール®を作成･送信

- メール添付の場合、添付する静止画や動画によっては、画像サイズやファイルサイズを変更する画面が表示されます。表示される画面については、P.143「ファイルを添付する」を参照してください。
- メール挿入の場合、挿入する静止画によっては、画像サイズやファイルサイズを変更する画面が表示されます。表示される画面については、P.139「デコメール®を作成して送信する」を参照してください。

プリティアレンジカメラ

人物の顔を撮影してアレンジする

人物の顔を撮影したあとに、顔を小さくしたり、目を大きくしたりするなどのアレンジができます。また、タッチパネルを使って、撮影した画像に手書きで描画することができます。

1 カスタムメニューで[カメラ]▶[プリティアレンジカメラ]

2 [📷]／◙

- 静止画を撮影します。

3 [プリティ]

- 撮影した顔画像の顔と目の大きさや肌の色が自動的に１回アレンジされ、顔アレンジ画面が表示されます。
- 手書き入力：[アレンジ]
  - ・撮影した画像が自動的に保存され、手書き入力画面が表示されます。以降の操作については☞P.400「手書きメモを作成する」の操作２へ
  - ・手書き入力を行うと、顔のアレンジ操作に戻れません。人物の顔をアレンジする場合は操作５のあとに手書き入力を行ってください。

4 人物の顔をさらにアレンジする

- 顔の大きさを変更する：[小顔美人]
- 肌の色を変更する：[色白美人]
- 目の大きさを変更する：[瞳美人]
- １つ前の状態に戻す：[１つ戻る]
- アレンジはそれぞれ２回まで操作でき、３回目の操作でアレンジされていない画像になります。３回以上アレンジする場合は、操作５のあとに[プリティ]をタッチしてください。

カメラ

次ページへ続く▶▶

5 ［決定］

6 ［保存］

- 画像を保存します。
- メールで送信：［メール］▶メールを作成・送信
- 高速赤外線通信で送信（IrSS™機能）（☞P.345）：［IrSS］▶送信方法を選ぶ

- 撮影時に顔が検出されていないと、顔をアレンジできないことがあります。
- 複数の顔が検出された場合、すべての顔がアレンジされます。
- 作成した画像はデータBOXのマイピクチャの［カメラ］フォルダに保存されます。

■ プリティアレンジカメラ画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、静止画撮影画面のサブメニュー操作（☞P.227）を参照してください。
  - ■ カメラモード切替
  - ■ 撮影メニュー（ピクチャーライト、セルフタイマー、明るさ調整、フレーム撮影）
  - ■ AFモード
  - ■ サイズ選択
  - ■ 画質選択
  - ■ カメラ設定（全画面モード切替、カメラ設定保持）
  - ■ 保存先選択
  - ■ データBOX表示
  - ■ 操作ガイド

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってバーコード（JANコード、QRコード）を読み取ると、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To、Bookmark登録、電話帳登録、文字表示、ｉアプリToを利用できます。読み取った文字のコピーや貼り付け、メロディの再生や保存、画像またはトルカの表示や保存を行うこともできます。

- 読み取り結果をmicroSDカードに保存することはできません。

JANコードとは

- 幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。
- 右のJANコードを読み取ると［4942857119022］と表示されます。
- JAN 8、JAN13を読み取ることができます。

QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。
- 右のQRコードを読み取ると［株式会社NTTドコモ］と表示されます。

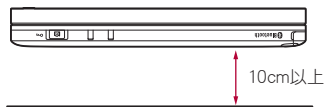
CODE128とは

- 幅の異なる縦の線（バー）で数字やアルファベットなどを表現しているバーコードです。
- CODE128を読み取るには、対応しているｉアプリのソフトをダウンロードする必要があります（☞P.307）。

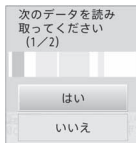
バーコード（JANコード、QRコード）から文字を読み取って利用する<バーコードリーダー>

- バーコード（JANコード、QRコード）から読み取った文字を利用して、ｉモード接続、フルブラウザ接続、メール作成、音声電話やテレビ電話の発信、SMS作成、ｉアプリの起動などを行うことができます。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないときがあります。

1 カスタムメニューで［カメラ］／［LifeKit］▶［バーコードリーダー］

2 ディスプレイの中央に読み取るバーコード(JANコード、QRコード)を表示▶[読取]／📷

- ディスプレイに表示されているバーコードを撮影せず、直接読み取ります。
- バーコード(JANコード、QRコード)の真正面からカメラまでを10cm以上離して、バーコードやFOMA端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。
- 読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

分割されたデータについて

- QRコードには、分割されたデータ(最大16個)を読み取って１つのデータとなるものがあります。分割されたデータを読み取ったときはメッセージが表示されます。( )には残り個数／全連結数が表示されています。
[はい]を選ぶと次のQRコードの読み取り画面に進みます。次のQRコードをディスプレイの中央に表示させると、自動的に次のQRコードを読み取ります。操作を繰り返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。

3 読み取り結果を利用する

- 読み取った文字や数字に下線が付いているとき：読み取った文字を選ぶ
  - 読み取った文字の内容に応じた画面が表示されます。
- 読み取った文字をすべてコピー：[全コピー]

■ バーコードリーダー画面のサブメニュー操作

[カメラモード切替]▶カメラモードを選ぶ

[保存データ]▶保存データを選ぶ

[AFモード切替]▶設定を選ぶ
- AFモード切替の詳細については☞P.232

■ 読み取り結果画面のサブメニュー操作

[電話帳登録]▶電話帳に登録

[Bookmark登録]▶Bookmarkに登録

[コピー]▶始点にカーソルを合わせる▶[開始]▶終点にカーソルを合わせる▶[コピー]

[保存]▶保存先を選ぶ

QRコードから画像、トルカやメロディを読み取って利用する

1 QRコードを読み取る

- 読み取り結果画面に、読み取ったデータの種類に合わせて[画像]／[メロディ]／[トルカ]と表示されます。

2 読み取り結果を選ぶ▶利用方法を選ぶ

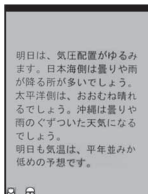
- 複数のトルカが含まれている場合に[表示]を選んだときは、先頭のトルカのみ取得します。
- [保存]を選んだときは、画像はデータBOXのマイピクチャの[外部取得データ]フォルダ、メロディはデータBOXのメロディの[外部取得データ]フォルダ、トルカはおサイフケータイメニューのトルカの[トルカフォルダ]内に保存されます。

コラムリーダー

コラムリーダーを利用する

カメラを使って、新聞や雑誌などの記事を読み取り、メールやテキストメモを作成できます。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、文字サイズによっては、正しく読み取れないときがあります。

1 カスタムメニューで[カメラ]▶[コラムリーダー]

- 読み取る領域を選ぶ:[領域選択]▶領域を選ぶ

2 ディスプレイに読み取る文字を表示▶[読取]／▣

- 領域を[オート]以外に設定した場合は、操作4へ

3 読み取るコラムにカーソルを合わせる▶[選択]▶[決定]

- カーソルを合わせているコラムは青色で表示されます。
- 選択したコラムは緑色で表示されます。
- 複数のコラムを選択できます。

4 読み取り結果を利用する

- 読み取った文字を辞書で検索:[辞書検索]▶辞書を選ぶ▶辞書で検索する
- テキストメモを作成:[テキストメモ]▶テキストメモを作成
- メールを作成:[メール]▶メールを作成・送信

■ コラムリーダー画面のサブメニュー操作

[カメラモード切替]▶カメラモードを選ぶ

[AFモード] ☞P.232

英数字や記号を1行ずつ読み取る＜1行読み取り＞

URL、メールアドレス、電話番号、英単語を1行ずつ読み取って、利用することができます。

- 読み取れる文字は次のとおりです。URL、メールアドレス、電話番号、英単語などのカテゴリは、読み取った文字によって自動的に識別されます。漢字やひらがななど、全角の文字は認識できません。

URL	半角英字、半角数字、半角記号[. -(ハイフン)_ : / ~]
メールアドレス	半角英字、半角数字、半角記号[. @ -(ハイフン)_ .]
電話番号	半角数字、半角記号[-(ハイフン)+ P # *]
英単語	半角英字、半角数字、半角記号[-(ハイフン) / ? ! @ + * ' ( ) , . &]

1 コラムリーダー画面で[1行読取]

- コラムリーダーに戻る:[コラムリーダー]

2 ディスプレイの〔 〕枠内の中央に読み取る文字を表示▶[📷]／▣

- 〔 〕の端の文字は読み取りにくいときがあります。
- 被写体表示の下にあるバーが最も青い色になるように、撮影する印刷物などとの距離を調整してください。
- 一度の操作で読み取る文字数は、60文字以内を目安にしてください。
- ピクチャーライト切替:[ライト]
- 複数の行を撮影したとき:[▼]／[▲]で読み取る行を指定
  - 文字の読み取りは、1行単位で行います。

3 [読取]／▣

- 読み取り結果の編集:[編集]／▣▶文字を編集▶[決定]
- 読み取り結果のカテゴリ変更:左右にすばやくスライド
  - 読み取り結果が電話番号のときは、カテゴリを変更できません。
- 読み取りをやり直す:[再読取]▶[はい]

4 [完了]▶読み取り結果を利用する

- URLを利用してサイトに接続(カテゴリ:URL):[iモード接続]／[フルブラウザ接続]
- メールアドレスを利用してメールを作成(カテゴリ:Mail):[はい]▶メールを作成・送信
- 電話番号を利用する(カテゴリ:Tel)
  - 音声電話をかける:[📞]／[📞]▶[はい]
  - テレビ電話をかける:[テレビ電話]▶[はい]
  - SMSを作成:[SMS]▶[はい]▶SMSを作成・送信
- 読み取った文字を辞書で検索(カテゴリ:Word):[はい]▶辞書を選ぶ▶辞書で検索する

- 読み取る文字のカテゴリが電話番号のとき、( )は-(ハイフン)となります。また、電話帳に登録するときや電話をかけるときには、-(ハイフン)は削除されます。

- 読み取る文字のカテゴリがURLのとき、対象のURLの「http://」が一部省略されていても、読み取り結果に追加されます。

■ 1行読み取り画面のサブメニュー操作

[読み取り対象選択] ▶ カテゴリを選ぶ

[AFモード切替] ▶ 設定を選ぶ
- AFモード切替の詳細については☞P.232

[反転モード切替] ▶ 設定を選ぶ
- 読み取る文字の種類を切り替えます。

[反転モード切替]について
- 反転モードに応じて、画面中央のアイコンが[AUTO]／[A]／[A]に切り替わります。

■ 1行読み取り結果画面のサブメニュー操作

[続き読み取り] ▶ 文字を読み取る
- 先に読み取った文字につなげて、1つの文として利用できます。256文字まで読み取りできます。

[追加読み取り] ▶ 文字を読み取る
- 最大3回に分けて読み取った文字を、1つのグループとして関連づけます。

[電話帳登録] ▶ 電話帳に登録

[Bookmark登録] ▶ Bookmarkに登録

[辞書検索] ▶ [はい] ▶ 辞書を選ぶ ▶ 辞書で検索する
- 辞書の検索方法の詳細については☞P.396

[編集] ▶ 文字を編集 ▶ [決定]

[全コピー]

[削除] ▶ [はい]

[電話帳登録]について
- 電話帳には識別したカテゴリに応じて、次の項目に登録されます。

[URL]	メモ	[Mail]	メールアドレス
[Tel]	電話番号	[Word]	名前／フリガナ

名刺リーダー

名刺リーダーを利用する

カメラを使って名刺（日本語、英語）を読み取り、FOMA端末電話帳に新規登録できます。
- 登録できる項目は次のとおりです。
  - ■ 名前 ■フリガナ（姓のみ）
  - ■ 電話番号／携帯電話番号／FAX番号（最大合計3件）
  - ■ メールアドレス（最大3件） ■ 会社・学校 ■ 会社・学校のフリガナ
  - ■ 所属 ■ 役職 ■ 郵便番号 ■ 住所
  - ■ メモ（登録日、URL、その他の項目） ■ ピクチャーコール設定

1 カスタムメニューで[カメラ]／[LifeKit] ▶ [名刺リーダー]

2 ディスプレイの中央に名刺を表示 ▶ [読取]／◙
- シャッター音が鳴ります。
- 名刺全体がディスプレイに表示されている枠に納まるようにFOMA端末を固定してください。名刺以外のもの、特に文字を含むものがディスプレイ内に入らないようにしてください。
- 名刺をディスプレイに表示する際、縦向き横向きどちらでも読み取ることができますが、斜めにはしないでください。
- できるだけ名刺を大きく表示すると読み取りやすくなりますが、カメラを名刺に近づけすぎるとピントが合いにくくなります。名刺からカメラまでの距離は約10cm離してください。

カメラ

次ページへ続く ▶▶

3 **[登録]▶電話帳に登録**

- 撮影した名刺画像が自動的に保存され、電話帳登録画面が表示されます。電話帳登録画面には、読み取った項目が入力されています。
- 電話番号／携帯電話番号／FAX番号が合計４件以上あるときや、メールアドレスが４件以上あるときは、それぞれ上から３件目まで登録されます。電話種別アイコンは[ ]／[ ]／[ ]が、メールアドレス種別アイコンは[ ]が登録されます。
- 撮影した名刺画像はピクチャーコールに設定されます。ただし、発着信時や、リダイヤル／着信履歴の詳細画面では表示されません。

- 名刺によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。
- 読み取り対象外の名刺は次のとおりです。
  - ■ 日本語および英語以外の名刺
  - ■ 背景が付いている名刺
  - ■ 手書きまたは手書き風のフォントを使用した名刺
  - ■ 縦書きと横書きが混在した名刺
  - ■ ディスプレイなどに表示された名刺
- 読み取り性能が低下する名刺は次のとおりです。
  - ■ 文字が薄くコントラストの低い名刺
  - ■ 極端に小さい文字を含む名刺
  - ■ 斜体フォントを含む名刺
  - ■ 光沢のある用紙に印刷された名刺
  - ■ ロゴまたはロゴ風書体の文字を含む名刺
  - ■ 文字どうしの間隔が狭く接触している文字を含む名刺
- フリガナは正しい読みかたにならない場合や、自動付与されないときがあります。
- 項目の分類は正しく認識されないことがあります。
- 撮影した名刺画像はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに保存されます。

■ 名刺リーダー画面のサブメニュー操作

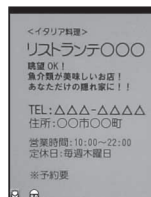
[カメラモード切替]▶カメラモードを選ぶ	
[AFモード]	☞P.232

情報リーダー

情報リーダーを利用する

カメラを使って、雑誌などから店名や電話番号などの情報を読み取り、FOMA端末電話帳に新規登録できます。

- 登録できる項目は次のとおりです。
  - ■ 店名　■ 電話番号（最大３件）　■ メールアドレス（最大３件）
  - ■ 住所　■ メモ（営業時間、定休日、URL、アクセス、その他の項目）
  - ■ ピクチャーコール設定

1 **カスタムメニューで[カメラ]／[LifeKit]▶[情報リーダー]**

2 **ディスプレイの中央に情報を表示▶[読取]／**

- シャッター音が鳴ります。
- 読み取りたい情報がディスプレイに納まるようにFOMA端末を固定してください。ただし、ディスプレイに表示される文字が小さくなる場合は、電話番号や住所などを表示して読み取れる大きさにしてください。
- 読み取りたい情報をディスプレイの中央付近に表示してください。
- できるだけ読み取りたい情報を大きく表示すると読み取りやすくなりますが、カメラを読み取りたい情報に近づけすぎるとピントが合いにくくなります。読み取りたい情報からカメラまでの距離は約10cm離してください。

3 **[登録]▶電話帳に登録**

- 撮影した画像が自動的に保存され、電話帳登録画面が表示されます。電話帳登録画面には、読み取った項目が入力されています。
- 電話番号やメールアドレスが４件以上あるときは、それぞれ上から３件目まで登録されます。

- 撮影した画像はピクチャーコールに設定されます。ただし、発着信時や、リダイヤル／着信履歴の詳細画面では表示されません。

- 雑誌などの記載内容によっては読み取れないものや、正しく認識されないものがあります。
- 読み取り対象外のものは次のとおりです。
  - ■ 漢数字で書かれた電話番号
- 読み取り性能が低下するものは次のとおりです。
  - ■ ざらついた紙面などに印刷されたもの
  - ■ 店名などにふりがながあるもの
  - ■ 部分的に文字が反転しているもの
- その他の読み取り対象外のものや、読み取り性能が低下するものなどの注意事項については、名刺リーダーを参照してください。
- 撮影した画像はデータBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに保存されます。

■ 情報リーダー画面のサブメニュー操作

- 情報リーダー画面のサブメニュー操作は、名刺リーダー画面のサブメニュー操作（☞P.242）を参照してください。

カメラルーペ

ルーペとして利用する

カメラを使って新聞の小さい文字などを拡大し、ディスプレイで見ることができます。そのまま静止画撮影することもできます。

- 約3.0倍に拡大されて表示されます。

1 カスタムメニューで[カメラ]▶[カメラルーペ]

- 静止画撮影する：P.226「静止画を撮影する」の操作2へ
- 静止画撮影と同様に設定を変更できます（☞P.230、P.235）。

モーションデコ

動画撮影してデコメ®ピクチャを作成する

動画撮影したデータをGIFアニメーションとして読み取り、オリジナルのデコメ®ピクチャやデコメ®絵文字を作成できます。

- 撮影中に撮影残時間表示が00:00:00になると、自動的に撮影が停止します。
- データBOXに保存されている動画／iモーションからも、デコメ®ピクチャを作成できます（☞P.353）。

1 カスタムメニューで[カメラ]▶[モーションデコ]

2 ディスプレイの赤枠内に読み取りたいものを表示▶[録画]／◙

- 撮影開始音が鳴ります。
- 撮影を止めるとき：[停止]／◙
  - ・撮影停止音が鳴ります。

3 [保存]／◙

- デコメール®を送信（☞P.139）：[メール]▶デコメール®を作成・送信

■ モーションデコ撮影画面のサブメニュー操作

[カメラモード切替]▶カメラモードを選ぶ
[サイズ変更]▶サイズを選ぶ

- 撮影サイズが小さいほど、きれいな画像でデコメ®ピクチャ、デコメ®絵文字を作成できます。

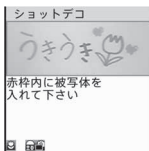
カメラ

- 読み取った映像はデータBOXのマイピクチャの[デコメピクチャ]フォルダに保存されます(撮影サイズが「絵文字:20×20」のときは[デコメ絵文字]フォルダに保存されます)。

ショットデコ

静止画撮影してデコメ®ピクチャを作成する

静止画撮影した手書きの絵や文字をGIF画像として読み取り、オリジナルのデコメ®ピクチャやデコメ®絵文字を作成できます。また、読み取った画像を合成して、GIFアニメーションを作成することもできます。

1 カスタムメニューで[カメラ]▶[ショットデコ]

2 ディスプレイの赤枠内に読み取る絵や文字を表示▶[ ]／

- シャッター音が鳴ります。

3 [保存]／

- 画像の色を変更:色をタッチ
- 画像の反転状態を変更:[ ]
- 画像を元に戻す:[ ]
- デコメール®を送信(☞P.139):[メール]▶デコメール®を作成・送信

■ ショットデコ撮影画面のサブメニュー操作

[カメラモード切替]▶カメラモードを選ぶ

[サイズ変更]▶サイズを選ぶ

[静止画・アニメモード切替]▶モードを選ぶ

GIFアニメーションを作成する<アニメ>

最大5枚の画像を合成して、GIFアニメーションを作成できます。

1 ショットデコ撮影画面で[アニメ]

- 静止画モードに戻る:[静止画]

2 ディスプレイの赤枠内に読み取る絵や文字を表示▶[ ]／

- シャッター音が鳴ります。
- 最大5枚まで撮影します。
- 全枚数を撮影するか、[中止]をタッチして撮影を中止すると、プレビュー画面が表示されます。

3 [保存]

- 合成後の画像を確認:[プレビュー]
  - 画像の保存:[保存]／
- デコメール®を送信(☞P.139):[メール]▶デコメール®を作成・送信

- 罫線付きのノートなどに書いても、罫線を除いて絵や文字を読み取ります(罫線を読み取る場合もあります)。また、白色の背景も除いて絵や文字のみ読み取ります。
- 読み取った画像はデータBOXのマイピクチャの[デコメピクチャ]フォルダに保存されます(撮影サイズが「絵文字:20×20」のときは[デコメ絵文字]フォルダに保存されます)。
- 被写体や撮影場所によってノイズが目立つ場合、明るさを調整するときれいに撮影できることがあります。

ワンセグ

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、ｉモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記のホームページなどでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
パソコンから　http://www.dpa.or.jp/
ｉモードから　http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者(放送局)などが用意したサイトに接続し表示します。また、「ｉモードサイト」などへ接続する場合もあります。なお、サイトへ接続する場合は、別途ｉモードのご契約が必要です。
「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの(ｉモード有料サイト)があります。
ワンセグの視聴中に自動的にトルカを保存する場合があります。保存したトルカから詳細情報を取得する場合は、パケット通信料がかかります。

電波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波(放送波)を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- ■ 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- ■ 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- ■ トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

はじめてワンセグを利用する場合の画面表示

お買い上げ後、はじめてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
表示される内容を確認して[確認 Check]をタッチしてください。以後、同様の確認画面は表示されません。

- ● 次の操作をすると、ご利用確認画面が再度表示されるようになります。
  - ■ 設定リセット
  - ■ 別のFOMAカードに差し替える
  - ■ ユーザデータ削除
  - ■ ワンセグ設定リセット

放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者(放送局)の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。

保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。
放送用保存領域を消去するには☞P.264
別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカード未挿入の場合は、放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。[いいえ]を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■ 放送用保存領域の読み出し時の画面表示

番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、[放送用保存領域内の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります]と表示されます。[はい]を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また、[はい（以後非表示）]を選択すると、以降、番組が変わっても確認は行われません。

ワンセグをご利用になる前に

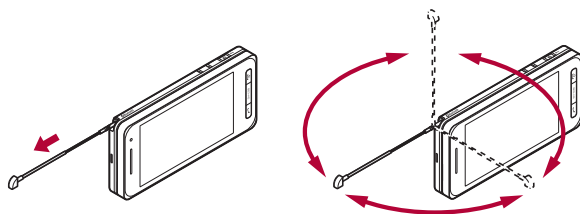
ワンセグの視聴手順

例：はじめてワンセグを視聴するとき

STEP 1　チャンネルを設定する
☞P.248
ご利用になる地域に対応したチャンネルリストを登録し、利用するチャンネルリストを選択します。

STEP 2　ワンセグを見る
☞P.250
ワンセグアンテナを伸ばし、ワンセグを起動します。

ワンセグアンテナについて

- ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。
- ワンセグアンテナを収納するときは、先端を持って無理に収納しようとしないでください。破損の原因となります。下の方を持ってまっすぐに下ろし、先端まで完全に収納してください。

- ワンセグアンテナをご使用の際は、ワンセグアンテナを最後まで引き出してください。ワンセグアンテナを最後まで引き出していない状態で無理な力を加えると、破損の原因となります。

ご利用にあたっての留意点

- 充電しながらワンセグの視聴を長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。
- FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって、保存内容が消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、端末内に保存した情報（ワンセグから録画したビデオや静止画、テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報など）は移し替えできません。
- 海外では、放送形式や放送の周波数が異なるため利用できません（FOMA端末でビデオ録画したワンセグの番組は視聴できます）。
- 電池残量が不足すると、確認画面が表示されます。しばらくの間何も操作しないと、自動的にワンセグが終了します。

チャンネル設定

チャンネルを設定する

ワンセグを利用するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネルリストを1つ選択しておく必要があります。

- チャンネルリストの登録方法は、自動チャンネル設定とプリセットチャンネル設定の2種類があります。
- チャンネルリストは9つまで登録できます。また、1つのチャンネルリストには放送局を62件まで登録できます。

チャンネルリストに自動で登録する <自動チャンネル設定>

あらかじめ用意されている各地域の放送局の情報から、ご利用になる都道府県／地区を選び、自動的に放送局を検索してチャンネルリストに登録します。

- 自動チャンネル設定は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内でワンセグアンテナを十分伸ばしてから行ってください。

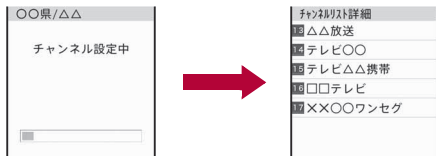
1 カスタムメニューで[ワンセグ]▶[チャンネル設定]

2 登録先にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[自動チャンネル設定]▶[はい]

- [自動設定]をタッチしても、自動チャンネル設定ができます。

3 地域を選ぶ

4 都道府県／地区を選ぶ

- 放送局の検索が開始されます。検索終了まで、約40秒かかります。

5 [決定]▶[はい]

- チャンネルリストを更新／変更したとき：[はい]

用意されているチャンネルリストを登録する <プリセットチャンネル設定>

あらかじめ用意されている各地域の放送局の情報から、ご利用になる都道府県／地区を選んでチャンネルリストに登録します。

1 カスタムメニューで[ワンセグ]▶[チャンネル設定]

2 登録先にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[プリセットチャンネル設定]

- [プリセット]をタッチしても、プリセットチャンネル設定ができます。

3 地域を選ぶ

4 都道府県／地区を選ぶ

5 [決定]▶[はい]

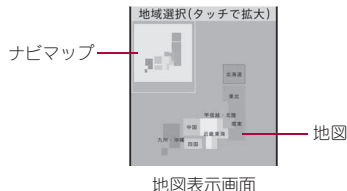
- チャンネルリストを更新／変更したとき：[はい]

- プリセットチャンネル設定で正しく設定できないときは、自動チャンネル設定を行ってください。

チャンネルを設定するときに地図を表示する

自動チャンネル設定やプリセットチャンネル設定で地域、都道府県／地区を選ぶときに地図を表示して選ぶことができます。

1 地域／都道府県／地区一覧画面で[操作切替]

ワンセグ

地図表示画面

- 地区を選択:地域を選ぶ▶都道府県を選ぶ▶地区を選ぶ
- 地図の拡大/縮小:2本の指の間隔を広げる/狭める
  - ・地図を拡大すると、地域/都道府県を選ばなくても地区を選ぶことができます。
- 地図の移動:上下左右にスライド
- ナビマップには、地図で表示されている部分が水色枠で表示されます。ナビマップをタッチすると水色枠が移動し、地図を移動できます。
- ナビマップの移動:ナビマップをタッチしたまま上下左右にスライド
- 一覧表示に切替:[操作切替]

利用するチャンネルリストを選択する＜チャンネル設定＞

1 カスタムメニューで[ワンセグ]▶[チャンネル設定]

2 チャンネルリストを選ぶ

- 設定したチャンネルリストには、[✔]が表示されます。

■ チャンネルリスト一覧画面のサブメニュー操作

[詳細]	
[自動チャンネル設定]	☞P.248
[プリセットチャンネル設定]	☞P.248
[タイトル編集]▶タイトルを編集▶[決定]	
[削除]	
▶[1件削除]▶[はい]	
▶[選択削除]▶チャンネルリストを選ぶ▶[確定]▶[はい]	
▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]	

[詳細]について

- ワンセグ視聴画面のサブメニューから[チャンネルリスト]の[チャンネル設定]を選択した場合、利用中のチャンネルリストの詳細から放送局にカーソルを合わせて[選局]をタッチすると選局できます。

[タイトル編集]について

- 全角・半角40文字まで入力できます。

[削除]について

- 利用中のチャンネルリストは削除できません。

■ チャンネルリスト内の放送局を削除する＜削除＞

- 放送局が1件しか登録されていないときは削除できません。

1 チャンネルリスト一覧画面で[サブメニュー]▶[詳細]▶[編集]

2 放送局にカーソルを合わせる▶[削除]▶[はい]

■ リモコン番号を変更する＜リモコン番号変更＞

- リモコン番号1~12に割り当てたチャンネルは、ワンタッチで選局できます(☞P.251、P.252)。

1 チャンネルリスト一覧画面で[サブメニュー]▶[詳細]▶[編集]

2 放送局にカーソルを合わせる▶[選択]▶変更先にカーソルを合わせる▶[入替]▶[はい]

- 放送局を選ぶ▶選択した放送局をタッチしたまま変更先に重ねるようにスライド▶[はい]でも操作できます。

■ アイコンを表示してチャンネルリストを編集する

チャンネルリスト編集画面では、画面に表示されるアイコンで次の操作ができます。

⊗	放送局の選択を解除
🗑	放送局をチャンネルリストから削除
←／→	前／次のページへ移動

1 **チャンネルリスト編集画面で放送局を選ぶ**

2 **選択した放送局をタッチしたままアイコンの上に重ねるようにスライド**

- 選択した放送局をタッチしている間アイコンが表示されます。

ワンセグ視聴

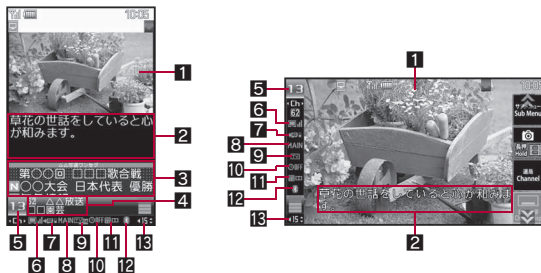
ワンセグを見る

- 市販のBluetooth機器を接続すると、ワンセグの音声をBluetooth機器から再生できます（☞P.428）。

1 **待受タッチランチャで[ワンセグ視聴]**

- 放送用保存領域の初期化を確認するメッセージが表示されたときは、内容を確認して[はい]を選択してください。

- サイトやメールなどに表示されている番組情報からワンセグを起動することもできます（☞P.190）。
- マナーモード設定中にワンセグを起動すると、音声の有無を確認するメッセージが表示されます。設定を選んでください。
- ワンセグ視聴時には、カラーテーマなどの色が変わることがあります。

■ ワンセグ視聴画面の見かた

1 映像

2 字幕

- 横表示のときは、表示モード切替（横）の設定によって表示されるものが異なります。
  - ■ [映像＋データ放送]／[映像（標準）]のとき：字幕／データ放送／放送局・番組名が表示されます。表示されるものはコントロールボタンで変更できます。
  - ■ [映像（全画面）]／[映像（全画面・倍速）]のとき：字幕設定に従って、字幕／放送局・番組名が表示されます。字幕の位置は変更できます。

3 データ放送

4 放送局・番組名

5 チャンネル番号

6 放送電波受信状態

📺.ıl	📺.ıl 強	←→	📺. 弱

- [📺×]が表示されているときは、放送電波の届かない場所にいます。

7 録画状態マーク

➔本体	ビデオ録画先設定：本体
➔SD	ビデオ録画先設定：microSD

	ビデオ録画先設定:自動(本体優先)
	ビデオ録画先設定:自動(microSD優先)
	録画準備中
	FOMA端末に録画中
	microSDカードに録画中

8 主/副音声設定

MAIN	主音声	MAIN+SUB	主音声+副音声
SUB	副音声		

9 操作モード

	映像モード(データ放送表示)
	映像モード(データ放送非表示)
	データ放送モード

10 オフタイマー設定中

OFF	オフタイマー設定中

11 Dolby Mobile 設定

	Virtual5.1ch(イヤホン)		ドラマ
			バラエティ
	ジャンル連動		ミュージック
NORMAL	ノーマル		映画
	ニュース		オリジナル
	スポーツ		

12 Bluetooth出力

	Bluetooth出力中

13 音量

15	0(音量0)~25(音量25)、(ミュート)、(Bluetooth出力中)

● 横表示でデータ放送を表示していない場合、番組と連動したデータ放送があるとき、ワンセグ視聴画面に[]が表示されることがあります。

■ ワンセグ視聴画面のタッチパネル操作

● タッチパネルの主な操作については☞P.35
● 映像領域をタッチすると映像モードになり、データ放送領域をタッチするとデータ放送モードになります。

映像モード

● 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示/横表示	機 能
長押Hold	静止画録画※1
選局 Channel	ワンタッチ選局※2
字幕 Caption	字幕の表示切替※3
番組情報 Program info	放送局・番組名の表示切替※3
データ放送 Data BC	データ放送の表示切替※3
音量 Volume 長押 Hold	音量アップ※4
音量 Volume 長押 Hold	音量ダウン※4
停止 Stop	録画停止※5
中止 Cancel	ワンタッチ選局、サーチ選局の中止

※1 ロングタッチすると、ビデオ録画を開始します。
※2 ワンタッチ選局画面が表示されます。選局するチャンネルのリモコン番号をタッチしてください。
※3 横表示で表示モード切替(横)が[映像+データ放送]/[映像(標準)]のとき表示されます。タッチすると[字幕 Caption]→[番組情報 Program info]→[データ放送 Data BC]の順に切り替わります。

ワンセグ

※4　ロングタッチすると、連続して音量を調節できます。
※5　録画中に表示されます。
・ 表示モード切替(横)が[映像(全画面)]／[映像(全画面・倍速)]の場合は、横表示のとき画面をタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

● 映像領域で次のタッチ操作ができます。

音量調節	上下にすばやくスライド
UP／DOWN選局	左右にすばやくスライド
全画面表示切替※	映像領域をタッチして2本の指の間隔を広げる／狭める

※ 横表示でのみ操作できます。

データ放送モード

● 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示／横表示	機　能
OK	決定
︿ 長押 Hold	行戻し※
﹀ 長押 Hold	行送り※

※ ロングタッチすると、連続して行を移動します。

● データ放送領域で次のタッチ操作ができます。

画面を上下にスクロール	上下にスライド
データ放送領域の拡大／縮小※	拡大／縮小バーをタッチしたまま上下にスライド

※ 横表示でのみ操作できます。

■ ワンセグ視聴画面のボタン操作

映像モード

ワンタッチ選局※1	1～9、0、O、P
UP／DOWN選局※2	◙
サーチ選局※3	◙(1秒以上)／◙(1秒以上) ● サーチ選局の中止：CLR
音量調節(音量0～25)※4	◙
ミュート／解除	✓
字幕設定ON／OFF	✓(1秒以上)
ビデオ録画	Fn＋1(1秒以上) ● 録画停止：Fn＋1
静止画録画	Fn＋1
映像／データ放送モードの切替	Fn＋3
番組表ｉアプリ起動	Fn＋4
表示モード切替※5	Fn＋4(1秒以上)
ワンセグ終了	⌒／CLR ▶ [はい]

※1　1～9、0、O、Pはそれぞれ、リモコン番号1～9、10、11、12に対応しています。
※2　リモコン番号1～62を順送り／逆送りで選局します。
※3　受信可能な放送局を周波数順に検索して切り替えます。
※4　ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。
※5　表示モード切替(横)が[映像＋データ放送]→[映像(標準)]→[映像(全画面)]→[映像(全画面・倍速)]の順に切り替わります。

データ放送モード

選択したサイトに接続	◙
データ放送項目選択	◙
前ページに戻る／次ページに進む	◙
ビデオ録画	Fn＋1(1秒以上) ● 録画停止：Fn＋1
静止画録画	Fn＋1
データ放送の操作※	1～9、0、Fn＋D、Fn＋S、CLR

※ 操作内容はデータ放送によって異なります。

■ ワンセグ視聴画面のサブメニュー操作

[番組表起動]
● 番組表の詳細については☞P.256

[チャンネルビュー] ☞P.255

[チャンネルリスト]
▶[チャンネル設定] ☞P.248
▶[チャンネル追加登録]
● 視聴中の放送局をチャンネルリストに登録します。
▶[サービス選局]▶サービスを選ぶ
● 同じチャンネル内に別のサービス(番組)が放送されている場合に視聴するサービスを選択できます。
▶[チャンネルサーチ(UP)]
▶[チャンネルサーチ(DOWN)]

[番組情報]

[録画]
▶[静止画録画(F1短押)] ☞P.258
▶[録画(F1長押)] ☞P.257
▶[録画終了時間] ☞P.257
▶[ビデオ録画先設定] ☞P.263
▶[予約録画時画面表示]▶設定を選ぶ
● 録画予約によってワンセグが起動したときに省電力モードにするかどうかを設定します。

[Bluetooth出力] ☞P.429

[ミュート]

[Dolby Mobile 設定]▶設定を選ぶ
● [オリジナル]を選択したときは、項目設定して[OK]をタッチ

[画質設定]
▶[鮮やか画質モード設定]▶画質モードを選ぶ
● 画質モードの詳細については☞P.112
▶[明るさ調整]▶調整方法を選ぶ
● [手動]のとき:[手動]▶[明るさ▲]／[明るさ▼]で明るさを調整▶[OK]

[表示設定]
▶[表示モード切替(縦)]▶表示方法を選ぶ
● 縦表示時の映像・データ放送の表示サイズを切り替えます。
▶[表示モード切替(横)]▶表示方法を選ぶ
● 横表示時の映像・データ放送の表示サイズを切り替えます。
▶[マーク表示設定(横)]▶表示方法を選ぶ
● 横表示時にマークを表示するかどうかを設定します。
▶[アプリケーション領域(縦)]▶表示方法を選ぶ
● 縦表示時に放送局・番組名を表示するかどうかを設定します。

[字幕設定]
▶[字幕表示]▶設定を選ぶ
▶[字幕位置(横全画面)]▶設定を選ぶ
● 横表示で映像を全画面表示中の字幕の位置を設定します。
▶[起動時設定]▶設定を選ぶ

[オフタイマー]▶設定を選ぶ
● 設定した時間が経過するとワンセグを自動的に終了します。

[省電力モード]▶設定を選ぶ
● 映像や音声をOFFにします。

[操作切替] ☞P.262

[データ放送]
▶[再読み込み]
● データ放送サイトを再読み込みします。
▶[証明書表示]
▶[データ放送に戻る]
● データ放送サイトからデータ放送に戻ります。
▶[画像表示設定] ☞P.264
▶[効果音鳴動設定] ☞P.264

▶[確認表示設定リセット] ☞P.264

[テレビリンク] ☞P.263

[紹介メール作成]▶メールを作成・送信

● 番組情報を記載したｉモードメールを作成します。

[操作ガイド]

[ワンセグ設定]

▶[主／副音声切替]▶設定を選ぶ

▶[音声切替]▶設定を選ぶ

▶[エフェクト設定]▶設定を選ぶ

● 横表示でUP／DOWN選局するときのエフェクト（効果）を設定します。

▶[オートエリア切替]▶設定を選ぶ

● 放送エリアが変わったときにチャンネルリストを自動的に変更します。

▶[設定確認]

[チャンネル追加登録]について

● 利用中のチャンネルリストと異なる地域の番組を視聴しているときは、チャンネル追加登録できないことがあります。

[チャンネルサーチ(UP)]、[チャンネルサーチ(DOWN)]について

● 受信可能な放送局を周波数順に検索して切り替えます。

[Dolby Mobile 設定]について

● バーチャル5.1chサラウンドの音声で聞くときは[Virtual5.1ch（イヤホン）]に設定し、ステレオイヤホンを利用してください。

[表示モード切替(横)]について

● [映像（全画面・倍速）]に設定すると、映像のコマ数を自動的に２倍に変換し、なめらかな映像を表示します。

[マーク表示設定(横)]について

● ディスプレイ上部に表示されるマーク（時計表示や電波状態表示など）について設定できます。[一時表示]のときは、チャンネルや音量などを操作するたびに約７秒間表示されます。

[アプリケーション領域(縦)]について

● 放送局・番組名やチャンネル番号をディスプレイに表示するかを設定できます。[一時表示]に設定すると、チャンネルなどを操作するたびに約７秒間表示されます。

[字幕設定]について

● 番組によって字幕の有無は異なります。字幕表示が[ON]のとき、縦表示で表示モード切替（縦）が[映像＋データ放送]の場合は番組の字幕の有無にかかわらず字幕領域が表示されます。

● 起動時設定が[マナーモード連動]のときは、マナーモード設定中にワンセグを起動すると字幕が表示されます。

● 横表示で表示モード切替（横）が[映像＋データ放送]／[映像（標準）]のときは、字幕表示を[ON]に設定しても表示されません。[字幕 Caption]をタッチして表示してください。

[省電力モード]について

● [画面OFF（音声のみ）]に設定すると、映像がOFFになり音声のみ出力されます。[画面・音声OFF]に設定すると、映像と音声がOFFになります。[画面・音声OFF]はワンセグ録画中のみ設定できます。

● いずれかのボタンを押すか、FOMA端末を開閉すると、設定は解除されます。[画面・音声OFF]に設定している場合、設定解除時にミュート状態になります。

[再読み込み]について

● データ放送モードの場合に再読み込みできます。

[証明書表示]について

● データ放送モードの場合に証明書を表示できます。

[データ放送に戻る]について

● データ放送モードでデータ放送サイト表示中に操作できます。

[紹介メール作成]について

● Media To機能に対応したFOMA端末に送信すると、受信側で情報を選択してワンセグを起動できます。

[オートエリア切替]について

- オートエリア切替を[ON]に設定している場合、ワンセグ視聴中に移動して放送エリアが変わったときに、視聴可能なチャンネルリストに変更するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、自動的にチャンネルリストを探して設定することができます。このとき、最後尾のチャンネルリストは上書きされることがあります。

チャンネルビューを表示する<チャンネルビュー>

放送中の番組画像(静止画)の一覧から番組を選ぶことができます。

1 ワンセグ視聴画面で[サブメニュー Sub Menu]▶[チャンネルビュー]

- 番組を見る:番組を選ぶ
- 番組画像を1件更新:番組にカーソルを合わせる▶[1件更新]
- 番組画像を全件更新:[全件更新]

1 放送局
2 チャンネル番号
3 番組画像(静止画)

静止画が表示されないとき

	未取得
	取得中
	放送圏外、放送休止中
	コピー禁止番組

- 放送電波の受信状態などにより番組画像が取得不可能な場合は、何も表示されません。

4 番組情報(番組名、開始時刻、終了時刻)

- 番組画像(静止画)の取得には、受信状態により1放送局あたり約5〜15秒かかります。取得中は画面上部に[○]が点滅します。

ワンセグを見ながら他の機能を利用する

マルチウインドウでワンセグを見ながら他の機能を利用できます。

縦表示

横表示(オープンポジションのみ)

- マルチアシスタントで呼び出し可能な項目のうち、マルチウインドウになる項目は次のとおりです。

■ iモード※1
■ Bookmark
■ iチャネル
■ スケジュール※3
■ GPS※5
■ メール※2
■ iアプリ※3※4
■ トルカ
■ Bluetooth機能※3
■ テキストメモ※3
■ 着信履歴/リダイヤル
■ iコンシェル※3
■ ICカード一覧※3
■ データBOXのフォルダ一覧画面とファイル一覧画面※6※7※8

※1 [iモード設定リセット]、[接続先設定]は利用できません。
※2 [メール設定]は選択できません。[新規メール作成]、[新規デコメアニメ作成]、[新規SMS作成]を起動した場合、クローズポジションのときはマルチウインドウになりません(音声は聞こえます)。
※3 クローズポジションのときはマルチウインドウになりません(音声は聞こえます)。
※4 ソフトの起動はできません。
※5 [地図]、[地図・GPSアプリ]は利用できません。
※6 [マイピクチャ]と、ワンセグの[イメージ]フォルダ内のデータは、表示方法が[5分割/詳細]の場合、詳細画面を確認できます。
※7 [ミュージック]、[Music&Videoチャネル]は利用できません。
※8 [メロディ]はメロディ再生画面でもマルチウインドウになります。

次ページへ続く▶▶

- 次の操作以外にも、ワンセグ視聴と他の機能を同時に利用するような状況になると、マルチウインドウになります。

1 ワンセグ視聴中に[MULTI 長押 Hold]

- クローズポジションで横表示中の場合はマルチウインドウにはなりませんが、ワンセグの音声は聞こえます。
- メール機能を利用するとき：ワンセグ視聴中にFn＋3（1秒以上）

2 機能を選ぶ

- ワンセグ視聴中に次の機能を起動した場合、マルチウインドウにはなりませんが、ワンセグの音声は聞こえます。
  ■ ドキュメントビューア　■ 電話帳　■ マンガ・ブックリーダー
  ■ 電卓
- マルチウインドウのときは、ワンセグ視聴画面の表示部分をロングタッチするとワンセグのみ表示されます。

■ マルチウインドウ時のワンセグ視聴画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- マルチウインドウ時、テレビ放送領域で次のタッチ操作ができます。

UP／DOWN選局※	左右にすばやくスライド
音量調節（音量0～25）	上下にすばやくスライド

※ リモコン番号1～62を順送り／逆送りで選局します。

視聴中に着信などがあったときは

ワンセグ視聴中に次の動作があると、ワンセグが中断して各機能が動作します。

- 次の場合はマルチウインドウになり、ワンセグの映像は表示されます。ワンセグの音声は中断されます。
  ■ オープンポジションのとき
  ■ クローズポジションで音声電話着信したとき
- 横表示中の場合は、縦表示に切り替わります。
- 録画中も同様の動作となります。

音声電話着信	応答できます。 ● 終了すると、着信する前の状態に戻ります。
テレビ電話着信	応答できます。 ● 応答すると、ワンセグが終了します。ビデオ録画中の場合、録画を終了します。
アラーム／スケジュールアラーム	アラームを止めると、アラーム／スケジュールの内容を確認できます。 ● 終了すると、アラーム動作前の状態に戻ります。
視聴予約／録画予約の通知	視聴予約／録画予約の通知後の動作については☞P.260

- オープンポジションで通話するときは、必ず別売りのイヤホンマイクを利用してください。テレビ電話の場合は、ハンズフリーを利用しても通話できます。
- 通話を終了すると、自動的にワンセグの視聴を開始することがあります。その際、ワンセグ用の音量で音声が鳴りますので、耳元でご使用の際はご注意ください。

番組表

番組表ｉアプリを利用する

番組表ｉアプリを利用して、テレビ番組表から番組を選択してワンセグを起動したり、視聴予約や録画予約をすることができます。

- 番組表ｉアプリの変更については☞P.287

1 カスタムメニューで[ワンセグ]▶[番組表]

- 番組表ｉアプリ画面で[ワンセグ]をタッチすると、選択している番組を視聴できます。

録画

ワンセグを録画する

放送中の番組をビデオ録画したり、番組の一場面を静止画として録画することができます。

- 録画したビデオ／静止画には、自動的に次のようなファイル名が付けられます。
  - ■ FOMA端末に録画したビデオ、録画した静止画：録画日時をもとにしたファイル名
    例：2010年５月18日午後１時５分に録画終了→
    [201005181305xxx]（「xxx」は半角英数字）
  - ■ microSDカードに録画したビデオ：[PRGxxx]（「xxx」は半角英数字）
- 番組によっては、録画が禁止されていることがあります。
- マルチウインドウのときは録画を開始できません。
- 録画したビデオ／静止画で、次の操作は実行できません。
  - ■ 待受画面設定や発着信画面設定などの画面設定
  - ■ メール添付や赤外線通信、ｉＣ通信による送信
  - ■ 映像編集や画像編集
  - ■ microSDカードからFOMA端末へのコピー／移動（ビデオ）
  - ■ FOMA端末からmicroSDカードへのコピー／移動（静止画）

ビデオの保存件数と録画時間の目安

- ビデオ録画先の設定については☞P.263
- ビデオの保存件数と録画時間の目安は次のとおりです。

	保存件数	録画時間
FOMA端末	最大99件	最長約40分
microSDカード（16Gバイト）※	最大99件	最長約5120分

※ １回あたりの録画サイズは２Gバイト（約640分）までです。２Gバイトを超えるmicroSDカードを使用し、空き容量があっても録画を終了します。

- 保存先メモリの空き容量がなくなったときは、自動的に録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

視聴中にビデオ録画する<録画（F1長押）>

- 録画したビデオの再生については☞P.356

1 ワンセグ視聴画面で[サブメニュー Sub Menu]▶[録画]▶[録画（F1長押）]

- [録画]をロングタッチしても操作できます。
- 録画が開始されるまでに時間がかかることがあります。

2 録画を止めるときは[停止 Stop]

- 録画を終了し、自動的に保存されます。

- 録画中は着信ランプが紫色で、約９秒間隔で点滅します。
- 録画中は、次の操作は実行できません。
  - ■ チャンネル変更
  - ■ チャンネル設定
  - ■ 静止画録画
  - ■ サービス選局
  - ■ チャンネルビュー
  - ■ オフタイマー
  - ■ ビデオ録画先設定
  - ■ テレビリンクの利用
- 録画中にFOMA端末を開閉しても録画は継続されます。
- ビデオ録画中に録画予約を設定した時刻になると、録画予約が優先されます。それまでのビデオ録画は終了し、映像が保存されます。

■ ビデオ録画を終了する時間を設定する<録画終了時間>

- 予約録画中は設定できません。

1 ビデオ録画中に[サブメニュー Sub Menu]▶[録画]▶[録画終了時間]

2 時間を選ぶ

- [制限なし]を選ぶと、保存先メモリの空き容量がなくなるまで録画します。録画終了後は、ワンセグの視聴を継続します。
- [この番組の終了まで]を選ぶと、現在視聴中の番組が終了するまで録画します。番組が延長された場合は、延長時間に従って終了まで録画します。

3 録画終了後の動作を選ぶ

静止画を録画する<静止画録画(F1短押)>

- 録画した静止画は、FOMA端末のデータBOXのワンセグの[イメージ]フォルダに保存されます。
- 画像は、データBOXのマイピクチャの画像と合わせて2000件まで保存できます。
- 保存した画像の表示については☞P.356
- メモリの空き容量がない、または最大件数まで保存されているときは☞P.381

1 ワンセグ視聴画面で[サブメニュー Sub Menu]▶[録画]▶[静止画録画(F1短押)]

- [静止画録画]をタッチしても操作できます。
- 静止画が録画され、自動的に保存されます。保存するまでに時間がかかることがあります。

- 静止画録画では、ワンセグの映像部分のみが録画され、データ放送部分は録画されません。
- データ放送のみを表示しているときは、静止画録画できません。

予約リスト

ワンセグの視聴や録画を予約する

- あらかじめ、次の操作を行ってください。
  - ■ 日時設定(☞P.55)
  - ■ チャンネル設定(☞P.248)
  - ■ はじめてワンセグを利用するときに表示される免責事項の確認(☞P.246)
- 視聴予約・録画予約合わせて50件まで登録できます。
- ビデオ録画の注意事項については☞P.257

番組表 i アプリを利用して予約する<電子番組表>

1 カスタムメニューで[ワンセグ]▶[予約リスト]▶[サブメニュー]▶[新規作成]

2 [電子番組表]▶予約する

日時やチャンネルを指定して予約する<手動入力>

1 カスタムメニューで[ワンセグ]▶[予約リスト]▶[サブメニュー]▶[新規作成]

2 [手動入力]▶予約種別を選ぶ

◆ **[視聴予約]▶P.258「視聴予約を行う」の操作1へ**
◆ **[録画予約]▶P.259「録画予約を行う」の操作1へ**

- 複数の番組を同時に視聴・録画することはできないため、予約の日時が重複すると、登録確認画面が表示されます。内容を確認し、登録を行ってください。

■ 視聴予約を行う<視聴予約>

- 視聴予約のときは、連携起動設定でアラーム終了後の動作(☞P.260)を設定できます。

1 [視聴予約]▶[開始日]欄を選ぶ▶[開始]欄を選ぶ▶開始日を入力▶時間(24時間制)を入力▶[決定]

- カレンダーから日付を選ぶとき:日時設定画面で[切替]▶日付を選ぶ

2 繰り返し方法を選ぶ

◆ **[1回のみ]**
◆ **[毎日　時刻]/[毎週　曜日]▶繰り返し回数を入力▶[決定]**
- ・登録した時刻/曜日が表示されます。
- ・繰り返しの回数に「00」を入力したときは、繰り返し回数は制限なしとなります。

3 [チャンネル]欄を選ぶ▶チャンネルを選ぶ

4 [番組名]欄を選ぶ▶番組名を入力▶[決定]

- 全角100文字(半角200文字)まで入力できます。
- 番組名を入力しなくても視聴予約を行うことができます。

5 [開始アナウンス]欄を選ぶ▶[ON]

- [OFF]に設定すると視聴予約が起動しません。

6 [アラーム時刻]▶アラーム時刻(開始時刻の何分前)を入力▶[決定]

7 [アラーム音選択]▶アラーム音にカーソルを合わせる▶[決定]

- アラーム音の確認:アラーム音を選ぶ
- アラームを鳴らさないとき:[アラーム音選択]▶[設定なし]

8 [アラーム音量選択]▶音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]

9 [連携起動設定]▶アラーム終了後の動作を選ぶ

10 [完了]▶[完了]

■ 録画予約を行う<録画予約>

1 [録画予約]▶[開始日]欄を選ぶ▶[開始]欄を選ぶ▶開始日を入力▶時間(24時間制)を入力▶[終了]欄を選ぶ▶終了日を入力▶時間(24時間制)を入力▶[決定]

- [録画予約]を選択すると、電波状況などによっては録画が正常に行われない可能性がある旨の確認画面が表示されます。[はい(以後非表示)]を選択すると、次回から確認画面は表示されません。
- カレンダーから日付を選ぶとき:日時設定画面で[切替]▶日付を選ぶ

2 繰り返し方法を選ぶ

◆ [1回のみ]

◆ [毎日　時刻]/[毎週　曜日]▶繰り返し回数を入力▶[決定]

・登録した時刻/曜日が表示されます。
・繰り返しの回数に「00」を入力したときは、繰り返し回数は制限なしとなります。

3 [チャンネル]欄を選ぶ▶チャンネルを選ぶ

4 [番組名]欄を選ぶ▶番組名を入力▶[決定]

- 全角100文字(半角200文字)まで入力できます。
- 番組名を入力しなくても録画予約を行うことができます。

5 [開始アナウンス]欄を選ぶ

6 [アラーム音選択]▶アラーム音にカーソルを合わせる▶[決定]

- アラーム音の確認:アラーム音を選ぶ
- アラームを鳴らさないとき:[アラーム音選択]▶[設定なし]

7 [アラーム音量選択]▶音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]

8 [完了]▶[完了]

お目覚めTVを設定する<お目覚めTV>

日時やチャンネルを設定し、ワンセグを目覚まし時計として利用することができます。

- 予約開始時刻になると、自動的にワンセグが起動します。
- お目覚めTVでは、[30分後]のオフタイマーが自動的に設定されています。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[お目覚めTV]

- 以降の操作については☞P.258「視聴予約を行う」の操作1へ
- 開始アナウンスを[OFF]にしたり、連携起動設定を変更すると、お目覚めTVとしては動作しません。

- お目覚めTVの修正や削除は、視聴予約・録画予約と同様にワンセグメニューの[予約リスト]から行ってください。

予約開始時刻になると

視聴予約の場合は設定したアラーム時刻、録画予約の場合は開始時刻の約１分前に、開始アナウンスで設定したアラームが約15秒間動作します。

- アラーム機能の優先順位については☞P.408
- アラームの止めかたや音量調節については☞P.409

視聴予約アラーム終了後の動作

端末状態		アラーム終了後の動作
通常時（連携起動設定）	[ON（確認あり）]	ワンセグ起動確認画面表示▶[はい]▶ワンセグ起動
	[ON（確認なし）]	ワンセグ起動※
	[OFF]	動作なし（ワンセグは起動しない）
ワンセグ視聴中		動作なし（ワンセグ視聴を継続）
ワンセグ視聴中（予約と異なるチャンネル）		チャンネル変更確認画面表示▶[はい]▶チャンネル切替

※ ワンセグ起動時に[30分後]のオフタイマーが設定されます。

- ワンセグを終了するとき：[終話キー]▶[はい]

録画予約アラーム終了後の動作

端末状態	アラーム終了後の動作
通常時	ワンセグ起動※▶録画開始
ワンセグ視聴中	メッセージを表示▶録画開始
ワンセグ視聴中（予約と異なるチャンネル）	メッセージを表示▶チャンネル切替▶録画開始

※ ワンセグはミュート状態になります。

- 録画を停止するとき：[■停止Stop]

- 次の場合などは、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しますが、視聴・録画は開始されません。
  - ワンセグと同時に起動できない機能を利用中
  - 電池残量が不足しているとき
  - ビデオ録画先設定が[microSD]で、microSDカードが挿入されていないとき
  - カメラ・マルチメディアの機能別ロック中
- 次の場合などは、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しません。また、視聴・録画も開始されません。
  - 音声電話、テレビ電話の発着信中および通話中
  - 赤外線通信中、赤外線リモコン送信中
  - オールロック中
  - 電源ON／OFF時のウェイクアップ画面または終了画面表示中
  - 自動電源OFF時の確認画面表示中
  - 電池切れの警告画面の表示中
  - ソフトウェア更新中
  - ユーザデータ削除中
  - USB通信中
  - パケット通信中
- 予約したあとにFOMAカードを取り外したり、別のFOMAカードに差し替えたりした場合は、次のようになります。
  - 録画予約アラームが動作したとき：録画は開始されません。
  - 視聴予約アラームが動作したとき：ワンセグ起動時に、はじめてワンセグを利用するときに表示される免責事項の確認画面が表示されます。

視聴予約・録画予約を確認する<予約リスト>

1 カスタムメニューで[ワンセグ]▶[予約リスト]

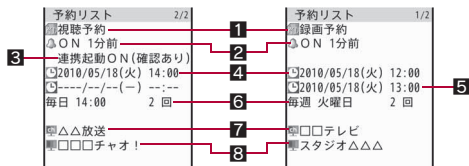
- カレンダーを表示:[カレンダー]

予約リスト画面

1 予約種別

W	視聴予約
R	録画予約

2 アラーム
3 開始日時
4 終了日時
5 チャンネル名
6 番組名

2 予約を選ぶ

視聴予約詳細画面　　録画予約詳細画面

1 予約種別
2 開始アナウンス設定
3 連携起動設定
4 開始日時
5 終了日時
6 繰り返し設定
7 チャンネル名
8 番組名

■ 予約リスト画面のサブメニュー操作

[新規作成]
- ▶[電子番組表] ☞P.258
- ▶[手動入力] ☞P.258

[編集] ☞P.261

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶予約を選ぶ▶[完了]▶[はい]
- ▶[過去全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]
  - 指定した日の前日までの予約をすべて削除します。
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[ソート]▶ソート方法を選ぶ

■ 予約詳細画面のサブメニュー操作

[編集] ☞P.261

[1件削除]▶[はい]

視聴予約・録画予約を修正する<編集>

1 カスタムメニューで[ワンセグ]▶[予約リスト]

2 予約にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[編集]

3 予約を修正▶[完了]

- 修正方法は、登録時の操作と同様です(☞P.258)。

4 登録方法を選ぶ

◆ **[新規登録]**
◆ **[上書登録]▶[はい]**

予約録画履歴を表示する<予約録画履歴>

予約録画が終了すると履歴が記憶され、録画結果を確認できます。

● 予約録画履歴は50件まで記憶されます。

1 カスタムメニューで[ワンセグ]▶[予約録画履歴]

- 待受画面では:[ワンセグ録画履歴あり]をタッチ
- 録画したビデオの一覧画面を表示:[ビデオリスト]

予約録画履歴一覧画面

1 件数/総件数

2 録画結果マーク

(icon)	録画完了
(icon)	録画失敗

3 ビデオ録画先アイコン

(icon)	FOMA端末	(icon)	microSD

4 録画開始日時

5 番組名

2 予約録画履歴を選ぶ

- 録画したビデオの一覧画面を表示:[ビデオリスト]

● 予約録画履歴詳細画面に表示される情報は次のとおりです。
■ 録画結果 ■ 保存先 ■ 開始時間 ■ 終了時間
■ リモコン番号 ■ 放送局名 ■ 番組名

■ 予約録画履歴一覧画面のサブメニュー操作

[1件削除]▶[はい]

[選択削除]▶予約録画履歴を選ぶ▶[確定]▶[はい]

[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

■ 予約録画履歴詳細画面のサブメニュー操作

[1件削除]▶[はい]

操作切替

データ放送を利用する

ワンセグでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。データ放送では、番組に関連したサイトに接続したり、投票などで番組に参加するなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。

1 ワンセグ視聴画面で[サブメニュー Sub Menu]▶[操作切替]

- データ放送領域をタッチしても、操作切替できます。
  - 横表示のとき、データ放送領域をタッチすると拡大/縮小バーが表示されます。
- データ放送モードになります(操作するたびに映像モードとデータ放送モードが切り替わります)。
- データ放送モード中の操作については☞P.252

2 項目を選ぶ

- サイト表示中の操作については☞P.181

● データ放送/データ放送サイトによっては表示中に音声が流れることがあります。

● マルチウインドウのときはデータ放送モードに切り替えることができません(データ放送を操作できません)。

● データ放送の確認画面で[はい(以後非表示)]を選択すると、次回から確認画面は表示されず、データ放送/データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。

● データ放送の確認画面を再度表示するには、確認表示設定リセット(☞P.264)を行います。

- 次の場合は、確認画面が表示されます。[はい]／[はい(以後非表示)]を選択すると操作を実行します。[はい(以後非表示)]を選択すると、次回から確認画面は表示されません。
  - ■ 放送用保存領域を削除するとき
  - ■ 放送用保存領域内の情報を利用するとき
  - ■ データ放送サイトに情報を送信するとき
  - ■ ｉモードサイトに接続するとき
  - ■ 取得した情報を登録するとき
  - ■ フルブラウザサイトに接続するとき※
  - ※ [はい(以後非表示)]は表示されません。

テレビリンク

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、メモ情報や関連するサイトのURLをテレビリンクとして登録できます。テレビリンクに登録すると、テレビリンク一覧画面からメモ情報やサイトを表示できます。

- テレビリンクは100件まで登録できます。

テレビリンクに登録する

1 テレビリンク登録可能な項目を選ぶ▶[はい]

- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

登録したテレビリンクを表示する<テレビリンク>

- 有効期限が切れているテレビリンクは使用できません。

1 カスタムメニューで[ワンセグ]▶[テレビリンク]

テレビリンク一覧画面

マークの意味

[icon]	メモ情報	[icon]	ｉモードサイト
[icon]	データ放送サイト	[icon]	フルブラウザサイト

2 テレビリンクを選ぶ

- サイトへ接続するとき：[はい]

- ワンセグ視聴画面からテレビリンクを用いてデータ放送サイトへ接続したときは、ワンセグが終了します。

■ テレビリンク一覧画面のサブメニュー操作

[詳細情報表示]

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶テレビリンクを選ぶ▶[確定]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

ワンセグ設定

ワンセグの設定を行う

ビデオ録画の保存先を設定する<ビデオ録画先設定>

1 カスタムメニューで[ワンセグ]▶[ワンセグ設定]▶[ビデオ録画先設定]

2 保存先を選ぶ

- [自動(本体優先)]または[自動(microSD優先)]に設定すると、次の場合は自動的に録画先を変更して録画が開始されます。
  - ■ 優先メモリの空き容量がないとき
  - ■ 最大保存件数を超えているとき
  - ■ microSDカードが挿入されていないとき
  - ■ microSDカードが認識できないとき

データ放送の保存データを削除する <放送用保存領域消去>

放送用保存領域内のデータを削除します。

1 **カスタムメニューで[ワンセグ]▶[ワンセグ設定]▶[放送用保存領域消去]**

2 **系列放送局にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]**

- 放送事業者別に削除するとき:系列放送局を選ぶ▶放送事業者にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]
- 系列内の放送事業者を確認:系列放送局にカーソルを合わせる▶[詳細]

3 **削除方法を選ぶ**

◆ [1件削除]
◆ [全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]

4 **[はい]**

データ放送サイトの画像を表示するかどうかを設定する<画像表示設定>

1 **カスタムメニューで[ワンセグ]▶[ワンセグ設定]▶[画像表示設定]**

2 **設定を選ぶ**

データ放送の効果音を鳴らすかどうかを設定する <効果音鳴動設定>

1 **カスタムメニューで[ワンセグ]▶[ワンセグ設定]▶[効果音鳴動設定]**

2 **設定を選ぶ**

設定内容を確認する<ワンセグ設定確認>

1 **カスタムメニューで[ワンセグ]▶[ワンセグ設定]▶[ワンセグ設定確認]**

データ放送の確認画面を再表示する <確認表示設定リセット>

データ放送の確認画面で[はい(以後非表示)]を選択して非表示にしたものを、再度表示させることができます。

1 **カスタムメニューで[ワンセグ]▶[ワンセグ設定]▶[確認表示設定リセット]**

2 **端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]**

ワンセグ設定をお買い上げ時の状態に戻す <ワンセグ設定リセット>

次の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- ■ 画像表示設定
- ■ 効果音鳴動設定
- ■ ビデオ録画先設定
- ■ 予約録画時画面表示
- ■ 字幕位置(横全画面)
- ■ 起動時設定
- ■ 鮮やか画質モード設定
- ■ 明るさ調整
- ■ Dolby Mobile 設定
- ■ Bluetooth出力の起動時自動接続設定
- ■ ワンセグ視聴画面からのワンセグ設定

- ワンセグ設定リセットを行うと、確認表示設定リセットも同時に行われます。

1 **カスタムメニューで[ワンセグ]▶[ワンセグ設定]▶[ワンセグ設定リセット]**

2 **端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]**

Music

Music&Videoチャネル

音楽再生

音楽データの取り扱いについて

- 本書ではミュージックプレーヤーで再生する着うたフル®とWMA（Windows Media Audio）ファイルを合わせて「音楽データ」と記載しています。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、機種変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合、変更前に保存したWMAファイルは再生できなくなることがあります。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルとして保存できない場合については、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末やmicroSDカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDカード内に保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体に複製または移動しないでください。

Music&Videoチャネル

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大１時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■ Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービスのご契約が必要です）。
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいたあと、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません。※海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。

  ※ 国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- 音楽番組は、Music&Videoチャネルで番組を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などをすることができます（バックグラウンド再生）。動画番組や時刻連動が設定されている音楽番組は、バックグラウンド再生できません。同時に使用可能な機能の組み合わせについては☞P.506
- Music&Videoチャネルの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

Music&Videoチャネル

Music&Videoチャネルを起動する

1 カスタムメニューで［MUSIC］▶［Music&Videoチャネル］

Music&Videoチャネルメニュー

1 番組画像

2 番組タイトル
番組タイトル表示：番組取得済み
番組なし：予約なし、予約ありで番組取得前
ダウンロード中：番組取得中

3 次回更新予定日

4 番組種別マーク

マーク	説明
（黄色）	取得に成功した番組
	取得に失敗した番組
（青色）	未再生の番組
	時刻連動が設定されている番組
	再生制限のある番組

5 サービスメニュー
番組設定：番組の設定・解除ができます。
番組リスト：番組の一覧サイトに接続します。
サービスのご案内：Music&Videoチャネルの説明サイトに接続します。

■ Music&Videoチャネルメニューのサブメニュー操作

[番組情報]

[番組削除]▶[はい]

[チャプター一覧] ☞P.271

[番組移動] ☞P.271

[サイト接続]▶[はい]
- 番組にURL情報がある場合、サイトに接続します。

[番組削除]について
- 番組を削除しても、番組設定は解除されません。

番組設定

番組を設定する

利用したい番組を設定しておくと、夜間に番組データを自動的に取得します。2番組まで設定できます。

番組を設定／解除する<番組設定>

1 Music&Videoチャネルメニューで[番組設定]▶[はい]▶画面の指示に従って番組を設定／解除

- 番組を設定するには、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要なものもあります。
- 番組の設定を解除してもマイメニュー登録は削除されません。

番組を設定すると

番組配信の12時間前になると、待受画面に[▦]が表示されます。
番組の取得は夜間に自動的に行われます。取得に成功すると、ストックアイコン[▦](ダウンロード成功)が表示されます。取得に失敗した場合は、[✖](ダウンロード失敗)が表示されます。この場合は、手動で取得してください。

- 番組取得中に通信が途切れたときは、3分間隔で5回まで、自動的に再取得を行います。
- 番組取得開始時に、圏外、セルフモード中、電源が入っていない、電池残量が少ないなどの理由により番組の取得ができなかったときは、翌日の夜間に再取得を行います。
- 番組取得には時間がかかるときがあります。また、電池残量が[■]以下のときは取得できません。十分に充電して、電波状態の良い環境でご使用ください。
- 番組設定したときと異なるFOMAカードに差し替えたり、ユーザデータ削除を行ったときは、番組を自動で取得できません。番組設定から設定内容を更新してください。
- 番組取得が中断された場合、途中まで取得した番組が保存されます。残りのデータは手動で取得することができます。
- 取得された番組は、データBOXのMusic&Videoチャネルの[配信番組]フォルダに保存されます。番組が更新されると、保存されている番組は上書きされ、再生できなくなります。
- ｉモードまたはMusic&Videoチャネルの解約やマイメニュー登録の削除を行うと、配信番組フォルダ内の番組データが削除されることがあります。

番組を手動で取得する

1 Music&Videoチャネルメニューで番組を選ぶ▶[はい]

- ご利用になる時間帯によっては、[ダウンロードできない時間帯です]と表示され、手動で取得できない場合があります。配信時間を確認するときは、[配信時間について]を選択してください。
- 再生制限が切れた番組は再取得できません。また、次回配信日まで更新できません。
- メモリの空き容量がないときは不要なデータを削除して保存できます。

番組の再生／操作

番組を再生する

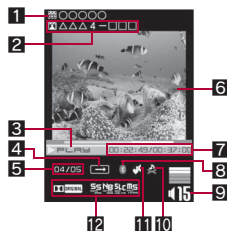
● 市販のBluetooth機器を接続すると、番組の音声をBluetooth機器から再生できます（☞P.428）。

1 Music&Videoチャネルメニューで番組を選ぶ

- ストックアイコン[▦]（ダウンロード成功）が表示されているときは、[▦]（ダウンロード成功）を選択しても、Music&Videoチャネルメニューが表示されます。
- 前回再生していたチャプターがある場合、停止したチャプターから再生されます。
- 取得に失敗した番組を選んだ場合、再度ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択するとダウンロードできます。更新に失敗しても、元の番組が再生可能な場合は、[そのまま再生]を選択すると再生されます。
- 途中まで取得した番組を選んだ場合、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択するとダウンロードできます。[途中まで再生]を選択すると、取得している部分が再生されます。ただし、時刻連動が設定されている番組の場合、[途中まで再生]は選択できません。
- 番組によっては、再生回数／再生期限／再生期間の再生制限が設定されている場合があります。制限を超えると番組は再生できなくなります。

● マナーモード設定中や電池残量が少ない場合は、再生開始時や再生中に、再生するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると再生されます。また、ご使用状態によっては充電中に確認画面が表示されることがあります。

● 日本以外の国で使用したとき、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。

■ Music&Videoチャネルプレーヤー画面の見かた

1 番組タイトル名
2 チャプタータイトル名／アーティスト名
3 再生状態

▶PLAY	再生中	▶▶FF	早送り中
❚❚PAUSE	一時停止中	◀◀FR	早戻し中
■STOP	停止中		

4 リピート

ALL⮌	リピートON	⟶	リピートOFF

5 チャプター番号
6 番組画像／チャプター画像（音声番組）／映像（動画番組）
7 再生時間／総再生時間
8 Bluetooth出力

Bluetoothアイコン	Bluetooth出力中

9 音量

🔈15	🔈0（音量 0）～🔈25（音量25）

● ミュート中は、数字の上に[⊘]が重なって表示されます。
● Bluetooth出力中は表示されません。

Music

⑩ 映像／音声再生可否

	映像再生不可		音声再生不可

⑪ マナー再生設定

	ON

● マナー再生設定を[ON]に設定すると、音量16以上に調節していた場合は、音量15に変更されます（音量は、音量０～15で変更できます）。

⑫ Dolby Mobile 設定

V5.1	Virtual5.1ch（イヤホン）	POPS	ポップス
		CLASSIC	クラシック
NORMAL	ノーマル	JAZZ	ジャズ
ROCK	ロック	ORIGINAL	オリジナル

オリジナルの設定項目を選んだ場合

SS	サウンドスペース
NB	ナチュラルベース
SLC	サウンドレベルコントローラ
MS	モノラル→ステレオ

■ Music&Videoチャネルプレーヤーのタッチパネル操作

● タッチパネルの主な操作については☞P.35
● 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
		前のチャプターに戻す（頭出し）※1
▶II	▶II	一時停止／再生
▶/■	▶/■	停止／再生※2
		次のチャプターを再生※1
		音量アップ※3
		音量ダウン※3
■ 停止/Stop	■ 停止 Stop	停止
Change Screen	Change Screen	表示切替（全画面モード⇔通常モード）（動画番組のみ）
Web To	Web To	サイト接続※4

※1　ロングタッチすると、早戻し／早送りになります。
※2　時刻連動が設定されている番組の場合に表示されます。
※3　ロングタッチすると、連続して音量を調節できます。
※4　番組にURL情報がある場合、サイトに接続できます。
・動画番組の場合、全画面モードで画面をタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

● 次のタッチ操作ができます。

音量調節	上下にすばやくスライド
ミュート／解除	音量アイコンをタッチ
次のチャプターを再生／前のチャプターに戻す（頭出し）	左右にすばやくスライド

● 前のチャプターに戻す（頭出し）の操作を行った場合、再生経過時間が約２秒未満のときは前のチャプターに戻り、約２秒以上のときは頭出しになります。

■ Music&Videoチャネルプレーヤーのボタン操作

一時停止／再生	●
停止	Fn＋3
音量調節(音量０～25)※1	◎
ミュート／解除	✓
前のチャプターに戻す／頭出し※2	◎
早戻し	◎(１秒以上)
次のチャプターを再生	◎
早送り	◎(１秒以上)
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ	1:先頭 2～9:チャプターの再生時間の約1/9ずつ先の位置
表示切替(全画面モード⇔通常モード)(動画番組のみ)	Fn＋1
サイト接続	Fn＋4 ● 番組やチャプターにURL情報がある場合、サイトに接続できます。
Music&Videoチャネルプレーヤー終了※3	CLR／◯▶[はい]

※１ ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。
※２ 再生経過時間が約２秒未満:前のチャプターに戻る
再生経過時間が約２秒以上:頭出し
※３ 停止中は確認画面が表示されません。

- ステレオイヤホンマイク 01(別売)などを接続すると、スイッチを押すたびに、再生／一時停止を切り替えることができます。
- リピート中にサイト接続をした場合、先頭のチャプターURLに接続されます。

- 番組によっては操作が制限されているものがあります。

■ Music&Videoチャネルプレーヤーのサブメニュー操作

[チャプター一覧] ☞P.271

[Dolby Mobile 設定]▶設定を選ぶ
- [オリジナル]を選択したときは、項目設定して[完了]をタッチ

[Bluetooth出力] ☞P.429

[再生設定]

▶[リピート]▶設定を選ぶ

▶[マナー再生設定]▶設定を選ぶ

▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
- 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

▶[全画面モード切替]

[チャプター情報]

[番組情報]

[Dolby Mobile 設定]について
- バーチャル5.1chサラウンドの音声で聞くときは[Virtual5.1ch(イヤホン)]に設定し、ステレオイヤホンを利用してください。

[再生設定]について
- バックライト点灯時間、全画面モード切替は、動画番組のみ設定できます。
- Bluetooth出力中は、マナー再生設定を設定できません。

[チャプター情報]について
- 番組によっては、チャプター情報を表示できないことがあります。

■ 時刻連動が設定されている番組の場合

時刻連動が設定されている番組は再生できる時間が決まっています。時間帯によっては再生できません。自動時刻時差補正による時刻に従い動作します(自動時刻時差補正を[OFF]に設定して手動で時刻を変更しても、再生されません)。

- 再生中に、一時停止やチャプターの移動、早送り、早戻し、再生開始位置のジャンプはできません。
- チャプター一覧からチャプターを選択できません。
- 再生設定のリピートは設定できません。

番組のチャプター一覧を確認する<チャプター一覧>

番組のチャプター一覧を表示し、各チャプターのタイトルやアーティスト名、再生時間を確認できます。

1 Music&Videoチャネルメニュー／番組一覧画面で番組にカーソルを合わせる ▶［サブメニュー］▶［チャプター一覧］

マークの意味

	動画番組のチャプター
	音声番組のチャプター
	取得に失敗したチャプター
	再生中のチャプター

チャプター一覧画面

- チャプターを選択すると、選んだチャプターから再生されます。
- 番組によっては、チャプター一覧の表示やチャプターの選択ができないことがあります。

■ チャプター一覧画面のサブメニュー操作

［チャプター情報］

- 番組によっては、チャプター情報を表示できないことがあります。
- Music&Videoチャネルプレーヤーのサブメニュー操作でチャプター一覧画面を表示した場合は、チャプター一覧画面のサブメニュー操作はできません。
- チャプター情報にURLがあるときは、Web To機能でチャプターサイト情報に接続できます。

番組を保存する<番組移動>

番組が更新されると、データBOXのMusic&Videoチャネルの［配信番組］フォルダに保存されている番組は上書きされます。上書きされたくない番組は、あらかじめ［保存番組］フォルダまたはmicroSDカードの［移行可能コンテンツ］フォルダに移動しておいてください。

- 番組は、［配信番組］フォルダには２件、［保存番組］フォルダには20件、microSDカードの［移行可能コンテンツ］フォルダには999件まで保存できます。

1 Music&Videoチャネルメニューで番組にカーソルを合わせる ▶［サブメニュー］▶［番組移動］

2 移動先を選ぶ

- 取得した番組はコピーできません。
- 次の場合は移動できません。
  - ■ 取得に失敗した番組
  - ■ 時刻連動が設定されている番組
  - ■ 番組移動制限が設定されている番組
  - ■ 再生制限を超えた番組
  - ■ FOMAカードセキュリティ機能が設定された番組
  - ■ 番組設定中

Music&Videoチャネル

データBOXからMusic&Videoチャネルを操作する

データBOXのMusic&Videoチャネルの［配信番組］フォルダに現在配信されている番組や、［保存番組］フォルダまたはmicroSDカードの［移行可能コンテンツ］フォルダに移動して保存した番組を再生できます。

1 カスタムメニューで［データBOX］▶［Music&Videoチャネル］

2 番組を選ぶ

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[全フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[フォルダセキュリティ] ☞P.377

[全フォルダ内全件削除]について
- 番組を削除しても、番組設定は解除されません。

■ 番組一覧画面のサブメニュー操作

[削除] ☞P.379

[番組情報]

[チャプター一覧] ☞P.271

[タイトル編集] ☞P.377

[1件移動]▶移動先を選ぶ
- 番組移動の詳細については☞P.271

[表示切替] ☞P.341

[ソート] ☞P.378

音楽の再生方法について

FOMA端末では、音楽データによって、次の方法で音楽を再生できます。

ミュージックプレーヤー（☞P.272）

サイトからダウンロードした着うたフル®やmicroSDカードに保存したWMA（Windows Media Audio）ファイルを再生できます。
- 音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます（バックグラウンド再生）。同時に使用可能な機能の組み合わせについては☞P.506

ｉモーションプレーヤー（☞P.349）

microSDカードの[マルチメディア]フォルダに保存したｉモーション（AAC形式の音楽データ含む）は、ｉモーションプレーヤーで再生できます。

- マナーモード設定中や電池残量が少ないとき、再生期限が切れたうた・ホーダイがあるときは、確認画面が表示されます。また、ご使用状態によっては充電中に確認画面が表示されることがあります。
- 音楽再生中に着信やアラームが動作したり、他の機能の操作を行ったりすると、再生が停止することがあります。
- 音楽再生中に他の機能の操作を行ったりすると、音楽が途切れることがあります。

ミュージックプレーヤーについて

- 再生できる音楽データと最大再生時間は次のとおりです。

音楽データの種別	ファイル形式	Audioコーデック	最大再生時間
着うたフル®	MP4	MPEG4-AAC、MPEG4-HEAAC（aacPlus）、Enhanced aacPlus	約1110分
WMAファイル	WMA	WMA9	約1080分

- 保存できる音楽データの容量、件数は次のとおりです。

音楽データの種別	FOMA端末	microSDカード
着うたフル®	約140Mバイト※1	最大1000件※2
WMAファイル	－	最大1000件※2

※1　静止画、動画、ミュージック、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、ｉアプリ、電子書籍／電子辞書／電子コミック、Music&Videoチャネル、ビデオ、トルカを保存している場合には、着うたフル®の保存容量は少なくなります。

※2　音楽データのサイズやmicroSDカードの容量によって保存できる件数が変わります。

- ミュージックプレーヤーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

音楽データを保存する

着うたフル®をダウンロードする

サイトから着うたフル®をダウンロードして保存できます。

- 5Mバイトまでの着うたフル®をダウンロードできます。
- 著作権のある音楽データをダウンロードしたとき、違うFOMAカードを使用しての再生はできません。

1 サイト表示中に着うたフル®を選ぶ

2 項目を選ぶ

◆ **[再生]**

◆ **[保存]▶保存先を選ぶ**

・保存が完了すると、再生確認画面が表示されます。

◆ **[情報表示]**

- 保存しないとき:[戻る]▶[いいえ]

- うた・ホーダイをダウンロードするとき、再生期限を有効にするために「携帯電話/FOMAカードの製造番号」の送信が必要な場合があります。

WMAファイルを保存する

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)でFOMA端末とパソコンを接続し、Windows Media Player 11を利用して音楽データをmicroSDカードに保存します。

- パソコンからプレイリストを転送することもできます。
- 著作権のある音楽データでは、パソコンからの転送時に使用したFOMA端末以外では再生できません。
- 音楽データによっては著作権により再生できないものがあります。
- 著作権のない音楽データでも、SH-03B以外で保存したWMAファイルは再生できません。
- SH-03B以外でWMAファイルを保存したmicroSDカードを使用すると、MTPモードに設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、次のいずれかを行うことをおすすめします。なお、microSDカードをフォーマットすると、音楽データを含むすべてのデータが消去されますのでご注意ください。
  - ■ WMAファイルの全削除(☞P.282)
  - ■ microSDカードをSH-03Bでフォーマット(☞P.374)
  - ■ microSDカード内の¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILE¥WMと¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILE¥WM_SYSTEMのフォルダの削除

1 FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02でパソコンに接続し、USBモード設定を[MTPモード]にする(☞P.374)

2 Windows Media Player 11を起動し、保存する音楽データを選ぶ▶microSDカードに転送する

3 転送が終わったら、いずれかのボタンを押す▶[はい]

- 通信モードに切り替わります。

4 FOMA端末からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外す

次ページへ続く▶▶

WMAファイルの転送プレイリストについて

- プレイリスト名は、FOMA端末では全角・半角247文字まで表示されます。
- 247文字目まで同じ名前のプレイリストを転送したときは、プレイリストが上書きされます。

パソコンで作成したｉモーション（AAC形式の音楽データ含む）をFOMA端末に保存する

お客様が購入したCDの音楽などを、パソコンなどを利用してmicroSDカードに保存すると、FOMA端末で再生できます。
ここでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02でFOMA端末とパソコンを接続してデータBOXのｉモーション／ムービーの［マルチメディア］フォルダに保存し、再生する方法を説明します。

- ｉモーションプレーヤーでの再生方法については☞P.349
- microSDカードの［マルチメディア］フォルダ内のデータの管理については☞P.377

1 お客様が購入したCDの音楽などを、MP4形式に変換できる市販のソフトを利用して変換し、パソコンに保存する

2 FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02でパソコンに接続し、USBモード設定を［microSDモード］に設定する（☞P.374）

3 音楽データをコピーする

- コピー方法は次のとおりです。
  1. 操作１で作成したファイルの名前を「MMFxxxx.3gp」／「MMFxxxx.mp4」に変更する。
     - ファイル名を変更する際は、パソコン上の設定で拡張子を表示してから行ってください。
     - 変更後のファイル名は、拡張子を除いて半角で「MMF0001」～「MMF9999」の範囲で変更してください。
  2. microSDカード内の¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILEフォルダにコピーする。
     - microSDカードのフォルダ構成については☞P.365

4 音楽データのコピーが終わったら、いずれかのボタンを押す▶［はい］

- 通信モードに切り替わります。

5 FOMA端末からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外す

6 microSDカードの管理情報の更新を行う（☞P.375）

ミュージックプレーヤーのフォルダと画面の見かた

ミュージックプレーヤーのフォルダ構成

データBOX内の［ミュージック］フォルダの構成は次のとおりです。

全曲
プレイリスト ― ユーザプレイリスト
　　　　　　 └ 転送プレイリスト
アーティスト ― アーティスト名 ― 全曲
　　　　　　　　　　　　　　　 └ アルバム名
アルバム ― アルバム名
ジャンル ― ジャンル名
ファイル種別 ― ｉモード（本体）（着うたフル®）
　　　　　　 ├ ｉモード（microSD）（着うたフル®）
　　　　　　 └ WMA（WMAファイル）

- このフォルダ構成はミュージックプレーヤーのみで使用されます。microSDカード内の実際のフォルダ構成とは一致しません。
- 音楽データの詳細情報に応じて、同じファイルが複数のフォルダに表示されます。

■ 音楽データの種類とマークについて

音楽データの種類

ユーザプレイリスト	転送プレイリスト	着うたフル®

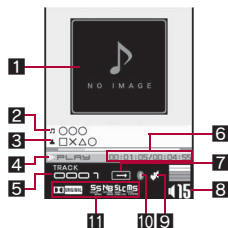
再生制限のある着うたフル®		
再生期間	再生期限	再生回数

うた・ホーダイ	WMAファイル

FOMAカードセキュリティ機能が設定された音楽データ	存在しない音楽データ	ダウンロードの途中で保存した音楽データ

マークの種類

	FOMA端末に保存されている音楽データ
	microSDカードに保存されている音楽データ
	ｉモードなどでダウンロードした音楽データ
	microSDカードやFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)を利用して取得した音楽データ
	メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されている音楽データ
	再生制限が設定されていて、再生可能な音楽データ
	再生制限が設定されていて、再生不可能な音楽データ

ミュージックプレーヤー画面の見かた

1 ジャケット画像
2 タイトル名※
3 アーティスト名※
4 再生状態

▶PLAY	再生中	▶▶FF	早送り中
ⅡPAUSE	一時停止中	◀◀FR	早戻し中
■STOP	停止中		

5 トラック番号
6 再生時間／総再生時間
7 再生モード設定

→	通常再生	SHUFFLE	シャッフル
1↩	１曲リピート	SHUFFLE↩	シャッフルリピート
ALL↩	全曲リピート		

8 音量

15	0(音量０)～25(音量25)

● ミュート中は、数字の上に[⊘]が重なって表示されます。
● Bluetooth出力中は表示されません。

Music

9 マナー再生設定

(icon)	ON

● マナー再生設定を[ON]に設定すると、音量16以上に調節していた場合は、音量15に変更されます(音量は、音量0～15で変更できます)。

10 Bluetooth出力

(icon)	Bluetooth出力中

11 Dolby Mobile 設定

V5.1	Virtual5.1ch(イヤホン)	POPS	ポップス
		CLASSIC	クラシック
NORMAL	ノーマル	JAZZ	ジャズ
ROCK	ロック	ORIGINAL	オリジナル

オリジナルの設定項目を選んだ場合

SS	サウンドスペース
NB	ナチュラルベース
SLC	サウンドレベルコントローラ
MS	モノラル→ステレオ

※ FOMA端末内の着うたフル®のタイトル名とアーティスト名は最大全角126文字(半角253文字)まで、microSDカード内の着うたフル®のタイトル名は最大全角31文字(半角63文字)、アーティスト名は最大全角126文字(半角253文字)まで表示されます。WMAファイルのタイトル名とアーティスト名は最大全角・半角251文字まで表示されます。

ミュージック

ミュージックプレーヤーで音楽データを再生する

● 市販のBluetooth機器を接続すると、音楽をBluetooth機器から再生できます(☞P.428)。

フォルダ内の音楽データを再生する<ミュージック>

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[ミュージック]

• [MUSIC]▶[ミュージックプレーヤー]でも操作できます。

2 音楽データを選ぶ

• 前回再生していた音楽データがあるときは、[続きから再生]を選ぶと、停止した位置から再生されます。

● 再生中に電話がかかってくると、再生が中止し着信画面が表示され、電話に出ることができます。通話終了後にミュージックプレーヤー画面が表示されると、着信前に停止した位置から再生が再開されます。
● ダウンロードの途中で保存した着うたフル®を選ぶと、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選ぶとダウンロードできます。
● 次の操作を行った場合は、ミュージック起動時にデータ更新を行ってからフォルダ一覧画面が表示されます。
 ■ 電源を入れ直したとき　■ microSDカードを挿入したとき
 ■ microSDカードをフォーマットしたとき
 ■ microSDモード／MTPモードで利用したとき
 ■ メモリ不足による上書き確認画面(☞P.381)でデータを選択削除したとき
 ■ microSDカードのインポートフォルダの音楽データ一覧画面から音楽データを削除／移動したとき

■ ミュージックプレーヤーのタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
Hold ⏮	⏮ Hold	前の曲に戻す（頭出し）※1
▶II	▶II	一時停止／再生
Hold ⏭	⏭ Hold	次の曲を再生※1
Volume Hold	Volume Hold	音量アップ※2
Volume Hold	Volume Hold	音量ダウン※2
■ 停止/Stop	■ 停止 Stop	停止
Top	Top	フォルダ一覧画面を表示※3
List	List	再生対象の音楽データ一覧画面を表示※3
保存 Save	保存 Save	画像／歌詞の保存※4
次の画像 Next Picture	次の画像 Next Picture	次の画像／歌詞を表示※4※5

※1　ロングタッチすると、早戻し／早送りになります。
※2　ロングタッチすると、連続して音量を調節できます。
※3　フォルダ一覧画面または音楽データ一覧画面表示中に［PLAYER］をタッチすると、ミュージックプレーヤー画面に戻ります。
※4　画像／歌詞を表示中に表示されます。
※5　画像／歌詞が複数ある場合に表示されます。

・横表示で画像／歌詞を表示している場合、画面をタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

音量調節	上下にすばやくスライド
ミュート／解除	音量アイコンをタッチ
次の曲を再生／前の曲に戻す（頭出し）	左右にすばやくスライド
次／前の画像／歌詞を表示	左右にすばやくスライド

- 前の曲に戻す（頭出し）の操作を行った場合、再生経過時間が約２秒未満のときは前の曲に戻り、約２秒以上のときは頭出しになります。

■ フォルダ一覧画面／音楽データ一覧画面のボタン操作

全データ内のボタンに割り振られたフォーカス位置にジャンプ	1：先頭 2～9：全データの約1/9ずつ先の位置 0：最後
プレイリストに登録※	Fn＋1

※ 音楽データ一覧画面でのみ操作できます。

■ ミュージックプレーヤーのボタン操作

一時停止／再生	●
停止	Fn＋3
音量調節（音量０～25）※1	⬍
ミュート／解除	✓
前の曲に戻す／頭出し※2	◀
早戻し	◀（１秒以上）
次の曲を再生	▶
早送り	▶（１秒以上）
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ	1：先頭 2～9：総再生時間の約1/9ずつ先の位置
フォルダ一覧画面を表示※3	Fn＋1
画像／歌詞の保存※4	Fn＋1
再生対象の音楽データ一覧画面を表示※3	Fn＋4
ジャケット画像を表示※5※6	Fn＋D
歌詞画像を表示※5※6	Fn＋S
ミュージックプレーヤー終了※7	⏏ ▶［はい］

※1　ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。
※2　再生経過時間が約２秒未満：前の曲に戻る
　　再生経過時間が約２秒以上：頭出し
※3　フォルダ一覧画面または音楽データ一覧画面表示中にFn＋4を押すと、ミュージックプレーヤー画面に戻ります。

※4　画像／歌詞を表示中に操作できます。
※5　ジャケット画像、歌詞画像がないときは、表示されません。
※6　ボタンを押すたびに次の画像／歌詞が表示されます。
※7　停止中は確認画面が表示されません。

● ステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続すると、スイッチを押すたびに、再生／一時停止を切り替えることができます。

● 音楽データによっては操作が制限されているものがあります。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ削除]
- ▶[フォルダ１件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]
- ▶[フォルダ選択削除]▶データを選ぶ▶[確定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]
- ▶[フォルダ全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]
  - ● アルバムごとに削除します。

[フォルダ削除]について
- ● [アーティスト]フォルダ内の[全曲]フォルダ、[ファイル種別]フォルダは削除できません。
- ● フォルダ内に着信音などの各種機能に設定されているデータが保存されているときは、フォルダ内のすべての音楽データが削除されません。

■ 音楽データ一覧画面のサブメニュー操作

[プレイリストに登録]　☞P.281

[削除]
- ▶[１件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶データを選ぶ▶[確定]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[着信音設定]　☞P.281

[情報表示]　☞P.379

[情報編集]　☞P.282

[microSDへ移動]　☞P.370

[削除]について
- ● プレイリストに登録している音楽データを削除すると、プレイリストからも再生できなくなります。

■ ミュージックプレーヤーのサブメニュー操作

[再生設定]
- ▶[再生モード設定]▶設定を選ぶ
- ▶[マナー再生設定]▶設定を選ぶ

[プレイリストに登録]▶登録する
- ● プレイリストに登録の詳細については☞P.281

[Dolby Mobile 設定]▶設定を選ぶ
- ● [オリジナル]を選択したときは、項目設定して[完了]をタッチ

[Bluetooth出力]　☞P.429

[情報表示]　☞P.379

[画像表示]　☞P.282

[歌詞表示]　☞P.282

[再生設定]について
- ● Bluetooth出力中は、マナー再生設定を設定できません。

[Dolby Mobile 設定]について
- ● バーチャル5.1chサラウンドの音声で聞くときは[Virtual5.1ch（イヤホン）]に設定し、ステレオイヤホンを利用してください。

プレイリストを再生する<プレイリスト>

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[ミュージック]▶[プレイリスト]

- 転送プレイリストを表示するとき：[→転送プレイリスト]

2 プレイリストにカーソルを合わせる▶[再生]

■ ユーザプレイリスト一覧画面のサブメニュー操作

[プレイリスト管理]
- ▶[プレイリスト新規作成] ☞P.281
- ▶[プレイリスト名編集]▶プレイリスト名を編集▶[決定]

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶プレイリストを選ぶ▶[確定]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[プレイリスト移動(↑)]
- プレイリストの表示順を上に移動します。

[複製]▶プレイリスト名を入力▶[決定]

■ プレイリスト音楽データ一覧画面のサブメニュー操作

[曲追加] ☞P.281

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶音楽データを選ぶ▶[確定]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶[はい]

[並べ替え]▶移動する音楽データを選ぶ▶移動先を選ぶ▶[完了]

[着信音設定] ☞P.281

[情報表示] ☞P.379

[情報編集] ☞P.282

[プレイリスト更新]▶[はい]

[削除]について
- プレイリスト内から削除しても、元の音楽データは削除されません。

[プレイリスト更新]について
- 次の場合は、プレイリスト更新を行うとプレイリストから削除されます。
  - ■ 元の音楽データを削除したとき
  - ■ 元の音楽データを、FOMA端末とmicroSDカードの間で移動したとき
  - ■ microSDカード内の音楽データで、プレイリストに登録したときのmicroSDカードが挿入されていないとき
- 再生回数／再生期限／再生期間が終了した音楽データは、プレイリスト更新を行ってもプレイリストから削除されません。

再生制限が設定されている音楽データについて

音楽データには、再生回数／再生期限／再生期間の再生制限が設定されているものがあります。再生制限を超えたときの動作は、次のように音楽データの種類により異なります。

■ 着うたフル®のとき

再生回数		再生しようとすると、[再生可能回数が終了しました。削除しますか？]と表示されます。[はい]を選ぶと削除されます。
再生期限		再生しようとすると、[再生可能期限が切れました。削除しますか？]と表示されます。[はい]を選ぶと削除されます。
再生期間	再生期間前	再生しようとすると、[再生可能日前です。再生できません]と表示されます。
	再生期間後	再生しようとすると、[再生可能期限が切れました。削除しますか？]と表示されます。[はい]を選ぶと削除されます。

■ うた・ホーダイのとき

うた･ホーダイは、お客様がコンテンツプロバイダと契約を結んでいる期間のみ再生が可能な音楽データです。再生制限は音楽データとともにダウンロードされるライセンス情報により指定されます。再生期限満了で再生できなくなった場合でも、ライセンス更新を行うことにより再生が可能になります。

- 再生期限が切れたうた・ホーダイがあるときに、データBOXの[ミュージック]またはMUSICメニューの[ミュージックプレーヤー]を選択したり、再生期限が切れたうた・ホーダイを再生しようとすると、再生期限更新確認画面が表示されます。[はい]を選択すると再生期限を更新することができます。
- 再生期限の更新には、別途パケット通信料がかかります。
- うた・ホーダイが1件も保存されていない場合でも、再生期限更新確認画面が表示されるときがあり、再生期限の更新は行えますが、新たにうた・ホーダイを保存するまでは、再生することはできません。
- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎたあとでも数日間の再生猶予期間が設定されているときがあります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても再生ができます。再生猶予期間を過ぎると、うた・ホーダイの再生ができません。
- うた・ホーダイをダウンロードした際に使用していたFOMAカードと異なる電話番号のFOMAカードを挿入したとき、再生期限の更新をしても、うた・ホーダイは再生できません。また、FOMA端末に保存しているうた・ホーダイの再生期限情報は、完全には削除されません。そのため、再生期限更新確認画面が表示されるときがあります。うた・ホーダイの再生期限情報をすべて削除するには、ユーザデータ削除(☞P.132)を行ってください。
- 日本以外の国で使用したとき、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料はｉモードパケット定額サービスの適用対象外です。
- データBOXの[ミュージック]またはMUSICメニューの[ミュージックプレーヤー]を選択して再生期限の更新をしたときに、再生期限が切れたうた・ホーダイが複数あると、再生期限が切れたデータすべての更新が実行されます。更新が完了すると、フォルダ一覧画面が表示されます。
- 着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイが再生不可能になった場合は、着信時／アラーム鳴動時には、お買い上げ時に設定されている音が鳴ります。

再生期限更新確認画面

データBOXの[ミュージック]またはMUSICメニューの[ミュージックプレーヤー]選択時　　再生期限が切れたうた・ホーダイ選択時

■ WMAファイルのとき

再生制限を超えたときは、[再生できません。更新が可能なデータは本体をPCに接続し、転送元ソフトを起動して更新してください]と表示されます。
更新可能なWMAファイルがあるときは、FOMA端末をパソコンに接続して更新してください(☞P.273)。

音楽データ・プレイリストを管理する

プレイリストを作成する<プレイリストに登録>

FOMA端末で再生できるプレイリストには、FOMA端末で作成したユーザプレイリストと、パソコンなどで作成した転送プレイリストがあります。

- ユーザプレイリストは10件まで作成できます。1件につき99曲の音楽データを登録できます。
- 転送プレイリストは100件まで表示できます。1件につき1000曲の音楽データを表示できます。FOMA端末では作成／移動／編集することはできません。
  プレイリストの転送方法については☞P.273

1 音楽データにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[プレイリストに登録]

- 音楽データにカーソルを合わせて[登録]をタッチしても操作できます。操作3に進みます。

2 登録方法を選ぶ

◆ **[1件登録]**
◆ **[選択登録]▶音楽データを選ぶ▶[確定]**
◆ **[全件登録]▶[はい]**

3 登録する

- 新規作成して登録：[新規]▶プレイリスト名を入力▶[決定]（プレイリスト名は全角・半角80文字まで入力可）
- 音楽データの追加：プレイリストを選ぶ
- 音楽データの上書き：プレイリストにカーソルを合わせる▶[上書]▶[はい]

プレイリストを管理する

■ プレイリストを新規作成する<プレイリスト新規作成>

1 ユーザプレイリスト一覧画面で[サブメニュー]▶[プレイリスト管理]▶[プレイリスト新規作成]

- [新規]をタッチしても操作できます。

2 プレイリスト名を入力▶[決定]

■ プレイリストに音楽データを追加する<曲追加>

1 ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選ぶ

2 [サブメニュー]▶[曲追加]

- [曲追加]をタッチしても操作できます。

3 音楽データにカーソルを合わせる▶[決定]

着うたフル®を着信音に設定する<着信音設定>

1 着うたフル®にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[着信音設定]

2 着信音の項目を選ぶ

3 設定範囲を選ぶ

◆ **[まるごと設定]**
・ 1曲全部を設定します。
◆ **[オススメ設定]▶範囲にカーソルを合わせる▶[決定]**

- microSDカードに保存されている着うたフル®を選んだときは、FOMA端末への移動確認画面が表示されます。

- 着うたフル®によっては、[まるごと設定]のみ設定できるもの、[オススメ設定]のみ設定できるものがあります。
- 着うたフル®によっては着信音に設定できないものがあります（☞P.94）。

着うたフル®の情報を編集する<情報編集>

着うたフル®のタイトルやアーティスト名、アルバム名、ジャンル、年、コメント、トラック番号、総トラック数の情報を編集することができます。

1 **着うたフル®にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[情報編集]**

2 **編集する項目を選ぶ▶編集する▶[決定]**

- 元に戻すとき：[オリジナルに戻す]▶[はい]

- タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、コメントは全角126文字（半角253文字）まで、年は４桁まで、トラック番号、総トラック数は３桁まで入力できます。

音楽データに含まれた画像や歌詞を表示する<画像表示／歌詞表示>

- 着うたフル®は画像は３枚、歌詞は７枚まで、WMAファイルは画像を１枚表示できます。

1 **ミュージックプレーヤー画面で[サブメニュー Sub Menu]▶[画像表示]／[歌詞表示]**

- 画像／歌詞の非表示：[CLR]

- 保存した画像／歌詞はデータBOXのマイピクチャの[ｉモード]フォルダに保存されます。
- 画像や歌詞によっては、保存できないことがあります。
- WMAファイルの画像は保存できません。

WMAファイルを一括して削除する<全削除>

WMAファイルおよび転送プレイリストを一括して削除できます。

1 **カスタムメニューで[データBOX]▶[ミュージック]▶[ファイル種別]**

2 **[WMA]にカーソルを合わせる▶[全削除]**

3 **端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]**

- WMAファイルの全削除を中断すると、WMAファイルの音楽データ一覧画面が表示できなくなります。もう一度、全削除を行ってください。

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリ

ｉウィジェット

ｉアプリ

「ｉアプリ」とは、ｉモード対応携帯電話用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロード※すれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。さらに、リアルタイム通信やｉアプリコール（☞P.303）を用いた、多人数でのオンライン通信が可能なｉアプリオンラインにも対応しており、対戦ゲームやチャットアプリなども楽しむことができます。また、ｉアプリにはｉウィジェット（☞P.308）対応のものがあります。

※ ｉアプリのダウンロードおよびサイトへの接続には別途パケット通信料がかかります。

- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります（☞P.462）。
- ｉアプリの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

ダウンロード

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからｉアプリのソフトをダウンロードすると、FOMA端末のディスプレイ上で起動できます。

- ２Mバイトまでのｉアプリをダウンロードできます。
- ソフトは100件（メール連動型ｉアプリは５件）まで保存できます。ソフトのサイズによっては、保存できる件数が変わります。

1 サイト表示中にソフトを選ぶ

- ｉアプリダウンロード画面が表示され、ダウンロードが開始されます。
- ダウンロードの中止：[中止]
- ダウンロード開始時や完了時に、FOMA端末のメモリの空き容量やダウンロードしたソフトによってメッセージが表示されることがあります。メッセージに従って操作してください。

- 電波状況などによりダウンロードが失敗したとき、途中までダウンロードしたデータを保存しておき、ソフト一覧から残りのデータをダウンロードできます。
- ダウンロード時にメモリの空き容量が不足したため古いソフトを削除したあとで、電波状況などによりダウンロードが失敗しても、古いソフトは復活できません。
- SSL／TLS対応のページからｉアプリの情報やｉアプリをダウンロード中は、[SSL]が表示されます。

選択したソフトがすでにFOMA端末に保存されているとき

- ソフトのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、ダウンロード（バージョンアップ）が開始されます。

おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードができないとき

- ＩＣカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできないときがあります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください（ダウンロードするソフトによって一部のソフトが削除対象とならないときがあります）。またＩＣカード内の状態によっては、表示されるソフトをすべて削除する必要があります。そのときは、表示される画面に従って全削除を行うことで、表示されたソフトを一括削除できます。なおソフトによっては一括削除できないものがあるため、お客様がソフトを起動して、ＩＣカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行う必要があります。
- ＩＣカードロック中は、おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードやバージョンアップができないときがあります。

メモリエリアについて

- データBOXとｉアプリのエリアを共有しています。データBOXに保存されているデータのデータ量によっては、ｉアプリが保存できないことがあります。

■ メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードするときは、次の点にご注意ください。

- メール連動型ｉアプリをダウンロードしたとき、受信BOX、送信BOX、未送信BOXにメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名となり、変更できません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダは、5件まで保存可能です。
- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、すでにソフト一覧にあるとき、そのメール連動型ｉアプリはダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダのみが残っており、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとしたとき、フォルダを利用できます。フォルダを利用しないときは、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。新規フォルダを作成しないときは、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリを残したままで、対応するメール連動型ｉアプリ用フォルダは削除できません。メール連動型ｉアプリがないときはフォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOXに作成されたフォルダがまとめて削除されます。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る

<ソフト情報表示設定>

1 カスタムメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[ソフト情報表示設定]▶[ON]

- ダウンロードを開始すると、ソフト情報が表示されます。

ｉアプリ起動

ｉアプリを起動する

- ソフトによっては、起動したときに自動的に通信するものがあります。あらかじめ通信設定(☞P.288)で設定できます。
- よく使うｉアプリのソフトを、あらかじめ待受タッチランチャに登録しておいて起動することもできます(☞P.41)。

1 待受タッチランチャで[ソフト一覧]

ソフト一覧画面

- GPS対応ｉアプリのみを表示：カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図・GPS]▶[地図・GPSアプリ]
- DCMXクレジットアプリの起動：カスタムメニューで[おサイフケータイ]▶[DCMX]
- ソフト一覧画面の表示変更：ソフト一覧画面で[表示切替]
  - タッチするたびに、グラフィカル表示→アイコン表示→リスト表示の順に切り替わります。
- 選んでいるソフトの設定状態によって、次のマークが表示されます。

設定状態マークの意味

マーク	意味
	使用可能なｉアプリ
(青色)	ｉアプリ待受画面に設定可能なｉアプリ
(紫色)	ｉアプリ待受画面に設定中のｉアプリ
(青色)	自動起動設定可能なｉアプリ
(紫色)	自動起動設定中のｉアプリ
	SSL／TLS通信でダウンロードしたｉアプリ
	ｉアプリDX
	メール連動型ｉアプリ
	通信する機能を持ったｉアプリ

次ページへ続く

(icon)	ｉアプリ使用データをmicroSDカードに保存できるｉアプリ
(icon)	FOMAカードセキュリティ機能が設定されていて使用できないｉアプリ
(icon)	おサイフケータイ対応ｉアプリ
(icon)	GPS対応ｉアプリ
AUTO GPS	オートGPS対応ｉアプリ
(icon)	途中までダウンロードしたｉアプリ
(icon)	ｉＣお引っこしサービスにより移し替えたＩＣカードデータ
DL	ダウンロードが必要なｉアプリ
CHECK!	カード情報設定が完了していないおサイフケータイ対応ｉアプリ ● リスト表示のときのみ表示されます。

2 起動するソフトを選ぶ

- おサイフケータイ対応ｉアプリのみを表示：[ＩＣカード一覧へ]
  - カスタムメニューで[おサイフケータイ]▶[ＩＣカード一覧]でも表示できます。
- ソフトによってメッセージが表示されることがあります。メッセージに従って操作してください。

- [DL]が表示されている場合は、初回利用時のみｉアプリをダウンロードする必要があります。ダウンロードには、別途パケット通信料がかかるものもあります。ダウンロードする前に、表示される説明内容をよくお読みください。
- ｉアプリのダウンロード時に使用したFOMAカードと同じFOMAカードを挿入していないと実行（起動）できないｉアプリがあります。
- ソフト起動中にアラーム（アラーム／スケジュール／視聴予約／録画予約）で設定した時刻になると、ソフトは中断され、アラーム画面が表示されます。アラーム画面を終了すると再開されます。ｉアプリによっては、アラームが動作したときにソフトを終了するものもあります。
- メール連動型ｉアプリは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXからも起動できます。各BOX一覧からメール連動型ｉアプリフォルダを選択してください。
- ｉアプリによっては、起動時にソフトのバージョンが更新されていたときに確認画面が表示され、バージョンアップできるものがあります。
- ｉアプリによっては、ｉアプリ使用データをmicroSDカードに保存できるものがあります。保存したｉアプリ使用データは、ｉアプリ使用データ一覧で確認できます。また、ｉアプリ使用データを利用するソフトは、ｉアプリ使用データの情報表示で確認できます（☞P.306）。
- ｉアプリ使用データをmicroSDカードに保存するときやmicroSDカードから削除するときに、microSDカードや電池パックを抜くと、microSDカード内のｉアプリ使用データを参照できなくなることがあります。その場合は、microSDカードをSH-03Bでフォーマット（☞P.374）することをおすすめします。なお、microSDカードをフォーマットすると、ｉアプリ使用データを含むすべてのデータが消去されますのでご注意ください。
- microSDカードに保存したデータは、他の機種で利用できないときがあります。
- 同時に起動している他の機能がmicroSDカードを使用している場合は、ｉアプリからmicroSDカードの読み書きをできないときがあります。
- 2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定している場合、ｉアプリによっては起動や操作、設定などができないことがあります。

ｉアプリDXを起動するとき

- ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するために通信設定にかかわらず通信するものがあります。通信する回数やタイミングは、ソフトにより異なります。
- 日付・時刻を正しく設定していないときは、有効性の確認は実行されずソフトは起動できません。
- ソフトが無効になったとき、有効性を確認できるまではソフトを起動できません。

■ ソフト一覧画面のサブメニュー操作

[ソフト情報表示]

[バージョンアップ] ☞P.306

[削除]

▶[1件削除]▶[はい]

▶[選択削除]▶ソフトを選ぶ▶[確定]▶[はい]

▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[待受画面設定]▶[はい]

● iアプリ待受画面設定の詳細については☞P.304

[待受画面通信設定]▶設定を選ぶ

● iアプリ待受画面から通信するかどうかを設定します。

[地図設定]▶[設定する]

● 地図・GPSメニューの[地図]や各機能の位置情報から[地図を見る]を選択したときに起動するGPS対応iアプリを設定します。

[ソフト利用設定] ☞P.288

[番組表ボタン設定]▶[設定する]

● ワンセグから起動する番組表iアプリを設定します。

[ソート]▶ソート方法を選ぶ

[クイック検索用アプリ登録]

▶[クイック検索用地図登録]▶設定を選ぶ▶[確認]

● クイック検索の[地図検索(文字入力)]、[地図検索(音声入力)]で起動するiアプリを設定します。

▶[iアプリ辞書登録]▶設定を選ぶ▶[確認]

● クイック検索の[iアプリ辞書]で起動するiアプリを設定します。

[iアプリについて]

● iアプリの商標を確認します。

[ソフト情報表示]について

● 表示される情報はソフト名、バージョン、ソフト提供、ソフト保存領域、プロファイルバージョン、対応機種、SSL/TLS接続などです。
● 表示されるiアプリのソフト名は変更できません。

[削除]について

● 削除するソフトのiアプリ使用データがmicroSDカードに保存されているとき、iアプリ使用データを同時に削除するかどうかを選択できます。
● 「iD 設定アプリ」は削除できません。
● ソフトが待受画面設定やクイック検索用アプリ登録などで各種機能に設定されている場合、削除確認画面が表示されます。[はい]を選択すると削除されます。
● おサイフケータイ対応iアプリによっては、お客様がソフトを起動してICカード内のデータを削除しないと、ソフトを削除できないものがあります。
● ICカードロック中、おサイフケータイ対応iアプリは削除できないときがあります。
● メール連動型iアプリを含むソフトを全件削除する場合、メールフォルダ内に保護されているメールがあるときはフォルダの削除はできません。
● メール連動型iアプリを削除するとき、自動的に作成されたメールフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。なお、メールフォルダ内に保護されているメールがあるときはフォルダの削除はできません。
● フォルダを残してメール連動型iアプリを削除した場合、フォルダ内のiモードメールを確認するときは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXでフォルダにカーソルを合わせて[サブメニュー]をタッチし、[iモードメール閲覧]を選択します。
  メール連動型iアプリを起動せずにフォルダ内のiモードメールを表示できます。

[待受画面通信設定]について

● 待受画面設定されているソフトにのみ設定できます。

ｉアプリの設定を行う<ｉアプリ設定>

■ 音量を調節する<ｉアプリ音量設定>

1 **カスタムメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[ｉアプリ音量設定]**

2 **音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]**

- ｉアプリによっては音の鳴らないものもあります。

■ ｉアプリの省電力を設定する<省電力設定>

1 **カスタムメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[省電力設定]▶[ON]**

2 **省電力モードになるまでの時間を選ぶ**

- ｉアプリ起動中に照明・省電力設定(☞P.105)に従ってディスプレイの表示がOFFになってから、設定した時間を過ぎるとｉアプリを一時中断して電池の消費を抑えることができます。
- 次の動作中は、ｉアプリの省電力モードになりません。動作終了後、設定時間が経過するとｉアプリの省電力モードになります。
  - ■ ｉアプリからのパケット通信
  - ■ ｉアプリからmicroSDカードへのアクセス
- ｉアプリの省電力モード中にソフトを再開するときは、いずれかのボタンを押し、再開確認画面で[確認]を選択します。
- ｉアプリ待受画面からｉアプリを起動したときも省電力モードの対象になります。

■ ｉアプリ起動中にオートGPS機能を優先するかどうかを設定する<オートGPS優先設定>

1 **カスタムメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[オートGPS優先設定]**

2 **設定を選ぶ**

◆ [ON]▶[OK]
◆ [OFF]

ｉアプリの動作条件を設定する<ソフト利用設定>

- ソフトごとに次の動作条件を設定できます。

通信設定	ｉアプリ起動中に通信を行ってもよいかどうかを設定します。
ｉアプリTo設定	ｉアプリToで起動させるかどうかを設定します。
ｉアプリコール設定	ｉアプリコールを受信したときにｉアプリの起動を許可するかどうかを設定します。
アイコン情報設定	ｉアプリ起動中に未読のメール・メッセージR／Fの有無、電池残量、圏内・圏外情報、マナーモードの設定状態などのアイコンの有無を、ソフトへ通知してもよいかどうかを設定します。
ソフトからの着信音／画像／メニューアイコン変更	ｉアプリから着信音や画面を変更するのを許可するかどうかを設定します。
変更ごとに確認画面	[ソフトからの着信音／画像／メニューアイコン変更を]を[許可する]に設定した場合に、変更時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
ソフトからの電話帳／履歴参照	ｉアプリから電話帳やリダイヤル／着信履歴を参照するのを許可するかどうかを設定します。
位置情報利用設定	GPS対応ｉアプリで位置情報を利用するかどうかを設定します。
ソフトからのオートGPS設定	ｉアプリからオートGPS設定を行ってもよいかどうかを設定します。

- ソフトによって設定できない項目があります。

1 **ソフト一覧画面でソフトにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[ソフト利用設定]**

2 **設定する欄を選ぶ**

3 **設定を選ぶ**

- 続けて他の動作条件を設定：操作2～3を繰り返す

4 **[完了]**

[通信設定]について
- [通信しない]に設定すると、動作しないときやタイムリーな情報提供ができないときがあります。また、起動しないソフトもありますので、ご注意ください。
- ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由して送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります(「ｉアプリで利用する画像」とは、起動中のソフトからカメラ機能を起動して撮影した画像、起動中のｉアプリから赤外線通信機能を利用して取得した画像、起動中のソフトからデータBOXを参照して取得した画像です)。

[ｉアプリTo設定]について
- 起動するソフトは、サイト、ｉモードメール、メッセージR/F、画面メモやトルカによって決まっています。指定のソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

[ｉアプリコール設定]について
- ソフトによっては、ｉアプリコールの設定が有効にならないことがあります。

[アイコン情報設定]について
- アイコン情報が必要なソフトのとき、[利用しない]に設定すると動作しないことがあります。
- アイコン情報設定を[利用する]に設定すると、未読のメール・メッセージR/F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の「携帯電話/FOMAカードの製造番号」と同様にインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるときがあるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

[ソフトからの電話帳/履歴参照]について
- [許可しない]に設定すると、ソフトによっては利用できないものもありますので、ご注意ください。

モーショントラッキング対応のアプリについて

FOMA端末は、カメラの認識技術を使用してｉアプリを操作(FOMA端末を傾けたり振ったり)する「モーショントラッキング」に対応しています。
- 次のような場合はご利用になれないことがあります。
  - ■ カメラのレンズが汚れているとき
  - ■ 着用している服が背景と似通っているとき
  - ■ 移動中など、背景が一定していないとき
  - ■ 暗い場所や背景が明るすぎる場所にいるとき

警告

モーショントラッキング対応のアプリは、FOMA端末を振ったりして遊びます。
振りすぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損などにつながる可能性があります。
遊ぶ際は、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振りすぎず、周囲の安全を確認して遊びましょう。

ｉアプリタッチ対応のアプリについて

ｉアプリの対戦ゲームなどをする際に、ｉアプリからの操作を行ったあと、ｉアプリタッチ対応の他のFOMA端末とマークを重ね合わせることで、簡単にBluetooth登録を行い対戦することなどができます。
- ＩＣカードロック中は、ｉアプリタッチを利用できません。
- 市販のBluetooth対応ヘッドセットなどのBluetooth機器を接続しているときは、ｉアプリタッチを利用できない場合があります。接続中のBluetooth機器との接続を解除してからご利用ください。

バーチャルキーについて

バーチャルキー対応のｉアプリを起動中は、バーチャルキー(カーソルキー、ファンクションキー、決定キー、数字キー、CLRキー)を表示できます。
バーチャルキーをタッチして、ｉアプリ内のメニューや項目を選択してください。

1 ｉアプリ起動中に画面をタッチ

- バーチャルキーが表示されます。
- ｉアプリ起動中に◙を押すと、バーチャルキーの表示／非表示を切り替えることができます。

● タッチ操作に対応したｉアプリなどバーチャルキー非対応のｉアプリでは、バーチャルキーが表示されません。
● 表示されるキーは、ソフトにより異なります。
● ｉアプリによっては、バーチャルキー表示中、通常のタッチ操作ができないことがあります。

■ バーチャルキーの操作

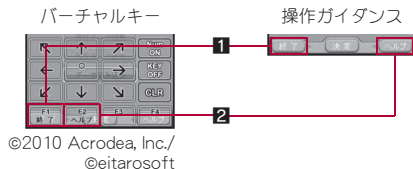
[○]	選択した項目を決定します。※1
[↖]、[↑]、[↗]、[←]、[→]、[↙]、[↓]、[↘]※2	カーソルを移動します。
[F1]、[F2]、[F3]、[F4]※3	操作ガイダンスの機能を実行します。
[CLR]※3	1つ前の画面に戻します。
[Num ON]※3	数字パネル[1]～[9]、[0]、[¥]、[#]を表示します。非表示にするときは[Num OFF]をタッチします。
[KEY OFF]※3	バーチャルキーを非表示にします。※4 画面をタッチするとバーチャルキーが表示されます。ソフトによっては、[KEY ON]と表示される場合があります。

※1 ｉウィジェットでは、画面下部右の決定キーで決定します。
※2 ｉウィジェットでは、[↖]、[↗]、[↙]、[↘]は表示されません。
※3 ｉウィジェットでは表示されません。
※4 ｉウィジェットでは、⌐、1～9、0、■、⊠、Fn＋1～Fn＋4、Fn＋D、Fn＋S、CLRを押すとバーチャルキーを非表示にします。

操作ガイダンスについて

ｉアプリに表示される操作ガイダンスは、次のように割り当てられたバーチャルキーをタッチして操作できます。

● 操作ガイダンスの有無や配置はソフトによって異なります。

例：ｉアバターメーカー

©2010 Acrodea, Inc./
©eitarosoft

❶ バーチャルキーの[F1]をタッチして操作ガイダンスの[終了]を実行
❷ バーチャルキーの[F2]をタッチして操作ガイダンスの[ヘルプ]を実行

ｉウィジェット利用中のバーチャルキーについて

ｉウィジェット利用中は、画面下部にも次のようなバーチャルキーが表示されます。選択／実行するメニューをタッチして操作できます。

● バーチャルキーの表記はソフトや状況によって異なります。

例：Google モバイル

タッチパネル非対応のアプリについて

タッチパネルに対応していないｉアプリはオープンポジションで操作してください。オープンポジションで操作するためのキーガイドが画面右側に表示されます。

1 ｉアプリ起動中にオープンポジションにする

- キーガイドが表示されます。
- ｉアプリ起動中にFn＋5を押すと、キーガイドの表示／非表示を切り替えることができます。

● はじめて起動するｉアプリの場合、自動的にキーガイドが表示されます。

- タッチパネル対応ｉアプリでもオープンポジションにするとキーガイドが表示されますが、オープンポジションでは操作できない場合があります。
- キーガイドを非表示にしてｉアプリを終了した場合、次回起動時はキーガイドが非表示になります。
- クローズポジションにするとキーガイドは非表示になります。

ソフトを起動中に他のソフトを起動する

ソフトによっては、他のソフトを起動できるものがあり、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。

- 起動するソフトが指定されていないときは、画面の指示に従ってソフトを選択します。
- 起動するソフトがFOMA端末に保存されていないときは、ダウンロードする必要があります。

お買い上げ時に登録されているソフト

- お買い上げ時に登録されているソフトを削除後にもう一度ご利用になるときは、ｉ Menu内のサイト［SH-MODE］からダウンロードできます（☞P.133）。

■ 逆転裁判 4 for SH

法廷が舞台のアドベンチャーゲームです。新米弁護士が逆転無罪を勝ち取るため、ライバル検事に戦いを挑みます。

- 横表示専用アプリです。
- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

1 ソフト一覧画面で［逆転裁判 4 for SH］

- はじめて利用するときは、通信時にはパケット通信料がかかる旨の確認画面が表示されます。内容を確認して［同意］をタッチすると、データのダウンロードが開始されます。

2 ［ゲーム開始］

- ［設定］を選択すると、音量や振動の設定ができます。
- ［サイトに接続］を選択すると逆転裁判のサイトに接続します。ゲームの概要や操作説明など詳しくは、逆転裁判のサイトをご覧ください。

3 ［はじめから］／［保存したところから］

- 法廷記録の証拠品ファイルや人物ファイルから証拠品や関係者のデータを確認することができます。
- 証人尋問では、証人をゆさぶったり、証言の矛盾をつきつけて、証人を追いつめることができます。

■ リモートメール アプリメール for SH

家や会社のパソコンに届いたメールを、FOMA端末で読んだり、送ったりすることができるアプリです。

©fonfun corporation

- 初回利用時から60日間はおためし期間として、すべての機能を無料でご利用いただけます（サブアドレス取得と新着メール通知（ｉモードメールに通知）を除く）。初回利用時から61日目以降は、受信は１日１回のみ無料のご利用となります。61日目以降もすべての機能をお使いいただくには、株式会社fonfunの「リモートメール=✉=」サイトからマイメニュー登録（有料）が必要です。
  ｉモードサイト：［ｉ Menu］▶［メニューリスト］▶［便利メール／グリーティング］▶［リモートメール=✉=］
- 横表示専用アプリです。
- お使いのメールアドレス（プロバイダ）によっては、ご利用できない場合があります。
- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

ソフトを起動する

1 待受タッチランチャで［リモメ／アプリメールforSH］

- はじめて利用するときは、通信時にはパケット通信料がかかる旨の確認画面が表示されます。内容を確認して［OK］をタッチすると、本アプリの説明や利用規約、注意事項が表示されます。利用規約に同意し、注意事項を確認してください。利用規約に同意すると、アカウント設定画面が表示されます。

2 [新規登録]

- メールアドレス入力画面が表示されます。
- [リモートメールから選択登録]はおためし期間中はご利用できません。お使いいただくには株式会社fonfunの「リモートメール=✉=」サイトからマイメニュー登録が必要です。

3 利用するメールアドレスを入力▶[決定]▶[決定]

- アドレス設定のアカウント情報入力画面が表示されます。

4 アカウント情報の入力／選択▶[設定]▶[次へ]▶[OK]

- 入力したメールアドレスのアカウント情報を入力してください。入力内容については、ご利用のメールアドレスの発行元(プロバイダなど)にお問い合わせください。
- 確認画面と操作手順が順に表示されたあと、TOP画面が表示されます。次回起動時からは直接TOP画面が表示されます。
- 登録したメールアドレスに確認メールが送信されます。

5 [オプション]▶[アドレス設定]▶登録したメールアドレスを選ぶ

- アドレスの設定／認証画面が表示されます。

6 [アドレス認証]▶確認コードを入力▶[決定]▶[認証]

- 認証が完了すると登録したメールアドレスからメール送信ができるようになります。
- 確認コードは操作4で送信された確認メールに記載されています。

- メールを読んだり、送ったりする方法については、TOP画面で[オプション]▶[お知らせ／ガイド]▶[使い方ガイド]▶[リモメ／アプリメールforSH]を選択すると確認できます。

ウィジェットアプリ対応☞P.308

登録済みのメールアドレスに新着メールがあるかどうかを15分ごとに自動チェックします。新着メールがあるときは、メールを確認できます。

■ ネット辞典

国語辞典や英和辞典などサイト上の辞典を使うことができます。

- クイック検索から起動することもできます(☞P.415)。
- 横表示専用アプリです。
- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

1 ソフト一覧画面で[ネット辞典]

- はじめて起動したときは、注意事項が表示されます。注意事項を確認してください。次回起動時からは注意事項が表示されません。

2 キーワード入力欄を選ぶ▶キーワードを入力する▶[決定]

3 辞典の欄を選ぶ▶利用する辞典を選ぶ

4 [検索]

5 [はい]

- [はい(以後表示しない)]を選択すると、次回から確認画面は表示されません。
- ネットワークに接続され、検索結果が表示されます。

6 検索結果にカーソルを合わせる

- 検索結果を選ぶと、画面右側に詳細の一部が表示されます。

7 [◯]

- 詳細画面が表示されます。詳細画面に[さらに詳しく]と表示されているときは、[さらに詳しく]を選択するとサイトに接続して詳細を確認できます。

利用する辞典一覧を更新する

1 ネット辞典画面で[F2]▶[辞典更新]▶[はい]

- [F2]に[メニュー]が表示されているときに[F2]▶[ヘルプ]を選択すると操作方法を確認できます。

■ モバイルGoogleマップ

地図を表示して、地域情報やお店情報、ユーザ作成コンテンツを簡単に探し出すことができます。また、航空写真モードに切り替えることや、ストリートビューを見ることができます。また、路線検索で目的地までの移動方法を調べ、目的地までのナビゲーションをすることもできます。

地図画面について

©2010 Google - 地図データ ©2010 ZENRIN

地図画面の操作

	タッチパネル操作	ボタン操作
メニューの表示	［メニュー］	1
検索（地域のお店やサービスの情報、場所を検索して地図上に表示）	［検索］	2
カーソルの移動	画面をタッチしたままスライド	方向キー
コンテキストメニュー（現在地の住所、ここまでの経路、ここからの経路、ストリートビュー、お気に入りに保存、付近を検索）	ダブルタッチ	決定キー
ズームアウト	［ズームアウト］	6
航空写真／地図の切り替え	［メニュー］▶［航空写真］／［地図表示］	7
ズームイン	［ズームイン］	8
現在地の表示	［現在地］	N
お気に入りに保存／表示	［メニュー］▶［お気に入り］	B

- はじめて利用するときは、利用規約に同意する必要があります。
- 詳細はメニューの［ヘルプ］をご覧ください。

■ ｉアバターメーカー

ｉアバターメーカーでできること

©2010 Acrodea, Inc./©eitarosoft

アバターをつくる

ｉアバターメーカーに用意されたさまざまなパーツを利用して、アバターを作成することができます。カメラで撮影した写真やデータBOXに保存してある画像を見ながら作成することや、あらかじめ用意されたアバターの見本をもとに作成できます。

アバターをつかう

作成したアバターは、デコメール®、デコメ®絵文字、デコメアニメ®の素材や、ｉコンシェルに対応したマチキャラに変換して利用できます。
また、作成したアバターをｉアバターサイトに登録することで、いろいろな洋服アイテムに着せ替えたり、コンテストや対応サイトで公開することができます。

- アバターをデコメアニメ®やマチキャラに変換する際には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアバターサイトにアバターを登録する際には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアバターサイトで着せ替えを行うには、アイテム購入が必要な場合があります。
- ｉアバターは、株式会社ディーツーコミュニケーションズの商標です。
- アバターメーカーは、株式会社アクロディアの商標です。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

■ iD 設定アプリ

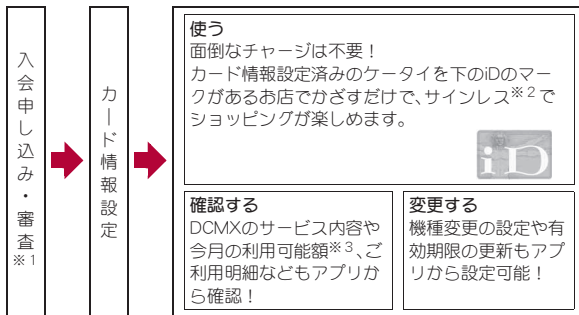
「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を２種類まで登録できるので特典などに応じてお店によって使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iD 設定アプリまたはカード発行会社が提供するカードアプリで設定を行う必要があります。なお、ご利用のカードによってはiD 設定アプリで設定のうえ、カードアプリの設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- iD 設定アプリは削除できません。ＩＣオーナーを初期化する場合は、事前にiD 設定アプリの［設定メニュー］から［iDアプリ初期化］を行ってください。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- iDに関する情報については、iDのｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：［ｉMenu］▶［メニューリスト］▶［「iD」］

サイト接続用QRコード

■ DCMXクレジットアプリ

「DCMX」とは、「iD」に対応した、NTTドコモが提供するクレジットサービスです。
DCMXには、月々１万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMX／DCMX GOLDの各サービスがございます。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

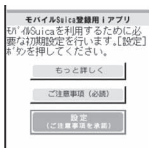
アプリの機能

※１　DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。
また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。
※２　一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。
※３　DCMX miniのみ可能です。

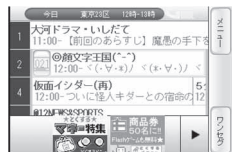
- サービス内容やお申し込み方法の詳細についてはDCMXのｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：[ｉMenu]▶[メニューリスト]▶[DCMX]

サイト接続用QRコード

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- カード情報設定が完了するまでは、ソフト一覧画面に[未設定]もしくは、[ ]が表示されます。ただし、ＩＣカードロックを設定しているときは、カード情報設定が完了していなくても表示されません。
- 本アプリをはじめて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意のうえ、ご利用ください。
- 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

■ モバイルSuica登録用ｉアプリ

「モバイルSuica登録用ｉアプリ」は、JR東日本が提供するおサイフケータイ対応サービス「モバイルSuica」をご利用いただく前に必要な初期設定を行う、ドコモが提供するｉアプリです。本アプリにて初期設定を行ったあと、画面に従ってJR東日本サイトからモバイルSuicaアプリをダウンロードし、会員登録を行ってください。

- はじめてご利用される際には、「ご注意事項（必読）」に承諾いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 本アプリは、初期設定が完了したあとに削除できますが、モバイルSuicaサービスで利用していたエリアを他のサービスでご利用いただくためには、ＩＣカード内のデータをすべて初期化（以下、フルフォーマット）していただく必要があります。
- フルフォーマットを実施するには、ドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
- フルフォーマットを実施すると、ＩＣカード内のすべてのデータが削除されます。
- フルフォーマットを行ったあとにモバイルSuicaサービスを再度ご利用になる場合は、本アプリにて再度初期設定をしていただく必要があります。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- モバイルSuicaに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：[ｉMenu]▶[メニューリスト]▶[【生活情報】おサイフケータイ]▶[モバイルSuica]
- 「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

■ Gガイド番組表タッチ

タッチパネル対応の「Gガイド番組表タッチ」（地上デジタル放送にのみ対応）でテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグ、ワンセグから番組表を起動することができます。気になる番組があったら番組詳細画面からワンセグ録画予約や視聴予約をすることができます。

- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ディスプレイは縦表示／横表示どちらでも利用することができます。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の時刻を日本時間に合わせてください。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

視聴予約機能について

本アプリの番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約をすることができます。

- 視聴予約の方法

メイン画面で視聴予約したい番組を選び、[視聴予約]をタッチすると視聴予約画面が表示されますので、画面に従って視聴予約を行ってください。

録画予約機能について

本アプリの番組表で録画したい番組を選択し、ワンセグの録画予約をすることができます。

- 録画予約の方法

メイン画面で録画予約したい番組を選び、[録画予約]をタッチすると録画予約画面が表示されますので、画面に従って録画予約を行ってください。

おすすめ情報をメールで受け取る

.TVメールを設定すると、キーワードに応じた番組情報をメールで受け取ることができます。メールから直接本アプリを起動したり、.TVメールサイトから番組検索結果を表示したりできます。

■ 地図アプリ

SH-03Bに搭載されている地図・GPS機能を利用して、目的地を検索したり、交通手段によるルートを表示したりすることができる便利アプリです。

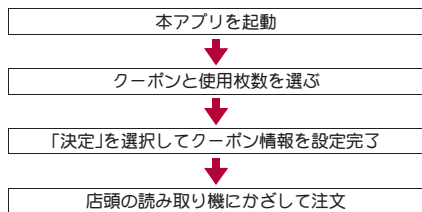
- 待受タッチランチャから起動することもできます（☞P.41）。
- 「地図アプリ」の操作方法については☞P.325

■ マクドナルド トクするアプリ

マクドナルドの新商品など、おすすめ情報をいち早くチェックできるほか、マクドナルドで使える割引クーポン「かざすクーポン」や対象商品の購入でスタンプがたまる「かざす会員証」としても利用できます。
「かざすクーポン」のご利用は「トクするケータイサイト」への会員登録後、アプリからお好みのクーポンを選択・設定し、マクドナルドの店頭に設置されている読み取り機にかざしてご利用ください。

©2009 McDonald's

- 「マクドナルド トクするアプリ」に関する情報はマクドナルド公式サイト「トクするケータイサイト」をご覧ください。
  iモードサイト：[iMenu]▶[メニューリスト]▶[グルメ／レシピ]▶[マクドナルド〓トクする]
- 「かざすクーポン」はご利用いただけない店舗があります。
  「かざすクーポン」が使えない地域では、「見せるクーポン」をご利用いただけます。
- 「おすすめ情報」は「トクするケータイサイト」の非会員でもご覧いただけます。
- 「マクドナルド トクするアプリ」の機能やサービス内容は、変更されることがあります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「かざすクーポン」の利用方法

ウィジェットアプリ対応☞P.308

マクドナルドの「おすすめ情報」が更新されると、ウィジェットアプリのマクドナルドの看板が回転してお知らせします。
看板を選択するとおすすめ情報が表示されます。
おすすめ情報の「もっと詳しくボタン」を選択するとより詳しい情報を見ることができます。

■ 楽オク☆アプリ

「楽オク☆アプリ」は、楽オクに簡単に出品できる便利なアプリです。写真撮影から説明文入力、出品設定まで、ステップを進めていくだけで簡単に出品ができ、オークションがはじめてという方でも安心して使えます。
説明文が簡単に作れる「かんたん入力」機能や、写真編集、履歴の保存など便利な機能もたくさんあるので、サイトからの出品よりも時間がかからずに出品することができます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 楽オクの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録が必要です。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- 楽オクに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：[ｉMenu] ▶ [オークション]

サイト接続用
QRコード

ウィジェットアプリ対応☞P.308

楽オクのおすすめ商品や自分で出品・入札した商品の情報が表示されるので、気になるオークションの状況が簡単に確認できます。

■ ｉアプリバンキング

ｉアプリバンキングとは、FOMA端末からモバイルバンキング（ご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込・振替など）を、便利にご利用いただくためのｉアプリです。ｉアプリを起動する際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大２つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。ペイジーによる請求書・納付書のお支払いも可能です。

- ｉアプリバンキングでモバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関へのインターネットバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 画面はイメージです。実際の画面と異なることがあります。
- ｉアプリバンキングの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- ｉアプリバンキングに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：[ｉMenu] ▶ [メニューリスト] ▶ [モバイルバンキング] ▶ [ｉアプリバンキング]

サイト接続用
QRコード

ウィジェットアプリ対応☞P.308

ｉアプリバンキングウィジェットでは、ウィジェット上でパスワードを入力するだけで簡単にｉアプリバンキングを起動することができ、ご自身の登録している金融機関やオプション機能の利用がより便利に行えます。

■ Start! iウィジェット

「Start! iウィジェット」は、iウィジェットの使い方をムービーで見ることのできるアプリです。
また、iモードに接続して、FOMA端末に保存されているもの以外のアプリをダウンロードできるサイトを表示することもできます。

- 「ダウンロード」を選択し、iモードに接続する際は、別途パケット通信料がかかります。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

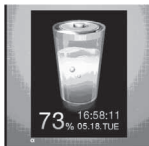
■ SH-MODE INFO

「SH-MODE INFO」は、iウィジェットにてiMenu内のサイト[SH-MODE]の更新情報を確認したり、サイト内の各コンテンツへ直接接続することができるアプリです。

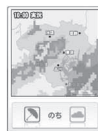
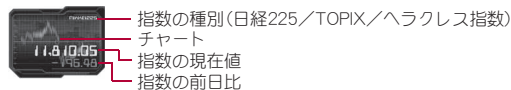
- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

■ iWウォッチ

「iWウォッチ」は、iウィジェットにてグラフィカルに時計や電池残量を確認することができるアプリです。
デザインや色は、お好みに応じて変更することが可能です。

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

■ お天気予報ウィジェット

「お天気予報ウィジェット」は、iウィジェットにて今日・明日の天気や雨レーダーなどを見ることのできるアプリです。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- 通信時には別途パケット通信料がかかります。

■ 株価アプリ

「株価アプリ」は、iウィジェットにて株価情報を簡単に見ることのできるアプリです。
表示できる株価情報は、「日経225／TOPIX／ヘラクレス指数」の3指数になります。
それぞれの指数の現在値および前日比を表示することが可能です。
また、チャート情報についても、「日中足／日足／週足／月足」と切り替えることができます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 指数の現在値については、約20分遅れの情報となります。
- 本アプリの情報は株式など売買および売買の支援をするものではありません。
- 本アプリの情報の内容につきましては万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。
  万一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社および情報提供者は一切責任を負いかねます。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

■ Google モバイル

「Google モバイル」は、モバイルWeb検索機能が利用できるアプリです。過去に入力した検索ワードや、トレンド急上昇中のワードの入力も簡単にできるので便利です。
また、メールサービス（Gmail）、乗り換え案内などの便利なGoogleサービスを簡単に呼び出すことができます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

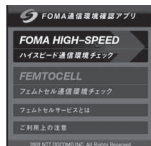
■ ROID ウィジェット

©team ROID

「ROID ウィジェット」は、ロイ君と呼ばれるキャラクタが、モバイルサイト「ROID」の更新情報（体験版の情報／動画の情報／サイトの更新など）を紹介してくれるウィジェットアプリです。
ロイ君の動きやコメントはモバイルサイト「ROID」の更新情報によって楽しく変化します。「ROID ウィジェット」からモバイルサイト「ROID」に遷移することで、更新情報の詳細を見ることができます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

■ FOMA通信環境確認アプリ

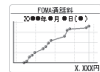
FOMA通信環境確認アプリは、測定した場所がFOMAハイスピードエリアであるかどうか、またフェムトセルを利用できるかどうか確認することのできるアプリです。

- フェムトセルの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用上の注意」に同意のうえ、ご利用ください。
- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示されることがあります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できないことがあります。
- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意のうえ、ｉアプリをダウンロードする必要があります。

■ ドコモ料金案内

ドコモ料金案内とは、通話料・パケット通信料など、簡易なご利用履歴が一覧やグラフで確認できるｉアプリです。

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- はじめてご利用される際には、ｉアプリをダウンロードする必要があります。
- ダウンロードおよびご利用のパケット通信料は無料です（海外でのご利用は有料となります）。
- 案内内容は概算であり、実際の請求金額とは異なる場合があります。
- ドコモ料金案内に関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：[ｉMenu] ▶ [お客様サポート] ▶ [料金確認・診断] ▶ [料金の確認・お支払い] ▶ [請求内容のご確認]

ウィジェットアプリ対応☞P.308

ウィジェットでは、通話料・パケット通信料などの利用履歴をグラフで簡単に確認できます。

■ モバイルAMCアプリ

「モバイルAMCアプリ」は、おサイフケータイを使ってANAの便利なサービスをご利用いただくためのアプリです。
搭乗口でおサイフケータイをタッチするだけでご搭乗いただける国内線「SKiPサービス」や、電子マネー「Edy」でのお支払いでマイルが貯まる「ケータイ de Edyマイル」サービスがご利用いただけます。

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- 「ケータイ de Edyマイル」の登録には、あらかじめ「Edy」アプリの登録が必要です。
- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意のうえ、iアプリをダウンロードする必要があります。
- iアプリのダウンロードが完了するまでは、ソフト一覧画面で[未設定]と表示されます。
- iアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 「モバイルAMCアプリ」の機能やサービス内容は、変更になる場合があります。
- 「モバイルAMCアプリ」に関する情報や「SKiPサービス」･「ケータイ de Edyマイル」の詳細については、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：[iMenu]▶[メニューリスト]▶[乗換／地図／交通]▶[ANA全日空✈]

■ ヨドバシゴールドポイントカード

「ヨドバシゴールドポイントカード」は、おサイフケータイでゴールドポイントを貯めたり、お買い物に利用したりすることができるアプリです。また、ポイント残高やゴールドポイントカード会員番号を確認することもできます。

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- 本アプリをご利用する前に、iモードサイトの「モバイルヨドバシ」で会員登録を行ってください。
- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意のうえ、iアプリをダウンロードする必要があります。
- iアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 「ヨドバシゴールドポイントカード」に関する情報は、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：[iMenu]▶[メニューリスト]▶[【生活情報】おサイフケータイ]▶[ヨドバシカメラ]

■ ビックポイント機能付きケータイ

「ビックポイント機能付きケータイ」は、おサイフケータイをビックポイントカードとしてご利用いただけ、ビックカメラの店頭に設置されている読み取り機にかざすだけで、ポイントを貯めたり使ったりすることができるアプリです。また、現在のポイント残高をすぐに確認することもできます。

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- 本アプリをご利用する前に、iモードサイトの「ビックカメラドットコム」で会員登録を行ってください。
- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意のうえ、iアプリをダウンロードする必要があります。
- iアプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 「ビックポイント機能付きケータイ」に関する情報は、iモードサイトをご覧ください。
  iモードサイト：[iMenu]▶[メニューリスト]▶[【生活情報】おサイフケータイ]▶[ビックカメラ]

- お買い上げ時、登録されているソフトの各機能は次のように設定されています。ソフト一覧のサブメニューから設定を変更できます。

ソフト	お買い上げ時の設定
逆転裁判４ for SH	通信設定：通信する
リモートメール アプリメール for SH	通信設定：通信する
ネット辞典	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する アイコン情報設定：利用する
モバイルGoogleマップ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する アイコン情報設定：利用する 電話帳／履歴参照：許可する 位置情報利用設定：利用する
ｉアバターメーカー	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する
iD 設定アプリ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する
DCMXクレジットアプリ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する
モバイルSuica登録用ｉアプリ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する
Gガイド番組表タッチ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する
地図アプリ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する アイコン情報設定：利用する 電話帳／履歴参照：許可する 位置情報利用設定：利用する ソフトからのオートGPS設定：許可する
マクドナルド トクするアプリ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する
楽オク☆アプリ	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する アイコン情報設定：利用する
ｉアプリバンキング	通信設定：通信する ｉアプリTo設定：許可する
Start! ｉウィジェット	－
SH-MODE INFO	通信設定：通信する
iWウォッチ	アイコン情報設定：利用する
お天気予報ウィジェット	通信設定：通信する
株価アプリ	通信設定：通信する
Google モバイル	通信設定：通信する アイコン情報設定：利用する
ROID ウィジェット	通信設定：通信する

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

- ＩＣカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

自動起動設定

ｉアプリを自動起動する

ｉアプリを自動起動する方法は３通りあります。

ｉアプリDXからの設定による自動起動	有効にするには、自動起動設定を［ON］に設定します。
ソフト自体の機能による自動起動	あらかじめソフトに組み込まれている自動起動の動作です。有効にするには、自動起動設定を［ON］に設定して、自動起動するソフトを登録します。９件まで登録できます。
FOMA端末の設定による自動起動	FOMA端末に保存されているｉアプリに対して、時刻・日付・曜日を指定して自動起動を設定します。有効にするには、自動起動設定を［ON］に設定して、スケジュールを設定します。９件まで登録できます。

● あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください（☞P.55）。

自動起動をする<自動起動設定>

1 カスタムメニューで［ｉアプリ］▶［ｉアプリ設定］▶［自動起動設定］

2 設定を選ぶ

● 自動起動できなかったときは、自動起動失敗履歴に記憶されます（電源が入っているときのみ）。

● 次の場合は自動起動できません。
- ■ 電源が入っていないとき
- ■ ｉアプリが起動中のとき
- ■ 他の機能が起動しているとき
- ■ 通話中
- ■ 自動起動とアラーム（アラーム／スケジュール／視聴予約／録画予約）を同じ時刻に設定しているとき
- ■ ｉアプリ／ｉウィジェットの機能別ロック中
- ■ 2in1のモードを［Bモード］に設定しているときに、メール連動型ｉアプリを自動起動設定しているとき
- ■ FOMAカードが挿入されていないとき
- ■ 自動起動を設定しているアプリをダウンロードしたときと異なるFOMAカードを挿入しているとき

● ウィジェットアプリは自動起動設定できません。

● ダウンロードが必要なソフトはダウンロードするまで自動起動設定できません。

● 同じ時刻に設定した以下の機能は次の優先順位で動作します。

	優先順位（高→低）
機能	自動電源OFF→自動電源ON→アラーム→ｉアプリ自動起動

● 設定リセットを行うと、自動起動失敗履歴が削除され、ｉアプリの自動起動設定は解除されます。

● 同一ソフトの自動起動が前回の自動起動から10分未満のとき、起動できません。自動起動する間隔を10分以上に設定してください。自動起動失敗履歴には［起動エラー］と表示されます。

■ FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する<詳細設定>

1 カスタムメニューで［ｉアプリ］▶［ｉアプリ設定］▶［自動起動設定］▶［詳細設定］

2 登録先を選ぶ

- 新規に登録：［--------------------］を選ぶ
- 設定の変更：変更するソフトを選ぶ▶［変更］
- 設定の削除：削除するソフトを選ぶ▶［削除］

3 ソフトを選ぶ

4 設定する

◆ [デイリー]▶時刻(24時間制)を入力▶[決定]
◆ [曜日設定]▶曜日を選ぶ▶[確定]▶時刻(24時間制)を入力▶[決定]
◆ [日付設定]▶日付・時刻(24時間制)を入力▶[決定]

■ 自動起動対応のソフトの設定を有効にする<時間間隔設定>

1 「FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する」の操作1~3を行う▶[時間間隔設定]

- 無効にするときは「FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する」で設定を削除します。
- 自動起動設定がないソフトのときは選択できません。

ｉアプリコールを利用する

送信して招集する<招集>

ｉアプリからの操作で相手を招集します。

- 操作方法はｉアプリのソフトによって異なります。

受信したときは<受信>

ｉアプリの招集が行われると、ｉアプリコールを受信します。応答すると該当のｉアプリが自動起動します。

- IP(情報サービス提供者)から招集が行われる場合もあります。

1 受信終了後、ｉアプリコール応答確認画面が表示され、着信音が鳴る([アイコン]表示)

- ｉアプリコール応答確認画面で約15秒間何も操作しなかったり、他の機能を起動中にｉアプリコールを受信した場合、待受画面に[アイコン]とストックアイコン[アイコン](ｉアプリコールあり)が表示されます。ｉアプリコール履歴には[保留中]として記憶されます。

2 [応答する]

- 拒否する:[拒否する]
- 保留する:[保留する]

3 ｉアプリ自動起動

- 該当するｉアプリがない場合、ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選ぶとダウンロードできます。

- [保留する]を選んだときは、有効期限内にｉアプリコール履歴から確認することができます。
- ｉアプリコールによっては、応答確認画面を表示せず、ｉアプリを自動起動することがあります。
- ｉアプリコール受信時の着信動作(着信音、バイブレータ、ランプ)は、SMSの設定に従います。
- ｉアプリコールに応答した場合、パケット通信料がかかることがあります。

履歴を確認する<ｉアプリコール履歴>

- 最新の履歴から30件まで記憶されます。

1 カスタムメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリコール履歴]

- ストックアイコン[アイコン](ｉアプリコールあり)が表示されているとき:待受画面でストックアイコン[アイコン](ｉアプリコールあり)を選ぶ
- ｉアプリコールを確認する:保留中の履歴を選ぶ▶[確認する]
- 履歴を1件削除:履歴にカーソルを合わせる▶[1件削除]▶[はい]
- 履歴を全件削除:[全件削除]▶[はい]

- 次の場合はｉアプリコール履歴に記憶されません。
  - ■ 該当するｉアプリのソフト利用設定で、ｉアプリコール設定を[設定しない]に設定しているとき
  - ■ 該当するｉアプリがなく、ｉアプリコールDL設定を[拒否する]に設定しているとき
- 設定リセットを行うと、ｉアプリコール履歴は削除されます。

iアプリコールの設定を行う

- iアプリコール一括拒否設定の詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

iアプリコールからのダウンロードを拒否するかどうかを設定する<iアプリコールDL設定>

1 **カスタムメニューで[iアプリ]▶[iアプリ設定]▶[iアプリコールDL設定]**

2 **設定を選ぶ**

iアプリTo機能

サイトやiモードメールからiアプリを起動する

iアプリTo（iアプリ起動設定）が設定されているとき、サイト、iモードメール、メッセージR／F、画面メモやトルカからiアプリを起動できます。

- 次の方法でiアプリ起動の信号を受信したときや読み取ったときでもiアプリを起動できます。
  - ■ 赤外線通信　■ マークを読み取り機にかざしたとき
  - ■ バーコードリーダー
- iアプリToを許可するかどうかは、iアプリTo設定で設定します（☞P.288）。
- iアプリ待受画面として起動することはできません。
- フルブラウザでは起動できません。

1 **サイトやメール、メッセージR／F、画面メモ、トルカを表示中にiアプリを選ぶ▶[はい]**
  - 起動の中止：[iアプリ起動中]と表示中に ▶[はい]

- iアプリを終了すると、元のサイトや受信メール詳細画面、画面メモやトルカ表示画面に戻ります。
- iアプリの起動指定に該当するソフトがないときは、[指定されたソフトがありません]と表示されます。
- サイトによっては、指定のソフトがFOMA端末に保存されていない場合や、FOMA端末に保存されているソフトのバージョンが古い場合に、ソフトをダウンロードまたはバージョンアップできるときがあります。
- 起動中に通信設定（☞P.288）が必要なときもあります。
- iモードメールからのiアプリToは、IP（情報サービス提供者）からのiモードメール配信で利用する機能です。FOMA端末どうしではご利用になれません。

iアプリ待受設定

iアプリ待受画面を設定する

- 待受画面に設定したiアプリは、を押すと操作できるようになります。iアプリ待受画面設定は解除されず、待受画面に戻ったときにiアプリ待受画面が再起動します。
- iアプリ待受設定されたソフトから通信するかどうかは、待受画面通信設定（☞P.287）で設定できます。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[表示･ランプ･省電力]▶[待受設定]▶[待受画面設定]▶[待受画面（縦）]▶[iアプリ]**

2 **ソフトを選ぶ**
  - 通信を利用するソフトを設定したときは、通信を許可するかどうかの選択画面が表示されます。[通信する]を選択すると通信が許可されます。[通信しない]を選択すると通信が許可されず、情報提供ができない場合がありますので、ご注意ください。
  - 設定中のiアプリを設定し直す：[設定]▶ソフトを選ぶ▶[はい]
  - 設定中のiアプリを終了：[終了]
  - 設定中のiアプリを解除：[解除]

- iアプリ待受画面に設定できるソフトは1つのみです。
- iアプリ待受画面に設定できないソフトもあります。

- ｉアプリ待受画面を設定しているとき、待受画面にはｉアプリが表示されます。待受設定の待受画面設定で設定した画像は表示されません。ｉアプリ待受画面設定を解除すると、待受設定の待受画面設定で設定した画像が表示されます。
- ｉアプリ待受画面からのWeb To機能はご利用になれません。
- 通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定したときは、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- ｉアプリ待受画面表示中にオールロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は終了し、[待受画面1]が表示されます。
- ｉアプリ待受画面は、オープンポジションまたはクローズポジション(横向き)にすると中断されます。クローズポジション(縦向き)に戻すと再開されます。
- ｉアプリDXをｉアプリ待受画面に設定したとき、ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するため、通信設定にかかわらず通信するものがあります。
- ｉアプリ待受画面を設定しているときは、電源を入れるとｉアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。[はい]を選択するか、約5秒そのままにしておくと、ｉアプリ待受画面が起動します。[いいえ]を選択すると、通常の待受画面になり、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。ただし、自動電源ONで電源を入れたときは確認画面が表示されず、待受画面に戻ると起動します。
- 2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定しているとき、ｉアプリ待受画面は利用できません。
- 次の操作を行うと待受画面のｉアプリはいったん終了します。
  - ■ カメラ機能
  - ■ データBOX機能
  - ■ ｉモード機能
  - ■ メール機能
  - ■ テレビ電話
  - ■ ケータイデータお預かりサービス
  - ■ ｉアプリの設定の変更
  - ■ ｉモーションの再生
  - ■ トルカ機能
  - ■ ソフトウェアの更新
  - ■ ｉC送信
  - ■ 赤外線通信
  - ■ Bluetooth通信
  - ■ ｉアプリのダウンロード
  - ■ ｉアプリの起動
  - ■ マンガ・ブックリーダー
  - ■ ドキュメントビューア
  - ■ PDF対応ビューア
  - ■ ワンセグ
  - ■ パターンデータの更新
  - ■ 2in1の設定の変更(モード切替、2in1機能のON／OFF切替)
  - ■ ｉウィジェット画面の表示

[セキュリティエラー]について

- ｉアプリ待受画面を設定している場合、ｉアプリが不正な動作をしようとしたときやｉアプリが許可されている機能以外の動作をしようとしたときは、ｉアプリ待受画面は解除されます。
- ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生したとき、エラー発生時刻などがエラー履歴に記憶、表示されます。通常終了時には記憶されません。待受画面に[セキュリティエラー]と表示されているときは、タッチすると、エラー履歴が表示されます。

ｉアプリを管理する

FOMA端末に保存したｉアプリのバージョンアップを行ったり、起動時のエラー情報やトレース情報の表示などを行うことができます。

- ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。そのときは、そのソフトの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細表示のみが可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP(情報サービス提供者)にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信するときがあります。

次ページへ続く

● このようにIP(情報サービス提供者)がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信したとき、携帯電話は通信を行い、ｉモードアイコンが点滅します。

■ バージョンアップする<バージョンアップ>

FOMA端末に保存済みのソフトがサイト側で新しいバージョンに更新されているときに、バージョンアップできます。

1 ソフト一覧画面でソフトにカーソルを合わせる ▶ [サブメニュー] ▶ [バージョンアップ] ▶ [はい]

- ソフトの情報が表示されたとき：[確認]

● FOMA端末のメモリの空き容量がないときは、バージョンアップできません。他のソフトまたはｉアプリとメモリエリアを共有しているデータBOXのデータを削除してください。
● おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ＩＣカードロック中、ダウンロードやバージョンアップができないときがあります。
● メールの機能別ロック中、メールフォルダ名を変更するメール連動型ソフトはバージョンアップできません。

■ エラー情報を表示する<情報表示>

ソフト起動時のエラー情報([自動起動失敗履歴]、[強制終了履歴]、[セキュリティエラー履歴])を確認できます。

1 カスタムメニューで[ｉアプリ] ▶ [情報表示]

2 エラー履歴を選ぶ

■ トレース情報を表示する<トレース表示>

1 カスタムメニューで[ｉアプリ] ▶ [情報表示] ▶ [トレース表示]

- トレース情報がないときは、[トレース情報がありません]と表示されます。
- トレース情報の削除：[削除] ▶ [はい]

ｉアプリ作成者の方へ
● 作成したｉアプリが正常な動作をしないときは、トレース情報の内容が参考になることがあります。

● トレースを採取するように設定されているソフトがないときは、トレース情報が表示されません。

ｉアプリ使用データ(コンテンツ移行対応)

microSDカード内のｉアプリ使用データを表示する

● ｉアプリ使用データフォルダを削除したり、選択したフォルダの詳細情報を表示することができます。
● 詳細情報には、利用可能ソフト／CP名、フォルダ利用可／不可、利用不可原因が表示されます。
● フォルダの利用不可原因は次のとおりです。
■ ソフト動作制限[あり]：保存されたデータを使用するソフトがないため利用できません。
■ FOMAカードセキュリティ(動作制限)[あり]：保存したときと異なるFOMAカードが挿入されているため利用できません。
■ 機種制限[あり]：保存したときと異なる機種のため利用できません。
■ シリーズ制限[あり]：FOMA端末のシリーズが、保存したときのシリーズと異なるため利用できません。

1 カスタムメニューで[ｉアプリ] ▶ [ｉアプリ使用データ]

- フォルダの1件削除：フォルダにカーソルを合わせる ▶ [削除] ▶ [はい]
- 情報の表示：[情報表示]

● 同時に起動している他の機能がmicroSDカードを使用しているときは、ｉアプリ使用データのフォルダを表示できません。他の機能を終了してから操作してください。

ｉアプリのさまざまな機能を利用する

- 利用するソフトによって、操作方法が異なったり、操作できないときがあります。

サイトを表示する

- サイト表示に対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- URLが半角の英数字や記号で255文字を超えるサイトは表示できません。

1 ソフト起動中に、URLの項目を選ぶ▶[はい]

電話をかける

起動中のソフトから、音声電話、テレビ電話を利用することができます。

- 音声電話、テレビ電話を利用することに対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- ダイヤル発信制限中、セルフモード中は、電話をかけることができません。

1 ソフト起動中に、電話番号の項目を選ぶ

2 電話をかける

- 音声電話：[📞]／[📞]▶[はい]
- テレビ電話：[テレビ電話]▶[はい]

カメラ機能を利用する

- ｉアプリからカメラを起動したとき、撮影した画像はｉアプリの一部として保存、利用されます。

1 ソフト起動中に、カメラの起動項目を選ぶ

- カメラモードになります。明るさを調整したり、セルフタイマー、ズームを利用できます。
- ソフトから[画像サイズ]や[連続撮影]、[画質]、[フレーム]などの設定ができるものもあります。

2 [📷]／[□]

- 保存：[保存]／[□]

- ソフトによってはｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどを、自動的にインターネットを経由して送信することがあります。ｉアプリで利用する画像とは、起動中のｉアプリが、カメラ機能を起動して撮影した画像、データBOXのマイピクチャから選択した画像および赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。

バーコードリーダーを利用する

1 ソフト起動中に、バーコードリーダーの起動項目を選ぶ

- カメラモード（バーコードリーダー）になります。

2 バーコード（JANコード、QRコード、CODE128）が表示されるようにカメラを合わせる▶[読取]／[□]

- バーコード（JANコード、QRコード、CODE128）を読み取ります。
- CODE128を読み取るときに[スルー]／[シャッター]にタッチすると、スルーモードとシャッターモードを切り替えることができます。
  - ・スルーモードのときは、ディスプレイに表示されているバーコードを直接読み取ります。シャッターモードのときは、バーコードをいったん撮影してから読み取ります。

- CODE128を読み取るには、対応しているｉアプリのソフトをダウンロードする必要があります。
- 読み取ったデータは、ｉアプリで利用・保存されます。

トルカを保存する

1 ソフト起動中に、トルカの保存項目を選ぶ

2 プレビュー表示／保存する

- ◆ **[新規保存]▶フォルダを選ぶ**
- ◆ **[上書き保存]▶データを選ぶ▶[保存]**
- ◆ **[プレビュー]**
- ◆ **[キャンセル]**

アラームを登録する

- ［時刻入力］と［繰り返し設定］は、ｉアプリにより入力されています。

1 ソフト起動中に、アラーム登録項目を選ぶ▶［OK］

2 登録先を選ぶ

3 アラームを登録する

- アラームの登録については☞P.408

位置情報を利用する

1 ソフト起動中に、位置情報の項目を選ぶ▶［はい］

2 ［位置履歴］／［オートGPS履歴］▶履歴一覧から位置情報を選ぶ

- 電話帳を参照できるｉアプリの場合、登録されている位置情報を利用できます。

オートGPSサービスを利用する

■ オートGPSサービス情報を登録する

1 ソフト起動中に、オートGPSサービス登録操作を行う▶［OK］

■ オートGPSサービス情報を解除する

1 ソフト起動中に、オートGPSサービス解除操作を行う▶［はい］

赤外線通信機能／ｉＣ通信機能を利用する

- セルフモード中は、利用することはできません。

1 ソフト起動中に、赤外線通信／ｉＣ通信を起動する▶［はい］

- 通信の中止：［中止］

ｉウィジェット

ｉウィジェットとは電卓、時計や、株価情報など頻繁に利用するコンテンツ（ウィジェットアプリ）にｉウィジェットボタン（［W］）1つでアクセスできる便利な機能です。
ウィジェットアプリはIP（情報サービス提供者）などが提供するサイトからダウンロードすることにより追加できます。また、ｉウィジェット画面には最大8つのウィジェットアプリを貼り付けることができ、より自分仕様の画面にすることができます。

- ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。
- ウィジェットアプリをダウンロードする場合、ｉウィジェット画面を表示する場合などは別途パケット通信料がかかります。
- ｉウィジェットの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

リモートメール アプリメール for SH	☞P.291
Gガイド番組表タッチ	☞P.295
地図アプリ	☞P.296
マクドナルド トクするアプリ	☞P.296
楽オク☆アプリ	☞P.297
ｉアプリバンキング	☞P.297
Start! ｉウィジェット	☞P.298
SH-MODE INFO	☞P.298
iWウォッチ	☞P.298
お天気予報ウィジェット	☞P.298
株価アプリ	☞P.298
Google モバイル	☞P.299
ROID ウィジェット	☞P.299

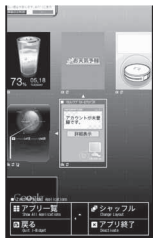
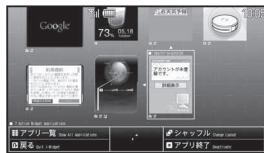
ｉウィジェットを利用する

- 最大8個のウィジェットアプリを貼り付けることができます。
- ｉウィジェット画面にウィジェットアプリが1つも貼り付けられていない状態で、ｉウィジェットを起動すると、ウィジェットアプリ一覧画面が表示されます。ウィジェットアプリの貼り付けについては☞P.310

ｉウィジェットを起動する<起動>

1 待受タッチランチャで[W]

- ｉウィジェットは横画面でも操作可能です。

縦表示

横表示

- ｉウィジェット画面で、約3分間何も操作しないと、自動的に待受画面に戻ります。なお、特定のウィジェットアプリを起動して利用しているときには、自動的に待受画面に戻りません。
- 挿入していたFOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、貼り付けたウィジェットアプリのうち、起動可能なウィジェットアプリのみ貼り付けられた状態となります。

ｉウィジェットをシャッフルする<シャッフル>

ウィジェットアプリの貼り付け位置をランダムに変更します。

1 ｉウィジェット画面で[シャッフル]

ｉウィジェットの設定を行う

国際ローミング中にｉウィジェットの通信を行うかどうかを設定する<ｉウィジェットローミング設定>

1 カスタムメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[ｉウィジェットローミング設定]

2 設定を選ぶ

ｉウィジェットの効果音を鳴らすかどうかを設定する<ｉウィジェット効果音>

1 カスタムメニューで[ｉアプリ]▶[ｉアプリ設定]▶[ｉウィジェット効果音]

2 設定を選ぶ

ウィジェットアプリ起動

ウィジェットアプリを起動する

ウィジェットアプリを起動します。ｉウィジェット画面に貼り付けると、次回すぐに利用できます。

1 待受タッチランチャで[W]

- ｉウィジェット画面が表示されます。他のウィジェットアプリを起動するときは、[アプリ一覧]を選択してウィジェットアプリ一覧画面を表示します。
- ダウンロード後48時間以内のウィジェットアプリには[NEW]が表示されます。
- ｉアプリのソフト一覧画面で、ｉウィジェット対応ソフトを選んでもウィジェットアプリを起動できます。

ウィジェットアプリ一覧画面

2 ウィジェットアプリを選ぶ

- ウィジェットアプリが起動します。

3 [戻る]

- ｉウィジェット画面にウィジェットアプリが貼り付けられます。
- ウィジェットアプリを終了：[アプリ終了]▶[YES]

■ 貼り付けたウィジェットアプリを起動／終了する

1 待受タッチランチャで[W]

2 ウィジェットアプリを選ぶ

- 以降の操作方法はウィジェットアプリのソフトによって異なります。
- ウィジェットアプリはバーチャルキー（☞P.289）を使って操作します。
- 選択を決定する：画面下部右の決定キーをタッチ
- ｉウィジェット画面に戻る：[戻る]
- ウィジェットアプリを終了：[アプリ終了]▶[YES]
  - ・ウィジェットアプリを終了すると、貼り付けが解除されます。
- ｉウィジェットを終了：[終話]▶[YES]

- ８個のウィジェットアプリが貼り付けられた状態で、ウィジェットアプリを変更する場合は、一度不要なウィジェットアプリを終了させてから、ウィジェットアプリ一覧画面より選択してください。
- ソフトによっては、ウィジェットアプリからｉアプリに切り替えたり、ｉアプリからウィジェットアプリに切り替えることができます。

ウィジェットアプリをダウンロードする

サイトからウィジェットアプリのソフトをダウンロードできます。

1 サイト表示中にソフトを選ぶ

- ｉアプリダウンロード画面が表示され、ダウンロードが開始されます。
- ダウンロードの中止：[中止]
- ダウンロード方法の詳細については☞P.284

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイ

トルカ

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ＩＣカードが搭載されておりお店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけでお支払いなどができる機能です。さらに、通信を利用して電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認することができます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティ※1も充実しています。
おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト※2よりおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードし、設定を行う必要があります。

※1 おまかせロック（☞P.120）、ＩＣカードロック（☞P.314）をご利用いただけます。
※2 ｉモードサイト：[ｉMenu]▶[メニューリスト]▶[おサイフケータイ]

- FOMA端末の故障により、ＩＣカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、ｉＣお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ＩＣカード内のデータの消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービスの提供者に対応方法をお問い合わせください。

ｉＣお引っこしサービス

ｉＣお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取替えになる際、おサイフケータイのＩＣカード内データを一括※2でお取替え先のおサイフケータイに移し替える※3ことができるサービスです。
ＩＣカード内データを移し替えたあとは、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード※4するだけで、引き続きおサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。ｉＣお引っこしサービスはお近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
ｉＣお引っこしサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※1 お取替え元、お取替え先ともに、ｉＣお引っこしサービス対応のFOMA端末である必要があります。ご利用にあたってはお近くのドコモショップなど窓口にご来店ください。
※2 おサイフケータイ対応サービスによっては、一部ｉＣお引っこしサービス対象外のサービスがあり、移行できるのはｉＣお引っこしサービス対象のおサイフケータイ対応サービスのＩＣカード内データのみになります。
※3 このサービスは、「コピー」ではなく「移行」されるため、ＩＣカード内データは、お取替え元のFOMA端末に残りません。ｉＣお引っこしサービスをご利用いただけない場合もございますので、各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスなどをご利用ください。
※4 ｉアプリのダウンロード、各種設定にはパケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

おサイフケータイの利用方法

おサイフケータイのご利用手順は次のようになります。

- おサイフケータイ対応ｉアプリをはじめて起動する際やダウンロードする際、挿入しているFOMAカードがＩＣオーナーとして登録されます。それ以降はＩＣオーナーとして登録されたFOMAカードを挿入していないとＩＣカード機能を利用することはできません。
  なお、別のFOMAカードに差し替えてご利用になる場合は、ＩＣオーナー変更を行わないとＩＣカード機能を利用することはできません。ＩＣオーナー変更時には、ＩＣオーナーとして登録されたFOMAカードが必要になる場合があります。

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする　☞P.284

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してＩＣカード内のデータの読み書きを行う　☞P.313

マークを読み取り機にかざす　☞P.313

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してＩＣカード内のデータの読み書きを行う<ＩＣカード一覧>

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して、電子マネーや乗車券にチャージ(入金)したり、残高や利用履歴を参照するなど、便利な機能をご利用いただくことができます。

1 カスタムメニューで[おサイフケータイ]▶[ＩＣカード一覧]

- ＩＣカード一覧画面の表示変更：ＩＣカード一覧画面で[表示切替]
  - ・タッチするたびに、グラフィカル表示→アイコン表示→リスト表示の順に切り替わります。
  - ・リスト表示のときは、カード情報設定が完了していないおサイフケータイ対応ｉアプリには、[圏]が表示されます。

2 おサイフケータイ対応ｉアプリを選ぶ

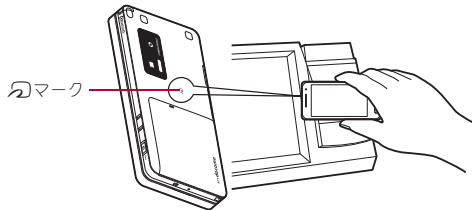
■ ＩＣカード一覧画面のサブメニュー操作

- ＩＣカード一覧画面のサブメニュー操作は、ソフト一覧画面のサブメニュー操作(☞P.287)を参照してください。

マークを読み取り機にかざす

FOMA端末のマークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとしてご利用することなどができます。

- 読み取り機にかざすときは、次のことに注意してください。
  - ■ FOMA端末を読み取り機にぶつけない
  - ■ マークと読み取り機を平行にかざす
  - ■ マークはできるだけ読み取り機の中心位置にかざす
  - ■ 読み取り機に認識されないときは、マークを前後左右にずらしてかざす
  - ■ マーク面に金属物などを付けない

1 読み取り機にFOMA端末のマークをかざす

2 読み取ったことを確認する

- ソフトを起動せずご利用いただくことができますが、サービスによってはソフトの起動が必要なときがあります。
- 読み取り機がFOMA端末を認識すると、FOMA端末の着信ランプが点滅するように設定できます（☞P.111）。

おサイフケータイをお使いになるときのご注意

おサイフケータイは、電源OFFでも利用することができます。

- 次の場合は、おサイフケータイを利用することができません。
  - 電池パックを脱着したあと、一度も電源をONにしていないとき
  - 電池パックを装着していないとき
  - 電池が切れているとき
  - ＩＣカードロック中
  - おまかせロック中
- 次の場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリは起動できません。
  - 電源OFF時
  - ｉモード中
  - テレビ電話通話中
  - ｉアプリ／ｉウィジェットの機能別ロック中
  - 他の機能が起動しているとき

ＩＣカードロック

ＩＣカード機能をロックする

ＩＣカード機能を利用できないように、ＩＣカードロックを設定できます。

1 クイック設定で[ロックセレクション]▶[ＩＣカードロック]▶[はい]

- ＩＣカードロックを設定すると、[ ]が表示されます。

ＩＣカードロックを解除する

- クイック設定で[ロックセレクション]▶[ＩＣカードロック]▶端末暗証番号を入力▶[OK]

電源を入れたときまたは切ったときにＩＣカード機能をロックする

<電源ON時ＩＣロック設定／電源OFF時ＩＣロック設定>

1 カスタムメニューで[おサイフケータイ]▶[ＩＣカードロック設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]

- [設定]▶[セキュリティ]▶[ロック設定]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[ＩＣカードロック設定]でも操作できます。

2 項目を選ぶ

3 設定を選ぶ

- おまかせロックを設定すると、ＩＣカードロックが自動的に設定されます。
- ＩＣカードロック中は、読み取り機を利用したトルカの取得や、自動読取機能は利用できません。
- 電池パックを取り外すとＩＣカードロックが自動的に設定されます。再度、電池パックを取り付け、電源を入れるとＩＣカードロックは解除されます。ただし、電源ON時ＩＣロック設定を[ON]にしている場合、電池パックを取り外し再度電池パックを取り付け電源を入れたときは、ＩＣカードロックが保持されます。
- ＩＣカードロックまたはおまかせロックでＩＣカードロックを設定しているときに電池残量がなくなり、電源が切れてもＩＣカードロックは保持されます。

ＩＣオーナー確認

ＩＣオーナーを確認する

現在挿入されているFOMAカードがFOMA端末のＩＣオーナーとして登録されているかどうかを確認できます。

1 カスタムメニューで[おサイフケータイ]▶[ＩＣオーナー確認]

ＩＣオーナーを変更する<ＩＣオーナー変更>

FOMA端末のＩＣオーナーとして登録されているFOMAカード情報、ＩＣカード内のデータと、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除します。

1 カスタムメニューで[おサイフケータイ]▶[ＩＣオーナー変更]

2 [ＩＣオーナー初期化]▶[はい]

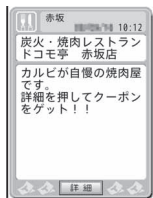
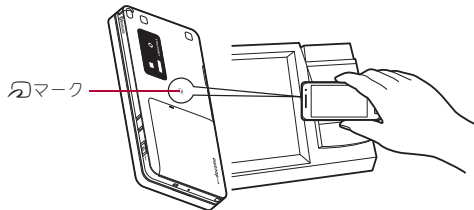
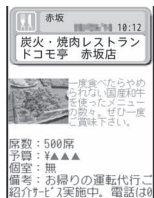
3 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

トルカ

トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは、読み取り機やサイト、データ放送などから取得が可能で、メールや赤外線通信、ｉＣ通信、Bluetooth通信、microSDカードを使って簡単に交換できます。
取得したトルカはおサイフケータイの[トルカ]内に保存されます。

- トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得。

取得したトルカを表示。
[詳細]ボタンでより詳しい
情報を見ることができます。

- ｉモード通信でのトルカのやりとりは、通常のパケット通信料がかかります。

トルカ取得

トルカを取得する

- トルカは200件まで保存できます。メモリの使用状況によっては、保存できる件数が少なくなる場合があります（☞P.380）。
- 取得／保存できるトルカのサイズは１件あたり最大１Kバイト、トルカ（詳細）は１件あたり最大100Kバイトです。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては更新できなかったり、メールや赤外線通信などを利用して再配布できないトルカがあります。
- 読み取り機にかざすと、自動読取機能によりトルカを利用することができます。利用されたトルカは[利用済みトルカ]フォルダに20件まで保存されます。保存件数を超えると、取得日時の古いトルカから順に削除されます。
- ワンセグ録画中にトルカ／トルカ（詳細）を保存したりコピーする場合、最大保存件数を超えているときは、ワンセグ録画を終了してトルカを保存するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、録画を中止し、不要なデータを削除して保存できます。

読み取り機から取得する

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカ／トルカ（詳細）を取得します。

- ＩＣカード機能を利用して新しいトルカを取得すると、ストックアイコン[ ]（新着トルカあり）が表示されます。未読トルカがあるときは、画面上部に[ ]が表示されます。

次ページへ続く

1 トルカ／トルカ（詳細）を取得すると、取得完了音が鳴り、着信ランプが点滅し、トルカ／トルカ（詳細）が表示される

- 何も操作しないでそのままにしておくと、約15秒後、自動的に元の画面に戻ります。
- 詳細情報があるトルカの場合は、取得完了時に、サイトに接続してトルカ（詳細）を取得するかどうかの確認画面が表示されます。

- ＩＣカードロック中やＩＣカードからトルカ取得を［OFF］に設定しているときは、読み取り機を利用してトルカを取得できません。
- 待受画面以外を表示しているときに読み取り機からトルカを取得したときは、取得が完了してもトルカ／トルカ（詳細）やサイト接続確認画面は表示されません。

ｉモードメールやメッセージR／Fの添付ファイルから取得する

- メッセージR／Fの添付ファイルからトルカを取得する方法については☞P.168

1 メールから保存するファイルを選ぶ

2 ［保存］▶［はい］

3 保存先を選ぶ

トルカビューア

トルカを表示する

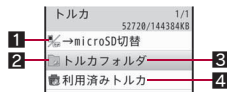
1 カスタムメニューで［おサイフケータイ］▶［トルカ］

- フォルダ一覧画面と全トルカ一覧画面の切替：［全トルカ］／［フォルダ］
  - microSDカード内のデータを表示中は操作できません。
- ｉコンシェル画面では：［MENU］▶［トルカへ］

2 データを選ぶ

- 1行単位のスクロール：［▲］／［▼］

- お預かりセンターで自動更新されたトルカを選択すると、保存して今後も自動更新するか、削除するかの確認画面が表示されます。［保存する］を選択したトルカは、次回から自動更新されても確認画面が表示されません。お預かりセンターについては☞P.128

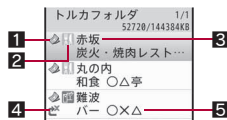
■ フォルダ一覧画面の見かた

1 →microSD切替／→本体切替

2 フォルダマーク

(NEW)	未読トルカあり		未読トルカなし

3 フォルダ名

4 利用済みトルカ

■ トルカ一覧画面の見かた

1 トルカの種類

(NEW)（オレンジ）	未読トルカ※
(NEW)（グレー）	未読トルカ（有効期限切れ）
（オレンジ）	既読トルカ
（グレー）	既読トルカ（有効期限切れ）

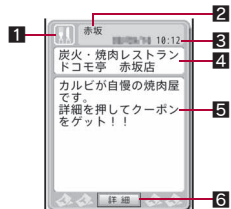
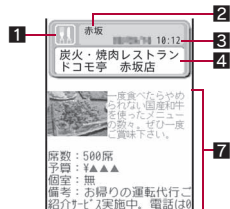
※ サイトやｉモードメールから取得したトルカは未読になりません。

2 カテゴリ

3 インデックス

4 再配布不可トルカ

5 タイトル

■ トルカ表示画面／トルカ(詳細)表示画面の見かた

1 カテゴリ
2 インデックス
3 取得日時
4 タイトル
5 説明文
6 [詳細]ボタン
7 トルカ(詳細)情報

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]

▶[フォルダ新規作成]▶フォルダ名を入力▶[決定]
- ユーザフォルダを作成します。

▶[フォルダ名編集]▶フォルダ名を編集▶[決定]
- ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。

▶[フォルダ移動(↑)]
- ユーザフォルダの表示順を上に移動します。

▶[フォルダ移動(↓)]
- ユーザフォルダの表示順を下に移動します。

[削除]
- ユーザフォルダを削除します。

▶[フォルダ１件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

▶[フォルダ選択削除]▶フォルダを選ぶ▶[完了]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

▶[全フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

▶[全フォルダ削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[検索] ☞P.319

[振分け条件設定] ☞P.319

[microSDへ全件コピー] ☞P.368

[データ送信]

▶[赤外線送信] ☞P.384

▶[ｉＣ送信] ☞P.386

▶[Bluetooth送信] ☞P.431

[本体⇔microSD切替]

[お預かりセンターに接続]
- 以降の操作については☞P.131「データを選んでお預かりセンターに保存する」の操作３へ

[フォルダ新規作成]について
- 最大20個のユーザフォルダを作成できます。
- 全角９文字(半角18文字)まで入力できます。

[フォルダ移動(↑)]、[フォルダ移動(↓)]について
- [トルカフォルダ]、[利用済みトルカ]フォルダ、microSDカード内のフォルダは移動できません。

■ トルカ一覧画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作(☞P.317)を参照してください。
  - ■ 検索　■ データ送信　■ 本体⇔microSD切替
  - ■ お預かりセンターに接続

[削除]

▶[１件削除]▶[はい]

▶[選択削除]▶トルカを選ぶ▶[完了]▶[はい]

▶[フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[ソート]▶ソート方法を選ぶ

次ページへ続く▶▶

[移動／コピー]

▶[移動] ☞P.319

▶[コピー] ☞P.319

▶[microSDへコピー] ☞P.368

[メール添付]▶メールを作成・送信

[ソート]について

- ソート対象はFOMA端末内のトルカのみです。

[メール添付]について

- 1Kバイトを超えるトルカ、100Kバイトを超えるトルカ(詳細)、再配布不可および利用済みトルカはメールに添付できません。
- トルカ(詳細)にファイル制限されている画像が含まれているときは、トルカ(詳細)取得前の状態で送信されます。送信先で再度詳細を取得することが可能です。

■ トルカ表示画面のサブメニュー操作

[1件削除]▶[はい]

[移動／コピー]

▶[1件移動] ☞P.319

▶[1件コピー] ☞P.319

▶[microSDへ1件コピー] ☞P.369

[メール添付]▶メールを作成・送信

- [メール添付]について☞P.318

[データ送信]

▶[赤外線送信] ☞P.384

▶[ｉC送信] ☞P.386

▶[Bluetooth送信] ☞P.431

[電話帳登録]▶電話帳に登録

[表示／設定]

▶[サウンド設定]▶音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]

- Flash画像の効果音の音量を調節します。

[電話帳登録]について

- 利用済みトルカおよびmicroSDカード内のトルカは、電話帳登録できません。

トルカからトルカ(詳細)を取得する

サイトに接続して、トルカ(詳細)を取得できます。

1 トルカ表示画面で[詳細]▶[はい]

- microSDカード内のトルカからは、トルカ(詳細)を取得できません。
- トルカ(詳細)を取得するときは、ｉモード通信を行います。
- トルカ(詳細)から、FOMA端末またはmicroSDカードに保存されている静止画(JPEG画像、GIF画像)や動画／ｉモーションを、2Mバイトまでアップロードすることができます。アップロードの方法はトルカによって異なります。画面表示に従って操作してください。

■ トルカ(詳細)表示画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、トルカ表示画面のサブメニュー操作(☞P.318)を参照してください。

■ 1件削除　■ 移動／コピー　■ メール添付
■ データ送信　■ 電話帳登録　■ 表示／設定(サウンド設定)

[更新]▶[はい]

[画像保存]▶画像を選ぶ▶[はい]

[表示／設定]

▶[リトライ]

- Flash画像やGIFアニメーションの再生をやり直します。

[更新]について

- トルカ(詳細)を更新するときは、ｉモード通信を行います。

[画像保存]について
- 利用済みトルカおよびmicroSDカード内のトルカは、本文中画像を保存することができません。

トルカを管理する

トルカを自動的にフォルダに振り分ける条件を設定する<振分け条件設定>

- 1つのフォルダに10件まで振分け条件を設定できます。
- 自動的に振り分けられるのは、読み取り機から取得したトルカと、データ放送／データ放送サイトから自動取得したトルカです。

1 ユーザフォルダにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[振分け条件設定]

2 登録先を選ぶ

3 振分け条件を設定
- ◆[カテゴリ]▶カテゴリを選ぶ
- ◆[インデックス]▶インデックスに含まれる文字列を入力▶[決定]
  - ・全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
- ◆[タイトル]▶タイトルに含まれる文字列を入力▶[決定]
  - ・全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
- ◆[全てのトルカ]▶[はい]
  - ・振分け条件の先頭に設定されます。

4 複数の振分け条件を設定するときは、操作2～3を繰り返す

5 [完了]

■ 振分け条件設定画面のサブメニュー操作

[1件削除]▶[はい]▶[完了]

[全件削除]▶[はい]▶[完了]

トルカを移動またはコピーする<移動／コピー>

- ユーザフォルダがないときは移動できません。
- FOMA端末とmicroSDカード間の移動は行えません。

■ トルカ一覧画面からトルカを移動またはコピーする<移動／コピー>

1 トルカにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[移動／コピー]

2 [移動]／[コピー]

3 移動／コピー方法を選ぶ
- ◆[1件移動]／[1件コピー]
- ◆[選択移動]／[選択コピー]▶トルカを選ぶ▶[完了]
- ◆[フォルダ内全件移動]／[フォルダ内全件コピー]▶端末暗証番号を入力▶[OK]
  - ・検索結果画面のとき：[検索トルカ全件移動]／[検索トルカ全件コピー]▶端末暗証番号を入力▶[OK]

4 フォルダを選ぶ

トルカを検索する<検索>

FOMA端末内のトルカをカテゴリアイコンのジャンル、インデックス、タイトルで検索することができます。

1 フォルダにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[検索]

2 検索範囲を選ぶ

3 検索方法とキーワードを指定
- ◆[カテゴリ]▶カテゴリを選ぶ
- ◆[インデックス]▶インデックスの一部を入力▶[決定]
  - ・全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
- ◆[タイトル]▶タイトルの一部を入力▶[決定]
  - ・全角10文字(半角20文字)まで入力できます。

- [利用済みトルカ]フォルダ内は検索できません。

■ 検索結果画面のサブメニュー操作

[削除]
- ▶[1件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶トルカを選ぶ▶[完了]▶[はい]
- ▶[検索トルカ全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[絞り込み検索]▶トルカを検索

[移動／コピー]
- ▶[移動] ☞P.319
- ▶[コピー] ☞P.319
- ▶[microSDへコピー] ☞P.368

[メール添付]▶メールを作成・送信
● [メール添付]について☞P.318

[データ送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.384
- ▶[ｉC送信] ☞P.386
- ▶[Bluetooth送信] ☞P.431

トルカ設定

トルカについて設定する

トルカを利用するときの設定を行います。

項　目	内容設定
ｉCカードからトルカ取得	読み取り機やｉC通信を利用してトルカを取得するかどうかを設定します。
ワンセグからトルカ取得	データ放送／データ放送サイトからトルカを自動取得するかどうかを設定します。 トルカを自動取得すると、ストックアイコン[ ](新着トルカあり)が表示されます。
トルカ重複チェック	トルカ取得時に、同じトルカが保存されていないかチェックし、重複して取得しないように設定できます。
トルカ自動読取チェック	読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際、利用可能なトルカを自動読取させるかどうかを設定します。[ON]に設定すると、利用可能なトルカが自動的に認識され、[利用済みトルカ]フォルダに移動されます。
トルカ自動表示	トルカ取得完了時に自動的に表示するかどうかを設定できます。
トルカサウンド設定	トルカ内のFlash画像の効果音の音量を調節できます。

1 **カスタムメニューで[おサイフケータイ]▶[設定]**

2 **項目を選ぶ**

3 **設定を選ぶ**

- [トルカサウンド設定]:音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]
- トルカ自動読取チェックを[ON]に設定すると、利用確認画面が表示されます。[はい]を選んでください。

● トルカ自動読取チェックを[OFF]に設定しているときは、トルカの一部機能を利用できないことがあります。
● トルカ自動読取チェックを[OFF]に設定している状態で読み取り機にかざすと、自動読取機能を利用するかどうかの確認画面が表示されるときがあります。トルカを利用するには[はい]を選びます。
● 有効期限切れのトルカ、利用済みトルカ、microSDカード内のトルカは、トルカ重複チェックやトルカ自動読取チェックの対象になりません。

地図･GPS機能

地図・GPS機能のご利用について

- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因(電池切れを含む)によって、測位(通信)結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化、電波の停止など)されることがあります。
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、情報提供者やドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- GPSの機能別ロック中は現在地確認、現在地通知を利用できません。
- 次の場合は位置提供、現在地確認、現在地通知を利用できません。
  - ■ FOMAカード未挿入時
  - ■ セルフモード中
  - ■ ソフトウェア更新中
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  - ■ 建物の中や直下
  - ■ 地下やトンネル、地中、水中
  - ■ かばんや箱の中
  - ■ ビル街や住宅密集地
  - ■ 密集した樹木の中や下
  - ■ 高圧線の近く
  - ■ 自動車、電車などの室内
  - ■ 大雨、雪などの悪天候
  - ■ 携帯電話の周囲に障害物(人や物)がある場合
  - ■ 携帯電話の画面・操作ボタン・マイクやスピーカ周辺を手で覆い隠すように持っている場合

  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。
- FOMA端末のGPS機能は、圏外では利用できません。

海外での地図やGPS機能の利用について

- 海外での地図やGPS機能の利用では、次の内容にご注意ください。
  - ・現在地通知、位置提供機能は利用できません。
  - ・[位置提供設定]の[サービス利用設定]からGPSサービス利用設定サイトに接続した場合、エラーメッセージが表示され利用できませんが、その場合もパケット通信料がかかります。
  - ・各国・地域の法制度等により、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- また、各機能をご利用の場合は、次の内容にもご注意ください。

■ 地図を見る

- 地図・GPSメニューの[地図]を選択、もしくは現在地確認後などで[地図を見る]を選択した場合、iモードサイトまたはiアプリのどちらで地図を見るかという選択画面が表示されますので、表示方法を選択してください。
- iモードサイトまたはiアプリで地図を表示しても、地図が提供されていなかったり、現在地が正しく表示されない場合がありますが、その場合もパケット通信料がかかります。

■ 現在地確認

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください。
- あらかじめ、iモード利用設定が必要となります(☞P.464)。
- 3GネットワークおよびGPRSネットワークのサービスエリアで、GPS測位が可能です。
- 電波状況などによりGPS測位に失敗した場合、都市名を選択するかどうか表示されることがあります。[都市名を選択]を選択すると世界の都市リストが表示されます。現在地の近隣都市を選択することで、GPS測位が成功する可能性があります。
- 現在地確認した際の通信料は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

■ GPS対応iアプリを利用する

- 地図選択でGPS対応iアプリを設定しても、設定したGPS対応iアプリの提供外の位置情報が渡されたときは地図が正しく表示されない場合がありますが、その場合もパケット通信料がかかります。

■ 位置履歴

- 測位した位置履歴には、位置履歴一覧画面／位置履歴詳細画面に、海外で測位したことを示すアイコン[]が表示されます。また、時差補正が行われた場合は、位置履歴一覧画面に[]も表示されます。
- 海外で測位した位置履歴から[地図を見る]を選択すると、ｉモードサイトまたはｉアプリのどちらで地図を見るかという選択画面が表示されますので、表示方法を選択してください。

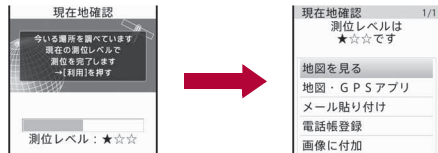
現在地確認

自分のいる場所を確認する

現在地を測位して、自分がいる場所を確認します。測位した位置情報を利用して地図を表示したり、位置情報をURL化しメールに貼り付けて送信するなどの操作を行うことができます。

- 現在地確認した際の通信料は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。
- 現在地確認時の音／音量／ランプの色を変更することができます(☞P.95、P.96、P.111)。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図･GPS]▶[現在地確認]

- クイック設定では：[現在地確認]
  - ・測位終了後、クイック設定動作に従い動作します。
- GPS測位中は[]が点滅します。

測位レベル★★★：ほぼ正確な位置情報です。
誤差がおおむね50m未満

測位レベル★★☆：比較的正確な位置情報です。
誤差がおおむね300m未満

測位レベル★☆☆：おおよその位置情報です。
誤差がおおむね300m以上

- 測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
- 現在地確認中に表示されている測位レベルの位置情報を現在地確認結果として利用するとき：[利用]
- 現在地確認の中止：[中断]▶[確認]

2 利用方法を選ぶ

◆ **[地図を見る]**
- ・地図設定で設定したGPS対応ｉアプリが起動します。

◆ **[地図･GPSアプリ]▶ｉアプリを選ぶ**

◆ **[メール貼り付け]▶[OK]▶メールを作成･送信**
- ・送付する位置情報URLは、ｉモード対応端末でのみ表示されます。

◆ **[電話帳登録]▶電話帳に登録**

◆ **[画像に付加]▶画像を選ぶ▶[確定]▶保存方法を選ぶ**

- 位置情報の確認：[位置情報]▶[確認]
- 現在地確認をやり直す：[リトライ]

現在地確認設定

現在地確認の設定を行う

現在地確認の連携動作を設定する<クイック設定動作>

クイック設定で[現在地確認]を選んで現在地確認したあと、自動的に連携される動作を設定できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図･GPS]▶[現在地確認設定]▶[クイック設定動作]

2 動作を選ぶ▶[OK]

現在地確認の測位モードを設定する<測位モード設定>

- 本設定は日本国内での測位時のみ有効です。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図･GPS]▶[現在地確認設定]▶[測位モード設定]

2 測位モードを選ぶ▶[OK]

- [品質重視モード]を選ぶと、時間をかけて測位を行います。その結果、標準モードより精度が上がる場合があります。

地図

地図を見る

GPS対応ｉアプリを起動して、現在地や指定した場所の地図を見ることができます。

- あらかじめ地図設定を行い、起動するGPS対応ｉアプリを設定してください。
- お買い上げ時は、「地図アプリ」が起動するように設定されています。「地図アプリ」の操作方法については☞P.325

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図･GPS]▶[地図]

- 現在地の測位終了後、GPS対応ｉアプリが起動します。

地図の設定を行う<地図設定>

■ 地図として起動するｉアプリを設定する<地図選択>

地図･GPSメニューの[地図]や各機能の位置情報から[地図を見る]を選択したときに起動するGPS対応ｉアプリを設定します。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図･GPS]▶[地図設定]▶[地図選択]

2 GPS対応ｉアプリを選ぶ▶[決定]

■ 地図起動時に現在地確認するかどうかを設定する<地図起動時動作設定>

地図･GPSメニューの[地図]を選択してGPS対応ｉアプリを起動するときに、現在地の測位を行うかどうかを設定します。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図･GPS]▶[地図設定]▶[地図起動時動作設定]

2 設定を選ぶ

ｉエリア-周辺情報-

周辺エリアの情報を検索する

今いる場所の天気予報や交通情報、店舗情報など周辺エリアに特化した情報を検索できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図･GPS]▶[ｉエリア-周辺情報-]

2 [はい]

地図･GPSアプリ

GPS対応ｉアプリを利用する

地図･GPS機能に対応したｉアプリを起動します。

- GPS対応ｉアプリを利用する場合、利用するソフトの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、利用するソフトのソフト利用設定の位置情報利用設定を[利用する]に設定してください。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図･GPS]▶[地図･GPSアプリ]

2 ソフトを選ぶ

- タッチパネルに対応していないGPS対応ｉアプリは、クローズポジションでは操作できません。オープンポジションで操作してください。

「地図アプリ」を利用する

「地図アプリ」は、位置情報を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地までのナビゲーションなどができる便利なｉアプリです。災害時に役立つ施設情報なども検索できます。また、オートGPS機能を利用すれば、自分の居場所に応じた便利な情報を受信することができます。

©2010 ZENRIN DataCom CO., LTD.

■ サービス利用料金について

本アプリの提供サービスは、以下に分類されます。

無料機能

- 地図表示、周辺情報の検索ができます。グルメクーポンの検索もできます。
- 過去にGPS測位した場所を、市区町村や都道府県単位で地図上に色を塗って表示します。訪れた街が一目でわかる機能です。
- 自動的にGPSで測位した現在地情報に応じて、観光情報やグルメ情報など便利な情報をメッセージRで受信することができます。

有料機能

はじめて地図アプリを起動した日から30日間は無料期間となり、運行情報のメール配信機能以外のすべてのサービスを無料でご利用いただけます。無料期間終了後、株式会社ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン🏠いつもNAVI」のマイメニュー登録（有料）が必要です。

- 車・電車・徒歩を含めた総合的なナビゲーションができます。渋滞情報を考慮したルート検索も可能です。
- 電車の乗換案内や、時刻表の表示が可能です。
- 仲間の居場所を地図に表示しながら、メッセージのやりとりができます。
- 災害時に役立つ施設の検索が可能です。また、災害用地図アプリという、通信不要のｉアプリを利用できます。自宅周辺などのエリアの災害用地図をあらかじめダウンロードしておけば、いざという場合に役立ちます。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。本ソフトはｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめいたします。
- 本ソフトを削除した場合は、「ｉエリア-周辺情報-」からダウンロードしてください。
- 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。
- オートGPSを利用する場合は、無料のマイメニュー登録が必要となります。
- オートGPSを利用する場合は、アプリを起動していない場合でもパケット通信料がかかります。また、メッセージRを受信する場合のパケット通信料は有料です。
- 本アプリは、海外では利用できません。
- 画面はイメージのため、実際の画面と異なる場合があります。

位置提供設定

要求に応えて現在の位置情報を提供する

相手から現在の位置情報を提供するよう要求があったときに、位置提供するかどうかを設定します。

- 位置提供機能をご利用になるには、位置提供機能に対応した情報提供者へのお申し込みやサービス利用料が必要となる場合があります。
- 位置提供機能に対応したサービスをご利用になるには、位置提供可否設定を[位置提供機能ON]または[電話帳登録外拒否]に設定する必要があります。また、サービスごとの利用設定(GPSサービス利用設定)が必要な場合があります。「イマドコサーチ」を利用する場合は、[ｉMenu] ▶ [お客様サポート] ▶ [各種設定(確認・変更・利用)] ▶ [その他サービス設定・確認] ▶ [位置情報利用設定] ▶ [イマドコサーチ設定]の設定が必要です。
- 位置情報を送信しても、電波の状況により情報提供者に届いていない場合があります。
- 位置提供可否設定を[位置提供機能ON]または[電話帳登録外拒否]に設定すると、操作しなくても位置情報が送信され、情報提供者に通知されることがあります。[位置提供機能OFF]に設定すると、相手から位置情報の提供の要求を受けても自動的に拒否し、位置提供の履歴は残りません。
- 位置提供可否設定を[位置提供機能ON]または[電話帳登録外拒否]に設定すると[]または[]が表示されます。位置提供許可期間を設定しているときは許可期間が終了するまで、許可中は[]または[]が、拒否中は[]または[]が表示されます。
- 位置提供可否設定を[電話帳登録外拒否]に設定すると、電話帳未登録の相手から位置情報の提供の要求を受けたときに、自動で拒否することができます。ただし、他の機能の動作状況によっては、位置情報の提供の要求を受信する場合があります。
- 位置提供時の音／音量／ランプの色を変更することができます(☞P.95、P.96、P.111)。
- 位置情報の提供は無料です。
- 位置提供のご利用にあたっては、情報提供者やドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [地図・GPS] ▶ [位置提供設定] ▶ [位置提供可否設定]

2 端末暗証番号を入力 ▶ [OK]

3 設定を選ぶ

- 初期設定からも設定できます(☞P.54)。

■ 位置情報の提供を許可する期間を設定する＜許可期間設定＞

1 位置提供可否設定画面で[許可期間設定]

2 [開始時刻] ▶ 開始時刻(24時間制)を入力 ▶ [OK]

3 [終了時刻] ▶ 終了時刻(24時間制)を入力 ▶ [OK]

4 [繰り返し] ▶ 繰り返し方法を選ぶ

- ◆ [毎日]
- ◆ [曜日指定] ▶ 曜日を選ぶ ▶ [完了]
- ◆ [設定なし] ▶ 操作6へ

5 [開始日] ▶ [開始日設定] ▶ 開始日を入力 ▶ [OK] ▶ [終了日設定] ▶ 終了日を入力 ▶ [OK]

- 有効期間を設定しないとき：[終了日] ▶ [設定なし]

6 [完了] ▶ 電話帳登録外拒否の設定を選ぶ

- 設定を行った時間より前の時間を終了時刻に設定すると、当日は位置情報が提供されません。

■ 位置提供の測位モードを設定する＜測位モード設定＞

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [地図・GPS] ▶ [位置提供設定] ▶ [測位モード設定]

2 測位モードを選ぶ ▶ [OK]

位置情報の提供を許可する期間を設定したときの動作

例：現在の日時が「2010/05/18 14:00」のとき

開始時刻：15:00　終了時刻：22:00

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	－	2010/05/18 15:00～2010/05/18 22:00まで
毎日	開始日2010/05/23 終了日2010/06/23	2010/05/23 15:00～2010/06/23 22:00まで毎日（15:00～22:00の間）
	開始日2010/05/13 終了日2010/06/23	2010/05/18 15:00～2010/06/23 22:00まで毎日（15:00～22:00の間）
	設定なし	2010/05/18 15:00 以降毎日（15:00～22:00の間）
曜日指定	開始日2010/05/23 終了日2010/06/23	2010/05/23 15:00～2010/06/23 22:00までの指定した曜日（15:00～22:00の間）
	開始日2010/05/13 終了日2010/06/23	2010/05/18 15:00～2010/06/23 22:00までの指定した曜日（15:00～22:00の間）
	設定なし	2010/05/18 15:00 以降の指定した曜日（15:00～22:00の間）

開始時刻：09:00　終了時刻：22:00

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	－	2010/05/18 14:00～2010/05/18 22:00まで
毎日	開始日2010/05/23 終了日2010/06/23	2010/05/23 09:00～2010/06/23 22:00まで毎日（09:00～22:00の間）
	開始日2010/05/13 終了日2010/06/23	2010/05/18 14:00～2010/06/23 22:00まで毎日（09:00～22:00の間）
	設定なし	2010/05/18 14:00 以降毎日（09:00～22:00の間）
曜日指定	開始日2010/05/23 終了日2010/06/23	2010/05/23 09:00～2010/06/23 22:00までの指定した曜日（09:00～22:00の間）
	開始日2010/05/13 終了日2010/06/23	2010/05/18 14:00～2010/06/23 22:00までの指定した曜日（09:00～22:00の間）
	設定なし	2010/05/18 14:00 以降の指定した曜日（09:00～22:00の間）

開始時刻：15:00　終了時刻：10:00

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	－	2010/05/18 15:00～2010/05/19 10:00まで
毎日	開始日2010/05/23 終了日2010/06/23	2010/05/23 15:00～2010/06/24 10:00まで毎日（15:00～翌日10:00の間）
	開始日2010/05/13 終了日2010/06/23	2010/05/18 15:00～2010/06/24 10:00まで毎日（15:00～翌日10:00の間）
	設定なし	2010/05/18 15:00 以降毎日（15:00～翌日10:00の間）
曜日指定	開始日2010/05/23 終了日2010/06/23	2010/05/23 15:00～2010/06/24 10:00までの指定した曜日（15:00～翌日10:00の間）
	開始日2010/05/13 終了日2010/06/23	2010/05/18 15:00～2010/06/24 10:00までの指定した曜日（15:00～翌日10:00の間）
	設定なし	2010/05/18 15:00 以降の指定した曜日（15:00～翌日10:00の間）

次ページへ続く

開始時刻:09:00　終了時刻:09:00

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	－	2010/05/18 14:00～2010/05/19 09:00まで
毎日	開始日2010/05/23 終了日2010/06/23	2010/05/23 09:00～2010/06/24 09:00まで毎日(09:00～翌日09:00の間)
	開始日2010/05/13 終了日2010/06/23	2010/05/18 14:00～2010/06/24 09:00まで毎日(09:00～翌日09:00の間)
	設定なし	2010/05/18 14:00 以降毎日(09:00～翌日09:00の間)
曜日指定	開始日2010/05/23 終了日2010/06/23	2010/05/23 09:00～2010/06/24 09:00までの指定した曜日(09:00～翌日09:00の間)
	開始日2010/05/13 終了日2010/06/23	2010/05/18 14:00～2010/06/24 09:00までの指定した曜日(09:00～翌日09:00の間)
	設定なし	2010/05/18 14:00 以降の指定した曜日(09:00～翌日09:00の間)

接続先を設定する<接続先設定>

GPSサービス利用設定サイトの接続先を設定します。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図･GPS]▶[位置提供設定]▶[接続先設定]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]

3 [ユーザ指定接続先]にカーソルを合わせる▶[確認]

- お買い上げ時の接続先に戻す:[契約時番号]
- 以前に設定したユーザ指定接続先に変更:[ユーザ指定接続先]
- 設定したユーザ指定接続先を削除:[ユーザ指定接続先]にカーソルを合わせる▶[確認]▶[削除]▶[はい]

4 [接続先名]▶接続先名を入力▶[決定]

- 半角英数字と半角記号を、99文字まで入力できます。

5 [接続先URL]▶接続先URLを入力▶[決定]

- 半角英数字と半角記号を、100文字まで入力できます。

6 [完了]

GPSサービス利用設定を行う<サービス利用設定>

位置提供に必要な設定を行います。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図･GPS]▶[位置提供設定]▶[サービス利用設定]

- GPSサービス利用設定サイトに接続されます。

2 設定する

- 設定方法については、GPS情報提供者にお問い合わせください。

位置情報の提供を要求されると

位置情報提供の要求を受信すると、位置提供を開始します。

- サービスごとの利用設定が[許可]の場合は、要求があると自動的に位置情報を提供します。
- サービスごとの利用設定が[毎回確認]の場合は、要求があるたびに提供するかどうかを確認する画面が表示されます。[はい]を選択すると位置情報の提供を開始します。
- 位置情報の提供を要求されたときに何も操作しなかった場合、位置提供終了後に待受画面に戻ると、ストックアイコン[ ](位置提供　応答あり／位置提供　応答なし／位置提供　応答失敗)が表示されます。ストックアイコンを選択すると位置履歴が表示されます。
- 位置提供を中止するときは、[中断]をタッチして[確認]を選択します。ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。
- 電波状況によっては、位置情報が送信されても、位置情報の要求者に届いていないことがあります。
- 位置提供の送信先IDは、画面に表示されない場合があります。

- 2in1利用時は、モードにかかわらずAナンバーでのみ利用できます。Bナンバーで位置情報の提供を要求された場合は、位置提供は行われず、相手には検索失敗が通知されます。

イマドコかんたんサーチを利用した相手から位置情報の提供を要求されたとき

- 要求されるたびに位置提供の確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、すぐに大まかな測位結果が相手に通知されます。
  [はい]を選択したあと、GPS測位画面が表示されGPS測位後に精度の高い測位結果が通知されます。
- 位置提供の確認画面で[はい]を選択したあとに位置提供を中止する場合、位置提供を中止しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記憶されますが、位置情報は表示されません。

公共モード(ドライブモード)設定中に位置情報の提供を要求されたとき

- サービスごとの利用設定で、位置提供を[許可]に設定している場合、位置提供の確認画面のあと、GPS測位画面が表示されてGPS測位後位置提供されますが、位置提供／許可音、位置提供／毎回確認音、バイブレータ、着信ランプは動作しません。
- サービスごとの利用設定で、位置提供を[毎回確認]に設定している場合、位置情報は提供されません。

探したい相手の居場所を確認する <イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチ>

イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチのｉモードサイトに接続します。

- ご利用には別途検索料(検索成功時のみ)とパケット通信料がかかります。

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図･GPS]▶[イマドコサーチ]／[イマドコかんたんサーチ]**

2 **[はい]**

現在地通知

現在の位置情報を通知する

現在の位置情報を特定の相手(現在地通知機能に対応した情報提供者)に通知できます。

- 現在地通知機能をご利用になるには、現在地通知機能に対応した情報提供者へのお申し込みやサービス利用料が必要となる場合があります。
- 位置情報を送信しても、電波の状況により情報提供者に届いていない場合があります。
- 現在地通知機能の利用は有料です。

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図･GPS]▶[現在地通知／設定]▶[現在地通知]**

2 **通知先を選ぶ**

◆ **[一覧から選択]▶通知先を選ぶ**
◆ **[直接入力]▶通知先IDを入力▶[決定]**

- 測位の中止：[中断]▶[確認]
  - ・タイミングによっては、測位を中止できない場合や位置情報が送信される場合があります。

- 現在地通知時の音／音量／ランプの色を変更することができます(☞P.95、P.96、P.111)。
- 2in1利用時は、モードにかかわらずAナンバーで位置情報を通知します。

■ 現在地通知の測位モードを設定する<測位モード設定>

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図･GPS]▶[現在地通知／設定]▶[測位モード設定]**

2 **測位モードを選ぶ▶[OK]**

通知する相手を登録する<現在地通知先一覧>

現在地の通知先は５件まで登録できます。

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図･GPS]▶[現在地通知／設定]▶[現在地通知先一覧]**

2 **[サブメニュー]▶[新規登録]**

- [新規]をタッチしても、新規登録できます。

3 **[通知先名]▶通知先名を入力▶[決定]**

- 全角16文字(半角32文字)まで入力できます。

4 **[通知先ID]▶通知先IDを入力▶[決定]**

- GPS情報提供者から指定された通知先IDを入力します。
- 数字、｢¥｣、｢#｣を半角12文字まで入力できます。

5 **[電話番号]▶電話番号を入力**

◆ **[電話帳検索]▶相手を選ぶ**
◆ **[直接入力]▶電話番号を入力▶[決定]**

- すでに現在地通知先に登録されている電話番号は登録できません。

6 **[自動通知]▶設定を選ぶ**

- 自動通知を[する]に設定すると、登録した電話番号に音声電話／テレビ電話をかけたときに自動で現在地が通知されます。

7 **[完了]**

■ 現在地通知先一覧画面のサブメニュー操作

[新規登録]	☞P.330
[microSDへコピー]	☞P.368
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.384
▶[ｉＣ送信]	☞P.386
▶[Bluetooth送信]	☞P.431
[電話帳登録]▶電話帳に登録	
[削除]	
▶[１件削除]▶[はい]	
▶[選択削除]▶通知先を選ぶ▶[確定]▶[はい]	
▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]	
[お預かりセンターに保存]	☞P.131

■ 現在地通知先の登録内容を編集する

1 **現在地通知先一覧画面で現在地通知先を選ぶ**

2 **項目を選ぶ**

3 **編集する▶[完了]**

■ 現在地通知先詳細画面のサブメニュー操作

[microSDへ１件コピー]▶[はい]	
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.384
▶[ｉＣ送信]	☞P.386
▶[Bluetooth送信]	☞P.431
[電話帳登録]▶電話帳に登録	
[削除]▶[はい]	
[お預かりセンターに保存] ● 以降の操作については☞P.131｢データを選んでお預かりセンターに保存する｣の操作３へ	

位置履歴

確認した位置情報の履歴を表示する

GPS機能で測位した位置情報の履歴は50件まで記憶されます。位置履歴を利用して地図を表示するなどの操作を行うことができます。

- 位置履歴が50件を超えたときは、古い履歴から順に上書きされます。
- 位置履歴に緯度・経度が記載されていても、通知先や提供先に位置情報が届いていない場合があります。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図・GPS]▶[位置履歴]

位置履歴一覧画面

- 位置履歴の種類と日時が、新しい順に一覧表示されます。

位置履歴の種類

確認	現在地確認	提供	位置提供	通知	現在地通知

- 位置履歴に位置情報がある場合は、[▶]が表示されます。
- 地図を表示するとき：位置履歴にカーソルを合わせる▶[地図]

2 位置履歴を選ぶ

位置履歴詳細画面

1 測位日時

2 履歴の種類

[現在地確認]／[現在地通知]／[位置提供]が表示されます。[現在地通知]／[位置提供]の場合は、マークと通知先または提供先情報も表示されます。

現在地通知の場合

🏢	通知先名	🏢ID	通知先ID

位置提供の場合

🏢	位置提供送信先名	👤	位置提供要求者名
🏢ID	位置提供送信先ID	👤ID	位置提供要求者ID

- 位置提供要求者IDが電話番号またはメールアドレスの場合、Phone To(AV Phone To)機能(☞P.189)、Mail To機能(☞P.190)を利用できます。

3 位置情報

緯度：度、分、秒
経度：度、分、秒
測地系※：wgs84(世界測地系)
測位レベル：測位の誤差範囲(☞P.323)
※ 測地系とは、地球上の位置を緯度・経度で表すための基準のことです。

- 測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
- 現在地確認の測位に失敗または中断したときは、位置履歴に記憶されません。
- 2in1利用時に位置提供を行った場合、位置提供要求者名は電話帳2in1設定に従って2in1のモードごとに表示されます。
- 位置履歴に記憶されている位置情報・測位レベルは、電波状態などにより位置提供先・現在地通知先に送信された位置情報・測位レベルとは異なる場合があります。

■ 位置履歴一覧画面のサブメニュー操作

[地図を見る]
[地図・GPSアプリ]▶ｉアプリを選ぶ
[メール貼り付け]▶[OK]▶メールを作成・送信
[電話帳登録]▶電話帳に登録
[画像に付加]▶画像を選ぶ▶[確定]▶保存方法を選ぶ
[地点情報送信] ☞P.430
[削除]
▶[1件削除]▶[はい]

次ページへ続く▶▶

▶［選択削除］▶位置履歴を選ぶ▶［確定］▶［はい］

▶［全件削除］▶端末暗証番号を入力▶［OK］▶［はい］

■ 位置履歴詳細画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、位置履歴一覧画面のサブメニュー操作（☞P.331）を参照してください。

（☞P.331）

■ 地図を見る　■ 地図・GPSアプリ　■ メール貼り付け
■ 電話帳登録　■ 画像に付加　■ 地点情報送信

［1件削除］▶［はい］

オートGPS

オートGPSサービスを利用する

お客様の居場所に合わせて、天気情報や店舗情報などの周辺情報や観光情報をお知らせするサービスなど、さまざまなサービスをご利用いただけます。

● オートGPS機能を利用すると、お客様の移動状況に基づき自動的に現在地を測位して、サービス提供者に位置情報を送信します（お客様の移動状況に応じて、おおむね5分に1回測位します）。
● オートGPS機能に対応しているサービスを利用するには、各サービスのオートGPS機能対応iアプリからオートGPSサービス情報を設定してください。ドコモが提供するサービスでオートGPS機能を利用するには、ドコモ提供サービス設定を［利用する］に設定してください。
● オートGPSサービスは、ドコモが提供するサービスのほかに3件まで登録できます。
● オートGPS機能のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらのサービスの利用は有料となる場合があります。
● 位置情報の送信にはパケット通信料がかかる場合があります。
● お客様のご利用状況によっては定期的に通信を行い、FOMA端末の消費電力が増加しますので、あらかじめご了承ください。
● 次の場合はオートGPSを利用できません。

■ GPSの機能別ロック中　■ FOMAカード未挿入時
■ セルフモード中　■ ソフトウェア更新中
■ オールロック中　■ おまかせロック中
■ iモード未契約時　■ 国際ローミング中
■ iモード設定の共通設定の接続先設定を変更しているとき
■ 日付・時刻を正しく設定していないとき

オートGPS機能を利用するかどうかを設定する <オートGPS動作設定>

1 **カスタムメニューで［LifeKit］▶［地図・GPS］▶［オートGPS］▶［オートGPS動作設定］**

2 **設定を選ぶ**

● ［ON］に設定しても、オートGPSサービス情報を登録していない場合は、オートGPSは動作せず、位置情報も送信されません。

ドコモが提供するサービスを利用する <ドコモ提供サービス設定>

ドコモのオートGPSサービスを利用すると、FOMA端末の位置情報をドコモに定期的に自動送信し、iコンシェルやドコモが提供する各種サービスと連動したサービスを受けることができます。

● 各種サービスは別途お申し込みや利用設定が必要となります。

1 **カスタムメニューで［LifeKit］▶［地図・GPS］▶［オートGPS］▶［ドコモ提供サービス設定］**

2 **［利用する］▶［OK］**

- 設定サービスとして登録されます。
- 利用しないとき：［利用しない］▶［はい］

登録しているオートGPSサービス情報を確認する ＜設定サービス一覧＞

登録しているサービスの一覧を表示します。サービスの解除を行うこともできます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図・GPS]▶[オートGPS]▶[設定サービス一覧]

設定サービス一覧画面

1 オートGPSサービス名
- ドコモ提供サービス設定を[利用する]に設定すると、[ドコモオートGPSサービス]が表示されます。その他のサービスの場合は、ｉアプリ名が表示されます。

2 オートGPSサービス制御情報の状態

動作中	動作中	停止中	停止中

- 別のFOMAカードに差し替えた場合、登録されているオートGPSサービス情報はリセットされます。
- オートGPSサービス情報が登録されているｉアプリを削除した場合、登録されているオートGPSサービス情報も解除されます。

登録しているサービスを解除する

1 設定サービス一覧画面でサービスにカーソルを合わせる▶[解除]

2 解除方法を選ぶ

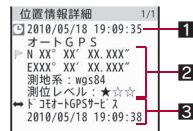
◆ [1件解除]▶[はい]
◆ [選択解除]▶サービスを選ぶ▶[確定]▶[はい]
◆ [全件解除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

オートGPS機能を利用した履歴を表示する ＜オートGPS履歴＞

- オートGPS履歴は100件まで記憶されます。それを超えると、古い履歴から順に上書きされます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図・GPS]▶[オートGPS]▶[オートGPS履歴]

- オートGPS履歴には[オートGPS]が表示され、新しい順に一覧表示されます。
- オートGPS履歴に位置情報がある場合は、[▶]が表示されます。
- 地図を表示するとき：オートGPS履歴にカーソルを合わせる▶[地図]

2 オートGPS履歴を選ぶ

オートGPS履歴詳細画面

1 測位日時

2 位置情報
- 表示内容については☞P.331

3 利用したオートGPSサービス名
- 自動送信した日時も表示されます。

- 測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
- オートGPSが中断されたときは、オートGPS履歴に記憶されません。
- オートGPS履歴に記憶されている位置情報・測位レベルは、電波状態などにより自動送信された位置情報・測位レベルとは異なる場合があります。

■ オートGPS履歴一覧画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、位置履歴一覧画面のサブメニュー操作（☞P.331）を参照してください。

■ 地図を見る　■ 地図・GPSアプリ　■ メール貼り付け
■ 電話帳登録　■ 画像に付加　■ 地点情報送信　■ 削除

■ オートGPS履歴詳細画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、位置履歴一覧画面のサブメニュー操作(☞P.331)を参照してください。
  - ■ 地図を見る　■ 地図・GPSアプリ　■ メール貼り付け
  - ■ 電話帳登録　■ 画像に付加　■ 地点情報送信
- 次の機能については、位置履歴詳細画面のサブメニュー操作(☞P.332)を参照してください。
  - ■ 1件削除

電池残量が少なくなったときにオートGPS機能を停止する<低電力時動作設定>

[停止する]に設定すると、電池残量が低下したときに、オートGPS動作を停止します。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[地図・GPS]▶[オートGPS]▶[低電力時動作設定]

2 設定を選ぶ▶[OK]

各機能から位置情報を利用する

電話帳や静止画などのデータに位置情報を付加したり、付加されている位置情報から地図を表示するなど、各機能で位置情報を利用できます。

- データによっては位置情報を利用できない場合があります。

位置情報を付加する

例:電話帳の場合

1 電話帳登録画面で[|▶]

2 付加する位置情報を選ぶ

- ◆ [現在地確認から付加]▶[確認]▶[はい]
  - ・GPS機能で現在地を測位します。
- ◆ [位置履歴から付加]▶[位置履歴]/[オートGPS履歴]▶履歴にカーソルを合わせる▶[決定]▶[はい]
- ◆ [画像から付加]▶画像にカーソルを合わせる▶[決定]
- ◆ [位置情報詳細]
- ◆ [位置情報削除]
- データBOXのマイピクチャの画像やiモードメールの場合は、電話帳に付加されている位置情報を選ぶことができます。画像に付加されている位置情報は選べません。
- データBOXのマイピクチャの場合、画像一覧画面から操作したときは、位置情報を付加する画像を複数選択できます。

付加された位置情報を利用する

■ FOMA端末電話帳やデータBOXのマイピクチャの画像の位置情報を利用する

例:電話帳の場合

1 電話帳内容表示画面で[|▶]

- 電話帳に登録されている住所から地図を表示するとき:電話帳内容表示画面で[▤]▶[地図]

2 利用方法を選ぶ

- ◆ [地図を見る]
- ◆ [地図・GPSアプリ]▶ iアプリを選ぶ
- ◆ [メール貼り付け]▶[OK]▶メールを作成・送信
- ◆ [画像に付加]▶画像を選ぶ▶[確定]▶保存方法を選ぶ
- ◆ [位置情報詳細]

■ サイト、データ放送、トルカやメッセージR/Fの位置情報を利用する

例:サイトの場合

1 サイト表示中に位置情報を選ぶ

2 利用方法を選ぶ

- ◆ [地図を見る]
- ◆ [地図・GPSアプリ]▶[はい]▶ iアプリを選ぶ
- ◆ [メール貼り付け]▶[はい]▶メールを作成・送信

データ管理

データBOX･LifeKitの各種ビューアについて

データの種類によって、それぞれのフォルダに保存されます。

- データの種類を選ぶと、前回データ参照を終了したときの参照先(FOMA端末またはmicroSDカード)が表示されます。

データBOXについて

■ マイピクチャ(☞P.341)

- FOMA端末で撮影した静止画やダウンロードした画像が保存されます。

マイピクチャ(本体)	
→microSD	[マイピクチャ(microSD)]に切り替え
カメラ	FOMA端末で撮影した静止画用フォルダ
ｉモード	サイトやｉモードメール、メッセージR/Fなどで入手した画像用フォルダ
デコメピクチャ	デコメール®作成時に利用できる画像用フォルダ
デコメ絵文字※1	デコメール®作成時に利用できる絵文字用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されている画像用フォルダ
外部取得データ	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、ｉＣ通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)、IrSS™通信を利用して入手した画像用フォルダ
アイテム	サイトなどから入手したフレームやスタンプ用フォルダ
自動お預かり※2	お預かりセンターに保存する画像用フォルダ
手書きメモ	手書きメモ用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
ｉモードで探す	ｉモードに接続

マイピクチャ(microSD)	
→本体	[マイピクチャ(本体)]に切り替え
カメラフォルダxxx※3	FOMA端末で撮影した静止画やDCF準拠のJPEG画像、GIF画像(GIFアニメーションを除く)用のフォルダ
(カメラフォルダ用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
その他静止画	FOMA端末からコピーしたGIFアニメーションやDCF準拠していないJPEG画像、Flash画像用フォルダ
(その他静止画用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
デコメ絵文字	デコメール®作成時に利用できる絵文字用フォルダ
(デコメ®絵文字用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できない画像用フォルダ

※1 デコメ®絵文字は[デコメ絵文字]フォルダへ直接保存されます。また、デコメ®絵文字以外のデータは保存できません。
※2 お預かりセンターへの保存については☞P.129
※3 撮影した静止画を保存したり、FOMA端末から静止画をコピーすると[カメラフォルダ100]が自動的に作成され、ファイル数が1000件になると、[カメラフォルダxxx](「xxx」は100～999の３桁の半角数字)という名前のフォルダが自動的に作成されます。

■ ミュージック(☞P.276)

- 着うたフル®やWMAファイルが保存されます。

■ Music&Videoチャネル(☞P.271)

- 取得したMusic&Videoチャネルの番組が保存されます(☞P.271)。

■ ｉモーション／ムービー（☞P.349）

● FOMA端末で撮影した動画や録音した音声、取得したｉモーションが保存されます。

ｉモーション／ムービー（本体）	
→microSD	［ｉモーション／ムービー（microSD）］に切り替え
カメラ	FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
ｉモード	サイトやｉモードメール、メッセージR／Fなどで入手したｉモーション用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているｉモーション用フォルダ
外部取得データ	microSDカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用して入手したｉモーション用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
ｉモードで探す	ｉモードに接続
ｉモーション／ムービー（microSD）	
→本体	［ｉモーション／ムービー（本体）］に切り替え
カメラフォルダ	FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
（カメラフォルダ用ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
レコーダー連携	ブルーレイディスクレコーダーから転送した動画用フォルダ
マルチメディア※	音声のみのｉモーションやボイスレコーダーで記録したデータ、およびパソコンから転送したデータ用フォルダ
（カメラ・マルチメディア用ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないｉモーション用フォルダ

※［マルチメディア］フォルダにはデータを1000件まで保存できます。ファイル形式はMP4です。また、パソコンからは、MP4、ASF、3GPP形式のファイルが転送できます。ファイル名は、MMF0001～MMF9999です。FOMA端末では、1000件まで参照することができますが、次の場合には、データが表示されないことがあります。

■ 再生できないデータがあるとき
■ 1001件以上データが存在するとき
■ ファイル名が「MMFxxxx」（「xxxx」は数字）でないとき

■ ワンセグ（☞P.356）

● FOMA端末で録画したビデオや静止画が保存されます。

ワンセグ（本体）	
→microSD	［ワンセグ（microSD）］に切り替え
イメージ	ワンセグで録画した静止画用フォルダ
ビデオ	ワンセグで録画したビデオ用フォルダ
ワンセグ（microSD）	
→本体	［ワンセグ（本体）］に切り替え
ビデオ	ワンセグで録画したビデオ用フォルダ

■ メロディ（☞P.361）

● メロディが保存されます。

メロディ（本体）	
→microSD	［メロディ（microSD）］に切り替え
ｉモード	サイトやｉモードメール、メッセージR／Fなどで入手したメロディ用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているメロディ用フォルダ
外部取得データ	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用して入手したメロディ用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
ｉモードで探す	ｉモードに接続

メロディ（microSD）	
→本体	［メロディ（本体）］に切り替え
メロディ	あらかじめ用意されているメロディ用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないメロディ用フォルダ

■ マイドキュメント（☞P.388）

● PDFデータが保存されます。

マイドキュメント（本体）	
→microSD	［マイドキュメント（microSD）］に切り替え
ｉモード	サイトやｉモードメール、メッセージR／Fなどで入手したPDF用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているPDF用フォルダ
外部取得データ	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用して入手したPDF用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
マイドキュメント（microSD）	
→本体	［マイドキュメント（本体）］に切り替え
PDF	FOMA端末からコピーしたり、サイトやｉモードメール、メッセージR／Fなどで入手したPDF用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ

■ きせかえツール（☞P.107）

● きせかえツールが保存されます。

きせかえツール（本体）	
→microSD	［きせかえツール（microSD）］に切り替え
ｉモード	サイトなどで入手したきせかえツール用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているきせかえツール用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
ｉモードで探す	ｉモードに接続
きせかえツール（microSD）	
→本体	［きせかえツール（本体）］に切り替え
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないきせかえツール用フォルダ

■ マチキャラ（☞P.360）

● マチキャラが保存されます。

マチキャラ（本体）	
→microSD	［マチキャラ（microSD）］に切り替え
ｉモード	サイトなどで入手したマチキャラ用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているマチキャラ用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
ｉモードで探す	ｉモードに接続
マチキャラ（microSD）	
→本体	［マチキャラ（本体）］に切り替え
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないマチキャラ用フォルダ

■ キャラ電（☞P.359）

● キャラ電が保存されます。

キャラ電	
ｉモード	サイトなどで入手したキャラ電用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているキャラ電用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ

LifeKitの各種ビューアについて

■ マンガ・ブックリーダー(☞P.392)

● 電子書籍など(電子書籍/電子辞書/電子コミック)を表示できます。

マンガ・ブック(本体)	
→microSD	[マンガ・ブック(microSD)]に切り替え
マンガ・ブックリーダー	サイトなどで入手した電子書籍などのフォルダ
i モード	サイトなどで入手した閲覧制限が設定されている電子書籍などのフォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されている電子書籍などのフォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
マンガ・ブック(microSD)	
→本体	[マンガ・ブック(本体)]に切り替え
マンガ・ブックリーダー	サイトなどで入手したり、パソコンなどから保存した電子書籍などのフォルダ
マンガ	サイトなどで入手した、閲覧制限が設定されている電子書籍などのフォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ

■ ドキュメントビューア(☞P.391)

● microSDカードに保存されているMicrosoft Wordファイル、Microsoft Excelファイルや画像ファイルなどを表示できます。

ドキュメントビューア	
ドキュメント	パソコンなどから保存したドキュメント用フォルダ
カメラフォルダxxx	データBOXの[マイピクチャ(microSD)]内と同じ内容を表示します。 [カメラフォルダxxx]には、ドキュメントビューアで切り出した静止画も保存されます。
(カメラフォルダ用ユーザフォルダ)	
その他静止画	
(その他静止画用ユーザフォルダ)	

■ PDF対応ビューア(☞P.388)

● [PDF対応ビューア]内のフォルダ一覧はデータBOXの[マイドキュメント]内と同じ内容を表示します。

データ一覧画面の見かた

フォルダを選ぶとデータ一覧画面が表示されます。

● 表示方法の変更については☞P.341

例:[カメラ]フォルダのデータ一覧画面(表示切替:[ビジュアルメニュー])

1 ファイル種別アイコン
2 タイトル名
3 詳細情報マーク

● タイトル表示は、全角8文字(半角16文字)までです(文字サイズの設定や一覧画面の表示方法により、表示される文字数は異なる場合があります)。

● i モーションの場合、画像の代わりに次のように表示されるときがあります。

■ [♪]が表示
- 音声のみのデータ
- 画像サイズが非対応のデータ
- 画像ファイル形式が非対応のデータ

■ [■]が表示
- テキストのみのデータ
- 画像が壊れていたり表示できないデータ
- [移行可能コンテンツ]フォルダ内で、FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータ

■ [ ]が表示
- ダウンロードの途中で保存したデータ

データ管理

● PDFデータの場合、画像の代わりに[ ]や[ ]、[ ]と表示される場合があります。PDF対応ビューアを起動すると画像が表示されるようになります。

アイコンの種類とマークの説明

■ ファイル種別アイコン

静止画の種類

JPEG				
5M：1944×2592	3M：1536×2048	フルHD：1080×1920	UXGA：1200×1600	1.2M：960×1280
5M	3M	Full HD	UXGA	1.2M

JPEG				
待受：480×854	VGA：480×640	ワンセグ：320×180	QVGA：240×320	QCIF：176×144
Full WVGA	VGA		QVGA	QCIF

JPEG			GIF画像 GIFアニメーション	Flash画像
アイコン：152×152	76×76	その他		
MENU ICON		JPG	GIF	

ｉモーションの種類

MP4／Mobile MP4				ブルーレイディスクレコーダーから転送	ASF
再生制限なし	再生制限あり				
	再生期間	再生期限	再生回数		
MP4	MP4	MP4	MP4	RECO RDER	ASF

メロディの種類

SMF	MFi	
	3D情報なし	3D情報あり
SMF	MFi	MFi 3D

PDFの種類

すべてのページをダウンロード	ページ単位で部分的にダウンロード	ダウンロード失敗
PDF	Data	Data

FOMAカードセキュリティ機能が設定されたファイル

FOMAカード動作制限あり

メロディの種類について

● MFi（3D情報あり）を[移行可能コンテンツ]フォルダに保存したときは、MFi（3D情報なし）が表示されますが、3D情報は保持しています。

■ 詳細情報マーク

	メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているファイル
	フレーム画像、またはスタンプ画像
	ｉモードなどで取得したファイル※
	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02、IrSS™通信を利用して取得したファイル※
	カメラ撮影したファイル
	テレビ電話中に撮影した静止画メモ
	電子書籍などで保存した静止画

JPG PDF	PDF対応ビューアの表示画面を切り出して保存した静止画
	位置情報が付加されている静止画
	手書きした静止画
	ワンセグで録画した静止画

※ フレーム画像、スタンプ画像は除く

表示方法を変更する

■ データ／フォルダ一覧画面の表示方法を変更する ＜表示切替＞

例：マイピクチャのとき

1 データ一覧画面で［サブメニュー］▶［静止画設定］▶［表示切替］

2 表示方法を選ぶ

- データ／フォルダ一覧表示中のページ切替：左右にすばやくスライド

- 設定できる項目は画面によって異なります。
- ビジュアルメニューのとき、フォルダ／データにカーソルを合わせる場合は、フォルダ／データ部分を上下にスライドしてください。

■ 全画面モードで表示する

1 画像／ｉモーションのデータ一覧画面で画像にカーソルを合わせる▶［全画面］

ロングタッチメニューを利用する

画像／ｉモーションのデータ一覧画面でビジュアルメニューを表示している場合、ロングタッチメニューを利用すると、画像やｉモーションの次の操作を簡単に利用できます。

■ メール添付　■ IrSS™（JPEG画像のみ）　■ 削除
■ FOMA端末とmicroSDカードの間で移動／コピー

1 画像／ｉモーションのデータ一覧画面で画像にカーソルを合わせる▶画像／ｉモーションをロングタッチ

- ロングタッチメニューが表示されます。

2 目的の機能の上に重ねるようにスライド

イメージビューア

保存した画像を表示する

データBOXのマイピクチャに保存された画像を表示します。

1 カスタムメニューで［データBOX］▶［マイピクチャ］

2 画像を選ぶ

画像表示画面

- 画像の保存件数が多くなると画像表示が遅くなるときがあります。
- サイトなどからダウンロードしたGIFアニメーションやFlash画像は、見えかたが異なるときがあります。

■ 画像表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
［再生］／［停止］	▶II	再生／一時停止※1
［IrSS］	IrSS	高速赤外線通信（IrSS™機能）で送信※2
［✉／投稿］	✉	メール添付／メール挿入／ブログ投稿※2
［←Back］	前へ Back ← 長押し Hold	前の画像を表示※3

データ管理

縦表示	横表示	機 能
[→Next]	次へNext 長押しHold	次の画像を表示※3

※1 Flash画像の場合に表示されます。
※2 操作可能な場合に表示されます。
※3 ロングタッチすると連続して画像を切り替えます。
・ 横表示のとき画面をタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

● 次のタッチ操作ができます。

次へ／前へ	左右にスライド
ズームバー表示※1	ロングタッチ
拡大／縮小※2	2本の指の間隔を広げる／狭める
表示切替(全画面モード⇔通常モード)	画面をタッチ

※1 ズーム可能なJPEG画像のみ表示されます。ズームバーのスライダを左右にスライドするか、ズームバーをタッチして画像を拡大／縮小します。
※2 縮小し続けると、ピクチャテーブル表示になります。

● 画像を拡大して表示している場合は、上下左右にスライドして表示位置を変更します。

■ 画像表示画面のボタン操作

機能	ボタン	機能	ボタン
顔検出ズーム(JPEG画像)	[カメラ]	再生／一時停止(Flash画像)	[●]
縮小(JPEG画像)※	1	前の画像を表示	[左]
ピクチャテーブル表示(JPEG画像以外)	1	次の画像を表示	[右]
		左90度回転(JPEG画像)	Fn＋1
等倍⇔フィット	2	メール／ブログ機能	Fn＋3
拡大(JPEG画像)	3	赤外線送信(JPEG画像)	Fn＋4
エフェクト切替	5	ライトアップ	Fn＋D(1秒以上)
縮小／等倍／拡大(GIF画像)	[●]		

※ 縮小し続けると、ピクチャテーブル表示になります。

● GIFアニメーションやFlash画像は、縮小／等倍／拡大の切り替えができません。
● 次／前の画像を表示するときに画像が乱れたり、表示されないことがあります。
● Flash画像再生中は、表示切替できません。停止してから操作してください。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
- ▶[フォルダ新規作成] ☞P.376
- ▶[フォルダ名編集] ☞P.377
- ▶[フォルダセキュリティ] ☞P.377

[削除] ☞P.377

[microSDへ移動] ☞P.369

[microSDへ全件コピー] ☞P.368

[データ送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.384

[静止画設定]
- ▶[表示切替] ☞P.341
- ▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
  - ● 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。
- ▶[スライドショー開始]
  - ● 指定したフォルダ内の画像を連続して表示します。
- ▶[スライドショー再生間隔]▶速度を選ぶ
- ▶[スライドショー効果設定]▶効果を選ぶ
- ▶[ピクチャテーブル] ☞P.344

[本体⇔microSD切替]

■ 画像一覧画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作（☞P.342）を参照してください。
 ■ データ送信（赤外線送信）
 ■ 静止画設定（表示切替、バックライト点灯時間、スライドショー開始、スライドショー再生間隔、スライドショー効果設定）
 ■ 本体⇔microSD切替

[編集・情報表示]
- ▶[手書き編集]
  - ● 以降の操作については☞P.400「手書きメモを作成する」の操作２へ
- ▶[画像編集] ☞P.346
- ▶[プチエステ] ☞P.348
- ▶[タイトル編集] ☞P.377
- ▶[ファイル名編集] ☞P.377
- ▶[ファイル制限]▶設定を選ぶ
  - ● 静止画のFOMA端末外への出力を制限します。
- ▶[サイト接続]
- ▶[情報表示] ☞P.379

[削除] ☞P.379

[分類登録] ☞P.378

[画面設定] ☞P.345

[移動／コピー]
- ▶[フォルダ間移動] ☞P.378
- ▶[microSDへ移動] ☞P.370
- ▶[microSDへコピー] ☞P.368
- ▶[お預かりセンターに保存] ☞P.131
- ▶[お預かり済アイコンクリア] ☞P.130

[データ送信]
- ▶[ｉＣ送信] ☞P.386
- ▶[地点情報送信] ☞P.430

[静止画設定]
- ▶[ソート] ☞P.378
- ▶[音量設定]▶音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]
  - ● Flash画像再生時の音量を調節します。

[位置情報] ☞P.334

[ファイル制限]について

● FOMA端末で撮影、または編集して作成したデータに設定できます。ただし、編集するデータによっては設定できないものもあります。

■ 画像表示画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作（☞P.342）を参照してください。
 ■ データ送信（赤外線送信）
 ■ 静止画設定（ピクチャテーブル、バックライト点灯時間）

● 次の機能については、画像一覧画面のサブメニュー操作（☞P.343）を参照してください。
 ■ 編集・情報表示（タイトル編集、サイト接続、情報表示）
 ■ 分類登録　■ 画面設定　■ データ送信（ｉＣ送信、地点情報送信）
 ■ 静止画設定（音量設定）

[リトライ]（Flash画像のみ）
- ● 再生をやり直します。

[メール／ブログ機能]
- ● 以降の操作については☞P.237「撮影後すぐに静止画または動画を送る」の操作２へ

[編集・情報表示]
- ▶[手書き編集]（Flash画像以外）
  - ● 以降の操作については☞P.400「手書きメモを作成する」の操作２へ
- ▶[画像編集]（Flash画像以外） ☞P.346
- ▶[プチエステ]（Flash画像以外） ☞P.348

▶[ファイル名編集](Flash画像以外) ☞P.377

▶[ファイル制限](Flash画像以外)▶設定を選ぶ
- 静止画のFOMA端末外への出力を制限します。

[1件削除] ☞P.379

[顔登録] ☞P.345

[移動/コピー]

▶[1件移動] ☞P.378

▶[microSDへ1件移動] ☞P.370

▶[microSDへ1件コピー] ☞P.369

▶[お預かりセンターに保存](Flash画像以外)
- 以降の操作については☞P.131「データを選んでお預かりセンターに保存する」の操作3へ

[静止画設定]

▶[ズーム](Flash画像以外)▶ズームの種類を選ぶ

▶[回転](Flash画像以外)▶回転の方向(角度)を選ぶ

▶[エフェクト設定]▶設定を選ぶ
- 次/前の画像に切り替えるときのエフェクト(効果)を設定します。

▶[自動回転設定](Flash画像以外)▶設定を選ぶ
- JPEG画像の場合、ディスプレイ内で最大に見えるように、自動的に回転して表示できます。

▶[全画面モード](Flash画像以外)

▶[ワイドモード](Flash画像以外)

▶[ライトアップ](Flash画像以外)

[位置情報](Flash画像以外) ☞P.334

- Flash画像再生中は操作できません。停止してから操作してください。

[ズーム]について
- GIFアニメーションやFlash画像はズームできません。
- GIF画像は[等倍⇔フィット]のみ選択できます。
- 次のような画像は、顔検出ズームができない場合があります。
  - ■ 顔が小さい
  - ■ 顔が正面を向いていない
  - ■ 複数の顔がある
  - ■ 顔の前に物などがある

[顔登録]、[回転]、[自動回転設定]について
- JPEG画像以外の画像は操作できません。

[全画面モード]、[ワイドモード]について
- 全画面モードはディスプレイ内に納まるサイズ、ワイドモードは余白が付かないサイズです。

ピクチャテーブル表示にする<ピクチャテーブル>

ピクチャテーブル表示にすると、指定したフォルダ内の画像を縮小して一覧で表示します。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 フォルダにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[静止画設定]▶[ピクチャテーブル]
- [PicTable]をタッチしても、ピクチャテーブル表示にすることができます。

■ ピクチャテーブル表示中のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[別フォルダ]	[icon]	フォルダ切替
[全画面]	−	全画面表示

・横表示のとき画面をロングタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

カーソルの移動	カーソルをタッチしたまま上下左右にスライド
画面を上下にスクロール※	上下にスライド
画像表示画面の表示	画像をタッチ

データ管理

※ スクロールバーのスライダを上下にスライドするか、スクロールバーをタッチしてもスクロールできます。

画像を待受画面などに設定する<画面設定>

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[画面設定]

3 画面設定の種類を選ぶ

- 待受画面に設定するとき:[待受画面設定]▶設定先を選ぶ▶[はい]
  - ・画像のサイズによっては、表示サイズ選択画面が表示されます。表示サイズを選んでください。
- 電話帳に登録するとき:[電話帳画像設定]▶電話帳に登録
- スケジュールを作成するとき:[スケジュール画像設定]▶スケジュールを登録

- フレームやスタンプ、ワンセグで録画した静止画は画面設定できません。
- microSDカード内の静止画は、直接設定できません。FOMA端末にコピー/移動してから登録してください。
- Flash画像は、待受画面、発着信画面、メール送受信画面に設定できます。
- 一部のJPEG画像とGIF画像、GIFアニメーションは、お知らせウィンドウアニメに設定できません。
- スケジュールを作成する場合、表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されます。
  ■ 日時:静止画の保存日時　■ 画像:静止画のタイトル名

静止画を添付してｉモードメールを送信する

静止画をメールに添付して送信できます。また、デコメール®として送信したり、ブログ/SNSに投稿することもできます。

- ファイルの添付については☞P.143

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画にカーソルを合わせる▶[✉/投稿]

3 送信方法を選ぶ

- 送信方法については☞P.237「撮影後すぐに静止画または動画を送る」の操作２へ

4 メール/デコメール®を作成・送信

静止画を高速赤外線通信で送信する(IrSS™機能)

マイピクチャから静止画(JPEG画像)を選択して、IrSS™機能対応機種に送信できます。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画にカーソルを合わせる▶[IrSS]

- 受信側のFOMA端末を受信待ち状態にします。

3 送信方法を選ぶ

- [縮小して送信]を選択すると、画像サイズを「2048×1536」/「1536×2048」以下、ファイルサイズを1.2Mバイト以下に縮小して送信します。
- 通信の中止:[中止]

- IrSS™機能とは、IrSimple™ 1.0規格準拠の片方向通信機能(Home Appliance Profile)です。
- IrSS™通信は、片方向通信のため受信側からの応答を確認せずに送信します。受信側が受け取れないときでも送信側は正常に終了します。

静止画から顔情報を登録する<顔登録>

静止画から顔の画像を検出して登録したり、登録した顔情報名を顔検出ズーム時に表示したりできます。また、登録した顔情報を利用してデータBOX検索やアルバム表示をすることもできます。

- 顔情報は10件まで登録できます。
- 静止画撮影から顔情報を登録することもできます(☞P.236)。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ

3 [サブメニュー]▶[顔登録]▶[顔検出ズーム]

- 登録する顔が拡大表示されます。
  - ・複数の顔が検出されている場合は、登録する顔を操作3を繰り返して拡大表示させてください。

4 [サブメニュー]▶[顔登録]▶[新規登録]

- 顔情報がすでに10件登録されているときは、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選択し、上書きする顔情報を選択すると登録できます。
- 登録済みの顔情報を編集:[編集]▶編集する顔情報を選ぶ
  - ・個人検出一覧画面が表示されます。
- 以降の操作については☞P.236「顔情報を登録する」の操作4へ
- 登録済の顔情報の削除については☞P.236

画像編集

静止画を編集する

画像編集では、編集前と編集後の静止画を見比べながら、連続して編集できます。

- 編集前の静止画のサイズによっては、利用できない編集メニューがあります。
- 画像エフェクトや画像補正、プチエステなどは、静止画によって効果に差があります。
- FOMA端末外から取得した静止画は編集できないときがあります。
- 画像編集を行うと画質が劣化したり、データの容量が増減するときがあります。
- Flash画像やGIFアニメーションは編集できません。
- 人物の顔などを編集した静止画は、人格権および肖像権を尊重し、中傷にならないようにご配慮ください。
- 編集した静止画は圧縮して保存し直されるため、編集中の静止画とは異なって見えることがあります。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[編集・情報表示]▶[画像編集]

- [編集メニュー]をタッチすると画像編集メニューの非表示/表示を切り替えることができます。画像編集メニューを選択して編集することができます。

3 静止画を編集

画像編集画面

4 [完了]▶[はい]

- 保存後に続けて編集するとき:[保存]

5 [OK]

- タイトルの編集:[タイトル編集]▶タイトルを編集▶[決定]
  - ・全角25文字(半角50文字)まで入力できます。
- 保存先の変更:[フォルダ変更]▶フォルダにカーソルを合わせる▶[確定]
- 保存してメールに添付:[メール作成]▶メールを作成・送信

■ 画像編集画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[完了]	完了 Complete	編集を完了
[保存]	保存 Save	保存
[編集メニュー]	編集メニュー Edit ON/OFF	画像編集メニューの表示/非表示
[確認]	確認 Check	画像編集画面に戻る※

データ管理

※ 画像確認画面でのみ操作できます。
・ 画像確認画面の場合、横表示のとき画面をタッチすると、コントロールボタンが表示されます。
● 次のタッチ操作ができます。

編集前画像確認	元の静止画をタッチ
編集後画像確認	編集後の静止画をタッチ

■ 画像編集画面のサブメニュー操作

[画像確認]
▶[編集前画像確認]
▶[編集後画像確認]

[画像切り出し] ☞P.348

[サイズ変更]▶サイズを選ぶ

[画像回転]▶種類を選ぶ

[エフェクト]
▶[画像エフェクト]▶種類を選ぶ
● 静止画の色合いやタッチを変更します。
▶[フェイスエフェクト]▶種類を選ぶ
● 人物の顔に喜怒哀楽などの表情効果を付けます。
▶[フェイスエフェクト(鏡面)]▶項目を選ぶ
● 人物の顔を左右対称にします。

[画像補正]▶種類を選ぶ
● 静止画にシャープネスやソフトなどの補正をかけることができます。

[スタンプ]
▶[画像スタンプ]▶スタンプにカーソルを合わせる▶[決定]▶貼り付け位置を調整▶[決定]▶[完了]
▶[フェイススタンプ]▶種類を選ぶ
▶[文字スタンプ] ☞P.348

[フレーム]▶種類にカーソルを合わせる▶[決定]

[顔検出位置修正] ☞P.348

[元に戻す]▶[はい]

[サイズ変更]について
● サイズ変更しても縦横比は変更されません。縦横比が異なる画像をアイコンやテレビ電話代替画像に使用する場合は画像切り出しを利用してください。
● 現在の横(縦)サイズを変換後の横(縦)サイズに拡大または縮小します。「アイコン:152×152」にサイズ変更する場合、上下(左右)が足りないときは、静止画を中央に配置して上下(左右)に余白が付きます。
● [デコメール用]にサイズ変更する場合、画像が縮小される旨の確認メッセージが表示されたときは、[はい]を選択するとサイズ変更できます。

[画像回転]について
● 画像サイズが「1280×960」より大きいときは、画像が縮小される旨の確認メッセージが表示されます。[はい]を選択すると回転できます。
● 縦と横のサイズが異なる静止画を90度回転させると、縦横比が変わります。
● 静止画によっては、保存先フォルダを指定できないときがあります。

[フェイスエフェクト]、[フェイスエフェクト(鏡面)]、[フェイススタンプ]について
● 静止画内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないことがあります。正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
● 顔の輪郭情報が正しく抽出できないときは☞P.348

[フレーム]について
● FOMA端末にはあらかじめ「待受:480×854」、「VGA:480×640」用のフレームが登録されています。

[元に戻す]について
● 取り消しは1回のみ可能です。続けて取り消し操作を行うと、未編集状態に戻ります。

静止画のサイズを修正する<画像切り出し>

1 **画像編集画面で[サブメニュー]▶[画像切り出し]**

2 **サイズを選ぶ**

3 **切り出し部分を指定▶[決定]**
- 画面をタッチしたままスライドして切り出す範囲を枠内に表示させてください。
- 画面の拡大／縮小：[拡大]／[縮小]
  - ・[アイコン(12分割)]のときは拡大･縮小できません。

● 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りないときは、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。

文字スタンプを貼り付ける<文字スタンプ>

1 **画像編集画面で[サブメニュー]▶[スタンプ]▶[文字スタンプ]**

2 **種類を選ぶ**
- [フリーワード]のとき：文字を入力▶[決定]
  - ・全角11文字(半角22文字)まで入力できます。文字が画面の幅を超えるときは、はみ出した部分が削除されます。

3 **貼り付け位置を調整**
- 文字サイズの変更：[▼サイズ]／[▲サイズ]
- 文字色の変更：[サブメニュー]▶文字色を選ぶ

4 **[決定]**

各部の輪郭情報を手動で設定する<顔検出位置修正>

フェイスエフェクトやフェイススタンプ、プチエステで利用する顔の各部の輪郭情報を、手動で設定できます。

1 **画像編集画面で[サブメニュー]▶[顔検出位置修正]**

2 **指定する部位を選ぶ**
- 顔の輪郭を指定(赤枠)：[輪郭]
- 口の輪郭を指定(黄枠)：[口]
- 左目の輪郭(緑枠)と右目の輪郭(青枠)を指定：[目]
- それぞれタッチするたびに、[+]の位置が切り替わります。

3 **輪郭を指定する**
- [+]カーソルを上下左右に移動：上下左右にスライド

例：顔の輪郭のとき

輪郭の左上に[+]カーソルを合わせる。

輪郭の右下に[+]カーソルを合わせる。

- 操作2～3を繰り返し、すべての輪郭を指定します。

4 **[完了]**

人物の顔をメークアップする<プチエステ>

人物の顔の静止画に、美白やナチュラルのメークアップ効果をかけることができます。

1 **カスタムメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]**

2 **静止画にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[編集･情報表示]▶[プチエステ]**

3 **[サブメニュー]▶効果を選ぶ**
- 静止画の保存については☞P.346「静止画を編集する」の操作4へ

● 顔の輪郭情報が正しく抽出できないときは☞P.348

iモーションプレーヤー

動画／iモーションを再生する

データBOXのiモーション／ムービーに保存されたiモーションを再生します。

- 市販のBluetooth機器を接続すると、iモーションの音声をBluetooth機器から再生できます（☞P.428）。

1 **カスタムメニューで[データBOX]▶[iモーション／ムービー]**

2 **iモーションを選ぶ**

再生状態のマーク

iモーション再生画面

再生状態のマーク

再生状態	リピート再生	
	Dolby Mobile 設定	
	オリジナルの設定項目を選んだとき	
	Bluetooth出力中	
	画像サイズ	
	バッファリング中表示 （標準タイプ・ストリーミングタイプ）	
	ダウンロード未完了	
再生種別	音声あり	
	映像あり	
	テロップあり	
	音声再生不可	
	映像再生不可	
音量※		0～25

※ ミュート中は、数字の上に[⊘]が重なって表示されます。

- 再生可能なiモーションの種類は次のとおりです。

ファイル形式		符号化方式
MP4 （拡張子：「.mp4」「.3gp」「.m4a」）	映像	MPEG-4、H.263、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
ASF （拡張子：「.asf」）	映像	MPEG-4
	音声	AMR、G.726

- 符号化方式がH.263のiモーションは、「CIF：352×288」、「QCIF：176×144」、「sQCIF：128×96」が再生可能です。
- 符号化方式がH.264のiモーションは、Baseline ProfileとMobile Profileのみ再生可能です。
- 符号化方式がMPEG-4の場合、「720×480」より大きいサイズのiモーションは再生できません。符号化方式がH.264の場合、「864×480」より大きいサイズのiモーションは再生できません。
- iモーションにテロップが付いていても、テロップは表示されません。
- ダウンロードの途中で保存したiモーションを選ぶと、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選ぶとダウンロードできます。
- 音声のみのiモーションを再生すると、画面には固定のアニメーションが表示されます。
- 再生中に着信やアラーム動作があると、再生は中止され、iモーションの停止画面に戻ります。
- 再生中にFOMA端末を開閉しても、再生は継続されます。

■ iモーション再生画面のタッチパネル操作

● タッチパネルの主な操作については☞P.35
● 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
		前のiモーションを再生※1
		一時停止／再生
		次のiモーションを再生※1
		音量アップ※2
		音量ダウン※2
		停止
		表示切替
		添付メール作成※3

※1　ロングタッチすると、早戻し／早送りになります。
※2　ロングタッチすると、連続して音量を調節できます。
※3　添付可能な場合に表示されます。
・全画面モードで画面をタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

● 次のタッチ操作ができます。

音量調節	上下にすばやくスライド
ミュート／解除	音量アイコンをタッチ
次／前のiモーションを再生	左右にすばやくスライド

■ iモーション再生画面のボタン操作

一時停止／再生	
停止	Fn＋4
音量調節（音量0～25）※1	
ミュート／解除	
前のiモーションを再生※2	
コマ戻し（一時停止中）	
早戻し※3	（1秒以上）
次のiモーションを再生※2	
コマ送り（一時停止中）	
早送り※3	（1秒以上）
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ※4	1：先頭 2～9：総再生時間の約1/9ずつ先の位置
表示切替（全画面モード⇔通常モード）	Fn＋1
メール作成	Fn＋3
ライトアップ	Fn＋D（1秒以上）

※1　ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。
※2　iモーション停止中も操作できます。
※3　［レコーダー連携］フォルダ内の動画のときは、早送り／早戻し中に通常再生になることがあります。
※4　録画時間が短いときは、ジャンプしないことがあります。

● データに制限があるときなど、操作ができなかったり、再生画面の総再生時間が正しく表示されないことがあります。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

［フォルダ管理］
▶［フォルダ新規作成］ ☞P.376
▶［フォルダ名編集］ ☞P.377
▶［フォルダセキュリティ］ ☞P.377

［削除］ ☞P.377

［連続再生］
▶［連続再生開始］
● 指定したフォルダ内のiモーションを連続して再生します。
▶［リピート再生設定］▶設定を選ぶ
▶［ダイジェスト再生設定］▶再生時間を選ぶ
● 各iモーションの最長再生時間を設定します。

[microSDへ移動] ☞P.369

[microSDへ全件コピー] ☞P.368

[データ送信]

▶[赤外線送信] ☞P.384

[ｉモーション／ムービー設定]

▶[表示切替] ☞P.341

▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ

● 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

[本体⇔microSD切替]

[連続再生開始]について

● 連続再生を[■停止/Stop]で停止した場合、[▶II]をタッチすると、停止したｉモーションの先頭から連続再生が再開されます。
● 再生回数に制限のあるｉモーションや、再生期間の制限を超えたｉモーションは再生されません。確認メッセージが表示され、次のｉモーションが再生されます。
● ダウンロードの途中で保存したｉモーションは再生されません。次のｉモーションが再生されます。

■ 映像一覧画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作（☞P.350）を参照してください。

■ 連続再生　■ データ送信（赤外線送信）

■ ｉモーション／ムービー設定（表示切替、バックライト点灯時間）

■ 本体⇔microSD切替

[編集・情報表示]

▶[映像編集] ☞P.354

▶[モーションデコ] ☞P.353

▶[タイトル編集] ☞P.377

▶[ファイル名編集] ☞P.377

▶[ファイル制限]▶設定を選ぶ

● 動画のFOMA端末外への出力を制限します。

▶[情報表示] ☞P.379

[削除] ☞P.379

[分類登録] ☞P.378

[音・映像設定] ☞P.353

[移動／コピー]

▶[フォルダ間移動] ☞P.378

▶[microSDへ移動] ☞P.370

▶[microSDへコピー] ☞P.368

▶[お預かりセンターに保存] ☞P.131

[データ送信]

▶[ｉC送信] ☞P.386

[ｉモーション／ムービー設定]

▶[ソート] ☞P.378

▶[レジューム再生設定]▶設定を選ぶ

[ファイル制限]について

● FOMA端末で撮影、または編集して作成したデータに設定できます。ただし、編集するデータによっては設定できないものもあります。

[レジューム再生設定]について

● FOMA端末に保存されたｉモーションには設定できません。
● [マルチメディア]フォルダ、[移行可能コンテンツ]フォルダのｉモーションには設定できません。
● レジューム再生を[ON]に設定すると、microSDカードに保存されたｉモーションの再生が着信などで中断されても、中断されたところから再生を再開することができます。

■ ｉモーション再生画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、映像一覧画面のサブメニュー操作（☞P.351）を参照してください。

■ 音・映像設定　■ 情報表示

■ ｉモーション／ムービー設定（レジューム再生設定）

[モーションデコ] ☞P.353

[データ編集]

▶[映像編集] ☞P.354

▶[タイトル編集] ☞P.377

▶[ファイル名編集] ☞P.377

▶[ファイル制限]▶設定を選ぶ
- 動画のFOMA端末外への出力を制限します。

[1件削除] ☞P.379

[Dolby Mobile 設定]▶設定を選ぶ
- [オリジナル]を選択したときは、項目設定して[完了]をタッチ

[Bluetooth出力] ☞P.429

[移動/コピー]

▶[1件移動] ☞P.378

▶[microSDへ1件移動] ☞P.370

▶[microSDへ1件コピー] ☞P.369

[チャプター一覧]▶チャプターを選ぶ
- チャプターを選択して再生します。

[お預かりセンターに保存]
- 以降の操作については☞P.131「データを選んでお預かりセンターに保存する」の操作3へ

[iモーション/ムービー設定]

▶[リピート再生]
- 通常再生に戻す:同じ操作

▶[エフェクト設定]▶設定を選ぶ
- 横表示で全画面モードの場合に、次/前のiモーションに切り替えるときのエフェクト(効果)を設定します。

▶[表示サイズ切替]▶設定を選ぶ

▶[ライトアップ]

▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
- 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

▶[送り速度指定]▶設定を選ぶ
- 早送り/早戻しの速度を設定します。

▶[コマ送り幅指定]▶送り幅を選ぶ

▶[全画面モード切替]

▶[起動時画面モード設定]▶設定を選ぶ

▶[音声切替]▶設定を選ぶ
- ブルーレイディスクレコーダーから転送した動画の音声を切り替えます。

[Dolby Mobile 設定]について
- バーチャル5.1chサラウンドの音声で聞くときは[Virtual5.1ch(イヤホン)]に設定し、ステレオイヤホンを利用してください。

[リピート再生]について
- 再生回数に制限のあるデータは、リピート再生できません。

[表示サイズ切替]について
- 表示されるサイズが「480未満×392未満」のときに、表示サイズを[拡大]に切り替えることができます。

[コマ送り幅指定]について
- 音声のみのiモーションなど、[細かい]に設定しても無効となり、[大まか(高速)]でコマ送りされるiモーションがあります。

[全画面モード切替]について
- サイズによっては、全画面モードでも画面全体に表示されません。

[起動時画面モード設定]について
- 縦表示のときに設定が有効です。

動画/iモーションを添付してiモードメールを送信する<iモーションメール>

- ファイルの添付については☞P.143

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[iモーション/ムービー]

2 ｉモーションにカーソルを合わせる▶[メール]

- 500Kバイトを超えるｉモーションのとき：ファイルサイズを選ぶ
  - 先頭から約500Kバイトを切り出す：[メール用(短)]
  - 先頭から約２Mバイトを切り出す：[メール用(長)]
  - 画像サイズを「QVGA：320×240」に変更して、先頭から約500Kバイトを切り出す：[メール用(QVGA縮小短)]
  - 画像サイズを「QVGA：320×240」に変更して、先頭から約２Mバイトを切り出す：[メール用(QVGA縮小長)]

3 メールを作成・送信

動画／ｉモーションからデコメ®ピクチャを作成する<モーションデコ>

- 画像サイズが「QVGA：320×240」、「QCIF：176×144」、「sQCIF：128×96」のとき、モーションデコを使用できます。
- 動画を撮影して、デコメ®ピクチャやデコメ®絵文字を作成することもできます(☞P.243)。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[ｉモーション／ムービー]

2 ｉモーションにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[編集・情報表示]▶[モーションデコ]

3 種類を選ぶ

- デコメ®ピクチャを作成する場合、画像サイズが「QVGA：320×240」のときは、240×180ドットに縮小します。
- デコメ®絵文字を作成する場合、映像の中心から正方形になるように切り出し、20×20ドットに縮小します。

4 [OK]

- タイトルの編集：[タイトル編集]▶タイトルを編集▶[決定]
  - 全角25文字(半角50文字)まで入力できます。
- 保存先の変更：[フォルダ変更]▶フォルダにカーソルを合わせる▶[確定]

- デコメ®ピクチャの場合、画像サイズが小さいほど、きれいな画像を作成できます。
- 長時間の動画の場合、変換後のファイルサイズの制限により、最後まで変換されないことがあります。
- SH-03B以外で撮影した動画は、編集できないことがあります。
- 作成したデコメ®ピクチャ、デコメ®絵文字はFOMA端末に保存されます。

動画／ｉモーションを待受画面などに設定する<音・映像設定>

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[ｉモーション／ムービー]

2 ｉモーションにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[音・映像設定]

3 項目を選ぶ

- 待受画面に設定するとき：[待受画面]▶[はい]▶表示サイズを選ぶ
  - 画像サイズが「QCIF：176×144」、「sQCIF：128×96」以外のときは、拡大表示できません。

- microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のｉモーションは待受画面や着信音などに直接設定できますが、設定されたｉモーションは、FOMA端末のデータBOXのｉモーション／ムービーの[ｉモード]フォルダに移動されます。
- microSDカードからFOMA端末にコピーしたり、赤外線通信やｉC通信、ドコモケータイdatalinkなどを使用してパソコンや他のFOMA端末から転送した動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。
- 音声のみのｉモーションやASF形式のｉモーションなど、待受画面に設定できないｉモーションがあります。

ブルーレイディスクレコーダーと連携する

ブルーレイディスクレコーダーに録画した動画をmicroSDカードに転送して、i モーションプレーヤーで再生できます。

- ブルーレイディスクレコーダーとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続し、動画を転送します。USBモード設定を[microSDモード]に設定して接続してください。接続方法は、FOMA端末とパソコンなどを接続する方法と同様です(☞P.374)。動画を転送する操作方法はブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 対応機種については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 転送した動画は、microSDカードのデータBOXのｉ モーション／ムービーの[レコーダー連携]フォルダに保存され、最大99件表示できます。
- 動画を転送すると、microSDカードに保存できるビデオの件数は少なくなります。
- ブルーレイディスクレコーダーから新たに転送した動画がある場合は、ストックアイコン[ ](新着レコーダー動画)が表示されます。
- 転送した動画の再生方法はｉ モーションの再生方法と同様です(☞P.349)。ただし、一部操作できないものがあります。
  - ｉ モーション再生画面の再生状態のマーク表示位置に[ ]が表示されます(画像サイズのマークは表示されません)。
- 市販のBluetooth機器を利用して、転送した動画の音声をBluetooth機器から再生できます(☞P.428)。

- ブルーレイディスクレコーダーとFOMA端末を、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を使って接続するときは、待受画面を表示させておいてください。

映像編集

動画を編集する

撮影した動画を編集できます。

1 **カスタムメニューで[データBOX]▶[ｉ モーション／ムービー]**

2 **動画にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[編集･情報表示]▶[映像編集]**

映像編集画面

3 **動画を編集**

4 **[Sub Menu]▶[保存]**

- 編集した動画が500Kバイトを超えるとき:ファイルサイズを選ぶ
  - 先頭から約500Kバイトを切り出す:[メール用(短)]
  - 先頭から約２Mバイトを切り出す:[メール用(長)]
  - そのまま保存するとき:[何もしない]

5 **[OK]**

- タイトルの編集:[タイトル編集]▶タイトルを編集▶[決定]
  - 全角25文字(半角50文字)まで入力できます。
- 保存先の変更:[フォルダ変更]▶フォルダにカーソルを合わせる▶[確定]
- 保存してメールに添付:[メール作成]▶メールを作成･送信

- SH-03B以外で撮影した動画は、編集できないことがあります。
- microSDカード内の動画のときは、フォルダを変更できないことがあります。

データ管理

■ 映像編集画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
プレビュー Preview	プレビュー Preview	編集した動画を再生
始点 Start	始点 Start	始点※1
終了 End	終了 End	終点※1
◀II 長押 Hold ◁◁	◀II 長押 Hold ◁◁	コマ戻し※2
II▶ 長押 Hold ▷▷	II▶ 長押 Hold ▷▷	コマ送り※2

※1　動画を切り取るときに表示されます。
※2　ロングタッチすると、早戻し／早送りになります。

■ 映像編集画面のサブメニュー操作

[静止画キャプチャ]
- 動画の一場面を、静止画として保存します。
- 静止画の保存については☞P.346「静止画を編集する」の操作5へ

[映像カッター]　☞P.355

[情報表示]　☞P.379

[保存]　☞P.354

[終了] ▶ [はい]

[コマ送り幅指定] ▶ 送り幅を選ぶ

[静止画キャプチャ]について
- 保存した静止画はFOMA端末で撮影した静止画と同様に扱うことができます。

[コマ送り幅指定]について
- 音声のみのｉモーションなど、[細かい]に設定しても無効となり、[大まか(高速)]でコマ送りされるｉモーションがあります。
- 次の場合は、コマ送り幅が[大まか(高速)]になります。
  - ■ 映像編集画面で、画像サイズが「FWVGA：864×480」、「ワイド：720×400」、「VGA：640×480」、「WQVGA：400×240」、「hQVGA：240×176」のとき
  - ■ 編集中のデータサイズが2Mバイトを超えるとき

動画を切り取る<映像カッター>

動画の一部を切り取り、新しい動画として保存します。

メール用(短)	指定した位置から約500Kバイトまでを自動的に切り取ります。
メール用(長)	指定した位置から約2Mバイトまでを自動的に切り取ります。
部分切り出し	始点と終点を指定して切り取ります。
前部分消去	指定した始点からファイルの最後までを切り取ります。
後部分消去	ファイルの最初から指定した終点までを切り取ります。

1 映像編集画面で[サブメニュー Sub Menu] ▶ [映像カッター]

2 切り取り方法を選ぶ

- ◆ **[メール用(短)]／[メール用(長)]／[前部分消去] ▶ 始点を選ぶ ▶ [始点 Start] ▶ [確認]**
- ◆ **[部分切り出し] ▶ 始点を選ぶ ▶ [始点 Start] ▶ 終点を選ぶ ▶ [終了 End] ▶ [確認]**
- ◆ **[後部分消去] ▶ 終点を選ぶ ▶ [終了 End] ▶ [確認]**

- 約3秒未満の動画は切り取りできません。
- FOMA端末に保存されている約2Mバイトを超える動画は、部分切り出し、前部分消去、後部分消去できません。
- 約500Kバイト以下の動画はメール用(短)、メール用(長)に切り出しできません。
- 動画を保存するまでは連続して切り取りはできません。
- コマ送り幅指定を[細かい]に設定している場合、[大まか(高速)]に設定している場合よりも切り取りに時間がかかることがあります。

ワンセグ

ワンセグを録画したビデオ･静止画を再生する

データBOXのワンセグに保存されたビデオや静止画を再生できます。ここでは、ビデオプレーヤーでのビデオの再生について説明します。

- 静止画表示中の操作については☞P.341
- 縦表示のときや、オープンポジションのときは、マルチウインドウでビデオを見ながら他の機能を利用できます(☞P.255)。同時に使用可能な機能はワンセグ視聴中と異なります(☞P.506)。
- ビデオ再生中に着信やアラームが動作した場合は次のようになります。
  - ■ クローズポジションのとき:ビデオが一時停止し、各機能の画面が表示されます。音声電話着信の場合はマルチウインドウになります。
  - ■ オープンポジションのとき:マルチウインドウになり、各機能が動作します。着信のときは、ビデオが一時停止します。
- 市販のBluetooth機器を接続すると、ビデオの音声をBluetooth機器から再生できます(☞P.428)。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[ワンセグ]

2 [ビデオ]フォルダ▶ビデオを選ぶ

- 静止画を表示するとき:[イメージ]フォルダ▶静止画を選ぶ

ビデオ再生画面

- 前回再生時に途中で終了したビデオは、停止した位置から再生されます。
- ビデオ再生中は、テレビリンク一覧画面を表示できません。
- 他の機器などで編集(分割)されたビデオを再生すると、映像や音声が途切れることがあります。

ビデオ再生中のデータ放送表示について

- ビデオ再生時は、再生中のビデオを録画した放送局のデータ放送が表示されます。再生を終了すると一時停止になり、データ放送の閲覧を継続できます。ただし、再生終了時にデータ放送が表示されていない場合は、再生が停止します。
- ビデオ一時停止中やビデオ再生の速度が通常もしくは[▶♪]のとき以外は、データ放送が表示されません。ただし、データ放送サイトは表示されます。
- 早送り([▶♪]のとき以外)や早戻し、再生開始位置のジャンプをすると、通常再生に戻ったときにデータ放送はトップページが表示されます。

■ ビデオ再生画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示/横表示	機　能
◀◀ 長押 Hold ×2	早戻し※1
II	一時停止
▶	再生
▶▶ 長押 Hold ×2	早送り※1
音量 Volume ∧ 長押 Hold	音量アップ※2
音量 Volume ∨ 長押 Hold	音量ダウン※2
■ 停止 Stop	停止
10秒バック 10Sec Back	約10秒前の位置にバック
30秒スキップ 30Sec Skip	約30秒先の位置にスキップ
<	前の検索結果を表示※3
>	次の検索結果を表示※3

データ管理

縦表示／横表示	機　能
字幕 Caption	字幕の表示※4
番組情報 Program info	番組名の表示※4
データ放送 Data BC	データ放送の表示※4

※1　ロングタッチすると[◀◀×2]／[▶▶×2]に速度が上がり、早戻し／早送り中にタッチすると段階的に速度が上がります。
※2　ロングタッチすると、連続して音量を調節できます。
※3　データBOX検索からビデオを再生した場合、ビデオ停止中に表示されます。
※4　横表示で表示モード切替(横)が[映像＋データ放送]／[映像(標準)]のとき表示されます。タッチすると[字幕 Caption]→[番組情報 Program info]→[データ放送 Data BC]の順に切り替わります。

・ 表示モード切替(横)が[映像(全画面)]／[映像(全画面・倍速)]の場合は、横表示のとき画面をタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

● 次のタッチ操作ができます。

音量調節	上下にすばやくスライド
早戻し／早送り※1	左右にすばやくスライド
次／前の検索結果を表示※2	左右にすばやくスライド
全画面表示切替※3	映像領域をタッチして2本の指の間隔を広げる／狭める

※1　停止中や一時停止中は操作できません。早戻し／早送り中に操作すると速度が上がります。
※2　データBOX検索からビデオを再生した場合、ビデオ停止中に操作できます。
※3　横表示でのみ操作できます。

■ マルチウインドウ時のビデオ再生画面のタッチパネル操作

● タッチパネルの主な操作については☞P.35
● マルチウインドウ時、ビデオ再生領域で次のタッチ操作ができます。

再生／一時停止	映像領域をタッチ
音量調節	上下にすばやくスライド

● 映像領域をロングタッチすると、ビデオ再生画面のみ表示されます。

■ ビデオ再生画面のボタン操作

一時停止／再生	Fn＋1
停止	Fn＋4 ● 先頭から再生：Fn＋1
音量調節(音量0～25)※1	[キー]
ミュート／解除	[キー]
字幕設定ON／OFF	[キー](1秒以上)
早戻し (◀◀×1、◀◀×2、◀◀×3、◀◀×4)※2	[キー] ● [◀◀×2]で早戻し：[キー](1秒以上)
前の検索結果を表示※3	[キー]
早送り (▶▶♪、▶▶×1、▶▶×2、▶▶×3、▶▶×4)※2	[キー] ● ▶▶♪：通常の約1.3倍で再生 ● [▶▶×2]で早送り：[キー](1秒以上)
次の検索結果を表示※3	[キー]
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ※4	1：先頭 2～9：総再生時間の約1/9ずつ先の位置
約10秒前の位置にバック	O
約30秒先の位置にスキップ	P
映像／データ放送モードの切替	Fn＋3
表示モード切替※5	Fn＋4(1秒以上)
ビデオプレーヤー終了	CLR／[キー]▶[はい]

※1　ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。
※2　ボタンを押すたびに、早送り／早戻しの速度が上がります。
※3　データBOX検索からビデオを再生した場合、ビデオ停止中に操作できます。
※4　録画時間が短いときは、ジャンプしないことがあります。
※5　表示モード切替(横)が[映像＋データ放送]→[映像(標準)]→[映像(全画面)]→[映像(全画面・倍速)]の順に切り替わります。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダセキュリティ]	☞P.377
[表示切替]	☞P.341
[本体⇔microSD切替]	

■ 画像一覧画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、マイピクチャの画像一覧画面のサブメニュー操作(☞P.343)を参照してください。

■ 編集・情報表示(タイトル編集、情報表示) ■ 削除 ■ 分類登録
■ 静止画設定(ソート、音量設定)

[静止画設定]

▶[表示切替]	☞P.341
▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ ● 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。	
▶[スライドショー開始] ● 指定したフォルダ内の画像を連続して表示します。	
▶[スライドショー再生間隔]▶速度を選ぶ	
▶[スライドショー効果設定]▶効果を選ぶ	

■ ビデオ一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]	
▶[タイトル編集]	☞P.377
▶[情報表示]	☞P.379
[削除]	☞P.379
[分類登録]	☞P.378
[microSDへコピー]	☞P.368
[ワンセグデータ設定]	
▶[表示切替]	☞P.341
▶[ソート]	☞P.378
[本体⇔microSD切替]	

■ 画像表示画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、マイピクチャの画像表示画面のサブメニュー操作(☞P.343)を参照してください。

■ 1件削除 ■ 顔登録
■ 静止画設定(ズーム、回転、エフェクト設定、自動回転設定、全画面モード、ワイドモード、ライトアップ)

[編集・情報表示]	
▶[タイトル編集]	☞P.377
▶[情報表示]	☞P.379
[分類登録]	☞P.378
[静止画設定]	
▶[ピクチャテーブル]	☞P.344
▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ ● 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。	
▶[音量設定]▶音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]	

■ ビデオ再生画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、ワンセグ視聴画面のサブメニュー操作(☞P.253)を参照してください。

■ Bluetooth出力 ■ ミュート ■ Dolby Mobile 設定 ■ 画質設定
■ 表示設定 ■ 字幕設定 ■ 操作切替 ■ データ放送
■ 操作ガイド ■ ワンセグ設定(主／副音声切替、音声切替)

[中速早送り／早戻し]▶種類を選ぶ	
[再生開始位置指定]▶再生開始位置(先頭から何時間何分後)を入力▶[OK]	
[画面OFF(音声のみ)]	
[情報表示]	☞P.379

[再生開始位置指定]について

● 再生開始位置指定画面で、左右にすばやくスライドしてカーソルを移動し、数字をタッチしてください。

キャラ電プレーヤー

キャラ電

キャラ電は、テレビ電話利用時にお客様の分身として相手に送信できるキャラクタです。キャラクタには、さまざまなアクションをさせることができます。

● キャラ電のダウンロードについては☞P.193

キャラ電を再生する<キャラ電プレーヤー>

データBOXのキャラ電に保存されたキャラ電を再生し、アクションを実行できます。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[キャラ電]

2 キャラ電を選ぶ

キャラ電再生画面

マークの意味

(アイコン)	全体アクションモード
(アイコン)	パーツアクションモード

● キャラ電操作中は、ボタンを押しても音は鳴りません。
● キャラ電によっては、自動でアクションするものや、アクションをしないものがあります。

■ キャラ電再生画面のタッチパネル操作

● タッチパネルの主な操作については☞P.35
● 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[モード切替]		アクションモードの切替
[アクションリスト]		アクションリストの表示
[等倍／拡大]		等倍／拡大の切替
ー	[登録]	キャラ電登録

■ キャラ電再生画面のボタン操作

キャラ電登録	●
アクションモードの切替	Fn＋1
アクションリストの表示	Fn＋3 ● 実行:アクションを選ぶ▶● ● 詳細の表示:アクションを選ぶ▶Fn＋1
等倍／拡大の切替	Fn＋4
アクション操作※	1～9、Fn＋D
アクション中止	0

※ アクションリストの番号に対応したアクションを実行します。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
▶[フォルダ新規作成] ☞P.376
▶[フォルダ名編集] ☞P.377
▶[フォルダセキュリティ] ☞P.377
[削除] ☞P.377
[キャラ電表示設定]
▶[表示切替] ☞P.341
▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
● 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

■ キャラ電一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]
▶[タイトル編集] ☞P.377
▶[情報表示] ☞P.379
[削除] ☞P.379
[分類登録] ☞P.378

[キャラ電登録]
▶[テレビ電話代替画像]
▶[電話帳代替画像]▶保存方法を選ぶ▶電話帳に登録
[フォルダ間移動] ☞P.378
[キャラ電発信]
▶[電話帳検索]▶相手を選ぶ▶[テレビ電話]
▶[直接入力]▶電話番号を入力▶[テレビ電話]
[キャラ電表示設定]
▶[表示切替] ☞P.341
▶[ソート] ☞P.378
▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
● 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

■ キャラ電再生画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、キャラ電一覧画面のサブメニュー操作(☞P.359)を参照してください。
■ キャラ電登録　■ キャラ電発信

[タイトル編集] ☞P.377
[1件削除] ☞P.379
[情報表示] ☞P.379
[キャラ電切替] ☞P.77
[アクション切替] ☞P.77
[アクション一覧] ☞P.77
[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
● 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

マチキャラ

マチキャラを表示する

● マチキャラの設定については☞P.109

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[マチキャラ]

2 マチキャラを選ぶ

● 全画面表示:画像をタッチ

● ダウンロードの途中で保存したマチキャラを選ぶと、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選ぶとダウンロードできます。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
▶[フォルダ新規作成] ☞P.376
▶[フォルダ名編集] ☞P.377
▶[フォルダセキュリティ] ☞P.377
[削除] ☞P.377
[表示切替] ☞P.341
[microSDへ移動] ☞P.369
[本体⇔microSD切替]

■ マチキャラ一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]
▶[タイトル編集] ☞P.377
▶[情報表示] ☞P.379
[削除] ☞P.379
[分類登録] ☞P.378
[マチキャラ設定] ☞P.361
[移動]
▶[フォルダ間移動] ☞P.378
▶[microSDへ移動] ☞P.370
[マチキャラ表示設定]
▶[表示切替] ☞P.341
▶[ソート] ☞P.378

[一括情報リセット] ▶ [はい]
● マチキャラの設定経過時間や積算通話時間、受信／送信メール数などの情報をリセットします。

[本体⇔microSD切替]

マチキャラを設定する<マチキャラ設定>

1 カスタムメニューで[データBOX] ▶ [マチキャラ]

2 マチキャラにカーソルを合わせる ▶ [サブメニュー] ▶ [マチキャラ設定]

- マチキャラにカーソルを合わせて[ON／OFF]をタッチしても操作できます。

3 設定を選ぶ

● microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のマチキャラは、直接設定することはできません。FOMA端末に移動してから設定してください。
● 解除するときは、設定しているマチキャラにカーソルを合わせて操作してください。

メロディプレーヤー

メロディを再生する

データBOXのメロディに保存されたメロディを再生できます。
● 着信バイブレータ（☞P.97）を[メロディ連動]に設定すると、メロディ再生時にもバイブレータが動作します。

1 カスタムメニューで[データBOX] ▶ [メロディ]

2 メロディを選ぶ

- 停止：[CLR]

メロディ再生画面

● メロディによっては、再生できないものがあります。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]	
▶ [フォルダ新規作成]	☞P.376
▶ [フォルダ名編集]	☞P.377
▶ [フォルダセキュリティ]	☞P.377
[削除]	☞P.377
[microSDへ移動]	☞P.369
[microSDへ全件コピー]	☞P.368
[データ送信]	
▶ [赤外線送信]	☞P.384
[メロディ設定]	
▶ [表示切替]	☞P.341
▶ [音量設定] ▶ 音量バーをタッチしたまま上下にスライド ▶ [決定]	
▶ [連続再生]	☞P.362
[本体⇔microSD切替]	

■ メロディ一覧画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作（☞P.361）を参照してください。
■ データ送信（赤外線送信）　■ メロディ設定（表示切替、音量設定）
■ 本体⇔microSD切替

[編集・情報表示]	
▶ [タイトル編集]	☞P.377
▶ [ファイル名編集]	☞P.377
▶ [情報表示]	☞P.379
[削除]	☞P.379
[分類登録]	☞P.378
[音設定]	☞P.363

[移動／コピー]
▶[フォルダ間移動] ☞P.378
▶[microSDへ移動] ☞P.370
▶[microSDへコピー] ☞P.368
▶[お預かりセンターに保存] ☞P.131
[データ送信]
▶[ｉＣ送信] ☞P.386
[メロディ設定]
▶[開始位置選択]▶再生部分を選ぶ
▶[ソート] ☞P.378

[開始位置選択]について
- ポイント再生で再生される部分はあらかじめ指定されています。また、[ポイント再生]に設定しても、開始位置が指定されていないメロディのときはフルコーラス再生されます。

■ メロディ再生画面のサブメニュー操作
- 次の機能については、メロディ一覧画面のサブメニュー操作(☞P.361)を参照してください。
  ■ 編集･情報表示　■ 音設定

[1件削除] ☞P.379
[移動／コピー]
▶[1件移動] ☞P.378
▶[microSDへ1件移動] ☞P.370
▶[microSDへ1件コピー] ☞P.369
▶[お預かりセンターに保存]
- 以降の操作については☞P.131「データを選んでお預かりセンターに保存する」の操作3へ

[データ送信]
▶[赤外線送信] ☞P.384
▶[ｉＣ送信] ☞P.386

[メロディ設定]
▶[イコライザ設定]▶種類を選ぶ
▶[ステレオ効果設定] ☞P.362

3Dサウンド／サラウンドを設定する <ステレオ効果設定>

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[メロディ]

2 メロディを選ぶ

3 [サブメニュー]▶[メロディ設定]▶[ステレオ効果設定]
- [3D･ステレオ]をタッチしても操作できます。

4 効果を選ぶ
- 効果については☞P.96

メロディを連続して再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のメロディを連続して再生できます。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[メロディ]

2 フォルダにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[メロディ設定]▶[連続再生]
- 次のメロディを再生：左にすばやくスライド
- メロディの先頭に戻る：右にすばやくスライド
- 前のメロディを再生：メロディの先頭で右にすばやくスライド

メロディを添付してｉモードメールを送信する

- ファイルの添付については☞P.143

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[メロディ]

2 メロディにカーソルを合わせる▶[メール]

3 メールを作成･送信

データ管理

- 相手の機種がFOMA SH900iより前に発売された機種のときは、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- 次のメロディには、一部ｉモードメールに添付できないものがあります。
  - ■ ファイル形式がMFiのメロディ
  - ■ メールに添付されたメロディ
  - ■ ｉモードでダウンロードしたメロディ
  - ■ ｉアプリから取得したファイル形式がSMFのメロディで、ファイル制限ありのもの

メロディを着信音などに設定する<音設定>

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[メロディ]

2 メロディにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[音設定]

- メロディにカーソルを合わせて[音設定]をタッチしても操作できます。

3 項目を選ぶ

microSDカードについて

FOMA端末内の電話帳やメール、Bookmarkなどのデータをmicro SDカードに保存したり、microSDカード内のデータをFOMA端末に取り込むことができます。
microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。
microSDカードおよびmicroSDカードアダプタをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

- SH-03Bでは市販の２Gバイトまでのmicro SDカード、16Gバイトまでのmicro SDHCカードに対応しています（2010年１月現在）。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については次のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ■ ｉモードから[SH-MODE]（2010年１月現在）
    [ｉMenu]▶[メニューリスト]▶[ケータイ電話メーカー]▶[SH-MODE]
  - ■ パソコンから
    http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-03b/

サイト接続用QRコード

なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の電源を入れたままの状態でmicroSDカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- 利用できるファイルのサイズは、１ファイル２Gバイトまでです。
- ワンセグの録画サイズは、１ファイル２Gバイトまでです。
- サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、ｉモーション、メロディ、着うたフル®、きせかえツール、電子書籍／電子辞書／電子コミック、マチキャラ、画面メモ、ビデオ、Music&Videoチャネルで配信された番組をmicroSDカードに移動できます。ただし、IP（情報サービス提供者）が許可していないときは保存できません。
- FOMA端末にmicroSDカードを挿入した直後（FOMA端末で使用するための情報を書き込み中）や、microSDカード内のデータ編集中に、microSDカードを取り外したり、電源を切らないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- フォーマット（初期化）されていないmicroSDカードを使うときは、FOMA端末でフォーマットする必要があります（☞P.374）。パソコンなどでフォーマットしたmicroSDカードは、FOMA端末では正常に使用できないことがあります。
- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できないことがあります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- 他のFOMA端末やパソコンなどで使用していたmicroSDカードを挿入したときは、使用できないことがあります。不要なデータを削除してから、再度挿入してください。

- microSDカードに保存されたデータはバックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの取り付け／取り外し

microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

■ microSDカードを挿入する

- microSDカードを挿入すると次のマークが表示されます。

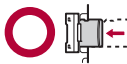
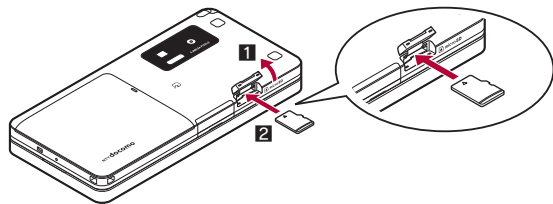
マークの意味

マーク	意味
(白色)	microSDカードを利用できます。
(赤色)	データの読み込み／書き込み中です。
	microSDカードを認識できません。

・[ ]が表示された場合は、microSDカードを再度挿入してください。それでも[ ]が表示されるときは、FOMA端末でmicroSDカードをフォーマットしてください。

1 microSDカードスロットカバーを開いて引き出す(1)

2 microSDカードの金属端子面を下に向けてゆっくりと挿入する(2)

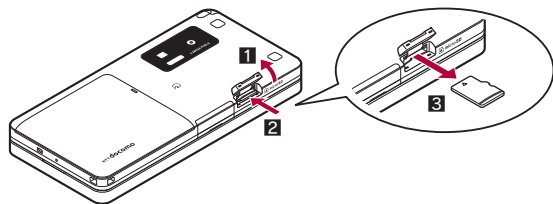
- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。
- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。

3 microSDカードスロットカバーを閉じる

■ microSDカードを取り外す

1 microSDカードスロットカバーを開いて引き出す(1)

2 microSDカードを軽く押し込む(2)

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、FOMA端末やmicroSDカードを破損させるおそれがあります。

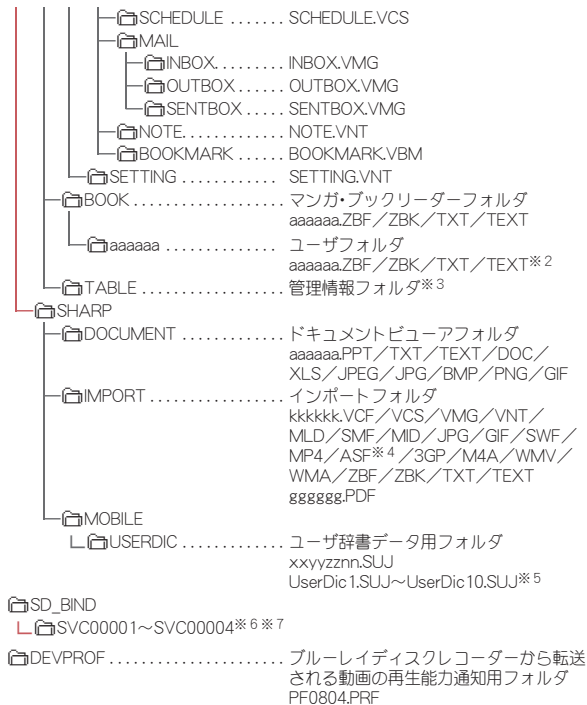
3 microSDカードを取り外す(3)

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。取り外したあと、microSDカードスロットカバーを閉じます。

- microSDカードスロットを顔の方に向けて、挿入したり、取り外したりしないでください。急に指を離すとmicroSDカードが飛び出し危険です。
- 電源を入れた状態で、microSDカードを取り付けたり、取り外したときには、警告音が鳴ります。

microSDカードのフォルダ構成

microSDカード内のフォルダ構成と、各フォルダに格納されるデータのファイル名などは次のとおりです。

- パソコンなどからmicroSDカードにデータを書き込むときも、次のフォルダ構成、ファイル名にする必要があります。
- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。
  - ■ aaaaaa：2バイト文字を含む64文字以下
    - ・¥（円記号）、/（スラッシュ）、:（コロン）、*（アスタリスク）、?（クエスチョンマーク）、"（ツーダッシュ）、<（中括弧）、>（中括弧）、|（垂直バー）を除く
  - ■ bbb：100～999の3桁の半角数字（000～099に変更しても認識されません）
  - ■ cccc：0001～9999の4桁の半角数字
  - ■ ddddd：00001～65535の5桁の半角数字
  - ■ eee：001～FFFの3文字の半角英数字（16進数）
  - ■ fff：001～999の3桁の半角数字
  - ■ gggggg：2バイト文字を含め60バイト以下（拡張子を除く）
  - ■ hhh：3文字以内の半角英数字
  - ■ jjjjjjj：2バイト文字を含め8バイト以下（拡張子を除く）
  - ■ kkkkkk：2バイト文字を含め228文字以下（拡張子を除く）
  - ■ xxyyzznn：半角数字で、xxは年、yyは月、zzは日、nnは00～99

```
DCIM ........................ 静止画フォルダ
├bbbSHARP.................. 撮影静止画用フォルダ
│                            DVC0cccc.JPG／GIF
└bbbSH_UF .................. ユーザフォルダ
                             DVC0cccc.JPG／GIF
SD_PIM ...................... PIMデータ用フォルダ（電話帳、スケ
                             ジュール、メール、テキストメモ、
                             Bookmark）
                             PIMddddd.VCF／VCS／VMG／VNT／
                             VBM
SD_VIDEO..................... 動画フォルダ
├PRLeee.................... 撮影動画用フォルダ
│                            MOLeee.MP4／ASF／3GP／SDV
├MGR_INFO.................. ビデオ管理情報用フォルダ
└PRGeee.................... ビデオ、ブルーレイディスクレコーダー
                             から転送した動画用フォルダ
                             PRGeee.PGI
                             MOVeee.TOD／SB1／S41／MAI／MOI
PRIVATE
└DOCOMO
  ├DOCUMENT
  │└PUDfff.................. PDF対応ビューアフォルダ
  │                          gggggg.PDF／$DF／DDF
  │                          PDFDCfff.PDF／$DF／DDF
  ├MMFILE................... ボイスメモ、iモーション（AAC形式の
  │└MUDfff                   音楽データを含む※1）、WMAファイル
  │                          用フォルダ
  │                          MMFcccc.MP4／ASF／3GP／SDV／
  │                          M4A
  ├RINGER .................. メロディファイル用フォルダ
  │└RUDfff                   RINGcccc.MLD／SMF／MID
  ├STILL ................... その他画像ファイル用フォルダ
  │└SUDfff                   STILcccc.JPG／GIF／SWF
  ├TORUCA................... トルカフォルダ
  │└TRCfff                   TORUCfff.TRC
  ├LCSCLIENT................ 現在地通知先ファイル用フォルダ
  │└LSCfff                   LSCDCfff.LSC
  ├DECOIMG ................. デコメ®絵文字用フォルダ
  │└DUDfff                   DIMGcccc.JPG／GIF
  ├OTHER.................... その他ファイル用フォルダ
  │└OUDfff                   OTHERfff.hhh
  │                          jjjjjjj.hhh
  ├DECO_A_T................. デコメアニメ®テンプレート用フォルダ
  │                          DEATcccc.VGT
  ├BACKUP .................. バックアップ用フォルダ
  │├SD_PIM
  ││├ADDRESS ........ ADDRESS.VCF
```

※1 格納できるデータの種類については☞P.349

※2 ユーザフォルダ名とファイル名（拡張子を除く）合わせて228バイト以下

※3 ［TABLE］フォルダの下には［DCIM］、［MMFILE］、［RINGER］、［LCSCLIENT］、［STILL］、［SD_VIDEO］、［DOCUMENT］、［TORUCA］、［DECOIMG］、［OTHER］、［DECO_A_T］それぞれについて、付加情報を格納するフォルダがあります。

※4 ASFのファイル形式については、iモーションとムービーの2種類があります。
- ■ iモーションのファイル形式については☞P.349
- ■ ムービーのファイル形式については☞P.204

※5 各ダウンロード辞書ごとにダウンロード辞書データが作成されます。

※6 移行可能コンテンツ、iアプリデータ、着うたフル®、電子コミック、Music&Videoチャネル、画面メモから取得した番組をmicroSDカードに保存した際、［SVC00001］から順にフォルダが作成されます。

※7 次の場合は、［移行可能コンテンツ］フォルダ内のデータを参照できなくなることがあります。そのときは、microSDカードをSH-03Bでフォーマット（☞P.374）することをおすすめします。なお、microSDカードをフォーマットすると、［移行可能コンテンツ］フォルダ内のデータを含むすべてのデータが消去されますのでご注意ください。
- ■ ［移行可能コンテンツ］フォルダ内（［SD_BIND］フォルダ内）のデータをパソコンで削除・移動・編集したとき
- ■ データを移動・削除・保存中にmicroSDカードや電池パックを抜いたりしたとき

- パソコンでmicroSDカードにデータを保存しようとしたときに該当するフォルダがないときは、フォルダ構成に従ってフォルダを作成してからデータを保存してください。
  インポートフォルダについては、microSDカードをFOMA端末に挿入するか、FOMA端末でフォーマットすると自動的に作成されます。
- GIFアニメーションファイルは［STILL］フォルダに入り、それ以外のGIFファイル（デコメ®絵文字を除く）は［DCIM］フォルダに入ります。
- Flash画像は［STILL］フォルダに入ります。
- パソコンでフォルダ名の変更や削除をすると、FOMA端末でmicroSDカードのデータを正しく表示できなくなります。
- FOMA SH901iSより前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥DOCUMENTフォルダにPDFデータを保存しているときは、¥PRIVATE¥DOCOMO¥DOCUMENT¥PUDxxxフォルダに移動する必要があります。移動してからmicroSDカードの管理情報を更新してください。

- FOMA SH902i以前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥VOICEフォルダに音のみのｉモーション（AAC形式の音楽データを含む）を保存しているときは、¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILEフォルダに移動する必要があります。移動してからmicroSDカードの管理情報を更新してください。
- SH-01Aより前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥BOOKフォルダに電子書籍などを保存しているときは、マンガ・ブックリーダーの表示フォルダ切替で[マンガ・ブックリーダー２]を選択すると表示できます。

■ microSDカードの保存件数

- 保存するデータの大きさや、microSDカードの容量によっては、件数が少なくなることがあります。

機　能	件　数
電話帳、スケジュール、テキストメモ、Bookmark、ｉモードメール／SMS／エリアメール	合わせて最大65535件
静止画	999フォルダ※／１フォルダ最大1000件
ｉモーション	999フォルダ／１フォルダ最大1000件
画面メモ	最大1000件
Music&Videoチャネル	最大999件
メロディ	999フォルダ／１フォルダ最大1000件
PDF	999フォルダ／１フォルダ最大999件
きせかえツール	999フォルダ／１フォルダ最大1000件
マチキャラ	999フォルダ／１フォルダ最大1000件
トルカ	999フォルダ／１フォルダ最大999件
現在地通知先	999フォルダ／１フォルダ最大999件
デコメアニメ®テンプレート	最大400件

※ カメラフォルダ（静止画）の最大作成可能件数は900件です。

- ワンセグの保存件数については☞P.257
- ミュージックプレーヤーの保存件数については☞P.272
- マンガ・ブックリーダーの保存件数については☞P.392

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータをコピーする

- コピーできるのは次のデータです。
  - ■ 電話帳　■ スケジュール　■ テキストメモ
  - ■ Bookmark　■ ｉモードメール／SMS／エリアメール
  - ■ 画像　■ ｉモーション　■ メロディ
  - ■ PDF　■ トルカ
  - ■ 電子書籍／電子辞書／電子コミック　■ 現在地通知先
  - ■ デコメアニメ®テンプレート
  - ■ ビデオ（FOMA端末→microSDカードのみ）

- microSDカードにデータをコピーすると、管理情報もmicroSDカードに書き込まれます。
- ファイル制限のあるデータはmicroSDカードにコピーできません。
- データのサイズやmicroSDカードのメモリ使用状況によっては、microSDカードにコピーできないことがあります。
- メロディは100Kバイト、Flash画像は500Kバイト、JPEG画像は10Mバイト、GIF画像は２Mバイト、PDFデータは２Mバイト、ｉモーションは10MバイトまでFOMA端末にコピーできます。
- microSDカードにバックアップ（☞P.370）されたデータの場合、詳細画面を表示させると、そのデータに限りFOMA端末へコピーすることができます。

電話帳について

- microSDカードにコピーすると、名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの登録場所が変わることがあります。
- 次の情報はmicroSDカードにコピーされません。
  - ■ メモリ番号　■ グループ設定　■ シークレット設定
  - ■ シークレットコード　■ 着信音設定　■ 着信ランプ設定
  - ■ 代替画像設定　■ 電話帳2in1設定
  - ■ ピクチャーコールに設定したｉモーション
- 名前が未登録のデータがFOMA端末にコピーされたときは[No Name]と表示されます。

スケジュールについて

- 次の情報はmicroSDカードにコピーされません。
  - ■ アラーム時刻以外のアラーム情報　■ 画像設定
  - ■ 連絡先　■ シークレット設定　■ 視聴予約、録画予約
  - ■ 祝日設定　■ 誕生日データ
- 終了日時が入力されていないデータをmicroSDカードにコピーすると、終了日時に開始日時が設定されます。
- FOMA端末にコピーする場合、同じデータを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。[上書き]／[追加]を選択します。

Bookmarkについて

- フォルダ情報はmicroSDカードにコピーされません。
- FOMA端末に選択コピー／全件コピーを行ったときは、FOMA端末のBookmarkが最大件数まで保存されると、それ以降のBookmarkはコピーされません。

メールについて

- 1件あたり最大100Kバイトを超えるメールは、添付ファイルが削除されてmicroSDカードにコピーされます。
- フォルダ情報はmicroSDカードにコピーされません。
- microSDカードにコピーしたメールは保護設定できません。

画像について

- JPEG画像をmicroSDカードにコピーすると、画像のファイルサイズが変わることがあります。このとき、microSDカード側で表示されるサイズが実際のファイルサイズになります。
- フレーム画像はmicroSDカードにコピーされません。

PDFについて

- PDFデータは2MバイトまでmicroSDカードにコピーできます。
- ダウンロードに失敗したPDFデータはmicroSDカードにコピーできないことがあります。

トルカについて

- microSDカードにコピーする場合、ファイル制限のある画像を含むトルカは詳細を除いてコピーする旨のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[確認]を選択します。

電子書籍／電子辞書／電子コミックについて

- 横表示のときはコピーできません。縦表示に切り替えてからコピーしてください。

ビデオについて

- ダビング10に対応している番組のビデオは9回目までmicroSDカードにコピーできます。10回目は移動されます。ダビング10に対応していない場合はコピーされず、移動されます。コピーできない場合、ビデオは移動されFOMA端末から削除される旨のメッセージが表示されます。[はい]を選択すると移動します。

フォルダ一覧画面でデータをコピーする
<microSDへ全件コピー／本体へ全件コピー>

例：iモーションのとき

1 **カスタムメニューで[データBOX]▶[iモーション／ムービー](▶[→microSD])※**

※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 **[サブメニュー]▶[microSDへ全件コピー]／[本体へ全件コピー]▶端末暗証番号を入力▶[OK]**

3 **コピー先フォルダにカーソルを合わせる▶[確定]▶[はい]**

データ一覧画面でデータをコピーする
<microSDへコピー／本体へコピー>

例：iモーションのとき

1 **カスタムメニューで[データBOX]▶[iモーション／ムービー](▶[→microSD])※**

※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 **iモーションにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[移動／コピー]▶[microSDへコピー]／[本体へコピー]**

3 コピー方法を選ぶ

- ◆ [1件コピー] ▶ コピー先フォルダにカーソルを合わせる ▶ [確定]
- ◆ [選択コピー] ▶ iモーションを選ぶ ▶ [確定] ▶ コピー先フォルダにカーソルを合わせる ▶ [確定] ▶ [はい]
- ◆ [フォルダ内全件コピー] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ [OK] ▶ コピー先フォルダにカーソルを合わせる ▶ [確定] ▶ [はい]

内容表示画面でデータをコピーする
<microSDへ1件コピー/本体へ1件コピー>

例:iモーションのとき

1 カスタムメニューで[データBOX] ▶ [iモーション/ムービー](▶ [→microSD])※

※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 iモーションを選ぶ ▶ [サブメニュー] ▶ [移動/コピー] ▶ [microSDへ1件コピー]/[本体へ1件コピー]

3 コピー先フォルダにカーソルを合わせる ▶ [確定]

コンテンツ移行対応

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータを移動する

サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているデータを、FOMA端末とmicroSDカードの間で移動できます。また、録画したビデオをmicroSDカードに移動することができます。

- 移動できるのは次のデータです。
  - ■ 画像
  - ■ iモーション
  - ■ メロディ
  - ■ 着うたフル®
  - ■ きせかえツール
  - ■ マチキャラ
  - ■ 電子書籍/電子辞書/電子コミック
  - ■ Music&Videoチャネル
  - ■ 画面メモ
  - ■ ビデオ(FOMA端末→microSDカードのみ)※

※ データによっては、microSDカードに9回目までコピーされ、10回目には移動されます。コピー方法については☞P.368

- 移動の可否やビデオの残りのコピー回数についてはデータの[情報表示]から確認できます(☞P.379)。
- FOMA端末で撮影した画像など、著作権のないデータは移動できません。ただし、コピーすることはできます。

- microSDカードに移動したデータをFOMA端末へ移動できるのは、次の場合です。
  - ■ データの詳細情報でFOMA端末への移動が[可]の場合に、データ取得時と同じFOMAカードを挿入しているとき
  - ■ データの詳細情報でFOMA端末への移動が[可(同一機種間)]の場合に、データ取得時と同じ機種に同じFOMAカードを挿入しているとき

着うたフル®について

- ファイル種別から[iモード(本体)]または[iモード(microSD)]を選択しているときのみ、選択移動と全件移動できます。
- プレイリストに登録している着うたフル®を移動すると、プレイリストから再生できなくなります。

電子書籍/電子辞書/電子コミックについて

- 横表示のときは移動できません。縦表示に切り替えてから移動してください。

フォルダ一覧画面でデータを移動する
<microSDへ移動/本体へ移動>

例:iモーションのとき

1 カスタムメニューで[データBOX] ▶ [iモーション/ムービー](▶ [→microSD] ▶ [移行可能コンテンツ]フォルダにカーソルを合わせる)※

※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 [サブメニュー] ▶ [microSDへ移動]/[本体へ移動]

3 [全件移動] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ [OK] ▶ [はい]

- 移動先フォルダを指定するとき:[移動先選択] ▶ 移動先フォルダにカーソルを合わせる ▶ [確定]

データ一覧画面でデータを移動する
＜microSDへ移動／本体へ移動＞

例：ｉモーションのとき

1 **カスタムメニューで[データBOX]▶[ｉモーション／ムービー]（▶[→microSD]▶[移行可能コンテンツ]フォルダ）※**

※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 **ｉモーションにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[移動／コピー]▶[microSDへ移動]／[本体へ移動]**

3 **移動方法を選ぶ**

- ◆ **[1件移動]**
- ◆ **[選択移動]▶ｉモーションを選ぶ▶[確定]▶[はい]**
- ◆ **[フォルダ内全件移動]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]**
- 移動先フォルダを指定するとき：[移動先選択]▶移動先フォルダにカーソルを合わせる▶[確定]

内容表示画面でデータを移動する
＜microSDへ１件移動／本体へ１件移動＞

例：ｉモーションのとき

1 **カスタムメニューで[データBOX]▶[ｉモーション／ムービー]（▶[→microSD]▶[移行可能コンテンツ]フォルダ）※**

※ 保存場所がmicroSDカードのとき

2 **ｉモーションを選ぶ▶[サブメニュー Sub Menu]▶[移動／コピー]▶[microSDへ１件移動]／[本体へ１件移動]**

一括バックアップ／復元

FOMA端末のデータを一括してバックアップ／復元する

各機能のデータと設定情報が、一括してバックアップ／復元されます。

- 次のデータがバックアップ／復元されます。
  - ■ 電話帳　■ メール　■ スケジュール
  - ■ Bookmark　■ テキストメモ
- 次の設定がバックアップ／復元されます。
  - ■ メールの振分け条件設定
  - ■ 署名登録
  - ■ 受信・自動送信表示
  - ■ 添付ファイル受信設定
  - ■ エリアメール設定
  - ■ メール送受信履歴
  - ■ 電話帳指定着信許可
  - ■ 非通知理由別着信拒否
  - ■ 伝言応答時間
  - ■ ユーザ辞書
  - ■ アラーム
  - ■ メール表示画面の文字サイズ設定
  - ■ メール選択受信設定
  - ■ メッセージ自動表示設定
  - ■ メロディ自動再生
  - ■ ｉモード問い合わせ設定
  - ■ 電話帳登録外着信拒否
  - ■ 電話帳指定着信拒否
  - ■ 伝言メモ設定
  - ■ リダイヤル／着信履歴
  - ■ 学習された文字変換候補

FOMA端末→microSDカードに一括してバックアップする＜microSDへバックアップ＞

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[一括バックアップ／復元]▶[microSDへバックアップ]**

2 **端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]**

- バックアップデータは前回のデータに上書き保存されます。
- バックアップの対象となるデータがFOMA端末に保存されていない場合は、バックアップを実行できません。
- バックアップを中止した場合は復元できません。再度バックアップをやり直してください。

- microSDカードの空き容量が不足している場合は、一部のデータがバックアップされません。不要なデータを削除して空き容量を増やすか、空き容量が十分あるmicroSDカードを挿入してからバックアップをやり直してください。
- バックアップ中は他の機能を起動できません。
- バックアップには時間がかかることがあります。
- メールやBookmarkは、フォルダ情報もバックアップされます。

電話帳について

- 所有者情報が電話帳としてバックアップされます。
- 名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの登録場所が変わることがあります。
- 電話帳2in1設定もバックアップされます。
- 次の情報はバックアップされません。
  - ■ シークレットコード　■ 着信音設定　■ 着信ランプ設定
  - ■ 代替画像設定　■ FOMAカード内の電話帳
  - ■ グループ名以外のグループ設定
  - ■ 再配布不可の画像ファイル

スケジュールについて

- 次の情報はバックアップされません。
  - ■ アラーム時刻以外のアラーム情報　■ 画像設定　■ 連絡先
  - ■ 視聴予約、録画予約　■ 祝日設定　■ 誕生日データ
- 終了日時が入力されていないデータをバックアップすると、終了日時に開始日時が設定されます。

メールについて

- 次の情報はバックアップされません。
  - ■ ｉアプリTo　■ 再配布不可の添付ファイル
  - ■ FOMAカード内のSMS　■ Bアドレス設定の署名
  - ■ シークレットメール設定　■ フォルダシークレット

microSDカード→FOMA端末に一括バックアップデータを読み込む<本体へ復元>

- 復元すると、電話帳、メール、スケジュール、Bookmark、テキストメモのすべてのデータと設定情報が、バックアップデータにより上書きされます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[一括バックアップ／復元]▶[本体へ復元]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

- 復元を実行すると、セルフモード（☞P.121）になります。セルフモード中は電話着信やメール受信などが利用できません。

- バックアップデータがmicroSDカードに保存されていない場合は、復元を実行できません。
- 本FOMA端末以外で復元すると、バックアップされたデータや設定情報が復元されない場合があります。
- 復元を中止した場合は、一部のデータが復元されません。再度復元をやり直してください。
- FOMA端末のメモリの空き容量が不足している場合は、一部のデータが復元されません。
- データが存在しない状態でバックアップされた機能は、復元するとバックアップ後に保存したデータがすべて削除されます。
- 復元中は他の機能を起動できません。

電話帳について

- ピクチャーコールに設定した画像も復元されます。ただし、ｉモーションは、復元されません。

メールについて

- メールは、転送に時間がかかることがあります。

設定情報について

- 設定情報を復元した場合は設定情報の結果が表示されます。

一括バックアップデータを確認する<バックアップデータ参照>

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[一括バックアップ／復元]▶[バックアップデータ参照]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]

3 データ種別を選ぶ

- 情報の確認：データ種別にカーソルを合わせる▶[情報表示]

データ管理

4 バックアップデータを選ぶ

- バックアップデータ詳細画面のサブメニューから、FOMA端末へコピーなどの操作ができます。
- バックアップされた設定情報の確認や、FOMA端末へのコピーはできません。

Bookmarkについて

- ｉモードのBookmarkには[ ]、フルブラウザのBookmarkには[ ]が表示されます。

一括バックアップデータを削除する<削除>

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[一括バックアップ／復元]▶[バックアップデータ参照]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]

3 削除方法を選ぶ

- データ種別ごとに削除：データ種別にカーソルを合わせる▶[削除]▶[はい]
- 全件削除：[全件削除]▶[はい]

個別バックアップ／復元

FOMA端末のデータをデータ種別ごとにバックアップ／復元する

FOMA端末→microSDカードにバックアップする <microSDへバックアップ>

次の各機能のデータと辞書データを、microSDカードにバックアップデータとして保存できます。

■ 電話帳　■ メール　■ スケジュール
■ Bookmark　■ テキストメモ

- バックアップデータには、バックアップした日付・時刻を含む名前が付けられます。あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください（☞P.55）。

例：2010年５月18日午後１時５分にバックアップ→[datagr100518_1305]

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[個別バックアップ／復元]▶[microSDへバックアップ]

2 データ種別を選ぶ

3 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

- 電池残量が少ないときはバックアップできません。
- バックアップされたデータは、他のFOMA端末で読み込んでも利用できないことがあります。
- 辞書データは、ユーザ辞書とダウンロード辞書変換した辞書が保存されます。ユーザ辞書は１ファイルで、ダウンロード辞書変換した辞書は辞書ごとに１ファイルで保存されます。それ以外のデータは、機能ごとに１ファイルで保存します。

電話帳について

- 名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの登録場所が変わることがあります。
- 電話帳2in1設定もバックアップされます。
- 次の情報はバックアップされません。
  ■ シークレットコード　■ 着信音設定　■ 着信ランプ設定
  ■ 代替画像設定　■ FOMAカード内の電話帳
  ■ グループ名以外のグループ設定
  ■ 再配布不可の画像ファイル
- 電話帳をバックアップするときは、所有者情報の保存確認画面が表示されます。2in1のモードを[Bモード]に設定していても、Aナンバーの所有者情報がバックアップされます。

スケジュールについて

- 次の情報はバックアップされません。
  ■ アラーム時刻以外のアラーム情報　■ 画像設定　■ 連絡先
  ■ 視聴予約、録画予約　■ 祝日設定　■ 誕生日データ
- 終了日時が入力されていないデータをバックアップすると、終了日時に開始日時が設定されます。

メールについて
- 次の情報はバックアップされません。
  - ■ ｉアプリTo　■ 再配布不可の添付ファイル
  - ■ FOMAカード内のSMS

辞書データについて
- 前回バックアップした辞書データがある場合、ユーザ辞書は新規ファイルとして追加保存されます。ダウンロード辞書変換した辞書は前回のバックアップデータをすべて消去してから保存されます。

microSDカード→FOMA端末にバックアップデータを読み込む<本体へ復元>

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[個別バックアップ／復元]▶[本体へ復元]**

2 **データ種別を選ぶ**

3 **バックアップデータを選ぶ**

4 **端末暗証番号を入力▶[OK]**

5 **読み込み方法を選ぶ**
- ◆ [上書き]▶[はい]
- ◆ [追加]

- 電池残量が少ないときは復元できません。
- バックアップデータ一覧画面のサブメニューから、削除などの操作ができます。

電話帳について
- ピクチャーコールに設定した画像も復元されます。ただし、ｉモーションは、復元されません。
- バックアップデータを上書きする場合、電話帳のグループ名も上書きされ、上書き対象でないグループ設定は初期化されます。
- 所有者情報を含む電話帳のバックアップデータを復元するときは、操作5を行うと所有者情報を復元するかどうかの確認画面が表示されます。
  [はい]を選択すると、ご契約の電話番号を除いて上書きされます。
  [いいえ]を選択すると、所有者情報を1件の電話帳として登録します。
- 電話帳のバックアップデータ復元時に登録件数が1000件に達したときは、それ以降の電話帳は復元されません。

Bookmarkについて
- SH-01Aより前に発売された機種でバックアップしたデータは、フォルダ情報がバックアップされていないため、復元したBookmarkは[Bookmark]フォルダに保存されます。

メールについて
- SH-01Aより前に発売された機種でバックアップしたデータは、フォルダ情報がバックアップされていないため、復元した受信メールは[受信トレイ]に、送信メールは[送信トレイ]に、未送信メールは[未送信トレイ]に保存されます。
- メールは、転送に時間がかかることがあります。

辞書データについて
- ユーザ辞書は上書きされ、ダウンロード辞書変換した辞書は追加保存されます。

microSDデータ参照

microSDカードのデータをプレビューする

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[microSDデータ参照]**

2 **データを選ぶ**

- microSDデータ詳細画面やmicroSDデーター覧画面のサブメニューから、FOMA端末へコピーなどの操作ができます。

microSDカードの管理について

microSDカードをフォーマットする<フォーマット>

- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[フォーマット]**

2 **端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]**

- 電池残量が少ないときはフォーマットできません。
- 実行中はmicroSDカードを抜かないでください。
- フォーマットを中止すると、microSDカードがFOMA端末やパソコンなどで認識されなくなります。認識されなくなったときは、フォーマットをやり直してください。
- microSDカードの種類によっては、著作権保護機能に対応していないため、フォーマットできないことがあります。microSDカードを挿入し直すとご使用いただけることもありますが、そのmicroSDカードはFOMAサポート対象となっていないため、データの保存やコピーなどの保証はいたしかねます。
- microSDカードの製造メーカや容量などについては☞P.363

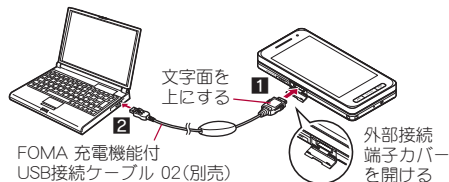
microSDリーダーライターとして使う<USBモード設定>

FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）でパソコンに接続して利用するときのモードには、次のモードがあります。microSDリーダーライターとして使う場合は、[microSDモード]で接続してください。

通信モード	パケット通信、64Kデータ通信、データの送受信（OBEX™通信）をするときのモードです（☞P.472）。
microSDモード	microSDカードのデータを読み込み／書き込みするときのモードです。
MTPモード	Windows Media Player 11を利用してmicroSDカードに音楽データを転送するときのモードです。登録方法については☞P.273

- 通信モード動作中は、USBモード設定の変更はできません。

1 **FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のFOMA端末側コネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む（1）**

2 **FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のパソコン側コネクタをパソコンのUSBコネクタに差し込む（2）**

3 **待受画面でストックアイコン[USB]（USBモード設定）を選ぶ**

- USBモード設定が[microSDモード]／[MTPモード]の場合は、ストックアイコンが表示されずmicroSDモード／MTPモードで接続されます。

4 **[microSDモード]▶[はい]**

通信モードに戻る

- いずれかのボタンを押す▶[はい]
  - ・USBモード設定は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外しても保持されます。

■ 利用するモードを設定する<USBモード設定>

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を接続して利用するモードを、あらかじめ設定しておくことができます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[USBモード設定]

- [設定]▶[一般設定]▶[USBモード設定]でも操作できます。

2 モードを選ぶ

- パソコンに接続中に操作した場合、[microSDモード]/[MTPモード]を選択すると、切り替え確認画面が表示されます。

- FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして利用するには、次の機器が必要です。

項　目	説　明
接続ケーブル	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02
パソコン	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02が使用できるUSBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠)が使用可能なパソコン
対応OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7(いずれも日本語版)

- パソコンに、新しいハードウェアを検索する旨の画面が表示された場合は[キャンセル]をクリックしてください。
- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていないときは、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。パソコンの電源についても確認してください。
- microSDモードへの切り替え中やmicroSDモード中はmicroSDカードを抜かないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- データの読み込み/書き込み中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

microSDカードの管理情報を更新する<管理情報の更新>

microSDカードを他の機器で利用したときは、microSDカードの管理情報を更新する必要があります。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[管理情報の更新]

2 項目を選ぶ▶[確定]▶[はい]

- 電池残量が少ないときは管理情報を更新できません。
- microSDカードの空き容量がないときは、管理情報を更新できないことがあります。
- FOMA端末で管理情報を更新しないと、microSDカードが正しく動作しないことがあります。
- microSDカード内のファイル数やデータ量によっては、管理情報の更新が完了するまで時間がかかることがあります。
- 更新中はmicroSDカードを抜かないでください。
- 更新中に次の機能はご利用になれません。
  - ■ iアプリ　■ 静止画・動画撮影　■ バーコードリーダー
  - ■ ドキュメントビューア　■ 赤外線受信
  - ■ microSDカードのメモリ確認
  - ■ 各機能からのmicroSDデータ参照

パソコンなどで作成したデータをFOMA端末で確認する<インポート>

パソコンで作成したデータなどをmicroSDカードのインポートフォルダに置くと、FOMA端末で確認できます。

- [ミュージック]を選択した場合は、microSDカードの[SD_BIND]フォルダ内の着うたフル®が表示されます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[インポート]

2 データを選ぶ

- 通常のデータ操作と同様に、サブメニューからデータの削除、コピーまたは移動、情報表示などが利用できます。
- 横4076×縦4076ドットを超えるJPEG画像、横2048×縦2048ドットを超えるGIF画像は表示できないことがあります。その場合は、サムネイル画像を表示することもあります。
- PDFデータはインポートフォルダにある状態では表示できません。FOMA端末にコピーしてから表示してください。
- ムービーはFOMA端末にコピーできません。
- 次のようなメールは、添付ファイルの一部または全部が削除されます。
  - ■ 添付ファイルの合計が100Kバイトを超えるメール
  - ■ 添付ファイルが合計11件以上添付されているメール
- インポートフォルダのデータについては、次のようなファイル名の制限があります。制限を超えているデータは表示されず、インポートできません。
  - ■ PIMデータ、静止画、iモーション、メロディは、全角・半角を問わず228文字以内(拡張子を除く)
  - ■ PDFデータは、全角・半角を問わず60バイト以内(拡張子を除く)
- ファイル名が英小文字で8文字以下のときは、インポートフォルダでは英大文字で表示・インポートされます。
- バックアップデータをインポートフォルダに入れると、データ内の最初の1件のみを表示します。
- インポートフォルダからFOMA端末にデータをコピーする場合、ファイル名に特殊な記号やカタカナが含まれているときは、コピーできないことがあります。

インポートフォルダ内のデータを一括で振り分ける <microSD一括振分け>

microSDカードのインポートフォルダに保存したデータを、一括でそれぞれのフォルダに振り分けできます。

- 振り分けできるのは、次の機能のデータです。
  - ■ メロディ　■ マイピクチャ　■ iモーション
  - ■ マイドキュメント　■ 電子書籍／電子辞書／電子コミック

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[microSD一括振分け]▶[はい]

- 一括振り分け中に振り分け先フォルダ内の件数がいっぱいになった場合、新しいフォルダを自動で作成して振り分けます。ただし、マイドキュメントと電子書籍／電子辞書／電子コミックの場合、新しいフォルダは作成されません。

各種データを管理する

データBOXや、LifeKitの各種ビューア内に保存されているデータを管理するために、フォルダの作成／削除やデータの移動／コピーなどができます。

フォルダを管理する

■ ユーザフォルダを作成する<フォルダ新規作成>

- データBOXでは、各データ種別ごとに最大20個のユーザフォルダを新規作成できます。
- マンガ・ブックリーダーでは、最大397個のユーザフォルダを作成できます。[マンガ]フォルダについては、フォルダ内にさらに最大999個のフォルダを作成することができます。

1 フォルダ一覧画面で[サブメニュー]▶[フォルダ管理]▶[フォルダ新規作成]

2 フォルダ名を入力▶[決定]

- microSDカード内にユーザフォルダを作成するとき、作成するフォルダの種類を選択できる場合があります。
- データBOX内のときは、全角9文字(半角18文字)まで入力できます。
- [移行可能コンテンツ]フォルダ内のときは、全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
- マンガ・ブックリーダー内のときは、全角・半角64文字まで入力できます。ただし、[マンガ]フォルダ内のときは、全角10文字(半角20文字)までです。

■ フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

ユーザフォルダおよび[移行可能コンテンツ]フォルダ内のフォルダ名を変更することができます。

1 **フォルダにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[フォルダ管理]▶[フォルダ名編集]**

2 **フォルダ名を編集▶[決定]**

■ ユーザフォルダにセキュリティを設定する<フォルダセキュリティ>

FOMA端末内のユーザフォルダにセキュリティを設定できます。

- ワンセグとMusic&Videoチャネル、マンガ・ブックリーダーでは、ユーザフォルダ以外でもフォルダセキュリティを設定できます。
- フォルダ内を表示するときは、端末暗証番号を入力します。
- マイピクチャ、ｉモーション／ムービーの場合、フォルダセキュリティを[ON(シークレット)]に設定すると、フォルダは表示されなくなります。シークレットモードを[ON]に設定すると表示されます(☞P.125)。
- クイック検索で内蔵辞書を利用する場合、内蔵辞書登録(☞P.416)された電子辞書はフォルダセキュリティの対象外となります。
- フォルダセキュリティを[ON]または[ON(シークレット)]に設定しても、待受画面や発着信画面などに設定されている画像は表示できます。

フォルダセキュリティ設定中のフォルダマーク

	[ON]		[ON(シークレット)]

- フォルダマークのデザインは、機能や表示切替の設定によって異なる場合があります。

1 **ユーザフォルダにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[フォルダ管理]▶[フォルダセキュリティ]**

2 **端末暗証番号を入力▶[OK]**

3 **設定を選ぶ**

■ ユーザフォルダを削除する<削除>

1 **ユーザフォルダにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[削除]**

2 **削除方法を選ぶ**

◆ **[フォルダ1件削除]**

◆ **[フォルダ選択削除]▶フォルダを選ぶ▶[確定]**

・マンガ・ブックリーダーのとき：[フォルダ選択削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶フォルダを選ぶ▶[完了]▶[はい]

◆ **[全フォルダ内全件削除]**

◆ **[全フォルダ削除]**

3 **端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]**

- フォルダ内に待受画面や着信音などの各種機能に設定されているデータが保存されているときは、フォルダ削除できません。
- マンガ・ブックリーダーの場合、横表示のときはフォルダ選択削除できません。縦表示に切り替えてから削除してください。

データを管理する

■ タイトルを編集する<タイトル編集>

- タイトル名はデータ一覧などで表示される名前です。

1 **データにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[編集・情報表示]▶[タイトル編集]**

・データによっては[タイトル編集]を選択したあと、[直接入力](または[タイトル編集])／[オリジナルタイトルに戻す]を選択します。

2 **タイトルを編集▶[決定]**

・全角25文字(半角50文字)まで入力できます。電子コミックは全角31文字(半角63文字)まで、電子書籍／電子辞書は全角・半角64文字まで、Music&Videoチャネルは全角126文字(半角253文字)まで入力できます。

■ ファイル名を編集する<ファイル名編集>

- ファイル名はデータをｉモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。

次ページへ続く▶▶

1 データにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[編集・情報表示]▶[ファイル名編集]

2 ファイル名を編集▶[決定]

- 半角36文字まで入力できます。電子書籍／電子辞書は、全角・半角64文字まで入力できます。

- 半角８文字以内のファイル名および拡張子の英字は、半角小文字が半角大文字に変わることがあります。
- [プリインストール]フォルダ内のデータなど、データによってはファイル名を編集できないものもあります。

■ データの分類情報を登録する<分類登録>

登録した分類情報でデータBOX検索ができます。また、分類が[アルバム]のものは選択した項目で表示することができます。

- ミュージック内とMusic&Videoチャネル内のデータには分類情報を登録できません。

1 データにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[分類登録]▶分類を選ぶ

2 登録方法を選ぶ

◆ [１件登録]
◆ [選択登録]▶データを選ぶ▶[確定]

3 分類を設定する

- 分類が[アルバム]／[シーン]のとき：項目を選ぶ▶[確定]
  - ・選択した項目には[☑]が表示されます。解除するときは再度タッチします。
- 分類が[お気に入り]のとき：お気に入り度を選ぶ
- 分類が[コメント]のとき：コメントを入力▶[決定]
  - ・全角14文字（半角29文字）まで入力できます。

4 [はい]

- [アルバム]と[シーン]はマイピクチャ内とｉモーション／ムービー内のデータのみ設定できます。

■ データの閲覧回数をクリアする<閲覧回数のクリア>

1 データにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[分類登録]▶[閲覧回数のクリア]

2 クリア方法を選ぶ

◆ [１件クリア]
◆ [選択クリア]▶データを選ぶ▶[確定]

3 [はい]

■ データを並べ替える<ソート>

例：マイピクチャのとき

1 データ一覧画面で[サブメニュー]▶[静止画設定]▶[ソート]

2 ソート方法を選ぶ

- microSDカード内データのファイル制限を変更すると日時情報が更新されるため、情報表示の保存日時で表示される日時と日付順でソートした結果が一致しないことがあります。

■ データを別のフォルダに移動する<フォルダ間移動>

1 データにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[移動／コピー]▶[フォルダ間移動]

2 移動方法を選ぶ

◆ [１件移動]
◆ [選択移動]▶データを選ぶ▶[確定]
◆ [フォルダ内全件移動]▶端末暗証番号を入力▶[OK]

3 移動先フォルダにカーソルを合わせる▶[確定]

- マンガ・ブックリーダーのとき：移動先フォルダを選ぶ
- 選択移動とフォルダ内全件移動の場合、移動先として[初期フォルダへ戻す]を選択できます（マンガ・ブックリーダーを除く）。データはそれぞれの取得元のフォルダに移動されます。
- データの移動中に[終話]を押すと、中止を示すメッセージが表示されますが、移動処理は中止されません。

- マイピクチャ、メロディ、マンガ・ブックリーダーの[プリインストール]フォルダ内のデータは移動できません。
- ユーザフォルダがないときは移動できません。ただし、静止画はマイピクチャの[自動お預かり]フォルダへ移動できる場合があります。
- 移動先フォルダの最大保存件数を超えるデータは移動できません。microSDカードの保存件数については☞P.367
- microSDカードの[マルチメディア]フォルダ内のデータは[カメラフォルダ]には移動できません。
- マンガ・ブックリーダーの場合、横表示のときは移動できません。縦表示に切り替えてから移動してください。
- 再配布不可のデータは[自動お預かり]フォルダへ移動できません。

■ 詳細情報を表示する<情報表示>

1 データにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[編集・情報表示]▶[情報表示]

- 表示される情報は、データによって異なります。
- サポートブックの情報は表示できません。

■ データを削除する<削除>

1 データにカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[削除]

2 削除方法を選ぶ

◆ **[1件削除]**
◆ **[選択削除]▶データを選ぶ▶[確定]**
◆ **[フォルダ内全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]**

3 [はい]

- 待受画面や着信音などの各種機能に設定されているデータは、フォルダ内全件削除で削除できません。
- マイピクチャ、メロディの[プリインストール]フォルダ内のデータや、マンガ・ブックリーダーのサポートブック、明鏡モバイル国語辞典、ジーニアスモバイル和英辞典は削除できません。
- マンガ・ブックリーダーの場合、横表示のときは選択削除できません。縦表示に切り替えてから削除してください。

- お買い上げ時に登録されているデータを削除後にもう一度ご利用になるときは、i Menu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます(☞P.133)。

データBOX内のデータを検索する<データBOX検索>

タイトル名や保存日付、分類情報などの条件を設定して、データBOX内から条件に合ったデータを検索できます。

- マイピクチャ、i モーション/ムービー、ワンセグ、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電のデータを検索できます。
- 複数の条件を設定し、絞り込み検索を行うことができます。
- 検索結果は最大5000件まで表示されます。
- microSDカード内のデータを検索するときは、microSDカードの管理情報を更新してください(☞P.375)。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[データBOX検索]

2 検索条件を設定

◆ **[タイトル]▶[検索語]▶検索文字列を入力▶[決定]**
- 全角25文字(半角50文字)まで入力できます。
- 検索履歴が最新のものから5件まで記憶されます。履歴を利用するときは[履歴1]~[履歴5]を選択します。

◆ **[保存日付]▶保存日付を選ぶ**
- [保存日付範囲指定]を選んだときは、日付範囲を入力します。

◆ **[ファイルタイプ]▶ファイルの種類を選ぶ▶[確定]**
- フレーム画像、スタンプ画像、Flash画像を検索するときは、[マイピクチャ(その他)]を選択します。

◆ **[取得元]/[アルバム]/[シーン]▶項目を選ぶ▶[確定]**
◆ **[お気に入り]▶お気に入り度を選ぶ**
◆ **[コメント]▶検索文字列を入力▶[決定]**
- 全角14文字(半角29文字)まで入力できます。

◆ **[閲覧回数]▶閲覧回数を選ぶ**
- [回数範囲指定]を選んだときは、開始/終了回数(0~999)を入力します。

- 検索条件を設定した項目には[■]が表示されます。解除するときは[サブメニュー]をタッチして[解除]を選びます。

3 検索を開始するときは[検索開始]

- 検索の中断／再開：[検索中断]／[検索再開]
- フォルダセキュリティ表示が[ON]のときは、端末暗証番号の入力が必要です。

4 検索結果を選ぶ

- 検索結果の並べ替え：[ソート]
  - 並べ替えは、検索結果画面のサブメニュー操作のソートの設定に従います。

● microSDカードの空き容量がなく管理情報が正しく更新されなかった場合、検索結果に表示されないファイルがあります。

■ フル検索設定画面のサブメニュー操作

[フル検索]

[カンタン検索] ▶ 検索条件を選ぶ ▶ [確認]
● [アルバム]を選択したときは、項目を選択して[確定]

[フォルダセキュリティ表示] ▶ 設定を選ぶ

[設定確認]

[表示切替] ☞P.341

[本体⇔microSD切替] ▶ 検索先を選ぶ

[検索開始]

[解除]
● 検索条件を解除します。

■ 検索結果画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]
- ▶ [タイトル編集] ☞P.377
- ▶ [情報表示] ☞P.379

[1件削除] ☞P.379

[分類登録] ☞P.378

[移動／コピー]
- ▶ [microSDへ1件移動] ☞P.370
- ▶ [microSDへ1件コピー] ☞P.369

[検索表示設定]
- ▶ [表示切替] ☞P.341
- ▶ [ソート] ☞P.378

■ フォルダ一覧画面でカンタン検索する

データBOXのフォルダ一覧画面からカンタン検索ができます。

● ミュージック内とMusic&Videoチャネル内ではカンタン検索はできません。

1 フォルダ一覧画面で[カンタン検索]

2 検索条件を選ぶ ▶ [確認]

- アルバムのとき：[アルバム] ▶ 項目を選ぶ ▶ [確定]

アルバムを表示する<アルバム>

分類登録の[アルバム]の項目で検索し、データを表示することができます。

1 カスタムメニューで[データBOX] ▶ [アルバム]

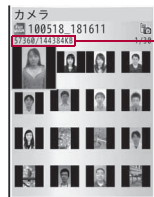
2 項目を選ぶ ▶ [確定]

- 選択した項目には[☑]が表示されます。解除するときは再度タッチします。

メモリの使用状況を確認する<メモリ確認>

■ FOMA端末のメモリ使用状況を確認する

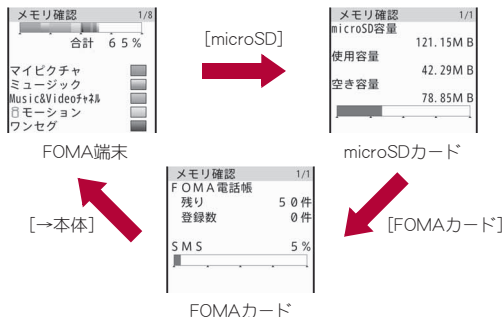
データBOXのデーター覧画面でFOMA端末のメモリ使用状況を示す数値が表示されます。

● 表示切替が[ビジュアルメニュー]以外のときは、フォルダ一覧画面（ミュージックを除く）でも表示されます。また、[メロディ]、[キャラ電]のフォルダ一覧画面では表示切替が[ビジュアルメニュー]でも表示されます。

マイピクチャの
データ一覧画面の場合

■ 各項目ごとのメモリ使用状況を確認する<メモリ確認>

FOMA端末、microSDカード、FOMAカードに保存されているデータの容量や空き容量などを表示します。

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[確認]▶[メモリ確認]

- FOMA端末のメモリ確認中に、他の機能のメモリ使用状況を表示するときは、左右にすばやくスライドします。

- 電話帳やスケジュールの登録件数はシークレットデータを含んで表示されます。

- ｉアプリには削除できないものがあるため、ｉアプリの使用量が0％になることはありません。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

データを保存するときにメモリが足りなくなると、上書き確認画面が表示され不要なデータやファイルを削除して保存できます。

1 上書き確認画面で[はい]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]

3 データを選ぶ▶[完了]▶[はい]

- メモリの確保状態が100%になるまでデータを選択します。
- ミュージックのときは、データにカーソルを合わせて[確認]をタッチすると音楽データが再生されます。

赤外線通信

赤外線通信を利用する

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、データを送受信することができます。また、ｉアプリと連携して、赤外線通信機能を搭載した機器と連動させたりできます。

- FOMA端末の赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- FOMA端末の赤外線送受信機能はIrSimple™ 1.0規格に対応しています。
- 赤外線通信中は圏外と同じ状態になり、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
- 通話中やオールロック中、セルフモード中は赤外線通信できません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳や所有者情報の送受信ができません。

赤外線通信で送受信できるデータ

- microSDカード内のデータは送受信できません。ただし、microSDカード内のJPEG画像は送信できます。
- FOMAカード内の電話帳は送受信できません。

次ページへ続く

● ｉアプリToが貼り付けられたｉモードメールの貼り付け情報は、削除され、送受信されません。

■ FOMA端末から送信できるデータ

機　能	１　件	全　件
電話帳	○	○
スケジュール	○	○
テキストメモ	○	○
ｉモードメール、SMS、エリアメール	○	○
Bookmark	○	○
データBOXの画像、ｉモーション、メロディ、PDF	○	○
所有者情報	○	－
現在地通知先	○	○
トルカ	○	○
デコメアニメ®テンプレート	○	○

● 絵文字をｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信したときは、正しく表示されないことがあります。ｉモード端末でも相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。

電話帳について

● 次の情報は送信されません。
■ シークレットコード　■ 着信音設定　■ 着信ランプ設定
■ 代替画像設定

● １件送信では、グループ設定は送信されません。

● シークレット登録した電話帳はシークレットモードを[ON]に設定しないと１件送信できません。1件送信した場合、シークレット登録は[OFF]で送信されます。

● 全件送信すると、所有者情報やシークレット登録した電話帳も送信されます。

スケジュールについて

● 次の情報は送信されません。
■ アラーム時刻以外のアラーム情報　■ 画像設定　■ 連絡先
■ 視聴予約、録画予約　■ 祝日設定　■ 誕生日データ

● シークレット登録したスケジュールはシークレットモードを[ON]に設定しないと１件送信できません。1件送信した場合、シークレット登録は[OFF]で送信されます。

● 全件送信すると、シークレット登録したスケジュールも送信されます。

● 全件送信時、ｉスケジュール内予定は送信されません。

メールについて

● 貼り付けられたデータ、添付ファイル、保護メールも送信されます。添付不可のデータは送信できません。

● 100Kバイトを超えるメールは、正しく送信できないことがあります。

画像、ｉモーション、メロディ、PDFについて

● 送信できるデータはJPEG画像10Mバイト、GIF画像２Mバイト、Flash画像500Kバイト、ｉモーション10Mバイト、メロディ100Kバイト、PDF２Mバイトまでです。

● 赤外線通信で画像を送信すると、画質が劣化したりファイルサイズが変わることがあります。

● 次のようなデータは送信できません。
■ FOMA端末外から取得した、ファイル制限ありのデータ
■ FOMA端末にあらかじめ登録されているデータ

● データBOX内のデータは赤外線通信で送信できないことがあります。

● JPEG画像は高速赤外線通信で送信することができます（☞P.345）。

所有者情報について

● 受信側では電話帳として保存されます。

● 2in1利用時は、2in1のモードによって表示される所有者情報が送信されます。

トルカについて

● 次のようなデータは送信できません。
■ １Kバイトを超えるトルカ　■ 再配布不可のトルカ
■ 100Kバイトを超えるトルカ(詳細)　■ 利用済みトルカ

デコメアニメ®テンプレートについて

● 次のようなデータは送信できません。
■ FOMA端末外から取得した、ファイル制限ありのデコメアニメ®テンプレート
■ FOMA端末にあらかじめ登録されているデコメアニメ®テンプレート

■ FOMA端末で受信できるデータ

機　能	1件	全件	格納場所	格納順
電話帳	○	○	電話帳	1件受信時：メモリ番号、010～999→000～009の順で未登録番号に登録 全件受信時：メモリ番号の情報に従って登録
スケジュール	○	○	スケジュール	開始日時順
テキストメモ	○	○	テキストメモ	最終修正日時順
ｉモードメール、SMS、エリアメール	○	○	ｉモードメール、SMS	受信／送信／保存日時順
Bookmark	○	○	Bookmark	1件受信時：一番上 全件受信時：利用された順
データBOXの画像、ｉモーション、メロディ、PDF	○	○	データBOXのマイピクチャ、ｉモーション／ムービー、メロディ、マイドキュメント	－
所有者情報	○	－	電話帳	1件受信時：メモリ番号、010～999→000～009の順で未登録番号に登録
現在地通知先	○	○	現在地通知先一覧	－
トルカ	○	○	トルカ	－
デコメアニメ®テンプレート	○	○	デコメアニメ®テンプレート一覧	－

- 全件受信時に上書きを選択すると、該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- 全件受信の場合、相手の機種や状態によっては、相手の機種で設定していたフォルダの振分け条件設定が反映されない場合があります。

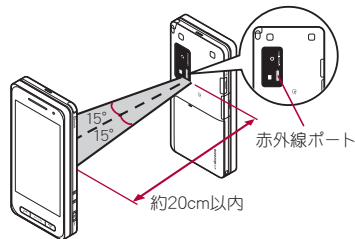
電話帳について
- 1件受信したデータのグループ設定は、すべて[グループなし]になります。
- 全件受信すると、ご契約の電話番号以外の所有者情報は上書きされます。
- 名前が未登録のデータを受信したときは[No Name]と表示されます。
- 2in1のモードが[デュアルモード]の場合、1件受信したときは、電話帳2in1設定を[A]／[B]／[共通]から選択することができます。全件受信したときは、転送元の2in1属性のまま保存されます。

スケジュールについて
- 終了日時が入力されていないデータを受信すると、終了日時に開始日時が設定されます。

メールについて
- 題名が途中までしか受信できないことがあります。

Bookmarkについて
- 相手の機種によってはBookmarkのフォルダ情報が反映されないことがあります。

現在地通知先について
- すでに同じ電話番号の現在地通知先が登録されているときは、重複して登録されません。

赤外線通信機能をお使いになるときのご注意

- 図のように受信側と送信側のFOMA端末の赤外線ポートが約20cm以内に向き合うようにしてください。
- データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。
- 赤外線通信が正常にできなかったときは、続けるかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、やり直すことができます。FOMA端末を近づけてもう一度通信してください。
- IrSS™通信は、片方向通信のため、受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、受信側が受け取れないときでも送信側は正常に終了します。

データを送受信する

- 全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな４桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

データを送信する<赤外線送信／赤外線全件送信>

例：電話帳のとき

1 待受タッチランチャで[📖]

2 名前にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[データ送信]▶[赤外線送信]

3 送信方法を選ぶ

◆ **[送信]**
◆ **[全件送信]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶認証パスワードを入力▶[OK]**
- 受信者のFOMA端末を受信待ち状態にします。

4 [はい]

- 全件送信の場合、受信側で入力した認証パスワードと一致すると、送信が開始されます。

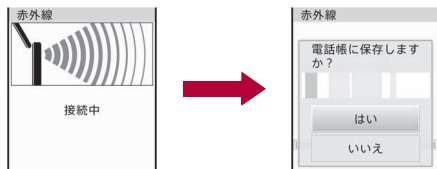
- スケジュールを全件送信するときは、カレンダー画面またはスケジュール全件表示にしてから操作してください。
- データBOXのデータを全件送信するときは、フォルダ一覧画面から操作してください。

データを受信する<赤外線受信／赤外線全件受信>

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[赤外線受信]

2 受信方法を選ぶ

◆ **[受信]▶[はい]**
◆ **[全件受信]▶[はい]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶送信側と同じ認証パスワードを入力▶[OK]**
- 送信側のFOMA端末を送信状態にします。
- 受信待ち状態になります。30秒以内に送信側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

例：電話帳を１件受信したとき

3 [はい]

- 受信の中止：受信中に[中止]

- スケジュールまたはBookmarkを１件受信した場合、同じ内容のデータが存在するときは、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと現在のデータに上書きされます。

- 全件受信すると、受信したデータにより上書きされ、登録していたデータはすべて削除されますので、ご注意ください。ただし、データBOXの画像やｉモーション、メロディ、PDF、またはデコメアニメ®テンプレートの場合、元のデータは削除されずに追加保存されます。

ｉアプリと連携して赤外線通信を行う

起動中のｉアプリから赤外線通信を利用したり、赤外線通信からｉアプリを起動したりできます。

- ｉアプリから赤外線通信を起動する方法については☞P.308

赤外線通信からｉアプリを起動する<赤外線受信>

ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からの赤外線通信中に、ｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトを起動できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[赤外線受信]▶[受信]▶[はい]

- 受信待ち状態になります。送信側からｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトが起動します。

- ｉアプリTo設定を[許可しない]に設定しているときは、赤外線通信からｉアプリを起動できません。
- ｉアプリ待受画面として起動することはできません。

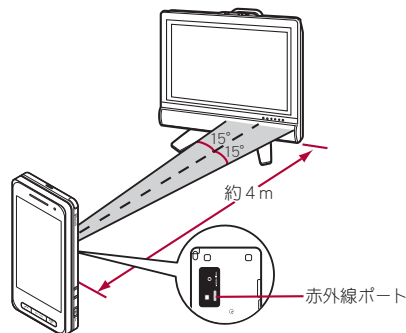
赤外線リモコン

赤外線リモコン機能を利用する

ｉアプリのソフトからFOMA端末の赤外線ポートを利用して、テレビやビデオなど赤外線リモコンに対応した機器を操作できます。

- 赤外線リモコン機能を利用するときは、赤外線リモコン機能に対応したｉアプリのソフトをダウンロードする必要があります。

リモコン操作を行う

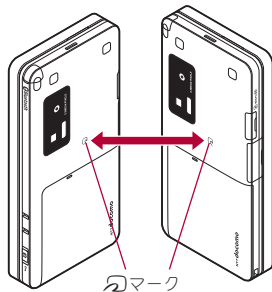
赤外線リモコン機能に対応したｉアプリを起動し、FOMA端末の赤外線ポートをテレビやビデオなどのリモコン受光部の正面に向けて、リモコン操作を行います。

- 実際の操作方法はｉアプリのソフトによって異なります。
- 操作できる距離は、約４ｍです（相手側の機器や周囲の明るさなどによって変わります）。

- セルフモード中は、赤外線リモコン機能を使用できません。
- 相手側の機器によっては、正常に操作できないことがあります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くなどでは、正常に操作できないことがあります。

ｉＣ通信

ｉＣ通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、データを送受信することができます。

- ｉＣ通信中は圏外と同じ状態になり、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
- 通話中やＩＣカードロック中はｉＣ通信できません。
- データBOXの画像・ｉモーション・メロディ・PDFや、デコメアニメ®テンプレートは全件送受信できません。これ以外の送受信できるデータや各種ロック中の動作については赤外線通信（☞P.381）と同様です。
- ｉアプリからｉＣ通信を起動する方法については☞P.308

ｉＣ通信機能をお使いになるときのご注意

- 図のように受信側と送信側のFOMA端末のマークを重ね合わせてご利用ください。
- データの送受信が終わるまでは、FOMA端末を動かさないでください。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくいことがあります。そのときは、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- ｉＣ通信中はFOMA端末の着信ランプが点滅します（☞P.111）。
- 充電中およびイヤホン接続中はｉＣ通信によるデータの送信はできません。

データを送受信する

- 全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、ｉＣ通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな４桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

データを送信する<送信／全件送信>

例：電話帳のとき

1 待受タッチランチャで［📖］

2 名前にカーソルを合わせる▶［サブメニュー］▶［データ送信］▶［ｉＣ送信］

3 送信方法を選ぶ

◆［送信］

◆［全件送信］▶端末暗証番号を入力▶［OK］▶認証パスワードを入力▶［OK］

4 ［はい］

5 相手のFOMA端末とマークを重ね合わせる

データを受信する<受信／全件受信>

1 待受画面で相手のFOMA端末とマークを重ね合わせる

2 ［はい］

- 全件受信のとき：［はい］▶端末暗証番号を入力▶［OK］▶送信側と同じ認証パスワードを入力▶［OK］▶［はい］
- 受信の中止：受信中に［中止］

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーとして使う

FOMA端末をボイスレコーダーとして利用できます(microSDカードが必要です)。

- 録音した音声は、[音声のみ](映像なし)のｉモーションとして、microSDカードの[マルチメディア]フォルダに最大1000件保存できます(録音時間により保存件数は変わります)。1件あたり最長約6時間録音できます。
- 1000件を超えて録音しようとすると、録音に失敗した旨のメッセージが表示され、ボイスレコーダーが終了します。
- 録音した音声を64Mバイトのmicro SDカードに保存するときは、最長約4時間保存できます。
- 録音距離は、約1.5m以内をおすすめします。
- 録音した音声は、ｉモーションプレーヤー(☞P.349)で再生できます。

録音する<ボイスレコーダー>

- 録音開始音が鳴り、録音が開始されます。録音中は着信ランプが点滅します。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[ボイスレコーダー]▶[録音]/📷

ボイスレコーダー画面

2 録音を止めるときは[停止]/📷

- 次の場合は、自動的に録音が停止します。
  - ■ 残時間表示が00:00:00になったとき
  - ■ 録音時間が約6時間に達したとき
  - ■ microSDカードの空き容量がなくなったとき

3 [保存]

- 録音した音声を保存します。
- 録音した音声の再生：[再生]
- 録音した音声を取り消す：[取消]▶[はい]

- 録音したデータは、ファイル制限なしのファイルとして保存されます。
- 録音中にFOMA端末を開閉しても録音は継続されます。
- 録音中に電話がかかってくると、録音が自動的に停止し、電話に出ることができます。通話終了後、保存確認画面が表示されます。

■ ボイスレコーダー画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[録音]	録画 Rec ● 長押 Hold	録音開始
[一時停止]	II	一時停止※1
[停止]	■ 停止 Stop	録音停止※1※2
[再開]	● 録画 Rec	再開※2

※1　録音中に表示されます。
※2　一時停止中に表示されます。

■ ボイスレコーダー画面のサブメニュー操作

[データBOX表示]

[セルフタイマー]▶セルフタイマー時間を選ぶ

PDF対応ビューア

PDFデータを表示する

- 表示するファイルはあらかじめデータBOXの[マイドキュメント]、またはmicroSDカードの¥PRIVATE¥DOCOMO¥DOCUMENT¥PUDxxxフォルダに置いてください。microSDカードに保存したときは、保存してからmicroSDカードの管理情報を更新してください(☞P.375)。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[PDF対応ビューア]

- [データBOX]▶[マイドキュメント]でも操作できます。

2 ファイルを選ぶ

内容表示画面

- PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントは、正しく表示されないことがあります。
- ファイルによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できないこともあります。
- ファイル名に、～、‖、－、¢、£、¬が含まれるPDFデータは非対応です。

■ 内容表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示※1	機 能
[▲ページ]	[▲ページ]または[前ページ Back]	前ページの表示
[▼ページ]	[▼ページ]または[次ページ Next]	次ページの表示
[拡大]	[拡大]または[拡大 Zoom +]	画面の拡大※2
[縮小]	[縮小]または[縮小 Zoom −]	画面の縮小※2
[全画面]	－	全画面表示
－	[フィット]／[等倍]	ページ全体表示(フィット)／等倍表示切替

※1 データによって表示されるボタンが異なります。ボタンが表示されていない場合は、画面をロングタッチするとコントロールボタンが表示されます。

※2 サブメニューで[ズーム]を選択したあとに表示されます。ボタンをタッチするたびに、拡大／縮小の倍率が変わります。■を押すと倍率の調整が完了します。

■ 内容表示画面のボタン操作

画面の縮小	1
表示を90度左回転	2
画面の拡大	3
ページ全体表示(フィット)／等倍表示切替	■
画面を上下左右にスクロール	✥
前ページの表示	Fn＋3
次ページの表示	Fn＋4
操作ガイドの表示	Fn＋D
ライトアップ	Fn＋D(1秒以上)
リンク表示モードに切替	Fn＋S

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
- ▶[フォルダ新規作成] ☞P.376
- ▶[フォルダ名編集] ☞P.377
- ▶[フォルダセキュリティ] ☞P.377

[削除] ☞P.377

[microSDへ全件コピー] ☞P.368

[データ送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.384

[表示切替] ☞P.341

[本体⇔microSD切替]

■ データ一覧画面のサブメニュー操作

[編集・情報表示]
- ▶[タイトル編集] ☞P.377
- ▶[情報表示] ☞P.379

[削除] ☞P.379

[分類登録] ☞P.378

[移動／コピー]
- ▶[フォルダ間移動] ☞P.378
- ▶[microSDへコピー] ☞P.368

[データ送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.384
- ▶[ｉC送信] ☞P.386

[マイドキュメント設定]
- ▶[表示切替] ☞P.341
- ▶[ソート] ☞P.378

[本体⇔microSD切替]

■ 内容表示画面のサブメニュー操作

[ズーム]▶[拡大]／[縮小]

[表示を回転]▶回転方向を選ぶ

[画面設定]
- ▶[ページレイアウト]▶ページレイアウトの種類を選ぶ
- ▶[表示]▶画面表示方法を選ぶ
- ▶[スクロールバー]▶[ON]
- ▶[倍率・ページ番号]▶[ON]

[ページ移動]
- ▶[最初のページ]
- ▶[最後のページ]
- ▶[指定のページ]▶上下にすばやくスライド▶画面をタッチ

[しおり・マーク]
- ▶[しおり表示] ☞P.390
- ▶[ｉモードしおりの追加] ☞P.390
- ▶[マーク表示] ☞P.390
- ▶[マークの追加] ☞P.390

[検索] ☞P.390

[リンク表示]
- ● リンク表示モードに切り替えます。

[画面切り出し]▶[はい]
- ● 表示しているイメージを静止画として保存します。

[保存]▶[はい]▶フォルダにカーソルを合わせる▶[確定]

[文書のプロパティ]

[ライトアップ]

[残り全てを取得]▶[はい]
- ● 未取得のPDFデータをすべて取得します。

[操作ガイド]

[タブ]
- ▶[タブを閉じる]▶閉じるタブウィンドウを選ぶ▶[はい]
- ▶[タブ切替]▶表示するタブウィンドウを選ぶ

[ズーム]について
- ● 拡大は1000%、縮小は８%まで表示できます。

[リンク表示]について
- ● リンク表示モードにしたときは、画面をスクロールできません。

[画面切り出し]について
- ● 「460×532」のサイズで、JPEG画像として保存されます。制限があるPDFは切り出しできなかったり、FOMA端末外への出力ができないことがあります。

[タブ]について
- ● ｉモード中／フルブラウザ中にPDFデータをダウンロードしようとしたとき、PDF対応ビューアが起動した場合に操作できます。

しおりを利用する<しおり表示>

- PDFデータをFOMA端末から移動すると、追加したしおりが削除されることがあります。

1 **内容表示画面で[サブメニュー]▶[しおり・マーク]▶[しおり表示]**

2 **しおりの種類を選ぶ**

- [しおり]を選択すると、あらかじめPDFデータに登録されているしおりを50件まで表示できます。[ｉモードしおり]を選択すると、追加したｉモードしおりを表示できます。

3 **しおりを選ぶ**

■ ｉモードしおり一覧画面のサブメニュー操作

[削除]
- ▶[一件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶しおりを選ぶ▶[確定]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[タイトル編集]▶タイトル欄を選ぶ▶タイトルを編集▶[決定]

[タイトル編集]について
- 全角64文字(半角128文字)まで入力できます。

■ ｉモードしおりを追加する<ｉモードしおりの追加>

- ｉモードしおりは10件まで登録できます。

1 **内容表示画面で[サブメニュー]▶[しおり・マーク]▶[ｉモードしおりの追加]▶タイトル欄を選ぶ▶タイトルを編集▶[決定]**

- ｉモードしおりがすでに10件登録されているときは、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選択し、上書きするしおりを選択すると登録されます。

マークを利用する<マーク表示>

- PDFデータをFOMA端末から移動すると、追加したマークが削除されることがあります。

1 **内容表示画面で[サブメニュー]▶[しおり・マーク]▶[マーク表示]**

2 **マークを選ぶ**

■ マーク一覧画面のサブメニュー操作

[削除]
- ▶[一件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶マークを選ぶ▶[確定]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

■ マークを追加する<マークの追加>

- マークは10件まで登録できます。

1 **内容表示画面で[サブメニュー]▶[しおり・マーク]▶[マークの追加]**

2 **[はい]**

- マークがすでに10件登録されているときは、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選択し、上書きするマークを選択すると登録されます。

PDFファイル内の文字を検索する<検索>

1 **内容表示画面で[サブメニュー]▶[検索]▶検索文字列欄を選ぶ▶文字列を入力▶[決定]**

- 全角8文字(半角16文字)まで入力できます。

2 **[検索]**

- 次を検索:[次へ]
- 前を検索:[前へ]

■ 検索画面のサブメニュー操作

[大文字小文字を区別] ▶ 設定を選ぶ

[単語に完全一致] ▶ 設定を選ぶ

ドキュメントビューア

Word、Excelファイルなどを表示する

microSDカード内のMicrosoft Wordファイル、Microsoft Excelファイルや画像ファイルなどを、FOMA端末のディスプレイに表示することができます。

- 表示できるファイルの種類(拡張子):Microsoft Word(.doc)、Microsoft Excel(.xls)、Microsoft PowerPoint(.ppt)、Plain Text(.txt)、JPEG(.jpg、.jpeg)、GIF(.gif)、PNG(.png)、BMP(.bmp)
- 閲覧するファイルはあらかじめmicroSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥DOCUMENTフォルダに置いてください(☞P.365)。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [ドキュメントビューア]

2 ファイルを選ぶ

内容表示画面

- 縦表示のときは、ドキュメントのタイトルがディスプレイ上部に表示されるマーク(時計表示や電波状態表示など)と重なって表示されます。全画面表示にすると、ディスプレイ上部に表示されるマークが非表示になります。
- ファイル内容によっては、パソコンなどの機器で表示した内容と一部異なるときがあります。
- ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できないこともあります。
- フォントの種類によっては、正しく表示されないことがあります。
- パスワードが設定されているファイルを選択したときは、[表示できないコンテンツです]と表示され、ファイル一覧画面に戻ります。
- ファイル名が拡張子を含めて231文字以上のファイルは表示されません。
- Microsoft Excelのワークシートの1つのセルに表示される数値の桁数は、パソコンなどと異なって表示されることがあります。また、ご使用のMicrosoft Excelのバージョンによっては元号は表示されません。
- ファイル一覧画面に表示できるのは、1フォルダ400ファイルまでです。
- ドキュメントビューアで表示されるファイルの詳細については、http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-03b/をご覧ください。

■ 内容表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[▼ページ]	>	次ページの表示
[▲ページ]	<	前ページの表示
[全画面]	−	全画面表示

・横表示のとき画面をタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

画面を上下左右にスクロール	上下左右にスライド
ページ全体表示(フィット)	ロングタッチして指を離す
画面の拡大/縮小	2本の指の間隔を広げる/狭める

■ 内容表示画面のボタン操作

画面の縮小※	1	ライトアップ※	7
表示を回転	2	操作ガイドの表示	8
画面の拡大※	3	ページ全体表示（フィット）	■
ルーペで拡大／縮小	4		
ページの端や中央の表示	5	画面を上下左右にスクロール※	✕
指定したページの表示	5		
静止画として保存	6	前ページの表示※	Fn＋3
メールに添付して送信	6	次ページの表示※	Fn＋4

※ ルーペ画面でも操作できます。

■ データ一覧画面のサブメニュー操作

[削除] ☞P.379

[情報表示] ☞P.379

[ソート] ☞P.378

[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
● 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

■ 内容表示画面のサブメニュー操作

[画面縮小]

[表示を回転]
● ファイルの縦横の向きを切り替えます。

[画面拡大]

[ルーペ]▶[Q]を移動
● 画面をタッチしたままスライドして[Q]を動かし、指定した部分を拡大／縮小して表示します。
● 指定部分の拡大／縮小：[サブメニュー]▶設定を選ぶ

[移動]

▶[画面内移動]▶移動方向を選ぶ
● ページの端や中央を表示します。

▶[指定ページ表示]▶ページ番号を入力▶[決定]

[画面切り出し]

▶[画像保存]
● 表示しているイメージを静止画として保存します。

▶[メール作成]▶メールを作成・送信
● 表示しているイメージをメールに添付して送信します。

[ライトアップ]

[操作ガイド]

マンガ・ブックリーダー

電子書籍／電子辞書／電子コミックを表示する

電子書籍／電子辞書／電子コミックを、FOMA端末で表示できます。

● お買い上げ時は、FOMA端末に次の電子辞書などが登録されています。
  ■ サポートブック
  ■ 明鏡モバイル国語辞典（電子辞書）
  使用頻度の高い現代語を中心に約４万7100語句収録。ことわざ成句も解説。
  ■ ジーニアスモバイル英和辞典（電子辞書）
  英会話や新聞・小説を読むときに便利なモバイル英和。約４万5700語句収録。
  ■ ジーニアスモバイル和英辞典（電子辞書）
  現代語を中心に約５万5800語句を収録した、本格語数のモバイル和英。
  (「明鏡モバイル国語辞典」「ジーニアスモバイル英和辞典」「ジーニアスモバイル和英辞典」 ©2005-2008 Taishukan)
● 電子書籍、電子コミックなどは、サイトなどからダウンロードできます（☞P.193）。
● ジーニアスモバイル英和辞典を削除した場合は、付属のCD-ROM（[取扱説明書]内の[内蔵辞書（マンガ・ブックリーダー用）]）から登録できます。

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[マンガ・ブックリーダー]**

2 データを選ぶ

- パスワードが必要なとき：パスワードを入力
  ▶［決定］

内容表示画面

- 表示できる電子書籍などの種類（拡張子）は次のとおりです。

	形　式	拡張子
電子書籍	XMDF	「.zbf」
	テキスト	「.zbk」「.txt」「.text」
電子辞書、電子コミック	XMDF	「.zbf」

- 前回の閲覧時に［CLR］で終了したデータを選んだときは、終了時に表示されていたページが表示されます。
- 前回の閲覧時に[終話キー]を押して終了したときは、マンガ・ブックリーダーを起動すると自動的に終了時のページが表示されます。ただし、コラムリーダーから起動したときや、クイック検索からサポートブックを表示したときは表示されません。
- データに埋め込まれている音声や画像によっては、ご利用になれないことがあります。
- 電子書籍などには、閲覧回数／閲覧期限／閲覧期間の閲覧制限が設定されているものがあります。これらのデータを表示しようとすると、確認メッセージが表示されます。内容を確認してください。
- microSDカードにも保存できます。microSDカードに保存した電子書籍などは、一覧画面に最大400件表示できます。［マンガ］フォルダ内のデータは最大1000件表示できます。

■ 内容表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
［戻る］	先頭 Jump	ページを戻す（履歴があるとき）※1
［▼ページ］	→ 長押 Hold ▷▷	行／コマを進める※2
［▲ページ］	← 長押 Hold ◁◁	行／コマを戻す※2

※1　履歴がないときは先頭のページが表示されます。縦表示で履歴がないときは、［先頭へ］と表示されます。

※2　横表示のときは、ロングタッチすると連続して行／コマを移動します。

・横表示のとき画面をタッチすると、コントロールボタンが表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

行を移動	進める	右／上にスライド
	戻す	左／下にスライド
コマ移動（電子コミックのコマ表示中）	進める	右／上にすばやくスライド
	戻す	左／下にすばやくスライド
前ページの表示		下／左にすばやくスライド
次ページの表示		上／右にすばやくスライド
リンク先の表示		反転表示しているリンクをタッチ

■ 内容表示画面のボタン操作

縮小（電子コミックのページ表示中）	1	行を移動	進める	▢／▢
			戻す	▢／▢
コマ／ページ切替（電子コミック表示中）	2	コマ移動（電子コミックのコマ表示中）	進める	▢／▢
			戻す	▢／▢
拡大（電子コミックのページ表示中）	3	ページを戻る（履歴があるとき）※		Fn＋1

画面を上下左右にスクロール(電子コミックのページ表示中)	◙	前ページの表示	Fn＋3
		次ページの表示	Fn＋4

※ 履歴がないときは先頭のページが表示されます。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
- ▶[フォルダ新規作成] ☞P.376
- ▶[フォルダ名編集] ☞P.377
- ▶[フォルダセキュリティ] ☞P.377

[削除] ☞P.377

[表示フォルダ切替]▶フォルダを選ぶ

[本体⇔microSD切替]

[ファイルリストへ切替]([マンガ]フォルダ内のみ)
- フォルダ一覧画面からデータ一覧画面に切り替えます。

[表示フォルダ切替]について
- 携帯情報端末など、FOMA端末以外でXMDF形式の電子書籍を利用していたときに、その電子書籍の入ったフォルダを表示できます。
- 利用されていた携帯情報端末によっては、フォルダを表示できないことがあります。
- SH-01Aより前に発売された機種でmicroSDカードに保存した電子書籍などは、[マンガ・ブックリーダー2]を選択すると表示できます。

[ファイルリストへ切替]について
- [マンガ]フォルダ内でフォルダとデータが混在する場合は、フォルダ一覧画面が表示されます。ファイルリストへ切替を行わないとデータ一覧画面は表示されません。

■ データ一覧画面のサブメニュー操作

[タイトル編集](FOMA端末保存データ、[マンガ]フォルダ内のデータのみ) ☞P.377

[ファイル名編集](microSDカード保存データのみ) ☞P.377

[削除] ☞P.379

[情報表示] ☞P.379

[移動／コピー]
- ▶[フォルダ間移動] ☞P.378
- ▶[microSDへ移動] ☞P.370
- ▶[microSDへコピー] ☞P.368

[表示フォルダ切替]▶フォルダを選ぶ
- [表示フォルダ切替]について☞P.394

[ソート]([ｉモード]／[マンガ]フォルダ内のデータのみ) ☞P.378

[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
- 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

[本体⇔microSD切替]

[フォルダリストへ切替]([マンガ]フォルダ内のデータのみ)
- データ一覧画面からフォルダ一覧画面に切り替えます。

■ 内容表示画面のサブメニュー操作

[文字列コピー]▶◙で最初の文字を選ぶ▶◉▶◙で最後の文字を選ぶ▶◉

[しおり設定]
- ▶[しおりをはさむ]▶しおりを選ぶ
- ▶[しおりへ移動]▶しおりを選ぶ

[情報表示] ☞P.379

[現在位置確認]

[移動]
- ▶[目次]▶項目を選ぶ
  - 目次からページを表示します。

データ管理

▶［先頭へ］

▶［最後へ］

▶［リストへ］
- データ一覧画面に戻ります。

▶［%指定移動］▶%を入力▶［決定］
- 全体に対する位置を%で指定してページを移動します。

［文字読み取り］
- 以降の操作については☞P.240「英数字や記号を１行ずつ読み取る」の操作２へ

［表示設定］

▶［文字サイズ設定］▶文字サイズを選ぶ

▶［縦横設定］▶設定を選ぶ
- 縦書き、横書きを切り替えます。

▶［ルビ表示］▶［ON］
- ふりがなを表示します。

▶［画像サイズ］▶設定を選ぶ
- 画像を表示するサイズを切り替えます。

▶［行間設定］▶［ON］
- 行間を広げます。

［マンガ表示設定］▶設定を選ぶ

［音量設定］▶音量を選ぶ

［バイブレータ設定］▶［ON］

［バックライト点灯時間］▶設定を選ぶ
- 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

［文字列コピー］について
- タッチ操作はできません。オープンポジションで操作してください。
- 一度にコピーできる文字数は、最大全角128文字（半角128文字）です。ただし、一度にコピーできる文字数はコンテンツにより異なります。
- コピーできない文字もあります。
- 電子コミックによっては、文字列コピーができないものがあります。

［しおりをはさむ］について
- １冊につき最大２個（最大10冊）のしおりを設定できます。
- 11冊目のしおりを設定すると、一番古いしおりが削除されます。

［しおりへ移動］について
- 電子コミックのページ表示画面では、［しおりへ移動］は選択できません。

自動しおりについて
- マンガ・ブックリーダーを終了すると、最後に表示していたページに［自動しおり１］が設定されます。
  次に同じ電子書籍などを表示し、終了した場合は、最後に表示していたページが［自動しおり１］に設定され、前回の［自動しおり１］は［自動しおり２］に設定されます。
- １冊につき最大２個（最大10冊）の自動しおりを設定できます。
- 11冊目の自動しおりを設定すると、一番古い自動しおりが削除されます。
- パスワードが設定されているデータは、自動しおりが表示できません。

［移動］について
- 電子コミックのページ表示画面では、［移動］は選択できません。

［文字サイズ設定］、［縦横設定］、［ルビ表示］について
- データによっては、表示を切り替えることができないものや、表示の設定が指定されているものがあります。
- 電子コミックの吹き出しの中の文字は画像です。文字サイズ設定や縦横設定、ルビ表示は反映されません。
- データによってルビの有無は異なります。

［マンガ表示設定］について
- 電子コミックのコマ表示画面では、縮小、拡大はできません。
- 電子コミックによっては、コマ表示／ページ表示を切り替えることができないものがあります。

電子辞書で調べる

電子辞書で、用語を入力して調べることができます。

- 電子辞書の購入は、パソコンから操作してください。
- 電子辞書は次のシャープオリジナルサイト「Sharp Space Town」でご購入いただけます。
  http://www.spacetown.ne.jp/
  - パソコンからサイトに接続してご購入した電子辞書は、microSDカードに格納してFOMA端末で使用できます（☞P.365）。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[マンガ･ブックリーダー]

2 電子辞書を選ぶ

3 入力欄を選ぶ

4 用語を入力▶[決定]

- 255文字まで入力できます。

5 用語を選ぶ

電子書籍／電子辞書／電子コミック内の情報を利用する

Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する

電子書籍などで反転表示された文字情報（電話番号、メールアドレス、URLなど）やPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能が埋め込まれた画像を利用して、電話発信やメール送信、サイト接続ができます。

1 内容表示画面で電話番号やメールアドレス、URLなどを選ぶ

- 画像のとき：画像を選ぶ▶[リンクへ移動]
- 電子コミックのとき：画面をロングタッチ

2 [はい]

- URLの場合、接続方法を選択するとサイト接続します。
- 電話発信やメール送信、サイト接続の操作については☞P.189

リンク先のページを表示する

文字列や画像に別のページのリンク情報が設定されているときは、そのページを表示できます。

1 内容表示画面で文字列や画像を選ぶ

動画／音声を再生する<動画／音声の再生>

画像に動画／音声の情報が設定されているときは、動画／音声を再生できます。

1 内容表示画面で画像を選ぶ▶[動画／音声の再生]

マスク（目隠し）された情報を表示する

1 内容表示画面で文字列や画像を選ぶ

- ◆ 文字列を選ぶ
- ◆ 画像を選ぶ▶[マスクの切替]

電子書籍／電子辞書／電子コミック内の画像を保存する<マイピクチャ登録>

電子書籍などに表示された静止画を、マイピクチャ内の[カメラ]フォルダに保存できます。

- 画像保存件数は、最大2000件です。メモリの使用状況によっては、少なくなります。

1 内容表示画面で静止画を選ぶ▶[マイピクチャ登録]

- PNG形式など、保存できない画像もあります。
- すべて著作権のある画像として保存されます。microSDカードへの保存や、メールへの添付はできません。

便利な機能

ウェルネス

歩数計を使って毎日のウォーキングをサポートします。
歩いた歩数や消費カロリーなどは履歴として保存され、グラフで確認することができます。

- 測定した歩数は、装着や測定のしかた、歩きかたによって正確に表示されない場合があります。

ウェルネスの利用手順

例：はじめて歩数計を使うとき

STEP 1　プロフィール登録をする　☞P.398

STEP 2　歩数計設定を[ON]に設定する　☞P.398

STEP 3　歩数を測定する　☞P.398

STEP 4　歩数を確認する　☞P.399

- 待受画面に歩数などを表示することもできます(☞P.400)。

プロフィールについて

身長、体重などを入力します。入力した数値は、歩行距離や消費カロリー、脂肪燃焼量の算出に利用されます。

- 各数値を正確に算出するために、実際の身長と体重に合わせてプロフィールを更新してください。

■ プロフィールを登録する<プロフィール登録>

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[ウェルネス]▶[プロフィール登録]▶端末暗証番号を入力▶[OK]**

2 **[身長]欄を選ぶ▶身長(100.0～199.5cm)を入力▶[決定]**

- 小数点以下は[0]／[5]を選択します。
- 身長を入力すると、歩幅が自動的に入力されます。手動で入力することもできます。
  - ・歩幅を手動入力：[歩幅]欄を選ぶ▶歩幅(30～120cm)を入力▶[決定]

3 **[体重]欄を選ぶ▶体重(30～150kg)を入力▶[決定]**

4 **[完了]**

歩数計を使う

歩数計を設定すると、毎日の歩数を測定し、歩数や歩行距離、消費カロリーを確認することができます。

■ 歩数計を使用するかどうかを設定する<歩数計設定>

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[ウェルネス]▶[設定]▶[歩数計設定]**

2 **設定を選ぶ**

◆ **[ON]▶設定を選ぶ**
◆ **[OFF]**

- ウェルネス表示設定が[ON]のときに歩数計設定を[OFF]に設定すると、ウェルネス表示設定も[OFF]に設定されます。

■ 歩数を測定する

- 測定した歩数は、あくまで目安としてご利用ください。
- キャリングケースL 01(別売)に入れるときは、キャリングケースL 01を腰のベルトなどに装着してください。
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中などFOMA端末を固定できる場所に入れてください。

● 正確に歩数を測定するために、毎分約100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
● 歩き始めの約４秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。
● 電源が入ってないときやソフトウェア更新中は測定されません。

歩数測定時のご注意

次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。
● FOMA端末が不規則に動く場合
  ■ FOMA端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
  ■ FOMA端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
● 不規則な歩行をした場合
  ■ すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
  ■ 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
● 上下運動や振動の多いところで使用した場合
  ■ 立ったり座ったりしたとき
  ■ 歩行以外のスポーツを行ったとき
  ■ 階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
  ■ 乗り物（自転車、自動車、電車、バスなど）に乗って、上下振動や横揺れしているとき
● ジョギングをしたり、極端にゆっくり歩いた場合

歩数を確認する<歩数確認>

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[ウェルネス]▶[歩数確認]

• 歩数確認をはじめて起動したときは、確認画面が表示されます。内容を確認し、画面をタッチしてください。次回起動時からは表示されません。
• 待受画面でウェルネス表示を選んでも表示できます。
• 履歴を表示する：歩数確認画面で[履歴]
  ・ 履歴詳細画面を表示：履歴画面で表示したい日を選ぶ

歩数確認画面／履歴画面／履歴詳細画面について

● 次の項目を確認できます。
  ■ 歩数　■ 歩行距離　■ 消費カロリー
  ■ 脂肪燃焼量　■ しっかり歩数　■ しっかり歩行時間※
  ※ 歩数確認画面で表示されます。
● 歩数表示、消費カロリー表示、しっかり歩数表示の切替：[歩数]／[消費カロリー]／[しっかり]
● 週間表示、累積表示、１日表示の切替：歩数確認画面で[週間]／[累積]／[１日]
  ・ 次／前の日を表示：１日表示で左右にすばやくスライド
  ・ 次／前の週を表示：週間表示で左右にすばやくスライド
● グラフ表示、数値表示の切替：履歴画面／履歴詳細画面で[表示切替]

● しっかり歩数としっかり歩行時間は、毎分60歩以上で10分以上連続した歩行の場合に測定されます。毎分60歩未満の歩行が約１分を超える場合は測定が停止されます。
● しっかり歩行時間は約１分単位で測定されます。
● 歩数確認画面の各データの最大値は次のとおりです。最大値を超えた場合はカウントが停止します。
  ■ 歩数：9999999歩　■ 距離：99999999m（99999.999km）
  ■ 時間：9999時間59分　■ 消費カロリー：9999999kcal
  ■ 脂肪燃焼量：999999.9g
● 履歴は最大90日分表示されます。90日分を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
● 履歴は海外で使用中でも日本時間を基準として表示されます。
● 履歴画面、履歴詳細画面のグラフの上限は、次のとおりです。

	歩数表示	消費カロリー表示	しっかり歩数表示
履歴画面	20000歩	2000kcal	20000歩
履歴詳細画面	10000歩	1000kcal	10000歩

● 履歴画面、履歴詳細画面の各データの最大値は次のとおりです。最大値を超えた場合はカウントが停止します。
  ■ 歩数：999999歩　■ 距離：9999999m
  ■ 時間：999時間59分　■ 消費カロリー：999999kcal
  ■ 脂肪燃焼量：99999.9g

■ 歩数の履歴をリセットする<履歴リセット>

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[ウェルネス]▶[設定]▶[履歴リセット]**

2 **端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]**

1日に歩く歩数の目標を設定する<目標設定>

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[ウェルネス]▶[設定]▶[目標設定]**

2 **項目を選ぶ▶数値を入力▶[決定]**

- 歩行距離目標/消費カロリー目標を入力した場合は、自動的に歩数目標を算出し、表示します。この場合、目標設定の歩数・距離・消費カロリーと、測定結果の歩数・距離・消費カロリーは、算出結果が異なる場合があります。

待受画面に歩数や消費カロリーを表示する <ウェルネス表示設定>

待受画面に歩数や消費カロリーなどを表示するかどうかを設定します。

- 設定した目標を達成すると、待受画面に[⚑]が表示されます。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[待受設定]▶[ウェルネス表示設定]**

2 **設定を選ぶ**

■ 待受画面での表示切替

- 待受画面、待受メモ表示、カレンダー表示、ウェルネス表示の切替:[⌐]
- 歩数・距離表示、しっかり歩数・時間表示、消費カロリー・脂肪燃焼量表示の切替:上下にすばやくスライド

- [歩数・距離]、[消費カロリー・脂肪燃焼量]は歩き始めて約4秒後から表示に反映され、約1秒ごとに更新されます。
- [しっかり歩数・時間]は毎分60歩以上で歩き始めて約10分後から表示に反映され、約1分ごとに更新されます。

- 横表示のときは、待受時計表示設定を[ON(大)]に設定していても[ON(小)]で表示されます。
- 歩数や消費カロリーは、海外で使用中でも日本時間の午前0時にリセットされます。

手書き

手書きメモを作成する

タッチパネルで、手書きの絵や文字が入ったメモや、GIFアニメーションを作成できます。また、らくがきモードで道路や線路のペンを選ぶと、地図を作成することもできます。

1 **待受タッチランチャで[手書き]**

- らくがきモードになります。

2 **メモを作成する**

- 入力エリア内にスライドしたとおりに線を引くことができます。
- らくがきモードと手書文字モードの切替:らくがきモード/手書文字モードで[パレット]▶[手書文字]/[らくがき]
- パレット表示中の操作については☞P.402

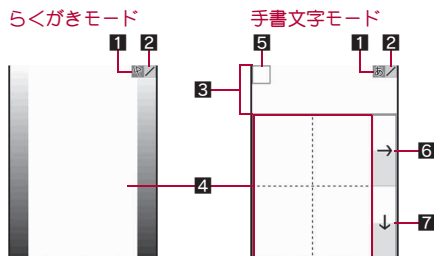
3 **[サブメニュー]▶[保存]▶[OK]**

- タイトルの編集:[タイトル編集]▶タイトルを編集▶[決定]▶[保存]▶[OK]
- 保存先の変更:[フォルダ変更]▶フォルダにカーソルを合わせる▶[確定]▶[保存]▶[OK]

4 **[終了]**

- メールで送信したり、ブログ/SNSに投稿(☞P.237):[✉/投稿]▶送信方法を選んでメール/デコメール®を作成・送信
- 高速赤外線通信で送信(IrSS™機能)(☞P.345):[IrSS]▶送信方法を選ぶ

- 作成した手書きメモはデータBOXのマイピクチャの[手書きメモ]フォルダに保存されます。

■ 手書き入力画面の見かた

1 モードアイコン
- 利用中のモードによってアイコンが切り替わります。

2 操作アイコン
- 操作によってアイコンが切り替わります。

	ペン入力		消しゴム
	スタンプ貼り付け		コピー
	表示位置移動		移動

3 プレビューエリア
入力した文字が反映されます。
- プレビューエリアをタッチしたままスライドすると、プレビューエリアがスクロールされます。
- プレビューエリアをタッチすると、拡大表示されます。拡大表示中は、同様の操作で元の画面に戻ります。

4 入力エリア
画像や文字を手書き入力します。

5 カーソル
- 入力エリアに手書きした文字は、カーソルがある場所に入力されます。
- カーソルをタッチしたままスライドすると、カーソルが移動します。

6 文字送りボタン
入力した文字がプレビューエリアに表示され、カーソルが右に移動します。

7 改行ボタン
入力した文字がプレビューエリアに表示され、カーソルが下の行に移動します。

■ 手書き入力画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35

らくがきモード

- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[動かす]	動かす Move	表示位置移動画面に切替
[パレット]	パレット Palette	パレット表示
[取り消し]	取り消し Undo	1つ前の状態に戻す

- らくがきモードでは次のタッチ操作ができます。

画像の拡大／縮小	2本の指でタッチパネルに触れ、指の間隔を広げる／狭める

- 保存後のプレビュー画面では表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[✉／投稿]		メール／ブログ機能
[IrSS]	IrSS	高速赤外線通信（IrSS™機能）で送信※
[終了]	終了 End	終了

※ 操作可能な場合に表示されます。

手書文字モード

- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[表示切替]	画面サイズ切替 Change Screen	プレビューエリア／入力エリア切替
[パレット]	パレット Palette	パレット表示
[取り消し]	取り消し Undo	1つ前の状態に戻す

便利な機能

次ページへ続く

● 保存後のプレビュー画面では、らくがきモードと同様のタッチパネル操作ができます。

■ 手書き入力画面のボタン操作

ボタン	らくがきモード	手書文字モード
◙	画像を上下左右にスクロール	
2	等倍⇔フィット	–
3／1	拡大／縮小	–
Fn＋1	表示位置移動画面に切替	プレビューエリア／入力エリア切替
Fn＋3	パレット表示	
Fn＋4	1つ前の状態に戻す	

■ 手書き入力画面のサブメニュー操作

[プレビュー]

[保存]
● 以降の操作については☞P.400「手書きメモを作成する」の操作3へ

[切り出して保存] ☞P.404

[アニメーション作成] ☞P.404

[拡大／縮小]（手書文字モード以外）▶表示方法を選ぶ

[最初に戻る]▶[はい]
● 編集内容を取り消して最初の画像に戻ります。

[文字入力設定]（手書文字モードのみ）

▶[自動文字送り設定]▶設定を選ぶ
● 入力エリアに文字を手書きしたあとに、自動でカーソルが移動するまでの時間を設定します。

[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ
● 操作中のバックライトの点灯時間を設定します。

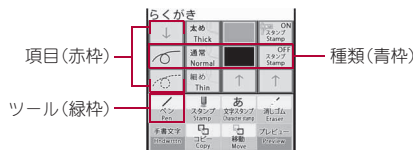
[アイコン表示]▶設定を選ぶ
● モードアイコンと操作アイコンを常に表示するかどうかを設定します。

[最初に戻る]について
● アニメーション作成モードでは、アニメーション作成開始時の画像に戻ります。

設定や操作を変更する

手書き入力時にパレットを表示して、ペンとスタンプの切り替えや種類の変更などができます。また、入力した画像のコピーや移動、プレビュー画面の表示、入力モードを切り替えるなどの操作もできます。

1 手書き入力画面で[パレット]

2 ツール／項目／種類を選ぶ

• ツールと項目は、タッチして枠を移動します。
• 種類は、上下にスライドして青枠内に表示します。

3 [決定]

■ パレットの内容

次の項目を変更できます。

ツール	内　容
ペン	入力するペンの種類や太さ、色を変更します。 ● 変更したペンで線を入力できます。 ● 道路／線路のペンを選ぶと地図を作成できます。 ● らくがきモードのときは、手書き入力画面でタッチして地図作成に使うスタンプを貼り付けられるようにするかを設定できます。※ ● 手書文字モードのときは、文字サイズも変更できます。
スタンプ	スタンプ／文字スタンプを貼り付けます。
文字スタンプ	

便利な機能

ツール	内 容
消しゴム	消しゴムの太さを選択します。 ● スライドしたとおりに画像を消します。
手書文字(らくがきモード時)	手書文字モードに切り替えます。
らくがき(手書文字モード時)	らくがきモードに切り替えます。
コピー	画像を移動／コピーして貼り付けます。 ● 移動／コピーしたい画像をロングタッチすると選択できます。移動／貼り付け位置までスライドするか、移動／貼り付け位置をタッチすると移動／貼り付けます。
移動	
プレビュー	プレビュー画面を表示します。

※ [スタンプON]を設定したときは画面をタッチすると地図スタンプと選択候補が表示されます。貼り付けたい地図スタンプを青枠内に表示させて画面をタッチすると地図スタンプを貼り付けられます。地図ペンで描画した部分をタッチしたときは、その線に適した地図スタンプが青枠内に表示された状態で選択候補が表示されます。

■ パレット表示画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機 能
[ツール選択]	ツール選択 Select Tool	ツール選択
[キャンセル]	キャンセル Cancel	1つ前の画面に戻る

■ プレビュー画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機 能
[保存]	保存 Save	保存
[切出保存]	切出保存 Cut and Save	切り出し画面に切替

縦表示	横表示	機 能
[キャンセル]	キャンセル Cancel	1つ前の画面に戻る

スタンプを貼り付ける

- らくがきモード、アニメーション作成モードで操作できます。
- パレット表示中の操作については☞P.402

1 手書き入力画面で[パレット]

◆ **[スタンプ]▶スタンプの種類を選ぶ▶スタンプ連続の設定を選ぶ▶[決定]**

・データフォルダから選ぶとき:スタンプ連続の設定を選ぶ▶[マイピクチャから探す]▶画像を選ぶ▶[決定]

◆ **[文字スタンプ]▶入力する文字サイズや色を選ぶ▶[決定]▶文字を入力▶[決定]**

2 画面をタッチ

- タッチした位置にスタンプが貼り付けられます。
- [スタンプ連続ON]に設定したときは、画面をタッチしたままスライドすると一定間隔で貼り付けられます。

表示位置を移動する

画像を拡大して表示しているときに、画像を上下左右にスクロールできます。

- らくがきモード、アニメーション作成モードで操作できます。

1 手書き入力画面で[動かす]

2 画面をタッチしたままスライド

■ 表示位置移動画面のタッチパネル操作

- タッチパネルの主な操作については☞P.35
- 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機 能
[描く]	描く Draw	手書き入力画面に切替

縦表示	横表示	機　能
[縮小]	縮小 Zoom －	画像の縮小
[拡大]	拡大 Zoom ＋	画像の拡大

■ **表示位置移動画面のボタン操作**

画像を上下左右にスクロール	◙	手書き入力画面に切替	Fn＋1
		画像の縮小	Fn＋3
等倍⇔フィット	2	画像の拡大	Fn＋4
拡大／縮小	3／1		

画像を切り出して保存する<切り出して保存>

画像の一部を切り出したり、画像のサイズを変更して保存できます。

● らくがきモード、手書文字モードで操作できます。

1 手書き入力画面で[サブメニュー]▶[切り出して保存]

2 サイズを選ぶ

3 切り出し部分を指定▶[切出]

- 画面をタッチしたままスライドして切り出す範囲を枠内に表示させてください。サイズを[待受画面]にしたときは、画面に表示された範囲を切り出します。
- 切り出し部分を指定したあと、画面をタッチしても切り出すことができます。

4 [OK]

- タイトルの編集：[タイトル編集]▶タイトルを編集▶[決定]▶[保存]▶[OK]
- 保存先の変更：[フォルダ変更]▶フォルダにカーソルを合わせる▶[確定]▶[保存]▶[OK]

5 [終了]

- メールで送信したり、ブログ／SNSに投稿(☞P.237)：[✉／投稿]▶送信方法を選んでメール／デコメール®を作成・送信
- 高速赤外線通信で送信(IrSS™機能)(☞P.345)：[IrSS]▶送信方法を選ぶ

■ **切り出し画面のタッチパネル操作**

● タッチパネルの主な操作については☞P.35

● 表示されるボタンで次の操作ができます。

縦表示	横表示	機　能
[切出]	切出保存 Cut and Save	切り出して保存※
[キャンセル]	キャンセル Cancel	1つ前の画面に戻る
[縮小]	縮小 Zoom －	画面の縮小
[拡大]	拡大 Zoom ＋	画面の拡大

※ アニメーション作成のときは、横表示中に[OK]と表示され、アニメーション作成モードに切り替わります。

GIFアニメーションを作成する<アニメーション作成>

手書き入力した内容を自動的に5フレームに分割してGIFアニメーションを作成します。

1 手書き入力画面で[サブメニュー]▶[アニメーション作成]▶サイズを選ぶ

2 切り出し部分を指定

- 画面をタッチしたままスライドして切り出す範囲を枠内に表示させてください。サイズを[待受画面]にしたときは、画面に表示された範囲を切り出します。

3 [切出]

- 画面をタッチしても切り出すことができます。
- 画面右上に線を描画できる回数と、スタンプを貼り付けられる回数がそれぞれ表示されます。
- 切り出し画面のタッチパネル操作については☞P.404

4 手書き描画する

- らくがきモードと同様に線を描画したり、スタンプを貼り付けたりできます(☞P.400、P.403)。
  - ・線は、38回まで描画できます。

便利な機能

- 描画した線は、5色に変化します。
- スタンプは、2回まで貼り付けられます。
- JPEG画像／GIF画像のスタンプを貼り付けた場合、[軌跡スタンプOFF]に設定したときは、点滅します。[軌跡スタンプON]に設定したときは、スタンプを移動させた軌跡をたどりながら表示します。
- GIFアニメーションのスタンプを貼り付けた場合、[軌跡スタンプOFF]に設定したときは、GIFアニメーションを5分割して表示します。[軌跡スタンプON]に設定したときは、スタンプを移動させた軌跡をたどりながら1コマ目の画像を表示します。

● 作成したGIFアニメーションの保存については☞P.400「手書きメモを作成する」の操作3へ

- 作成したGIFアニメーションを高速赤外線通信(IrSS™機能)で送信することはできません。

設定状況確認

各種機能の設定状況を確認する

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[確認]▶[設定状況確認]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]

3 機能を選ぶ

マルチアクセス

マルチアクセス

FOMA端末では音声電話やｉモード通信、データ通信など、複数の通信を同時に利用できます。

● 同時に使用可能な通信機能の組み合わせについては☞P.505

通話中に他の通信を利用する

1 音声電話の通話中に[MULTI／]

2 機能を選ぶ

3 通信機能を利用する

● 通話中画面に戻る:[MULTI／]▶[音声電話]

通信中に音声電話を発信する

例:ｉモード中のとき

1 サイトなどで表示されている電話番号を選ぶ

2 []／[]▶[はい]

● サイトなどに戻る:通話終了▶

マルチアシスタント(マルチタスク)

マルチアシスタント(マルチタスク)

マルチアシスタント(マルチタスク)を使うと、複数の機能を同時に利用できます。

● 電話着信などにより、4つ以上の機能が同時に動くことがあります。

● 同時に使用可能な機能の組み合わせについては☞P.506

新しい機能を呼び出す

1 機能の利用中に[MULTI／]／[MULTI]

● 複数の機能の動作中に[MULTI／]／[MULTI]をタッチしたときは、アプリ切替画面が表示されます。画面をタッチしたまま左右(縦表示のとき)／上下(横表示のとき)にスライドするたびに、アプリ切替画面とアプリ起動画面が切り替わります。

● 音声電話の発信:アプリ起動画面／アプリ切替画面で▶電話番号を入力▶[]／

アプリ起動画面

2 機能を選ぶ

操作する機能を切り替える

1 複数の機能の動作中に[MULTI／]／[MULTI 長押 Hold]

2 機能を選ぶ

機能を終了する

■ 操作中の機能を終了する

1 複数の機能の動作中に

- 操作中の機能が終了し、動作中の他の機能が表示されます。

■ 機能を選んで終了する

1 複数の機能の動作中に[MULTI／]／[MULTI 長押 Hold]

2 [終了モード]▶終了する機能を選ぶ

- すべての機能を終了するとき：[全終了]▶[はい]

自動電源ON

自動的に電源をONにする

指定した時刻に自動的にFOMA端末の電源を入れます。

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください（☞P.55）。
- 自動電源ONを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くや、航空機内、病院など使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ自動電源ONを解除してから、FOMA端末の電源を切ってください。
- ランプの設定については☞P.111
- バイブレータの設定については☞P.97

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[自動電源ON／OFF]▶[自動電源ON]

2 [自動電源ON設定]欄を選ぶ▶[ON]

- 設定の解除：[OFF]▶[完了]

3 [時刻]欄を選ぶ▶時刻（24時間制）を入力▶[決定]

4 [アラーム設定]欄を選ぶ▶[ON]

- アラームの解除：[OFF]▶[完了]

5 [アラーム音]欄を選ぶ▶アラーム音にカーソルを合わせる▶[決定]

- アラーム音の確認：アラーム音を選ぶ

6 [アラーム音量]欄を選ぶ▶音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]

7 [完了]▶[確認]

■ 指定した時刻になると

自動的に電源が入り、確認メッセージが表示されます。

- アラーム設定を[ON]に設定しているときは、約15秒間アラームが鳴ります。画面をタッチするか、いずれかのボタン（Fn、Fn＋6、Fn＋7、Fn＋8、⇧を除く）を押すとアラームが止まります。
  - クイックサイレントでアラームを止めることもできます（☞P.100）。
- 指定した時刻に電源が入っていたときも、同様に動作します。
- 通話中や着信時は、通話終了後にアラームが鳴ります。

- 自動電源ONとアラーム（アラーム／スケジュール／視聴予約／録画予約）を同じ時刻に設定すると、自動電源ONが優先されます。自動電源ON通知終了後、アラームが動作します。
- 電池パックを取り外して電源を切ったときには、自動電源ONが動作しないことがあります。

アラーム設定時刻に自動で電源を入れてアラームを鳴らす<アラーム連動電源ON>

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[自動電源ON／OFF]▶[アラーム連動電源ON]

2 [ON]▶[確認]

- 設定の解除：[OFF]

自動電源OFF

自動的に電源をOFFにする

指定した時刻に自動的にFOMA端末の電源を切ります。

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください（☞P.55）。
- 自動電源OFFを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[自動電源ON／OFF]▶[自動電源OFF]**

2 **[自動電源OFF設定]欄を選ぶ▶[ON]**

- 設定の解除：[OFF]▶[完了]

3 **[時刻]欄を選ぶ▶時刻（24時間制）を入力▶[決定]▶[完了]**

■ 指定した時刻になると

自動的に電源が切れます。

- 指定した時刻に何かの操作をしていると、確認画面が表示されます。[はい]を選択するか、約1分間何も操作しないでそのままにしておくと、電源が切れます。

- 自動電源OFFとアラーム（アラーム／スケジュール／視聴予約／録画予約）を同じ時刻に設定すると、自動電源OFFが優先されます。
- 次の場合は、指定した時刻になっても確認画面が表示されません。通信・操作を終了し、通信・操作前の画面や待受画面に戻ると、確認画面が表示されます。
  - ■ 通話中 ■ 赤外線通信中 ■ パケット通信中
  - ■ ｉＣ通信中 ■ Bluetooth通信中 ■ ｉアプリ起動中
  - ■ microSDモード／MTPモード中 ■ ソフトウェア更新中

タイマー

一定の時間が経過するとアラームで知らせる

設定した時間が経過したときに、タイマー音やランプ、バイブレータでお知らせします。

- タイマー音は、画面をタッチするか、いずれかのボタン（Fn、Fn＋6、Fn＋7、Fn＋8、⇧を除く）を押すと止まります。
  - ・クイックサイレントでタイマー音を止めることもできます（☞P.100）。
- タイマー音の設定については☞P.95
- ランプの設定については☞P.111
- バイブレータの設定については☞P.97

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[タイマー]**

2 **時間（00分01秒～99分59秒）を入力▶[開始]**

- 時間を3分にリセット：[リセット]
- カウント停止／開始：[停止]／[開始]
- タイマー解除：終話キー

- タイマーを利用中に着信やメール受信があっても、タイマーは継続します。ただし、通話中やメール受信中など、タイマーが表示されていないときに設定した時間が経過しても、アラームは動作しません。

■ 待受画面からタイマーを使う<タイマー>

1 **待受画面で✓▶時間（1～99分）を入力▶[クイック]▶[タイマー]**

アラーム

指定した時刻にアラームで知らせる

指定した時刻・曜日に、アラーム音やランプ、バイブレータでお知らせします。

- アラームは9件まで登録できます。
- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください（☞P.55）。
- ランプの設定については☞P.111
- バイブレータの設定については☞P.97

アラームを登録する<アラーム>

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[アラーム]

- 待受画面で待受時計の時間を選んでも起動できます(待受時計表示設定が[ON(大)]のとき)。

2 登録先を選ぶ

3 [時刻入力]▶時刻(24時間制)を入力▶[決定]

4 [繰り返し設定]▶繰り返し方法を選ぶ

- [曜日指定]のとき:[曜日指定]▶曜日を選ぶ▶[完了]
  - [休日設定日を除く]を選択した場合、スケジュールで休日設定・祝日設定されている日はアラームが動作しません。

5 [メッセージ]▶メッセージを入力▶[決定]

- 全角30文字(半角60文字)まで入力できます。

6 [連絡先]▶入力方法を選ぶ

◆ **[電話帳検索]▶名前を選ぶ**

◆ **[直接入力]▶電話番号を入力▶[決定]**

7 [アラーム音選択]▶アラーム音にカーソルを合わせる▶[決定]

- アラーム音の確認:アラーム音を選ぶ
- アラームを鳴らさないとき:[アラーム音選択]▶[設定なし]

8 [アラーム音量選択]▶音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]

9 [スヌーズ設定]▶[ON]▶間隔を入力▶[決定]▶回数を入力▶[決定]

- アラームが鳴る間隔と回数を設定できます。

10 [鳴動時間]▶鳴動時間を入力▶[決定]

11 [完了]

- ダイヤル発信制限中は、連絡先を登録できません。

- 複数のアラームを同じ時刻に設定したときは、次の優先順位で動作します。

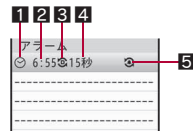
	優先順位(高→低)
アラーム機能	録画予約→視聴予約→アラーム→スケジュール

  - 視聴予約と録画予約を同じ時刻に設定したときは、視聴予約アラームは動作しません。

■ 待受画面からアラームを設定する<クイックアラーム>

1 待受画面で[ペン]▶時刻(4桁:24時間制)を入力▶[クイック]▶[クイックアラーム]

- 日時は当日(時刻が過ぎているときは翌日)(終日設定:[OFF])、件名とアイコンは[予定]、詳細は[クイックアラーム]としてスケジュールに登録されます。

アラーム設定内容画面の見かた

1 アラーム設定中マーク
2 設定時刻
3 繰り返し設定の内容表示

アイコン	内容	アイコン	内容	アイコン	内容
1	1回のみ	W	曜日指定	D	毎日

4 鳴動時間
5 スヌーズ設定中マーク

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。連絡先が登録されているときは、アラームを止めると連絡先が表示されます。

- 登録されている連絡先に電話をかける：連絡先表示▶［電話］▶電話をかける
  - 連絡先には電話番号または名前（電話帳に登録されているとき）が表示されます。名前が表示されているときは、［電話］をタッチすると電話帳内容表示画面（☞P.89）が表示されます。
- アラーム鳴動時間が過ぎると、アラームが止まり、アラーム時間が過ぎた旨のメッセージが表示されます。

アラーム鳴動中のボタン操作

アラーム停止（スヌーズは動作）	画面をタッチするか、いずれかのボタン（、、Fn、Fn＋6、Fn＋7、Fn＋8、を除く）を押す
アラーム停止（スヌーズ解除）	
音量調節（音量０～10）※	または上下にすばやくスライド

※ アラーム音量を［ステップトーン］に設定しているときは調節できません。

- クイックサイレントでアラームを止めることもできます（☞P.100）。ただし、スヌーズは動作します。

- 次の場合は、設定時刻になってもアラームが動作しません。通信・操作を終了し、通信・操作前の画面や待受画面に戻ると、アラームが動作します。
  - ■ 通話中
  - ■ メール受信中
  - ■ 赤外線通信中
  - ■ パケット通信中
  - ■ ｉＣ通信中
  - ■ Bluetooth通信中
  - ■ 赤外線リモコン操作中
  - ■ microSDモード／MTPモード中
  - ■ ソフトウェア更新中※

  ※ ソフトウェア更新中に設定時刻になったときは、操作を終了してもアラームが動作しないことがあります。
- スヌーズ中に通話を開始したときは、スヌーズ通知が中断されます。通話終了後にスヌーズ通知が再開されます。
- スヌーズ中またはスヌーズが設定されたアラームが鳴動中は、別のアラーム／スケジュールアラームは設定した時刻になっても動作しません。
- バイブレータが［ON］のマナーモードを設定中は、バイブレータ設定が［OFF］でも、［パターン１］で振動します。

ピクチャーコールが設定されている電話帳を連絡先に設定したとき
- アラーム動作時にピクチャーコールの画像が表示されます。
- ピクチャーコールにｉモーションが登録されているときは、通常のアラーム画面が表示されます。
- アラーム音に映像と音を含んだｉモーションを設定しているときは、ｉモーションの映像が優先されます。
- アラーム音を［きせかえツールに従う］に設定しているときは、きせかえツールの設定が優先されます。

ワンセグ視聴中にアラーム時刻になったとき
- オープンポジションのときはマルチウインドウになり、クローズポジションのときはワンセグを中断して、アラームが動作します。アラームを終了すると、アラーム動作前の状態に戻ります。

アラームを解除／削除／再設定する

アラームは、１件ごとに解除／削除／再設定できます。削除すると登録内容が消えますが、解除しても登録内容は消えません。再設定を行うことで、再び同じ内容でアラームを動作させることができます。

1 カスタムメニューで［LifeKit］▶［アラーム］

2 登録先にカーソルを合わせる▶解除／削除／再設定する
- 解除／再設定：［解除］／［設定］
- 削除：［削除］▶［はい］

クラシックスケジュール

スケジュールを管理する

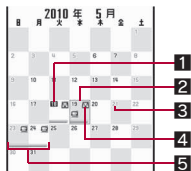
予定の日時、件名などを登録して管理できます。アラームの設定やメッセージ表示などもできます。
- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください（☞P.55）。
- スケジュールは2500件まで登録できます。
- 2000年１月１日～2099年12月31日まで登録できます。
- ｉコンシェルをご契約されている場合、お預かりセンターからの更新や、サイトからのダウンロードによりスケジュールに表示されます。
- 配信されたスケジュールを編集して新規登録することもできます。

カレンダーを表示する<カレンダー>

スケジュール機能で登録した予定や、視聴予約・録画予約の内容を確認できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[クラシックスケジュール]

- 前月／次月を表示：[前月]／[次月]または左右にすばやくスライド

■ カレンダー画面の見かた

1 本日（反転表示）
2 選択している日（黒線枠で表示）
3 休日設定／祝日設定されている日（赤色で表示）
4 登録されている予定（カテゴリ別にアイコンで表示）
- 視聴予約には[ ]、録画予約には[ ]が表示されます。

5 予定が登録されている日（アンダーライン表示）

■ カレンダー画面のサブメニュー操作

[新規作成]	☞P.410
[削除]	
▶[過去全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい] ● 選択した予定の前日までの予定を削除します。	
▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]	
[表示]	
▶[スケジュール全件表示]	☞P.414
▶[カテゴリ・フィルタリング]▶カテゴリアイコンを選ぶ	
▶[連絡先別表示]▶連絡先を選ぶ	
▶[日付指定表示]▶日付を入力▶[決定]	
[設定]	
▶[休日設定]	☞P.412
▶[祝日設定]	☞P.412
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.384
▶[ｉＣ送信]	☞P.386
▶[Bluetooth送信]	☞P.431
[microSDへ全件コピー]	☞P.368
[microSDデータ参照]	☞P.373
[お預かりセンターに接続] ● 以降の操作については☞P.131「データを選んでお預かりセンターに保存する」の操作3へ	

■ 待受画面から日付を入力してカレンダーを表示する<スケジュール>

1 待受画面で[ ]▶日付を入力▶[クイック]▶[スケジュール]

- 日付入力と表示されるカレンダーの対応は次のとおりです。
  - ■ 01～31：今月のカレンダー（1日～31日）
  - ■ 0101～1231：指定月日のカレンダー（1月1日～12月31日）
  - ■ 20000101～20991231：指定年月日のカレンダー（2000年1月1日～2099年12月31日）

スケジュールを登録する<新規作成>

- 日時と件名は必ず設定してください。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[クラシックスケジュール]▶[サブメニュー]▶[新規作成]

- 予定リスト画面で[新規]をタッチしても操作できます。

2 **[日時]欄を選ぶ**
- 終日設定:[終日設定]▶設定を選ぶ

3 **[開始]欄を選ぶ▶開始日を入力▶時間(24時間制)を入力▶[終了]欄を選ぶ▶終了日を入力▶時間(24時間制)を入力▶[決定]**
- 終日設定を[ON]に設定したときは、開始時間と終了時間を設定できません。開始日の00:00～終了日の23:59の予定として登録されます。
- カレンダーから日付を選ぶとき:日時設定画面で[切替]▶日付を選ぶ
- 日時設定のリセット:[リセット]

4 **繰り返し方法を選ぶ**
- [1回のみ]のとき:[1回のみ]▶操作6へ
- [曜日指定]のとき:[曜日指定]▶曜日を選ぶ▶[完了]
- 開始日と終了日が異なる場合、[1回のみ]以外は選択できません。

5 **繰り返し回数を入力▶[決定]**
- 繰り返しの回数に「00」を入力したときは、繰り返し回数は制限なしとなります。

6 **[場所]欄を選ぶ▶場所を入力▶[決定]**
- 全角25文字(半角50文字)まで入力できます。

7 **[件名]欄を選ぶ▶件名を入力▶[決定]**
- 全角25文字(半角50文字)まで入力できます。

8 **[詳細]欄を選ぶ▶スケジュールの詳細を入力▶[決定]**
- 全角300文字(半角600文字)まで入力できます。

9 **[アイコン]欄を選ぶ▶カテゴリアイコンを選ぶ**

10 **アラームを設定する**
- アラームの設定については☞P.411

11 **[画像]欄を選ぶ▶[マイピクチャ]▶静止画にカーソルを合わせる▶[決定]**
- 静止画の確認:静止画を選ぶ
- 登録した画像は、予定リスト画面やスケジュール詳細画面に表示されます。

12 **[連絡先]欄を選ぶ▶入力方法を選ぶ**
- ◆ **[電話帳検索]▶名前を選ぶ**
- ◆ **[直接入力]▶電話番号を入力▶[決定]**
- 登録した連絡先は、スケジュール詳細画面に表示され、電話をかけることができます。

13 **[シークレット]欄を選ぶ▶設定を選ぶ▶[完了]**

- ダイヤル発信制限中は、連絡先を登録できません。

シークレット登録について
- シークレット登録したスケジュールは、シークレットモードを[ON]に設定すると表示されます。また、設定したアラームは動作しますが、電話番号やメッセージ、画像は表示されません。

■ カレンダーからカテゴリアイコンのみを登録する

- スケジュールには、次の内容が登録されます。
  - ■ 日時:カーソル日+操作した時間(終日設定:[OFF])
  - ■ 件名:選択したカテゴリアイコン名
  - ■ アイコン:選択したカテゴリアイコン

1 **カレンダー画面で日付にカーソルを合わせる▶[アイコン]**

2 **カテゴリアイコンを選ぶ**

アラームを設定する

予定の開始時刻前にアラームでお知らせするように設定できます。
- ランプの設定については☞P.111
- バイブレータの設定については☞P.97

1 **スケジュールの予定登録画面で[アラーム]欄を選ぶ▶[ON]**

2 **[アラーム時刻]▶アラーム時刻(予定開始時刻の何分前)を入力▶[決定]**

3 **[鳴動時間]▶鳴動時間を入力▶[決定]**

4 [アラーム音選択]▶アラーム音にカーソルを合わせる▶[決定]

- アラーム音の確認:アラーム音を選ぶ
- アラームを鳴らさないとき:[アラーム音選択]▶[設定なし]

5 [アラーム音量選択]▶音量バーをタッチしたまま上下にスライド▶[決定]

6 [完了]

- 同じ時刻に複数のスケジュールアラームを設定すると、設定した回数、アラームが鳴ります。

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。連絡先が登録されているときは、アラームを止めると連絡先が表示されます。

- アラームの止めかたや音量調節については☞P.409

- 次のようなときは、アラーム画面に画像や映像が表示されます。
  - ■ スケジュールに画像を設定しているとき
  - ■ アラーム音に映像を含んだｉモーションを設定しているとき
  - ■ 連絡先として登録した電話帳にピクチャーコール(静止画)が設定されているとき
- アラーム画面には、画像や映像が次の優先順位で表示されます。

	優先順位(高→低)
画像	アラーム音に設定したｉモーション→スケジュールの画像→電話帳のピクチャーコール設定→グループピクチャーコール設定→通常のアラーム画像

休日を登録/解除する<休日設定>

特定の日や曜日を休日に設定できます。また、設定した休日を解除することもできます。

- 休日は100件まで設定できます。
- 設定した休日は、赤色で表示されます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[クラシックスケジュール]

2 日付にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[設定]▶[休日設定]

- 毎週同じ曜日を休日に設定したり、休日をすべて解除するときは、日を選ぶ必要はありません。

3 設定/解除方法を選ぶ

- ◆ **[当日設定/解除]**
- ◆ **[曜日指定設定]▶曜日を選ぶ▶[完了]**
- ◆ **[過去全解除]▶[はい]**
  - ・過去の休日のみすべて(曜日指定で設定した休日を除く)解除できます。
- ◆ **[全解除]▶[はい]**

- 全解除を行うと、曜日指定で設定した休日はお買い上げ時の設定に戻ります。

祝日を登録/解除する<祝日設定>

- あらかじめ登録されている国民の祝日のほかに、20件まで設定できます。
- お買い上げ時は、カレンダーには「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律(平成17年法律第43号)」に基づいた祝日が登録されています(2010年１月現在)。春分の日、秋分の日の日付は前年の２月１日の官報で発表されるため異なるときがあります。
- 設定した祝日は、赤色で表示されます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[クラシックスケジュール]

2 日付にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[設定]▶[祝日設定]

- 祝日を解除するときは、日を選ぶ必要はありません。

3 設定／解除を選ぶ

◆ ［新規登録］▶設定方法を選ぶ▶祝日名を入力▶［決定］
- ・全角25文字(半角50文字)まで入力できます。

◆ ［初期設定に戻す］▶［はい］

スケジュールを確認する

1 カスタムメニューで［LifeKit］▶［クラシックスケジュール］

2 日付を選ぶ

- 前日／翌日の予定リスト画面を表示：［前日］／［翌日］または左右にすばやくスライド

予定リスト画面

1 日付
2 当日に登録されている件数
3 タイムバー
- スケジュールの開始時刻～終了時刻までの目安が、30分単位で表示されます。

4 アラームの有無
5 予定時刻
6 件名
- 件名が先頭から全角８文字分(半角16文字分)まで表示されます。

7 カテゴリアイコン
8 画像
- スケジュールに登録されている画像、または連絡先に設定されている電話帳のピクチャーコールの画像が表示されます。

3 予定を選ぶ

- 前後のスケジュール詳細画面を表示：左右にすばやくスライド
- １つ前／次に予定が登録されている日のスケジュール詳細画面を表示：［前日］／［翌日］
- 登録されている連絡先に電話をかける：［電話］▶電話をかける
  - ・連絡先には電話番号または名前(電話帳に登録されているとき)が表示されます。名前が表示されているときは、［電話］をタッチすると電話帳内容表示画面(☞P.89)が表示されます。

スケジュール詳細画面

■ 予定リスト画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、カレンダー画面のサブメニュー操作(☞P.410)を参照してください。
  - ■ 新規作成
  - ■ 表示(スケジュール全件表示、カテゴリ・フィルタリング、連絡先別表示、日付指定表示)
  - ■ データ送信　■ microSDデータ参照　■ お預かりセンターに接続

［編集］	☞P.414
［削除］	
▶［１件削除］▶［はい］	
▶［選択削除］▶予定を選ぶ▶［完了］▶［はい］	
［表示］	
▶［電話帳表示］ ● 連絡先に登録した電話帳内容表示画面(☞P.89)を表示し、電話をかけたり、メールを送信できます。	
［メール添付］▶メールを作成・送信	
［microSDへコピー］	☞P.368

［メール添付］について
- 視聴予約や録画予約のスケジュールは添付できません。

便利な機能

■ スケジュール詳細画面のサブメニュー操作

[編集] ☞P.414

[1件削除] ▶ [はい]

[画像確認]

[電話帳表示]
● 連絡先に登録した電話帳内容表示画面(☞P.89)を表示し、電話をかけたり、メールを送信できます。

[メール添付] ▶ メールを作成・送信
● [メール添付]について☞P.413

[コピー]
▶ [コピー]
▶ [microSDへ1件コピー] ☞P.369

[データ送信]
▶ [赤外線送信] ☞P.384
▶ [iC送信] ☞P.386
▶ [Bluetooth送信] ☞P.431

[お預かりセンターに接続]
● 以降の操作については☞P.131「データを選んでお預かりセンターに保存する」の操作3へ

[コピー]について
● コピーしたスケジュールは、メール本文や電話帳などの文字入力画面で、貼り付けたりすることができます。

すべてのスケジュールを表示する <スケジュール全件表示>

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [クラシックスケジュール]

2 [サブメニュー] ▶ [表示] ▶ [スケジュール全件表示]
- 予定の確認:予定を選ぶ
- 前ページ/次ページの表示:[◀ページ]/[▶ページ]

■ スケジュール全件表示画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、カレンダー画面のサブメニュー操作(☞P.410)を参照してください。
- ■ 新規作成　■ 削除(過去全件削除、全件削除)
- ■ 表示(スケジュール全件表示、カテゴリ・フィルタリング、連絡先別表示、日付指定表示)
- ■ データ送信　■ microSDデータ参照　■ お預かりセンターに接続

● 次の機能については、予定リスト画面のサブメニュー操作(☞P.413)を参照してください。
- ■ 編集　■ 削除(1件削除、選択削除)　■ 表示(電話帳表示)
- ■ メール添付　■ microSDへコピー

スケジュールを修正する<編集>

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [クラシックスケジュール]

2 日付を選ぶ

3 予定にカーソルを合わせる ▶ [サブメニュー] ▶ [編集]

4 予定を修正 ▶ [完了]
- 修正方法は、登録時の操作と同様です(☞P.410)。

5 登録方法を選ぶ
- ◆ [新規登録]
- ◆ [上書登録] ▶ [はい]

■ 設定した祝日内容を変更する<編集>

1 カレンダー画面で変更する祝日を選ぶ

2 祝日設定にカーソルを合わせる ▶ [サブメニュー] ▶ [編集]

3 日付を入力 ▶ [決定]

4 設定方法を選ぶ

5 祝日名を入力 ▶ [決定]

クイック検索

いろいろな方法で検索する

電子辞書やｉアプリ「ネット辞典」、GPS対応ｉアプリ、サポートブック、検索サイトなどを利用することができます。

- ｉアプリ辞書の登録については☞P.287
- 検索サイトの登録については☞P.415
- GPS対応ｉアプリの登録については☞P.287

内蔵辞書	あらかじめ登録、設定した電子辞書を利用して検索します。電子辞書は５つまで登録でき、検索時に電子辞書を変更して検索することもできます。
ｉモードで探す(文字入力)	キーワードを文字入力し、ｉモードに接続してサイトを検索します。
ｉMenuから探す	ｉモードに接続して、ｉMenuから検索します。
地図検索(文字入力)	GPS対応ｉアプリを起動して、文字入力で地図検索します。
サポートブック	サポートブックを利用して検索します。 ● サポートブックについては☞P.45
ｉアプリ辞書	ｉアプリ「ネット辞典」を起動して検索します。
ｉモードで探す(音声入力)	キーワードを音声入力し、ｉモードに接続してサイトを検索します。
フルブラウザで探す	キーワードを文字入力し、フルブラウザに接続してサイトを検索します。検索サイトは変更できます。
地図検索(音声入力)	GPS対応ｉアプリを起動して、音声入力で地図検索します。
データBOX検索	データBOX内のデータを検索します。 ● データBOX検索については☞P.379

1 **待受タッチランチャで[クイック検索]**

2 **検索方法を選ぶ**

◆ **[内蔵辞書]▶検索文字列を入力▶検索結果を選ぶ**
- 入力モードの切替：[文字]
- 文字を入力するたびに、検索ウィンドウの下に検索結果が表示されます。
- 検索文字列をすべて入力してから検索：検索ウィンドウをタッチ▶検索文字列を入力▶[決定]▶検索結果を選ぶ

◆ **[ｉモードで探す(文字入力)]▶検索文字列を入力して検索する**

◆ **[ｉMenuから探す]▶検索する**

◆ **[地図検索(文字入力)]▶検索条件を選ぶ▶検索文字列を入力して検索する**

◆ **[サポートブック]▶検索する**

◆ **[ｉアプリ辞書]▶検索する**

◆ **[ｉモードで探す(音声入力)]▶検索文字列を音声入力して検索する**
- 音声入力については☞P.445

◆ **[フルブラウザで探す]▶検索文字列を入力して検索する**

◆ **[地図検索(音声入力)]▶検索条件を選ぶ▶検索文字列を音声入力して検索する**

◆ **[データBOX検索]▶検索する**

■ クイック検索画面のサブメニュー操作

[内蔵辞書登録] ☞P.416

[フルブラウザ検索先変更]▶検索サイトを選ぶ▶[はい]
- 利用する検索サイトを設定します。

■ 内蔵辞書画面のサブメニュー操作

[辞書設定]▶電子辞書を選ぶ
- 検索する電子辞書を変更します。

[キーワード検索]▶検索文字列を入力▶[決定]

[縦横切替HOLD]▶設定を選ぶ
- FOMA端末を傾けると縦／横表示が切り替わるとき、一時的に縦／横表示を切り替えないよう設定できます。

[辞書設定]について
- 設定した電子辞書には[◙]が表示されます。

[縦横切替HOLD]について
- クローズポジションのときに操作できます。

利用する電子辞書を設定する<内蔵辞書登録>

1 待受タッチランチャで[クイック検索]

2 [サブメニュー]▶[内蔵辞書登録]

3 電子辞書を選ぶ

- 設定した電子辞書には[●]が表示されます。

■ 内蔵辞書一覧画面のサブメニュー操作

[辞書登録]▶電子辞書を選ぶ▶[はい]
- 利用する電子辞書を登録します。

[登録解除]▶[はい]
- 登録している電子辞書を解除します。

[辞書登録]について
- 辞書登録されている電子辞書には[■]が表示されます。

受信メール詳細画面でクイック検索を利用する<クイック検索>

- デコメアニメ®表示中はクイック検索できません。
- [内蔵辞書]、[ｉモードで探す(文字入力)]、[ｉアプリ辞書]のみ選択できます。

1 受信メール詳細画面で[サブメニュー]▶[クイック検索]

2 検索する文字列の開始位置で[開始]▶終了位置で[コピー]

3 辞書で調べる

所有者情報登録

自分の名前や画像を登録する

- お買い上げ時は、取り付けたFOMAカードの電話番号のみが登録されています。その他に、次の項目が登録できます。

アイコン	登録項目
👤	名前(全角16文字(半角32文字)まで)
ｶﾅ	フリガナ(半角32文字まで)
☎	ご契約の電話番号(編集不可)
☎	電話番号(2件、1件あたり26桁まで)
✉	メールアドレス(3件、1件あたり半角50文字まで)
🏢	会社・学校(全角20文字(半角40文字)まで)
🏢	会社・学校のフリガナ(半角40文字まで)
⊞	所属(全角30文字(半角60文字)まで)
▭	役職(全角20文字(半角40文字)まで)
〒	郵便番号(半角数字7桁まで)
▭	住所(全角50文字(半角100文字)まで)
🎂	誕生日(半角数字、1900年1月1日〜2099年12月31日まで)
▭	メモ(全角100文字(半角200文字)まで)
▭	所有者画像

1 カスタムメニューで[電話]▶[自局番号表示]▶[詳細]

- 横表示メニューで[0]▶[■]でも操作できます。
- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定しているときは、Aナンバーの所有者情報が表示されます。
- Aナンバー／Bナンバーの切替(2in1[デュアルモード]時)：[Aナンバー]／[Bナンバー]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[サブメニュー]▶[編集]

3 所有者情報を登録▶[完了]
- 登録方法は、電話帳と同様です（☞P.83）。

■ 登録時にメールアドレスを自動で入力する<自動取得>

1 所有者情報登録画面で[ ]

2 [自動取得]
- FOMA端末のメールアドレスが自動で入力されます。
- 自分で入力するとき：[直接入力]▶メールアドレスを入力▶[決定]▶メールアドレス種別アイコンを選ぶ

- iモードのメールアドレスを変更しても、所有者情報詳細画面に表示されるメールアドレスは、自動的には更新されません。メールアドレスは登録し直してください。
- 2in1契約時に自動取得を行った場合、登録されているすべてのメールアドレスが入力されます。ただし、確認できるメールアドレスは2in1のモードによって異なります。
- microSDカード内の電話帳の内容を所有者情報にコピーすることもできます（☞P.89）。

所有者情報の詳細を表示する<自局番号表示>

1 カスタムメニューで[電話]▶[自局番号表示]▶[詳細]
- 横表示メニューで0▶■でも操作できます。

2 端末暗証番号を入力▶[OK]
- 表示項目の選択：項目をタッチ

■ 所有者情報詳細画面のサブメニュー操作

項目	参照
[編集]	☞P.416
[コピー]	
▶[項目コピー] ● 登録内容をコピーします。	
▶[microSDへコピー]	☞P.369
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.384
▶[iC送信]	☞P.386
▶[Bluetooth送信]	☞P.431
[画像転送設定] ● 画像を転送するかどうかを設定します。	
▶[する]▶[はい]	
▶[しない]	
[2in1契約問い合わせ]▶[はい] ● 2in1のBナンバーを確認します。	

通話中音声メモ／待受中音声メモ

通話中の相手の声や待受中の自分の声を録音する

音声電話の通話中に相手の声（通話中音声メモ）を録音したり、待受中に自分の声（待受中音声メモ）を録音できます。
- 録音時間は1件につき約15秒で、音声電話伝言メモ（☞P.74）と合わせて3件まで録音できます。
- 音声メモが約3秒以下のときは、録音されないことがあります。
- 通話中音声メモ、待受中音声メモの再生／削除については☞P.76

通話中に相手の声を録音する<通話中音声メモ>

1 音声電話の通話中に[サブメニュー]▶[通話中音声メモ]
- 録音停止：[停止]
- 録音は約15秒で自動的に終わります。

- 通話中音声メモでは、自分の声は録音されません。ただし、回線の状態などによっては、自分の声が録音されることがあります。
- 圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。

待受中に自分の声を録音する<待受中音声メモ>

1 クイック設定で[音声伝言メモ]▶[録音]

- 録音停止:[停止]
- 送話口から約10cm以内でお話しください。
- 録音は約15秒で自動的に終わります。

- 録音した待受中音声メモは、応答保留音や保留音(☞P.72)、応答メッセージ(☞P.75)に設定できます。
- 録音中はボタン/タッチ音は鳴りません。
- 録音中に電話がかかってくると録音は中止されます(中止前までの内容は録音されています)。

通話時間/料金確認

通話時間/料金を表示する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間として音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内(104)などに通話した場合は、[0円]もしくは[******円]が表示されます。
- テレビ電話と音声電話を切り替えて使用した場合の料金表示は、[音声電話通話料金○○円]、[テレビ電話通話料金○○円]と表示されます。複数回切り替えた場合は、音声電話、テレビ電話ごとに、それぞれが合算されて表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金(2004年12月から積算開始)が表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間/料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

通話明細を表示する<通話時間/料金確認>

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[通話時間/料金確認]

- FOMAカードの読み込み中は、その旨を示すメッセージが表示されます。
- iモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- 前回の通話時間が9時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 積算の通話時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 着信があったり、電源を切ったりした場合、前回通話料金は[******円]になります。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 2in1をご契約いただいている場合、積算通話料金には、AナンバーとBナンバーの合計の金額が表示されます。

通話時間と通話料金をリセットする <積算料金リセット/積算通話時間リセット>

前回の通話時間および積算の通話時間・通話料金の記憶を「0」に戻すことができます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[通話時間/料金確認]▶[リセット]

2 リセットする項目を選ぶ

- ◆ **[積算料金リセット]▶PIN2コードを入力▶[OK]**
- ◆ **[積算通話時間リセット]▶端末暗証番号を入力▶[OK]**

3 [はい]

- 積算通話時間をリセットすると、リセットした年月日が記憶されます。積算通話料金をリセットすると、リセットした年月日とリセット時の積算通話料金が記憶されます。

通話料金の上限を設定して知らせる
＜料金上限通知設定＞

設定した通話料金の上限を超えた通話が終了したあと、待受画面に戻ったときにストックアイコンを表示したり、アラームで知らせるように設定できます。また、毎月１日に通話料金をリセットすることもできます。

1 カスタムメニューで[設定] ▶ [NWサービス] ▶ [通話時間／料金確認] ▶ [上限通知] ▶ [料金上限通知設定]

2 端末暗証番号を入力 ▶ [OK]

3 [料金上限通知設定]欄を選ぶ ▶ [有効]

4 [料金上限額設定]欄を選ぶ ▶ 上限額を入力 ▶ [決定]

5 [通知方法選択]欄を選ぶ ▶ 通知方法を選ぶ

◆ **[アラーム＋待受け] ▶ アラーム音、アラーム音量、鳴動時間を設定する ▶ [完了]**
  - ・設定方法については☞P.411「アラームを設定する」の操作３～５へ

◆ **[待受け]**

6 [自動リセット]欄を選ぶ ▶ 設定を選ぶ ▶ [完了]

- [ON]に設定すると、毎月１日午前０時に通話料金をリセットします。

7 PIN2コードを入力 ▶ [OK]

- 自動リセットを[ON]に設定すると、日時設定（☞P.55）で翌月以降に日時を変更したときも通話料金がリセットされます。
- 料金上限通知メッセージが表示されているときに、料金上限通知を再設定すると料金上限通知メッセージが削除されます。

■ 待受画面の料金上限通知メッセージを削除する

1 待受画面でストックアイコン[¥]（積算料金　上限超過）を選ぶ

2 端末暗証番号を入力 ▶ [OK]

- 料金上限通知メッセージを削除すると、積算通話料金をリセットするか、料金上限通知を再設定するまで、料金上限通知メッセージは表示されなくなります。

電卓

電卓として使う

- メモリ計算、パーセント計算、消費税計算なども利用できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [電卓]

- 待受画面では：[✎] ▶ 数字を入力 ▶ [クイック] ▶ [電卓]

2 計算する

- [TAX]：２回タッチすると税抜き額が表示されます。
  - ・[✎]でも操作できます。
- [COPY]：計算内容をコピーします。

電卓のボタン操作

数字入力	0～9	C・CE（入力数字削除）	CLR、␣
小数点	M	RM（メモリ呼出し）	P
＋／－の切替	K	%（パーセント計算）	J
＋（加算）	◀	TAX（消費税計算）	L※1
－（減算）	▶	M+（メモリ加算）	I
×（乗算）	▲	CM（クリアメモリ）	O
÷（除算）	▼	コピー	↵※2
＝（計算の実行）	●		

※１　２回押すと税抜き額が表示されます。
※２　計算内容をコピーします。

便利な機能

- メモリ計算を利用すると、電卓を終了しても計算結果は保存されています。
- 消費税計算は小数点以下は切り捨てられます。

■ 税率を変更する

1 電卓画面で[TAX]をロングタッチ▶税率(01〜99)を入力▶[決定]

- L(1秒以上)でも操作できます。

テキストメモ

メモを入力する

よく利用する文章を登録しておき、メールやスケジュールを作成するときに利用できます。

- テキストメモは10件まで登録できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[テキストメモ]▶[新規]

2 [本文]欄を選ぶ▶本文を入力▶[決定]

- 全角500文字(半角1000文字)まで入力できます。

3 [分類]欄を選ぶ▶分類アイコンを選ぶ▶[完了]

■ テキストメモ一覧画面のサブメニュー操作

[作成]	
▶[新規作成]	☞P.420
▶[メール作成]▶メールを作成・送信	
▶[スケジュール作成]▶スケジュールを登録	
[編集]	☞P.421
[削除]	
▶[1件削除]▶[はい]	
▶[選択削除]▶テキストメモを選ぶ▶[完了]▶[はい]	
▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]	
[microSDへコピー]	☞P.368
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.384
▶[iC送信]	☞P.386
▶[Bluetooth送信]	☞P.431
[microSDデータ参照]	☞P.373
[お預かりセンターに保存]	☞P.131

[メール作成]について

- あらかじめ、メールの本文にメモの本文が入力されています。

[スケジュール作成]について

- 表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されます。
  - ■ 件名:テキストメモの分類アイコン名
  - ■ 詳細:テキストメモの本文
  - ■ アイコン:テキストメモの分類アイコン
- 全角300文字(半角600文字)を超えた文字は破棄されます。

メモを確認する

テキストメモの情報を利用して、メールやスケジュールが作成できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[テキストメモ]

2 テキストメモを選ぶ

■ テキストメモ表示画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、テキストメモ一覧画面のサブメニュー操作(☞P.420)を参照してください。
  ■ 作成(メール作成、スケジュール作成)　■ 編集　■ データ送信

[1件削除]▶[はい]

便利な機能

［microSDへ1件コピー］ ☞P.369

［お預かりセンターに保存］

● 以降の操作については☞P.131「データを選んでお預かりセンターに保存する」の操作3へ

メモを修正する

1 カスタムメニューで［LifeKit］▶［テキストメモ］

2 テキストメモにカーソルを合わせる▶［サブメニュー］▶［編集］

3 テキストメモを修正▶［完了］

• 修正方法は、登録時の操作と同様です（☞P.420）。

4 登録方法を選ぶ

◆ ［新規登録］

◆ ［上書登録］▶［はい］

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

ステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続すると、スイッチを押して電話などをかけたり受けたりできます。

● 外部接続端子カバーは無理に引っ張らないでください。破損することがあります。
● ステレオイヤホンマイクを接続すると、ボタン／タッチ音、待受ｉモーション音は、イヤホンから聞こえます。
● イヤホンからの受話音量は受話音量選択（☞P.96）で設定されている音量で聞こえます。
● スイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話をかけたり、受けたりすることがあります。
● ステレオイヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。内蔵アンテナが正しくはたらかないことがあります。
● ステレオイヤホンマイクのコードを内蔵アンテナに近づけると、ノイズが入ることがありますので、ご注意ください。
● プラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全で途中で止まっていると音が聞こえないことがあります。
● 通話中にプラグの差し込みが不完全なときは「プー」という音がしますが故障ではありません。
● 電源を入れたときや操作したときに「パチッ」という音がすることがありますが故障ではありません。

スイッチ付イヤホンマイクの動作を設定する <イヤホンスイッチ発信設定>

ステレオイヤホンマイクのスイッチのみで音声電話をかけるように設定できます。あらかじめ相手の電話番号をFOMA端末電話帳に登録し、そのメモリ番号を指定します。

● Bluetooth機器をヘッドセットサービスで接続しているときもイヤホンスイッチ発信設定に従います。
● FOMA端末電話帳のメモリ番号000～999から1件のみ登録することができます。

1 カスタムメニューで［設定］▶［通話･通信機能設定］▶［イヤホンスイッチ発信設定］▶［音声発信］

2 メモリ番号を入力▶［決定］

スイッチを使って音声電話をかける

● あらかじめステレオイヤホンマイクを接続しておいてください。

■ イヤホンスイッチ発信設定で指定したメモリ番号に発信する

1 待受画面でスイッチを2秒以上押す

• ディスプレイの表示が消えているときは、スイッチを1回押し、ディスプレイを表示させてから操作してください。

2 通話が終わったら、スイッチを2秒以上押す

■ 電話番号を入力して発信する

1 待受画面で[発信キー] ▶ 電話番号を入力 ▶ スイッチを2秒以上押す

- 電話帳やリダイヤル、着信履歴からも発信できます。

2 通話が終わったら、スイッチを2秒以上押す

- イヤホンスイッチ発信設定で設定したメモリ番号に電話番号が複数登録されているときは、1件目に登録されている電話番号に発信します。
- イヤホンスイッチ発信設定に設定したメモリ番号がシークレット登録されているときは、シークレットモードを[ON]に設定してから、スイッチ操作で電話をかけてください。
- ステレオイヤホンマイクをFOMA端末に接続したまま、荷物の中などに入れると、スイッチが押されて電話がかかってしまうことがあります。使用しないときは、外してください。
- スイッチのないイヤホンマイクを接続してすぐに外すと、自動的に電話をかけてしまうおそれがありますので、ご注意ください。

スイッチを使って電話を受ける

音声電話やテレビ電話を受けることができます。

1 ステレオイヤホンマイクを接続する

2 電話がかかってきたら、スイッチを2秒以上押す

- 着信音の出力先は設定できます(☞P.98)。

3 通話が終わったら、スイッチを2秒以上押す

- 着信音が鳴ってから接続すると、スイッチを押していないのに、接続した瞬間に電話を受けてしまうことがありますので、ご注意ください。使用しないときは、外してください。

オート着信設定

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

ステレオイヤホンマイク01(別売)などを接続しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話を自動的に受けるように設定できます。

- オート着信設定を[オート着信あり]に設定していても、ステレオイヤホンマイクを接続していないときは、自動的に電話を受けることはできません。

1 カスタムメニューで[設定] ▶ [通話・通信機能設定] ▶ [着信時設定] ▶ [オート着信設定]

2 [オート着信あり] ▶ 着信時間を入力 ▶ [決定]

- 着信時間を「0秒」に設定すると、着信音やバイブレータが動作せずに電話を受けますので、ご注意ください。
- 電話帳指定着信拒否などで電話を受けないようにしている相手からの着信には応答しません。
- オート着信設定の着信時間と伝言メモ応答時間は、同じ時間に設定できません。
- 留守番電話サービスとオート着信設定を同時に設定している場合、留守番電話サービスの呼出秒数とオート着信設定の着信時間が同じときは、留守番電話サービスが優先されることがあります。オート着信設定を優先させるためには、留守番電話サービスの呼出秒数よりも着信時間を短く設定してください(転送でんわサービスについても同様です)。

Bluetooth機能を利用する

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

対応バージョンと対応プロファイル

■ 対応バージョン

Bluetooth標準規格 Ver.2.0+EDR※1

■ 対応プロファイル※2（対応サービス）

HSP
Headset Profile（ヘッドセットプロファイル）
HFP
Hands Free Profile（ハンズフリープロファイル）
A2DP
Advanced Audio Distribution Profile
（アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル）
AVRCP
Audio／Video Remote Control Profile
（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）
HID
Human Interface Device Profile
（ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル）
DUN
Dial-up Networking Profile
（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）
OPP
Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル）
SPP
Serial Port Profile（シリアルポートプロファイル）

※1 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2 Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- すでにBluetooth機器と接続している場合、FOMA端末の状態によってはBluetooth機器を検索できないことがあります。

Bluetooth接続してできること

■ ヘッドセット／ハンズフリーで通話する（HSP／HFP）

FOMA端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
FOMA端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。

■ オーディオ機器で再生する（A2DP／AVRCP）

FOMA端末にワイヤレスイヤホンセット 02（別売）や市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽やワンセグの音声などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、ワンセグやビデオ、データBOXのｉモーション／ムービーの［レコーダー連携］フォルダ内の動画の音声に関しては対応する機器が制限されます。

■ Bluetooth対応キーボードを使う（HID）

FOMA端末に市販のBluetooth対応キーボードをBluetooth接続すると、キーボードから文字入力できます。また、カーソルキー／Enterキー／Escキー／ファンクションキー／数字キーを使って、通常の画面操作を行うこともできます。

■ ワイヤレスでダイヤルアップ接続する（DUN）

FOMA端末にBluetooth対応パソコンなどをBluetooth接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信を行うことができます。

次ページへ続く

● 詳しくは付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

■ データを送受信する（ファイル転送）（OPP）

電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、Bookmark、現在地通知先、トルカを、Bluetooth機器との間で送受信できます。

■ ｉアプリからBluetooth通信を利用する（SPP）

他の携帯電話やBluetooth機器と接続して、ｉアプリで対戦ゲームをしたり、データを管理したりできます。

■ Bluetooth対応カーナビと連携する（SPP）

フォトリモ@ナビ規格に対応したカーナビと接続して、位置情報をカーナビに送信したり、カーナビから転送したメールをFOMA端末で送信したりできます。

● 次の音が、Bluetooth機器から出力されるかFOMA端末から出力されるかは、接続しているサービスに従います。

		接続しているサービス		
		HSP	HFP	A2DP
音声電話発信音		○	○	×
音声電話・テレビ電話着信音		○※1※2	○※2	×
音声電話・テレビ電話時の呼び出し音		○	○	×
音声電話・テレビ電話時の相手の音声		○	○	×
音声電話時の相手の伝言メモの音声		○	○	×
ワンセグの音声		×	×	○※3
ｉモーション再生音		×	×	○※4※5
ビデオ再生音		×	×	○※3
ムービー再生音		×	×	○※6
ミュージックプレーヤー再生音		×	×	○※6
Music&Videoチャネル再生音		×	×	○
アラーム音		×	×	×
メール着信音	通知優先	×	×	×
	操作優先	×※7	×※7	×※7

○：Bluetooth機器から出力されます。
×：Bluetooth機器からは出力されずFOMA端末から鳴ります。
※1 イヤホン切替設定を［イヤホン＋スピーカー］に設定しているときは、Bluetooth機器、FOMA端末の両方から着信音が鳴ります。
※2 着信音送出設定を［送らない］に設定している場合、FOMA端末から着信音が鳴ります。
※3 SCMS-T方式で著作権保護されているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
※4 データBOXのｉモーション／ムービーの［レコーダー連携］フォルダ内の動画は、SCMS-T方式で著作権保護されているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
※5 着信音設定からプレーヤーを起動した場合は鳴りません。
※6 サイトや着信音設定などからプレーヤーを起動した場合は鳴りません。
※7 待受画面以外を表示中はメール着信音は鳴りません。

● お使いのBluetooth機器によっては、前記の動作にならない場合があります。
● マナーモード設定中でも、Bluetooth機器から着信音が鳴ります。
● 市販のBluetooth対応イヤホンやヘッドホンには、Bluetooth標準規格に一部適合していないものがあります。この場合、イヤホンやヘッドホンに雑音が入ることがあります。
● Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - ■ FOMA端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - ■ 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります(UHFや衛星放送の特定チャンネルではテレビ画面が乱れることがあります)。
  - ■ 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
  - ■ Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、FOMA端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  - ■ 電車内　■ 航空機内　■ 病院内
  - ■ 自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ■ ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

■ Bluetooth機器の同時利用について

Bluetooth機器で音楽を聴きながらBluetooth対応キーボードでメール作成を行うなど、同時にBluetooth接続することができます。同時に使用可能な機能の組み合わせについてはマルチアシスタント(マルチタスク)で同時に使用可能な機能と同様です(☞P.506)。

- ハンズフリーサービスとヘッドセットサービスは先に接続したプロファイルを優先します。ただし、同時に接続待機にすることはできます。

Bluetooth機器を登録する<機器登録>

接続相手のBluetooth機器を検索(サーチ)し、FOMA端末に登録します。10件まで登録できます。

- Bluetooth機器の登録には、Bluetoothパスキーの入力が必要になります。登録を始める前にお好きな4～16桁の数字を決めておき、FOMA端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力します。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[Bluetooth]▶[機器リスト・接続・切断]

- 登録済みの機器があるときは、機器リスト画面が表示されます。[サーチ]をタッチして操作3に進みます。

2 [はい]

- FOMA端末周辺にあるBluetooth機器を検索します。検索した機器がリストで表示されます。

サーチリスト画面

1 機器種別アイコン

	コンピュータ		パソコン周辺機器
	電話		イメージング機器
	LAN		ウェアラブル端末

次ページへ続く

	オーディオ機器		その他

2 区分アイコン

NEW	新しく見つかった未登録の機器
	登録済みで見つかった機器
	登録済みで見つかった機器(保護設定済)
	登録済みで見つかった機器で通常接続機器設定されている機器
	登録済みで見つかった機器で通常接続機器設定されている機器(保護設定済)
	登録済みで見つかった機器で接続中の機器
	登録済みで見つかった機器で接続中の機器(保護設定済)
	登録済みで通常接続機器設定されている接続中の機器
	登録済みで通常接続機器設定されている接続中の機器(保護設定済)

3 機器名称

3 登録するBluetooth機器にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[機器登録]

- 再検索:[サーチ]
- 登録する機器を選んでも操作できます。

4 Bluetoothパスキーを入力▶[OK]

- オーディオサービスに対応している機器の場合、通常接続機器設定確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、通常接続機器に設定されます。

- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力が不要な場合もあります。
- すでにBluetooth機器が10件登録されている場合、通信日時の古いものから順に上書きされます。ただし、接続中または保護設定中の機器は上書きされません。
- すでに登録しているBluetooth機器を選択して再登録するとき、そのBluetooth機器と接続中の場合は再登録できません。
- 相手Bluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください(ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されています)。
- 次の場合は、サーチできません。
  - ■ オーディオサービス接続中で、ワンセグやミュージックプレーヤーを起動しているとき
  - ■ ヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービス接続中で、着信中・音声電話中・テレビ電話中のとき

■ サーチリスト画面のサブメニュー操作

[機器登録] ☞P.425

■ 未登録機器のみを検索して登録する<新規機器登録>

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[Bluetooth]▶[新規機器登録]

2 登録する

- 登録方法については☞P.426「Bluetooth機器を登録する」の操作3へ

Bluetooth機器と接続する<機器リスト・接続・切断>

登録済みのBluetooth機器に接続します。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[Bluetooth]▶[機器リスト・接続・切断]

- 情報更新:[情報更新]

機器リスト画面

1 機器種別アイコン(☞P.425)

2 区分アイコン

	登録済みの機器(保護設定済)
	登録済みで通常接続機器設定されている未接続の機器
	登録済みで通常接続機器設定されている未接続の機器(保護設定済)
	登録済みで接続中の機器
	登録済みで接続中の機器(保護設定済)
	登録済みで通常接続機器設定されている接続中の機器
	登録済みで通常接続機器設定されている接続中の機器(保護設定済)

3 機器名称

2 接続するBluetooth機器を選ぶ

- サービスを選んで接続：接続するBluetooth機器にカーソルを合わせる▶[接続種別]▶サービスを選ぶ▶[確定]
- 接続すると[ ]が約0.5秒間隔で点滅し、着信ランプが[アクア]で、ゆっくりと2回点滅します。
- Bluetooth機器と切断：切断するBluetooth機器を選ぶ▶[はい]
  - ・切断すると、着信ランプが[アクア]で、だんだん暗くなりながら4回点滅します。

- 接続処理中や切断処理中にBluetooth機器の電源が切れていたり、Bluetooth機器からの応答がない場合は、処理に最大約20秒かかります。
- 接続中にBluetooth機器から切断された場合、接続していたサービスは接続待機中になります。また、接続中または接続待機中にFOMA端末の電源をOFFにした場合も、次回電源を入れたときに接続または接続待機していたサービスが接続待機中になります。
- 登録済みのBluetooth機器に接続できないときは、登録を削除してから再度機器登録を行うと接続できるようになる場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、接続や情報更新、Bluetooth送信を行うときにBluetoothパスキーの入力を要求されることがあります。

■ 機器リスト画面のサブメニュー操作

[保護設定]▶設定を選ぶ

[削除]▶[はい]

[通常接続機器設定]▶[はい]
- Bluetooth対応機能の起動時に自動で接続する機器を設定します。

[機器情報]
- 機器名称を編集するとき：[編集]▶機器名称を編集▶[決定]

[保護設定]について
- 5件まで保護できます。

[機器情報]について
- 機器名称は全角16文字(半角32文字)まで入力できます。

登録待機／接続待機にする<接続待機>

待受画面で、他のBluetooth機器からの登録要求／接続要求を受けられる状態にします。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[Bluetooth]▶[接続待機]

- [ ]が約1秒間隔で点滅します。
- FOMA端末を接続待機にしてから約5分以内に機器登録してください。約5分経過すると[ ]が点灯に変わります。
- 接続待機にするサービスを選択：[接続待機]にカーソルを合わせる▶[接続種別]▶サービスを選ぶ▶[確定]
- 待機状態を解除する場合は、Bluetooth電源をOFFにしてください。

- 相手のBluetooth機器が接続動作を終えてすでに接続待機中の場合、接続が開始されません。このときは、FOMA端末から接続を行ってください。
- 複数のBluetooth機器が登録されている場合に接続待機にすると、接続したいBluetooth機器以外のBluetooth機器に接続することがありますのでご注意ください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 待受画面でBluetooth機器からの登録要求／接続要求▶[はい]▶登録する

- 登録方法については☞P.426「Bluetooth機器を登録する」の操作4へ

■ 登録済みのBluetooth機器から接続要求を受けた場合

- 自動的に接続し、[]が約0.5秒間隔の点滅に変わります。

- すでに接続しているサービスで接続要求を受けたときや、接続しているBluetooth機器が2つあるときは接続できません。

FOMA端末のBluetooth電源をON／OFFにする
<Bluetooth電源オン／Bluetooth電源オフ>

FOMA端末のBluetooth電源のON／OFFを切り替えます。

- Bluetooth電源をOFFにすると、接続中または接続待機中のすべてのサービスが停止します。Bluetooth電源をONにすると、前回接続または接続待機にしていたサービスや、登録機器のうち接続したことのあるサービスが接続待機になります。

1 クイック設定で[Bluetooth]▶[はい]

- 次の操作を行うと、Bluetooth電源が自動でONになります。
  - ■ 接続／接続待機　■ サーチ　■ Bluetooth受信／送信
  - ■ Bluetooth対応の機能(ワンセグ、i モーション、ビデオプレーヤー、Music&Videoチャネル、ミュージックプレーヤー、インターネットムービープレーヤー)からのBluetooth出力
  - ■ i アプリからのBluetooth機能起動

  また、上記処理が完了したあともBluetooth電源はONのままです。ただし、i アプリからBluetooth通信を行った場合、i アプリ終了時に使用しているBluetooth機能がないときは、Bluetooth電源がOFFになります。
- FOMA端末の電源OFF、セルフモード中は、Bluetooth電源が強制的にOFFになりますが、FOMA端末の電源ONやセルフモード解除で、元の状態(接続待機)に戻ります。

Bluetooth機器を使って通話する

1 Bluetooth機器とヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する

2 Bluetooth機器で電話をかけるまたは受ける

- Bluetooth機器で通話中は[]が表示されます。
- Bluetooth機器での通話とFOMA端末での通話を切替：通話中に(1秒以上)
  - ・ヘッドセットサービスで接続してFOMA端末で通話している場合は、Bluetooth機器側からのみ切り替えることができます。
  - ・発信中、着信中、通話保留中、伝言メモ応答中／録音中、応答保留中にを1秒以上押しても、切り替えることができます。

- Bluetooth機器で通話中は、Bluetooth機器で音量を調節してください。
- 通話中にBluetooth機器から切断された場合、通話は終了します。

Bluetooth機器を使ってワンセグやミュージックプレーヤーの音声･音楽を再生する

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

2 ワンセグやミュージックプレーヤーなどを起動して視聴／再生する

- Bluetooth出力中は、Bluetooth機器で音量を調節してください。
- ミュージックプレーヤーまたはMusic&Videoチャネルプレーヤー(音声番組)をバックグラウンド再生中でもリモコン操作できます。ただし、プレーヤー画面でサブメニューなどを表示させている場合はリモコン操作できません。
- サイトからi モーションを取得して再生している場合は、リモコン操作できません。
- Bluetooth機器の状態やFOMA端末の操作によっては、再生中の音声や音楽が途切れることがあります。

- Bluetooth機器から再生中に音声や音楽などが停止した場合は、Bluetooth圏外やBluetooth機器の電源OFFなどが考えられますのでFOMA端末やBluetooth機器を確認してください。このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断されることがあります。再度Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直してください。
- ワイヤレスイヤホンセット 02(別売)を接続するときは、FOMA端末から接続してください。
- カーナビによっては、AMR形式の音楽データが再生できないものがあります。

ミュージックプレーヤーの自動起動を設定する <ミュージック自動起動設定>

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[Bluetooth]▶[Bluetooth設定]▶[ミュージック自動起動設定]**

2 **設定を選ぶ**

- ミュージック自動起動設定が[ON]の場合、オーディオサービスを接続待機している状態でBluetooth機器からオーディオサービスの接続を行うと、ミュージックプレーヤーが自動的に起動します。ただし、待受画面以外を表示中は、起動しません。

各機能の起動後にBluetooth機器から音声出力する <Bluetooth出力>

- 通常接続機器設定されているBluetooth機器に接続されます。

1 **ワンセグやビデオプレーヤーなどを起動中に[サブメニュー Sub Menu]▶[Bluetooth出力]▶[ON]**

各機能の起動時に自動的にBluetooth機器に接続する <起動時自動接続設定>

1 **ワンセグやビデオプレーヤーなどを起動中に[サブメニュー Sub Menu]▶[Bluetooth出力]▶[起動時自動接続設定]**

2 **設定を選ぶ**

- 起動時自動接続設定が[ON]で、通常接続機器設定されているBluetooth機器がある場合は、事前にオーディオサービスに接続しなくても、ワンセグやミュージックプレーヤーなどを起動するだけでBluetooth機器に自動的に接続されます。
- 視聴予約、録画予約、お目覚めTVによるワンセグ起動時は接続されません。
- 通常接続機器設定されているBluetooth機器がないときは[ON]に設定できません。
- 設定は次回起動時から有効になります。

Bluetooth対応キーボードを使う

1 **Bluetooth対応キーボードとキーボードサービスで接続する**

2 **文字入力画面でキーボードから入力する**

- 入力方式は自動的に[ローマ字方式]になります。

■ Bluetooth対応キーボードについて

- 文字入力画面での便利な操作は次のとおりです。

操作	キー
文字の選択	Shift+カーソルキー
選択範囲のコピー	Ctrl+C
選択範囲の切り取り	Ctrl+X
貼り付け	Ctrl+V
操作を取り消す(UNDO機能)	Ctrl+Z
変換される文字の区切りを変更	Shift+←、Shift+→

次ページへ続く▶▶

● Bluetooth対応キーボードのキーとFOMA端末の操作ボタンは、次のように対応しています。対応したキーで、FOMA端末と同様に操作できます。

FOMA端末	Bluetooth対応キーボード
終話キー	Esc
開始キー	Ctrl＋Esc
0～9	0～9
A～Z	A～Z
スペースキー	Space
決定キー	Enter※1（文字入力画面：Ctrl＋Enter）
上、下、左、右	↑、↓、←、→
Fn＋1	F1※2
Fn＋2	F2
Fn＋3	F3
Fn＋4	F4
Fn＋5	F5※3
Fn＋7	Tab
Fn＋D	#「Shift＋3」
Fn＋S	*「Shift＋:（コロン）」
シフトキー	Shift
改行キー	Enter※4
CLR	BS／DEL

※1　文字入力画面で押すと［↲］（改行）の入力になります。
※2　メール作成画面で押すと送信できます。
※3　横向きで操作ガイダンスが表示されていないとき、操作ガイダンス表示のON／OFFを切り替えます。
※4　文字入力時は改行、文字変換時は確定します。

- 10キーなど、入力に対応していないキーがあります。
- Bluetooth対応キーボードを利用して端末暗証番号を入力することはできません。
- ｉモード／フルブラウザ中にテキストボックスを選択すると、文字入力画面が表示され文字を入力できます。

Bluetooth対応カーナビとシリアルポートサービスで接続する

Bluetooth対応カーナビとFOMA端末はハンズフリーサービスなどでの接続に加え、シリアルポートサービスで接続することでいろいろな機能を利用できます。

- 対応機種については次のサイトをご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/bluetooth/sh-03b.html

1 Bluetooth対応カーナビとシリアルポートサービスで接続する

2 カーナビとのデータの送受信を行う

■ 位置情報をBluetooth対応カーナビに送信する ＜地点情報送信＞

位置情報を付加した静止画や位置履歴から、連携したBluetooth対応カーナビに位置情報を送信します。

例：静止画のとき

1 カスタムメニューで［データBOX］▶［マイピクチャ］

2 画像にカーソルを合わせる▶［サブメニュー］▶［データ送信］▶［地点情報送信］

3 送信方法を選ぶ

- Bluetooth対応カーナビと連携していない場合は、送信予約データとしてFOMA端末に保存されます。すでに送信予約データが保存されているときは上書き確認画面が表示されます。保存された送信予約データは連携開始時に送信されます。送信予約データは、機能別ロックの設定にかかわらず送信されます。

■ 送信予約データを削除する＜送信予約データ削除＞

1 カスタムメニューで［LifeKit］▶［Bluetooth］▶［送信予約データ削除］▶［はい］

■ FOMA端末の不在着信やメール受信の有無をBluetooth対応カーナビで確認する

FOMA端末の不在着信やメール受信の有無をBluetooth対応カーナビで確認できます。

■ Bluetooth対応カーナビからのメールをFOMA端末から送信する

送信する相手のメールアドレスが登録されている電話帳をBluetooth対応カーナビへ転送しておけば、Bluetooth対応カーナビからのメールをFOMA端末から送信することができます。

データを送受信する

FOMA端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、データの送受信を行うことができます。

- Bluetooth通信によるデータの送受信中は圏外と同じ状態になり、通話、iモード、データ通信などはできません。
- 通話中は、Bluetooth通信によるデータの送受信はできません。
- データBOXの画像・iモーション・メロディ・PDFや、デコメアニメ®テンプレートは送受信できません。これ以外の送受信できるデータや各種ロック中の動作については赤外線通信(☞P.381)と同様です。
- 全件転送パスワード設定を[パスワード有り]に設定している場合、全件データを送信するときに端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、Bluetooth通信のための専用パスワードです。送信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

■ データを送信する<送信/全件送信>

例:電話帳のとき

1 待受タッチランチャで[📖]

2 名前にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]▶[データ送信]▶[Bluetooth送信]

3 送信方法を選ぶ

◆ [送信]

◆ [全件送信]▶端末暗証番号を入力▶[OK]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

4 [はい]

5 接続するBluetooth機器を選ぶ

■ データを受信する<Bluetooth受信>

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[Bluetooth]▶[Bluetooth受信]▶[はい]

- 受信待ち状態になり、送信側のBluetooth機器からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

2 [はい]

- 全件受信のとき:[はい]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]
- 受信の中止:受信中に[中止]

Bluetooth機能の設定を行う<Bluetooth設定>

■ 自局情報を確認する<自局情報>

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[Bluetooth]▶[Bluetooth設定]▶[自局情報]

- 機器名称を編集するとき:[編集]▶機器名称を編集▶[決定]
  - ・機器名称は全角16文字(半角32文字)まで入力できます。

- 機器名称に絵文字を使うと、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されないことがあります。

■ Bluetooth機器を検索する時間を設定する<サーチ時間>

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[Bluetooth]▶[Bluetooth設定]▶[サーチ時間]

2 サーチ時間を入力▶[決定]

■ Bluetooth認証を行うかどうかを設定する＜セキュリティ設定＞

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[Bluetooth]▶[Bluetooth設定]▶[セキュリティ設定]**

2 **設定を選ぶ**

- [ ]が表示されている場合は設定できません。

■ 暗号化を行うかどうかを設定する＜暗号化設定＞

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[Bluetooth]▶[Bluetooth設定]▶[暗号化設定]**

2 **設定を選ぶ**

- セキュリティ設定を[無し]に設定している場合は設定できません。
- [ ]が表示されている場合は設定できません。

■ 着信音をBluetooth機器へ送出するかどうかを設定する＜着信音送出設定＞

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[Bluetooth]▶[Bluetooth設定]▶[着信音送出設定]**

2 **設定を選ぶ**

- ハンズフリーサービスまたはヘッドセットサービスに接続している場合は設定できません。

■ 認証パスワードの入力を行うかどうかを設定する＜全件転送パスワード設定＞

Bluetooth通信で全件データを送信するときに認証パスワードの入力を行うかどうかを設定します。

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[Bluetooth]▶[Bluetooth設定]▶[全件転送パスワード設定]**

2 **設定を選ぶ**

フェムトセル設定

フェムトセルを利用する

フェムトセルとは、小型の無線基地局装置を屋内に設置することによって、その基地局の圏内でFOMA端末を利用する機能です。
フェムトセルの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- 国際ローミング中は、利用できません。

フェムトセルを利用するかどうかを設定する＜フェムトセル利用設定＞

1 **クイック設定で[フェムトセル利用設定]**

2 **設定を選ぶ**

フェムトセルを利用する＜フェムトセルサーチ＞

周囲の小型無線基地局装置を検索して、フェムトセルを利用します。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[フェムトセル設定]▶[フェムトセルサーチ]**

- 検索には時間がかかることがあります。
- フェムトセル利用中は検索できません。

フェムトセルを優先して利用する＜フェムトセル優先在圏設定＞

通常の通信とフェムトセルを使った通信の両方が可能な場合、フェムトセルを優先的に使うかどうかを設定します。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[フェムトセル設定]▶[フェムトセル優先在圏設定]**

2 **設定を選ぶ**

- あらかじめフェムトセル利用設定を[ON]に設定してください。

文字入力

「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内またはドコモのホームページ上のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

文字入力

文字を入力する

FOMA端末には、電話帳やメールなど文字を入力して活用する多くの機能があります。
クローズポジションでは、タッチパネルを使って文字を入力します。
オープンポジションでは、FOMA端末のキーボードから文字を入力します。

- 市販のBluetooth対応キーボードを接続して、文字入力することができます(☞P.429)。

■ 文字入力のしくみ

入力方式	かな方式	クローズポジション時の入力方式です。1つのタッチボタンに複数の文字が割り当てられています。ボタンをタッチするたびに文字が切り替わります。
	ローマ字方式	オープンポジションまたはBluetooth対応キーボード接続時の入力方式です。FOMA端末のキーボードやBluetooth対応キーボードを使い、ローマ字で文字を入力します。
	音声入力	音声で文字を入力します。
文字の種類	全角文字	漢字、ひらがな、カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号、絵文字
	半角文字	カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号
変換方式	近似予測変換	ひらがなを1～5文字入力するたびに、入力した文字で始まる単語を変換候補として表示します。 半角英字を入力すると、入力した文字で始まる英単語を変換候補として表示します。
	連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力・変換履歴から推測して、次に続く変換候補を表示します。

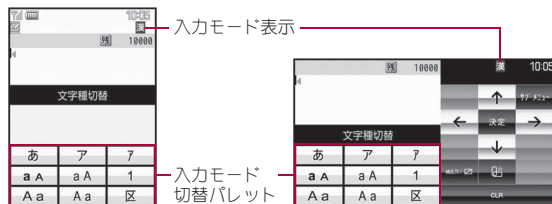
かな方式

タッチパネルで文字を入力する

入力モードの種類と切り替え(かな方式)

かな方式では、入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。

1 文字入力画面で[文字]

縦表示　　横表示

2 入力モードを選ぶ

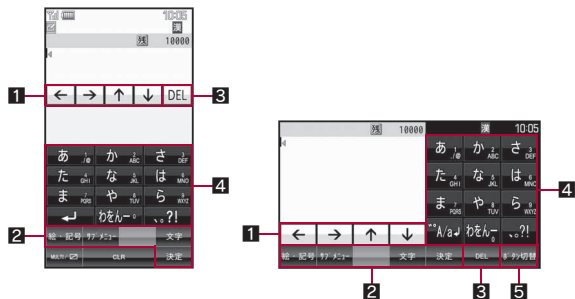
■ 入力モードの見かた

入力モード切替パレット	入力モード表示	入力される文字
あ	漢	漢字・ひらがな
ア	ア	全角カタカナ
ｱ	ｱ	半角カタカナ
aA	a	全角英数字(小文字→大文字)
aA	a	半角英数字(小文字→大文字)
1	1	半角数字
Aa	A	全角英数字(大文字→小文字)

入力モード切替パレット	入力モード表示	入力される文字
Aa	A	半角英数字(大文字→小文字)
区	区	区点コード

● 入力方式が[ローマ字方式]の場合は、入力モード表示に[ﾛｰﾏ]が表示されます。
● 入力画面では次のボタンを操作できます。

例:漢字・ひらがな

縦表示　　横表示

1 方向ボタン
カーソル移動や半角スペース入力のときなどにタッチします。

2 操作ガイダンスボタン
操作ガイダンスメニューを選択/実行するときなどにタッチします。

3 DELボタン
文字削除のときなどにタッチします。

4 文字入力ボタン
文字入力のときなどにタッチします。
● 各入力ボタンの文字の割り当てについては☞P.500

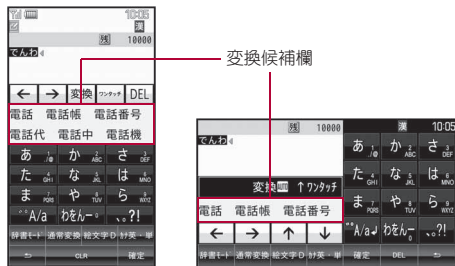
5 ボタン切替ボタン
文字入力ボタンを非表示にして、操作ガイダンスと方向ボタンなどを右側に表示します。

文字を入力する

例:「電話」と入力するとき

1 文字入力画面で「でんわ」と入力

- でんわ:[た](4回)▶[゛゜A/a]/[゛゜A/a↲](1回)▶[わをんー](3回)▶[→]▶[わをんー](1回)
- 濁点・半濁点の入力:[゛゜A/a]/[゛゜A/a↲]
- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力:文字を入力▶[→]▶文字を入力
- 変換される文字の区切りを変更:[←]/[→]
- 表示された候補を入力:候補をタッチ
- ひらがなのまま確定:[確定]

2 [変換]/[変換AUTO]

- さらに多くの変換候補が表示されます。
- 変換候補一覧の次のページを表示:[▼ページ]
- 変換候補一覧の前のページを表示:[▲ページ]
- 通常変換と近似予測変換の切替:[通常変換]/[予測変換]
- 変換される文字の区切りを変更
(通常変換時のみ):[⇐文節]/[文節⇒]
- 変換の取消:[CLR]/タイトル行をタッチ

次ページへ続く▶▶

3 「電話」を選ぶ

- 入力モードが漢字･ひらがなモードまたは半角英数字モード以外の場合、変換候補は表示されません。

■ 文字入力画面のサブメニュー操作

[コピー] ☞P.443

[切り取り] ☞P.443

[貼り付け] ☞P.443

[顔文字(F3長押)] ☞P.439

[定型文(F4長押)] ☞P.438

[引用]

▶[電話帳引用]▶名前を選ぶ▶情報を選ぶ

▶[所有者情報引用]▶[詳細]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶情報を選ぶ

▶[バーコードリーダー](iモード中のみ) ☞P.238

[元に戻す] ☞P.437

[文字入力/辞書設定]

▶[予測変換設定]

▶[近似予測変換]▶設定を選ぶ

▶[連携予測変換]▶設定を選ぶ

▶[1文字学習変換]▶設定を選ぶ
- 先頭の1文字を入力するだけで変換候補に表示するかどうかを設定します。

▶[顔文字連携予測]▶設定を選ぶ
- 文字入力時に心情を表す形容詞(うれしい)などを確定したとき、その語句に続くと思われる変換候補として、顔文字･絵文字を表示するかどうかを設定できます。

▶[優先候補ジャンル]▶項目を選ぶ▶[完了]
- 変換候補として表示されるときの優先順位を変更します。

▶[パーソナル予測切替]▶設定を選ぶ
- ビジネスシーンでの使用頻度が高いものや、男性的、女性的な表現が優先的に変換候補に表示されるように設定します。

▶[ダウンロード辞書切替]▶辞書を選ぶ

▶[辞書連携優先辞書]▶辞書を選ぶ
- 辞書モードで優先して使用する辞書を設定します。

[操作ガイド一覧]

[縦横切替]

[縦横切替HOLD]▶設定を選ぶ
- FOMA端末を傾けると縦/横表示が切り替わるとき、一時的に縦/横表示を切り替えないよう設定できます。

- 機能によって表示される項目は異なります。

[1文字学習変換]について
- 近似予測変換を[OFF]に設定中に有効です。

[優先候補ジャンル]について
- ☑は高い、☐は低い設定の状態です。

文字入力

[パーソナル予測切替]について

- パーソナル予測切替を[自動切替AUTO]に設定すると、電話帳に登録しているメールアドレスを宛先に入力してｉモードメールを作成したときに、メール種別に対応するパーソナル予測変換を行います。
  - ■ 会社携帯メールアドレス、会社メールアドレス：[ビジネス]
  - ■ 会社携帯メールアドレス、会社メールアドレス以外：[スタンダード]

  ｉモードメール作成時以外は[スタンダード]で変換されます。

[縦横切替]／[縦横切替HOLD]について

- クローズポジションのときに操作できます。
- 縦横画面自動切替の設定によって操作できるメニューが切り替わります。

■ スペースを入力する

1 文末で[→]

- 入力モードに関係なく半角スペースが入力されます。半角スペースは１文字として数えられます。

■ 文字を切り替える

1 文字を入力▶[゛゜A/a]／[゛゜A/a↲]

- 大文字⇔小文字の切り替えや、濁点・半濁点の入力ができます。
- 英字のときは、入力モードも切り替わります。

■ かなをカタカナや英数字に変換する＜カナ英数変換＞

1 ひらがなを入力▶[カナ英・単]

- 変換の取消：[CLR]／タイトル行をタッチ

2 変換候補を選ぶ

- 変換候補には、入力したボタンに割り当てられているカタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が全角・半角それぞれ表示されます。

■ 表示を逆戻りさせる

1 文字を入力▶[↶]

■ 直前の操作を取り消す＜元に戻す＞

1 文字入力画面で[サブメニュー]▶[元に戻す]

- [✓]（１秒以上）でも操作できます。

- 最大で10回前の操作まで取り消しできます。
- 入力画面によってはUNDO機能を利用できないときがあります。

■ 入力したい漢字が見つからないとき＜単漢字変換＞

漢字の音読みや訓読みを入力して１文字ずつ漢字を入力できます。

1 ひらがなを入力▶[カナ英・単]▶[単漢字]

- 変換の取消：[CLR]／タイトル行をタッチ

2 漢字を選ぶ

- 変換できる漢字は、JIS第一水準漢字・第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、一部変形もしくは省略して表示されます。

■ 入力したい言葉を辞書で検索する＜辞書モード＞

入力したひらがなで辞書を検索し、意味を調べたり、検索した結果を入力することができます。

1 ひらがなを入力▶[辞書モード]

- 横表示中はマルチガイドボタンで変換候補にカーソルを合わせて[辞書モード]▶[決定]を選択しても検索できます。
- 和英辞書と国語辞書の切替：[辞書切替]

2 見出し語を選ぶ

3 入力する単語を選ぶ

- 詳細画面の一部を入力するときは、[範囲選択]を選び、開始位置にカーソルを移動して[始点]をタッチし、終了位置にカーソルを移動して[終点]をタッチします。
- 見出し語を選ぶ画面に切り替える：[国語辞書]／[和英辞書]／[CLR]

複数のひらがなをワンタッチで変換する＜ワンタッチ変換＞

押したボタンに割り当てられているすべてのひらがなの組み合わせから、変換候補を表示します。

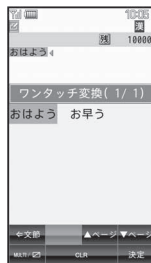
● ワンタッチ変換は、主に名詞に対応しています。

例:「おはよう」と入力するとき

1 文字入力画面で[あ][は][や][あ]

- 濁点・半濁点の入力:[゛A/a]/[゜A/a↲]
  例:「会議」のとき
  [か][あ][か][゛A/a]/[゜A/a↲]と入力
- 文字の組み合わせが同じ行の場合、同じボタンを連続してタッチしても操作できます。
  例:「企画」のとき
  [か][→][か][→][か](「かかか」)または
  [か][か][か](「く」)と入力

2 [ワンタッチ]/[↑]

- 変換の取消:[CLR]/タイトル行をタッチ

3 「おはよう」を選ぶ

推測頭出し変換について

● 1文字だけ入力してワンタッチ変換を行うと、入力した文字の行の文字(「あ」を入力したとき「あ」「い」「う」「え」「お」)で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。表示される言葉はあらかじめ登録されており、5:00〜10:59、11:00〜16:59、17:00〜22:59、23:00〜4:59の時間帯で変わります。

文字を修正する

■ 文字を追加する

1 追加したい文字の位置にカーソルを移動

- 文字入力画面をタッチしてもカーソルを移動できます。

2 文字を入力

■ 文字を1文字削除する

1 文字入力画面で[DEL]

- 文字入力画面をタッチしてもカーソルを移動できます。
- カーソル右側の文字が消えます。カーソルが文末にあるときは、カーソル左側の文字が消えます。
- 文字にカーソルがあたっているときは、カーソル位置の文字が消えます。

■ 文字を一括で削除する

1 文字入力画面で[DEL]をロングタッチ

- カーソルの後ろに文字があるときは、カーソル位置の文字を含め、後ろの文字がすべて削除されます。
- カーソルが文末にあるときは、カーソル位置の前の文字がすべて削除されます。

定型文を利用する＜定型文(F4長押)＞

あらかじめ登録されている固定定型文や、自分で登録した自作定型文(☞P.443)、メールアドレスなどを簡単に入力できます。

1 文字入力画面で[サブメニュー]▶[定型文(F4長押)]

- 分類表示と全表示の切替:[切替]

2 定型文を選ぶ▶定型文を確認▶［決定］

絵文字／記号を入力する

- デコメ®絵文字はメール本文／署名作成のときのみ入力できます。
- 絵文字D（デコメ®絵文字）は、データBOXのマイピクチャの［デコメ絵文字］フォルダに保存したデコメ®絵文字のみ、一覧に表示されます。
- 特殊記号は、iモードメール対応端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。
- 絵文字一覧表については☞P.503

1 文字入力画面で［絵・記号］

- デコメ®絵文字へ切替：［絵文字D］
- 絵文字へ切替：［絵文字］
- 記号へ切替：［記号］
- 全角記号へ切替：［全角記号］
- 半角記号へ切替：［半角記号］

2 絵文字／記号を選ぶ

- デコメ®絵文字でカテゴリ一覧を表示：タイトル行をタッチ
- デコメ®絵文字で前のカテゴリ／次のカテゴリを表示：［◀］／［▶］

- 最近使用された絵文字または記号は、次のように表示されます。
  - ■ 絵文字／記号：一覧の1ページ目に24個（横表示のときは12個）表示
  - ■ デコメ®絵文字：［履歴］カテゴリに50個表示

■ 見出し（ヨミ）を入力して絵文字／デコメ®絵文字を変換する

絵文字／デコメ®絵文字にはそれぞれ見出し（ヨミ）があり、その見出し（ヨミ）を入力して絵文字／デコメ®絵文字に変換できます。

1 文字入力画面で見出し（ヨミ）を入力

2 ［変換］▶絵文字を選ぶ

- デコメ®絵文字のとき：［絵文字D］▶デコメ®絵文字を選ぶ
  - ・入力した見出し（ヨミ）のデコメ®絵文字がない場合は、カテゴリ一覧が表示されます。

- デコメ®絵文字の見出し（ヨミ）とカテゴリは、デコメ®絵文字のタイトル名から確認できます。タイトル名が「よろこぶ［表情・気持］」の場合、見出し（ヨミ）は「よろこぶ」、カテゴリは「表情・気持」になります。
- デコメ®絵文字の見出し（ヨミ）とカテゴリはタイトル編集から変更できます。ただし、［　］の中にカテゴリ一覧に表示される以外の言葉を入力した場合は［カテゴリなし］に分類されます。

顔文字を入力する＜顔文字（F3長押）＞

1 文字入力画面で［サブメニュー］▶［顔文字（F3長押）］

2 顔文字を選ぶ

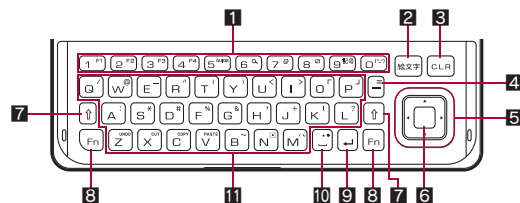
- ひらがなで「かお」と入力すると、漢字の変換候補と共に顔文字も表示されます。変換候補に表示される内容は、顔文字一覧の内容と異なります。

ローマ字方式

キーボードで文字を入力する

オープンポジションのときや、Bluetooth対応キーボードを接続したときは、入力方式が「ローマ字方式」に自動的に切り替わり、入力モード表示に［ロ-マ］が表示されます。

文字入力時のキーボード操作について

次ページへ続く▶▶

	ボタン	入力される文字／動作		
		単独で押す	[⇧]を押したあとに押す	[Fn]を押したあとに押す
1	[1]	1		操作ガイダンスF1対応
	[2]	2		操作ガイダンスF2対応
	[3]	3		操作ガイダンスF3対応 ● 1秒以上押すと、顔文字選択画面が表示されます。
	[4]	4		操作ガイダンスF4対応 ● 1秒以上押すと、定型文選択画面が表示されます。
	[5]	5		
	[6]	6		クイック検索を起動
	[7]	7		マルチアシスタントを起動
	[8]	8		ベールビューを設定
	[9]	9		半角記号選択画面を表示
	[0]	0		顔文字選択画面を表示
2	[絵文字]	デコメ®絵文字選択画面を表示※1		絵文字選択画面を表示
3	[CLR]	カーソル直後の文字削除		起動中の機能を終了
4	[－]	－	＝	
5	[上]	カーソルを上移動	範囲選択（上）※2	カーソルを上移動
	[左]	カーソルを左移動（文字変換中は文節伸縮）	範囲選択（左）※2	カーソルを左移動（文字変換中は文節伸縮）
	[下]	カーソルを下移動	範囲選択（下）※2	カーソルを下移動
	[右]	カーソルを右移動（文字変換中は文節伸縮）	範囲選択（右）※2	カーソルを右移動（文字変換中は文節伸縮）

	ボタン	入力される文字／動作		
		単独で押す	[⇧]を押したあとに押す	[Fn]を押したあとに押す
6	[●]	決定（文字変換中は確定）		
7	[⇧]	● 他のボタンと組み合わせて使います。		
8	[Fn]	● 他のボタンと組み合わせて使います。		
9	[↵]	↲ ● 改行（文字変換中は確定）します。		
10	[␣]	スペース（文字変換中は変換候補欄のカーソル移動）		・。
11	[Q]	q	Q	/
	[W]	w	W	@
	[E]	e	E	_
	[R]	r	R	"
	[T]	t	T	(
	[Y]	y	Y	)
	[U]	u	U	<
	[I]	i	I	>
	[O]	o	O	「
	[P]	p	P	」
	[A]	a	A	:
	[S]	s	S	¥
	[D]	d	D	#
	[F]	f	F	%
	[G]	g	G	&
	[H]	h	H	’
	[J]	j	J	+
	[K]	k	K	!
	[L]	l	L	?
	[Z]	z	Z	操作の取り消し
	[X]	x	X	切り取り※3
	[C]	c	C	コピー※3
	[V]	v	V	貼り付け

	ボタン	入力される文字／動作		
		単独で押す	⇧を押したあとに押す	Fnを押したあとに押す
11	B	b	B	~
	N	n	N	・
	M	m	M	,、

※1 絵文字を押すたびに、絵文字選択画面とデコメ®絵文字選択画面が切り替わります。
※2 ⇧と同時に押してください。
※3 範囲選択をしたあとに操作してください。

- 電源を切ると、コピー／切り取りした文字の記憶は削除されます。
- 電話帳の「フリガナ」入力欄など、半角文字のみ入力できる部分に貼り付けしたとき、記憶されている文字列内の半角文字のみ入力されます。また、貼り付け先に応じて入力可能な文字数分のみ貼り付けされます。

入力モードの種類と切り替え（ローマ字方式）

ローマ字方式では、入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。

1 文字入力画面でFn＋4

入力モード切替パレット

2 ✥で入力モードを選ぶ▶●

- Fn＋4を押しても選択できます。Fn＋4を押すたびに入力モードが切り替わります。

■ 入力モードの見かた

入力モード切替パレット	入力モード表示	入力される文字
あ	漢	漢字・ひらがな
ア	ア	全角カタカナ
ｱ	ｱ	半角カタカナ
aA	a	全角英数字
aA	a	半角英数字
区	区	区点コード

文字を入力する

- 各ボタンの文字の割り当てについては☞P.439、P.502

例：「メール」と入力するとき

1 文字入力画面で「めーる」と入力

- めーる：M E − R U
- 変換される文字の区切りを変更：✥
- 辞書モード：Fn＋1
- 通常変換と近似予測変換の切替：Fn＋2

変換候補欄

2 ✥で変換候補欄にカーソルを移動

- 表示されている候補をタッチしてカーソルを合わせ、もう一度タッチしても入力できます。
- 変換候補一覧の次のページを表示：Fn＋4
- 変換候補一覧の前のページを表示：Fn＋3
- 変換される文字の区切りを変更（通常変換時のみ）：Fn＋1／Fn＋2

3 ✥で「メール」を選ぶ▶●

次ページへ続く▶▶

- 入力モードが漢字･ひらがなモードまたは半角英数字モード以外の場合、変換候補欄は表示されません。
- 入力モードが漢字･ひらがなモードで、変換中の文字がない場合、[⇧]を押したあとに文字ボタンを押すと半角英字を入力できます。

■ かなをカタカナや英数字に変換する<カナ英数変換>

1 **ひらがなを入力 ▶ [Fn]＋[4]**

2 **[✥]で変換候補を選ぶ ▶ [●]**

■ 入力したい漢字が見つからないとき<単漢字変換>

漢字の音読みや訓読みを入力して１文字ずつ漢字を入力できます。

1 **ひらがなを入力 ▶ [Fn]＋[4] ▶ [Fn]＋[2]**

2 **[✥]で漢字を選ぶ ▶ [●]**

- 変換できる漢字は、JIS第一水準漢字･第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、一部変形もしくは省略して表示されます。

文字を修正する

■ 文字を追加する

1 **[✥]で追加したい文字の位置にカーソルを移動**
- 文字入力画面をタッチしてもカーソルを移動できます。

2 **文字を入力 ▶ [●]**

■ 文字を１文字削除する

1 **[✥]で削除したい文字の左側にカーソルを移動 ▶ [CLR]**
- 文字入力画面をタッチしてもカーソルを移動できます。
- カーソル右側の文字が消えます。カーソルが文末にあるときは、カーソル左側の文字が消えます。
- 文字にカーソルがあたっているときは、カーソル位置の文字が消えます。

■ 文字を一括で削除する

1 **文字入力画面で[CLR]（１秒以上）**
- カーソルの後ろに文字があるときは、カーソル位置の文字を含め、後ろの文字がすべて削除されます。
- カーソルが文末にあるときは、カーソル位置の前の文字がすべて削除されます。

絵文字／記号を入力する

- デコメ®絵文字はメール本文／署名作成のときのみ入力できます。
- 絵文字D（デコメ®絵文字）は、データBOXのマイピクチャの[デコメ絵文字]フォルダに保存したデコメ®絵文字のみ、一覧に表示されます。
- 特殊記号は、ｉモードメール対応端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。
- 絵文字一覧表については☞P.503

1 **文字入力画面で[絵文字]**
- [Fn]＋[1]を押しても操作できます。
- 絵文字を入力：[Fn]＋[絵文字]
- 半角記号を入力：[Fn]＋[9]

2 **種類を選ぶ**
- 絵文字とデコメ®絵文字の切替：[Fn]＋[1]
- 全角記号と半角記号の切替：[Fn]＋[2]

3 **[✥]で絵文字／記号を選ぶ ▶ [●]**
- デコメ®絵文字でカテゴリ一覧を表示：[0]
- デコメ®絵文字で前のカテゴリ／次のカテゴリを表示：[Fn]＋[S]／[Fn]＋[D]

- 一覧の１行目には、最近使用された10個の絵文字または記号が表示されます。

定型文登録
定型文を修正／登録する

よく使う言葉を自作定型文として登録したり、あらかじめ登録されている定型文を修正できます。
- 定型文は全角64文字(半角128文字)まで入力できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[定型文編集]

2 新規の登録先／修正する定型文を選ぶ
- 新規登録のとき：[自作定型文]▶登録先にカーソルを合わせる▶[編集]
- 修正するとき：定型文にカーソルを合わせる▶[編集]

3 定型文を編集▶[決定]

■ 定型文一覧画面のサブメニュー操作

[1件リセット]▶[はい]

[フォルダ内リセット]▶[はい]

修正／登録した定型文をお買い上げ時の状態に戻す<リセット>

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[定型文編集]

2 [リセット]▶[はい]
- 定型文を確認してリセット：定型文を選ぶ▶[リセット]▶[はい]

文字コピー
文字の切り取り・コピーと貼り付け

- 他の画面へ一度に切り取り・コピーできる文字数は、全角5000文字(半角10000文字)までです。

文字をコピーする／切り取る<コピー／切り取り>

1 文字入力画面で[サブメニュー]▶[コピー]／[切り取り]▶開始位置にカーソルを移動▶[開始]
- 文字をタッチしてもカーソルを移動できます。この場合は、メール本文以外のときは開始位置として指定されます。
- すべての文字を選択：[全選択]
- 文頭にカーソルを移動(メール本文以外)：[文頭]
- 文末にカーソルを移動(メール本文以外)：[文末]

2 終了位置にカーソルを移動▶[コピー]／[切取]
- 文字をタッチしてもカーソルを移動できます。この場合は、メール本文以外のときは終了位置として指定されます。
- すべての文字を選択(メール本文のみ)：[全選択]
- 文頭にカーソルを移動(メール本文以外)：[文頭]
- 文末にカーソルを移動(メール本文以外)：[文末]

文字を貼り付ける<貼り付け>

例：メール本文のとき

1 文字入力画面で[サブメニュー]▶[貼り付け]

2 貼り付ける位置にカーソルを移動▶[貼付]

例：メール本文以外のとき

1 文字入力画面で貼り付ける位置にカーソルを移動▶[サブメニュー]▶[貼り付け]

- サブメニューが表示されていない画面へは貼り付けできません。
- 電源を切ると、コピー／切り取りした文字の記憶は削除されます。
- 電話帳の「フリガナ」入力欄など、半角文字のみ入力できる部分に貼り付けしたとき、記憶されている文字列内の半角文字のみ入力されます。また、貼り付け先に応じて入力可能な文字数分のみ貼り付けされます。

区点コード入力

区点コードで入力する

文字ひとつひとつに付与されている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

- 区点コード一覧表は、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

1 入力モードを区点コードに切り替える(☞P.434)

2 区点コードを入力

- 4桁目をタッチすると、コード入力した文字が表示されます。

単語登録(ユーザ辞書)

よく使う単語を登録する

よく使う単語に見出し語を付けて、最大250語まで登録できます。見出し語を入力すると、登録した単語が変換候補に表示され、簡単に変換できるようになります。

- 同じ見出し語は5件まで登録できます。

単語を新規登録する<新規登録>

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ユーザ辞書]▶[新規登録]

2 単語を入力▶[決定]

- 全角30文字(半角60文字)まで入力できます。
- [↲](改行)は入力できません。

3 見出し語を入力▶[決定]

- ひらがなで入力します(最大全角8文字)。

■ ユーザ辞書一覧画面のサブメニュー操作

[削除]▶[はい]

[ダウンロード辞書変換]▶保存先を選ぶ

- 単語登録したユーザ辞書を、ダウンロード辞書に変換します。

[ダウンロード辞書変換]について

- 使用辞書登録確認画面が表示されたときは、[はい]を選ぶと使用辞書に設定されます。
- ユーザ辞書をダウンロード辞書に変換するとユーザ辞書は削除されます。

登録した単語を修正する

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ユーザ辞書]

- 単語リストと見出し語リストの切替:[切替]

2 単語を選ぶ

3 単語を修正▶[決定]

4 見出し語を修正▶[決定]

5 登録方法を選ぶ

変換学習クリア

学習された変換候補をリセットする

近似予測変換や連携予測変換などで学習された変換候補を、すべてリセットできます。

- 最近使用された絵文字や記号もリセットされます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[変換学習クリア]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

サイトなどから辞書をダウンロードして使用できます。ダウンロードした辞書を設定すると、その辞書に登録されている用語が変換候補に表示され、簡単に変換できるようになります。

- お買い上げ時に設定されているメール返信アシスト辞書は、メール返信時に受信メールのカタカナや英数字、記号などを一時的に変換候補として表示できる辞書です。
  - ・変換候補には、入力したボタンに割り当てられているカタカナ、英字、数字が表示されます。
- メール返信アシスト辞書は、使用辞書設定／使用辞書解除のみ利用できます。
- 日本語変換用の辞書をダウンロードして、9件まで登録できます。
- 辞書のダウンロード方法については☞P.193

辞書の内容を確認する<ダウンロード辞書>

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[文字入力設定]▶[ダウンロード辞書]

2 辞書を選ぶ

- 単語の詳細情報を表示:単語を選ぶ
- 単語リストと見出し語リストの切替:[切替]

- ダウンロード辞書の横にFOMAカードセキュリティ機能のマークが表示されているときは、辞書の内容を確認することはできません。

■ ダウンロード辞書一覧画面のサブメニュー操作

[使用辞書設定]／[使用辞書解除]
- 使用する辞書を設定／解除します。

[辞書内容表示]

[タイトル編集]▶タイトルを編集▶[決定]
- ダウンロード辞書変換した辞書のタイトルを編集します。

[情報表示]

[削除]▶削除方法を選ぶ▶[はい]

[編集]▶編集する▶[登録]
- ダウンロード辞書変換した辞書の内容を編集します。
- ユーザ辞書の編集については☞P.444

[使用辞書設定]、[使用辞書解除]について
- 辞書を設定すると、[ ]が表示されます。
- 5件まで使用辞書設定できます。

[タイトル編集]について
- 全角9文字(半角18文字)まで入力できます。

音声で文字を入力する

ｉモードでの検索やメール／デコメアニメ®の題名・本文入力では、音声で文字を入力することができます。

- メール／デコメアニメ®の題名入力画面と本文入力画面およびクイック検索の[ｉモードで探す(音声入力)]の入力画面のみ利用できます。
- ご利用にはｉモード契約が必要です。
- 音声入力のご利用時にはパケット通信料がかかります。
- メール／デコメアニメ®の題名入力と本文入力では音声入力メールを利用します。音声入力メールはお申し込みが必要な有料サービスです。はじめて音声入力メールをご契約された日から30日間はサービスを無料でご利用いただけます。詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

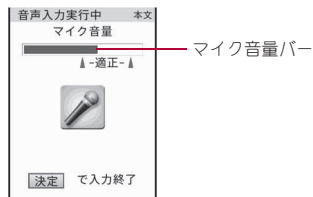
例:メールの本文に「おはよう」と入力するとき

1 メールの本文入力画面で[サブメニュー]▶[音声で文字入力]

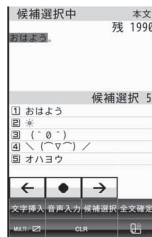
- 確認画面が表示されます。[はい]／[はい(以後非表示)]を選択してください。[はい(以後非表示)]を選択すると、以降、確認画面は表示されません。

2 [決定]

- バイブレータが振動します。

3 「おはよう」と送話口に向かって話す ▶ [決定]

- マイク音量バーが適正範囲に入るように話してください。
  - 適正範囲についてはマイク音量バーの色でも判断できます。音量が適正範囲の場合は青色、小さい場合は黄色から水色、大きすぎる場合は赤色となります。
- 約30秒以内で話してください。話し終わるか約30秒経過すると自動で音声入力が終了します。
- 音声入力を終了するとバイブレータが振動して、音声入力メールサーバと通信します。音声が文字に変換されて表示されます。
- 音声入力の中止：[中止]

4 変換した文字を確認する

- 文章の区切りを移動：[←]／[→]
  - 文末以外では、[●]をタッチして次の区切りに移動できます。
- 文字の変換を修正：修正する文字にカーソルを合わせて[候補選択] ▶ 変換候補を選ぶ
  - 修正する文字にカーソルを合わせて、変換候補欄をタッチしても操作できます。
  - 変換候補が複数ある場合は[←]／[→]をタッチしてページを移動できます。
  - 手入力で挿入した文字は修正できません。削除してから再度手入力してください。
  - 修正する文字を選び直すとき：変換候補欄で[戻る]または修正する文字をタッチ
- 手入力で文字を挿入：挿入する位置を選んで[文字挿入] ▶ 文字を入力 ▶ [決定]
- 文字の削除：削除する文字を選んで[CLR]
  - 文字を一括で削除することはできません。
- 音声入力のやり直し：[音声入力] ▶ [はい]

5 [全文確定]

- 文末で[●]をタッチしても操作できます。
- 文字変換を完了し、音声入力で文字入力した内容を決定します。

6 [ボタンで編集]

- メールの本文入力画面に戻ります。
- 続けて音声入力で文字入力するとき：[音声で追加入力]
- 変換候補を選び直す：[キャンセル]

- 次の場合は正しく認識できないことがあります。
  - ■ 声が大きすぎる場合
  - ■ 周囲の雑音が大きい場合
  - ■ 発声が明瞭でない場合
  - ■ 発声が不自然だったり、速度が速すぎる場合
  - ■ ボタンを押したり、送話口を触った場合
- メール／デコメアニメ®の題名入力と本文入力では、電話帳やユーザ辞書に登録されている名前が変換候補に優先的に表示されます。
- SMSの本文は音声入力できません。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

- FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	サービス名称	お申し込み	月額使用料	サービス名称	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	要	有料	公共モード(ドライブモード)	不要	無料	英語ガイダンス	不要	無料
キャッチホン	要	有料	公共モード(電源OFF)	不要	無料	マルチナンバー	要	有料
転送でんわサービス	要	無料	番号通知お願いサービス	不要	無料	2in1	要	有料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	デュアルネットワークサービス	要	有料	OFFICEED	要	有料
発信者番号通知サービス	不要	無料				メロディコール	要	有料

- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 「OFFICEED」は申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けサイト(http://www.docomo.biz/html/service/officeed/)をご確認ください。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録することができます(☞P.460)。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

留守番電話サービス

留守番電話サービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモ(☞P.74)を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかったときは、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、待受画面にストックアイコン[ ](着信あり)が表示されます。

- 伝言メッセージの録音／録画時間は1件あたり最長約3分、音声電話とテレビ電話それぞれ20件まで、最長約72時間保存されます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音が設定された呼出秒数の間(呼出時間は変更できます：☞P.448)鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しないときは、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。この着信は、待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼出時間を「0秒」に設定したときは、着信履歴に記憶されません。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときにテレビ電話がかかってきた場合は、設定した呼出時間が経過すると、留守番電話サービスに接続し、メッセージ録画が開始されます。また、設定した呼出時間内に応答すると、留守番電話サービスに接続せずに、そのまま通話できます。
- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定している場合、留守番電話サービスの開始や停止、留守番メッセージ再生、留守番サービス設定を行うときは、[Aナンバー]または[Bナンバー]を選択してから実行します。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定すると、留守番電話サービスは、自動的に停止します。

基本的な流れ

STEP 1　留守番電話サービスを開始する。
STEP 2　お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる。
STEP 3　音声電話／テレビ電話に出られないときは、留守番電話サービスセンターに接続される。
STEP 4　相手が用件を伝言メッセージに録音／録画する。
STEP 5　伝言メッセージを再生する。

サービスを利用する

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[留守番電話]

2 サービスを選ぶ

- **[メッセージ問い合わせ]**
- **[留守番メッセージ再生]▶[再生(音声電話)]／[再生(テレビ電話)]▶[はい]▶音声ガイダンスに従って操作**
- **[留守番電話サービス開始]▶[留守番電話サービス開始]▶[はい]**
- **[留守番電話サービス開始]▶[呼出秒数決定＋開始]▶呼出秒数を入力▶[決定]▶[はい]**
  - 呼出時間を設定して留守番電話サービスを開始します。
- **[留守番呼出時間設定]▶呼出秒数を入力▶[決定]**
- **[留守番サービス停止]▶[はい]**
- **[留守番設定確認]**
- **[留守番サービス設定]▶[設定(音声電話)]／[設定(テレビ電話)]▶[はい]▶音声ガイダンスに従って操作**
- **[件数お知らせ設定]▶[件数増加時鳴動設定]▶設定を選ぶ**
  - メッセージが増えたときに着信音で知らせるように設定します。
- **[件数お知らせ設定]▶[表示消去]▶[はい]**
  - ストックアイコンを消去します。
- **[着信通知]▶[着信通知開始]▶発番号非通知着信の設定を選ぶ▶[はい]**
- **[着信通知]▶[着信通知停止]▶[はい]**
- **[着信通知]▶[着信通知開始設定確認]**
- **[留守番テレビ電話設定]▶設定を選ぶ**

[メッセージ問い合わせ]について

- 伝言メッセージがあるときは、ストックアイコン[📼](留守録音あり)と、音声電話とテレビ電話の合計の件数が表示されます。

[留守番メッセージ再生]について

- ストックアイコン表示中は、ストックアイコンを選択してメッセージを再生することができます。
- ストックアイコンで表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。

[留守番電話サービス開始]について

- 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときは、[呼出秒数決定+開始]を選択できません。呼出時間を設定するときは、[留守番呼出時間設定]で設定してください。
- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定しているときは、[呼出秒数決定+開始]を選択すると、Aナンバーで設定する旨の確認画面が表示されます。

[留守番設定確認]について

- 2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定しているときは、[Aナンバー]または[Bナンバー]のどちらの設定を確認するかを選択します。

[着信通知]について

- 圏外、セルフモード中、電源が入っていない場合などに着信があったとき、再び電源を入れたときや圏内になったときにSMSでお知らせします。
- SMS一括拒否を設定していても通知されます。

[留守番テレビ電話設定]について

- 留守番電話サービスを、テレビ電話に対応させるかどうかを設定できます。

キャッチホン

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用するときは、あらかじめ「通話中着信動作選択」(☞P.453)を[通常着信]に設定してください。他の設定になっていると、キャッチホンを開始しても音声電話通話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。

サービスを利用する

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[キャッチホン]

2 サービスを選ぶ

- ◆ **[キャッチホンサービス開始]▶[はい]**
- ◆ **[キャッチホンサービス停止]▶[はい]**
- ◆ **[キャッチホンサービス設定確認]**

- 通話保留中も発信者の方の料金は加算されます。
- キャッチホンを停止しても、通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかけることはできます。

通話中にかかってきた電話に出る

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出ます。

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[📞]

- 最初の方との通話は自動的に保留になり、新しくかかってきた音声電話を受けることができます。
- 通話相手の切替:[切替]

通話を終了してかかってきた電話に出る

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出ます。

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[終話]

- 新しくかかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 [通話]

- 新しくかかってきた電話の方と通話できます。

通話中に別の相手に電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかけます。

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤルして[通話]

- 最初の方との通話は自動的に保留されます。
- 通話相手の切替:[切替]

転送でんわサービス

転送でんわサービスを利用する

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話/テレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ(☞P.74)を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかったときは、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、待受画面にストックアイコン[着信あり](着信あり)が表示されます。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

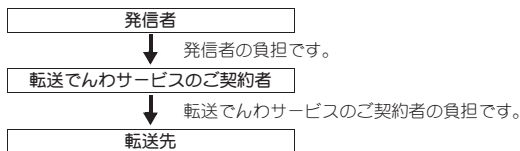
- テレビ電話をかけた側には、転送中のガイダンスは流れず、転送中のメッセージが画面に表示されます。

- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音が設定された呼出秒数の間(呼出時間は変更できます:☞P.451)鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しないときは、あらかじめ登録されている転送先に転送します。この着信は、待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼出時間を「0秒」に設定したときは、着信履歴に記憶されません。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときは、コレクトコール(料金着信払通話)での着信はできません。
- 通話中に別の音声電話がかかってきたときは、自動的に転送させることもできます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定すると、転送でんわサービスは、自動的に停止します。
- 圏外のときは、FOMA端末から転送でんわサービスの設定はできません。このようなときは、プッシュ式の一般電話、公衆電話などからネットワーク暗証番号を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ、遠隔操作設定を「開始」に設定しておく必要があります。
- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定している場合、転送サービスの開始や停止を行うときは、[Aナンバー]または[Bナンバー]を選択してから実行します。

基本的な流れ

STEP 1　転送先の電話番号を登録する。
STEP 2　転送でんわサービスを開始する。
STEP 3　お客様のFOMA端末に音声電話/テレビ電話がかかる。
STEP 4　音声電話/テレビ電話に出られないときは、あらかじめ登録した転送先に自動的に転送される。

転送でんわサービスの料金

発信者
↓ 発信者の負担です。
転送でんわサービスのご契約者
↓ 転送でんわサービスのご契約者の負担です。
転送先

● 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止などの操作の通話料は無料です。

サービスを利用する

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[転送でんわ]

2 サービスを選ぶ

◆ [転送サービス開始]▶[転送サービス開始]▶[はい]
◆ [転送サービス開始]▶[呼出秒数設定]▶呼出秒数を入力▶[決定]
・ 呼出時間を設定します。
◆ [転送サービス開始]▶[転送先電話番号入力]▶電話番号を入力▶[決定]
・ 転送先の電話番号を登録します。
◆ [転送サービス停止]▶[はい]
◆ [転送先変更]▶電話番号を変更▶[決定]▶項目を選ぶ
◆ [転送先通話中時設定]▶設定を選ぶ
◆ [転送サービス設定確認]

[転送サービス開始]について
● 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときは、[呼出秒数設定]や[転送先電話番号入力]を選択できません。
● 圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。

[転送先変更]について
● 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときは、[転送先変更+開始]を選択できません。
● 2in1のモードを[デュアルモード]に設定しているときは、[転送先変更+開始]を選択すると、Aナンバーで設定する旨の確認画面が表示されます。

[転送サービス設定確認]について
● 2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定しているときは、[Aナンバー]または[Bナンバー]のどちらの設定を確認するかを選択します。

転送ガイダンス有･無を設定する

1 待受画面で[メール]▶「1429」を入力▶[発信]／[メール]

● 音声ガイダンスに従って設定してください。

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

● 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記憶されません。
● 相手が発信者番号を通知してこない電話でも拒否登録できます。
● 国際電話は拒否登録できないことがあります。

■ 各サービス利用時の応答

各サービスの開始中に迷惑電話着信拒否登録した方から着信があったときは、次のようになります。

サービス名	迷惑電話着信拒否登録した方への応答
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。 メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。 転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。

サービスを利用する

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[迷惑電話ストップ]

2 サービスを選ぶ

◆ **[迷惑電話着信拒否登録]▶[はい]**
- 最後に着信応答した相手を登録します。

◆ **[電話番号指定拒否登録]▶登録方法を選ぶ▶電話番号を選択▶[はい]**
- 電話番号を入力するとき:[電話番号指定拒否登録]▶[直接入力]▶電話番号を入力▶[決定]▶[はい]

◆ **[迷惑電話全登録削除]▶[はい]**

◆ **[迷惑電話1登録削除]▶[はい]**
- 最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

◆ **[拒否登録件数確認]**

- 迷惑電話番号を削除する方法は、すべて削除、または最後に登録した1件の削除のいずれかです。特定の番号のみの削除はできません。

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービスを利用する

電話番号を通知してこない音声電話/テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、ストックアイコン[▮](着信あり)も表示されません。

■ 各サービス利用時の応答

番号通知お願いサービスを「開始」に設定している場合、次の各サービスの開始中に、発信者番号を通知しない着信があったときは、次のようになります。

サービス名	発信者番号を通知しない方への応答
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話着信拒否登録した電話番号から着信すると、着信拒否ガイダンスが流れます。

サービスを利用する

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[番号通知お願いサービス]

2 サービスを選ぶ

◆ **[番号通知お願い開始]▶[はい]**

◆ **[番号通知お願い停止]▶[はい]**

◆ **[番号通知お願い確認]**

デュアルネットワークサービス

デュアルネットワークサービスを利用する

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- ネットワーク暗証番号は4桁の数字を入力してください(☞P.116)。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

サービスを利用する

1 カスタムメニューで[設定]▶[その他のNWサービス]▶[デュアルネットワーク]

2 サービスを選ぶ

◆ **[デュアルネットワーク切替]▶ネットワーク暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]**

◆ **[デュアルネットワーク状態確認]**

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

- 発信者側・受信者側ともに本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

■ 利用できるガイダンスの種類

	メニュー項目	ガイダンスの内容
発信時（ネットワークサービス設定時に流れるガイダンス）	日本語	すべて日本語ガイダンスで流れます。
	英語	すべて英語ガイダンスで流れます。
着信時（相手がかけてきたときに流れるガイダンス）	日本語	すべて日本語ガイダンスで流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、そのあとに英語ガイダンスが流れます。
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、そのあとに日本語ガイダンスが流れます。

サービスを利用する

1 **カスタムメニューで［設定］▶［その他のNWサービス］▶［英語ガイダンス］**

2 **サービスを選ぶ**

◆ **［ガイダンス設定］▶ガイダンスの種類を選ぶ▶言語を選ぶ**
◆ **［ガイダンス設定確認］**

ドコモへのお問い合わせ

ドコモへ問い合わせをする

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なったり、表示されないことがあります。

ドコモ故障問合せ	故障問い合わせ先へ電話をかけることができます。
ドコモ総合案内・受付	総合案内・受付へ電話をかけることができます。
海外紛失・盗難等	海外から紛失、盗難などの問い合わせ先へ電話をかけることができます。
海外故障	海外から故障問い合わせ先へ電話をかけることができます。

1 **カスタムメニューで［設定］▶［その他のNWサービス］▶［ドコモへのお問い合わせ］**

2 **項目を選ぶ▶［はい］**

- 2in1のモードを［デュアルモード］に設定しているときは、発信番号選択画面で［Aナンバー］または［Bナンバー］を選択してから発信します。

通話中着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」、「キャッチホン」をご契約されているお客様の通話中や64Kデータ通信中にかかってきた電話にどのように対応するかを設定できます。

- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」、「キャッチホン」が未契約のときは、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。なお、キャッチホンを「開始」に設定している場合は、通話中着信設定を「開始」に設定する必要はありません。

■ 選択できる着信動作

留守番電話	通話中にかかってきた電話を留守番電話サービスに自動で接続します。留守番電話サービスの「開始」／「停止」に関係なく、伝言メッセージをお預かりします。
転送でんわ	通話中にかかってきた電話を転送でんわサービスに自動で接続します。転送でんわサービスの「開始」／「停止」に関係なく、登録してある電話番号に転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた電話の着信を自動で拒否します。
通常着信	音声電話通話中（キャッチホンが「開始」に設定されている場合）に音声電話がかかってきた場合は、キャッチホンの動作となります。音声電話通話中（キャッチホンが「停止」にされている場合）、テレビ電話通話中、64Kデータ通信中に、電話がかかってきた場合は次のいずれかの動作が可能です。 ● 通話中の電話や通信中の64Kデータ通信を終了し、かかってきた電話に出ることができます。 ● 通話中にかかってきた電話を手動で留守番電話サービスや転送でんわサービスへ接続、または着信拒否できます。 ● 留守番電話サービスや転送でんわサービスが「開始」に設定されているときは、その設定に従います。

● キャッチホンを利用するときは、［通常着信］に設定してください。

サービスを利用する

1 カスタムメニューで［設定］▶［NWサービス］▶［通話中着信］▶［通話中着信動作選択］

2 着信動作を選ぶ

通話中着信設定

通話中着信設定を開始／停止する

通話中着信設定を「開始」に設定すると、通話中や64Kデータ通信中に別の電話を受けたときに、通話中着信動作選択（☞P.453）に従い着信させることができます。

サービスを利用する

1 カスタムメニューで［設定］▶［NWサービス］▶［通話中着信］▶［通話中着信設定］

2 サービスを選ぶ

◆ ［通話中着信設定開始］▶［はい］
◆ ［通話中着信設定停止］▶［はい］
◆ ［通話中着信設定確認］

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

● FOMAのサービスエリア外でも操作できます。
● 遠隔操作を行う前に、遠隔操作設定を「開始」に設定してください。
● 海外でネットワークサービスを利用するときは、あらかじめ遠隔操作設定を「開始」に設定してください。

サービスを利用する

1 カスタムメニューで［設定］▶［その他のNWサービス］▶［遠隔操作設定］

2 サービスを選ぶ

◆ ［遠隔操作開始］▶［はい］
◆ ［遠隔操作停止］▶［はい］
◆ ［遠隔操作設定確認］

■ 公衆電話などからネットワークサービスの操作をする

● 公衆電話などからネットワークサービスを操作する詳しい方法は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

マルチナンバー

マルチナンバーを利用する

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号１と付加番号２の最大２つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号１／付加番号２）に対応した名称が表示されます。
- リダイヤルや着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。
- 登録した名称は、発信時のマルチナンバー選択画面や着信画面で表示されます。

サービスを利用する

1 カスタムメニューで[設定]▶[その他のNWサービス]▶[マルチナンバー]

2 サービスを選ぶ

◆ **[通常発信番号設定]▶使用する電話番号を選ぶ▶[はい]**
・使用する発信番号を設定します。

◆ **[通常発信番号設定確認]**

◆ **[電話番号設定]▶[付加番号１]／[付加番号２]▶名称を入力▶[決定]▶電話番号を入力▶[決定]▶着信音にカーソルを合わせる▶[決定]**
・マルチナンバーを登録します。
・名称は全角７文字（半角14文字）まで、電話番号は27桁まで入力できます。

■ 電話番号設定画面のサブメニュー操作

[修正]▶マルチナンバーを修正
- 修正方法は、登録時の操作と同様です。

[削除]▶[はい]

電話をかけるときに発信番号を選ぶ <マルチナンバー選択>

1 待受画面で[✆]▶電話番号を入力▶[サブメニュー]▶[マルチナンバー選択]

2 使用する電話番号を選ぶ▶[✆]（音声電話）／[テレビ電話]
- [✆]を押しても音声電話をかけることができます。

2in1

2in1を利用する

１つの携帯電話で、２つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも２つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

Aモード	お客様電話番号（Aナンバー）での発信とｉモードメール（Aアドレス）での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。
Bモード	2in1電話番号（Bナンバー）での発信とｉモードメール（Bアドレス）での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。
デュアルモード	A・Bモードの両方の機能を備えたモードです。

- ｉモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。
- モードごとの機能利用については☞P.458
- 外部機器から64Kデータ通信で発信を行った場合、2in1のモードが[Aモード]／[デュアルモード]のときはAナンバーで発信します。[Bモード]のときはBナンバーで発信します。ただし、[デュアルモード]設定時のATコマンドによるリダイヤル発信を行った場合は、最後に発信したナンバーでリダイヤル発信します。
- 2in1の詳細については、『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

2in1の利用を開始する<2in1設定>

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]

- すでに2in1を利用している場合は、2in1設定メニュー画面が表示されます。

3 [はい]

- フォルダ内既読削除/フォルダ内未読削除/フォルダ内全件削除(☞P.159)を行った場合、2in1のモードにかかわらず、AアドレスとBアドレスのすべての該当メールが削除されます。

モードを切り替える<モード切替>

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]

3 [モード切替]▶モードを選ぶ

■ デュアルモード設定時に発信番号を選んで発信する<2in1選択>

1 待受画面で[✓]▶電話番号を入力▶[サブメニュー]▶[2in1選択]

2 発信番号を選ぶ▶[📞](音声電話)/[テレビ電話]

- [✓]を押しても音声電話をかけることができます。

■ デュアルモード設定時に送信元アドレスを切り替えて送信する<送信者アドレス切替(A・B)>

1 メール作成画面で[サブメニュー]▶[送信者アドレス切替(A・B)]

2 送信元アドレスを選ぶ▶[送信]

電話帳に登録するモードを設定する<電話帳2in1設定>

2in1のモードによって表示される電話帳も自動的に切り替わります。電話帳登録時の2in1のモードによって、電話帳2in1設定が登録されます。また、次の操作で変更できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[電話帳2in1設定]

3 設定方法を選ぶ

- ◆ [選択設定]▶名前を選ぶ▶[確定]
- ◆ [グループ一括設定]▶グループを選ぶ
- ◆ [全件設定]

4 登録する設定を選ぶ

- FOMAカード電話帳の登録時は、どのモードで登録しても[共通]になり、変更できません。

モードごとの待受画面を設定する<モード別待受画面設定>

[デュアルモード]、[Aモード]、[Bモード]それぞれに待受画面を設定できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]

- [表示・ランプ・省電力]から設定するとき:カスタムメニューで[設定]▶[表示・ランプ・省電力]▶[待受設定]▶[2in1待受画面設定]▶操作3へ

2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[モード別待受画面設定]

3 モードを選ぶ

4 項目を選ぶ▶[設定]

5 画像にカーソルを合わせる▶[決定]▶[はい]

- FOMA端末のデータBOXに保存されているJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像を設定できます。また、[Aモード]の待受画面(縦)にはｉモーションやｉアプリも設定できます。なお、サイトからダウンロード直後の画面設定では、[Aモード]の待受画面が設定されます。
- 2in1のモードを[デュアルモード]または[Bモード]に設定しているときにｉアプリ待受画面を設定しても、[デュアルモード]または[Bモード]の待受画面には設定されません。[Aモード]の待受画面に設定されます。
- 2in1のモードを[Aモード]に設定しているときや2in1機能がOFFのときは、2in1待受画面設定からの設定はできません。

Bナンバーでの発着信画面の配色を設定する <発着信番号表示設定>

Bナンバーでの発着信を識別するために、カラーテーマ設定にかかわらず、発着信画面および通話中画面の電話番号／電話帳登録名／非通知理由をグレーで表示することができます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[発着信番号設定]▶[発着信番号表示設定]▶[識別表示あり]

モードごとの着信音を設定する<着信音選択>

Aモード、Bモードそれぞれに着信音を設定できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]

- [音・バイブ・マナー]から設定するとき：カスタムメニューで[設定]▶[音・バイブ・マナー]▶[音選択]▶[2in1着信音選択]▶操作3へ

2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[発着信番号設定]▶[着信音選択]

3 項目を選ぶ

4 [Aナンバー着信設定]／[Bナンバー着信設定]▶[設定]

- メール着信音のとき：[Aアドレス着信設定]／[Bアドレス着信設定]▶[設定]

5 着信音にカーソルを合わせる▶[決定]

- 音の選択方法については☞P.94「着信音を変える」の操作3へ

- FOMA端末のデータBOXに保存されているメロディ、着うた®、動画／iモーション、着うたフル®を設定できます。
- 着信音選択時の注意事項については☞P.94
- 非通知着信のときは、2in1設定の着信音選択にかかわらず通常の着信音選択に従います。
- 2in1のモードを[Aモード]に設定しているときや2in1機能がOFFのときは、2in1着信音選択からの設定はできません。

2in1の利用を停止する<2in1機能OFF>

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[2in1機能OFF]▶[はい]

- 2in1のBナンバーの変更やFOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1契約者）を行ったときは、次のいずれかの方法で正しいBナンバーを取得してください。
  - ■ 2in1機能をOFFにしてから、再度2in1設定を行い2in1機能をONにする
  - ■ 2in1契約問い合わせを行う
- FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1未契約者）を行ったときは、2in1機能をOFFにしてください。

着信を制限する<着信回避設定>

Aナンバー、Bナンバーの着信を制限できます。2in1のモードに連動して、AモードのときはAナンバー、BモードのときはBナンバーの着信のみを許可し、デュアルモードのときは両方の着信を許可するように設定することもできます。また、海外からも着信回避を設定できます。

1 カスタムメニューで[設定]▶[NWサービス]▶[2in1設定]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[着信回避設定]

3 着信回避を設定する

- ◆ **[着信回避設定変更]▶回避するナンバー欄を選ぶ▶設定を選ぶ▶[完了]▶[確認]**
- ◆ **[着信回避設定確認]▶[はい]▶[確認]**
- ◆ **[モード切替連動設定]▶[はい]▶[確認]**
  - ・モード切替連動を「開始」／「停止」します。
- ◆ **[着信回避設定（海外）]▶[はい]▶音声ガイダンスに従って操作**
  - ・海外で、着信回避を設定します。

[モード切替連動設定]について

- モード切替連動設定が「開始」のときは、圏外ではモードの切り替えができません。

モードごとの機能利用について

モードごとに動作が異なる項目のみ記載しています(Aモードと共通の動作をするものは除いています)。

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
音声／テレビ電話	発信	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択可※1
	着信	すべて(着信回避設定で制限可能)※2		
電話帳※3	表示	[A]・[共通]	[B]・[共通]	すべて
	名前変換※4	[A]・[共通]	[B]・[共通]	すべて
	新規登録時の電話帳2in1設定	[A]	[B]	登録時に選択可
	赤外線通信／ｉC通信／Bluetooth通信からの全件受信	送信元の電話帳2in1設定をコピー※5		
	赤外線通信／ｉC通信からの1件受信	[A]	[B]	保存時に選択可
	Bluetooth通信からの1件受信	[A]	[B]	[A]
	microSDカードへコピー	1件／グループ内全件／全件／選択コピー：電話帳2in1設定はすべて[共通]		
	FOMA端末からFOMAカードへコピー	電話帳2in1設定はすべて[共通]		
	FOMAカードからFOMA端末へコピー	[A]	[B]	[A]
リダイヤル	表示	Aナンバー発信	Bナンバー発信	すべての発信
着信履歴	表示	Aナンバー着信	Bナンバー着信	すべての着信
メール／SMS	表示	●Aアドレスで送受信したメール ●Aナンバーで送受信したSMS	●Bアドレスで送受信したメール ●Bナンバーで受信したSMS	●Aアドレスで送受信したメール ●Bアドレスで送受信したメール ●Aナンバーで送受信したSMS ●Bナンバーで受信したSMS
	送信	●Aアドレスからのメール ●AナンバーからのSMS	●Bアドレスからのメール ●SMS送信不可	●Aアドレス／Bアドレスからのメール※6※7 ●AナンバーからのSMS
	受信	●Aアドレス宛のメール／Aナンバー宛のSMS(鳴動あり) ●Bアドレス宛のメール／Bナンバー宛のSMS(鳴動なし)	●Aアドレス宛のメール／Aナンバー宛のSMS(鳴動なし) ●Bアドレス宛のメール／Bナンバー宛のSMS(鳴動あり)	●Aアドレス宛のメール／Aナンバー宛のSMS(鳴動あり) ●Bアドレス宛のメール／Bナンバー宛のSMS(鳴動あり)
	赤外線通信／ｉC通信／Bluetooth通信からの全件受信	送信元の状態をコピー※8		

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
メール／SMS	赤外線通信／ｉＣ通信／Bluetooth通信からの１件受信	A		
	microSDカードへコピー	全件／１件／選択／フォルダ内全件コピー：すべてA		
	FOMA端末からFOMAカードへコピー（SMSのみ）	A		
	FOMAカードからFOMA端末へコピー（SMSのみ）	A		
ｉアプリ		すべて利用可能	利用可能※９	利用可能※10
自局番号表示		Aナンバー・Aアドレス	Bナンバー・Bアドレス	Aナンバー・Aアドレス／Bナンバー・Bアドレス

※１ 電話帳2in1設定が[A]・[共通]の電話帳はAナンバー発信、[B]の電話帳はBナンバー発信が初期状態になります。
※２ 電話帳指定着信許可、電話帳指定着信拒否、電話帳登録外着信拒否を設定しているときは、利用しているモードと電話帳2in1設定にかかわらず、着信を許可／拒否します。
※３ 電話帳2in1設定にかかわらず、シークレット登録することができます。
※４ 発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳データとの照合により、各番号・各アドレスが登録されている電話帳データの名称に変換して表示する機能になります。
※５ 送信元が2in1非対応機種の場合、電話帳2in1設定はすべて[A]になります。
※６ 受信したメールを返信／転送する場合や、保存したメールを編集・送信する場合、リダイヤル／着信履歴、送受信履歴からメールを作成する場合は、元のメールや履歴のアドレス／ナンバーに従って送信者アドレスが設定されます。
※７ 発信元のアドレスは変更できます。変更方法については☞P.456
※８ 送信元が2in1非対応機種の場合、すべてAになります。
※９ メッセージｉアプリ、待受画面に設定したアプリは除きます。
※10 待受画面に設定したアプリは除きます。

OFFICEED

OFFICEEDを利用する

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には、別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けサイト（http://www.docomo.biz/html/service/officeed/）をご確認ください。

追加サービス（USSD）

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

- FOMA端末には、新しく追加提供されたサービスの特番またはサービスコードを登録できます。
- サービスコードが提供されるときは、FOMA端末には「USSD」として登録されます。

サービスを利用する

1 **カスタムメニューで[設定]▶[その他のNWサービス]▶[追加サービス]▶[USSD登録]**

2 **サービスを選ぶ**

■ USSD登録画面のサブメニュー操作

[編集]▶サービス名を入力▶[決定]▶特番／サービスコードを入力▶[決定]
[一件削除]▶[はい]
[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]

[編集]について

- 新しいネットワークサービスは10件まで登録できます。
- サービス名は全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

登録したサービスの受信表示を編集する <応答メッセージ登録>

1 **カスタムメニューで[設定]▶[その他のNWサービス]▶[追加サービス]▶[応答メッセージ登録]**

2 **受信表示にカーソルを合わせる▶[決定]**

3 **[編集]▶受信表示名を入力▶[決定]▶特番／サービスコードを入力▶[決定]**

■ 応答メッセージ登録画面のサブメニュー操作

[編集]	☞P.460
[一件削除]▶[はい]	
[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[はい]	

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、FOMAをご利用の皆様が海外の通信事業者のネットワークを利用して通話やｉモードなどをご利用いただけるサービスです。
日本国内で使用している携帯電話番号、メールアドレスのまま、海外滞在時も音声電話、テレビ電話、ｉモード、SMSを利用できます。留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスを利用することもできます。

- ご利用の際にはWORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。
- 本FOMA端末は3Gネットワークおよび GSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。
- お買い上げ時は、自動的にネットワークの切り替えが行われるように設定されています(☞P.467)。
- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - ■『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』
  - ■『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』
  - ■ドコモの「国際サービスホームページ」
  - ■データBOXの[マイドキュメント]にプリインストールされているPDFファイル「海外ご利用ガイド」

主要国の国番号について

国際電話を利用(☞P.67)するときや、国際ダイヤルアシスト設定(☞P.68)を行うときなどに入力する「国番号」は、次の番号を使用してください。

- その他の国番号および詳細については、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

ご利用地域	番　号	ご利用地域	番　号
アメリカ合衆国	1	トルコ	90
イギリス	44	日本	81
イタリア	39	ニューカレドニア	687
インド	91	ニュージーランド	64
インドネシア	62	ノルウェー	47
エジプト	20	ハンガリー	36
オーストラリア	61	フィジー	679
オーストリア	43	フィリピン	63
オランダ	31	フィンランド	358
カナダ	1	仏領ポリネシア	689
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
チェコ	420	モルディブ	960
中国	86	ロシア	7
ドイツ	49		

海外で利用できるサービス

海外で利用できる通信サービスは次のとおりです。

通信サービス	説　明	3G	GSM	GPRS
音声電話※1※2	海外でも同じ携帯電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本やその他の国への国際電話発信ができます。	○	○	○
テレビ電話※1※2	海外の特定3G通信事業者ユーザや、日本のFOMAユーザと国際テレビ電話を利用できます。	○	×	×
iモードメール	海外でも同じアドレスのまま、iモードメールの送受信ができます。	○	×	○
iモード※3	海外でもiモードを利用できます。	○	×	○
iチャネル※3※4	海外でもiチャネルを利用できます。	○	×	○
iコンシェル※5	海外でもiコンシェルを利用できます。	○	×	○
iウィジェット※6	海外でもiウィジェットを利用できます。	○	×	○
SMS	海外でも同じ携帯電話番号のまま、SMSの送受信ができます。	○	○	○
GPSの現在地確認※7	海外でもGPS機能を利用して現在位置確認ができます。	○	×	○
パソコンなどと接続して行うパケット通信※8	海外でもパケット通信を利用できます。	○	×	○

※1　2in1利用時、海外ではBナンバーから発信できません。
※2　マルチナンバー利用時、海外では付加番号から発信できません。
※3　iモード海外利用設定が必要となります(☞P.464)。
※4　iチャネル設定が必要となります。iチャネルの受信ごとに(ベーシックチャネル含む)パケット通信料がかかります。
※5　iコンシェルの海外利用設定が必要となります。インフォメーションを受信するたびにパケット通信料がかかります。
iコンシェルの海外利用設定は次の操作で変更できます。
待受タッチランチャで[iコンシェル]▶[MENU]▶[設定]▶[基本設定]▶[プロフィール設定／海外利用設定]▶[海外利用設定]
※6　iウィジェットローミング設定が必要となります(☞P.309)。iウィジェット画面を表示すると複数のウィジェットアプリが通信する場合があり、この場合1通信ごとにパケット通信料がかかります。
※7　あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください。現在地確認した際の通信料は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。
※8　パソコンなどと接続しての64Kデータ通信は利用できません。

- 利用する通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国・地域および通信事業者などの情報については、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は、日本国内とは異なります。

海外でご利用になる前の確認

出発前、滞在先、帰国後に必要な確認事項について説明します。

出発前の準備について

海外でFOMA端末を利用するとき、海外へ行く前に次の準備を行ってください。

■ ご契約について

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、WORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。

次ページへ続く

- 2005年８月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。また、一部ご利用いただけない料金プランがございます。

■ 充電について

- ACアダプタの取り扱い上のご注意については☞P.16
- ACアダプタでの充電方法については☞P.49

■ ｉモードサイトを閲覧するには

海外でｉモードサイトを閲覧するときは、あらかじめｉMenuから海外利用設定を設定しておく必要があります。

ｉモードサイト：[ｉMenu]▶[お客様サポート]▶[お申込・お手続き]▶[海外利用のお申込・お手続き]▶[海外利用設定]▶[ｉモード海外利用設定]

- 海外では、[ｉMenu]▶[海外利用設定]▶[ｉモード海外利用設定]で設定できます。
- 日本国内での設定は無料です。海外での設定はパケット通信料がかかります。
- 海外では、待受タッチランチャで[ｉ]をタッチしてｉMenuを表示させることはできません。ｉモードボタン設定を[ｉMenu/検索接続]に設定している場合は、海外ではじめて待受タッチランチャで[ｉ]をタッチしたときに、ｉモードメニューが表示される旨のメッセージが表示されます。次回からはｉモードメニューが表示されます。

■ ネットワークサービスの設定

ネットワークサービスをご契約いただいているとき、海外でも留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを利用できます。

- 海外の通信事業者によっては、ネットワークサービスの設定や確認ができないときがあります。また、日本国内でのみ設定や確認が可能なネットワークサービスもあります。
- 海外でネットワークサービスを利用するときは、あらかじめ遠隔操作設定（☞P.454、P.470）を「開始」に設定してください。

■ 海外からのお問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障に関しては、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

- 各お問い合わせ先電話番号の前に、滞在先の「国際電話アクセス番号（表１）」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表２）」のダイヤルが必要です。

主要国の国際電話アクセス番号（表１）

主要国の国際電話アクセス番号は次のとおりです。

- 日本向け通話料がかかります。

ご利用地域	番　号	ご利用地域	番　号
アイルランド	00	ドイツ	00
アメリカ合衆国	011	トルコ	00
アラブ首長国連邦	00	ニュージーランド	00
イギリス	00	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
インド	00	フィリピン	00
インドネシア	001	フィンランド	00
オーストラリア	0011	フランス	00
オランダ	00	ブラジル	0021／0014
カナダ	011		
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810
デンマーク	00		

ユニバーサルナンバー用国際識別番号(表2)

各国のユニバーサルナンバー用国際識別番号は次のとおりです。

- 滞在国内通話料などがかかる場合があります。
- 携帯電話からの場合、滞在国内通話料がかかります。

ご利用地域	番　号	ご利用地域	番　号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アルゼンチン	00	ニュージーランド	00
イギリス	00	ノルウェー	00
イスラエル	014	ハンガリー	00
イタリア	00	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	990
オーストリア	00	フランス	00
オランダ	00	ブラジル	0021
カナダ	011	ブルガリア	00
韓国	001	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ	09
台湾	00	ルクセンブルク	00
中国	00		

- 一部ご利用になれないときがあります。
- ユニバーサルナンバーは携帯電話や公衆電話、ホテルなどからご利用いただけないときが多いため、ご注意ください。
- ユニバーサルナンバーは、表2に記載のある国のみご利用可能です。
- ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求されるときがあります(お客様の負担となります)。ホテル側にご確認されてからご利用ください。

滞在先でのご利用について

3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。

海外でFOMA端末の電源を入れたときに自動的にネットワークを検索して滞在先の通信事業者に接続します。

- 自動時刻時差補正(☞P.55)を[ON]に設定しているとき、接続している海外の通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信すると、FOMA端末の時計の時刻・時差が補正されます。補正されるタイミングは海外の通信事業者によって異なります。
- 自動時刻時差補正は海外ではご利用いただけない場合があります。その際は手動で日時設定を行ってください(☞P.55)。
- 自動時刻時差補正を[ON]に設定しているとき、接続している通信事業者が切り替わると、時差補正が行われた旨のお知らせ画面が表示されることがあります。
- オペレータ名表示設定(☞P.468)を[表示あり]に設定しているとき、接続している通信事業者名が待受画面に表示されます。
- 待受時計表示設定(☞P.102)を[ON(大)]に設定しているときは、現地時間と日本時間が表示されます(日本時間と同じ標準時の地域を除く)。
- 滞在国のネットワークの状況などにより、通話、待受時間が通常の半分程度になることがあります。

帰国後の設定について

お買い上げ時は、帰国後にFOMA端末の電源を入れたときに自動的にネットワークを検索してFOMAネットワークに接続するように設定されています。

- ネットワークサーチ設定を[マニュアル]に設定しているときは、手動でFOMAネットワーク(DOCOMO)に設定し直すか、[オート]に変更してください。
- 3G/GSM切替を[自動]または[3G]に設定してください。

滞在先で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけることができます。

- 国際テレビ電話の相手先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。
- ネットワークサービスの発信者番号通知設定(☞P.56)を「通知」に設定していても、通信事業者によっては[通知不可能]や[非通知設定]など正しく番号表示されないことがあります。

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

滞在国から日本または他の国へ電話をかけます。

1 待受画面で[発信] ▶ [0(+)]をロングタッチ ▶ 国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号を入力

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります)。

2 [電話](音声電話)/[テレビ電話]

- [発信]を押しても音声電話をかけることができます。

■ 自動国番号変換を利用して滞在国外に電話をかける

自動国番号変換設定(☞P.68)を[ON]に設定し、よくかける国の国番号を設定しておくと、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- 電話番号の先頭の「0」が自動国番号変換設定で設定している国番号に自動的に変換されます。

例:電話帳から発信するとき

1 待受タッチランチャで[電話帳] ▶ 相手を選ぶ

2 [電話](音声電話)/[テレビ電話]

- [発信]を押しても音声電話をかけることができます。

3 [発信]

- 電話帳に登録されている電話番号のまま発信:[元の番号で発信]

■ 国番号設定に登録している国にかける<国際電話発信>

国番号設定(☞P.68)で国番号を登録しておくと、発信時に国名を選択して国際電話をかけることができます。

- 次の操作は、海外でのみ有効です。

1 待受画面で[発信] ▶ 電話番号を入力 ▶ [サブメニュー] ▶ [番号付加設定] ▶ [国際電話発信]

2 国名を選ぶ

3 [電話](音声電話)/[テレビ電話]

- [発信]を押しても音声電話をかけることができます。

滞在国内に電話をかける

滞在国で国内電話をかけるときは、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。

1 待受画面で[発信] ▶ 電話番号を入力

2 [電話](音声電話)/[テレビ電話]

- [発信]を押しても音声電話をかけることができます。
- 同一市内でも、必ず地域番号(市外局番)から入力してください。
- 電話帳を利用して滞在国内に電話をかけるときは、P.466「自動国番号変換を利用して滞在国外に電話をかける」の操作3で、[元の番号で発信]を選択します。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

海外でWORLD WING利用中の相手に電話をかけるときは、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として電話をかけます。

1 待受画面で[発信] ▶ [0(+)]をロングタッチ ▶ 日本の国番号「81」、先頭の「0」を除いた相手先携帯電話番号を入力

2 [電話](音声電話)/[テレビ電話]

- [発信]を押しても音声電話をかけることができます。

電話を受ける

海外でも、日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

1 電話がかかってきたら

- 相手と通話できます。

- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用している通信事業者によっては発信者番号が通知されないときがあります。
- 国際ローミング中に電話がかかってきたときは、日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本から滞在先に電話をかけてもらう

海外で日本からの電話を受けるときは、日本国内にいるときと同様にお客様の電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

090(または080)-XXXX-XXXX

- 着信履歴からの発信では、電話番号が正しく表示されていないことがありますので、そのままではかからないことがあります。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう

滞在先にかかわらず日本への国際電話として、国際電話アクセス番号と日本の国番号「81」を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90(または80)-XXXX-XXXX

3G／GSM切替

ネットワーク通信方式を設定する

ご利用になる地域や通信事業者に対応した通信方式を設定します。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[3G／GSM切替]

2 通信方式を選ぶ

ネットワークサーチ設定

通信事業者の検索方法を設定する

- 手動で通信事業者を選択するように設定できます。
- ネットワークを再検索して、他の通信事業者に切り替えることができます。
- 帰国後、[圏外]が表示されているときはネットワークサーチ設定が[オート]になっていることをご確認ください。
- 海外で[マニュアル]に設定し、通信事業者を選んだ場合、帰国後、手動でFOMAネットワーク(DOCOMO)に設定し直すか、[オート]に変更してください。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話・通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[ネットワークサーチ設定]

2 設定を選ぶ

◆ **[オート]▶[はい]**
- [オート]に設定しているとき：[オート]

◆ **[マニュアル]▶通信事業者を選ぶ**
- 利用できない通信事業者には[！]が表示されます。
- 接続する通信事業者が切り替わります。

◆ **[ネットワーク再検索]**
- ネットワークサーチ設定を[オート]に設定しているときは、自動的に接続先が切り替わります。[マニュアル]に設定しているときは、通信事業者を選択します。

利用できる通信サービスを確認する<在圏状態表示>

通話、データ通信、パケット通信が利用できる状態にあるかどうかを確認します。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[その他の設定]▶[在圏状態表示]▶[確認]**

優先ネットワーク設定

優先的に接続する通信事業者を設定する

ネットワークサーチ設定を[オート]に設定しているとき、接続する通信事業者の優先順位を設定できます。20件まで登録できます。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[ネットワークサーチ設定]▶[優先ネットワーク設定]**

- 登録した通信事業者の詳細情報を確認するときは、通信事業者を選択します。

2 **優先順位にカーソルを合わせる▶[サブメニュー]**

3 **登録方法を選ぶ**

◆ **[マニュアル登録]▶国番号(MCC)を入力▶[決定]▶ネットワークコード(MNC)を入力▶[決定]▶通信方式を選ぶ**

◆ **[リストから登録]▶通信事業者を選ぶ▶通信方式を選ぶ**

・国名から通信事業者を検索するとき:[リストから登録]▶[検索]▶国名を選ぶ▶通信事業者を選ぶ▶通信方式を選ぶ

・通信事業者の詳細情報を確認:[リストから登録]▶通信事業者にカーソルを合わせる▶[確認]

◆ **[在圏ネットワーク登録]**

・現在接続中の通信事業者を登録します。

◆ **[優先順位変更]▶移動先を選ぶ**

◆ **[削除]▶[1件削除]**

◆ **[削除]▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶[OK]**

4 **[はい]**

- 設定はFOMAカードに保存されます。

オペレータ名表示設定

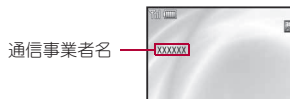
ローミング中の通信事業者名を表示する

国際ローミング中に、接続中の通信事業者名を待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[オペレータ名表示設定]**

2 **設定を選ぶ▶[はい]**

■ **通信事業者名を表示したとき**

ローミングガイダンス設定

ローミングガイダンスを開始する

国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すかどうかを設定します。

- 日本国内で設定してください。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[その他のNWサービス]▶[ローミングガイダンス設定]**

2 **項目を選ぶ**

3 **[はい]**

ローミング時着信規制

ローミング中は着信を受け付けないようにする

国際ローミング中は着信を受けないように設定できます。すべての着信を規制するか、テレビ電話の着信のみ規制するかを選択できます。

全着信規制	音声着信、iモードメール受信、SMS受信を含むすべての着信を規制します。
TV／64kデータ着信規制	テレビ電話の着信のみ規制します。

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。
- 海外では64Kデータ通信を利用できません。
- [全着信規制]に設定しても、iモード通信とメール送信は可能です。また、パケット通信を行うと、メールなどが受信される場合があります。

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[ローミング時着信規制]

2 項目を選ぶ

◆ **[ローミング時着信規制開始]▶[はい]▶規制方法を選ぶ▶ネットワーク暗証番号を入力▶[OK]**

◆ **[ローミング時着信規制停止]▶[はい]▶ネットワーク暗証番号を入力▶[OK]**

◆ **[ローミング時着信規制確認]**

ローミング着信通知設定

ローミング中に着信通知機能を利用する

国際ローミング中に、電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、かかってきた電話に応答できなかったときに、その着信の情報（着信日時や発信者番号）をSMSにてお知らせします。

- 滞在先での設定方法については☞P.470

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]▶[ローミング着信通知設定]

2 項目を選ぶ

◆ **[ローミング着信通知開始]▶[はい]**

◆ **[ローミング着信通知停止]▶[はい]**

◆ **[ローミング着信通知確認]**

海外用サービス

ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスを利用できます。

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。
- 留守番電話（海外）や転送でんわ（海外）をご利用になるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのご契約が必要です。
- 海外でネットワークサービスを利用するときは、あらかじめ遠隔操作設定（☞P.454、P.470）を「開始」に設定してください。
- 海外から操作したときは、ご利用いただいた国の日本向け通話料がかかります。

滞在先で留守番電話サービスの操作をする＜留守番電話(海外)＞

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]
2 [留守番電話(海外)]▶留守番電話サービスの項目を選ぶ
3 [はい]▶音声ガイダンスに従って操作

滞在先で転送でんわサービスの操作をする＜転送でんわ(海外)＞

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]
2 [転送でんわ(海外)]▶転送でんわサービスの項目を選ぶ
3 [はい]▶音声ガイダンスに従って操作

滞在先でローミングガイダンスの操作をする＜ローミングガイダンス(海外)＞

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]
2 [ローミングガイダンス(海外)]
3 [はい]▶音声ガイダンスに従って操作

滞在先で遠隔操作を設定する＜遠隔操作設定(海外)＞

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]
2 [遠隔操作設定(海外)]
3 [はい]▶音声ガイダンスに従って操作

滞在先で番号通知お願いサービスの操作をする＜番号通知お願い(海外)＞

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]
2 [番号通知お願い(海外)]
3 [はい]▶音声ガイダンスに従って操作

滞在先で着信通知設定を設定する＜ローミング着信通知(海外)＞

1 カスタムメニューで[設定]▶[通話･通信機能設定]▶[その他の設定]▶[国際ローミング設定]
2 [ローミング着信通知(海外)]
3 [はい]▶音声ガイダンスに従って操作

パソコン接続

データ通信の詳細については、付属のCD-ROM※内またはドコモのホームページ上のPDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

※ 付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、TOP画面が表示されます。[取扱説明書] ▶ [パソコン接続マニュアル(PDFファイル)]をクリックします。
何らかの理由によりTOP画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] ▶ [SH-03B]を選んで右クリックし、[エクスプローラ]をクリックし、[manual]をダブルクリックし、[SH-03B_J_Manual.pdf]をダブルクリックします。

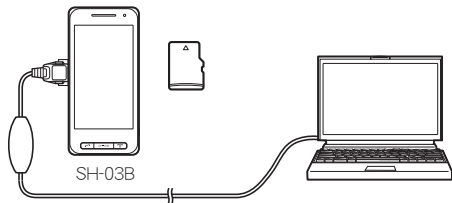
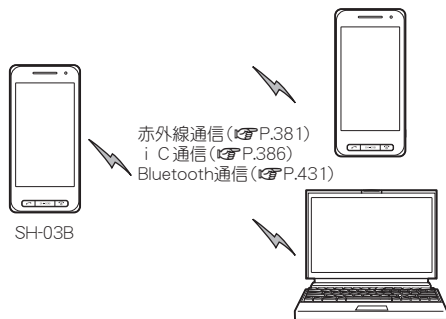
データ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の３つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をsigmarionⅢと接続してデータ通信を行うことができます。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- 海外では、パソコンなどと接続しての64Kデータ通信は利用できません。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。

■ データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、FOMA端末と他のFOMA端末やパソコンなどの間で送受信します。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）
microSDカード（☞P.363）
ドコモケータイdatalink（☞P.476）

■ パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsの高速通信を行うことができます（通信環境や、電波などが混み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です）。

- 最大7.2Mbps、最大384kbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。
- FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA「sigmarionⅢ」などHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合は、通信速度が遅くなる場合があります。

パケット通信はFOMA端末とパソコンなどをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）やBluetooth機能で接続して、各種設定を行うと利用できます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。
データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。
FOMA端末では、パソコンなどによるパケット通信と音声電話を同時に利用できます（☞P.405）。

■ 64Kデータ通信

接続している時間に応じて課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。
64Kデータ通信はFOMA端末とパソコンなどをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02やBluetooth機能で接続して、各種設定を行うと利用できます。データBOXコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
長時間通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

ご利用にあたっての留意点

■ インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

■ 接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは、FOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

■ パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でデータ通信（パケット通信／64Kデータ通信）を行うには、次の条件が必要になります。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用できるパソコンであること
- Bluetooth機能を利用する場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）に対応していること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、前述の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況などにより通信ができないことがあります。

- パケット接続を行う場合は、FOMA端末と接続する機器がJATE（財団法人電気通信端末機器審査協会）の認定品である必要があります。

■ ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証ではFirstPass（ユーザ証明書）が必要です。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

ご使用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を使用する場合：USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1／2.0準拠） Bluetooth機能を利用する場合：Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR準拠（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨
OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7（各日本語版）
必要メモリ	Windows 2000：64MB以上 Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上 Windows 7（32ビット版）：1GB以上 Windows 7（64ビット版）：2GB以上
ハードディスク容量	5MB以上の空き容量 ● ドコモ コネクションマネージャは10MB以上の空き容量

- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページをご確認ください。
- 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。
- OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に次のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）※、またはFOMA USB接続ケーブル（別売）※
- CD-ROM「SH-03B用CD-ROM」（付属）

※ USB接続の場合

- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02」、または「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）をご利用になる場合は、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール
- ドコモのホームページからダウンロードして、インストール

データ転送

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。次のような流れになります。

USB接続の場合

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
- 付属のCD-ROMからインストール
- ドコモのホームページからダウンロードして、インストール

↓

パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）で接続する（☞P.374）

↓

インストール後の確認をする

Bluetooth接続の場合

パソコンとFOMA端末をBluetooth機能を利用してワイヤレス接続する

↓

モデムの確認をする

（以降、共通）

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

↓

ドコモ コネクションマネージャでデータ通信の設定をする※

↓

接続する

または

ドコモ コネクションマネージャを使わずに通信の設定をする
- パケット通信
- 64Kデータ通信

↓

接続する

※ ドコモ コネクションマネージャの設定については、「ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル.pdf」をご覧ください。

- FOMAでインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。

FOMA通信設定ファイルについて

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続してデータ通信を行うには、付属のCD-ROMからFOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

Bluetooth接続を準備する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続してデータ通信を行います。

- Bluetooth接続の詳細については☞P.423

ドコモ コネクションマネージャについて

付属のCD-ROMからドコモ コネクションマネージャをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信や、64Kデータ通信に必要なさまざまな設定を、簡単に行うことができます。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。
ATコマンドの詳細は付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

CD-ROMを利用する

取扱説明書付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書（PDF）が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

- CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
  [はい]をクリックしてください。

ドコモケータイdatalinkの紹介

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属されているCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。

http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。
また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル（別売）が必要になります。

付録／困ったときには

困ったときには

メニュー一覧

● [☆]が付いているものは、設定リセット（☞P.131）でお買い上げ時の状態に戻る項目です。

カスタムメニュー／基本メニュー／横表示メニュー一覧

● カスタムメニューに設定されているきせかえツールによっては、機能名の表記が異なる場合があります。
● FOMA端末の本体色によって、お買い上げ時に設定されているきせかえツールが異なります。

■ iモードメニュー

iモード		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
i Menu・検索	―	P.174
Bookmark	[Bookmark]フォルダ フォルダ一覧画面 フォルダ管理（フォルダセキュリティ：OFF）	P.186
画面メモ	―	P.188
ラストURL	―	P.185
URL入力		
URL入力	http://	P.184
URL入力履歴	―	P.185
iチャネル		
iチャネル一覧起動	―	P.209
iチャネルテロップ設定	ON（テロップ文字サイズ設定：大（標準）、テロップ色設定：きせかえに従う、テロップ速度設定☆：標準）	P.210
iチャネル初期化	―	P.210

iモード		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
iモード設定		
iモードブラウザ設定		
画像表示設定☆	表示する	P.197
サウンド設定☆	音量5	P.197
動画自動再生設定☆	自動再生する	P.208
ページ内動画取得設定☆	毎回確認	P.208
Script動作設定☆	有効	P.197
端末情報利用設定☆	利用する	P.198
文字サイズ設定☆	小さい文字	P.198
Cookie設定☆	有効	P.198
Cookie削除	―	P.198
Referer設定☆	有効	P.198
ウィンドウ自動起動設定☆	自動起動する	P.199
ポインタ表示設定☆	表示しない	P.199
フルブラウザ設定		
画像表示設定☆	表示する	P.197
サウンド設定☆	音量5	P.197
ページ内動画取得設定☆	毎回確認	P.208
Script動作設定☆	有効	P.197
端末情報利用設定☆	利用する	P.198
文字サイズ設定☆	小さい文字	P.198
ズーム☆	80%	P.199
Cookie設定☆	有効	P.198
Cookie削除	―	P.198
Referer設定☆	有効	P.198
ウィンドウ自動起動設定☆	自動起動する	P.199

ｉモード		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
ｉモード設定		
フルブラウザ設定		
ポインタ表示設定☆	表示する	P.199
フルブラウザホーム設定☆	http://www.google.co.jp	P.180
表示モード設定☆	PCモード	P.199
自動通信サイズ設定☆	毎回確認	P.199
フルブラウザ確認表示☆	毎回表示	P.199
フルブラウザ利用設定☆	利用しない	P.199
共通設定		
証明書設定☆	すべて有効※1	P.200
セキュア通信サービス設定	ユーザ証明書操作：－ センター接続先設定☆：ドコモ	P.200 P.202
接続先設定☆	ｉモード	P.196
ｉモードボタン設定☆	ｉMenu🔍検索接続	P.196
ログイン情報登録	－	P.184
自動レイアウト表示設定☆	ON	P.197
ポインタ加速度設定☆	普通	P.197
Bookmark表示設定☆	サムネイル表示	P.197
スクロール設定☆	1行	P.197
ｉモード設定確認	－	P.200
ｉモード設定リセット	－	P.200
RSSリーダー	－	P.190
フルブラウザホーム	－	P.178

※1 ユーザデータ削除または設定リセットを行った場合は、FOMAカードに保存されている証明書もすべて有効になります。

■ ｉアプリメニュー

ｉアプリ		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
ソフト一覧☆	ソート：使用順	P.285
ｉアプリコール履歴	－	P.303
ｉアプリ設定		
ｉアプリ音量設定☆	音量5	P.288
ソフト情報表示設定☆	OFF	P.285
自動起動設定☆	OFF	P.302
省電力設定☆	OFF	P.288
ｉアプリコールDL設定☆	拒否しない	P.304
ｉウィジェットローミング設定☆	許可しない	P.309
ｉウィジェット効果音☆	ON	P.309
オートGPS優先設定☆	OFF	P.288
ｉアプリ使用データ	－	P.306
情報表示		
自動起動失敗履歴	－	P.306
強制終了履歴	－	P.306
セキュリティエラー履歴	－	P.306
トレース表示	－	P.306

■ カメラメニュー

カメラ		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
静止画撮影	撮影メニュー（ホワイトバランス：オート、ピクチャーライト☆：OFF、シーン別撮影☆：自動認識、セルフタイマー：OFF、連続撮影：OFF、明るさ調整：明るさ0、フレーム撮影：OFF、エフェクト撮影：OFF） AFモード：顔優先AF 手ぶれ補正☆：OFF	P.226

カメラ		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
静止画撮影	サイズ選択☆:「5M:1944×2592」 画質選択☆:ハイクオリティ カメラ設定(顔登録情報表示☆:ON、笑顔レベル☆:レベル1(微笑)、自動切替モード☆:ON、自動保存モード☆:OFF、全画面モード切替:OFF、カメラ設定保持☆:ON) 保存先選択☆:本体	P.226
動画撮影	撮影メニュー(AFモード:標準、ホワイトバランス:オート、ピクチャーライト☆:OFF、シーン別撮影:標準、セルフタイマー:OFF、明るさ調整:明るさ0、エフェクト撮影:OFF) 手ぶれ補正☆:OFF 映像・音声切替:映像+音声 ファイルサイズ制限☆:制限なし サイズ選択☆:「FWVGA:864×480」 画質選択☆:ハイクオリティ 共通再生モード:OFF カメラ設定☆(ノイズキャンセラ:OFF、バックライト点灯時間:照明設定に従う、カメラ設定保持:ON) 保存先選択☆:本体	P.229
プリティアレンジカメラ	撮影メニュー(ピクチャーライト☆:OFF、セルフタイマー:OFF、明るさ調整:明るさ0、フレーム撮影:OFF) AFモード:顔優先AF サイズ選択☆:「待受:480×854」 画質選択☆:ハイクオリティ カメラ設定(全画面モード切替:OFF、カメラ設定保持☆:ON) 保存先選択☆:本体	P.237
コラムリーダー	AFモード:接写	P.239
バーコードリーダー	AFモード切替:接写	P.238

カメラ		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
名刺リーダー	AFモード:接写	P.241
情報リーダー	AFモード:接写	P.242
モーションデコ☆	サイズ変更:ピクチャ大(240×180)	P.243
ショットデコ	サイズ変更☆:ピクチャ大(240×92) 静止画・アニメモード切替:静止画	P.244
カメラルーペ	撮影メニュー(ピクチャーライト:OFF) AFモード:接写 サイズ選択:「待受:480×854」 カメラ設定(自動切替モード:OFF、全画面モード切替:ON)	P.243

■ メールメニュー

メール		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
受信BOX	「Welcomeドコモ動画」、「緊急速報「エリアメール」のご案内」 フォルダ一覧画面 　フォルダ管理(フォルダシークレット:OFF) メール一覧画面 　表示設定(プレビュー表示☆:ON、一覧表示:2行表示、ソート:日付順(新→旧))	P.150

付録/困ったときには

メール		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
送信BOX 未送信BOX	フォルダ一覧画面 　フォルダ管理（フォルダシークレット：OFF） メール一覧画面 　表示設定（プレビュー表示☆：ON、一覧表示：２行表示、ソート：日付順（新→旧））	P.150
新規メール作成	－	P.136
新規デコメアニメ作成	－	P.141
新規SMS作成	－	P.170
テンプレート		
デコメテンプレート	－	P.143
デコメアニメテンプレート	－	P.143
ｉモード問い合わせ	－	P.148
SMS問い合わせ	－	P.171
メール選択受信		
メール選択受信	－	P.147
メール選択受信設定☆	OFF	P.163
メール設定		
クイック返信メール設定	－	P.164
添付ファイル受信設定☆	すべて受信する	P.164
メロディ自動再生☆	自動再生する	P.164
文字サイズ設定☆	表示画面・文字入力画面：小さい	P.161
受信・自動送信表示☆	通知優先	P.164
ｉモード問い合わせ設定☆	メール・メッセージR・メッセージF：ON	P.162
詳細直接表示設定☆	OFF	P.161
メッセージ自動表示設定☆	メッセージR優先	P.166

メール		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
メール設定		
メール選択受信設定☆	OFF	P.163
ブログ／SNS投稿先設定	－	P.163
メールメンバー設定	メンバー１～メンバー10	P.163
署名登録☆	ON	P.162
メールテロップ設定☆	通常時：差出人＋題名 ワンセグ視聴時：お知らせのみ	P.147
SMS設定		
SMSセンター設定	－	P.171
SMS送達通知設定☆	要求しない	P.171
SMS有効期間設定	－	P.172
SMS本文入力設定	－	P.172
エリアメール設定		
受信設定☆	利用する	P.169
ブザー鳴動時間☆	10秒	P.169
マナー／公共モード時設定☆	マナー／公共モード時も鳴動	P.170
着信音確認	－	P.170
その他		
受信登録	－	P.169
編集時自動保存設定☆	ON	P.164
プレビュー後既読設定☆	ON	P.165
メール設定確認	－	P.165
メール設定リセット	－	P.165
シークレットメール設定☆	シークレット送受信設定・シークレット新着通知設定：OFF	P.165
アドレス・迷惑メール設定	－	P.166

■ 設定メニュー

- お買い上げ時の設定内容は、本体色によって、きせかえツールで設定できる項目（☞P.107）が、[White]、[Black]、[Magenta]と表示されます。きせかえツールの設定を変更したときも、きせかえツールのタイトル名が表示されます。

設　定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
音・バイブ・マナー		
音量選択		
受話音量選択☆	音量５	P.96
着信音量選択☆	音声電話着信音・テレビ電話着信音・公衆電話着信音・非通知設定着信音・通知不可能着信音：音量５	P.95
メール着信音量選択☆	メール着信音・メッセージR着信音・メッセージF着信音・SMS着信音：音量５	P.95
ボタン／タッチ音☆	音量５	P.96
待受 i モーション音☆	音量５	P.96
充電開始音☆	音量５	P.96
充電完了音☆	音量５	P.96
タイマー音☆	音量５	P.96
GPS音量選択☆	現在地確認音・現在地通知音・位置提供／許可音・位置提供／毎回確認音：音量５	P.96
音選択		
着信音選択☆	音声電話着信音：着信音１ テレビ電話着信音・公衆電話着信音・非通知設定着信音・通知不可能着信音：音声電話着信音に従う	P.94

設　定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
音・バイブ・マナー		
音選択		
メール着信音選択☆	メール着信音：着信音２ メッセージR着信音・メッセージF着信音・SMS着信音：メール着信音に従う	P.94
2in1着信音選択		
音声電話着信音	Aナンバー着信設定：着信音１ Bナンバー着信設定：着信音３	P.457
テレビ電話着信音	Aナンバー着信設定・Bナンバー着信設定：音声電話着信音に従う	P.457
メール着信音	Aアドレス着信設定：着信音２ Bアドレス着信設定：着信音４	P.457
SMS着信音	Aナンバー着信設定・Bナンバー着信設定：メール着信音に従う	P.457
シャッター音☆	標準音	P.95
タイマー音☆	T1（標準音）／鳴動時間：15秒	P.95
GPS音選択☆	現在地確認音：OFF 現在地通知音：着信音４ 位置提供／許可音：着信音５ 位置提供／毎回確認音：着信音６	P.95
バイブレータ設定		
着信バイブレータ☆	OFF	P.97
メール着信バイブレータ☆	OFF	P.97

設定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
音・バイブ・マナー		
バイブレータ設定		
GPSバイブレータ☆	現在地確認・現在地通知・位置提供／許可・位置提供／毎回確認：OFF	P.97
タッチバイブレータ☆	ON	P.97
マナーモード設定		
通常マナーモード	－	P.99
サイレントマナーモード	－	P.99
オリジナルマナーモード☆	伝言メモ・着信ランプ・メール着信ランプ・バイブレータ・マイク感度アップ：ON アラーム音・ボタン／タッチ音・電池残量警告音：OFF 着信音・メール着信音：サイレント	P.100
クイックサイレント☆	OFF	P.100
イヤホン切替設定☆	イヤホン＋スピーカー	P.98
着信鳴動時間設定		
メール鳴動時間設定☆	ON／３秒	P.98
GPS鳴動時間設定☆	現在地確認音・現在地通知音：ON／５秒 位置提供／許可音・位置提供／毎回確認音：ON／20秒	P.98
呼出動作開始時間設定☆	OFF	P.127
保留・応答保留音		
応答保留音☆	応答保留音１	P.72
保留音☆	保留メロディ１	P.72

設定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
音・バイブ・マナー		
音再生設定		
メロディステレオ効果設定☆	ステレオ／3DサウンドON	P.96
メロディイコライザ設定☆	ノーマル	P.97
再生音優先設定☆	ミュージックプレーヤー	P.97
表示・ランプ・省電力		
待受設定		
待受画面設定		
待受画面（縦）	White（本体色White）、Black（本体色Black）、Magenta（本体色Magenta）	P.100
待受画面（横）	White（本体色White）、Black（本体色Black）、Magenta（本体色Magenta）	P.100
2in1待受画面設定		
デュアルモード	待受画面（縦）：待受画面２ 待受画面（横）：横待受画面２	P.456
Bモード	待受画面（縦）：待受画面３ 待受画面（横）：横待受画面３	P.456
待受時計表示設定	時計表示☆：ON（大） 時計グラフィック設定※２：待受時計２	P.102
カレンダー表示設定☆	１ヶ月（大）	P.101

※２　ユーザデータ削除または設定リセットを行った場合は、[待受時計１]が設定されます。

設　定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
表示・ランプ・省電力		
待受設定		
待受メモ表示設定☆	ON	P.102
待受タッチランチャ設定☆	ON(常時表示)	P.41
卓上設定☆	卓上時計(時計パターン設定:Aqua)	P.102
待受スライド連動設定	待受	P.103
ウェルネス表示設定☆	OFF	P.400
縦横画面自動切替☆	ON	P.103
文字表示設定		
フォント(書体)設定☆	AXISフォント	P.112
文字サイズ設定		
一括設定☆	小さい	P.113
個別設定☆	iモード・フルブラウザ・メール/メッセージ・文字入力:小さい	P.113
カラー・グラフィック設定		
きせかえツール	White(本体色White)、Black(本体色Black)、Magenta(本体色Magenta)	P.107
背景設定		
画像表示☆	ON	P.104
背景画像(縦)	White(本体色White)、Black(本体色Black)、Magenta(本体色Magenta)	P.104
背景画像(横)	White(本体色White)、Black(本体色Black)、Magenta(本体色Magenta)	P.104
濃度設定☆	標準	P.104

設　定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
表示・ランプ・省電力		
カラー・グラフィック設定		
発着信画面設定	ピクチャーコール設定☆:ON 音声電話発信画面・テレビ電話発信画面:White(本体色White)、Black(本体色Black)、Magenta(本体色Magenta) 音声電話着信画面・テレビ電話着信画面:White(本体色White)、Black(本体色Black)、Magenta(本体色Magenta) 公衆電話着信画面☆・非通知設定着信画面☆・通知不可能着信画面☆:電話着信	P.103
メール送受信画面設定	メール送信画面設定:White(本体色White)、Black(本体色Black)、Magenta(本体色Magenta) メール受信画面設定:White(本体色White)、Black(本体色Black)、Magenta(本体色Magenta) メール受信完了画面・メッセージR受信完了画面・メッセージF受信完了画面・SMS受信完了画面:White(本体色White)、Black(本体色Black)、Magenta(本体色Magenta)	P.103

設定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
表示・ランプ・省電力		
カラー・グラフィック設定		
ダイヤル画像設定☆	ダイヤル画像1	P.109
お知らせウィンドウアニメ	White(本体色White)、Black(本体色Black)、Magenta(本体色Magenta)	P.109
電波／電池／小時計マーク	電波マーク:White(本体色White)、Black(本体色Black)、Magenta(本体色Magenta) 電池マーク:White(本体色White)、Black(本体色Black)、Magenta(本体色Magenta) 小時計マーク※3:時計表示2	P.110
マチキャラ☆	ON(ひつじのしつじくん)※4	P.109
カラーテーマ設定	White(本体色White)、Black(本体色Black)、Red(本体色Magenta)	P.110
ランプ設定		
着信ランプ		
音声電話☆	ランプ色設定:プラズマ ランプパターン設定:パルス	P.111
テレビ電話☆	ランプ色設定:プラズマ ランプパターン設定:サイドパルス	P.111
メール受信ランプ☆	ランプ色設定:リーフ ランプパターン設定:クロス	P.111
お知らせランプ☆	不在着信お知らせ・新未読メールお知らせ:ON	P.111

設定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
表示・ランプ・省電力		
ランプ設定		
通話中ランプ☆	OFF	P.111
アラーム／タイマーランプ☆	ON(ランプ色設定:レインボー、ランプパターン設定:チェイス)	P.111
ＩＣカードランプ☆	ON	P.111
スライド連動ランプ☆	ON(ランプ色設定:プラズマ、ランプパターン設定:ブレス)	P.111
GPSランプ☆	現在地確認:OFF 現在地通知・位置提供／許可・位置提供／毎回確認:スカイ	P.111
表示画質設定		
鮮やか画質モード設定☆	待受・データBOX(Music&V ch)・データBOX(ｉモーション／ムービー)・インターネットムービープレーヤー:ダイナミック カメラ・データBOX(レコーダー連携):ノーマル ｉアプリ:ゲーム ワンセグ／データBOX(ワンセグ):ジャンル連動 データBOX(マイピクチャ):シャープネス	P.112
シーン別制御☆	ON	P.112

※3　ユーザデータ削除または設定リセットを行った場合は、[時計表示1]が設定されます。

※4　マチキャラの[ひつじのしつじくん]を削除したあとで、設定リセット(☞P.131)を行った場合は[OFF]に設定されます。

設　定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
表示・ランプ・省電力		
照明・省電力設定※5		
通常モード（明るさ自動）	－	P.105
通常モード（明るさ固定）	－	P.105
Ecoモード（省電力）	－	P.105
オリジナルEcoモード		
照明時間設定☆	通常時：10秒 充電時・インターネット時：通常時と同じ テレビ電話時：常にON ｉアプリ時：ソフトに従う	P.105
画面表示時間設定☆	30秒	P.106
明るさ調整☆	自動	P.106
ボタン照明設定☆	点灯	P.106
クローズ後点灯時間☆	5秒	P.107
ベールビュー設定		
マナーモード連動☆	OFF	P.114
表示パターン設定	White（本体色White）、Black（本体色Black）、Magenta（本体色Magenta）	P.114
濃度設定☆	濃度：標準 正面からの見栄えを調整：0	P.114
メニュー優先設定☆	カスタムメニュー	P.41
一般設定		
確認		
自局番号表示☆	画像転送設定：する	P.417
メモリ確認	－	P.381
設定状況確認	－	P.405

設　定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
一般設定		
文字入力設定		
ユーザ辞書	－	P.444
ダウンロード辞書	メール返信アシスト辞書	P.445
定型文編集	－	P.443
変換学習クリア	－	P.444
自動電源ON／OFF		
自動電源ON☆	OFF	P.406
自動電源OFF☆	OFF	P.407
アラーム連動電源ON☆	OFF	P.406
日時設定☆	自動時刻時差補正：ON	P.55
Bilingual	日本語	P.113
パネルロック解除設定☆	2ステップ解除	P.38
USBモード設定☆	通信モード	P.374
スキャン機能		
パターンデータ更新	－	P.534
自動更新設定	－	P.535
スキャン機能設定☆	スキャン機能・メッセージスキャン：有効	P.534
バージョン表示	－	P.536
ソフトウェア更新☆	自動更新設定：自動で更新（曜日：指定なし、時刻：3:00）	P.529
設定リセット	－	P.131

※5　お買い上げ時は、［通常モード（明るさ自動）］に設定されています。

設　定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
NWサービス		
留守番電話		
メッセージ問い合わせ	－	P.448
留守番メッセージ再生	－	P.448
留守番電話サービス開始	－	P.448
留守番呼出時間設定	－	P.448
留守番サービス停止	－	P.448
留守番設定確認	－	P.448
留守番サービス設定	－	P.448
件数お知らせ設定☆	件数増加時鳴動設定：ON	P.448
着信通知	－	P.448
留守番テレビ電話設定	－	P.448
キャッチホン		
キャッチホンサービス開始	－	P.449
キャッチホンサービス停止	－	P.449
キャッチホンサービス設定確認	－	P.449
転送でんわ		
転送サービス開始	－	P.451
転送サービス停止	－	P.451
転送先変更	－	P.451
転送先通話中時設定	－	P.451
転送サービス設定確認	－	P.451
迷惑電話ストップ		
迷惑電話着信拒否登録	－	P.451
電話番号指定拒否登録	－	P.451
迷惑電話全登録削除	－	P.451

設　定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
NWサービス		
迷惑電話ストップ		
迷惑電話１登録削除	－	P.451
拒否登録件数確認	－	P.451
発信者番号通知		
発信者番号通知確認	－	P.56
発信者番号通知設定	－	P.56
番号通知お願いサービス		
番号通知お願い開始	－	P.452
番号通知お願い停止	－	P.452
番号通知お願い確認	－	P.452
通話時間／料金確認☆	料金上限通知設定：無効（有効にした場合、通知方法選択：アラーム＋待受け、自動リセット：OFF）	P.418
2in1設定		
モード切替☆	デュアルモード	P.456
電話帳2in1設定	－	P.456
モード別待受画面設定		
デュアルモード	待受画面（縦）：待受画面２ 待受画面（横）：横待受画面２	P.456
Aモード	待受画面（縦）：White（本体色White）、Black（本体色Black）、Magenta（本体色Magenta） 待受画面（横）：White（本体色White）、Black（本体色Black）、Magenta（本体色Magenta）	P.456
Bモード	待受画面（縦）：待受画面３ 待受画面（横）：横待受画面３	P.456

次ページへ続く

設　定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
NWサービス		
2in1設定		
発着信番号設定		
発着信番号表示設定☆	識別表示あり	P.457
着信音選択	音声電話着信音(Aナンバー着信設定:着信音1、Bナンバー着信設定:着信音3) テレビ電話着信音(Aナンバー着信設定・Bナンバー着信設定:音声電話着信音に従う) メール着信音(Aアドレス着信設定:着信音2、Bアドレス着信設定:着信音4) SMS着信音(Aナンバー着信設定・Bナンバー着信設定:メール着信音に従う)	P.457
2in1機能OFF	―	P.457
着信回避設定		
着信回避設定変更	Aナンバー着信回避・Bナンバー着信回避:変更しない	P.457
着信回避設定確認	―	P.457
モード切替連動設定☆	OFF	P.457
着信回避設定(海外)	―	P.457
通話中着信		
通話中着信設定		
通話中着信設定開始	―	P.454
通話中着信設定停止	―	P.454

設　定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
NWサービス		
通話中着信		
通話中着信設定		
通話中着信設定確認	―	P.454
通話中着信動作選択☆	通常着信	P.453
その他のNWサービス		
遠隔操作設定		
遠隔操作開始	―	P.454
遠隔操作停止	―	P.454
遠隔操作設定確認	―	P.454
デュアルネットワーク		
デュアルネットワーク切替	―	P.452
デュアルネットワーク状態確認	―	P.452
英語ガイダンス		
ガイダンス設定	―	P.453
ガイダンス設定確認	―	P.453
ドコモへのお問い合わせ		
ドコモ故障問合せ	―	P.453
ドコモ総合案内・受付	―	P.453
海外紛失・盗難等	―	P.453
海外故障	―	P.453
追加サービス		
USSD登録	―	P.460
応答メッセージ登録	―	P.460

設　定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
その他のNWサービス		
マルチナンバー		
通常発信番号設定	−	P.455
通常発信番号設定確認	−	P.455
電話番号設定	−	P.455
着もじ		
メッセージ作成	−	P.65
メッセージ表示設定☆	番号通知ありのみ	P.65
ローミングガイダンス設定		
ローミングガイダンス開始	−	P.468
ローミングガイダンス停止	−	P.468
ローミングガイダンス確認	−	P.468
通話・通信機能設定		
通話中設定		
ノイズキャンセラ☆	ON	P.70
再接続機能☆	アラームなし	P.69
通話品質アラーム☆	アラームなし	P.98
イヤホンスイッチ発信設定☆	OFF	P.421
着信時設定		
オート着信設定☆	オート着信なし	P.422
メロディコール設定	−	P.98
テレビ電話設定		
音声自動再発信☆	OFF	P.80

設　定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
通話・通信機能設定		
テレビ電話設定		
送信画像設定☆	代替画像設定：キャラ（女性）※6 応答保留画像設定・保留画像設定：テレビ電話代替	P.78
テレビ電話画面設定☆	相手大・自分小	P.79
子画面表示位置☆	左上	P.79
送信画質設定☆	標準	P.79
テレビ電話切替機能通知	−	P.80
テレビ電話ハンズフリー設定☆	ON	P.79
パケット通信中着信設定☆	テレビ電話優先	P.80
伝言メモ設定		
伝言メモ設定☆	OFF	P.74
伝言応答時間☆	13秒	P.74
応答メッセージ☆	応答メッセージ1	P.75
テレビ電話時応答画像☆	テレビ電話代替	P.75
スライド動作設定☆	OFF	P.146
セルフモード☆	OFF	P.121
フェムトセル設定		
フェムトセル利用設定☆	OFF	P.432
フェムトセルサーチ	−	P.432

※6　キャラ電の［キャラ（女性）］を削除したあとで、設定リセット（☞P.131）を行った場合は［テレビ電話代替］に設定されます。

設　定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
通話・通信機能設定		
フェムトセル設定		
フェムトセル優先在圏設定☆	ON	P.432
その他の設定		
プレフィックス設定☆	009130-010	P.69
サブアドレス設定☆	ON	P.69
国際ダイヤルアシスト設定		
自動変換機能設定☆	自動国際プレフィックス変換：ON 自動国番号変換設定：ON（国名（番号）：日本（+81））	P.68
国際プレフィックス設定☆	WORLD CALL 009130-010	P.68
国番号設定	22ヶ国の国番号登録あり	P.68
国際ローミング設定		
ネットワークサーチ設定	オート	P.467
オペレータ名表示設定☆	表示あり	P.468
留守番電話（海外）	－	P.470
転送でんわ（海外）	－	P.470
遠隔操作設定（海外）	－	P.470
番号通知お願い（海外）	－	P.470
ローミングガイダンス（海外）	－	P.470
ローミング時着信規制	－	P.469
3G／GSM切替	自動	P.467

設　定		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
通話・通信機能設定		
その他の設定		
国際ローミング設定		
ローミング着信通知設定	－	P.469
ローミング着信通知（海外）	－	P.470
在圏状態表示	－	P.468
セキュリティ		
シークレットモード☆	OFF	P.125
FOMAカード（UIM）設定		
PIN1コード入力設定	－	P.118
PIN1コード変更	－	P.118
PIN2コード変更	－	P.118
着信拒否／許可設定		
電話帳指定着信許可☆	OFF	P.126
電話帳指定着信拒否☆	OFF	P.126
電話帳登録外☆	許可	P.128
非通知設定☆	許可	P.127
公衆電話☆	許可	P.127
通知不可能☆	許可	P.127
発着信履歴表示		
着信履歴表示☆	ON	P.125
リダイヤル表示☆	ON	P.125
メール履歴表示		
メール送信履歴表示☆	ON	P.125
メール受信履歴表示☆	ON	P.125

設　定				
機能メニュー			お買い上げ時	ページ
セキュリティ				
	ロック設定			
		オールロック	解除	P.119
		ダイヤル発信制限☆	OFF	P.123
		機能別ロック☆	OFF	P.122
		まとめてロック設定☆	すべてロック	P.124
		ＩＣカードロック設定☆	電源ON時ＩＣロック設定：OFF 電源OFF時ＩＣロック設定：電源ON時設定に従う	P.314
		まとめて自動ロック☆	OFF	P.124
	端末暗証番号変更		0000	P.117
	手書き認証設定☆		OFF	P.117
	データ一括削除			
		ユーザデータ削除	－	P.132
		シークレットデータ削除	－	P.133
ｉコンシェル設定				
	ｉコンシェル着信設定			
		音量選択☆	音量５	P.213
		音選択☆	ON／着信音５	P.213
		バイブレータ設定☆	OFF	P.213
		鳴動時間設定☆	ON／３秒	P.213
		ランプ設定☆	OFF	P.213
	インフォメーション表示設定☆		ON	P.213

設　定			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
電池			
	電池残量	－	P.53
	電池マーク表示設定	White（本体色White）、Black（本体色Black）、Magenta（本体色Magenta）	P.53
	電池マーク%一時表示☆	OFF	P.53
初期設定		－	P.54

■ 電話メニュー

電　話		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
電話帳	検索方法選択☆：フリガナ検索 表示切替☆：名刺表示 グループ設定：グループなし・グループ１～グループ19（FOMA端末電話帳）、グループなし・グループ１～グループ10（FOMAカード電話帳） 画像転送設定☆：する	P.87
リダイヤル	－	P.62
着信履歴	－	P.62
自局番号表示☆	画像転送設定：する	P.417

■ おサイフケータイメニュー

おサイフケータイ		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
ＩＣカード一覧	－	P.313
DCMX	－	P.294
トルカ☆	トルカ一覧画面 　ソート：日付順（新→旧） トルカ表示画面 　表示／設定（サウンド設定：音量５）	P.316

おサイフケータイ		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
ＩＣカードロック設定		
電源ON時ＩＣロック設定☆	OFF	P.314
電源OFF時ＩＣロック設定☆	電源ON時設定に従う	P.314
設定		
ＩＣカードからトルカ取得☆	ON	P.320
ワンセグからトルカ取得☆	ON	P.320
トルカ重複チェック☆	ON	P.320
トルカ自動読取チェック☆	ON	P.320
トルカ自動表示☆	ON	P.320
トルカサウンド設定☆	音量５	P.320
ＩＣオーナー確認	－	P.314
ＩＣオーナー変更	－	P.314
ｉモードで探す	－	P.174

■ データBOXメニュー

データBOX		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
マイピクチャ	フォルダ一覧画面 　フォルダ管理(フォルダセキュリティ:OFF) 　静止画設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、バックライト点灯時間:照明設定に従う、スライドショー再生間隔:普通、スライドショー効果設定:ランダム)	P.341
マイピクチャ	画像一覧画面 　編集・情報表示(ファイル制限:なし) 　静止画設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:日付順(新→旧)、バックライト点灯時間:照明設定に従う、音量設定:音量５、スライドショー再生間隔:普通、スライドショー効果設定:ランダム) ＜イメージビューア(Flash画像以外)＞ 　編集・情報表示(ファイル制限:なし) 　静止画設定☆(エフェクト設定:ページ、バックライト点灯時間:照明設定に従う、音量設定:音量５、自動回転設定:ON) ＜イメージビューア(Flash画像のみ)＞ 　静止画設定☆(エフェクト設定:ページ、バックライト点灯時間:照明設定に従う)	P.341
ミュージック	＜ミュージックプレーヤー＞ 　再生設定☆(再生モード設定:通常再生、マナー再生設定:OFF) 　Dolby Mobile 設定☆:Virtual5.1ch(イヤホン) 　Bluetooth出力☆(起動時自動接続設定:OFF)	P.276
Music&Video チャネル	フォルダ一覧画面 　フォルダセキュリティ:OFF 番組一覧画面 　表示切替:12分割 　ソート:日付順(新→旧) ＜Music&Videoチャネルプレーヤー(音声番組)＞ 　Dolby Mobile 設定☆:Virtual5.1ch(イヤホン) 　Bluetooth出力☆(起動時自動接続設定:OFF) 　再生設定☆(リピート:OFF、マナー再生設定:OFF)	P.271

データBOX		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
Music&Videoチャネル	<Music&Videoチャネルプレーヤー(動画番組)> Dolby Mobile 設定☆:Virtual5.1ch(イヤホン) Bluetooth出力☆(起動時自動接続設定:OFF) 再生設定☆(リピート:OFF、マナー再生設定:OFF、バックライト点灯時間:照明設定に従う)	P.271
i モーション/ムービー	フォルダ一覧画面 フォルダ管理(フォルダセキュリティ:OFF) 連続再生☆(リピート再生設定:しない、ダイジェスト再生設定:しない) i モーション/ムービー設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、バックライト点灯時間:照明設定に従う) 映像一覧画面 編集・情報表示(ファイル制限:なし) 連続再生☆(リピート再生設定:しない、ダイジェスト再生設定:しない) i モーション/ムービー設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:日付順(新→旧)、バックライト点灯時間:照明設定に従う、レジューム再生設定:ON) <i モーションプレーヤー> Dolby Mobile 設定☆:Virtual5.1ch(イヤホン) Bluetooth出力☆(起動時自動接続設定:OFF) i モーション/ムービー設定☆(エフェクト設定:ストーム、表示サイズ切替:拡大、バックライト点灯時間:照明設定に従う、レジューム再生設定:ON、送り速度指定:標準、コマ送り幅指定:大まか(高速)、起動時画面モード設定:通常再生)	P.349

データBOX		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
ワンセグ	フォルダ一覧画面 フォルダセキュリティ:OFF 表示切替☆:ビジュアルメニュー ビデオ一覧画面 ワンセグデータ設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:放送日時順(新→旧)) <ビデオプレーヤー> Bluetooth出力☆(起動時自動接続設定:OFF) Dolby Mobile 設定☆:ジャンル連動 画質設定☆(鮮やか画質モード設定:ジャンル連動、明るさ調整:自動) 表示設定(表示モード切替(縦):映像+データ放送、表示モード切替(横)☆:映像(全画面・倍速)、マーク表示設定(横)☆:常時表示、アプリケーション領域(縦)☆:常時表示) 字幕設定(字幕表示:OFF、字幕位置(横全画面)☆:下、起動時設定☆:マナーモード連動) データ放送☆(画像表示設定:ON、効果音鳴動設定:ON) ワンセグ設定(主/副音声切替:主音声、音声切替:第1音声)	P.356
メロディ	フォルダ一覧画面 フォルダ管理(フォルダセキュリティ:OFF) メロディ設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、音量設定:音量5) メロディ一覧画面 メロディ設定(表示切替☆:ビジュアルメニュー、開始位置選択:フルコーラス再生、ソート☆:日付順(新→旧)、音量設定☆:音量5) <メロディプレーヤー> メロディ設定☆(イコライザ設定:ノーマル、ステレオ効果設定:ステレオ/3DサウンドON)	P.361

次ページへ続く

データBOX		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
マイドキュメント	フォルダ一覧画面 フォルダ管理(フォルダセキュリティ:OFF) 表示切替☆:ビジュアルメニュー マイドキュメント一覧画面 マイドキュメント設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:日付順(新→旧)) 内容表示画面 画面設定(ページレイアウト:単一ページ、表示:全体表示、スクロールバー☆:ON、倍率・ページ番号☆:ON)	P.388
きせかえツール	フォルダ一覧画面 フォルダ管理(フォルダセキュリティ:OFF) 表示切替☆:ビジュアルメニュー きせかえツール一覧画面 きせかえツール設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:日付順(新→旧)) きせかえツール内データ一覧画面 音量設定☆:音量5 待受iモーション設定☆:拡大	P.107
マチキャラ	フォルダ一覧画面 フォルダ管理(フォルダセキュリティ:OFF) 表示切替☆:ビジュアルメニュー マチキャラ一覧画面 マチキャラ設定☆:ON(ひつじのしつじくん)※4 マチキャラ表示設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:日付順(新→旧))	P.360
キャラ電	フォルダ一覧画面 フォルダ管理(フォルダセキュリティ:OFF) キャラ電表示設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、バックライト点灯時間:照明設定に従う) キャラ電一覧画面 キャラ電表示設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:日付順(新→旧)、バックライト点灯時間:照明設定に従う) ＜キャラ電プレーヤー＞ バックライト点灯時間☆:照明設定に従う	P.359
データBOX検索	フル検索設定画面 フォルダセキュリティ表示☆:OFF 表示切替☆:ビジュアルメニュー 検索結果画面 検索表示設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:日付順(新→旧))	P.379
アルバム	－	P.380

※4 マチキャラの[ひつじのしつじくん]を削除したあとで、設定リセット(☞P.131)を行った場合は[OFF]に設定されます。

■ iコンシェルメニュー

iコンシェル		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
iコンシェル	－	P.212

■ ワンセグメニュー

ワンセグ		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
ワンセグ視聴	番組表起動:Gガイド番組表タッチ 録画(録画終了時間(録画時のみ):制限なし、ビデオ録画先設定☆:自動(microSD優先)、予約録画時画面表示☆:ON) Bluetooth出力☆(起動時自動接続設定:OFF) Dolby Mobile 設定☆:ジャンル連動 画質設定☆(鮮やか画質モード設定:ジャンル連動、明るさ調整:自動) 表示設定(表示モード切替(縦):映像+データ放送、表示モード切替(横)☆:映像(全画面・倍速)、マーク表示設定(横)☆:常時表示、アプリケーション領域(縦)☆:常時表示) 字幕設定(字幕表示:OFF、字幕位置(横全画面)☆:下、起動時設定☆:マナーモード連動) データ放送☆(画像表示設定:ON、効果音鳴動設定:ON) ワンセグ設定(主/副音声切替:主音声、音声切替:第1音声、エフェクト設定☆:ストーム、オートエリア切替☆:ON)	P.250
番組表☆	Gガイド番組表タッチ	P.256
予約リスト	予約画面 開始アナウンス(視聴予約):ON(アラーム時刻:1分、アラーム音選択:着信音1、アラーム音量選択:音量5、連携起動設定:ON(確認あり)) 開始アナウンス(録画予約):ON固定(アラーム音選択:着信音1、アラーム音量選択:音量5) 予約リスト画面 ソート:放送日時順(旧→新)	P.258
予約録画履歴	–	P.262
テレビリンク	–	P.263

ワンセグ			
機能メニュー		お買い上げ時	ページ
チャンネル設定		–	P.248
ワンセグ設定			
	ビデオ録画先設定☆	自動(microSD優先)	P.263
	放送用保存領域消去	–	P.264
	画像表示設定☆	ON	P.264
	効果音鳴動設定☆	ON	P.264
	ワンセグ設定確認	–	P.264
	確認表示設定リセット	–	P.264
	ワンセグ設定リセット	–	P.264

■ LifeKitメニュー

LifeKit （1/2）		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
バーコードリーダー	AFモード切替:接写	P.238
赤外線受信		
受信	–	P.384
全件受信	–	P.384
microSD		
microSD一括振分け	–	P.376
microSDデータ参照	–	P.373
一括バックアップ／復元	–	P.370
個別バックアップ／復元	–	P.372
インポート	–	P.375
管理情報の更新	–	P.375
フォーマット	–	P.374
USBモード設定☆	通信モード	P.374
Bluetooth		
接続待機	–	P.427
Bluetooth受信	–	P.431
機器リスト・接続・切断	–	P.426
新規機器登録	–	P.426
Bluetooth電源オン／Bluetooth電源オフ	–	P.428
送信予約データ削除	–	P.430
Bluetooth設定		
自局情報	–	P.431
サーチ時間☆	5秒	P.431
ミュージック自動起動設定☆	ON	P.429
セキュリティ設定☆	無し	P.432
暗号化設定☆	無し	P.432

LifeKit （1/2）		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
Bluetooth		
Bluetooth設定		
着信音送出設定☆	送る	P.432
全件転送パスワード設定☆	パスワード無し	P.432
手書き	–	P.400
ウェルネス		
歩数確認	–	P.399
プロフィール登録	–	P.398
設定		
目標設定	–	P.400
履歴リセット	–	P.400
歩数計設定☆	OFF	P.398
テキストメモ	–	P.420
スケジュール	設定(休日設定:土曜日と日曜日) 新規作成(アラームをONにした場合、アラーム時刻:0分、鳴動時間:15秒、アラーム音選択:着信音1、アラーム音量選択:音量5)	P.213
アラーム	繰り返し設定:1回のみ アラーム音選択:着信音1 アラーム音量選択:音量5 スヌーズ設定:OFF 鳴動時間:15秒	P.407
電卓☆	税率:5%	P.419

LifeKit　(1/2)		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
地図・GPS		
地図	－	P.324
イマドコサーチ	－	P.329
イマドコかんたんサーチ	－	P.329
ｉエリア-周辺情報-	－	P.324
地図・GPSアプリ	－	P.324
現在地確認	－	P.323
位置履歴	－	P.331
現在地確認設定☆	クイック設定動作：地図を見る 測位モード設定：標準モード	P.323
現在地通知／設定☆	測位モード設定：標準モード	P.329
位置提供設定☆	位置提供可否設定：位置提供機能OFF 測位モード設定：標準モード 接続先設定：契約時番号	P.326
地図設定	地図選択：地図アプリ 地図起動時動作設定☆：測位をしてから起動	P.324
オートGPS		
ドコモ提供サービス設定	－	P.332
オートGPS動作設定☆	ON	P.332
設定サービス一覧	－	P.333
オートGPS履歴	－	P.333
低電力時動作設定☆	停止する	P.334
名刺リーダー	AFモード：接写	P.241

LifeKit　(2/2)		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
情報リーダー	AFモード：接写	P.242
ケータイデータお預かり☆	電話帳内画像送信：OFF	P.128
タイマー	3分	P.407
お目覚めTV	開始アナウンス：ON（アラーム時刻：1分、アラーム音選択：設定なし（サイレント）、アラーム音量選択：音量5、連携起動設定：ON（確認なし））	P.259
マンガ・ブックリーダー	フォルダ一覧画面 　フォルダ管理（フォルダセキュリティ：OFF） 　表示フォルダ切替☆：マンガ・ブックリーダー ファイル一覧画面 　表示フォルダ切替☆：マンガ・ブックリーダー 　ソート（電子コミックのみ）☆：日付順（新→旧） 　バックライト点灯時間☆：照明設定に従う 内容表示画面 　表示設定☆（文字サイズ設定：標準、縦横設定：縦書き、ルビ表示：OFF、画像サイズ：2倍表示、行間設定：OFF） 　マンガ表示設定：コマ／ページ切替 　音量設定☆：中 　バイブレータ設定☆：ON 　バックライト点灯時間☆：照明設定に従う	P.392

LifeKit (2/2)		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
ドキュメントビューア☆	ソート:タイトル名順 バックライト点灯時間:照明設定に従う	P.391
PDF対応ビューア	フォルダ一覧画面 フォルダ管理(フォルダセキュリティ:OFF) 表示切替☆:ビジュアルメニュー PDFデータ一覧画面 マイドキュメント設定☆(表示切替:ビジュアルメニュー、ソート:日付順(新→旧)) 内容表示画面 画面設定(ページレイアウト:単一ページ、表示:全体表示、スクロールバー☆:ON、倍率・ページ番号☆:ON)	P.388
ボイスレコーダー	セルフタイマー:OFF	P.387
音声/伝言メモ	–	P.76 P.417
クラシックスケジュール	設定(休日設定:土曜日と日曜日) 新規作成(アラームをONにした場合、アラーム時刻:0分、鳴動時間:15秒、アラーム音選択:着信音1、アラーム音量選択:音量5)	P.409
クイック検索	内蔵辞書登録☆:明鏡モバイル国語辞典 フルブラウザ検索先変更:Google検索	P.415

■ MUSICメニュー

MUSIC		
機能メニュー	お買い上げ時	ページ
ミュージックプレーヤー	データBOXのミュージック参照	P.276
Music&Videoチャネル	データBOXのMusic&Videoチャネル参照	P.266

その他の機能

機能メニュー	お買い上げ時	ページ
待受タッチランチャ☆	新規メール作成、受信BOX、リモメ/アプリメールforSH、フルブラウザホーム、Bookmark、クイック検索、静止画撮影、ワンセグ視聴、手書き、地図アプリ、ソフト一覧、iコンシェル、iMenu・検索、TOP MENU、iウィジェット、電話帳、着信履歴、リダイヤル、マナーモード	P.41
クイック設定	ベールビュー、現在地確認、受話音量選択、音声伝言メモ、電池、iチャネル一覧、Bluetooth、公共モード、フェムトセル利用設定、セルフモード、ロックセレクション、Ecoモード	P.42
受話音量調節☆	音量5	P.71
テレビ電話	送信画像切替:キャラ(女性) 明るさ調整(カメラ映像送信時):±0 テレビ電話設定(テレビ電話画面設定☆:相手大/自分小、子画面表示設定☆:左上、送信画質設定:標準、テレビ電話中照明☆:常にON)	P.61 P.77 P.78 P.79
マナーモード☆	OFF(ONにした場合、通常マナーモード)	P.99
おまかせロック	解除	P.120
タッチパネル/キーロック☆	解除	P.124

機能メニュー		お買い上げ時	ページ
絵文字プラス®☆		絵文字挿入:文中＋文末 文字色:ON 文字サイズ:ON 背景色:ON	P.138
文字入力			
	文字入力／辞書設定☆	予測変換設定(近似予測変換:ON、連携予測変換:ON、1文字学習変換:ON、顔文字連携予測:ON、優先候補ジャンル:芸能人名、パーソナル予測切替:自動切替AUTO)	P.434

シンプル(Simple)メニュー一覧

- きせかえツールを[シンプル(Simple)]に設定した場合、カスタムメニューがシンプル(Simple)メニューに切り替わります。

機能メニュー		ページ
電話	電話帳の表示	P.88
	リダイヤル	P.62
	着信履歴	P.62
	音声／伝言メモ	P.417
	電話帳の登録	P.83
	自分の電話番号	P.416
メール	メールの作成	P.136
	メールの受信	P.148
	受信メール	P.150
	送信メール	P.150
	未送信メール	P.150
i モード	i Menu･検索	P.174
	Bookmark表示	P.186
	画面メモの表示	P.188
	ラストURL	P.185

機能メニュー		ページ
カメラ	写真を撮る	P.226
	写真を見る	P.341
	映像を撮る	P.229
	映像を見る	P.349
	バーコードリーダー	P.238
設定	着信音量	P.95
	着信音	P.94
	メール着信音量	P.95
	メール着信音	P.94
	待受画面の設定	P.100
	通話時間／料金	P.418
	留守番電話	P.448
便利機能	ボイスレコーダー	P.387
	スケジュール	P.213
	電卓	P.419
	マンガ･ブックリーダー	P.392
	アラーム	P.407
	テキストメモ	P.420

タッチパネルの文字割り当て一覧

クローズポジションのとき、文字入力はタッチパネルのボタンで行います。1つのボタンには、次の表のように複数の文字が割り当てられています。

■ 全角文字の割り当て

漢字(ひらがな)入力モード		全角カタカナ入力モード		全角英数字入力モード　大文字		全角英数字入力モード　小文字	
タッチボタン	入力文字	タッチボタン	入力文字	タッチボタン	入力文字	タッチボタン	入力文字
[あ]	あいうえお ぁぃぅぇぉ	[ア]	アイウエオ ァィゥェォ1	[./@1]	.／@-:～＿1	[./@1]	.／@-:～＿1
[か]	かきくけこ	[カ]	カキクケコ2	[ABC2]	ＡＢＣａｂｃ２	[abc2]	ａｂｃＡＢＣ２
[さ]	さしすせそ	[サ]	サシスセソ3	[DEF3]	ＤＥＦｄｅｆ３	[def3]	ｄｅｆＤＥＦ３
[た]	たちつてとっ	[タ]	タチツテトッ4	[GHI4]	ＧＨＩｇｈｉ４	[ghi4]	ｇｈｉＧＨＩ４
[な]	なにぬねの	[ナ]	ナニヌネノ5	[JKL5]	ＪＫＬｊｋｌ５	[jkl5]	ｊｋｌＪＫＬ５
[は]	はひふへほ	[ハ]	ハヒフヘホ6	[MNO6]	ＭＮＯｍｎｏ６	[mno6]	ｍｎｏＭＮＯ６
[ま]	まみむめも	[マ]	マミムメモ7	[PQRS7]	ＰＱＲＳｐｑｒｓ７	[pqrs7]	ｐｑｒｓＰＱＲＳ７
[や]	やゆよゃゅょ	[ヤ]	ヤユヨャュョ8	[TUV8]	ＴＵＶｔｕｖ８	[tuv8]	ｔｕｖＴＵＶ８
[ら]	らりるれろ	[ラ]	ラリルレロ9	[WXYZ9]	ＷＸＹＺｗｘｙｚ９	[wxyz9]	ｗｘｙｚＷＸＹＺ９
[わをんー]	わをんゎー	[ワ]	ワヲンヮー0	[0]	0	[0]	0
[゛゜A/a]／[゛゜A/a↲]	大小切替゛゜※1	[゛゜A/a]／[゛゜A/a↲]	大小切替゛゜※1	[゛゜A/a]／[゛゜A/a↲]	大小切替※1	[゛゜A/a]／[゛゜A/a↲]	大小切替※1
[↲]	↲※2	[↲]	↲※2	[↲]	↲※2	[↲]	↲※2
[、。?!]	、。？！・□(スペース)	[、。?!]	、。？！・□(スペース)	[,.?!]	，．？！’－＆()￥ □(スペース)	[,.?!]	，．？！’－＆()￥ □(スペース)

※1　横表示中は、文字変換中以外にタッチすると[↲](改行)されます。

※2　[↲](改行)されます。[↲]は半角で表示されますが、全角1文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や修正できます。

■ 半角文字の割り当て

半角カタカナ入力モード		半角英数字入力モード 大文字		半角英数字入力モード 小文字		半角数字モード		区点コードモード	
タッチボタン	入力文字	タッチボタン	入力文字	タッチボタン	入力文字	タッチボタン	入力文字	タッチボタン	入力文字
[ｱ]	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ1	[./@1]	. / @ - : ~ _ 1	[./@1]	. / @ - : ~ _ 1	[1]	1	[1]	1
[ｶ]	ｶｷｸｹｺ2	[ABC2]	ABCabc2	[abc2]	abcABC2	[2]	2	[2]	2
[ｻ]	ｻｼｽｾｿ3	[DEF3]	DEFdef3	[def3]	defDEF3	[3]	3	[3]	3
[ﾀ]	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ4	[GHI4]	GHIghi4	[ghi4]	ghiGHI4	[4]	4	[4]	4
[ﾅ]	ﾅﾆﾇﾈﾉ5	[JKL5]	JKLjkl5	[jkl5]	jklJKL5	[5]	5	[5]	5
[ﾊ]	ﾊﾋﾌﾍﾎ6	[MNO6]	MNOmno6	[mno6]	mnoMNO6	[6]	6	[6]	6
[ﾏ]	ﾏﾐﾑﾒﾓ7	[PQRS7]	PQRSpqrs7	[pqrs7]	pqrsPQRS7	[7]	7	[7]	7
[ﾔ]	ﾔﾕﾖｬｭｮ8	[TUV8]	TUVtuv8	[tuv8]	tuvTUV8	[8]	8	[8]	8
[ﾗ]	ﾗﾘﾙﾚﾛ9	[WXYZ9]	WXYZwxyz9	[wxyz9]	wxyzWXYZ9	[9]	9	[9]	9
[ﾜ]	ﾜｦﾝｰ0	[0]	0	[0]	0	[0 +]※1	0	[0]	0
[゛゜A/a]／[゛゜A/a↲]	大小切替゛゜※2	[゛゜A/a]／[゛゜A/a↲]	大小切替※2	[゛゜A/a]／[゛゜A/a↲]	大小切替※2	[＊]	＊	[゛゜A/a↲]※3	↲※4
[↲]	↲※4	[↲]	↲※4	[↲]	↲※4	－		[↲]	↲※4
[､｡?!]	､｡？！・ (スペース)	[,.?!]	,.?!′-&()¥ (スペース)	[,.?!]	,.?!′-&()¥ (スペース)	[#]	#	－	

※1 [0 +]をロングタッチした場合は､｢+｣が入力されます。
※2 横表示中は、文字変換中以外にタッチすると[↲](改行)されます。
※3 横表示でのみ表示されます。
※4 [↲](改行)されます。[↲]は半角で表示されますが、全角1文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や修正できます。

- 全角1文字は、半角2文字分として数えられます。
- 半角文字では、濁点・半濁点も1文字分として数えられます。

ローマ字入力表

オープンポジションのときやBluetooth対応キーボードを接続した場合、ローマ字入力を行うことができます。

あ行	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
	a	i	u	e	o	la	li	lu	le	lo
		yi	wu			xa	xi	xu	xe	xo
			whu				lyi		lye	
							xyi		xye	
									いぇ	
									ye	
						うぁ	うぃ		うぇ	うぉ
						wha	whi		whe	who
							wi		we	
か行	か	き	く	け	こ	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyi	kyu	kye	kyo
	ca		cu		co					
			qu							
	ヵ			ヶ		くゃ		くゅ		くょ
	lka			lke		qya		qyu		qyo
	xka			xke						
						くぁ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
						qwa	qwi	qwu	qwe	qwo
						qa	qi		qe	qo
						kwa	qyi		qye	
	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyi	gyu	gye	gyo
						ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
						gwa	gwi	gwu	gwe	gwo
さ行	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
	sa	si	su	se	so	sya	syi	syu	sye	syo
		ci		ce		sha		shu	she	sho
		shi								

さ行						すぁ	すぃ	すぅ	すぇ	すぉ
						swa	swi	swu	swe	swo
	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	za	zi	zu	ze	zo	zya	zyi	zyu	zye	zyo
		ji				ja		ju	je	jo
						jya	jyi	jyu	jye	jyo
た行	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	ta	ti	tu	te	to	tya	tyi	tyu	tye	tyo
		chi	tsu			cha		chu	che	cho
						cya	cyi	cyu	cye	cyo
			っ			つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
			ltu			tsa	tsi		tse	tso
			xtu							
			ltsu							
						てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
						tha	thi	thu	the	tho
						とぁ	とぃ	とぅ	とぇ	とぉ
						twa	twi	twu	twe	two
	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	da	di	du	de	do	dya	dyi	dyu	dye	dyo
						でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
						dha	dhi	dhu	dhe	dho
						どぁ	どぃ	どぅ	どぇ	どぉ
						dwa	dwi	dwu	dwe	dwo
な行	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	na	ni	nu	ne	no	nya	nyi	nyu	nye	nyo
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	ha	hi	hu	he	ho	hya	hyi	hyu	hye	hyo
			fu							

は行						ふゃ		ふゅ		ふょ
						fya		fyu		fyo
						ふぁ	ふぃ	ふぅ	ふぇ	ふぉ
						fwa	fwi	fwu	fwe	fwo
						fa	fi		fe	fo
							fyi		fye	
	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	ba	bi	bu	be	bo	bya	byi	byu	bye	byo
						ヴぁ	ヴぃ	ヴ	ヴぇ	ヴぉ
						va	vi	vu	ve	vo
						ヴゃ	ヴぃ	ヴゅ	ヴぇ	ヴょ
						vya	vyi	vyu	vye	vyo
	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyi	pyu	pye	pyo
ま行	ま	み	む	め	も	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	ma	mi	mu	me	mo	mya	myi	myu	mye	myo
や行	や		ゆ		よ	ゃ		ゅ		ょ
	ya		yu		yo	lya		lyu		lyo
						xya		xyu		xyo
ら行	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryi	ryu	rye	ryo
わ行	わ				を	ん				
	wa				wo	n				
						nn				
						n'				
						xn				
	ゎ									
	lwa									
	xwa									

絵文字一覧

読みを入力して絵文字に変換できます。

見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字
はーと、はあと		かお、うまい		かたつむり		だっしゅ	
はーと、はあと		かお		ひよこ		ー	
しつれん、はーと、はあと		かお、げっそり、さけび		ぺんぎん		ー	
はーと、はあと		やじるし、ぐっど		さかな		おーけー	OK
かお、にこ		やじるし、ばっど		うま		えぬじー	NG
かお、むか		でんわ		ぶた		め	
かお、かなしい		でんわ、けいたい		おんぷ		みみ	
かお、かなしい		めーる		おんぷ		ぐー	
かお、ふらふら		らぶれたー		おんせん		ちょき、ぶい	
かお		めも		かわいい		ぱー	
かお、にこ		でんわ		きす		おーけー、ぐっど、ないす	
かお、あせ		めーる		ぴかぴか、きらきら		あし	
かお、あせ		ふぁっくす	FAX	ひらめき		はしる、ひと	
かお、むか		はれ		むか、いかり		じてんしゃ	
かお、ほけ		くもり		ぱんち		でんしゃ	
はーと		あめ、かさ		ばくだん		ちかてつ	
かお、べー		ゆき		ねる、ねむい	ZZZ	しんかんせん	
かお、ういんく		かみなり		びっくり	!	くるま	
かお、にこ、うれしい		うずまき、たいふう		びっくり	!?	くるま	
かお、がまん、かなしい		きり		びっくり	!!	ばす	
ねこ		こさめ		しょうげき、いらいら		ふね	
かお、かなしい		いぬ		あせ		ひこうき	
かお、なみだ、かなしい		ねこ		あせ		よっと、りぞーと	

見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字
くりすます		め		きんえん		おひつじざ	
いえ		もみじ		かめら		おうしざ	
びる		さくら		かばん		ふたござ	
ゆうびんきょく		おにぎり、おむすび		ほん		かにざ	
びょういん		けーき		りぼん		ししざ	
ぎんこう	BK	らーめん、どんぶり		ぷれぜんと		おとめざ	
ぎんこう、えーてぃーえむ	ATM	ぱん、しょくぱん		ばーすでー		てんびんざ	
ほてる	H	ぶてぃっく		てれび		さそりざ	
こんびに	CVS	はさみ、びよういん		げーむ		いてざ	
がそりん、すたんど	GS	からおけ		しーでぃー		やぎざ	
ちゅうしゃじょう	P	えいが		べる、ちゃぺる		みずがめざ	
がっこう		ゆうえんち		どあ		うおざ	
なみ		おんがく		おかね、どるぶくろ		しんげつ、つき	
ふじさん、やま		あーと		ぱそこん		つき	
しんごう		えんげき		れんち、こうぐ		はんげつ、つき	
といれ		いべんと		えんぴつ		みかづき、つき	
れすとらん		ちけっと		おうかん		まんげつ、つき	
きっさてん		すぽーつ		ゆびわ		あいもーど	
ばー		やきゅう		すなどけい、とけい		あいもーど	
びーる、さけ		ごるふ		おちゃ、ゆのみ		あいあぷり	
とっくり、さけ		てにす		うでどけい、とけい		あいあぷり	
わいん、さけ		さっかー		くつ		どこも	
はんばーがー		すきー		ていーしゃつ、しゃつ		どこも	
くろーばー		ばすけっと、ばすけ		さいふ		ゆうりょう	
さくらんぼ、ちぇりー		はた		くちべに、けしょう		ふりー、むりょう	FREE
ちゅーりっぷ、はな		すのぼ		じーんず、じーぱん、ずぼん		あいでぃー	ID
ばなな		ぽけっとべる、ぽけべる		めがね		かぎ、しーくれっと、ぱすわーど	
りんご		たばこ、きつえん		くるまいす		りたーん	

次ページへ続く

見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字	見出し(ヨミ)	絵文字
くりあ	CL	まるあーる、しょうひょう	®	なな、しち	7	やじるし、さゆう	↔
むしめがね、るーぺ、さーち		きけん、けいこく	⚠	はち	8	やじるし、じょうげ	↕
にゅー	NEW	きんし	禁	きゅー、く	9	かちんこ	
はた		あき、くうしつ、くうせき、くうしゃ	空	ぜろ	0	ふくろ	
ふりーだいやる		ごうかく	合	はーと、はあと	♥	ぺん	
しゃーぷだいやる	#	まんしつ、まんせき、まんしゃ	満	すぺーど	♠	ひとかげ	
もばきゅー		いち	1	だいや	♦	いす	
くりっぷ		に	2	くろーばー、くらぶ	♣	よる、つき	
こぴーらいと	©	さん	3	やじるし、みぎうえ	↗	すーん	soon
てぃーえむ、とれーどまーく、しょうひょう	TM	よん、し	4	やじるし、みぎした	↘	おん	ON!
まるひ	秘	ご	5	やじるし、ひだりうえ	↖	えんど	end
りさいくる		ろく	6	やじるし、ひだりした	↙	とけい	

- 本絵文字を送信した場合、相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。また、iモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。SMSでは[♥]、[♥]、[☎]以外はスペースになります。

マルチアクセスの組み合わせ

マルチアクセスで同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは次のとおりです。

実行する通信 ＼ 現在の通信状態	音声電話		テレビ電話		iモード接続	iモードメール		SMS		データ通信（パケット）		データ通信（64K）		位置測位	ワンセグ
	発信	着信	発信	着信		送信	受信	送信	受信	送信	受信	送信	受信		
音声電話中	△※1	△※1	×	△※2	○	○	○	○	○	○	○	×	×※3	○	○
テレビ電話中	×	△※2	×	△※2	×	×	×	×	○	×	×	×	×※3	○	×
iモード中	○	○	△※4	△※5	×	○	○	○	○	×	×	×	×※6	○	○
iアプリ通信中	△※7	△※7	△※7	△※5	×	△※7	○	△※7	○	×	×	×	×※6	△※7	×
データ通信中（パケット）	○	○	×	×※6	×	×	×	×	○	×	×	×	×※6	×	○
データ通信中（64K）	×	△※2	×	×※6	×	×	×	×	○	×	×	×	×※3	×	×
ワンセグ視聴中	○	○	×	△※8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

○：現在の通信状態を継続したまま、実行する通信を処理できます。
×：現在の通信状態を継続します（実行する通信を処理することはできません）。
△：条件により処理できます。
※1　キャッチホンをご利用の場合は、処理できます（☞P.449）。
※2　キャッチホンをご利用の場合は、現在の通信を切断し着信に応答できます。
※3　キャッチホンをご利用の場合は、着信履歴には記憶されます。
※4　iモード接続を切断してからテレビ電話発信を行います。
※5　テレビ電話を着信するか、パケット通信を継続するかを選択できます（☞P.80）。
※6　着信履歴には記憶されます。
※7　iモード、iアプリからの通信は切断または中断され、実行する通信を処理できます。
※8　着信に応答すると、ワンセグは終了します。

マルチアシスタント（マルチタスク）の組み合わせ

マルチアシスタント（マルチタスク）で同時に使用可能な機能の主な組み合わせは次のとおりです。

現在操作中の機能＼呼び出し可能な機能	ダイヤル入力／リダイヤル／着信履歴／音声電話発信	マルチアシスタント画面	テレビ電話発信	クイック検索	Bluetooth	iコンシェル	iモード／Bookmark／iチャネル	メールメニュー	ICカード一覧	DCMX	ICカードロック設定	トルカ	マナーモード設定／省電力設定	iアプリ	データBOX（リスト画面）	ワンセグ	テキストメモ	スケジュール	電卓	GPS	電話帳	MUSIC	Music&Videoチャネル	マンガ・ブックリーダー	ドキュメントビューア	手書き
カスタムメニュー、基本メニュー、横表示メニュー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	△	○	○	○	○	×	×	×	×
PDF対応ビューア／マイドキュメント	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○
ワンセグ視聴	○	○	△	○	○	○	○	○	○	△	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	△	×	○	○	×
電話帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
テキストメモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
スケジュール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
クラシックスケジュール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
データBOX（リスト画面）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
マイピクチャ／iモーション※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
メロディ※／キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
ビデオプレーヤー	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
ミュージックプレーヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
音声電話	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
マンガ・ブックリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドキュメントビューア	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トルカ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモード／iチャネル	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
フルブラウザ	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

現在操作中の機能＼呼び出し可能な機能	ダイヤル入力／リダイヤル／着信履歴／音声電話発信	マルチアシスタント画面	テレビ電話発信	クイック検索	Bluetooth	iコンシェル	iモード／Bookmark／iチャネル	メールメニュー	ICカード一覧	DCMX	ICカードロック設定	トルカ	マナーモード設定／省電力設定	iアプリ	データBOX（リスト画面）	ワンセグ	テキストメモ	スケジュール	電卓	GPS	電話帳	MUSIC	Music&Videoチャネル	マンガ・ブックリーダー	ドキュメントビューア	手書き
リダイヤル／着信履歴／メール・メール作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地図・GPS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
Music&Videoチャネル	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
データ通信（パケット）	○	○	△	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
ＩＣカード一覧	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
DCMX	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	△	○	○	○	○	×	×	×	○
クイック検索	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Bluetooth機能	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉコンシェル	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
音声入力	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
カーナビ連携	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウエルネス	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手書き	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
きせかえ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
ｉウィジェット	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	○	△	○	○	○	○	×	×	×	×

○：起動できる機能です。
△：選択できますが、起動できない機能です。
×：起動できない機能です。
※ ｉモーションプレーヤー、メロディプレーヤーでバックグラウンド再生はできません。

- 表中の「現在操作中の機能」以外の機能を利用している場合は、マルチアシスタントを使用できないことがあります。
- アプリケーションの状態によってはこの表に従わない場合もあります。
- メモリの不足している場合など、この表の組み合わせでもマルチアシスタントを使用できない場合があります。
- オープンポジションでは音声電話発信できません。
- 「ダイヤル入力」はマルチアシスタント画面で[発信キー]を押して呼び出します。
- ワンセグ視聴中はデータBOXのデータの表示・再生はできません。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） ● 電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

- コレクトコール（106）をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と１回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2010年１月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2010年１月現在）。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用になれませんので、ご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へかける際の自動クレジット通話はご利用になれます）。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合はお近くの公衆電話または一般電話からかけてください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ01※1／02※1
- 電池パック SH21
- リアカバー SH36
- 卓上ホルダ SH30
- イヤホンターミナル P001※2
- 平型ステレオイヤホンセット P01※3
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01※3／P02※3
- ステレオイヤホンセット P001※2
- スイッチ付イヤホンマイク P001※2／P002※2
- イヤホンマイク 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- イヤホンジャック変換アダプタ P001※3
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- イヤホン変換アダプタ 01
- FOMA USB接続ケーブル※4
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- FOMA海外兼用ACアダプタ01※1
- FOMA DCアダプタ01／02
- FOMA室内用補助アンテナ※5
- 車載ハンズフリーキット 01※6
- FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- 車内ホルダ01※7
- FOMA乾電池アダプタ 01
- キャリングケースL 01
- 骨伝導レシーバマイク 01※3／02
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02※4
- FOMA 補助充電アダプタ 01
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※5

※1 ACアダプタでの充電方法については、P.49をご覧ください。
※2 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01とイヤホンジャック変換アダプタを接続しないとご利用になれません。
※3 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01を接続しないとご利用になれません。
※4 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※5 日本国内でご利用ください。
※6 SH-03Bを充電するためには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01が必要です。
※7 車内ホルダ01をご利用になるときは、タッチパネル／キーロックを設定してください。

外部機器との連携

対応する外部機器を利用してmicroSDカードに保存した動画を、FOMA端末で再生できます。※
microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。microSDカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます（☞P.363）。
対応機器などについては、http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-03b/をご覧ください。または下記にお問い合わせください。

- 外部機器で作成したｉモーション（AAC形式の音楽データを含む）をFOMA端末で再生する（☞P.274）。

※ 保存した動画や外部機器の形式によっては、再生できない場合があります。

シャープ　データ通信サポートセンター
TEL 03-5396-2351
受付時間：平日10:00～12:00／13:00～17:00
（土・日・祝日および所定の休日を除く）

- ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようにおかけください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。
QuickTime™ Playerは、下記のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。

次ページへ続く

- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法などについては、アップルコンピュータ(株)のホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(☞P.529)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

FOMA端末の電源が入らない	
● 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.48
● 電池切れになっていませんか。	P.53

■ 充電

充電ができない(充電ランプが点灯しない、または点滅する)	
● 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.48
● アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットに正しく差し込まれていますか。	P.50
● アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。	P.50
● ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ(別売)にしっかりと接続されていますか。	P.50 P.51
● 卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた布、綿棒などで清掃してください。	P.51
● 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	P.49

■ 端末操作

操作中・充電中に熱くなる	
● 操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタの温度が高くなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	P.49
電池の使用時間が短い	
● 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	P.49
● 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	P.49
● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	P.50
電源断・再起動が起きる	
● 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。	−
● FOMAカードのＩＣ部分が汚れていませんか。	P.45
タッチしたり、ボタンを押しても動作しない	
● オールロックを設定していませんか。	P.119
● タッチパネル／キーロックを設定していませんか。	P.124
● FOMA端末の電源が切れていませんか。	P.54
タッチしたり、ボタンを押したときの画面の反応が遅い	
● FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	P.367 P.542
FOMAカードが認識しない	
● FOMAカードを正しい向きで挿入していますか。	P.45
● FOMAカード(青色)を挿入していませんか。	P.45

■ 通話

ダイヤル発信できない	
● オールロックを設定していませんか。	P.119
● タッチパネル／キーロックを設定していませんか。	P.124
● ダイヤル発信制限を設定していませんか。	P.123
● セルフモードを設定していませんか。	P.121

着信音が鳴らない	
● 着信音量を[サイレント]にしていませんか。	P.95
● 公共モード（ドライブモード）、マナーモード、セルフモードを設定していませんか。	P.73 P.99 P.121
● 電話帳指定着信許可／電話帳指定着信拒否、非通知理由別着信拒否、呼出動作開始時間設定、電話帳登録外着信拒否を設定していませんか。	P.126 P.127 P.128
● 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「０秒」にしていませんか。	P.448 P.451
● 伝言応答時間を「０秒」にしていませんか。	P.74
● オート着信設定の着信時間を「０秒」にしていませんか。	P.422

通話ができない（場所を移動しても[圏外]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	
● 電源を入れ直すか、電池パックまたはFOMAカードを入れ直してください。	P.45 P.48 P.54
● 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[ ]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	P.29
● 電話帳指定着信許可、電話帳指定着信拒否など着信制限を設定していませんか。	P.126
● 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は[しばらくお待ちください]と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	－

ツータッチダイヤルで電話がかけられない	
● 電話帳の機能別ロックを設定していませんか。	P.122
● オールロックを設定していませんか。	P.119

■ 画面

ディスプレイが暗い	
● 照明・省電力設定をEcoモード（省電力）に設定したり、オリジナルEcoモードで照明時間設定を短く設定していませんか。	P.105
● 照明・省電力設定を通常モード（明るさ自動）に設定したり、オリジナルEcoモードで明るさ調整を[自動]に設定していませんか。[自動]の場合は周囲の明るさによって変わります。	P.105
● 表示画質設定のシーン別制御を[ON]にしていませんか。	P.112
● ワンセグの画質設定の明るさ調整を[自動]に設定していませんか。	P.253
● ベールビューを設定していませんか。	P.114

画面表示が消えた	
● FOMA端末の電源が切れていませんか。	P.54
● 電池切れになっていませんか。	P.53
● 一定時間FOMA端末を使用しないと、ディスプレイの表示が消えます。照明・省電力設定のオリジナルEcoモードの画面表示時間設定で表示時間を変更することができます。	P.106
● 自動電源OFFを設定していませんか。	P.407

画面が白っぽく見えたり、模様などが映り込んで見える	
● ベールビューを設定していませんか。	P.114

■ 音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	
● 受話音量を変更していませんか。	P.96

■ メール

メールを自動で受信しない	
● メール設定のメール選択受信設定を[ON]に設定していませんか。[OFF]に設定してください。	P.163

メールを受信したときに着信音が鳴らない	
● 受信・自動送信表示を[操作優先]に設定していませんか。	P.164

メールを受信したとき設定した着信音以外の着信音が鳴る	
● グループ指定メール着信音を設定した相手からのメールを受信したときは、そのグループに設定したメール着信音が鳴ります。	P.86
● 指定メール着信音とグループ指定メール着信音の両方を設定した相手からのメールを受信したときは、指定メール着信音が鳴ります。	P.84
● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールアドレスに設定した指定メール着信音が鳴ります。	－

添付ファイルが削除されて画像を見ることができない	
● 添付ファイル受信設定を確認してください。	P.164
●「メールサイズ制限の設定」を確認してください。詳しくは『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。	P.134

■ ｉモード

ｉモード、ｉモードメール、ｉアプリ、ｉチャネル、ｉコンシェルに接続できない	
● 接続先設定を[ｉモード]以外に設定していませんか。	P.196
● ｉモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.54
● ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。	P.174

ｉモードマークが点滅したまま消えない	
● ｉモード問い合わせ・メール送受信などのあとや途中でｉモード接続が切れたときは、ｉモードマークは点滅したままになります。データのやりとりを行わなければ自動的に切断されますが、を押すとすぐに終了できます。	P.174

■ カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	
● 近くの被写体を撮影するときは、AFモードを[接写]に切り替えてください。	P.232
● カメラのレンズにくもりや汚れが付いていないかを確認してください。	P.218
● フォーカスロックを利用してください。	P.234
● 人物を撮影するときは、AFモードを[顔優先AF]に設定してください。	P.232
● 手ぶれ補正を[オート](静止画)／[ON](動画)で撮影してください。	P.233

■ ワンセグ

ワンセグの視聴ができない	
● 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。	P.246
● チャンネル設定をしていますか。	P.248

■ おサイフケータイ

おサイフケータイ対応ｉアプリが削除できない	
● ＩＣカード内データを削除したあと、ｉアプリを削除してください。なお、iD 設定アプリは削除できません。削除したいｉアプリが利用しているＩＣカード内データを削除しないと、ｉアプリを削除できない場合があります。 削除できなかった場合は、ドコモショップなどまでお問い合わせください。	P.287

おサイフケータイが使えない	
● 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ＩＣカードロックの設定にかかわらずＩＣカード機能が利用できなくなります。	P.314
● ＩＣカードロックを設定していませんか。	P.314
● FOMA端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。	P.313

■ 海外利用

[圏外]が表示され、国際ローミングサービスが利用できない	
● 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。	P.29 P.462
● 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。	P.462
● ネットワークサーチ設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。	P.467
● 日本国内から海外へ移動したあとに3G／GSM切替を[自動]または対応しているネットワークに切り替えてください。日本国内で[自動]にしていた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。	P.467

海外での利用中に音声電話やテレビ電話がかかってこない	
● ローミング時着信規制を「開始」に設定していませんか。	P.469
● パケット通信中着信設定を[テレビ電話優先]以外に設定していませんか。	P.80
● GSM／GPRSネットワーク利用中にテレビ電話は利用できません。	P.463

海外で利用中に突然、発信や着信ができない	
● ドコモ インフォメーションセンターで、ご利用累積額をご確認ください。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。超過するとサービスがすべて停止します。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を清算していただくことで、サービスを再開します。	P.462
● ネットワーク通信方式を確認してください。3G／GSM切替を[自動]に設定していると、特定のネットワークを受信し利用できない場合があります。[3G]または[GSM／GPRS]に切り替え、滞在中の国や地域に対応するネットワーク通信方式にしてください。	P.467

相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	
● 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	P.467

■ データ管理

データ転送が行われない	
● USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	P.474

microSDカードに保存したデータが表示されない	
● microSDカードの管理情報の更新を行ってください。	P.375

■ データ表示

各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する	
● 画像やメロディなどの取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されていますか。	P.46

画像表示しようとすると[□]が表示される、またはプレビューで[□]が表示される	
● 画像データが壊れている場合は[□]が表示されるときがあります。	P.339

■ Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	
● Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、FOMA端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。	P.425

次ページへ続く▶▶

カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない	
● 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.54

■ 地図･GPS機能

オートGPSサービス情報が設定できない。	
● 電池残量が少なくなり、オートGPS機能が停止していませんか。低電力時動作設定により、オートGPS機能が停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、低電力時動作設定を[停止しない]に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。	P.334
● オートGPS動作設定が[OFF]になっていませんか。	P.332
● オートGPS機能が動作しない状態になっていませんか。	P.332

■ その他

着信またはメールの受信をしたとき設定した着信ランプ以外の着信ランプが点滅する	
● グループ指定着信ランプ／グループ指定メール着信ランプを設定した相手からの着信またはメールを受信したときは、そのグループに設定したランプ設定で点滅します。	P.86
● 電話帳指定着信ランプ／電話帳指定メール着信ランプとグループ指定着信ランプ／グループ指定メール着信ランプを両方設定した相手からの着信またはメールを受信したときは、電話帳指定着信ランプ／電話帳指定メール着信ランプで設定したランプ設定で点滅します。	P.111
● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールアドレスに設定したランプ設定で点滅します。	－

現在地が確認できない	
● ご利用になるにはｉモードのお申し込みが必要です。	P.174

現在地通知／位置提供が利用できない	
● 現在地通知先が正しく設定されていますか。	P.329
● 位置提供可否設定を[位置提供機能OFF]に設定していませんか。	P.326
● サービス利用設定で位置提供に必要な設定をしていますか。	P.328

こんな表示が出たら

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを「英数字」、「50音」の順に記載しております。

● ｉモード関連のエラーメッセージ中の（　）で囲まれた数字は、ｉモードセンターから送信されるもので、エラーの内容を区別するためのコードです。

[Bluetooth機器と接続できません]

● Bluetooth出力を行った場合にBluetooth機器と接続できなかったときに表示されます。音はFOMA端末から出力されます。☞P.426

[Bluetooth機器と接続できません再接続しますか？]

● Bluetooth出力を行った場合にBluetooth機器と接続できなかったときや、出力中に切断されたときに表示されます。[再接続]／[本体から出力]を選択できます。☞P.426

[Bluetooth接続できませんでした]
[（サービス名）と接続できませんでした]

● Bluetooth機器との接続に失敗した場合に表示されます。☞P.426

[FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません]

● FOMAカードセキュリティ機能により保護されている画面メモ、メッセージR／F、ｉアプリを選んで起動しようとした場合に表示されます。☞P.46
● サイトやインターネットホームページ、ｉモードメールから、ｉアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。☞P.46

[FOMAカード（UIM）を挿入／再確認してください]

● FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.45

[ＩＣカード内データがいっぱいのため、ダウンロードできません。いずれかのサービスを削除しますか？]

● おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする際、ＩＣカード内データの容量が足りない場合に表示されます。[はい]を選択すると、すでに登録しているおサイフケータイ対応ｉアプリの一覧と、ＩＣカード内の容量(バイト数)が表示されますので、不足エリアサイズを確認したあと、削除するサービスを選択し、ｉアプリを起動して削除してください。ただし、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては[はい]を選択したあとに、おサイフケータイ対応ｉアプリの一覧のみが表示されることがあります。この場合は、一覧からｉアプリを選択して削除してください。

[ｉアプリTo設定されていません]

● サイトやインターネットホームページ、メッセージR/Fやｉモードメールからソフトを起動しようとした場合に、指定したソフトが連携許可されていないため、起動できません。☞P.304

[ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]

● ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。
● 通信を行ってｉアプリを継続する場合は[はい]を選択します。通信を行わずにｉアプリを継続する場合は[いいえ]を選択します。ｉアプリを終了する場合は[終了]を選択します。

[ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？]

● [ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]と表示された際に[いいえ]を選択してｉアプリを継続している場合、再度ｉアプリが通信を行おうとしたときに表示されます。
● 通信を行ってｉアプリを継続する場合は[はい]を選択します。通信を行わずにｉアプリを継続する場合は[いいえ]を選択します。ｉアプリを終了する場合は[終了]を選択します。

[ｉモーション再生サイズを超えています]

● 標準タイプのｉモーションを取得する場合、ｉモーションのサイズが10Mバイトを超えているため取得ができないときに表示されます。☞P.204

[ｉモーション再生サイズを超えました]

● 標準タイプのｉモーションを取得する場合、ｉモーションのサイズが10Mバイトを超えているため取得が完了しなかったときに表示されます。☞P.204

[ｉモーション最大サイズを超えています]

● 標準タイプで分割して取得可能なｉモーションまたはストリーミングタイプのｉモーションを取得する場合、ｉモーションのサイズが10Mバイトを超えているため取得ができないときに表示されます。☞P.204

[ｉモーション最大サイズを超えました]

● 標準タイプで分割して取得可能なｉモーションまたはストリーミングタイプのｉモーションを取得する場合、ｉモーションのサイズが10Mバイトを超えているため取得が完了しなかったときに表示されます。☞P.204

[microSDが抜かれました]

● microSDカード内のMusic&Videoチャネルの番組を再生中にmicroSDカードが取り外されたときに表示されます。

[microSD未挿入のため録画できませんでした]

● ビデオ録画先設定を[microSD]に設定している場合、ビデオ録画開始時にmicroSDカードが挿入されていないときに表示されます。☞P.364

[microSD利用中のため録画できませんでした]

● ビデオ録画先設定を[microSD]に設定している場合、ビデオ録画開始時にmicroSDカードを利用していたときに表示されます。

[Music&Videoチャネル未契約です]
[Music&Videoチャネル未契約です　番組を削除しました]

● Music&Videoチャネルのサービスをご契約されておりません。Music&Videoチャネルをご利用になるにはお申し込みが必要です。☞P.266

[PIN1コードがロックされています]

● PIN1コードがロックされている場合に、電源を入れると表示されます。PINロック解除コードを入力し、ロックを解除してください。☞P.119

[PINロック解除コードがロックされています]

● PINロック解除コードがロックされている場合に、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作を行うと表示されます。
ドコモショップ窓口までお問い合わせください。☞P.117

[SMSがいっぱいです。これ以上コピーできません]

● FOMA端末またはFOMAカード内のSMSが最大件数まで保存されていてコピーできなかった場合に表示されます。☞P.172

[SSL／TLS通信が切断されました]

● SSL／TLS通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかった場合に表示されます。再び接続し直してください。☞P.177

[SSL／TLS通信が無効です]

● SSL／TLS通信の認証中にエラーが発生してSSL／TLS通信が切断された場合に表示されます。☞P.177

[SSL／TLS通信が無効に設定されています]

● 証明書設定で無効に設定した証明書を受信した場合に表示されます。無効に設定した理由を確認し、証明書の安全性に問題がない場合は、証明書を有効に設定してから再び接続し直してください。☞P.200
● ソフトウェアの更新時、SSL／TLS証明書が有効に設定されていない場合に表示されます。証明書設定でCA証明書１～20のすべてを有効にしてください。☞P.200

[SSL／TLS通信を切断しました]

● ソフトウェアの更新時、FOMA端末の日付(年月日)が正しく設定されていない場合に表示されます。FOMA端末の日時設定を行ってください。
☞P.55

[URLが長すぎて登録できません]

● URLが登録可能文字数を超えるため、Bookmarkへ登録できません。
☞P.185

[暗号化に失敗しました]

● Bluetooth機器との接続に失敗した場合に表示されます。☞P.426

[以下の宛先にはメール送信できませんでした(561)　Mails could not be sent to following address.(561)　○○@△△△.ne.jp]

● メールアドレスは送信先により表示が異なります。
● 表示された宛先にメールが正しく送信できなかった場合に表示されます。

[一部コピーできない項目がありますが、コピーしますか？]

● FOMA端末とFOMAカードでは、１つの電話帳に登録できる電話番号やメールアドレスの件数、使える文字や文字数などが異なるため、２件以上の電話番号やメールアドレスが登録されている場合や、コピーできないデータがある場合にFOMAカードにコピーしようとすると表示されます。[はい]を選択すると、１件目の電話番号とメールアドレスがコピーされます。コピーできないデータは削除されます。

[一部コピーできませんでした]

● microSDカード内に、SH-03B以外の端末やパソコンで作成したファイルやフォルダが存在する場合に表示されることがあります。

[一部登録できないデータがあります。登録しますか？]

● コラムリーダーで読み取った文字を電話帳に登録する場合、登録できないデータがあるときに表示されます。[はい]を選択すると、登録されます。

[映像がないため保存できません]

● 表示モード切替(縦)を[データ放送]に設定して、データ放送のみを表示している場合に静止画録画しようとすると表示されます。☞P.258

[閲覧可能回数が終了しました。削除しますか？]

● 閲覧可能回数が終了した電子書籍などを表示しようとした場合に表示されます。☞P.392

[閲覧可能期限が切れました。削除しますか？]

● 閲覧期間または閲覧期限が終了した電子書籍などを表示しようとした場合に表示されます。☞P.392

[閲覧可能日前です。閲覧できません]

● 閲覧期間が設定されている電子書籍などを、閲覧可能期間前に表示しようとした場合に表示されます。☞P.392

[エラー発生ドキュメントビューアを終了します]

● ドキュメントビューアが起動され、次ページなどの読み込み時、解析に失敗した場合に表示されます。ファイルの途中に壊れた情報が入っている場合などに発生します。

[エリアメールを受信しました]

● エリアメールを受信するように設定し、エリアメールを受信した場合に表示されることがあります。しばらくすると自動的に受信前の画面に戻ります。☞P.168

[応答がありませんでした(408)]

● サイトやインターネットホームページからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続をお試しください。☞P.174

[同じサービスを利用するソフトがあるため[ダウンロード／バージョンアップ／起動]できません。該当するサービスを削除しますか？]

● 同様のサービスをすでにダウンロード済みの場合、すでに登録されている該当サービスを削除しないと、新しいサービスを[ダウンロード／バージョンアップ／起動]できません。[はい]を選択すると削除対象となるサービスが表示されますので、登録済みのサービスを削除してください。

[おまかせロック中です]

● おまかせロックが設定されている場合に表示されます。☞P.120

[音声伝言メモがすでに３件録音されています]

● 音声電話伝言メモ・音声メモが３件、テレビ電話伝言メモが２件未満、録音／録画済みです。
不要な伝言メモ・音声メモを削除してからやり直してください。☞P.77

[海外でご利用の場合、Bナンバー発信はできません。Aナンバーで発信します。]

● 海外で2in1利用時に、Bナンバーから発信しようとした場合に表示されます。[発信]を選択するとAナンバーで発信します。[非通知発信]を選択すると発信者番号非通知で発信します。☞P.455

[画像に誤りがあり、正しく動作しません]

● Flash画像に誤りがあります。

[カメラを終了します。しばらくしてからお使いください]

● カメラを長時間連続で使用して、FOMA端末やカメラ周辺部の温度が高くなった場合に表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。

[カメラを正常に起動できません]

● ソフトウェア更新が正常に完了していない可能性がありますので、ドコモ指定の故障取扱窓口にお問い合わせください。

[画面メモがいっぱいです。上書きしますか？]

● 画面メモを登録するメモリの空き容量がない場合に表示されます。
[はい]を選択して上書きする画面メモを選択すると、登録確認の画面に進みます。

[管理情報が正しくないか、本機で作成されたものではありません。WMAデータの全削除を行いますか？]

● WMAファイルのデータベースが破損している場合に表示されます。

[機器登録しました　取得できなかったサービスがあります]

● Bluetooth機器の登録を行った場合、対応しているサービス(プロファイル)が相手機器に見つからなかったときに表示されます。☞P.425

[機能別ロック中です]

● 機能別ロックが設定されています。
解除してからやり直してください。☞P.122

[携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を送信します]

● サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。[はい]を選択すると、「携帯電話／FOMAカードの製造番号」が送信されます。送信せずに元の画面に戻るには、[戻る]を選択するか、CLRを押します。☞P.177
● 送信される「携帯電話／FOMAカードの製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。

[ケーブル接続中のためデータ転送モードへ移行できません]

● 充電中およびイヤホン接続中にｉＣ送信を行うと表示されます。

[圏外です]

● サービスエリア外や電波が届かないところで、電話発信やｉモード通信、各種ネットワークサービスの操作をしようとした場合に表示されます。
[圏外アイコン]が表示されるところまで移動して操作をしてください。☞P.29

[現在お使いのFOMAカードがＩＣオーナーではないため[ダウンロード／バージョンアップ／起動]できません]

● 挿入しているFOMAカードと FeliCa に対応付けされているFOMAカード情報が異なる場合に表示されます。ＩＣオーナーとして登録されているFOMAカードを挿入してご利用ください。☞P.314

[このカードは使用できません]

● 使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性がある場合に表示されます。なお、本FOMA端末ではFOMAカード（青色）はご使用になれません。☞P.45
● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性がある場合に表示されます。
FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.45

[このカードは認識できません。端末を再起動します。]

● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性がある場合に表示されます。
FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.45

[このサイトとのSSL／TLS通信は無効です]

● 書換えられたSSL／TLS証明書を受信した場合に表示されます。このサイトやインターネットホームページとはSSL／TLS通信できません。☞P.177

[このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？]

● FOMA端末では検証できないサーバ証明書を受信した場合に表示されます。
安全性を確認できないことを承知のうえで接続する場合は、[はい]を選択します。接続しない場合には、[いいえ]を選択します。☞P.177

[このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？]

● 期限切れまたは有効期間前のSSL／TLSサーバ証明書を受信した場合に表示されます。
安全性を確認できないことを承知のうえで接続する場合は、[はい]を選択します。接続しない場合には、[いいえ]を選択します。☞P.177

[この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？]

● 署名の有効期限が切れたサーバ証明書を受信した場合に表示されます。
安全性を確認できないことを承知のうえで接続する場合は、[はい]を選択します。接続しない場合には、[いいえ]を選択します。
日時設定を行ってください。☞P.177

[この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？]

● 正しくない情報を持ったSSL／TLSサーバ証明書を受信した場合に表示されます。安全性を確認できないことを承知のうえで接続する場合は、[はい]を選択します。接続しない場合には、[いいえ]を選択します。
☞P.177

[このソフトは最新です]

● ｉアプリが更新されていないためバージョンアップされません。
☞P.306

[このチャンネルは受信できません]

● 放送電波圏外のため受信できません。[▣.ıl]が表示されるところまで移動してご利用ください。☞P.250

[このチャンネルは放送休止中です]

● 放送休止中のため受信できません。
● 放送電波の受信状況によっては、放送中であっても放送休止中と表示されることがあります。

[このデータは閲覧できません。削除しますか？]

● 日時設定がリセットされたあとで、閲覧期限／閲覧期間のある電子書籍などを表示しようとした場合に表示されます。

[このデータは再生できない可能性があります。取得しますか？]

● FOMA端末では再生できない可能性があるｉモーションを取得しようとした場合に表示されます。☞P.340

[このデータは再生できません]

● microSDカード内のうた・ホーダイを再生しようとした場合、対応するミュージック（会員制）サービスのライセンスがないときに表示されます。

[このデータは再生できません。削除しますか？]

● 日時設定がリセットされたあとで、再生期限／再生期間のあるFOMA端末内のｉモーションや着うたフル®を再生しようとした場合に表示されます。
● FOMA端末のうた・ホーダイを再生しようとした場合、対応するミュージック（会員制）サービスのライセンスがないときに表示されます。

[このデータを閲覧するためには日時設定をして下さい]

● 閲覧期限／閲覧期間のある電子書籍などを表示しようとした場合、日付・時刻が正しく設定されていないときに表示されます。

[このデータを再生するためには日時設定をして下さい]

● ［移行可能コンテンツ］フォルダ内の再生期限／再生期間のあるｉモーションを再生しようとした場合、日付・時刻が正しく設定されていないときに表示されます。

[このデータを再生するためには自動時刻時差補正をONにし時刻情報を取得してください]

● ［ｉモード（microSD）］フォルダ内の再生期限／再生期間のある着うたフル®や、再生期限／再生期間のあるWMAファイル、Music&Videoチャネルの時刻連動が設定されている番組を再生しようとした場合、日付・時刻が正しく設定されていないときに表示されます。☞P.55、P.268、P.279

[このデータを取得するためには自動時刻時差補正をONにし、時刻情報を取得してください]

● うた・ホーダイをダウンロードしようとした場合、日付・時刻が正しく設定されていないときに表示されます。☞P.55、P.273

[この番組は録画禁止です]

● 番組が録画禁止の場合に表示されます。

[コピー規定回数を超えたファイルがあります。コピーすると、本体側ファイルは削除されます。コピーしますか？]

● ビデオファイルをmicroSDカードにコピーする場合、コピー規定回数を超えたビデオファイルがあるときに表示されます。［はい］を選択するとビデオファイルがmicroSDカードに移動します。☞P.368

[これ以上起動できません]
[これ以上起動できません。MULTIボタンを押して機能を終了させてください]

● 起動できる最大件数の機能が起動しています。
使っていない機能を終了させてから再度操作してください。

[これ以上接続することは出来ません]

● Bluetooth対応機器とシリアルポートサービスで接続中に、ｉアプリからBluetooth通信を利用しようとした場合に表示されます。

[これ以上タブを開けません。別のタブを閉じますか？]

● 表示可能なフレーム数を超えた場合やメモリ不足などにより、新タブウィンドウで開くことができないときに表示されます。

[これ以上保護できません]

● メッセージR／Fで保護できる最大件数を超えています。保護を解除してください。☞P.168

[これ以上録音できません]
[これ以上録画できません]

● 音声電話伝言メモ・音声メモが３件、テレビ電話伝言メモが２件録音／録画済みです。
不要な伝言メモ・音声メモを削除してからやり直してください。☞P.77

[サービス未契約です]

● ｉモードをご契約されておりません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。☞P.174
● ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから再度電源を入れ直してください。

[（IP（情報サービス提供者）名）サービス未登録です。再生するにはサービス登録が必要です。サイトに接続しますか？]

● 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新時に、IP（情報サービス提供者）と未契約の場合に表示されます。［はい］を選択するとIP（情報サービス提供者）のサイトに接続されます。☞P.280

[再起動しました。FOMAカードの金属部分の汚れは再起動の原因となります。金属部分は定期的な清掃をお勧めします]

● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性がある場合に表示されます。
FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.45

[最後まで取得できないデータの可能性があります。取得しますか？]

- 標準タイプのｉモーションを取得する場合、ファイルサイズが不明なときに表示されます。☞P.204

[再生可能回数が終了しました。再生できません]
[再生可能回数が終了しました。削除しますか？]

- 再生可能回数が終了したｉモーションや着うたフル®、Music&Videoチャネルの番組を再生しようとした場合に表示されます。☞P.205、P.268、P.279

[再生可能期限が切れました。再生できません]
[再生可能期限が切れました。削除しますか？]

- 再生期間または再生期限が終了したｉモーションや着うたフル®、Music&Videoチャネルの番組を再生しようとした場合に表示されます。☞P.205、P.268、P.279

[再生可能日前です。再生できません]

- 再生期間が設定されているｉモーションや着うたフル®、Music&Videoチャネルの番組を、再生可能期間前に再生しようとした場合に表示されます。☞P.205、P.268、P.279

[再生時間外のため再生できません。次回の番組再生開始時間は、xxxx年xx月xx日xx時xx分です]

- 時刻連動が設定されているMusic&Videoチャネルの番組を、再生可能期間前に再生しようとした場合に表示されます。☞P.268

[再生できません。microSDのメモリがいっぱいです]

- WMAファイルを再生しようとした場合、microSDカードの空き容量が64Kバイト以下のときに表示されます。☞P.273

[(IP(情報サービス提供者)名)再生期限の更新ができませんでした]

- 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新に失敗した場合に表示されます。☞P.280

[最大サイズを超えたので中断しました]

- メロディやダウンロード辞書などをダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。

[最大サイズを超えているため、一部のデータが失われる可能性があります。編集終了しますか？]

- 本文のみのサイズが10000バイトを超えている場合に表示されます。[はい]を選択すると、メール作成画面が表示されますが、超過しているデータは削除され、[☒]が表示されます。メールの内容(文字、画像など)によっては、削除されない場合もあります。編集し直す場合は、[いいえ]を選択すると本文入力画面に戻ります。10000バイト以内になるように編集してください。

[最大サイズを超えました]

- ｉモードでサイトやインターネットホームページを表示する場合、受信したデータが1ページの最大サイズを超えたときに表示されます。[OK]を選択すると、ダウンロードしたところまでのデータを表示します。[フルブラウザ切替]を選択すると、フルブラウザに切り替えます。☞P.174、P.184

[(IP(情報サービス提供者)名)サイトが移動していたため再生期限を更新できませんでした]

- 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新時に、サイトが移動したため接続できず、再生期限の更新に失敗した場合に表示されます。☞P.280

[サイトが移動しました(301)]

- サイトやインターネットホームページが移動したためURLが変更されています。古いURLをBookmarkに登録している場合は新しいURLに更新されます。☞P.185

[サイトが移動しました。移動先に接続しますか？]

- 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新時に、サイトが移動したためURLが変更されている場合に表示されます。[はい]を選択すると移動先に接続されます。☞P.280

[(IP(情報サービス提供者)名)サイトに接続できなかったため再生期限の更新ができませんでした]

- 再生期限が切れたうた・ホーダイの更新時に、何らかの原因でサイトに接続できず、再生期限の更新に失敗した場合に表示されます。もう一度接続をお試しください。☞P.280

[サイトに接続できませんでした(403)]

- 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。☞P.174

[削除される添付ファイルがあります]

● 転送または引用返信するｉモードメールに、ｉモードメールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付／貼り付けされています。☞P.143
メッセージが表示されたあと、ファイルが削除された状態でｉモードメール編集画面が表示されます。

[シークレットデータが登録されています]

● シークレットモードが[OFF]の場合に、シークレットデータをツータッチダイヤルで発信したり、ツータッチメールで送信しようとすると表示されます。☞P.84、P.125

[次回再生時に再生期限の更新あるいはサービス登録をしてください]

● 再生期限の更新有効期間中のうた・ホーダイを再生しようとした場合に表示されます。☞P.280

[時間内に接続できませんでした]

● ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってからサイトやインターネットホームページへの接続やｉモードメール送信などを行ってください。

[実行できませんでした]

● ドキュメントビューアとしての表示はされますが、さらにルーペなどの機能を実行するにはメモリが不足している場合に表示されます。

[指定サイトがみつかりません(404)]

● サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。サイトやインターネットホームページが存在しない可能性があります。

[指定サイトに表示データがありません(204)]

● 接続したサイトやインターネットホームページに表示するデータがない場合に表示されます。

[指定されたソフトがありません]

● ｉモードメール、赤外線通信機能からのｉアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。☞P.304

[指定されたソフトが起動できませんでした]

● サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメール、赤外線通信機能からソフトを起動しようとした場合、指定したソフトが起動できなかったときに表示されます。☞P.304
● 2in1のモードを[Bモード]に設定しているときに、メール連動型ｉアプリのソフトを起動しようとすると表示されます。☞P.455

[指定したサイトへは接続できませんでした(504)]

● 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。☞P.174

[指定の番組を選局できません]

● 指定したチャンネルが検出できなかった場合や、放送電波圏外のため受信できない場合に表示されます。

[しばらくお待ちください]

● 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。いずれかのボタンを押すとメッセージが消えます。
● 110番、119番、118番には電話をかけることができます。
ただし、状況によりつながらない場合があります。

[しばらくお待ちください(パケット)]

● パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。

[重複したアドレスを削除しました]

● ｉモードメール作成時、複数の宛先に同じメールアドレスを入力して送信しようとすると表示され、重複するアドレスを削除します。☞P.137

[既に起動中です。実行中の機能を終了し新規起動しますか？]

● すでに起動している機能を選択した場合に表示されます。すでに起動中の機能を終了させて新規に起動するか、起動中の画面に切り替えるかを選択できます。

[正常に接続できませんでした(400)]

● サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URLが正しいかどうか確認してください。

[積算料金が上限を超えました]

- FOMAカード内に設定されている積算料金上限値を超えているため発信できない場合に表示されます。積算料金リセットを実行すると規制が解除されます。☞P.418

[セキュリティエラーのため終了しました]

- ｉアプリが不正な動作をしようとしました。☞P.304
- ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとする場合に表示されます。セキュリティエラーによりソフトが終了した場合、エラー履歴が保存されます。☞P.304

[接続相手が見つかりません。続けますか？]

- 赤外線通信の相手が認識できなかった場合に表示されます。[はい]を選択すると、もう一度やり直すことができます。☞P.383

[接続が中断されました]

- 電波が弱いため、ｉモードが中断されました。
  電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。☞P.29
- 電波が強く[📶]が表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトやインターネットホームページが非常に混み合っています。しばらくたってから接続してください。

[接続できません]

- 接続先の設定が正しくない場合に表示されます。
  ｉモード設定の共通設定の接続先設定で接続先を正しく設定し直してください。☞P.196
- 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。☞P.174

[セルフモード設定中です]

- セルフモード設定中に、使えない機能の操作をしようとした場合に表示されます。☞P.121

[送信相手が見つかりません]

- ｉC通信の相手が認識できなかった場合に表示されます。

[送信できません。宛先を確認してください(451)]

- ｉモードメールやSMSを正常に送信できなかった場合に表示されます。宛先を確認し、修正してから送信してください。

[送信できませんでした]

- ｉモードメールやSMSを正常に送信できなかった場合に表示されますので、電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。
- [ｉモードセンターが混みあっています]が合わせて表示される場合は、しばらくたってから送信し直してください。また、[送信先のメールがいっぱいです]が合わせて表示される場合は、送信先でメールを受け取ることができないためメールを送信できません。

[ソフトに誤りがあります]
[ソフトに誤りがあるため、ダウンロードできません]

- ｉアプリのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。

[対応機種ではありません]

- ダウンロードしようとしたｉアプリがFOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。

[ダイヤル発信制限設定中です]

- 電話帳に登録されていない電話番号へ電話をかける場合は、ダイヤル発信制限を解除してください。☞P.123

[ダウンロード済みです]

- 同じバージョンのソフトがすでにダウンロードされています。☞P.305

[ダウンロードを中止しました]

- ダウンロード中に、ダウンロードを中止する操作を行った場合に表示されます。

[ダウンロードできませんでした]
[コンテンツ不正のためダウンロードできません]

- ダウンロードするデータがない場合や、データが正しくない場合に表示されます。ダウンロードすることはできません。
- 正しくない、または未対応の形式であるためダウンロードできません。

[他機能実行中のため起動できませんでした]

- 他の機能が実行されているため、予約時刻にソフトウェア更新を実行できませんでした。即時更新を行うか、別の日時を予約し直してください。☞P.532、P.533

[ただいまカメラを利用できません]

- カメラの周辺の温度が高くなっている場合にカメラを起動しようとすると表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。
- カメラの撮影画面が表示されている場合に着信などが発生すると、機能制限により表示され、カメラが終了することがあります。この場合、再度カメラを起動すると使用できます。

[ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい]

- ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。☞P.174

[正しく表示出来ません]

- ファイルサイズが大きく、ドキュメントビューアでファイルが表示できない場合に表示されます。☞P.391
- ファイル内に、ドキュメントビューアがサポートしていない機能がある場合に表示されます。☞P.391
- メモリ不足などにより、ドキュメントビューアの起動に失敗した場合に表示されます。
- ドキュメントビューア起動時、タイムアウトが発生し、起動に失敗した場合に表示されます。解析に多くの時間がかかるファイルの場合に発生します。
- ファイルの詳細情報を表示しようとした場合、情報取得に失敗したときに表示されます。

[端末暗証番号が違います]
[４～８桁で入力してください]

- 端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えた場合に表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。☞P.116

[端末暗証番号を入力してください]

- 機能別ロック中に、制限されている機能の操作をしようとした場合に表示されます。端末暗証番号を入力すると、機能別ロックが一時解除され、操作できます。☞P.122
- 端末暗証番号の入力が必要な機能を利用しようとした場合に表示されます。

[中断しました]

- 赤外線通信やｉＣ通信、Bluetooth通信を中止する操作をした場合に表示されます。☞P.383、P.386、P.425

[著作権管理情報が正しくありません。WMAフォルダから全削除を行ってください]

- WMAファイルを利用していたmicroSDカードを別のFOMA端末に入れ、WMAファイルの再生を行おうとした場合に表示されます。☞P.273

[通信エラーが発生しました]

- 現在地確認、現在地通知、位置提供の測位時に、システムに異常が発生した場合や、ｉモードのサービス未契約の場合に表示されます。

[通信に失敗しました]

- ソフトウェアの更新ができなかった場合に表示されます。
  再度ソフトウェア更新を実施してください。☞P.529

[データベースの更新を行います]

- データBOXのデータベースの復旧処理を行います。
  復旧処理を行っても、データBOX内の下記情報などは復旧できない可能性があります。
  - ■ 破損されたデータ
  - ■ お客様が作成したフォルダ（ユーザフォルダ）
    ただし、フォルダ内のデータは消えずに、移動元のフォルダに残っています。
  - ■ 再生制限のあるｉモーション、ミュージックのデータ
  - ■ プリインストール以外のPDFデータ
  - ■ データBOXに保存されるｉアプリが使用する一部のデータ

[テレビ電話伝言メモがすでに２件録画されています]

- 音声電話伝言メモ・音声メモが３件未満、テレビ電話伝言メモが２件録音／録画済みです。
- 不要な伝言メモ・音声メモを削除してからやり直してください。☞P.77

[電池がありません。保存していないデータは失われます。動作中の機能は終了します]

- 電源が切れそうになると表示されます。充電してください。☞P.49、P.53

[電池残量が少ないため、これ以上録画できません]

- 電池残量が少ない場合にワンセグのビデオ録画を行うと表示されます。

[電池残量が足りません]

- 電池残量が不足しています。カメラモードを起動できません。充電してからお使いください。☞P.49

[電池不足です。フル充電してください]

- ソフトウェアの更新時、電池残量が少ない場合に表示されます。[▥]になるように充電してください。☞P.49

[添付可能サイズを超えるため、添付できません]

- サイズを超えているため添付できません。
  本文を削除するかファイルを添付せずに送信してください。☞P.143

[電話帳指定許可を解除してください]

- 電話帳指定着信許可が設定されています。
  解除してからやり直してください。☞P.127

[同時に利用できない機能を使用中です。起動できません。MULTIボタンを押して機能を終了させてください]

- 同時に利用できない機能を使用しています。
  使用中の機能を終了させてから操作してください。

[登録できるサービスがいっぱいです。上書きされたサービスの楽曲は再生できなくなります。上書きしますか？]

- 登録できるミュージック（会員制）サービスの上限値（50件）を超えている場合に表示されます。[はい]を選択すると、再生期限が最も古いミュージック（会員制）サービスから上書きされます。また、上書きされたミュージック（会員制）サービスからダウンロードしたうた・ホーダイは再生できなくなります。

[トルカがいっぱいのため、ワンセグからトルカを取得できませんでした]

- トルカを保存するメモリの空き容量がない、またはトルカが最大件数まで保存されているため、放送トルカを保存できなかった場合に表示されます。

[入力値が正しくありません]

- 受信メールの振分け条件設定でドメイン（差出人）を選択した場合、入力したドメインに「@」が含まれているときに表示されます。☞P.161
- エリアメールの受信登録を設定する場合、MessageIDが正しくないときに表示されます。☞P.169

[入力データまたはURLが長すぎます]

- テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信できません。
  文字数を減らしてから送信し直してください。

[入力データをご確認ください（205）]

- サイトやインターネットホームページで入力を行い送信したあとに、サーバがこの内容をリセットしたい場合に表示されます。
  画面上の入力した文字や設定が消去されます（直前に送信した内容はすでに送信されています）。

[認証タイプに未対応です（401）]

- 認証できない場合に表示されます。
  元のページに戻ります。

[認証に失敗しました。続けますか？]

- 赤外線通信が正確に行えなかった場合に表示されます。[はい]を選択すると、もう一度やり直すことができます。☞P.383

[認証を中止しました]

- サイトやインターネットホームページの認証画面（IDとパスワードの入力画面）で[キャンセル]を選択した場合、またはCLRを押した場合に表示されます。

[ネットワーク暗証番号が誤ってます]

- ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えた場合に表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。
  ネットワーク暗証番号を万が一お忘れになった場合は、FOMA端末およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。☞P.116

[パスワードをご確認ください（401）]

- サイトやインターネットホームページの認証画面（IDとパスワードの入力画面）で認証できない場合に表示されます。

[ファイルの内容が正しくないため表示できません]

- microSDカードの管理情報ファイルが正しくありません。microSDカードの空き容量がなく、管理情報が正しく更新されなかった可能性がありますので、不要なファイルを削除してmicroSDカードの空き容量を作り、管理情報の更新を行ってください。☞P.375

[フォーマットできませんでした]

● microSDカードの種類によっては、著作権保護機能に対応していないため表示されることがあります。microSDカードを挿入し直すとご使用いただける場合もありますが、そのmicroSDカードはFOMAサポート対象となっていないため、データの保存やコピーなどの保証はいたしかねます。☞P.374

[放送圏外のため録画できません]

● 放送電波圏外のため録画できません。[ ]が表示されるところまで移動してご利用ください。☞P.250

[保存中止しました]

● ｉアプリのダウンロード時に保存できなかった場合に表示されます。

[本体/FOMAカードの容量がいっぱいです。空きがないため、これ以上受信できません]
[本体内の容量がいっぱいです。空きがないため、これ以上受信できません]

● FOMA端末とFOMAカードの容量がいっぱいで、新規にSMSを受信できない場合に表示されます。FOMA端末とFOMAカード内の未読ｉモードメール/SMSの確認(☞P.146、P.171)、保護解除(☞P.159)、不要なｉモードメール/SMSの削除(☞P.159)を行ってください。

[未送信BOXがいっぱいのため、起動できません]

● 未送信BOXの空き容量がない、または未送信メールが500件保存されているために新規メール/SMSを作成できません。
未送信メールを送信または削除してから作成してください。☞P.145、P.159

[未対応画像です。画像編集できません]

● 画像データが正しくないため編集ができません。

[無効なデータが含まれています。一部送信できませんでした]

● お預かりセンターとFOMA端末電話帳の更新時やメールの選択保存時に、FOMAカードセキュリティ機能が設定された画像を削除して送信した場合に表示されます。

[無効なデータを受信しました]
[無効なデータを受信しました(xxx)]

● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。
受信したデータは破棄されます。
● 「xxx」には３桁の数字が表示されます。

[メッセージがいっぱいです]

● 受信BOXの空き容量がない、または未読メールと保護された既読メールが合わせて2500件保存されているため、ｉモードメールを受信できなかった場合に表示されます。

[メモリがいっぱいです。]
[メモリまたは件数がいっぱいです。]
[microSDまたは件数がいっぱいです。]

● データのコピー中や移動中、バックアップ中などに、メモリの空き容量がなくなった場合や最大登録(保存)件数を超えた場合に表示されます。[これ以上○△□できません]、[○△□できません]、[一部○△□できませんでした]などが合わせて表示されます。不要なデータを削除してから、もう一度操作してください。

[メモリが少なくなっています]

● FOMA端末のメモリまたはmicroSDカードの空き容量が少なくなっている場合に、静止画モード/動画モードを起動したときに表示されます。
● FOMA端末のメモリの空き容量が少なくなっている場合に、プリティアレンジカメラ/名刺リーダー/情報リーダー/モーションデコ/ショットデコ/カメラルーペを起動したときに表示されます。
● microSDカードの空き容量が少なくなっている場合に、ボイスレコーダーを起動したときに表示されます。

[メモリが不足しているか保存可能件数を超えました。上書きしますか?]

● データを保存する場合にメモリの空き容量がない、または最大件数まで保存されているときに表示されます。不要なデータやファイルを削除してから保存できます。☞P.381

[メモリが不足しているため上書きできませんでした]

● メモリが不足しデータの上書きができない場合に表示されます。

[メモリが不足しているため情報の更新ができませんでした]

● メモリが不足しデータの更新ができない場合に表示されます。

[メモリの空きがありません]

● すでにFOMA端末の電話帳が1000件登録されている場合に、メモリ番号を入力せずに、新たに電話帳を登録しようとしたときに表示されます。
☞P.83、P.241、P.242

[メモリ番号:XXXは書換えできません]

- シークレットモードが[OFF]の場合に、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとすると表示されます。☞P.84
- 電話帳指定着信許可または電話帳指定着信拒否を設定中に、リスト登録している電話帳のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとした場合に表示されます。☞P.126
- 2in1利用時、利用中のモードによって表示されていない電話帳のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとした場合に表示されます。☞P.456

[メモリ不足です]

- サイト表示中に表示や操作などの処理に必要なメモリが不足した場合に表示されます。この場合は、[確認]を選択してください。開いていたすべてのタブウィンドウが終了します。

[メモリ不足のためピクチャーコール画像を受信できませんでした]

- お預かりセンターとFOMA端末電話帳の更新時、FOMA端末のメモリの空き容量が少ないため画像が保存できなかった場合に表示されます。

[メモリ容量不足のため録画終了します]

- ワンセグのビデオ録画中にFOMA端末のメモリやmicroSDカードの空き容量がなくなった場合に表示されます。

[メモリ容量不足のため録画できませんでした]

- FOMA端末のメモリやmicroSDカードの空き容量がないため、ビデオ録画できない場合に表示されます。

[有効期限が切れています]

- 有効期限が切れているテレビリンクを選択すると表示されます。☞P.263

[容量が不十分です。他の画面メモを上書きしますか？]

- 登録する画面メモの容量が選択した画面メモよりも大きい場合に表示されます。[はい]を選択して上書きする画面メモを選択します。選択した時点で、その画面メモは削除されます。

[読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか？]

- トルカ自動読取チェックを[OFF]に設定している場合に読み取り機で自動読取機能を利用しようとすると表示されます。[はい]を選択するとトルカ自動読取チェックが[ON]に設定され、自動読取機能が利用可能になります。☞P.320

[リンク設定データがあるため、一部削除できませんでした]

- 全フォルダ内全件削除、全フォルダ削除、フォルダ内全件削除時に、待受画面や着信音などの各種機能に設定されているため削除されないデータがあった場合に表示されます。☞P.377、P.379
- xxxSHARP/xxxSH_UF/PRLxxxなどのフォルダ内にフォルダが存在する場合に表示されます。パソコンなどで該当フォルダを削除するか、microSDカードをフォーマットしてください。☞P.374

[リンク設定データがあるため、削除できません]

- 全フォルダ内全件削除、全フォルダ削除、フォルダ1件削除、フォルダ内全件削除時に、待受画面や着信音などの各種機能に設定されているため削除できない場合に表示されます。☞P.377、P.379

[録音処理に失敗しました]

- microSDカードの空き容量が少ない場合、または1000件を超えて録音しようとした場合に表示され、ボイスレコーダーが終了します。余分なデータを削除して録音し直してください。☞P.387

[録画禁止の番組が開始されました　録画終了します]

- 録画中に録画禁止の番組が開始された場合に表示されます。

[録画処理に失敗しました]

- microSDカードに空き容量がない場合、保存先をmicroSDカードに設定して動画撮影をしようとしたときに表示され、カメラモードが終了します。

[ワークメモリ不足が発生したためアプリケーションを終了します]

- メモリ不足が発生したため、アプリケーションの処理を中断して終了する場合に表示されます。

[ワークメモリ不足です]

- メモリが不足したため、ソフトを起動できません。
- メモリ不足が発生したため、処理を中断します。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。

[“○△□.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信することができません(555)　Unable to send. “○△□.ne.jp”is not available temporarily.]

- ドメイン名は送信先により表示が異なります。
- 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくたってから送信し直してください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。
  必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。
  無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

※ 本FOMA端末は、電話帳やiモーション、iアプリの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
※ 本FOMA端末は、ケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（☞P.476）とFOMA充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶画面・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

■ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ■ 火災・けが・故障の原因となります。
  - ■ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいたうえでお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ■ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  - ■ 銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

技術基準適合認証品

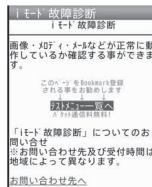
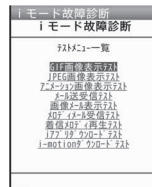
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。
  - ■ お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  - ■ 使用箇所:スピーカ、受話口部
- FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

■ メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います(一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります)。

※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

iモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面　　テストメニュー一覧画面

「ｉモード故障診断サイト」への接続方法

ｉモードサイト：[ｉMenu] ▶ [お知らせ] ▶ [サービス・機能] ▶ [ｉモード] ▶ [ｉモード故障診断]

サイト接続用QRコード

- ｉモード故障診断のパケット通信料は無料となります。
  - ・海外からのアクセスの場合は有料となります。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更されることがあります。
- 各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新について

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

FOMA端末を操作するうえで重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA端末の機能・操作性を向上させることができます。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
　ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内させていただきます。

ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の３つの方法があります。

自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。

即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。

予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ご利用にあたって

- ｉモード設定の共通設定の接続先設定をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ■ セルフモード中
  - ■ 通話中・圏外にいるとき
  - ■ 外部機器と接続中
  - ■ おまかせロック中
  - ■ 国際ローミング中
  - ■ 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - ■ ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。SSL／TLS証明書を有効にしておく必要があります（お買い上げ時は［有効］に設定されています☞P.200）。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。

次ページへ続く

- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に[更新は必要ありません。このままご利用ください]と表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきた、i モードメールやメッセージR／Fはｉ モードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の再起動時、i モードセンター保管状態表示(☞P.30)のアイコンは消えます。また、メール選択受信設定を[ON]に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。i モードセンターには保管されています。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報(機種や製造番号など)が、自動的にサーバ(当社が管理するソフトウェア更新用サーバ)に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、[書換え失敗しました]と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。
- ソフトウェア更新中は、視聴予約アラーム、録画予約アラームは動作しません。また、視聴・録画も開始されません。

ソフトウェア更新を自動で行う<自動更新設定>

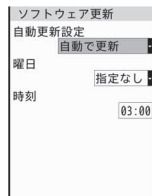
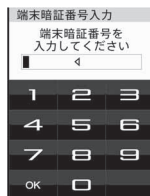
新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。

お買い上げ時は、自動更新設定が[自動で更新]、曜日が[指定なし]、時刻が[03:00]に設定されています。

書換え可能な状態になるとストックアイコン[✪](ソフトウェア更新必要あり)が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えするかを選択できます。

ストックアイコン[✪](ソフトウェア更新必要あり)が表示された状態で書換え時刻になると、自動で書換えが行われ、ストックアイコン[✪](ソフトウェア更新必要あり)は消去されます。

■ 自動更新日時の設定

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[ソフトウェア更新]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[自動更新設定]

2 [自動更新設定]欄を選ぶ▶[自動で更新]

- 自動更新しないとき：[設定しない]▶[完了]▶[はい]
- 自動更新せずに、ソフトウェア更新が必要なときに更新のお知らせを通知するとき：[更新の通知のみ]▶[完了]

3 [曜日]欄を選ぶ▶曜日を選ぶ

4 [時刻]欄を選ぶ▶時刻を入力▶[決定]▶[完了]

- 自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、待受画面にストックアイコン[✪](ソフトウェア更新必要あり)が表示されます。
- [更新の通知のみ]を選択したときは、新しいソフトウェアはダウンロードされません。ダウンロードして、書換えを行う方法については☞P.531

■ 更新が必要な場合の動作

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、待受画面にストックアイコン[]（ソフトウェア更新必要あり）が表示されます。

1 待受画面でストックアイコン[]（ソフトウェア更新必要あり）を選ぶ

2 書換え方法を選ぶ

◆ **[OK]**
- 待受画面に戻ります。設定時刻になると書換えを開始します。

◆ **[時刻変更]**
- 曜日と時刻を設定します。

◆ **[今すぐ書換え]**
- 書換えを開始します。
- 書換えが完了するとストックアイコン[]（ソフトウェア更新完了）が表示されます。

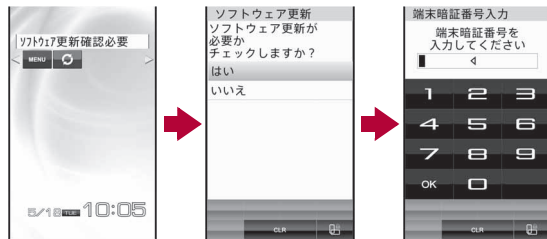
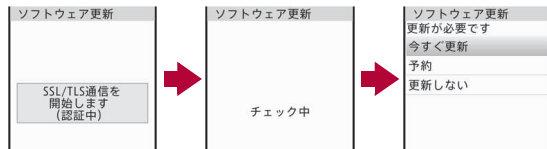
● ストックアイコンは、一度確認すると消えます。

ソフトウェア更新を起動する

ソフトウェア更新を起動するには、ストックアイコンから行う方法とメニューを選択して行う方法があります。

● ストックアイコンは、次の場合に表示されます。
- ■ 自動更新設定を[更新の通知のみ]に設定しているときに、ドコモから通知があったとき
- ■ 予約更新に失敗したり、取り消したとき
- ■ ソフトウェア更新の中断後、更新が必要なとき

■ ストックアイコンから起動する

1 待受画面でストックアイコン[]（ソフトウェア更新確認必要）を選ぶ ▶ [はい]
- ソフトウェア更新を起動しないとき：[いいえ]

2 端末暗証番号を入力 ▶ [OK]
- 入力した端末暗証番号は、[＊]で表示されます。お買い上げ時は[0000]に設定されています。

3 更新方法を選ぶ
- ソフトウェア更新が必要なときは、[更新が必要です]と表示されます。

◆ **[今すぐ更新] ▶ P.532「すぐにソフトウェアを更新する」の操作 1 へ**

◆ **[予約] ▶ P.533「日時を予約してソフトウェアを更新する」の操作 1 へ**

◆ **[更新しない] ▶ [はい] ▶ 待受画面へ戻る**

- ソフトウェア更新の必要がないときは、[更新は必要ありません。このままご利用ください]と表示されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

■ メニューから起動する

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[ソフトウェア更新]

2 端末暗証番号を入力▶[OK]▶[更新実行]

- ソフトウェア更新が必要かどうかのチェックを開始します。
- 以降の操作については☞P.531「ストックアイコンから起動する」の操作3へ

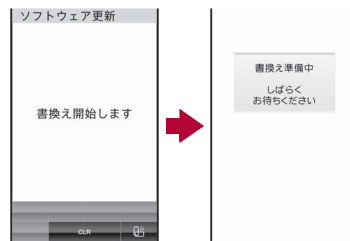
すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>

1 [今すぐ更新]▶ダウンロード開始

- [今すぐ更新]を選択して約5秒経過すると、自動的にダウンロードを開始します。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは削除されます。

- 予約更新のときは[SSL／TLS通信を開始します(認証中)]→[通信中]が表示されます。

2 ダウンロードが終了すると[書換え開始します]が表示▶画面をタッチ

- [書換え開始します]の表示が約5秒経過すると、自動的に書換えを開始します。
- 書換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止したり、電話を受けることもできません。
- 書換えが終了すると、自動的に電源が切れ、すぐに電源が入ります。

3 電源が入ると、自動的にソフトウェア更新が開始

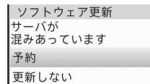
- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止したり、電話を受けることもできません。
- 更新が終了すると、約5秒後に電源が切れ、すぐに電源が入ります。

4 [ソフトウェア更新完了しました]が表示▶画面をタッチ

- ソフトウェア更新を終了し、待受画面が表示されます。
- 更新完了時に画面をタッチしない場合、待受画面に更新が完了したことを表すストックアイコン[ ](ソフトウェア更新完了)が表示されます。ストックアイコン[ ](ソフトウェア更新完了)は、一度確認すると消去されます。

■ サーバが混み合っているとき

[サーバが混みあっています]と表示されたときは、[予約]を選んで更新日時を設定してください(☞P.533)。

ソフトウェア更新
サーバが
混みあっています
予約
更新しない

■ ソフトウェア更新終了後の表示について

待受画面にストックアイコン[ ](ソフトウェア更新完了)または[ ](ソフトウェア更新説明あり)が表示されたら、ストックアイコンを選択します。正常に完了しなかったときは、端末暗証番号を入力すると、その旨のメッセージが表示されます。更新をし直してください。

日時を予約してソフトウェアを更新する<予約更新>

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合には、ソフトウェア更新を行う日時をあらかじめ設定しておくことができます。

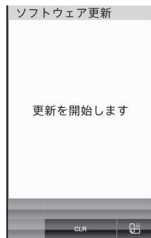
1 [予約]

- 予約候補選択画面が表示されます。
- 日時は、サーバの時刻に合わせて表示されます。

ソフトウェア更新 1/2
希望日時を選んでください
5月18日(火) 10:30
5月18日(火) 13:57
5月18日(火) 14:37
5月18日(火) 15:58
5月18日(火) 16:01
5月18日(火) 17:44
5月18日(火) 18:25
5月18日(火) 19:20

2 希望日時を選ぶ▶[はい]

- [その他の日時]を選んだときは、サーバと通信したあと、ご希望の日、時間帯を選ぶことができます。時間帯を選択する画面には、各時間帯の予約空き状況が[○:空あり]、[△:空わずか]のように表示されます。希望する時間帯を1つ選択すると、再びサーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。ご希望の予約候補を選択します。

■ 予約した日時になると

1 [更新を開始します]が表示▶画面をタッチ

- [更新を開始します]の表示が約5秒経過すると、自動的にソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新の予約日時には、電波の十分届くところで待受画面を表示させておいてください。また、予約した日時にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときは、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した日時に待受画面以外の状態、通話中(着信中および発信中を含む)、メール送信中、メール受信中、iモード中、iアプリ起動中、メニュー表示中などの操作を行っていた場合、ソフトウェアは更新されません。操作終了後に待受画面に戻ると、ソフトウェアが更新されます。
- 予約した日時に外部機器接続中、セルフモード中、おまかせロック中の場合、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した日時と同じ時刻にアラームなどが設定されていたときは、アラームなどを優先し、ソフトウェアは更新されません。アラーム動作終了後に待受画面に戻るとソフトウェアが更新されます。
- ソフトウェア更新の予約日時になったときFOMA端末の電源が切れている場合や、予約起動後すぐにFOMA端末の電源を切った場合は、予約は無効となります。
- 予約が完了したあとに「ユーザデータ削除」(☞P.132)を行うと、予約は取り消されます。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

■ 予約した日時を確認・変更・取り消す

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[ソフトウェア更新]▶端末暗証番号を入力▶[OK]▶[更新実行]

2 項目を選ぶ

- 予約の確認:[OK]
- 予約の変更:[変更]▶希望日時を選ぶ(☞P.533)
- 予約を取り消す:[取消]▶[はい]

■ ソフトウェアの更新を終了する

各画面で[いいえ]を選択した場合や中止した場合は、操作終了の画面が表示されます。
[はい]を選択するとソフトウェア更新を終了して待受画面に戻ります。
[いいえ]を選択すると前の画面に戻ります。

スキャン機能

有害なデータをチェックする

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど、外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください（☞P.534）。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。そのため当社の都合により端末発売開始後３年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。
- 海外ではパターンデータの更新はできません。

スキャン機能を設定する<スキャン機能設定>

スキャン機能を［有効］に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

SMSにスキャン機能を実行するかどうかを設定することもできます。

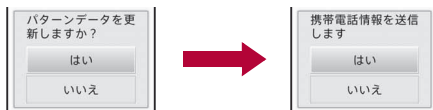
- メッセージスキャンの設定は、スキャン機能が［有効］に設定されている場合に設定できます。
- スキャン機能が［無効］の場合、メッセージスキャンは現在の設定にかかわらず［無効］となります。

1 カスタムメニューで［設定］▶［一般設定］▶［スキャン機能］▶［スキャン機能設定］▶［スキャン機能］

2 ［有効］▶［はい］▶［メッセージスキャン］▶［有効］▶［はい］

- スキャン機能を［有効］に設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、５段階の警告レベルで表示されます（☞P.535）。

パターンデータを更新する<パターンデータ更新>

1 カスタムメニューで［設定］▶［一般設定］▶［スキャン機能］▶［パターンデータ更新］▶［はい］

- 携帯電話情報を送信しないときは、［いいえ］を選択します。

2 ［はい］

- ダウンロードが開始されます。
- パターンデータ更新の必要がないときは、［パターンデータは最新です］と表示されます。［確認］を選択して、そのままご利用ください。

3 パターンデータ更新が完了したら［決定］

- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 電波の状態により、ダウンロードが中断される場合があります。

パターンデータを自動的に更新するように設定する ＜自動更新設定＞

自動更新設定を[有効]に設定すると、パターンデータがバージョンアップされたときに、自動的に更新されます。
自動更新が成功した場合、待受画面に自動更新を行った旨のメッセージが表示されます。また、FOMA端末の状態によっては自動更新が行われないことがあります。その場合は、パターンデータのバージョンアップがあった旨のメッセージが表示されます。

1 **カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[スキャン機能]▶[自動更新設定]▶[有効]**

2 **[はい]▶[はい]▶[確認]**

- 自動更新設定の有効／無効の情報はネットワークで保持しています。そのため、設定の際、FOMA端末では常に[有効]が選択された状態になっています。
- 自動更新設定の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 電波の状態により、自動更新設定が中断される場合があります。

スキャン結果の表示について

障害を引き起こす可能性を含むデータがあった場合は、警告画面が表示されます。

■ スキャンされた問題要素の表示について

- 警告画面で[問題要素名一覧]を選択すると、問題要素名が表示されます。パターンデータの内容によって問題要素名がない場合、[問題要素名一覧]は表示されません。
- 問題要素名は最大５個まで表示されます。６個以上検出した場合は、５個目の問題要素名の下に[等の問題があります]と表示されます。また、同じ問題要素を複数検出した場合は、１個のみ表示されます。

■ スキャン結果の表示について

警告レベル	画面	説明
警告レベル０	スキャン機能 正常に動作できない場合があります 確認 問題要素名一覧	表示／起動／発信できます。以前に問題があったが、現在は問題が起こらない場合に表示されます。[確認]を選択すると表示／起動／発信できます。
警告レベル１	スキャン機能 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 問題要素名一覧	[いいえ]を選択すると表示／起動／発信できます。 [はい]を選択すると動作を中止します。

警告レベル2	スキャン機能 正常に動作できない場合があるため終了します 確認 問題要素名一覧	表示／起動／発信できません。[確認]を選択すると終了します。
警告レベル3	スキャン機能 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ はい いいえ 問題要素名一覧	表示／起動／発信できません。[はい]を選択し、削除確認画面で[はい]を選択するとデータが削除されます。[いいえ]を選択するとデータを削除しないで終了します。
警告レベル4	スキャン機能 正常に動作できないためデータを削除します 確認 問題要素名一覧	表示／起動／発信できません。[確認]を選択するとデータが削除されます。

- パターンデータの内容によっては、前記以外の警告画面が表示されることがあります。

パターンデータのバージョンを確認する

<バージョン表示>

1 **カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[スキャン機能]▶[バージョン表示]**

バージョン表示
パターンデータの
バージョン
1．1
McAfee®

主な仕様

■ 本体

品名			SH-03B
サイズ			高さ約117mm×幅約56mm×厚さ約15.6mm(最厚部:約15.7mm)(閉じているとき)
質量			約137g(電池パック装着時)
連続通話時間※1※2	FOMA/3G		音声電話時:約210分
			テレビ電話時:約130分
	GSM		音声電話時:約220分
連続待受時間※2※3	FOMA/3G	3G/GSM切替:3G	移動時:約350時間※4
		3G/GSM切替:自動	移動時:約330時間※4
			静止時:約510時間※5
	GSM	3G/GSM切替:自動	静止時:約290時間※5
ワンセグ視聴時間			約230分
充電時間			ACアダプタ:約120分
			DCアダプタ:約120分
液晶部	方式		NEWモバイルASV液晶 16,777,216色
	サイズ		約3.7inch
	画素数		409,920画素(480×854ドット)
撮像素子	種類		CMOS※6
	サイズ		1/4.0inch
カメラ部	有効画素数		約530万画素
	記録画素数(最大時)		約500万画素
	ズーム(デジタル)		最大約22.0倍

ピクチャーライト光源LED特性		a) 連続発光 b) 波長 白:400-700nm c) 最大出力 白:410μW(本体内部620μW)
記録部	静止画記録枚数	約2000枚※7※8
		約540枚※7※9
		約1800枚(microSDカード(64Mバイト)保存時)※7
	静止画連続撮影	待受:8枚/VGA:10枚/QVGA:40枚/QCIF:40枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	1件あたり約18分※10
		1件あたり約60分(microSDカード(64Mバイト)保存時)※10
	動画ファイル形式	MP4
音楽再生	連続再生時間	iモーション:約480分※11
		着うたフル®(バックグラウンド再生対応):約1110分※11
		WMAファイル(バックグラウンド再生対応):約1080分※12
		Music&Videoチャネル(音声)(バックグラウンド再生対応):約460分
		Music&Videoチャネル(動画):約450分
保存容量	着うた®	約140Mバイト※13
	着うたフル®	

※1 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※2 データ通信やマルチアクセス実行時およびカメラ起動時も、前述の通話時間や待受時間より短くなります。

※3　連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話・待受時間は半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくても、ワンセグの視聴、iモードメールの作成、Bluetooth機能、ダウンロードしたiアプリ、iアプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。
※4　FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」、「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
※5　FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
※6　CMOS（complementary metal-oxide semiconductor：相補型金属酸化膜半導体）とは、銀塩カメラのフィルムに当たる部分を構成する撮像素子です。
※7　画像サイズ：QCIF（176×144ドット）／画質：ノーマル／ファイルサイズ：10Kバイト
※8　お買い上げ時に登録されているデータ（削除可能なデータ）を削除した場合の撮影枚数です。
※9　お買い上げ時に登録されているデータ（削除可能なデータ）を削除していない場合の撮影枚数です。
※10　画像サイズ：sQCIF（128×96ドット）／画質：ノーマル／ファイルサイズ制限：制限なし／種別：映像＋音声
※11　ファイル形式：AAC形式
※12　ファイル形式：WMA形式
※13　静止画、動画、ミュージック、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、iアプリ、電子書籍／電子辞書／電子コミック、Music&Videoチャネル、ビデオ、トルカを保存している場合には、着うた®／着うたフル®の保存容量は少なくなります。

■ 電池パック

品名	電池パック SH21
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.7 V
公称容量	770 mAh

撮影／保存できる目安

撮影枚数／撮影時間は、FOMA端末、64Mバイトのmicro SDカードに保存したときの目安です。FOMA端末、64Mバイトのmicro SDカードに他の画像やiアプリのソフトなどが保存されているとき、撮影できる枚数や時間は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる枚数や時間が少なくなることがあります。

● 静止画および動画の撮影サイズの設定方法については☞P.231

■ 静止画の撮影枚数

FOMA端末

	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
5M：1944×2592	約280枚	約140枚	約75枚
3M：1536×2048	約280枚	約170枚	約95枚
フルHD：1080×1920	約460枚	約280枚	約170枚
UXGA：1200×1600	約460枚	約280枚	約170枚
1.2M：960×1280	約850枚	約460枚	約280枚
待受：480×854	約2000枚	約1200枚	約660枚
VGA：480×640	約2000枚	約1600枚	約810枚
QVGA：240×320	約2000枚	約2000枚	約1200枚
QCIF：176×144	約2000枚	約2000枚	約2000枚

● FOMA端末にあらかじめ登録されているデータ（削除可能なデータ）を、削除した場合の撮影枚数です。

64M/バイトのmicroSDカード

	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
5M:1944×2592	約110枚	約55枚	約30枚
3M:1536×2048	約110枚	約70枚	約35枚
フルHD:1080×1920	約180枚	約110枚	約70枚
UXGA:1200×1600	約180枚	約110枚	約70枚
1.2M:960×1280	約340枚	約180枚	約110枚
待受:480×854	約930枚	約530枚	約260枚
VGA:480×640	約930枚	約620枚	約340枚
QVGA:240×320	約1800枚	約1200枚	約530枚
QCIF:176×144	約1800枚	約1800枚	約1200枚

■ 動画の撮影時間

FOMA端末の1回あたりの連続撮影時間

			エコノミー	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
FWVGA:864×480	制限なし	映像+音声	–	–	–	約13秒
		映像のみ	–	–	–	約13秒
		音声のみ	約20分			
VGA:640×480	制限なし	映像+音声	–	–	–	約13秒
		映像のみ	–	–	–	約13秒
		音声のみ	約20分			
QVGA:320×240	メール用(短)	映像+音声	–	–	–	約10秒
		映像のみ	–	–	–	約10秒
		音声のみ	約119秒			
	メール用(長)	映像+音声	–	–	–	約41秒
		映像のみ	–	–	–	約42秒
		音声のみ	約488秒			
	制限なし	映像+音声	–	–	–	約103秒
		映像のみ	–	–	–	約106秒
		音声のみ	約20分			
QCIF:176×144	メール用(短)	映像+音声	約134秒	約78秒	約28秒	約19秒
		映像のみ	約176秒	約91秒	約31秒	約20秒
		音声のみ	約119秒			
	メール用(長)	映像+音声	約552秒	約323秒	約117秒	約79秒
		映像のみ	約12分	約375秒	約129秒	約85秒
		音声のみ	約488秒			
	制限なし	映像+音声	約23分	約13分	約294秒	約199秒
		映像のみ	約30分	約15分	約323秒	約212秒
		音声のみ	約20分			
sQCIF:128×96	メール用(短)	映像+音声	約155秒	約105秒	約52秒	–
		映像のみ	約214秒	約130秒	約62秒	–
		音声のみ	約119秒			
	メール用(長)	映像+音声	約10分	約434秒	約215秒	–
		映像のみ	約14分	約534秒	約257秒	–
		音声のみ	約488秒			
	制限なし	映像+音声	約26分	約18分	約537秒	–
		映像のみ	約36分	約22分	約10分	–
		音声のみ	約20分			

FOMA端末の合計撮影時間

			エコノミー	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
FWVGA:864×480	制限なし	映像+音声	–	–	–	約378秒
		映像のみ	–	–	–	約382秒
		音声のみ	約571分			
VGA:640×480	制限なし	映像+音声	–	–	–	約378秒
		映像のみ	–	–	–	約382秒
		音声のみ	約571分			

次ページへ続く

			エコノミー	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
QVGA：320×240	メール用（短）	映像＋音声	－	－	－	約16分
		映像のみ	－	－	－	約16分
		音声のみ	約198分			
	メール用（長）	映像＋音声	－	－	－	約48分
		映像のみ	－	－	－	約49分
		音声のみ	約571分			
	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約48分
		映像のみ	－	－	－	約49分
		音声のみ	約571分			
QCIF：176×144	メール用（短）	映像＋音声	約223分	約130分	約46分	約31分
		映像のみ	約293分	約151分	約51分	約33分
		音声のみ	約198分			
	メール用（長）	映像＋音声	約645分	約377分	約137分	約93分
		映像のみ	約846分	約438分	約151分	約99分
		音声のみ	約571分			
	制限なし	映像＋音声	約645分	約377分	約137分	約93分
		映像のみ	約846分	約438分	約151分	約99分
		音声のみ	約571分			
sQCIF：128×96	メール用（短）	映像＋音声	約258分	約175分	約86分	－
		映像のみ	約356分	約216分	約103分	－
		音声のみ	約198分			
	メール用（長）	映像＋音声	約746分	約508分	約251分	－
		映像のみ	約1027分	約625分	約300分	－
		音声のみ	約571分			
	制限なし	映像＋音声	約746分	約508分	約251分	－
		映像のみ	約1027分	約625分	約300分	－
		音声のみ	約571分			

- FOMA端末にあらかじめ登録されているデータ（削除可能なデータ）を、削除した場合の合計撮影時間です。

64MバイトのmicroSDカードの１回あたりの連続撮影時間

			エコノミー	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
FWVGA：864×480	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約156秒
		映像のみ	－	－	－	約156秒
		音声のみ	約239分			
VGA：640×480	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約156秒
		映像のみ	－	－	－	約156秒
		音声のみ	約239分			
QVGA：320×240	メール用（短）	映像＋音声	－	－	－	約10秒
		映像のみ	－	－	－	約10秒
		音声のみ	約119秒			
	メール用（長）	映像＋音声	－	－	－	約41秒
		映像のみ	－	－	－	約42秒
		音声のみ	約488秒			
	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約20分
		映像のみ	－	－	－	約20分
		音声のみ	約239分			
QCIF：176×144	メール用（短）	映像＋音声	約134秒	約78秒	約28秒	約19秒
		映像のみ	約176秒	約91秒	約31秒	約20秒
		音声のみ	約119秒			
	メール用（長）	映像＋音声	約552秒	約323秒	約117秒	約79秒
		映像のみ	約12分	約375秒	約129秒	約85秒
		音声のみ	約488秒			
	制限なし	映像＋音声	約60分	約60分	約58分	約39分
		映像のみ	約60分	約60分	約60分	約42分
		音声のみ	約239分			

			エコノミー	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
sQCIF：128×96	メール用（短）	映像＋音声	約155秒	約105秒	約52秒	－
		映像のみ	約214秒	約130秒	約62秒	－
		音声のみ	約119秒			
	メール用（長）	映像＋音声	約10分	約434秒	約215秒	－
		映像のみ	約14分	約534秒	約257秒	－
		音声のみ	約488秒			
	制限なし	映像＋音声	約60分	約60分	約60分	－
		映像のみ	約60分	約60分	約60分	－
		音声のみ	約239分			

64MバイトのmicroSDカードの合計撮影時間

			エコノミー	ノーマル	ファイン	ハイクオリティ
FWVGA：864×480	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約156秒
		映像のみ	－	－	－	約156秒
		音声のみ	約239分			
VGA：640×480	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約156秒
		映像のみ	－	－	－	約156秒
		音声のみ	約239分			
QVGA：320×240	メール用（短）	映像＋音声	－	－	－	約19分
		映像のみ	－	－	－	約19分
		音声のみ	約238分			
	メール用（長）	映像＋音声	－	－	－	約20分
		映像のみ	－	－	－	約20分
		音声のみ	約239分			
	制限なし	映像＋音声	－	－	－	約20分
		映像のみ	－	－	－	約20分
		音声のみ	約239分			
QCIF：176×144	メール用（短）	映像＋音声	約261分	約160分	約56分	約37分
		映像のみ	約342分	約186分	約62分	約40分
		音声のみ	約238分			
	メール用（長）	映像＋音声	約262分	約161分	約57分	約38分
		映像のみ	約343分	約187分	約63分	約41分
		音声のみ	約239分			
	制限なし	映像＋音声	約263分	約162分	約58分	約39分
		映像のみ	約344分	約188分	約64分	約42分
		音声のみ	約239分			
sQCIF：128×96	メール用（短）	映像＋音声	約312分	約212分	約106分	－
		映像のみ	約431分	約261分	約127分	－
		音声のみ	約238分			
	メール用（長）	映像＋音声	約313分	約213分	約107分	－
		映像のみ	約432分	約262分	約128分	－
		音声のみ	約239分			
	制限なし	映像＋音声	約314分	約214分	約108分	－
		映像のみ	約433分	約263分	約129分	－
		音声のみ	約239分			

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種　別			保存・登録可能件数	保護可能件数
電話帳			1000※1	－
ワンセグ	テレビリンク		100	－
	視聴予約／録画予約		50※2	－
スケジュール	スケジュール		2500	－
	休日		100	－
	祝日		20※3	－
テキストメモ			10	－
メール（SMSとｉモードメールの合計）	受信メール		2500※4※5※6	2500
		ユーザフォルダ	20	－
	送信メール		500※4※5	500
		ユーザフォルダ	20	－
	未送信メール		500※5	500
		ユーザフォルダ	20	－
デコメ®テンプレート			100※6	－
デコメアニメ®テンプレート			100※6	－
メッセージ	メッセージR		50※5	25
	メッセージF		50※5	25
Bookmark			200	－
	Bookmarkフォルダ		20※7	－
画面メモ			400※5	400※5
ダウンロード辞書			9※8	－
ｉアプリ			100※5※6	－
	メール連動型ｉアプリ		5	－
画像			2000※5※6※9	－
	ユーザフォルダ		20	－

種　別		保存・登録可能件数	保護可能件数
動画／ｉモーション		100※5※6	－
	ユーザフォルダ	20	－
きせかえツール		50※5※6	－
	ユーザフォルダ	20	－
マチキャラ		50※5※6	－
	ユーザフォルダ	20	－
キャラ電		50※5※6	－
	ユーザフォルダ	20	－
メロディ		500※5	－
	ユーザフォルダ	20	－
PDFデータ		50※5※6	－
	ユーザフォルダ	20	－
トルカ		200※5	－
	ユーザフォルダ	20	－
電子書籍／電子辞書／電子コミック		1000※5※6	－
	フォルダ	400※7	－
ワンセグのビデオ		99※5	－
フォント（TTF）		1	－

※1　50件までFOMAカードに保存できます。
※2　視聴予約と録画予約を合わせた件数です。
※3　あらかじめ登録されている国民の祝日とは別に登録できます。
※4　SMSの場合はさらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます（☞P.172）。
※5　メモリの使用状況によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります（☞P.380）。
※6　お買い上げ時に登録されている削除可能なデータも含みます。
※7　お買い上げ時に登録されているフォルダも含みます。
※8　使用辞書には5件まで設定できます。
※9　ワンセグで録画した静止画も含みます。

携帯電話機の比吸収率(SAR)

この機種SH-03Bの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機SH-03BのSARの値は0.494W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページを参照してください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
シャープ株式会社のホームページ
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.598 W/kg※.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

CE 0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SH-03B is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

次ページへ続く

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.751 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.761 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID APYHRO00113.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。
  また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」、「mova」、「おサイフケータイ」、「トルカ」、「ｉメロディ」、「mopera」、「mopera U」、「FirstPass」、「キャラ電」、「デコメール®」、「デコメ®」、「デコメアニメ®」、「着モーション」、「ｉモーションメール」、「ｉアプリ」、「ｉアプリタッチ」、「ｉアプリDX」、「ｉモーション」、「ｉモード」、「ｉチャネル」、「iD」、「DCMX」、「WORLD WING」、「公共モード」、「DoPa」、「WORLD CALL」、「デュアルネットワーク」、「ビジュアルネット」、「セキュリティスキャン」、「sigmarion」、「メッセージF」、「マルチナンバー」、「おまかせロック」、「ケータイデータお預かりサービス」、「着もじ」、「ｉＣお引っこしサービス」、「ファミリーワイドリミット」、「きせかえツール」、「ケータイお探しサービス」、「OFFICEED」、「IMCS」、「ｉエリア」、「2in1」、「うた・ホーダイ」、「Music&Videoチャネル」、「メロディコール」、「エリアメール」、「直感ゲーム」、「イマドコサーチ」、「イマドコかんたんサーチ」、「マチキャラ」、「ｉコンシェル」、「ｉウィジェット」、「ｉアプリコール」、「ｉスケジュール」、「docomo PRO series」、「i-mode」ロゴ、「FOMA」ロゴ、「i-αppli」ロゴ、「ｉＣ」ロゴ、「DCMX」ロゴ、「iD」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはＮＴＴコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- symbian 本機には、Symbian Software Ltd よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。
  Symbian、Symbian OS、およびすべてのSymbian 関連の商標およびロゴはSymbian Software Ltd の商標または登録商標です。

- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- マルチタスク／Multitaskは、日本電気株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、PowerPoint®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。
- Javaおよびすべてのjava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

次ページへ続く

- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2009 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- ドキュメントビューアはPicsel Technologiesにより実現しています。
Picsel, Picsel Powered, Picsel Viewer, Picsel Document Viewer and the Picsel cube logo are trademarks or registered trademarks of Picsel Technologies and/or its affiliates.
- 「AXISフォント」は株式会社アクシスの登録商標です。
また、「AXIS」フォントはタイププロジェクト株式会社が制作したフォントです。
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよびLC®は、シャープ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。

- Google, モバイルGoogle マップは、Google, Inc.の登録商標です。
- IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- 「CROSS YOU」は、ソニー株式会社の商標です。
- Ｆｅｌｉｃａは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。
- Ｆｅｌｉｃａは、ソニー株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルＤ記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- FlashFX® Pro™は、米国Datalight, Inc.の商標または登録商標です。
（U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156）
- PhotoSolid®、FrameSolid®、PhotoScouter®、ImageSurf®、StroboPhoto®は株式会社モルフォの登録商標です。
- 本製品には株式会社モルフォのMorpho Effect Library [PRETTY]を採用しております。
Morpho Effect Library [PRETTY]は株式会社モルフォの商標です。
- 本製品は沖電気工業株式会社の顔認識エンジンFSE（Face Sensing Engine）を使用しています。
FSEおよびFSEロゴは沖電気工業株式会社の商標です。

- 「ベールビュー」、「VeilView」、「笑顔フォーカスシャッター」、「振り向きシャッター」、「モーションデコ」、「ショットデコ」、「ベストセレクトフォト」、「プリティアレンジカメラ」、「お目覚めTV」、「ロングタッチメニュー」、「クイック設定」、「待受タッチランチャ」、「クイック壁紙セッティング」、「フォトリモ」、「フォトリモ@ナビ」、「ピクチャテーブル」、「メール返信アシスト辞書」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

付録／困ったときには

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。
  - ■ MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
  - ■ 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
  - ■ ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。

  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
  - ■ タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
  - ■ 永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

  追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ｉ)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ｉｉ)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ｉ)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ｉｉ)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite®および Adobe Reader® Mobileテクノロジーを搭載しています。

Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash Lite はAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

次ページへ続く

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Client、NetFront Browser DTV Profile One-seg Editionを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  Copyright © 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

ACCESS™ NetFront®

- 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。
  Copyright © 2006-2009, GestureTek, Inc. All Rights Reserved.
- 本製品のBluetoothソフトウェア・スタックは、株式会社東芝が開発し、著作権を有するToshiba Embedded Bluetooth Stack for Symbianを搭載しております。
- コンテンツ所有者は、WMDRM(Windows Media digital rights management)技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護コンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、保護コンテンツを再生またはコピーするために必要なソフトウェアのWMDRM機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツが影響を受けることはありません。保護コンテンツを利用するためにライセンスをダウンロードする場合、Microsoftがライセンスに無効化リストを含める場合がありますのであらかじめご了承ください。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、WMDRMのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 「CP8 PATENT」
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  - ■ Windows Vistaは、Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - ■ Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - ■ Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 本製品内蔵のネット辞典ではBSDライセンスを使用しています。
  Copyright © 2002,2003, Stefan Haustein, Oberhausen, Rhld., Germany
  All rights reserved
  - Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
  - Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
    Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
  - Neither the name of the <ORGANIZATION> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

  THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

索引

索引

本索引は、機能名や記載内容を要約した用語を「50音」、「英数字」の順に収録しています。
- サブメニュー操作（☞P.44）については、P.559「画面別サブメニュー一覧」をご利用ください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

画面別サブメニュー一覧

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申し込み、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから	i Menu ▶ お客様サポート ▶ お申込・お手続き ▶ 各種お申込・お手続き パケット通信料無料
パソコンから	My docomo (http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種お申込・お手続き

※ iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※ 「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
携帯電話を使用してはいけない場所があります。次の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
★航空機内　★病院内
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※ やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気を付けましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード（☞P.99）／オリジナルマナーモード（☞P.100）
ボタン／タッチ音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消し、伝言メモが機能します（マナーモード）。マナーモード設定時に、自動的に設定される機能（伝言メモ、バイブレータ、マイク感度アップ、着信音、メール着信音、アラーム音、ボタン／タッチ音、電池残量警告音、着信ランプ、メール着信ランプ）のON（設定）／OFF（解除）を設定することもできます（オリジナルマナーモード）。

● 公共モード（ドライブモード／電源OFF）（☞P.73）
電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、通話を終了します。

● 着信バイブレータ（☞P.97）
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

● 伝言メモ（☞P.74）
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※ その他にも、留守番電話サービス（☞P.448）、転送でんわサービス（☞P.450）などのオプションサービスが利用できます。

総合お問い合わせ先<ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151（無料）

※ 一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113（無料）

※ 一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

iモードサイト　iMenu▶お客様サポート▶ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて <ドコモ インフォメーションセンター>（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表１）-81-3-6832-6600*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SH-03Bから、ご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります。
（「+」は［0（+）］をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表２）-8000120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表１）／ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表２）は、取扱説明書P.464、P.465をご覧ください。

海外での故障について <ネットワークオペレーションセンター>（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表１）-81-3-6718-1414*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SH-03Bから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
（「+」は［0（+）］をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表２）-8005931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表１）／ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表２）は、取扱説明書P.464、P.465をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　シャープ株式会社

Li-ion00

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

大豆油インキを使用しています。

再生紙を使用しています

'10.1（1.2版）
TINSJA656AFZZ
10A 30.1 DS TU564①